参考資料１

諮問に係る植物区分の種類別審査基準（案）

１　区分を新設するもの

（資料１－１－１）タマガサノキ
（資料１－１－２）ホソバタイセイ
（資料１－１－３）オリガヌム（オリガヌム　ロツンディフォリウムを除く。）
（資料１－１－４）キリ
（資料１－１－５）カノコソウ

２　ＵＰＯＶテストガイドラインに準拠して改正するもの

（資料１－２－１）カンガルーポー
（資料１－２－２）カラシナ
（資料１－２－３）マンダリン類
（資料１－２－４）レモン及びライム類
（資料１－２－５）グレープフルーツ及びブンタン類
（資料１－２－６）カラタチ
（資料１－２－７）セイヨウカボチャ
（資料１－２－８）ニホンカボチャ
（資料１－２－９）ペポカボチャ
（資料１－２－10）リンゴ（台木用）
（資料１－２－11）オクシペタルム
（資料１－２－12）ハコヤナギ（ポプラ）

３　審査の運用結果等を踏まえて改正するもの

（資料１－３－１）アスパラガス
（資料１－３－２）ブロッコリー
（資料１－３－３）オオシマカンスゲ
（資料１－３－４）オレンジ類
（資料１－３－５）ワサビ
（資料１－３－６）まいたけ
（資料１－３－７）はたけしめじ
（資料１－３－８）リンゴ
（資料１－３－９）ロドヒポクシス
（資料１－３－10）はなびらたけ
（資料１－３－11）コムギ

（資料１－３－12）ムラサキベンケイソウ
（資料１－３－13）トマト
（資料１－３－14）バレイショ
（資料１－３－15）キク
（資料１－３－16）ダリア
（資料１－３－17）デンドロビウム
（資料１－３－18）アメリカデイコ
（資料１－３－19）フェリキア
（資料１－３－20）バラ
（資料１－３－21）ステラ
（資料１－３－22）フリーセア

資料 1-1-1

2026 年　月

タマガサノキ種

Buttonbush

(*Cephalanthus occidentalis* L.)

（案）

タマガサノキ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、アカネ科（Rubiaceae）ケファランツス属（*Cephalanthus* L.）のタマガサノキ種（*Cephalanthus occidentalis* L.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　発根苗（挿し木後、1 年を経過した苗）

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　15 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）　栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　11 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、開花盛期に行う。

開花盛期とは、「株に付いている花序の 50％程度が開花盛期（満開）になったとき」とする。

また、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号については、示された内容で行う。

(a) 新葉は、当年枝が伸長し始めた頃（春季）の完全展開した新葉で行う。

(b) 葉の調査は、当年枝中央部の典型的な葉で行う。

(c) 花序及び花の調査は、ほぼすべての小花が開花した花序を用いて行う。

(d) 果実の調査は、成熟した果実で行う。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願等審査要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１％、受容確率 95％を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が

10 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）樹姿（形質１）

ⅱ）花序の直径（形質 11）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

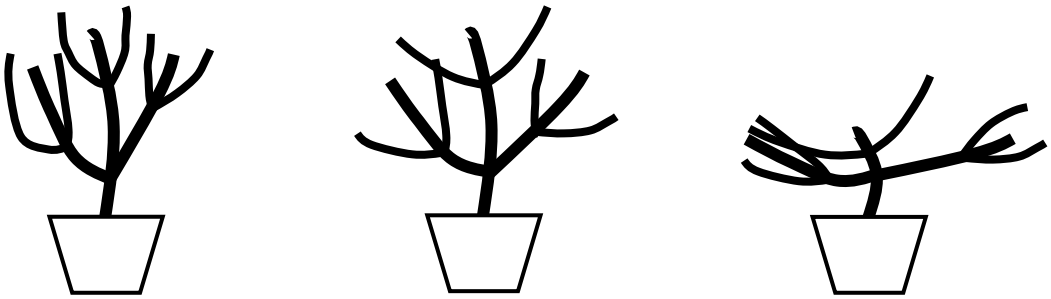
形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN (+) G	樹姿	Plant: growth habit	樹全体を側面から見た姿勢	観察 VG	1 2 3	直立 斜上 開張	upright semi-upright spreading	Sputnik ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
2		QN	側枝の長さ	Plant: length of lateral branch	最長当年枝の長さ（花柄を除く。）	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
3		QN	新葉のアントシアニンの着色	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	完全展開した新葉表面のアントシアニンによる着色の程度	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
4		QN (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	成葉の葉身の長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
5		QN (+)	葉身の幅	Leaf blade: width	成葉の葉身の最大幅	測定 cm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
6		QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width	葉身の幅に対する葉身の長さの比	測定 比 MS (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
7		QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color	葉身表面の緑色の濃淡	観察 VG (b)	1 3 5	淡 中 濃	light medium dark	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
8		QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	葉身周縁の波打ちの強弱	観察 VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
9		QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm MS (b)	1 3 5	短 中 長	short medium long	Sputnik ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
10		QN	葉柄のアントシアニンの着色	Petiole: intensity of anthocyanin coloration	成葉の葉柄上面（陽光面）のアントシアニンによる着色の程度	観察 VG (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	Sputnik ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
11		QN (+) G	花序の直径	Inflorescence: diameter	花序の最大径	測定 mm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
12		QN (+)	花冠の長さ	Corolla: length	花冠の長さ	測定 mm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
13		QN (+)	花冠の幅	Corolla: width	花冠の幅	測定 mm MS (c)	1 3 5	狭 中 広	narrow medium broad	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14		PQ	花冠裂片の色	Corolla lobe: color on upper side	花冠裂片表面の主な色	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
15		QN (+)	雌ずいの長さ	Pistil: length	雌ずいの長さ	測定 mm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
16		QN	雌ずいの長さ／花冠の長さ	Pistil: ratio pistil length/corolla length	花冠の長さに対する雌ずいの長さの比	測定 比 MS (c)	1 3 5	小 中 大	small medium large	ﾑｰﾝﾗｲﾄﾌｧﾝﾀｼﾞｰ	
17		PQ	花柱の色	Style: color	花柱の色	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
18		PQ	果実の色	Fruit: color	果実の色	観察 VG (d)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　樹姿　　Char.1　Plant: growth habit

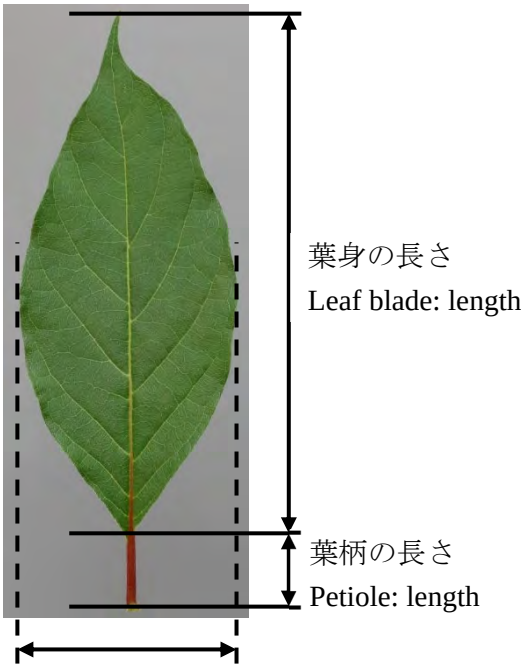


1
直立
upright

2
斜上
semi-upright

3
開張
spreading

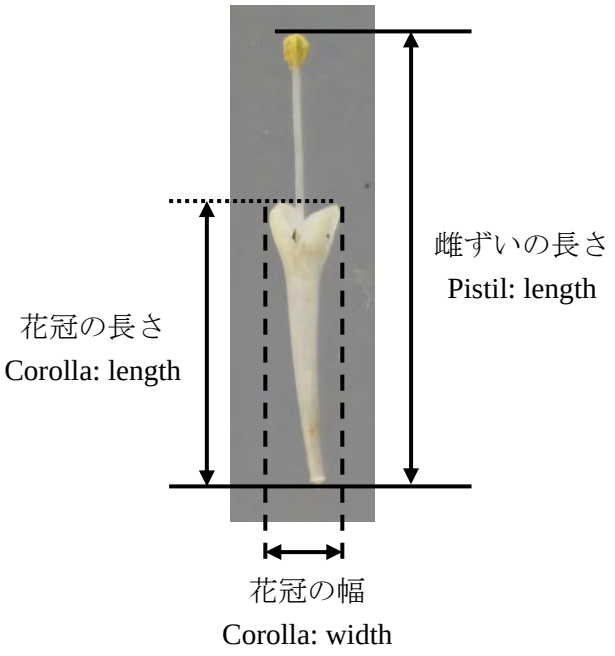
形質 4　葉身の長さ　　Char.4　Leaf blade: length
形質 5　葉身の幅　　Char.5　Leaf blade: width
形質 9　葉柄の長さ　　Char.9　Petiole: length



形質 11　花序の直径　　Char.11　Inflorescence: diameter



形質 12　花冠の長さ　　Char.12　Corolla: length
形質 13　花冠の幅　　Char.13　Corolla: width
形質 15　雌ずいの長さ　　Char.15　Pistil: length



資料 1-1-2

2026 年　月

ホソバタイセイ種

Woad

(*Isatis tinctoria*.L)

（案）

ホソバタイセイ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、アブラナ科（Brassicaceae）タイセイ属（*Isatis* L.）のホソバタイセイ種（*I.tinctoria*.L）全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　10g 又は 1,000 粒

種子は、発芽率、水分含量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　60 個体（2 区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 30 個体又は各個体から採取した部分 30 個について、調査する。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　それぞれの形質の評価は特性表の調査方法欄に記載されるステージに行う。

(a) 生育盛期（抽だい前）

(b) 開花盛期（供試個体数の 80%以上が開花した時期）

(c) さやの成熟期（さやが褐色に着色し乾燥が進んだ時期）

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、他家受粉品種においては、母集団標準 10%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 1 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 10 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）葉身の凹凸（形質 15）

ⅱ）葉身の周縁部の鋸歯（形質 17）

ⅲ）さやの先端部の形（形質 30）

ⅳ）種子の色（形質 35）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN (+)	胚軸のアントシアニン着色	Hypocotyl: anthocyanin coloration	子葉展開時の胚軸のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 ヨーロッパ型・中国型 日本型	
2		QN (+)	子葉の長さ	Cotyledon: length	子葉展開時の子葉の長さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 ヨーロッパ型、中国型 日本型	
3		QN (+)	子葉の幅	Cotyledon: width	子葉展開時の子葉の幅	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 ヨーロッパ型、日本型、中国型	
4		QN (+)	葉の長さ	Leaf: length	根出葉の最大葉の長さ（葉柄を含む）	測定 cm MS (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	 日本型、中国型 ヨーロッパ型	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5		QN (+)	葉の幅	Leaf: width	最大葉の最大幅	測定 cm MS (a)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 日本型 中国型 ヨーロッパ型	
6		QN	葉の先端から最大幅の位置までの長さ	Leaf: length from tip to maximum width of leaf	最大葉の先端から最大幅の位置までの長さ	測定 cm MS (a)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 日本型 ヨーロッパ型、中国型	
7		QN	葉の長さ／葉の幅	Leaf: ratio length of leaf / width of leaf	葉の長さに対する葉の幅の比	測定 比 MS (a)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 中国型 ヨーロッパ型 日本型	
8		QN	葉の最大幅の位置	Leaf: position of maximum width	葉の先端から最大幅の位置までの長さ／葉の長さの比	測定 比 MS (a)	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	 ヨーロッパ型 中国型 日本型	
9		QN	葉の数	Plant: number of leaves	個体あたりの着葉数（調査個体数 15 個体）	観察/測定 VG/ MS (a)	3 5 7	少 中 多	few medium many	中国型 ヨーロッパ型 日本型	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10		QN	葉身の表面の毛	Leaf blade: hair on upper side	平均的な葉の葉身の表面の毛の粗密	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	日本型・中国型 ヨーロッパ型	
11		QN (+)	葉身の裏面の毛	Leaf blade: hair at lower side	平均的な葉の葉身の裏面の毛の粗密（中肋を含む）	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	日本型・中国型 ヨーロッパ型	
12		PQ	葉身の表面の色	Leaf blade: color of upper side	平均的な葉の葉身の表面の色（中肋を除く）	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	黄緑 緑 灰緑 青緑 紫	yellow green green grey green blue green purple	中国型 ヨーロッパ型 日本型	
13		QN	葉身の表面の光沢	Leaf blade: glossiness on upper side	平均的な葉の葉身の表面の光沢の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	日本型 ヨーロッパ型 中国型	
14		QN (+)	葉身の表面のろう質	Leaf blade: glaucosity on upper side	平均的な葉の葉身の表面のろう質の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	ヨーロッパ型・中国型 日本型	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15		QN (+) G	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	平均的な葉の葉身の凹凸の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	日本型 ヨーロッパ型 中国型	
16		QN (+)	葉身の周縁部の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	平均的な葉の葉身の周縁部の波打ちの強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 中国型 ヨーロッパ型・日本型	
17		QN (+) G	葉身の周縁部の鋸歯	Leaf blade: serration of margin	平均的な葉の葉身の周縁部の鋸歯の粗密	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse moderate dense very dense	ヨーロッパ型 中国型 日本型	
18		PQ (+)	ほう葉の裂片の長さ	Leaf blade: length of basal parts of arrowhead	花茎中央部の葉身の基部の裂片の長さ	観察 VG (b)	1 2 3	短 中 長	short medium long	日本型 中国型 ヨーロッパ型	
19		PQ (+)	中肋の表面の主な色	Midrib: main color on upper side (including petiole)	葉柄を含む中肋の表面の主な色	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	白 淡緑 緑 淡紫 紫	white light green green light purple purple	 ヨーロッパ型・日本型・中国型	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20		QN (+)	中肋の基部のアントシアニン着色	Midrib: anthocyanin coloration on base (including petiole)	葉柄を含む中肋の基部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	日本型・中国型 ヨーロッパ型	
21		QN	開花期	Time of flowering	開花の早晩（供試株数の 50%が開花した時期）	測定 月日 MG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	 ヨーロッパ型・日本型 中国型	
22		PQ (+)	花序の形	Inflorescence: appearance	花序の分枝の角度	観察 VG (b)	1 2 3	半直立 中間 開張	upright intermediate spreading	日本型 中国型 ヨーロッパ型	
23		PQ (+)	草姿	Plant: habit	花茎の開張の程度	観察 VG (b)	1 3 5	直立 半直立 開帳	erect semi-erect spreading	中国型 日本型 ヨーロッパ型	
24		QN	花茎の長さ	Flowering stem: length	花茎の長さ（株内の最長花茎）	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極低 かなり低 低 やや低 中 やや高 高 かなり高 極高	very short very short to short short short to medium medium medium to tall tall tall to very tall very tall	 中国型、日本型 ヨーロッパ型	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25		QN	花茎の太さ	Flowering stem: thickness	花茎中央部の長径	測定 mm MS (b)	1 2 3 4 5	極細 細 中 太 極太	very thin thin medium thick very thick	 中国型 日本型、ヨーロッパ型	
26		QN	花茎の数	Flowering stem: number	開花盛期における蕾のみを持つ花茎も含めた花茎数	観察/測定 VG/ MS (b)	1 2 3 4 5	少 やや少 中 やや多 多	few few to medium medium medium to many many	 中国型 ヨーロッパ型 日本型	
27		PQ (+)	花茎のアントシアニン着色	Flowering stem: anthocyanin coloration	花茎の中間部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	日本型 ヨーロッパ型・中国型	
28		QN	花茎の緑色の濃淡（茎のアントシアニン着色がある品種を除く。）	Excluding varieties with anthocyanin coloration Stem: green color	花茎の中間部の緑色の濃淡	観察 VG (b)	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	 日本型	
29		QN (+)	花茎のろう質	Stem: glaucosity	花茎の中間部の表面のろう質の強弱	観察 VG (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	 ヨーロッパ型・日本型・中国型	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
30		QN G (+)	さやの先端部の形	Pod: shape of tip	成熟したさやの先端部の形	観察 VG (c)	1 2 3	凹形 円形 切形	emarginate rounded truncate	ヨーロッパ型 中国型 日本型	
31		QN (+)	さやの長さ	Pod: length	成熟したさやの長さ	測定 mm MS (c)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	ヨーロッパ型、日本型、中国型	
32		QN (+)	さやの幅	Pod: width	成熟したさやの最大幅	測定 mm MS (c)	1 2 3	狭 中 広	narrow medium broad	ヨーロッパ型、日本型、中国型	
33		QN	さやの長さ／幅	Pod: length/width	成熟したさやの長さ／最大幅	測定 比 MS (c)	1 2 3	小 中 大	small medium large	中国型 ヨーロッパ型 日本型	
34		QN (+)	果柄の長さ	Peduncle : length	成熟したさやの果柄の長さ	測定 mm MS (c)	1 2 3	短 中 長	short medium long	ヨーロッパ型、日本型、中国型	
35		PQ G (+)	種子の色	Seed: color	完熟した種子の表面の色	観察 VG (c)	1 2	黄褐 黒褐	yellow brown black brown	ヨーロッパ型・中国型 日本型	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
36		QN	脱粒性	Seed: shattering habit	さやが十分に成熟した花茎を軽く振ったときのさやの脱粒程度	観察 VG (c)	1 2 3	易 中 難	weak medium strong	中国型 ヨーロッパ型・日本型	

標準品種「日本型」、「中国型」及び「ヨーロッパ型」は国立研究開発法人医薬基盤・健康・研究所　薬用植物資源研究センター　北海道研究部から入手した。

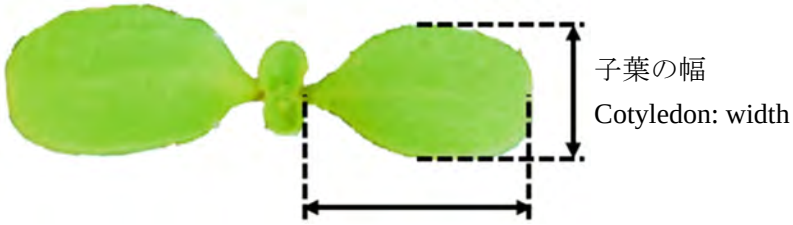
Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　胚軸のアントシアニン着色　　Char.1　Hypocotyl: anthocyanin coloration



1	3	4
無又は極弱	中	強
absent or very weak	medium	strong

形質 2　子葉の長さ　　Char.2　Cotyledon: length
形質 3　子葉の幅　　Char.3　Cotyledon: width



子葉の長さ
Cotyledon: length

形質 4　葉の長さ　　Char.4　Leaf: length

形質 5　葉の幅　　Char.5　Leaf: width



形質 6 葉の先端から最大幅の位置までの長さ
Char.6 Leaf: length from tip to maximum width of leaf

形質 11　葉身の裏面の毛　　Char.11　Leaf blade: hair at lower side



1
無又は極粗
absent or very sparse



4
密
dense

形質 14　葉身の表面のろう質　　Char.14　Leaf blade: glaucosity on upper side



1
無又は弱
absent or weak



2
中
medium

形質 15　葉身の凹凸　　Char.15　Leaf blade: blistering



1
無又は極弱
absent or very weak



4
強
strong

形質 16　葉身の周縁部の波打ち　　Char.16　Leaf blade: undulation of margin



1
無又は極弱
absent or very weak



4
強
strong

形質 17　葉身の周縁部の鋸歯　　Char.17　Leaf blade: serration of margin



1
無又は極粗
absent or very weak



3
中
moderate

形質 18　葉の基部の矢じり部分の長さ　　Char.18　Leaf base: length of the arrowhead



1	2	3
短	中	長
short	medium	long

形質 19　中肋の表面の主な色　　Char.19　Midrib: main color on upper side (including petiole)



1	2
白	淡緑
white	light green

形質 20　中肋の基部のアントシアニン着色　　Char.20　Midrib: anthocyanin coloration on base (including petiole)



1
無又は極弱
absent or very weak



4
強
strong

形質 22　花序の形　　Char.22　Inflorescence: appearance



3
開張
spreading



2
中間
intermediate



1
半直立
upright

形質 23　草姿　　Char.23　Plant: appearance



1	3	5
直立	半直立	開帳
erect	semi-erect	spreading

形質 27　茎のアントシアニン着色　　Char.27　Stem: anthocyanin coloration



1	3	5
無又は極弱	中	極強
absent or very weak	medium	very strong

形質 29　茎のろう質　　Char.29　Stem: glaucosity



1
無又は弱
absent or weak



3
強
strong

形質 30　さやの先端部の形　　Char.30　Pod: shape of tip



1
凹形
emarginate

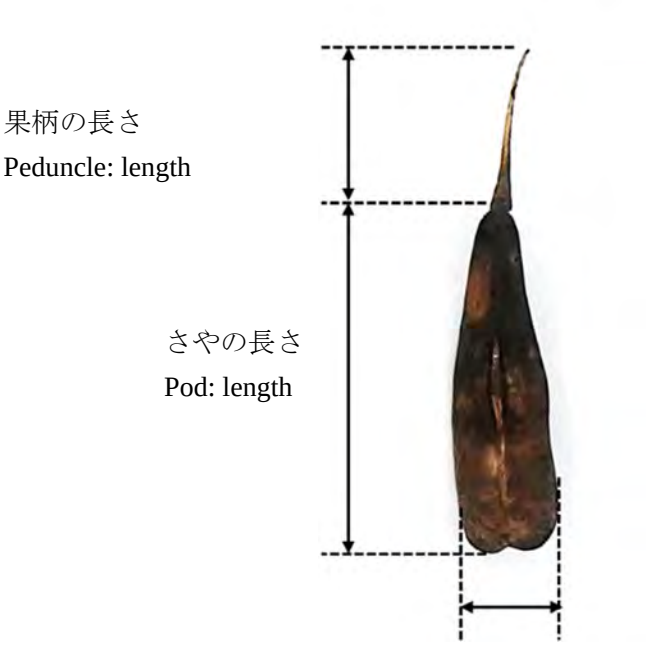


2
円形
rounded



3
切形
truncate

形質 31　さやの長さ　　Char.31　Pod: length
形質 32　さやの幅　　Char.32　Pod: width
形質 34　果柄の長さ　　Char.34　Peduncle: length



形質 35　種子の色　　Char.35　Seed: color



1
黄褐
yellow-brown

2
黒褐
black-brown

資料 1-1-3

2026 年 月

オリガヌム属

Sweet Marjoram

(*Origanum* L.)

（案）

オリガヌム属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、シソ科（Lamiaceae）オリガヌム属（*Origanum* L.）のうちロツンディフォリウム種（*O. rotundifolium* Boiss.）及びその交雑種を除く全ての栄養繁殖性品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　発根苗

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　20 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　15 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、挿し木した翌年の開花初期（株内の概ね半数以上の小穂において第一花が開花した頃）に行う。ただし、開花の確認ができない場合は、生育盛期の終盤（株内の典型的な茎の葉が劣化する前）に行う。

葉の調査は、着雷前の茎中央部の典型的な葉で行う。中央部とは、三等分したうち中央部分とする。

小穂の調査は、開花終期（株内のいくつかの小穂の開花が終了した頃）に行う。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１％、受容確率95％を適用し、UPOV の TGP８文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が15 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）葉身の斑の有無（形質 14）

ⅱ）ほう葉の色（形質 24）

Gr.1：白

Gr.2：緑

Gr.3：赤紫

ⅲ）唇弁の主な色（形質 30）

Gr.1：白

Gr.2：桃

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		PQ (+)	草姿	Plant: growth habit	株全体の見た目の姿	観察 VG	1 2 3	直立 半直立 ほふく	upright semi-upright creeping		
2		QN (+)	側枝の数	Stem: number of branches	側枝の数	測定 MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	 切花用オレガノ 料理用オレガノ	
3		QN (+)	茎の長さ	Stem: length	典型的な茎の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 切花用オレガノ、ヘレンハンゼン 料理用オレガノ	
4		QN (+)	茎の太さ	Stem: width	典型的な茎を三等分したうち中央部の太さ	測定 mm MS	1 2 3	細 中 太	thin medium thick	 料理用オレガノ 	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5		QN	茎のアントシアニン着色	Stem: anthocyanin coloration	典型的な茎を三等分したうち中央部のアントシアニンの着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	料理用オレガノ 切花用オレガノ	
6		QN	茎の毛	Stem: pubescence	典型的な茎を三等分したうち中央部の毛の粗密	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	 切花用オレガノ	
7		QN	葉身の長さ	Leaf blade: length	葉身の長さ	測定 mm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 料理用オレガノ	
8		QN	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の幅	測定 mm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	料理用オレガノ	
9		PQ (+)	葉身の形	Leaf blade: shape	葉身の形	観察 VG	1 2 3 4	広卵形 卵形 円形 楕円形	broad ovate ovate rounded elliptic		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10		PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	葉身の先端部の形	観察 VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded		
11		PQ (+)	葉身の基部の形	Leaf blade: shape of base	葉身の基部の形	観察 VG	1 2 3 4 5	漸尖形 鈍形 円形 切形 心形	attenuate obtuse rounded truncate cordate		
12		PQ (+)	葉身の色	Leaf blade: main color on upper side	葉身の表面の色（斑を除く。）	観察 VG	1 2 3 4	黄緑 緑 濃緑 灰緑	yellow green medium green dark green grey green	 切花用オレガノ 料理用オレガノ	
13		QN (+)	葉身の毛	Leaf blade: density of pubescence of upper surface	葉身の表面の毛の粗密	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense		
14		QL G	葉身の斑の有無	Leaf blade: variegation	葉身の斑の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
15		PQ	葉身の斑の色	Leaf blade: color of variegation	葉身の斑の色（斑入り品種に限る。）	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16		PQ (+)	葉身の斑の型	Leaf blade: pattern of variegation	葉身の斑の型（斑入り品種に限る。）	観察 VG	1 2 3 4	掃け込み斑 覆輪 爪斑 散斑	splashed margined tipped spotted		
17		QN	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	無又は極短 短 中 長 極長	absent or very short short medium long very long	 料理用オレガノ 切花用オレガノ 	
18		QN (+)	花序の長さ	Inflorescence: length	最大花序の長さ	測定 mm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	料理用オレガノ	
19		QN (+)	花序の幅	Inflorescence: width	最大花序の幅	測定 mm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	料理用オレガノ 切花用オレガノ 	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20		QN (+)	小穂の長さ	Flower spike: length	最長の小穂の長さ（花を除く。）	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 切花用オレガノ 料理用オレガノ ヘレンハンゼン	
21		QN (+)	小穂の幅	Flower spike: width	最長の小穂の幅（花を除く。）	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	料理用オレガノ ヘレンハンゼン 切花用オレガノ	
22		PQ (+)	ほう葉の形	Bract: shape	最大の小穂に着生するほう葉の形	観察 VG	1 2 3 4 5	広卵形 卵形 円形 楕円形 倒卵形	broad ovate ovate rounded elliptic obovate		
23		PQ (+)	ほう葉の先端部の形	Bract: shape of apex	最大の小穂に着生するほう葉の先端部の形	観察 VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded		

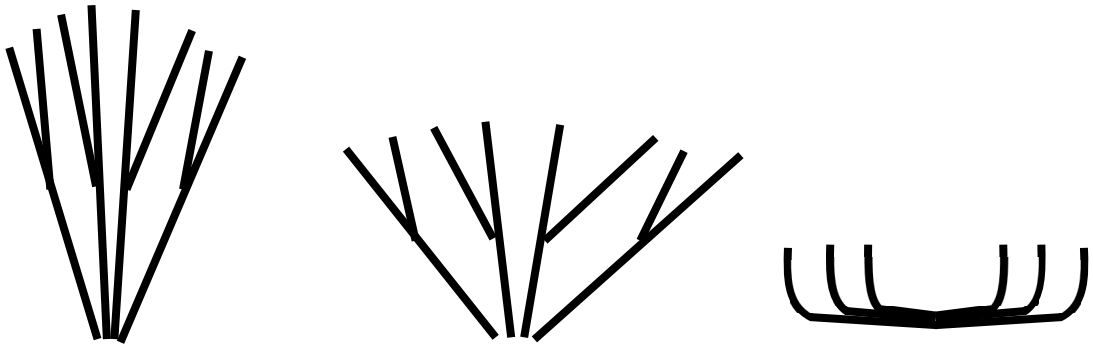
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24		PQ G	ほう葉の色	Bract: color	最大の小穂に着生するほう葉の外面の色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
25		PQ (+)	がくの形	Calyx: shape	がくの形	観察 VG	1 2	円筒形 漏斗形	cylindrical funnel-shaped	切花用オレガノ	
26		PQ	がくの色	Calyx: color	がくの外面の色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
27		QN (+)	花冠の長さ	Corolla: length	最大の花冠の長さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	料理用オレガノ 切花用オレガノ	
28		QN (+)	花冠の高さ	Corolla: height	最大の花冠の上唇弁上端から下唇弁下端までの高さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very short short medium tall very tall	料理用オレガノ 切花用オレガノ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29		QN (+)	上唇弁上端に対するやくの位置	Anthers: level in relation to top of lip	やくの上唇弁先端との位置関係	観察 VG	1 2 3	上位 同位 下位	above same level below		
30		PQ (+) G	唇弁の主な色	Lip: main color	花冠の唇弁の主な色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
31		PQ (+)	花喉部の外面の主な色	Throat: main color of outer side	花冠の花喉部の外面の主な色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

標準品種「切花用オレガノ」及び「料理用オレガノ」は日野春ハーブガーデン、「ヘレンハウゼン」はおぎはら植物園からそれぞれ入手した品種である。

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　草姿　　Char.1　Plant: growth habit



1
直立
upright

2
半直立
semi-upright

3
ほふく
creeping

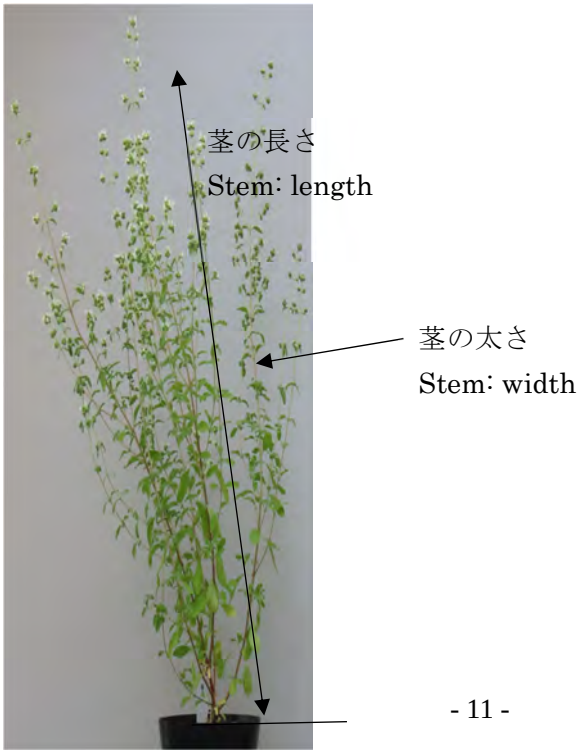
形質 2　側枝の数　　Char.2　Stem: number of branches

側枝の数は、典型的な茎に着生する２節以上（小穂の最下節を含む）を有する側枝の数を測定する。

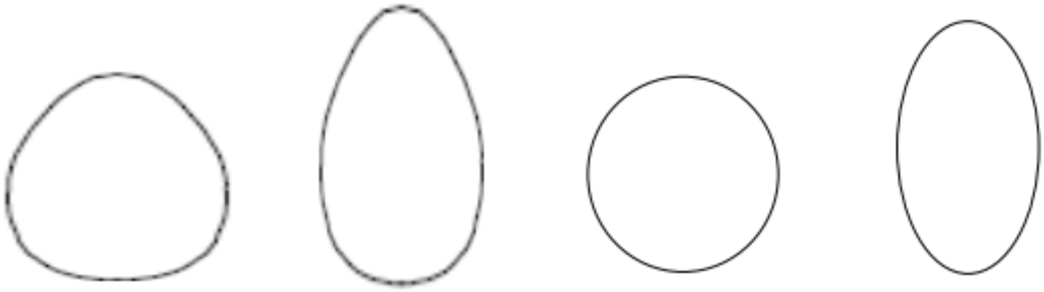
形質 3　茎の長さ　　Char.3　Stem: length

茎の長さは、地際から最上位節までの長さを測定する。最上位節は、完全展開葉の着生節とする。

形質 4　茎の太さ　　Char.4　Stem: width

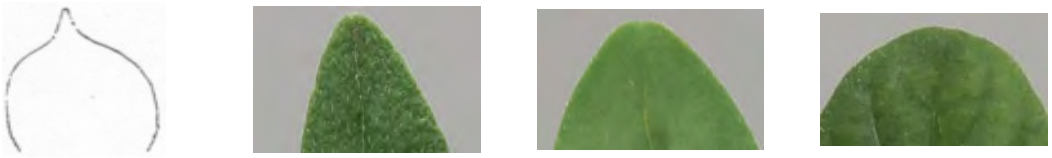


形質 9　葉身の形　　Char.9　Leaf blade: shape



1	2	3	4
広卵形	卵形	円形	楕円形
broad ovate	ovate	rounded	elliptic

形質 10　葉身の先端部の形　　Char.10　Leaf blade: shape of apex



1	2	3	4
鋭尖形	鋭形	鈍形	円形
acuminate	acute	obtuse	rounded

形質 11　葉身の基部の形　　Char.11　Leaf blade: shape of base



1	2	3	4	5
漸尖形	鈍形	円形	切形	心形
attenuate	obtuse	rounded	truncate	cordate

形質 12　葉身の色　　Char.12　Leaf blade: main color on upper side



1
黄緑
yellow green



2
緑
medium green



3
濃緑
dark green



4
灰緑
grey green

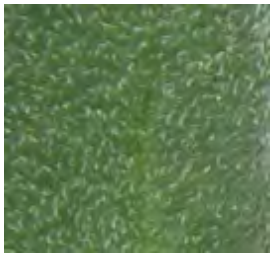
形質 13　葉身の毛　　Char.13　Leaf blade: density of pubescence of upper surface



1
無又は極粗
absent or very sparse



3
中
medium



5
極密
very dense

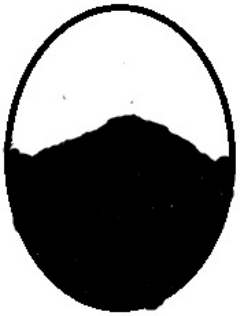
形質 16　葉身の斑の型
Char.16　Leaf blade: pattern of variegation



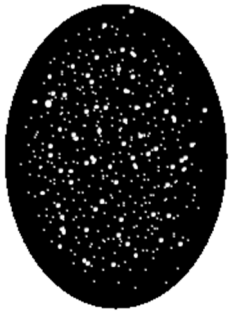
1
掃け込み斑
splashed



2
覆輪
margined

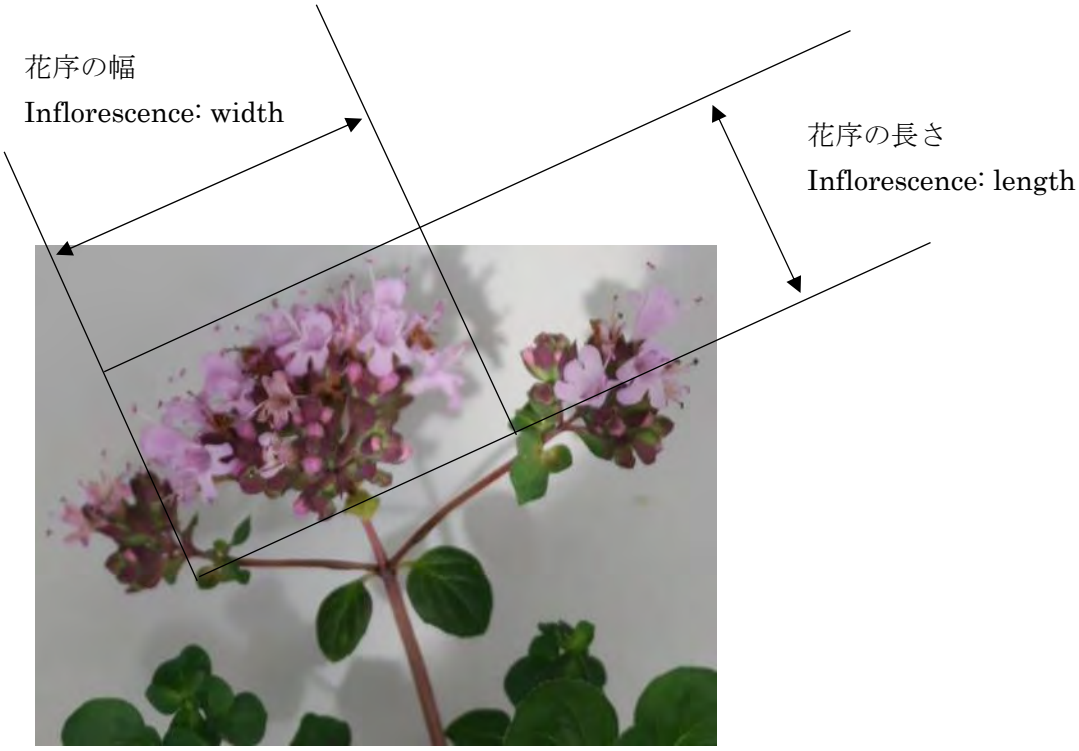


3
爪斑
tipped

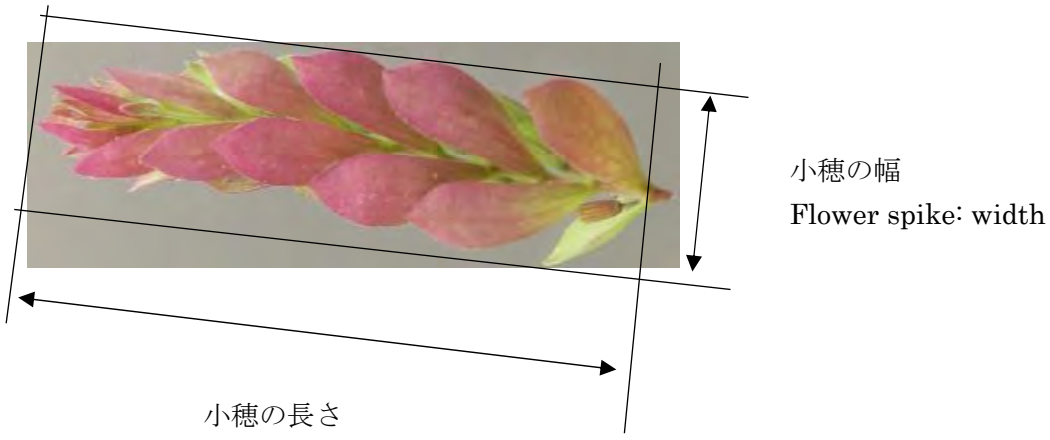


4
散斑
spotted

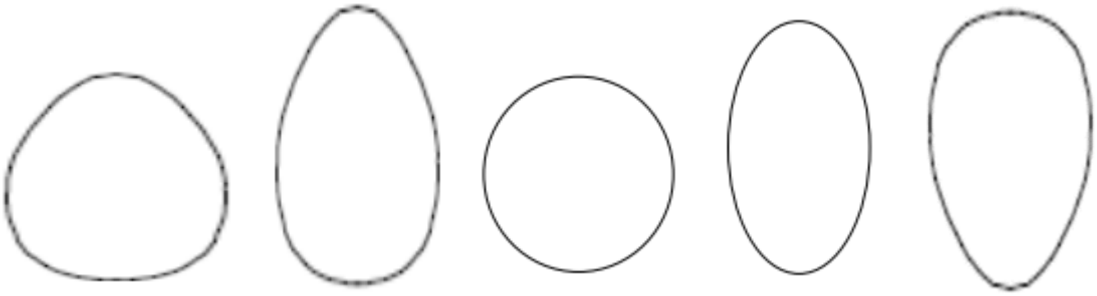
形質 18　花序の長さ　　Char.18　Inflorescence: length
形質 19　花序の幅　　Char.19　Inflorescence: width
株内の最大の花序（２節以上（小穂の最下節を含む）を有する一次側枝を除く。）を測定する。



形質 20　小穂の長さ　　Char.20　Flower spike: length
形質 21　小穂の幅　　Char.21　Flower spike: width

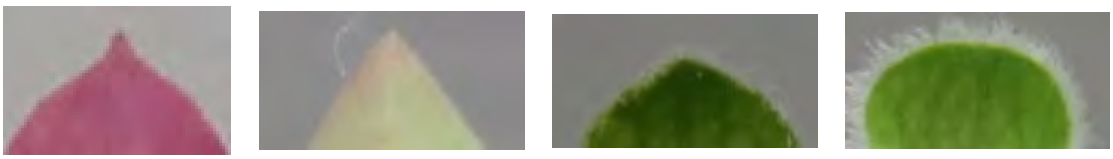


形質 22　ほう葉の形　　Char.22　Bract: shape



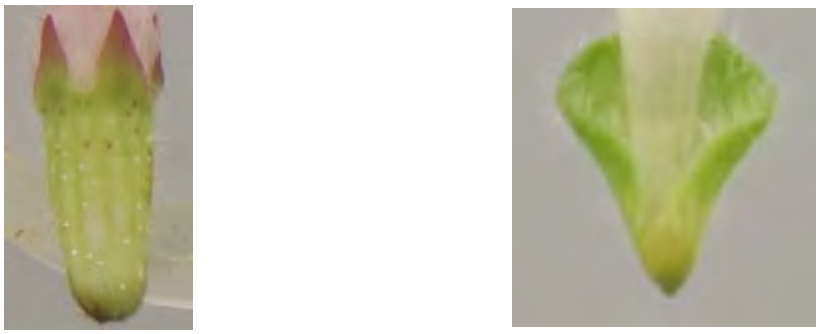
1	2	3	4	5
広卵形	卵形	円形	楕円形	倒卵形
broad ovate	ovate	rounded	elliptic	obovate

形質 23　ほう葉の先端部の形　　Char.23　Bract: shape of top



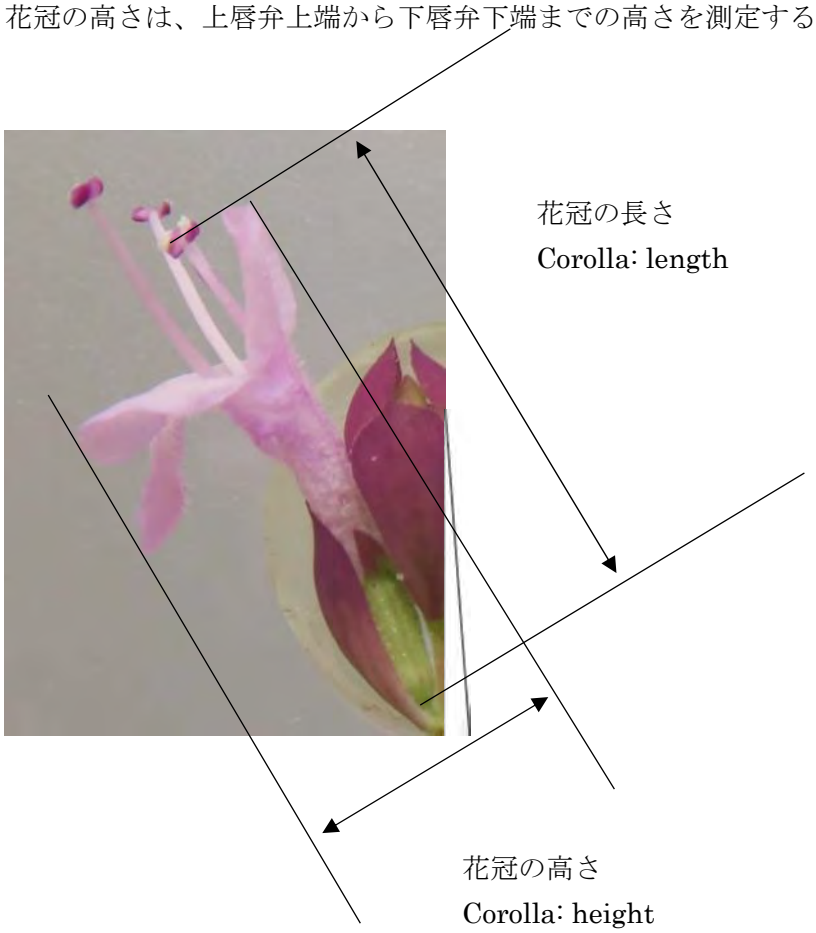
1	2	3	4
鋭尖形	鋭形	鈍形	円形
acuminate	acute	obtuse	rounded

形質 25　がくの形　　Char.25　Calyx: shape



1	2
円筒形	漏斗形
cylindrical	funnel-shaped

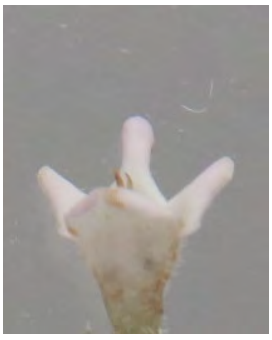
形質 27　花冠の長さ　　Char.27　Corolla: length
形質 28　花冠の高さ　　Char.28　Corolla: height
花冠の高さは、上唇弁上端から下唇弁下端までの高さを測定する。



形質 29　上唇弁上端に対するやくの位置　　Char.29　Anthers: level in relation to top of lip
１花の中での最長の雄ずいで評価する。
やくが上唇弁より先に出る場合を上位とする。



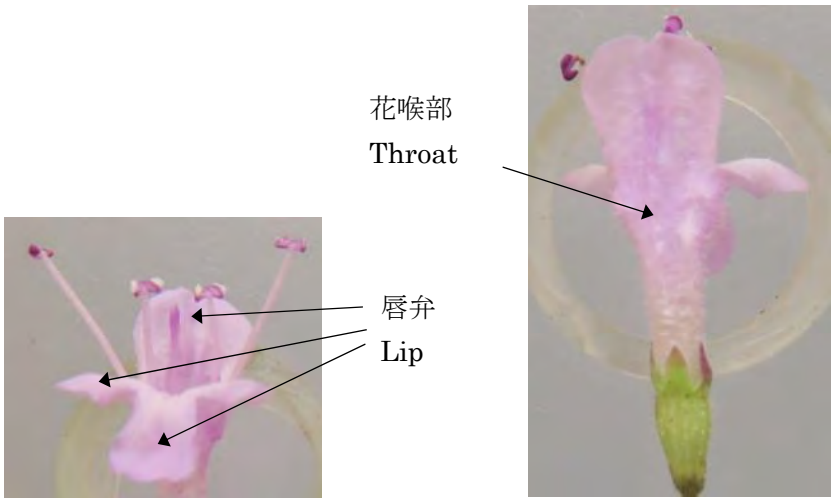
1
上位
above



3
下位
below

形質 30　唇弁の主な色　　Char.30　Lip: main color

形質 31　花喉部の外面の主な色　　Char.31　Throat: main color of outer side



資料 1-1-4

2026 年　月

キリ属

Paulownia

(*Paulownia* L.)

(案)

キリ属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

本審査基準は、キリ科（Paulowniaceae）キリ属（*Paulownia Siebold et Zucc.*）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　株分苗又は挿し木発根苗（1 年生苗）

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　15 個体以上

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　10 個体以上

ⅲ）栽培期間　　1 生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、葉は定植後 1 年目の生育盛期（秋）の典型的な形をした最大葉を用い評価を行う。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局が合意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数 10 の場合、許容数される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）伸長量（1 年目）（形質 5）

ⅱ）肥大量（1 年目）（形質 9）

ⅲ）葉身の切れ込みの有無（形質 16）

ⅳ）葉身の裏面の毛の粗密（形質 22）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す
MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		PQ (+)	樹形	Tree: type	定植後 2 年目の秋における樹の自然形	観察 VG	1 2 3 4	単幹状 分幹状 株立状 枝垂状	single stem forked stems multi stumps branches drooping		
2		PQ (+)	樹冠形	Tree: shape of crown	定植後 2 年目の秋における樹冠の形	観察 VG	1 2 3 4 5	円柱形 半楕円形 半球形 円錐形 広円錐形	cylindrical semi ellipsoid semi grobose conical semi conical		
3		QN	樹高（1 年目）	Tree: height (first year)	定植から 1 年目秋の地際から最頂部までの高さ	測定 cm MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極低 かなり低 低 やや低 中 やや高 高 かなり高 極高	very low very low to low low low to medium medium medium to height height height to very height very height	 在来ニホンギリ ボローニア ジャパロニア ナリコー	
4		QN	樹高（2 年目）	Tree: height (second yesr)	定植から 2 年目秋の地際から最頂部までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	low medium height		

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
5		QNG	幹の伸長量（1年目）	Trunk: extension (first year)	定植から1年目秋までの伸長量（1年目秋の樹の高さ－定植時の高さ）	測定 cm MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	 在来ニホンギリ ボローニア ジャパロニア ナリコー	
6		QN	幹の伸長量（2年目）	Trunk: extension (second yesr)	1年目秋から2年目秋までの伸長量（2年目秋の樹の高さ―1年目秋の樹の高さ）	測定 cm MS	3 5 7	小 中 大	small medium large		
7		QN	幹の太さ（1年目）	Trunk: diameter (first year)	定植から1年目秋の地際から30 cmの幹の太さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極細 かなり細 細 やや細 中 やや太 太 かなり太 極太	very thin very thin to thin thin thin to medium medium medium to thick thick thick to vary thick very yhick	 在来ニホンギリ ボローニア ジャパロニア ナリコー	
8		QN	幹の太さ（2年目）	Trunk: diameter (second yesr)	定植から2年目秋の地際から30 cmの幹の太さ	測定 mm MS	3 5 7	細 中 太	thin medium thick		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9		QNG	幹の肥大量（1年目）	Trunk: vigor (first year)	定植から1年目秋までの地際から30㎝の幹の肥大量（1年目秋の太さ－定植時の太さ）	測定 ㎝ MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	 在来ニホンギリ ボローニア ジャパロニア ナリコー	
10		QN	幹の肥大量（2年目）	Trunk: vigor (second yesr)	1年目秋から2年目秋までの肥大量（2年目秋の幹の太さ―1年目秋の幹の太さ）	測定 ㎝ MS	3 5 7	小 中 大	small medium large		
11		PQ	樹皮の色	Bark: color	定植1年目秋の幹の地際から1.0ｍの樹皮の色	観察 VG	1 2 3 4	淡褐 赤褐 褐 暗赤褐	light brown red brown brown dark red brown		
12		QL	樹皮の亀裂の有無	Bark: clack	定植1年目秋の幹の地際から1.0mの陽光面の樹皮の亀裂の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
13		QN (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	定植１年目の生育盛期の最大葉の葉身の基部から先端までの長さ	測定 cm MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	在来ニホンギリ ボローニア ジャパロニア ナリコー	
14		QN (+)	葉身の幅	Leaf blade: width	定植１年目の生育盛期の最大葉の葉身の最大幅	測定 cm MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極狭 かなり狭 狭 やや狭 中 やや広 広 かなり広 極広	very narrow very narrow to narrow narrow narrow to medium medium medium to broad broad broad to very broad very broad	在来ニホンギリ ボローニア、ジャヤパロニア	
15		MS	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width	定植１年目の生育盛期の最大葉の葉身の長さ／幅	測定 MS	1 2 3	小 中 大	small medium large	ボローニア、ナリコー、在来ニホンギリ、ジャパロニア	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16		QLG	葉身の切れ込みの有無	Leaf blade: incision	定植1年目の生育盛期の最大葉の葉身の切れ込みの有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
17		QN	葉身の周縁部の鋸歯の深さ	Leaf blade: depth of serration of margin	定植1年目の生育盛期の最大葉の葉身の周縁部の鋸歯の深さ	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極浅 浅 中 深 極深	absent or very shallow shallow medium deep very deep		
18		QN	葉身の裂片の数	Leaf blade: number of lobes	定植1年目の生育盛期の最大葉の葉身の裂片の数	観察 VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few medium many		
19		QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	定植1年目の生育盛期の最大葉の葉身の凹凸の強弱	観察 VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong		
20		PQ	中肋の色	Leaf blade: color of vein	定植1年目の生育盛期の最大葉の葉身の中肋の色	観察 VG	1 2 3 4	白 黄緑 淡緑 緑	white yellow green light green green		
21		QN	葉身の表面の毛の粗密	Leaf blade: hair on upper side	定植1年目の生育盛期の葉の葉身表面の毛の粗密	観察 VG	1 2 3 4 5	極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense		

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
22		QNG	葉身の裏面の毛の粗密	Leaf blade: hair on lower side	定植１年目の生育盛期の最大葉の葉身裏面の毛の粗密	観察VG	1 2 3 4 5	極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense		
23		QN	葉身のアントシアニンの着色	Leaf blade: anthocyanin coloration	定植１年目の生育盛期の最大葉の葉身の表面のアントシアニン着色の強弱	観察VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		
24		QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color	定植１年目の生育盛期の最大葉の葉身の表面の緑色の濃淡	観察VG	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark		
25		QN	葉柄の裏面の毛	Petiole: hair on lower side	定植１年目の生育盛期の最大葉の葉柄の裏面の毛の粗密	観察VG	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26		QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	定植1年目の生育盛期の最大葉の葉柄の長さ	測定 cm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 在来ニホンギリ ボローニア、ジャパロニア ナリコー	
27		QN (+)	葉柄の太さ	Petiole: diameter	定植1年目の生育盛期の最大葉の最も太い葉柄の最大部の太さ	測定 ㎜ MS	1 2 3 4 5	極細 細 中 太 極太	very thin thin medium thick very thick	 在来ニホンギリ ボローニア、ジャパロニア ナリコー	
28		QN (+)	葉柄のアントシアニンの着色	Petiole: anthocyanin coloration	定植1年目の生育盛期の最大葉の葉柄のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		
29		QL (+)	着らいの有無	Flower bud	定植1年目の秋の着らいの有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
30		QN	開花期	Time of flowering	定植2年目の夏までにつぼみの50%が開花した日の早晩(開花した品種に限る。)	観察 VG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early same late very late		

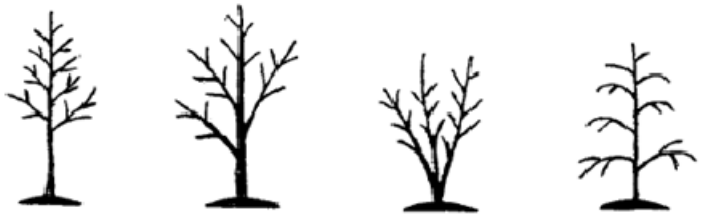
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31		PQ	花の主な色	Flower: main color	開花時の花の表面の主な色(定植2年目の夏までに開花した品種に限る)	観察 VG	1 2 3 4 5	白 淡桃 桃 淡赤紫 赤紫	white light pink pink light red purple red purple		
32		PQ	花の2次色	Flower: secondary color	開花期の花の表面の主な色以外の色(定植2年目の夏までに開花した品種に限る)	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	無 緑 黄 白 淡赤 紅 濃赤	absent green yellow white light red red dark red		
33		QN (+)	花冠の長さ	Corolla: length	開花期に十分に発達した花の花冠の長さ(定植2年目の夏までに開花した品種に限る)	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long		
34		QN (+)	花冠の幅	Corolla: width	開花期に十分に発達した花の花冠の最長幅(定植2年目の夏までに開花した品種に限る)	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad		
35		PQ (+)	花冠の筒部の形	Corolla: tube shape	開花期に十分に発達した花の花冠の筒部の形	観察 VG	1 2 3	筒状 漏斗状 釣鐘状	tubular funnel form campanulate		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36		QL (+)	花冠筒部の溝の有無	Corolla：tube grooving	開花期に十分に発達した花の花冠筒部の溝の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
37		PQ (+)	花冠の内面の斑点の分布の大きさ	Corolla: area of dots on inner	開花期に十分に発達した花の花冠の内面の斑点の分布	観察 VG	1 2 3 4	無又は極小 小 中 大	absent to very small small medium large		

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

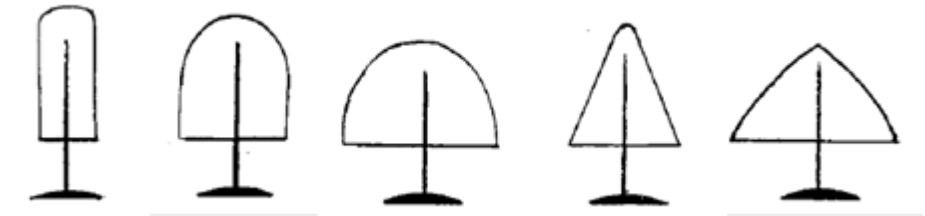
形質 1　樹形　Char.1 Tree: type

定植後 2 年目の秋における樹形を下図を参照し観察する。



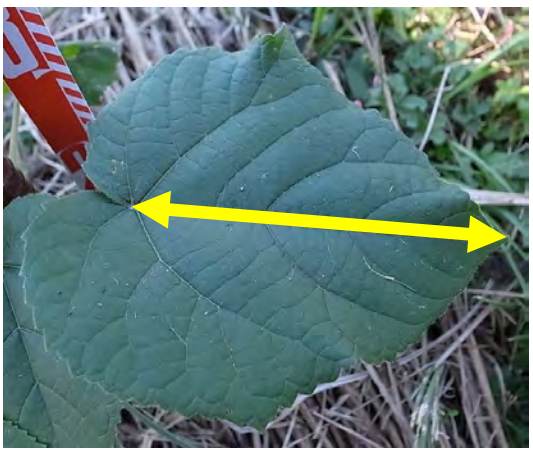
1	2	3	4
単幹状	分幹状	株立状	枝垂状
single stem	forked stems	multi stumps	branches drooping

形質 2　樹冠形　Char.2　Tree: shape of crown

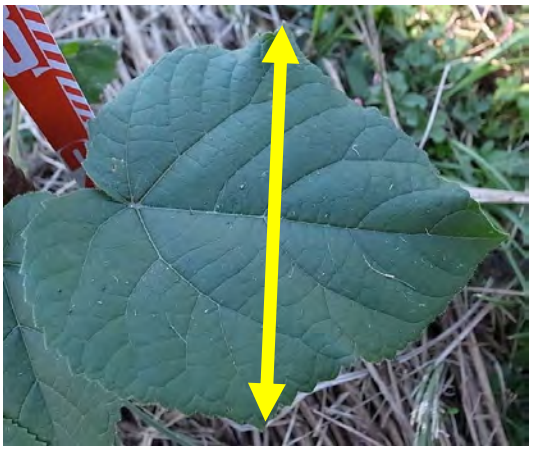


1	2	3	4	5
円柱形	半楕円形	半球形	円錐形	短円錐形
cylindrical	semi ellipsoid	semi grobose	conical	short conical

形質 13　葉身の長さ　　Char.13　Leaf blade: length



形質 14　葉身の幅　　Char.14　Leaf blade; width



形質 16　葉身の切れ込みの有無　　Char.4 Leaf blade: incision



1
無
absent



9
有
present

形質 26　葉柄の長さ　　Char.26　Petiole: length
形質 27　葉柄の太さ　　Char.27　Petiole: diameter



形質 28　葉柄のアントシアニンの着色　Char.28 Petiole: anthocyanin coloration



1
無又は極弱
absent or very weak



3
弱
weak



5
中
medium



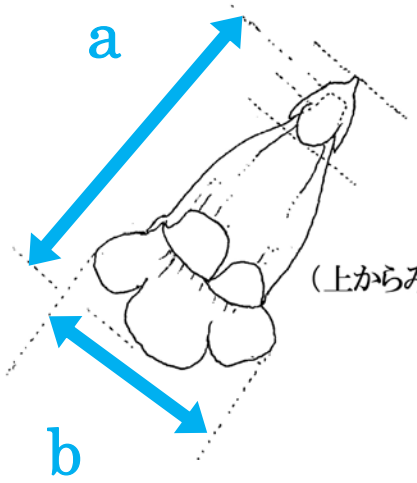
7
強
strong

形質 29　着らいの有無　Char.29 Flower bud



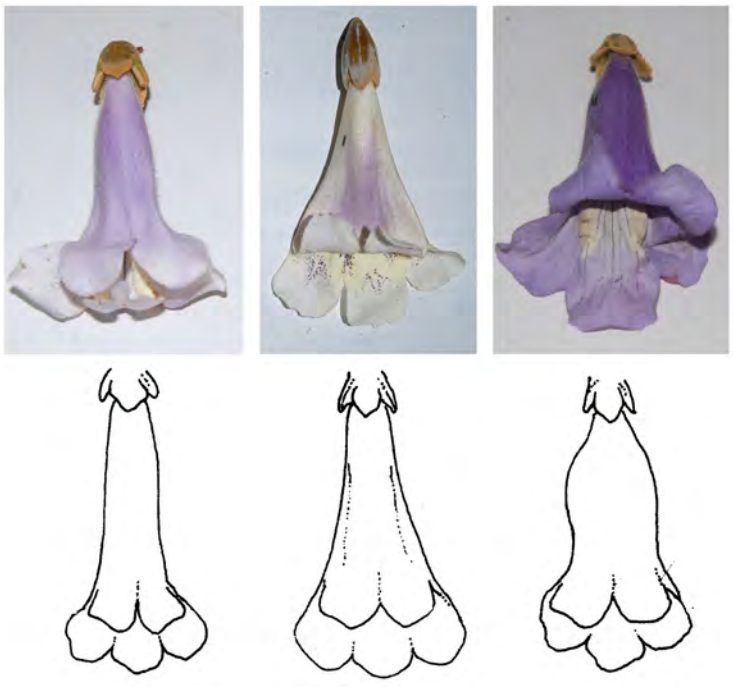


形質 33　花冠の長さ　　Char.33 Corolla: length
形質 34　花冠の幅　　Char.34 Corolla: width



a: 花冠の長さ Corolla length
b: 花冠の幅 Corolla width

形質 35　花冠の筒部の形　　Char.35 Corolla：tube shape



1
筒状
tubular

2
漏斗状
funnel form

3
釣鐘状
campanulate

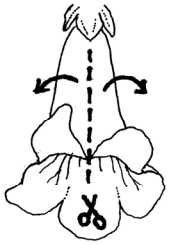
形質 36　花冠筒部の溝の有無　　Char.36 Corolla：tube grooving

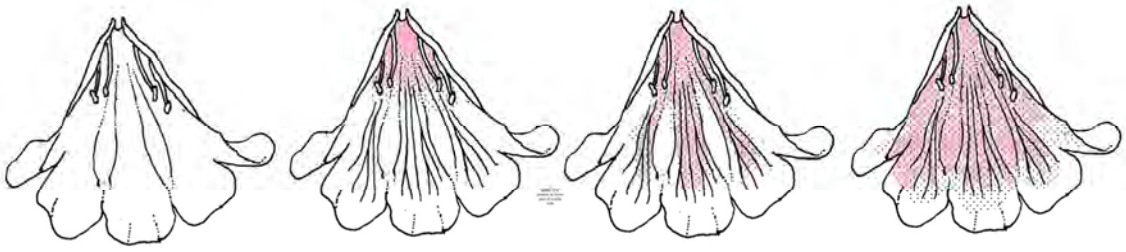


1
無
absent

9
有
present

形質 37　花冠の内面の斑点の分布の大きさ　　Char.37 Corolla: area of dots on inner





1
無又は極小
absent or very small

2
小
small

3
中
medium

4
大
large

資料 1-1-5

2026 年　月

カノコソウ種

Japanese valerian

(*Valeriana fauriei* Briq.)

(案)

カノコソウ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、スイカズラ科（Caprifoliaceae）カノコソウ属（*Valeriana* L.）のカノコソウ種（*V. fauriei* Briq.）全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　根茎

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　20 株

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　15 個体

ⅲ）栽培期間　　1 生育周期。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個について、調査する。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　全生育期間とし、最適ステージに行う。特性表の調査方法欄の下に記した記号がある場合は、以下に示した指示に基づいて調査を行う。

(a)　花序内の半数以上の小花が開花した時期

(b)　開花期以降の植物体が十分に生育し、葉が枯れ始める前の時期

(c)　摘蕾した区において、葉が黄化又は枯れ始めて、収穫期に達した時期

v）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 15 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）花茎の数（形質 4）

ⅱ）開花期（形質 11）

ⅲ）小葉の形（形質 18）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN	株の幅	Plant: width	株の最大幅	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 イワサキ系 北海吉草、カメバキッソウ 	
2		QN	花茎の毛	Stem: node hair	花茎の節の毛の多少	観察 VG (a)	1 2 3	無又は少 中 多	absent to few medium many	 北海吉草、カメバキッソウ、イワサキ系 	
3		QN	葉の数	Plant: number of leaves	1株に着生する根出葉の数	測定 MS (b)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	カメバキッソウ イワサキ系 北海吉草 	
4		QN (+)	葉の長さ	Leaf: length	最大葉の長さ	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 カメバキッソウ イワサキ系 北海吉草 	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
5		QN (+)	葉の幅	Leaf: width	最大葉の幅	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 カメバキッソウ 北海吉草、イワサキ系	
6		QN	葉の長さ／葉の幅	Leaf: ratio of length / width	葉の幅に対する葉の長さの比	測定 比 MS (b)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 イワサキ系 北海吉草、カメバキッソウ	
7		QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	最大葉の葉柄の長さ	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 イワサキ系’、カメバキッソウ 北海吉草	
8		QN (+)	葉柄のアントシアニン着色	Petiole: anthocyanin coloration	収穫期の葉柄基部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	カメバキッソウ 北海吉草 イワサキ系	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9		QN	小葉の数	Leaflet: number of leaflet	最大葉に着生する小葉の数	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	 イワサキ系 北海吉草、カメバキッソウ 	
10		QN (+)	小葉の長さ	Leaflet: length	最大葉の頂小葉の葉身の長さ（小葉柄を除く）	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 カメバキッソウ 北海吉草 イワサキ系 	
11		QN (+)	小葉の幅	Leaflet: width	最大葉の頂小葉の葉身の最大幅	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 カメバキッソウ 北海吉草 イワサキ系 	
12		QN	小葉の長さ／小葉の幅	Leaflet: ratio of length of terminal leaf blade / width of terminal leaf blade	頂小葉の最大幅に対する頂小葉の長さの比	測定 比 MS (b)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 カメバキッソウ 北海吉草、イワサキ系 	
13		PQ G (+)	小葉の形	Leaflet: shape	頂小葉の形	観察 VG (b)	1 2 3	円形 卵形 披針形	circular ovate lanceolate	カメバキッソウ 北海吉草、イワサキ系 	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
14		QN	小葉の鋸歯の数	Leaflet: number of serrations	最大葉の頂小葉の鋸歯の数	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	 カメバキッソウ 北海吉草 イワサキ系	
15		QN (+)	小葉の鋸歯の深さ	Leaflet: depth of serrations	最大葉の頂小葉の鋸歯の深さ	観察 VG (b)	1 2 3	浅 中 深	shallow medium deep	カメバキッソウ 北海吉草 イワサキ系	
16		QN	葉身の周縁部の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	頂小葉の周縁部の波打ちの強弱	観察 VG (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	北海吉草、カメバキッソウ、イワサキ系’	
17		QN (+)	小葉の先端部の角度	Leaflet: angle of tip	最大葉の頂小葉の先端部の角度	観察 VG (b)	1 2 3	鋭 中 鈍	acute medium obtuse	イワサキ系 北海吉草 カメバキッソウ	
18		QN	小葉の光沢	Leaflet: glossiness	頂小葉の表面の光沢の強弱	観察 VG (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	イワサキ系 北海吉草、カメバキッソウ	
19		QN (+)	小葉の凹凸	Leaflet: blistering	頂小葉の表面の凹凸の強弱	観察 VG (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	イワサキ系 北海吉草、カメバキッソウ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20		QN	小葉の表面の毛	Leaflet: hair on upper side	頂小葉の表面の毛の粗密	観察 VG (b)	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse medium dense	北海吉草、カメバキッソウ、イワサキ系’	
21		QN	小葉の裏面の毛	Leaflet: hair on lower side	頂小葉の裏面の毛の粗密	観察 VG (b)	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse medium dense	北海吉草、カメバキッソウ、イワサキ系	
22		PQ (+)	葉身の表面の主な色	Leaf: main color on upper side	頂小葉の表面の主な色	観察 VG (b)	1 2 3 4	黄緑 淡緑 緑 濃緑	yellow green light green green dark green	カメバキッソウ 北海吉草 イワサキ系	
23		QN	花茎の数	Scape: number	開花期における株あたりの花茎の数	測定 MS (a)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	 北海吉草、イワサキ系 カメバキッソウ	
24		QN	花茎の長さ	Scape: length	最長花茎の長さ	測定 cm MS (a)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 イワサキ系 北海吉草、カメバキッソウ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25		QN	花茎の太さ	Scape: thickness	最長花茎の中央部の太さ	測定 mm MS (a)	1 2 3 4 5	極細 細 中 太 極太	very thin thin medium thick very thick	 カメバキッソウ 北海吉草、イワサキ系	
26		QN	花序の大きさ	Inflorescence: size	花序の最大幅	測定 cm MS (a)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 イワサキ系 北海吉草、カメバキッソウ	
27		PQ (+)	蕾の色	Bud: color	開花直前の蕾の色	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	白 淡桃 桃 淡赤紫 赤紫	white light pink pink light red purple red purple	 カメバキッソウ 北海吉草 イワサキ系	
28		QN (+)	小花の大きさ	Floret: size	最大の小花の最大径	測定 mm MS (a)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 北海吉草、カメバキッソウ、イワサキ系	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
29		PQ (+)	小花の色	Floret: color	開花時の小花の色	観察 VG (a)	1	白	white		
							2	淡桃	light pink	北海吉草、カメバキッソウ	
							3	桃	pink	イワサキ系	
							4	淡赤紫	light red purple		
							5	赤紫	red purple		
30		PQ (+)	ほうの色	Bract: color	ほうの色	観察 VG (a)	1	黄緑	yellow green		
							2	緑	green	北海吉草、カメバキッソウ	
							3	赤紫	red purple	イワサキ系	
							4	紫	purple		
31		QN	ほうの長さ	Bract: length	ほうの長さ	観察 VG (a)	1	短	short		
							2	中	medium	北海吉草、カメバキッソウ、イワサキ系	
							3	長	long		
32		QN	根茎と根の重さ	Rhizome and root: weight	収穫期の根茎と根の株あたり生重量	測定 g MG (c)	1	極軽	very light	カメバキッソウ	
							2	軽	light	イワサキ系	
							3	中	medium	北海吉草	
							4	重	heavy		
							5	極重	very heavy		
33		QN	収穫期の根の太さ	Root: thickness	収穫期の根の最大直径	測定 mm MS (c)	1	極細	very thin		
							2	細	thin		
							3	中	medium	北海吉草、イワサキ系	
							4	太	thick	カメバキッソウ	
							5	極太	very thick		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34		QNG	開花期	Time of flowering	花序内の半数の小花が開花した花序を持つ株が、供試株数の 50%を超えた時期の早晩	測定月日 MG (a)	1	極早	very early		
							2	かなり早	very early to early		
							3	早	early		
							4	やや早	early to medium		
							5	中	medium	北海吉草、カメバキッソウ	
							6	やや晩	medium to late		
							7	晩	late	イワサキ系	
							8	かなり晩	late to very late		
							9	極晩	very late		

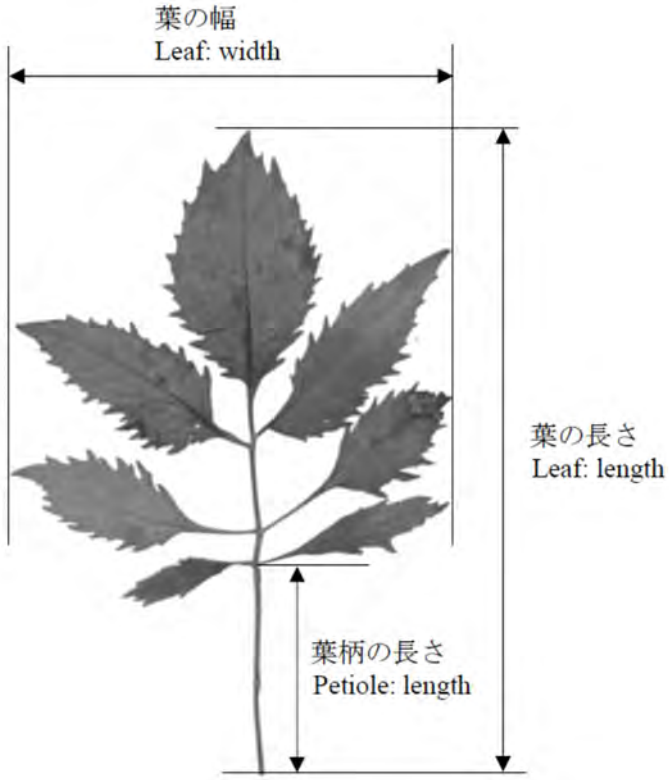
標準品種「北海吉草」、「カメバキッソウ」、「イワサキ系」は、国立研究開発法人医薬基盤・健康・研究所　薬用植物資源研究センター　北海道研究部から入手した。

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 4　葉の長さ　Char.4 Leaf: length

形質 5　葉の幅　Char.5 Leaf: width

形質 7　葉柄の長さ　Char.7 Petiole: length

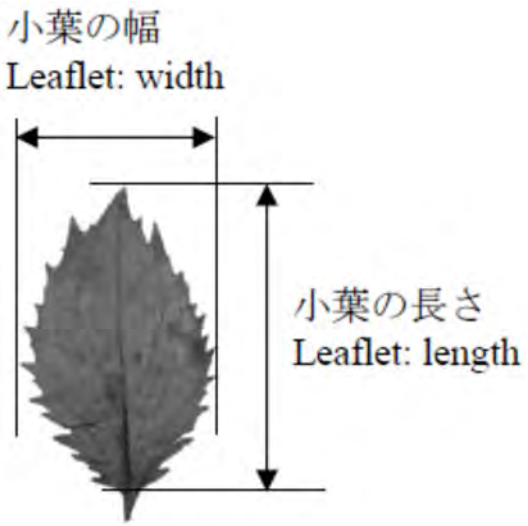


形質 8　葉柄のアントシアニン着色　Char.8　Petiole: anthocyanin coloration

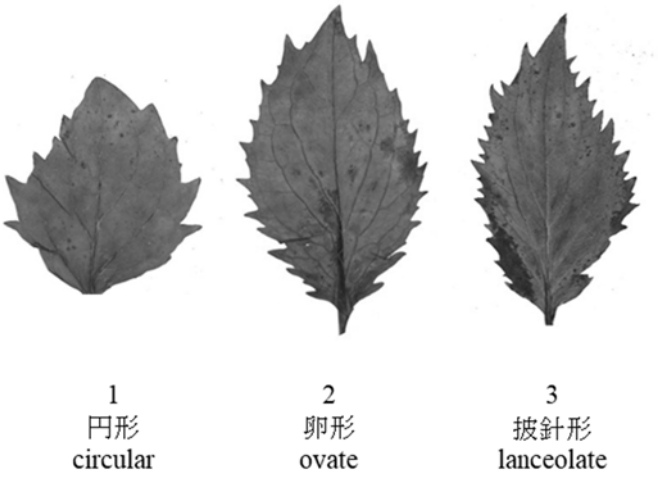


形質 10　小葉の長さ　Char.10 Leaflet: length

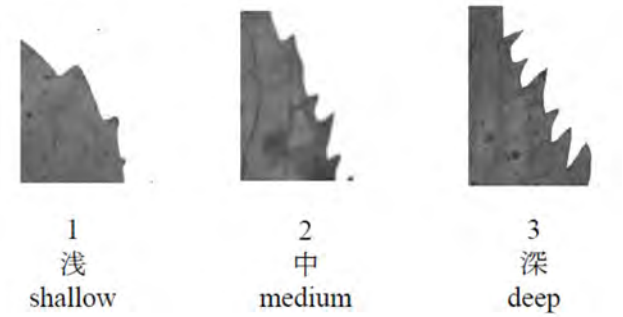
形質 11　小葉の幅　Char.11 Leaflet: width



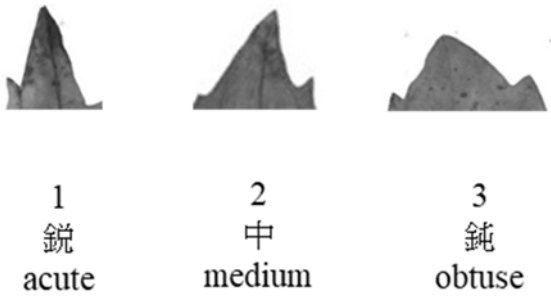
形質 13　小葉の形　Char.18 Leaflet: shape



形質 15　小葉の鋸歯の深さ　Char.15 Leaflet: depth of serration



形質 17　小葉の先端部の角度　Char.17 Leaflet: tip angle



1
鋭
acute

2
中
medium

3
鈍
obtuse

形質 19　葉身の凹凸　Char.19 Leaf blade: blistering



1
無又は弱
absent or weak

2
中
medium

形質 22　葉身の表面の主な色　Char.22 Leaf: main color of midrib on upper side



1
黄緑
yellow green

4
深緑
dark green

形質 27　蕾の色　Char.27 Bud: color



1
白
white

3
桃
pink

5
赤紫
red purple

形質 28　小花の大きさ　Char.28 Floret: size



形質 29　小花の色　Char.29 Floret: color



1
白
white



3
桃
pink

形質30　ほうの色　Char.30 Bract: color



2
緑
green

3
赤紫
red purple

資料 1-2-1

2026 年　月
TG/175/4 2019-10-29 に準拠

カンガルーポー

Kangaroo paw

(*Anigozanthos* Labill.)

Black kangaroo-paw

(*Macropidia fuliginosa* (Hook.) Druce)

（案）

カンガルーポー審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準はハエモドルム科（Haemodoraceae）のアニゴザントス属（*Anigozanthos* Labill.）及びマクロピディア属（*Macropidia* J. Drumm. ex Harv.）のマクロピディア　フリギノサ種（*M. fuliginosa* (Hook.) Druce）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　発根苗

ⅱ）提出時期　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　15 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　10 個体

ⅲ）栽培期間　　1 生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体９個体又は各個体から採取した部分９個とする。

調査時期等　　他に指示がない限り、開花盛期に調査する。特性表の調査方法の欄の(a)又は(b)の記号によって示された調査方法の詳細は、以下のとおりである。

(a) ロゼットの中央部から完全展開した葉について調査する。

(b) 花筒の毛の色は、最大３色まで調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１%、受容確率95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が10 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）草丈（形質１）

ⅱ）花序の分枝（形質８）

ⅲ）花筒の色（形質 15）

ⅳ）花被の裂片の反転（形質 20）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々を測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々を観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN (*) G	草丈	Plant: height	地際から株の最頂部までの高さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG	3 5 7	低 中 高	short medium tall	ﾋﾟﾝｸ ﾌﾟﾘﾝｾｽ ﾚｯﾄﾞｽﾀｰ ｲｴﾛｰｽﾀｰ	
2	2	QN (*)	花序の数	Plant: number of inflorescences	主花茎に着く花序の数	測定/ 観察 MS/ VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		
3	3	QN	葉の長さ	Leaf: length	主花茎に着く最大葉の長さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾚｯﾄﾞｽﾀｰ ｲｴﾛｰｽﾀｰ	
4	4	QN	葉の幅	Leaf: width	主花茎に着く最大葉の最大幅	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾚｯﾄﾞｽﾀｰ ｲｴﾛｰｽﾀｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	QN (*) (+)	葉の向き	Leaf: attitude	茎に対する葉基部の向き	観察 VG (a)	1 2 3	直立 半直立 半直立～水平	erect semi erect semi erect to horizontal		
6	6	QN	葉の光沢の強弱	Leaf: glaucosity	葉表面の光沢の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong		
7	7	QN (*)	葉の周縁の毛	Leaf: hairiness of margin	葉の周縁の毛の粗密	観察 VG (a)	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or weak medium strong	ｲｴﾛｰｽﾀｰ *A.manglesii*	
8	8	QL G (*) (+)	花序の分枝	Inflorescence: ramification	花序の分枝の回数	観察 VG	1 2 3 4	無 １回 ２回 ３回	absent primary secondary tertiary		
9	9	QN **(*)** (+)	花序の最下側枝の長さ	Inflorescence: length of lowest lateral branch	主花茎最下位に着く側枝の長さ	測定/観察 cm MG/ MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		
10	10	QN **(*)**	花序の花の数	Inflorescence: number of flowers	１花序に着く３㎜より長い花の数	測定/観察 MS/ VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		

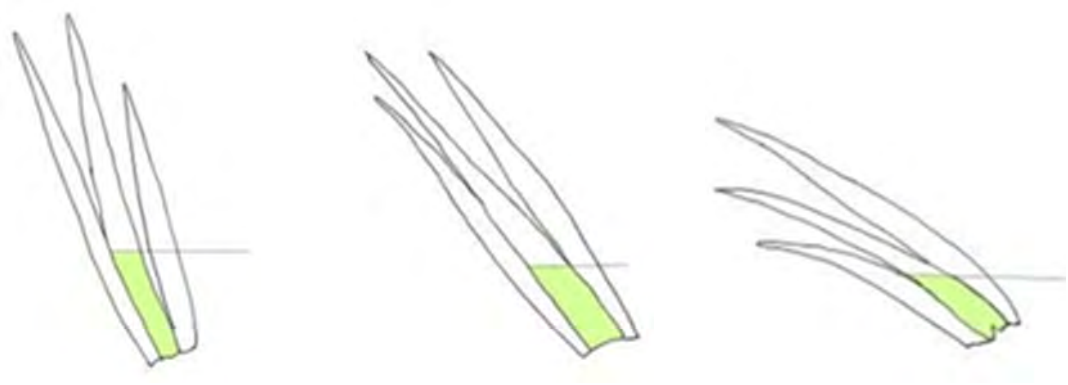
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	PQ	花柄の毛の色	Pedicel: color of hairs	花柄の毛の色	観察 VG		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
12	12	QN (+)	花被筒部の長さ	Perianth tube: length	花被筒部の長さ	測定/観察 cm MG/MS/VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	イエロースター	
13	13	QN (+)	花被筒部の幅	Perianth tube: width	花被筒部の幅	測定/観察 mm MG/MS/VG	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	イエロースター	
14	14	PQ (*) (+)	花被筒部の側面の形	Perianth tube: profile	花被筒部を側面から見た形	観察 VG	1 2 3 4 5	先端が広がる 均等に広がる 中央がすぼまる 平行 中央が広がる	flared distally broadening evenly constricted medially parallel expanded medially		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	PQ G (*) (+)	花被筒部の色	Perianth tube: color	花被筒部の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	緑 黄 橙 桃 赤 紫 黒	green yellow orange pink red purple black		
16	16	QN	花被筒部の毛の色数	Perianth tube hair: number of colors	花被筒部の毛の色の数	観察 VG (b)	1 2 3	１ ２ ３	one two three		
17	17	PQ	花被筒部の毛の先端部の色	Perianth tube hair: color of upper third	花被筒部の毛の先端側３分の１の色	観察 VG (b)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
18	18	PQ	花被筒部の毛の中央部の色	Perianth tube hair: color of middle third	花被筒部の毛の中央３分の１の色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	黄白 緑 黄 橙 赤 赤紫 灰紫 青 黒	yellowish white green yellow orange red reddish purple greyed purple blue black		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	QN	花被の裂片の長さ	Perianth lobe: length	花被の最長裂片の長さ	測定/観察 mm MS/VG	1 2 3	短 中 長	short medium long		
20	20	QN G (*) (+)	花被の裂片の反転	Perianth lobes: reflexing	花被の裂片の反転の強弱	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ｲｴﾛｰｽﾀｰ ﾚｯﾄﾞｽﾀｰ ｱｰﾘｰｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ	
21	21	QL (*) (+)	やくの数	Flower: number of anthers at top of perianth	花被先端のやくの数	観察 VG	1 2 3	２本 ４本 ６本	two four six		
22	22	PQ	子房の毛の色	Ovary: color of hairs	子房表面の毛の色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
23	23	QN (+)	柱頭のやくに対する位置	Flower: position of stigma in relation to anthers	柱頭のやくに対する位置	観察 VG	1 2 3	下位 同位 上位	below same level above		
24	24	QN	開花始期	Time of beginning of flowering	10 株のうち４株で１花以上開花した時期	観察 VG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ﾚｯﾄﾞｽﾀｰ ｲｴﾛｰｽﾀｰ	

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

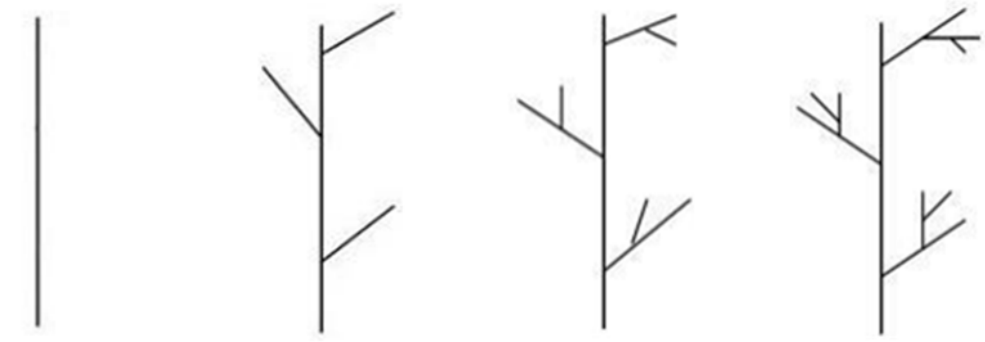
形質 5　葉の向き　Char.5　Leaf: attitude



1	2	3
直立	半直立	半直立～水平
erect	semi erect	semi erect to horizontal

葉の向きは、葉基部の三分の一で観察する。　Observed on the basal third of the leaf.

形質 8　花序の分枝　　Char.8　Inflorescence: ramification

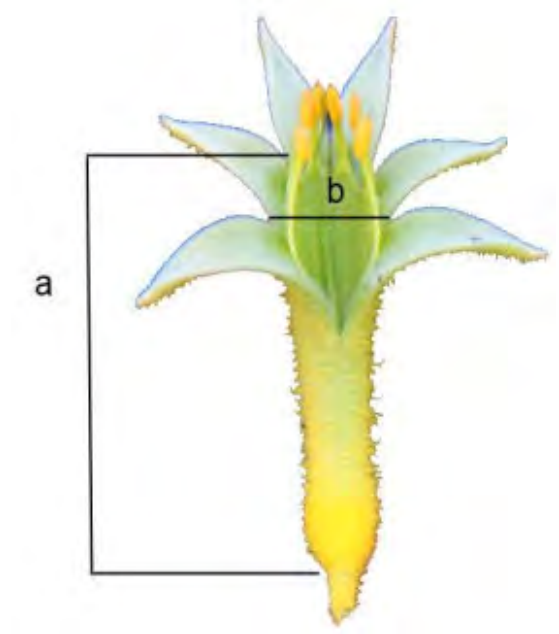


1	2	3	4
無	1 回	2 回	3 回
absent	primary	secondary	tertiary

形質 9　花序の最下側枝の長さ　　Char.9　Inflorescence: length of lowest lateral branch



形質 12　花被筒部の長さ　　Char.12　Perianth tube: length
形質 13　花被筒部の幅　　Char.13　Perianth tube: width



a =　花被筒部の長さ
　　Perianth tube: length
b =　花被筒部の幅
　　Perianth tube: width

花被筒部の長さは、花被筒部の基部から一番上の花被の裂片の基部までの長さとする。

The distance from the base of the perianth tube to the base of the uppermost perianth lobe should be observed.

花被筒部の幅は、花被の裂片の基部における花被筒部の横断面の幅とする。

Cross sectional width of the perianth tube should be observed at the base of the perianth lobes.

形質 14　花被筒部の側面の形　　Char.14　Perianth tube: profile



1	2	3	4	5
先端が広がる	均等に広がる	中央がすぼまる	平行	中央が広がる
flared distally	broadening evenly	constricted medially	Parallel	expanded medially

形質 15　花被筒部の色　　Char.15　Perianth tube: color

花被筒部の色は、色の全体的な印象とする。

The overall impression of color should be observed.

形質 20　花被の裂片の反転　　Char.20　Perianth lobes: reflexing



1	3	5	7
無又は極弱	弱	中	強

形質 21　やくの数　　Char.21　Flower: number of anthers at top of perianth



1
2 本
two



2
4 本
four



3
6 本
six

形質 23　　柱頭のやくに対する位置
Char.23　　Flower: position of stigma in relation to anthers



1
下位
below



2
同位
same level



3
上位
above

資料 1-2-2

2026 年　月
TG/335/1 2020-12-17 に準拠

カラシナ種

Brown mustard

(*Brassica juncea* (L.) Czern.)

(案)

カラシナ種審査基準（案）

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、アブラナ科（Brassicaceae）アブラナ属（*Brassica* L.）のカラシナ種（*Brassica juncea* (L.) Czern.）の全ての品種に適用する。なお、本種と形態的に類似する交雑種については、本基準が適用可能か検討した上で用いる。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　10ｇ又は 3,000 粒

種子は、発芽率、水分含量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　60 個体（2 区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 30 個体又は各個体から採取した部分 30 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　全生育期間とし、それぞれの形質の評価は特性表の該当欄中に十進コード（00-89）で示される最適ステージに行う。それぞれの生育ステージの十進コードは「Ⅸ．生育ステージに関する十進コード」表に記載。また、特性表の調査方法欄の下に記した記号がある場合は、以下に示した指示に基づいて調査を行う。

(a)　十分に発達した劣化していない典型的な葉で調査を行う。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、主に自家受粉する品種及び他家受粉により集団採取する品種においては、母集団標準 2%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 4 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 3 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）種子の色（形質 1）

ⅱ）葉の型（形質 5）

ⅲ）葉身の周縁部の鋸歯（葉の型が全裂の品種を除く。）（形質 18）

ⅳ）葉身の凹凸（葉の型が全裂の品種を除く。）（形質 20）

ⅴ）中肋の幅（葉の型が全縁の品種に限る。）（形質 21）

ⅵ）球の形成の有無（形質 23）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1	1	QL (*) G	種子の色	Seed: color	種子の表面の色（提出種子により判定）	観察 VG 00	1 2	黄 黒褐	yellow blackish brown	黄がらし菜 赤大葉高菜、 三池高菜	
2	2	QN	胚軸のアントシアニンの着色	Hypocotyl: anthocyanin coloration	子葉完全展開時の胚軸のアントシアニン着色の強弱	観察 VG 10	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	TTK456 清国青菜 黄がらし菜	
3	3	QN (+)	子葉の長さ	Cotyledon: length	子葉完全展開時の子葉の長さ	測定 mm MS 10	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 パーマグリーン かつお菜 清国青菜	
4	4	QN (+)	子葉の幅	Cotyledon: width	子葉完全展開時の子葉の幅	測定 mm MS 10	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 純系山汐菜 黄がらし菜	
5	5	PQ (*) (+) G	葉の型	Leaf: type	葉の型	観察 VG (a) 19	1 2 3	全縁 裂縁 全裂	entire lobed divided	赤大葉高、結球高菜、 三池高菜、清国青菜、 さがみグリーン 黄がらし菜 アカリアス	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	PQ (*) (+)	葉の形	Leaf: shape	葉柄を除いた葉の形	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5 6	卵形 円形 楕円形 長楕円形 倒卵形 へら形	ovate circular elliptic oblong obovate spatulate	 結球高菜 アカリアス かつお菜 黄がらし菜	
7	7	QN (*) (+)	葉の姿勢	Leaf: attitude	葉の姿勢（葉の基部の開張の程度）	観察 VG 19	1 2 3 4 5	直立 やや直立 斜上 やや水平 水平	erect erect to semi-erect semi-erect semi-erect to horizontal horizontal	ちりめん葉からし菜 黄がらし菜 辛神	
8	8	QN (+)	葉の長さ	Leaf: length	葉の長さ	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	短 中 長	short medium long	 三池高菜 赤大葉高菜	
9	9	QN (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の最大幅	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	 三池高菜 かつお菜	
10	10	QN (*) (+)	葉柄の長さ	Leaf: length of petiole	葉柄の長さ	測定 cm MS (a) 19	1 2 3 4 5	無又は極短 短 中 長 極長	absent or very short short medium long very long	セリフォン 三池高菜	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11	11	QN (+)	葉柄の幅	Leaf: width of petiole	葉柄の最大幅	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	黄がらし菜 清国青菜	
12	12	QN (+)	葉身の先端小葉の大きさ(葉の型が全縁の品種を除く。)	Only varieties with leaf: type: lobed or divided: Leaf blade: size of terminal lobe	葉全体に対する先端小葉の大きさ	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 わさび菜 黄がらし菜 パーマグリーン	
13	13	QN (*)	葉身の側小葉の数	Leaf blade: number of lateral lobes	葉身の先端小葉を除いた側小葉の数	観察 VG (a) 19	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	赤大葉高菜 黄がらし菜 アカリアス、 TTK456	
14	14	QN	葉身の裏面の毛	Leaf blade: pubescence on lower side	葉身の裏面の毛の粗密	観察 VG (a) 19	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or weak medium strong	三池高菜 わさび菜 黄がらし菜	
15	15	QN (*) (+)	葉身のアントシアニンの着色	Leaf blade: anthocyanin coloration	葉身の表面のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a) 19	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	結球高菜 三池高菜 TTK456	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	QN	葉身の緑色の濃淡(葉身のアントシアニンの着色が無又は極弱の品種に限る。)	Only varieties with anthocyanin coloration: absent or very weak: Leaf blade: intensity of green color	葉身の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a) 19	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	わさび菜 かつお菜	
17	17	QN (+)	葉身の周縁部の波打ち(葉の型が全裂の品種を除く。)	Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: undulation of margin	葉身の周縁部の波打ちの強弱	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 赤大葉高菜 かつお菜	
18	18	QN (*) (+) G	葉身の周縁部の鋸歯(葉の型が全裂の品種を除く。)	Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: density of incisions of margin	葉身の周縁部の鋸歯の粗密	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	 かつお菜 黄がらし菜	
19		QN (+)	葉身の裂片の粗密(葉の型が全裂の品種に限る。)	Only varieties with leaf: type: divided: Leaf blade: density of division	葉身の裂片の粗密	観察 VG (a) 19	1 2 3 4 5	極粗 粗 中 密 極密	very sparse sparse medium dense very dense	TTK457 アカリアス TTK456 SM-1412 わさび菜	
20	19	QN (*) (+) G	葉身の凹凸(葉の型が全裂の品種を除く。)	Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: blistering	葉身の凹凸の強弱	観察 VG (a) 19	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	黄がらし菜 赤大葉高菜 かつお菜	

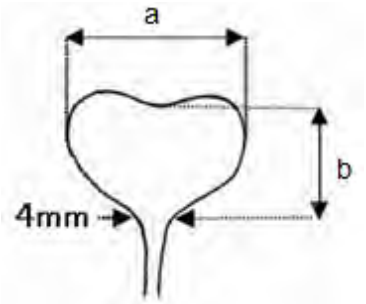
形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
21	20	QN (*) (+) G	中肋の幅（葉の型が全縁の品種に限る。）	Only varieties with leaf: type: entire: Leaf blade: width of midrib	葉身の中肋の最大幅	測定 cm MS (a) 19	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	さがみグリーン かつお菜	
22		QN	葉数	Plant: number of leaves	収穫適期における株あたりの着葉数	測定 MS 19- 30	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	 結球高菜 SM-1412 黄がらし菜	
23	21	QL (*) (+) G	球の形成の有無	Plant: head formation	球の形成の有無	観察 VG 19- 30	1 9	無 有	absent present	黄がらし菜 結球高菜	
24	22	QN (+)	球の高さ	Head: height	球の高さ	測定 cm MS 19- 30	1 2 3	低 中 高	short medium tall	 結球高菜、 雲仙結球高菜	
25	23	QN (+)	球の幅	Head: width	球の最大幅	測定 cm MS 19- 30	1 2 3	狭 中 広	narrow medium broad	 結球高菜、 雲仙結球高菜	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	24	QN	球の葉数	Head: number of leaves	1球あたりの葉数	測定 MS 19- 30	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	 結球高菜、 雲仙結球高菜	
27	25	PQ	球の内部の色	Head: internal color	球の内部の色	観察 VG 19- 30	1 2 3	黄白 淡緑 緑	yellowish white light green medium green	雲仙結球高菜	
28	26	PQ (+)	主茎の形	Main stem: shape	主茎の形	観察 VG 20- 29	1 2 3 4	狭円錐形 広円錐形 球形 分枝形	narrow conic broad conic rounded branched	黄がらし菜 海野 FE-K226	
29	27	QN	抽だい始期	Time of beginning of bolting	秋まき栽培における抽だい開始の早晩（供試株数の50%が抽だいした時期）	測定 月日 MG 31	3 5 7	早 中 晩	early medium late	黄がらし菜 アカリアス 赤大葉高菜	
30	28	QN	開花期（主茎の形が分枝形の品種を除く。）	Time of flowering	開花開始の早晩（供試株数の50%が開花した時期）	測定 月日 MG 50	3 5 7	早 中 晩	early medium late	さがみグリーン アカリアス 赤大葉高菜	
31	29	QN	植物体の高さ（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）	Plant: height	植物体の高さ	測定 cm MS 59	3 5 7	低 中 高	short medium tall	 アカリアス 黄がらし菜	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	30	QN (+)	さやの長さ(主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。)	Silique: length	成熟したさや(長角果)の長さ	測定 mm MS 71-79	3 5 7	短 中 長	short medium long	辛神 アカリアス	
33	31	QN (+)	さやのくちばしの長さ(主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。)	Silique: length of beak	成熟したさや(長角果)のくちばしの長さ	測定 mm MS 71-79	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 辛神 かつお菜 黄がらし菜	
34	32	QN (+)	さやの幅(主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。)	Silique: width	成熟したさや(長角果)の最大幅	測定 mm MS 71-79	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 セリフォン アカリアス かつお菜	
35	33	QN (+)	果柄の長さ(主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。)	Silique: length of peduncle	成熟したさや(長角果)の果柄の長さ	測定 mm MS 71-79	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 三池高菜 アカリアス	
36	34	QN (+)	春まき抽だい性	Tendency to form inflorescences	春まき栽培における抽だい株の発生の程度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 パーマグリーン わさび菜 黄がらし菜	選択形質

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 3　子葉の長さ　　Char.3　Cotyledon: length
形質 4　子葉の幅　　Char.4　Cotyledon: width



a ＝子葉の幅　Cotyledon: width
b ＝子葉の長さ　Cotyledon: length

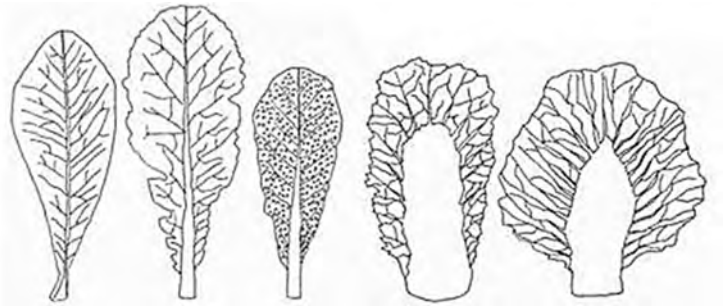
2 つの子葉の大きさが異なる場合、大きい方の子葉を測定する。

子葉の長さは、先端部の一番下がった部分から、子葉柄の付け根まで、又は子葉柄の幅が約 4mm の部分までを測定する。子葉柄の付け根の境界が明確である場合、付け根までの長さの方を優先とする。

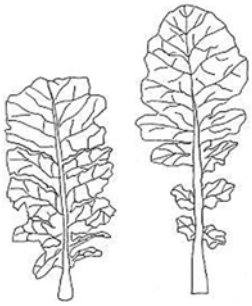
子葉の幅は、最大幅部を測定する。

Observations should be made on cotyledons of 30 seedlings. If the two cotyledons differ in size, the biggest one should be measured. The length is defined as distance between the inclination at top of the cotyledon and the point where the width of the petiole is about 4 mm. The width of the cotyledon should be measured at the widest point of the cotyledons.

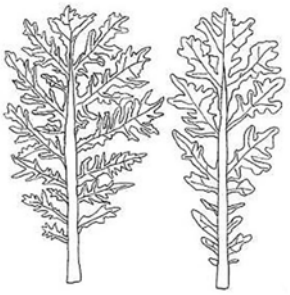
形質 5　葉の型　　Char.5　Leaf: type



1
全縁
entire



2
裂縁
lobed



3
全裂
divided

形質 6　葉の形　　Char.6　Leaf: shape

		最大幅部の位置		
		基部側	中央部	先端部側
葉身の長さ／幅	大		 4 長楕円形 oblong	 6 へら形 spatulate
	中	 1 卵形 ovate	 3 楕円形 elliptic	 5 倒卵形 obovate
	小		 2 円形 circular	

形質 7　葉の姿勢　　Char.7　Leaf: attitude



1
直立
erect

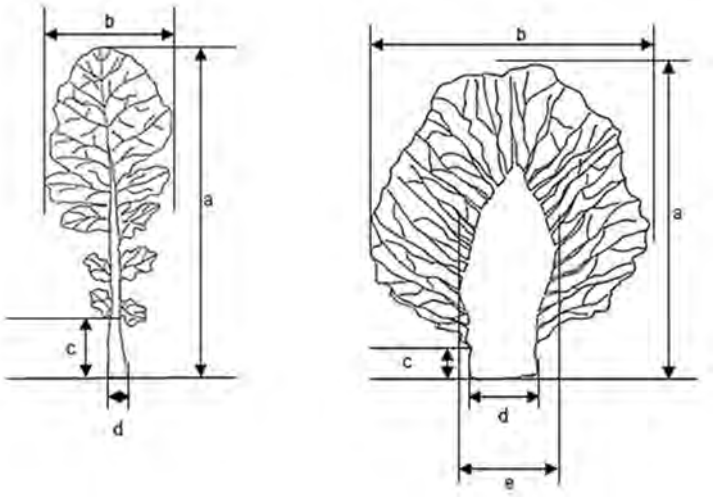


3
斜上
semi-erect



5
水平
horizontal

形質 8　葉の長さ　　Char.8　Leaf: length
形質 9　葉の幅　　Char.9　Leaf: width
形質 10　葉柄の長さ　　Char.10　Leaf: length of petiole
形質 11　葉柄の幅　　Char.11　Leaf: width of petiole
形質 21　中肋の幅（葉の型が全縁の品種に限る。）
Char.21　Only varieties with leaf: type: entire: Leaf blade: width of midrib



a = 葉の長さ
　Leaf: length
b = 葉の幅
　Leaf: width
c = 葉柄の長さ
　Leaf: length of petiole
d = 葉柄の幅
　Leaf: width of petiole
e = 中肋の幅
　Leaf blade: width of midrib

葉柄の長さは、全縁の品種については、葉基部から葉身までの長さ、裂縁及び全裂の品種については、葉基部から最も基部側の側小葉までの長さを測定する。なお、側小葉については後述する形質 12「葉身の先端小葉の大きさ（葉の型が全縁の品種を除く。）」を参照。

中肋の幅は、葉柄を除く葉身の主脈部分の最大幅部を測定する。

The length of the petiole should be measured from the base of leaf to the leaf blade for entire varieties, and the length from the base of leaf to the most basal lateral leaflet side for lobed and divided varieties. For lateral leaflet, see the characteristic 12 "Only varieties with leaf: type: lobed or divided: Leaf blade: size of terminal lobe".

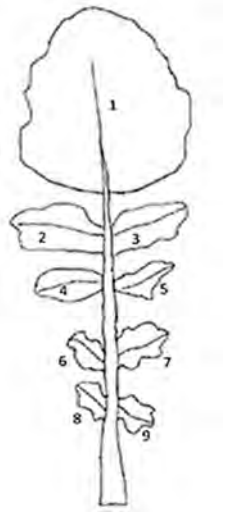
The width of midrib should be measured on the broadest width of the main vein of the leaf blade excluding the petiole.

形質 12　葉身の先端小葉の大きさ（葉の型が全縁の品種を除く。）

Char.12　Only varieties with leaf: type: lobed or divided: Leaf blade: size of terminal lobe

先端小葉は葉の頂端の小葉で、下図の番号 1 の小葉。

側小葉は先端小葉を除く小葉で、下図の番号 2 以下の小葉。





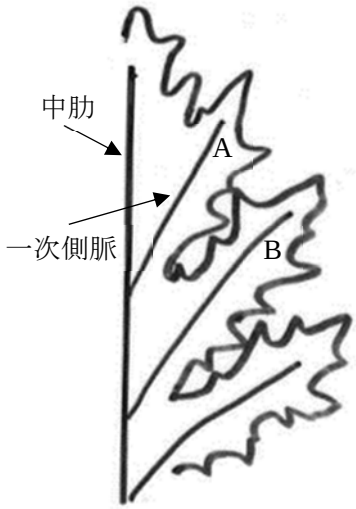
葉身の一部である裂片または主脈に着生する小葉において、明瞭な一次側脈があり、小葉の長さが幅よりも大きく、直上の切れ込みの深さが小葉自身の長さの半分以上あるものを側小葉とする。

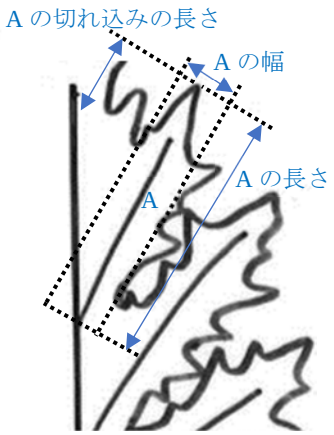
下図の場合、A は側小葉とせず、先端小葉の一部とする。B は側小葉とする。

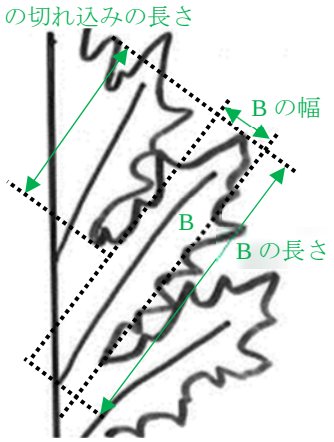
Parts of the leaf blade are considered as lobes if their length is at least equivalent to the width of the leaf petiole at their point of attachment and if the upper notch of the blade has at least half the length of the lobe itself.

The terminal lobe is the top lobe of the leaf, which is the No. 1 lobe in the following figure.

The lateral lobes are the lobes excluding the terminal lobe (numbers 2, 3, 4, etc. in the following figures)





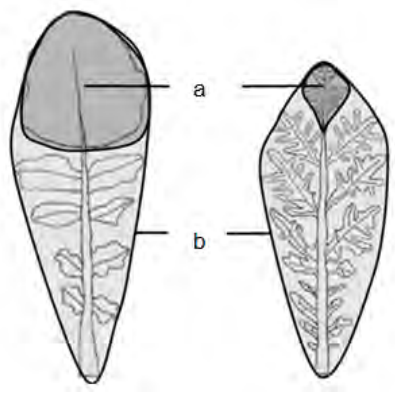


先端小葉の大きさは、葉の大きさに対する比率によって評価する。

先端小葉の大きさと葉の大きさは、下図の各輪郭で囲まれた領域の大きさとする。

The size of terminal lobe should be assessed by the ratio of the terminal lobe size/the leaf size.

The terminal lobe size and the leaf size are the size of the area which was surrounded by each outline of them.



a = 先端小葉の大きさ　Terminal lobe size

b = 葉の大きさ　Leaf size

形質 15　葉身のアントシアニンの着色

Char.15　Leaf blade: anthocyanin coloration

試験区全体を観察し、アントシアニン着色が典型的な葉身について、最もアントシアニンが濃い部分を評価する（葉の着色範囲を評価するのではない）。

The strongest intensity of anthocyanin should be observed (not the extent).

形質 17　葉身の周縁部の波打ち（葉の型が全裂の品種を除く。）

Char. 17　Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: undulation of margin



2
弱
weak



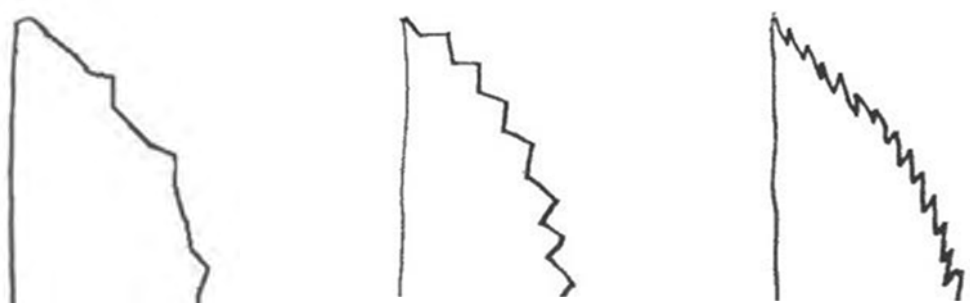
3
中
medium



5
極強
very strong

形質 18　葉身の周縁部の鋸歯（葉の型が全裂の品種を除く。）

Char.18　Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: density of incisions of margin



2	3	4
粗	中	密
sparse	medium	dense

先端小葉の先端側 1/2 を観察する。

形質 19　葉身の裂片の粗密（葉の型が全裂の品種に限る。）

Char.19　Only varieties with leaf: type: divided: Leaf blade: density of division



1	2	3	4	5
極粗	粗	中	密	極密
very sparse	sparse	medium	dense	very dense

形質 20　葉身の凹凸（葉の型が全裂の品種を除く。）

Char.20　Only varieties with leaf: type: entire or lobed: Leaf blade: blistering



1
無又は弱
absent or weak



2
中
medium



3
強
strong

形質 23　球の形成の有無　　Char.23　Plant: head formation

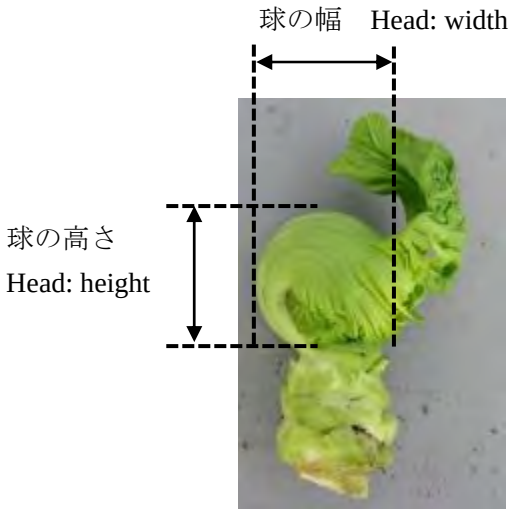


1
無
absent



9
有
present

形質 24　球の高さ　　Char.24　Head: height
形質 25　球の幅　　Char.25　Head: width



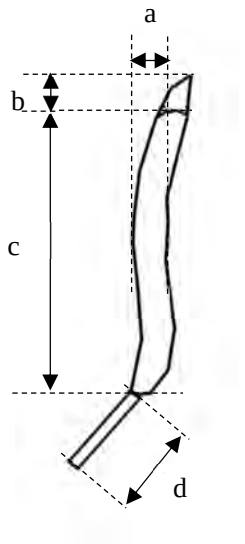
形質 28　主茎の形　　Char.28　Main stem: shape



1	2	3	4
狭円錐形	広円錐形	球形	分枝形
narrow conic	broad conic	rounded	branched

葉を取り除いて主茎の形状を観察する。地際から発生している側枝は評価しない。
調査期間を通して形状の変化を観察し、品種の特性が十分に発現した時期に評価する。
Observations on the shape of the main stem should be made after removing the leaves, excluding lateral stems which are located at the base of main stem.

形質 32　さやの長さ（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）
Char.32　Silique: length
形質 33　さやのくちばしの長さ（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）
Char.33　Silique: length of beak
形質 34　さやの幅（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）
Char.34　Silique: width
形質 35　果柄の長さ（主茎の形が分枝形の品種及び球の形成が有の品種を除く。）
Char.35　Silique: length of peduncle



a = さやの幅　Silique: width
b = さやのくちばしの長さ　Silique: length of beak
c = さやの長さ　Silique: length
d = 果柄の長さ　Silique: length of peduncle

さやの調査は、主茎の花序の中央 1/3 部分に着生するさやで行う。
さやの長さについては、くちばしを除いたさやの先端から果柄の着生部までの長さを測定する。

Observations on the silique should be made on the middle third of the inflorescence of the main stem.

Observations should be made on the length of the silique from attachment of peduncle to top, excluding beak.

形質 36　春まき抽だい性　　Char.36　Tendency to form inflorescences
長日条件下の春まき栽培にて、は種を行い、抽だい株の発生時期の早晩と発生頻度により評価する。

Observations should be made in the year of sowing under long day conditions.

The observation of the tendency to form inflorescence (proportion of plants below bud stage, in bud stage, in flowering stage, in stage of silique formation) should be made in autumn, when the developmentstagnates.

Alternatively, the beginning of flowering may be observed in this trial; early flowering would mean strong tendency, late flowering would mean weak tendency.

IX. 生育ステージに関する十進コード表

コード code	一般記述 General Description	コード code	一般記述 General Description
00	乾燥種子		
0	発芽	5	開花
		50	1 番花が開花
1	葉の展開	51	主茎の花序が伸長、10%が開花
10	子葉の展開	53	主茎の花序の 30%が開花
11	第 1 葉の展開	55	主茎の花序の 50%が開花（満開）、古い花弁が落下
13	第 3 葉の展開		
15	第 5 葉の展開	57	花序の花が減少、ほとんどの花弁が落下
17	第 7 葉の展開		
19	第 9 葉以上の葉が展開	59	花序の花弁が全て落下
2	側枝の形成	6	さやの発達
20	側枝の発生無し	61	10%のさやが最終サイズに到達
21	第 1 側枝の発生	63	30%のさやが最終サイズに到達
23	第 3 側枝の発生	65	50%のさやが最終サイズに到達
25	第 5 側枝の発生	67	70%のさやが最終サイズに到達
27	第 7 側枝の発生	69	ほぼすべてのさやが最終サイズに到達
29	第 9 側枝以上の側枝が発生		
3	茎の伸長	7	種子の登熟
30	節間無し（ロゼット）	71	10%のさやが成熟
31	茎 1 節目の伸長	73	30%のさやが成熟
33	茎 3 節目の伸長	75	50%のさやが成熟
35	茎 5 節目の伸長	77	70%のさやが成熟
37	茎 7 節目の伸長		
39	茎 9 節目以上が伸長	79	ほぼすべてのさやが成熟
4	花序の形成	8	老化
40	花蕾の発生（葉に包まれている状態）	87	植物体の枯死
41	花蕾の出現	89	収穫物（種子）
42	花蕾が分離し、若葉と同程度の高さ		
43	花蕾が若葉より高い位置となる		
45	第 1 花序の個々の花蕾が未開花		
47	第 2 花序の個々の花蕾が未開花		
49	花弁が見え始めるが、花蕾は完全に開いていない状態		

資料 1-2-3

2026 年　月

TG/201/1 Rev. .Corr. に準拠

カンキツ属
(マンダリン類)

（Citrus L.-Group1）

MANDARINS

（案）

カンキツ属（マンダリン類）審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、ミカン科（*Rutaceae*）カンキツ属（*Citrus* L.）の、別表１に示す種及びその交雑種の全て品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は１年生苗木

ⅱ）数量　　10 個体

ⅲ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　５個体

ⅲ）栽培期間　　正常な果実が収穫できる２生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体５個体又は各個体から２個採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(f)で示した時期に行う。

(a) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は頂小葉） について調査する。

(b) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。

(c) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。

(d) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。また、果皮の油分に関する形質は、果実の収穫後 3～7 日の間に皮をむいて調査する。

(e) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。

(f) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添え

て申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 １％、受容確率 95％ を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 ５により判定する。供試個体数が５のとき、許容される異型個体数は０である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）果実の長さ（形質28）
ⅱ）果実の直径（形質29）
ⅲ）果実の果梗部のネックの有無（形質34）
ⅳ）果皮の表面の色（形質61）
ⅴ）成熟期（形質109）
ⅵ）成熟期（ウンシュウミカン種に限る。）（形質 110）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明(Legend)

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表１

学名	Subgroup	和名
Citrus amblycarpa (Hassk.) Ochse	HMA	ジェロウクリモー
Citrus benikoji hort. ex Tanaka	PMN	ベニコウジ
Citrus chuana hort. ex Tseng	PMN	－
Citrus clementina hort. ex Tan.	CLE	クレメンティン
Citrus crenatifolia Lush.	PMN	
Citrus deliciosa Ten.	MMM	チチュウカイマンダリン
Citrus depressa Hayata	HMA	シークワシャー
Citrus genshokan (Hayata) hort. ex Tanaka	PMN	ゲンショウカン
Citrus hainanensis Tanaka	HMA	ハイナンワイルドカット
Citrus haniana hort. ex Tseng	PMN	－
Citrus ichangensis Swing. x *C. reticulata* Blanco	HMR	イーチャンダリン
Citrus ichangensis Swing. x *C. unshiu* (Mak.) Marc.	HMR	イーチャンダリン
Citrus inflata hort. ex Tanaka	HMA	モチユ
Citrus inflatorugosa hort. ex Tanaka	HMA	カーフクルー
Citrus junos Sieb. ex Tanaka	HMR	ユズ
Citrus keraji hort. ex Tanaka	HMA	ケラジ
Citrus leiocarpa hort. ex Tanaka	HMA	コウジ
Citrus lycopersicaeformis (Lush.) hort. ex Tanaka	HMA	コクニー
Citrus madurensis Lour.	HMA	シキキツ
Citrus maxima (Burm.) Merr. x *C. ichangensis* Swing.	HMR	イーチャンゼロ
Citrus nippokoreana Tanaka	HMA	コウライタチバナ
Citrus nobilis Lour.	HMA	クネンボ
Citrus oto hort. ex Yu. Tanaka	HMA	オートー
Citrus paratangerina hort. ex Tanaka	PMN	ラドー
Citrus platymamma hort. ex Tanaka	PMN	ビンキツ
Citrus pseudo-aurantium hort. ex Yu. Tanaka	HMA	ヘンカミカン

学名	Subgroup	和名
Citrus pseudosunki hort. ex Tanaka	HMA	フィリピンスンキー
Citrus reshni hort. ex Tanaka	HMA	クレオパトラ
Citrus reticulata Blanco	PMN	ポンカン
Citrus reticulata Blanco x *C. paradisi* Macfad	TNL	タンゼロ
Citrus reticulata Blanco x *C. sinensis* (L.) Osb.	TNR	タンゴール
Citrus reticulata Blanco x *Fortunella* sp.	HMR	クマンダリン
Citrus sphaerocarpa Hort. ex Tanaka		カボス
Citrus suavissima hort. ex Tanaka	PMN	オウカン
Citrus succosa hort. ex Tanaka	PMN	ジミカン
Citrus sudachi Hort. ex Shirai	HMR	スダチ
Citrus suhuiensis hort. ex Tanaka	PMN	シカイカン
Citrus sunki (Hayata) hort. ex Tanaka	HMA	サンキツ
Citrus tangerina hort. ex Tanaka	PMN	ダンシー（オオベニミカン）
Citrus tardiferax hort. ex Tanaka	PMN	マンキツ
Citrus tardiva hort. ex Shirai	HMA	ギリミカン
Citrus tarogayo hort. ex Yu. Tanaka	HMA	タロガヨ
Citrus temple hort. ex Y. Tan. x *C. paradisi* Macfad	HMA	（テンプル×グレープフルーツ）
Citrus temple hort. ex Yu. Tanaka	TNR	テンプル
Citrus tumida hort. ex Tanaka	HMA	フクレミカン
Citrus unshiu Marcow.	SAT	ウンシュウミカン
Citrus yatsushiro hort. ex Tanaka	HMA	ヤツシロ
Citrus yuko hort. ex Tanaka	HMA	ユコウ
Tangelo x *C. paradisi* Macfad	HMA	タンゼロロ
Tangor x *C. temple* hort. ex Y. Tan.	HMA	（タンゴール×テンプル）

VII. 特性表(Table of Characteristics)

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid		
2	2	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後３年以上の樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	ユズ、不知火 興津早生 、せとか、はるみ 清見	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	興津早生、はるみ 清見、不知火 せとか、ユズ	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（とげのある品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、不知火 せとか ユズ	
5	5	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ユズ、ポンカン 清見、せとか、不知火、はるみ、興津早生 カラ	
6	6	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 5)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	不知火、ポンカン せとか、はるみ、ユズ、興津早生 カラ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
7	7	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 5)	成葉の葉身の長さと幅の比	測定 比 (a) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	 はるみ、せとか、興津早生 清見、不知火	
8	8	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 5)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (a) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
9	9	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
10	10	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の凹凸の強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
11	11	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (a) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
12	12	QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波打ちの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	せとか ユズ、はるみ、不知火、興津早生 清見、シキキツ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
13	13	PQ	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸歯の形	観察 (a) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	ユズ 清見、不知火、はるみ、せとか、興津早生	
14	14	PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の形	観察 (a) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ユズ、清見 はるみ、せとか、不知火、興津早生	
15	15	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切れ込みの有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present		
16	16	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｷｼｭｳﾐｶﾝ、ポンカン 清見、せとか、はるみ、不知火、興津早生 ユズ	
17	17	QL	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	シキキツ、タチバナ ユズ、清見、はるみ、せとか、不知火、興津早生	
18	18	QN	葉柄の翼葉の幅	Varieties with petiole wings present only: Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	清見、はるみ、せとか、不知火、興津早生 スダチ、カボス ユズ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
19	19	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (b) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
20	20	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、はるみ、せとか 不知火 ユズ、興津早生	
21	21	QN	花弁の幅	Flower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｷｼｭｳﾐｶﾝ 清見、はるみ、せとか、 不知火 ユズ、興津早生	
22	22	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/ width of petal	満開時の頂花の花弁の長さと幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	清見、はるみ せとか、不知火、ユズ 興津早生	
23	23	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、せとか はるみ、不知火、興津早生 ユズ	
24	24	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (b) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	清見 せとか、不知火、興津早生 はるみ、ユズ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
25	25	QN (+)	花粉の稔性	Anther: viable pollen	稔性花粉の割合の高低	測定 (b) MS	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	absent or very low low medium high very high		
26	26	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長さ	観察 (b) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	清見、はるみ、ユズ せとか、不知火 興津早生	
27	27	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果序）の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
28	28	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｷｼｭｳﾐｶﾝ ユズ、はるみ、せとか、興津早生 清見、不知火	
29	29	QN (*) G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｷｼｭｳﾐｶﾝ せとか、はるみ、興津早生 清見、不知火、ユズ	
30	30	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さと直径の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	青島温州 ユズ、はるみ、せとか、興津早生 不知火	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
31	31	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (c) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	 ユズ、清見、せとか、不知火、興津早生 はるみ	
32	32	PQ (+)	果実の横断面の形	Fruit: shape in transverse section	果実の横断面の形	観察 (c) VG	1 2 3	円 やや角張る 波状	circular somewhat angular scalloped	せとか ユズ、清見、はるみ、不知火、興津早生 ｷｼｭｳﾐｶﾝ	
33	33	PQ (*) (+)	果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (c) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	ユズ、せとか、興津早生 清見、はるみ、不知火	
34	34	QL (*) (+) G	果実の果梗部のネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネックの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、はるみ、せとか、興津早生、清見、不知火 カラ、ﾋﾞﾝｷﾂ	
35	35	QN	果実の果梗部のネックの長さ	Necked varieties only: Fruit: length of neck	果実の果梗部のネックの直径	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	カラ、ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ ﾋﾞﾝｷﾂ	
36	36	QN	果実の果梗部のネックの厚さ	Necked varieties only: Fruit: thickness of neck	果実の果梗部のネックの厚さ	観察 (c) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
37	37	QL (*) (+)	果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	せとか ユズ、清見、はるみ、不知火、興津早生	
38	38	QN	果実の果梗部のへこみの深さ（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (c) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ユズ、清見 はるみ、不知火、興津早生	
39	39	QL (+)	果実の果梗部のくびれの有無	Fruit: presence of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ	
40	40	QN	果実の果梗部のくびれの強弱	Fruit: expression of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの強弱	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
41	41	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の多少がない	観察 (c) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	せとか、興津早生 清見、はるみ、不知火 ユズ	
42	42	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果頂部の放射状溝の長さ（放射状溝のない品種を除く。）	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
43	43	QN	果実の果梗部のへこみ（ネックが有の品種に限る。）	Necked varieties only: Fruit: depression at stalk attachment	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 2 3	無又は浅 中 深	absent or shallow intermediate deep		
44	44	QL (+)	果実の果梗部のカラーの有無	Fruit: presence of collar	果実の果梗部のカラーの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、清見、はるみ、せとか、興津早生 不知火	
45	45	QN	果実の果梗部のカラーの高さ	Fruit: height of collar	果実の果梗部のカラーの高さ	観察 (c) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
46	46	QN	果実の果梗部のカラーの直径	Fruit: diameter of collar	果実の果梗部のカラーの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
47	47	QN	花盤と果実の間の離層	Fruit: abscission layer between floral disc and fruit	花盤と果実の間の離層の発達の強弱	観察 (c) VG	1 2 3	無又は弱く発達 中間 強く発達	absent or weakly developed intermediate strongly developed		
48	48	QN (*) (+)	果実の果頂部の形(乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。)	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (c) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ユズ、はるみ、せとか、興津早生 清見、不知火	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
49	49	QL (*) (+)	果実の果頂部のへこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	せとか ユズ、清見、はるみ、興津早生	
50	50	QN	果実の果頂部のへこみの深さ	Fruit: depth of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの深さ	観察 (c) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
51	51	QN	果実の果頂部のへこみの直径	Fruit: diameter of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
52	52	QL (*)	果実の果頂部の凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環状模様の明瞭さ	観察 (c) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	はるみ、不知火、興津早生 清見、せとか、ユズ、ﾀﾁﾊﾞﾅ ｵｰﾀﾆｰｸ	
53	53	QL (+)	果実の果頂部の凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹環の状態（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	観察 (c) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	清見、せとか ﾀﾁﾊﾞﾅ ユズ、ｵｰﾀﾆｰｸ	
54	54	QN	果実の果頂部の凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹環の直径（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	測定 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾀﾁﾊﾞﾅ ユズ、清見、せとか ｵｰﾀﾆｰｸ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
55	55	QN	果実の花柱痕の大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱痕の直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ユズ、 清見、はるみ、せとか、興津早生 不知火	
56	56	PQ	花柱の果実への残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残存の程度	観察 (c) VG	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
57	57	PQ	果実の果頂部のへその開きの有無	Fruit: presence of navel opening	果実の果頂部のへその開きの有無	観察 (c) VG	1 2 3	無 たまに有 常に有	absent occasionally present always present	ユズ、清見、はるみ、興津早生 不知火、せとか サンキツ	
58	58	QN	果実の果頂部のへその開きの大きさ	Fruit: diameter of navel opening	果実の果頂部のへその開きの直径（開きが無の品種を除く。）	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
59	59	QL	果実の果頂部の放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ユズ、清見、せとか、興津早生 はるみ、不知火、ﾎﾟﾝｶﾝ	
60	60	QN	果実の果頂部の放射状溝の明瞭さ	Fruit: expression of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の明瞭さ（放射状溝が有の品種に限る。）	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
61	61	PQ (*) G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の主な色	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 濃橙 橙赤 赤	green yellow green light yellow medium yellow yellow orange medium orange dark orange orange red red	 ユズ 不知火 清見、はるみ、せとか、興津早生 ｵｰﾀﾆｰｸ、ﾏｰｺｯﾄ 小原紅早生	
62	62	QN (*)	果実の表面の光沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部の光沢の程度	観察 (c) (d) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ユズ はるみ、興津早生 ﾏｰｺｯﾄ ｼｷｷﾂ	
63	63	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の粗滑の程度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	はるみ、興津早生 清見 ユズ、不知火	
64	64	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (c) (d) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	ユズ、はるみ、せとか、不知火、興津早生 清見	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
65	65	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (c) (d) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
66	66	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ	
67	67	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	清見、せとか ユズ はるみ、不知火、興津早生	
68	68	QN	果実の表面の凹型油胞の密度（凹型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only: Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
69	69	QN	果実の表面の凸型油胞の密度（凸型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present only: Fruit surface: density of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
70	70	QN	果実の表面の凸型油胞の突出の強弱（凸型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present only: Fruit surface: degree of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の突出の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
71	71	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (c) (d) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	せとか、興津早生 はるみ ユズ、清見、不知火	
72	72	QN (*)	果皮と果肉の密着性	Fruit rind: adherence to flesh	剥皮時の果皮と果肉の分離の難易	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、はるみ、興津早生 清見、不知火、せとか カボス、ｵｰﾀﾆｰｸ	
73	73	QN	果皮の強さ	Fruit rind: strength	果皮の強さ（硬さ、ちぎれにくさ）	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	はるみ、興津早生 清見、せとか、不知火 ｵｰﾀﾆｰｸ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
74	74	QN	果皮の油の多少	Fruit rind: oiliness	剥皮時の油胞から出る油の多少	観察 (c) (d) VG	3 5 7	少 中 多	dry medium oily	興津早生、スダチ 清見、せとか、はるみ ユズ	
75	75	QN	果皮の裏面の油胞の明瞭さ	Fruit rind: conspicuousness of oil glands on inner surface	果皮の裏側から見た油胞の明瞭度	観察 (c) (d) VG	1 2 3	無又はわずかに明瞭 中 明瞭	absent or weakly conspicuous intermediate strongly conspicuous		
76	76	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (c) VG	1 2 3 4 5 6	緑 白 淡黄 淡橙 桃 赤	greenish white light yellow light orange pink reddish	 ユズ 清見、はるみ、不知火、興津早生 せとか	
77	77	QN	アルベドの粗密	Fruit: density of albedo	アルベドの粗密の程度	観察 (c) VG	3 5 7	粗 中 密	loose medium dense	はるみ、不知火、興津早生 ユズ、清見、せとか カボス、ｵｰﾀﾆｰｸ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
78	78	QN (*)	果実の果肉と密着するアルベドの量（維管束は除く。）	Fruit: amount of albedo adhering to flesh (strands excluded)	剥皮時に果肉に残るアルベドの量	観察 (c) VG	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large	ﾀﾁﾊﾞﾅ はるみ、不知火、せとか、興津早生 清見、ｼｷｷﾂ カボス	
79	79	QL	アルベドの維管束の有無	Fruit: presence of albedo strands	アルベドの維管束の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
80	80	QN	アルベドの維管束の量	Fruit: amount of albedo strands	アルベドの維管束の多少	観察 (c) VG	3 5 7	少 中 多	small medium large		
81	81	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (c) (e) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 淡緑 淡黄 黄 淡橙 橙 濃橙 赤 紫	whitish light green light yellow medium yellow light orange medium orange dark orange red purple	 ユズ ﾀﾁﾊﾞﾅ 清見、不知火、はるみ せとか、興津早生、ﾏｰｺｯﾄ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
82	82	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (c) (e) VG	1 3 5 7 9	無又は粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	はるみ、不知火、興津早生 ユズ、清見、せとか ﾏｰｺｯﾄ ｵｰﾀﾆｰｸ	
83	83	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (c) (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾏｰｺｯﾄ、ｼｷｷﾂ、ﾀﾁﾊﾞﾅ ユズ、清見、せとか、興津早生 はるみ、不知火	
84	84	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	測定 (c) (e) MS	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ユズ、清見、はるみ、不知火、せとか、興津早生	
85	85	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (c) (e) VG	3 5 7	少 中 多	few medium many	ｼｷｷﾂ、ﾀﾁﾊﾞﾅ ユズ、はるみ、不知火、興津早生 清見、せとか	
86	86	QN	じょうのう膜の密着性	Fruit: coherence of adjacent segment walls	隣接したじょうのう膜どうしの密着の強弱	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、はるみ、不知火、興津早生 せとか 清見	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
87	87	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment wall	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	はるみ、せとか、興津早生 ユズ、清見、不知火、青島温州 ｵｰﾀﾆｰｸ	
88	88	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｼｷｷﾂ、ﾀﾁﾊﾞﾅ ユズ、はるみ、不知火、興津早生 清見、せとか	
89	89	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ｼｷｷﾂ、ﾀﾁﾊﾞﾅ ユズ、清見、せとか、興津早生 はるみ、不知火	
90	90	QN	さじょうの明瞭さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明瞭さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
91	91	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
92	92	PQ (*)	果実内部の二次果の有無	Fruit: presence of navel (viewed internally)	果実内部の二次果（ネーブル）の有無	観察 (c) VG	1 2 3	無又は極希 希にあり 常にあり	absent or very rare occasionally present always present	ユズ、清見、はるみ、せとか、興津早生 不知火、ノバ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
93	93	QN	果実内部の二次果の大きさ	Fruit: size of navel (viewed internally)	果実内部の二次果（ネーブル）の大きさ（二次果がない品種を除く。）	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
94	94	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (c) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	ﾎﾟﾝｶﾝ ユズ、清見、はるみ、不知火、せとか、興津早生	
95	95	QN (*)	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量（Brix）	測定 % (c) MS	3 5 7	低 中 高	low medium high	興津早生 清見 せとか、はるみ、不知火	
96	96	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度（クエン酸）	測定 % (c) MS	3 4 5 7 9	低 やや低 中 高 極高	low low to medium medium high very high	興津早生、ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ せとか 清見、はるみ、不知火 カラ スダチ、ユズ、カボス	
97		QN	果汁の酸度（ウンシュウミカン種に限る。）	Only Subgroup SAT: Fruit juice: acidity	果汁の酸度（クエン酸）	測定 % (c) MS	3 4 5 7 9	低 やや低 中 高 極高	low low to medium medium high very high	ゆら早生 興津早生、宮川早生 南柑 20 号、させぼ温州、青島温州	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
98	97	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ユズ、清見、不知火、せとか、興津早生 はるみ、ポンカン	
99	98	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	クレメンティン	
100	99	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7	無又は極少 小 中 多	absent or very few few medium many	興津早生 清見、はるみ、せとか、不知火 ポンカン ユズ、カラ、マーコット	
101	100	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (f)) VG	1 9	無 有	absent present	清見 ユズ、はるみ、不知火、せとか	
102	101	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (f)) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	シキキツ 清見、はるみ、せとか、不知火 ユズ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
103	102	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (f)） MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｷｼｭｳﾐｶﾝ、ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ 清見、はるみ、せとか ユズ、不知火	
104	103	QL	種子の表面の状態	Seed: surface	成熟種子の表面の状態	観察 (f)） VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled		
105	104	QN	種子の表面のしわの強弱	Varieties with seed: surface wrinkled only: Seed: prominence of wrinkles	種子の表面のしわの強弱	観察 (f)） VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
106	105	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の色	観察 (f)） VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	 タチバナ ユズ、清見、はるみ、不知火、せとか 	
107	106	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種皮の色	観察 (f)） VG	1 2 3 4	白 淡黄 淡褐 褐	white light yellow light brown medium brown	 ユズ、清見、不知火、せとか はるみ、シキキツ、タチバナ	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
							5 6 7	濃褐 赤 紫	dark brown red purple		
108	107	PQ	子葉の色（種子の多胚性が有の品種に限る。）	Only varieties with seed: polyembryony present: Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の色	観察(f)） VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	ユズ はるみ、不知火、ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ、せとか ﾀﾁﾊﾞﾅ	
109	108	QN (*) G (+)	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定月日 MS	1 2 3 4 5 6 7	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late	興津早生 ユズ ﾎﾟﾝｶﾝ はるみ、せとか 清見、不知火	

形質番号	UPOV№	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
							8 9	かなり晩 極晩	late to very late very late	カラ	
110		QN (*) G	成熟期（ウンシュウミカン種に限る。）	Only Subgroup SAT: Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定 月日 MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late	 日南 1 号 ゆら早生 興津早生、宮川早生 南柑 20 号、させぼ温州 青島温州	
111	109	QL (*)	単為結果性の有無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ	
112	110	QL (+)	自家不和合性の有無	Plant: self-incompatibility	自家不和合成性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ｸﾚﾒﾝﾃｨﾝ	

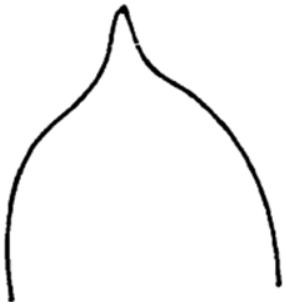
Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 2　樹姿　　Char. 2　Tree: Growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 14　葉身の先端部の形　　Char.14　Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形
obtuse



4
円形
rounded

形質 15　葉身の先端の切れ込みの有無　　Char.15　Leaf blade: emargination at tip



1
無
absent



9
有
present

形質 25　花粉の稔性　　Char.25　Anther: viable pollen

稔性花粉の割合を決定する方法

Method to determine the percentage of viable pollen:

花粉は、花弁が開き始めた時点でまだ閉じた状態のやくを採取し、これをペトリ皿に入れて、室温、暗条件の下でシリカゲル乾燥器内に 20～48 時間置く。やくが開いたらこれを８℃のチャンバーに移し、相対湿度 70～80％で１時間保存する。その後花粉を２ml の Brewbacker 培地（Brewbaker and Kwock, 1963）を用いて顕微鏡スライドにすり付け、24 ºC のチャンバーに入れ、相対湿度 75％で 20 時間保存する。

花粉の生育率は、２枚の異なる顕微鏡スライドから 15 の視野で観察された発芽した花粉粒の平均を計算して求める。

The pollen should be collected when the petals begin to open (but with the anthers closed). The anthers should be introduced into a Petri dish and placed inside a silica gel dryer at room temperature, for 20-48 hours of darkness. When the anthers are open they should be moved to an 8 ºC chamber with a 70-80 % Relative Humidity for one hour. Afterwards, the pollen should be brushed onto a microscope slide with 2 ml of Brewbacker medium (Brewbaker and Kwack. 1963). Finally, the microscope slide should be placed in a 24 ºC chamber with a 75 % RH for 20 hours.

The percentage of pollen fertility is calculated as the average of germinated pollen grains observed with a binocular in 15 visual fields from 2 different microscope slides.

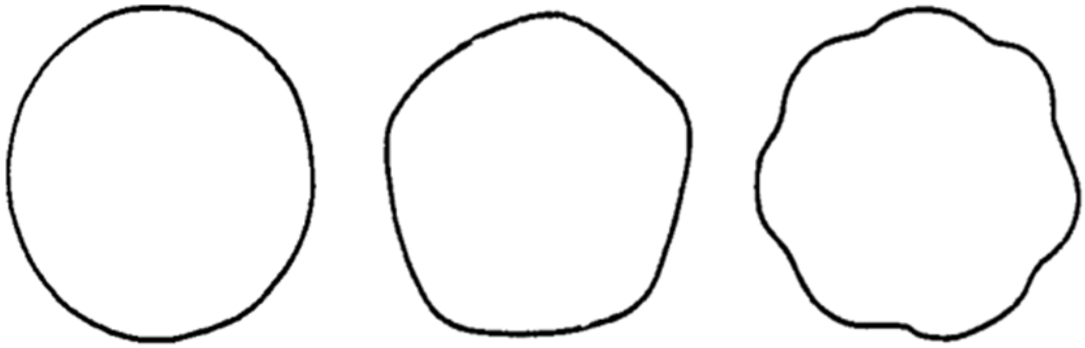
(Brewbaker, J.L. and Kwack, B.H. 1963. The essential role of calcium ion in pollen germination and pollen tube growth. Amer. Jour. Botany. 50: 859-865.)

各階級の範囲

Percentage range indication for the states of expression:

標準品種	階級	範囲
Owari (SAT)	1	1 ≤ 7%
	2	> 7 ≤ 14%
	3	> 14 ≤ 21%
	4	> 21 ≤ 28%
Marisol (CLE)	5	> 28 ≤ 35%
	6	> 35 ≤ 45%
Murcott (HMA)	7	> 45 < 55%
	8	> 55 < 65%
Fortune (HMA)	9	≥ 65%

形質 32　果実の横断面の形　　Char.32　Fruit: shape in transverse section



1
円
circular

2
やや角張る
somewhat angular

3
波状
scalloped

形質 33　果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.33　Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1
平
flattened

2
やや円
slightly rounded

3
円
strongly rounded

4
先細
tapered

形質 34　果実の果梗部のネックの有無　　Char. 34　Fruit: presence of neck



1
無
absent

9
有
present

形質 37　果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）

Char.37　Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



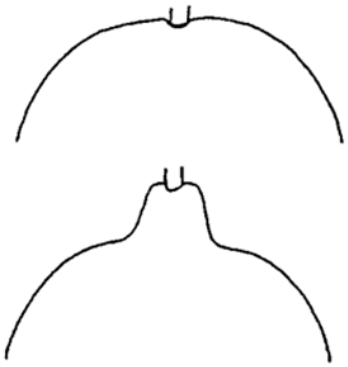
1
無
absent



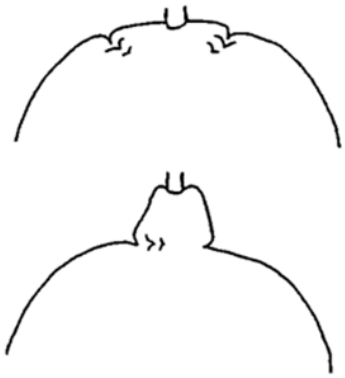
9
有
present

形質 39　果実の果梗部のくびれの有無

Char.39　Fruit: presence of constriction at stalk end



1
無
absent



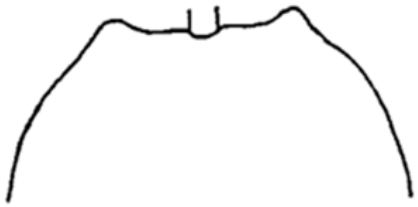
9
有
present

形質 44　果実の果梗部のカラーの有無

Char.44　Fruit: presence of collar



1
無
absent



9
有
present

形質 48　果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）

Char.48　Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)



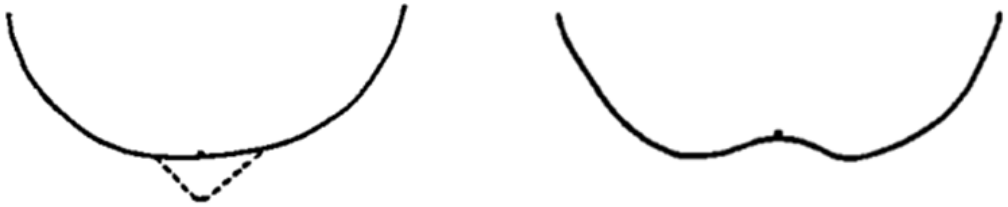
1
平
flattened

2
やや円
slightly rounded

3
円
strongly rounded

形質 49 果実の果頂部のへこみの有無

Char.49　Fruit: presence of depression at distal end



1
無
absent

9
有
present

形質 53　果実の果頂部の凹環のタイプ

Char.53　Fruit: type of areola



1
平
smooth

2
凹む
grooved

3
盛り上がる
ridged

形質 99　自家受粉の場合の種子数

Char.99　Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 100　自然受粉の場合の種子数　　Char.100　Fruit: number of seeds (open pollination)

‘Open pollination’は、同じ品種の樹間で行われる自然受粉である。

Open pollination means natural pollination between trees of the same variety.

形質 112 自家不和合性の有無　　Char.112　Plant: self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

資料 1-2-4

2026 年　月

TG/203/1 Rev. Corr. 2003-04-09 + 2015-03-25 + 2020-02-25 に準拠

カンキツ属

（レモン及びライム類）

(*Citrus* L. - Group 3)

LEMONS and LIMES

（案）

カンキツ属（レモン及びライム類）審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科（*Rutaceae*）カンキツ属（*Citrus* L.）の、別表１に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は１年生苗木

ⅱ）数量　　10 個体

ⅲ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　５個体

ⅲ）栽培期間　　正常な果実が収穫できる２生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

ⅳ)調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体５個体又は各個体から２個採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(h)で示した時期に行う。

(a) 若葉に関する形質は、春の伸長中の葉について調査する。

(b) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は先端小葉）について調査する。

(c) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について開花初日に調査する。

(d) つぼみに関する形質は、つぼみが開く直前で花弁の先端が見えたときに調査する。

(e) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。

(f) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。また、果皮の油分に関する形質は、果実の収穫後 3～7 日の間に皮をむいて調査する。

(g) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。
(h) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。

ⅴ）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95% を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 5 の場合、許容される異型個体数は 0 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）若葉のアントシアニン着色の有無（形質 5）
ⅱ）果実の長さ（形質 32）
ⅲ）果実の果梗部のネックの有無（形質 37）
ⅳ）果実の果頂部の乳頭状突起の有無（形質 42）
ⅴ）果実の表面の色（形質 49）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表１

学名	Subgroup	和名
Citrus assamensis S. Dutta & S.C. Bhattach.	LEM	アダジャミー
Citrus aurantiifolia (Christm.) Swingle	SAL	ライム
Citrus aurata Risso	LEM	スイートライム
Citrus balotina Poit. & Turpin	LEM	バロチンベルガモット
Citrus bergamia Risso & Poit.	SAL	ベルガモット
Citrus davaoensis (Wester) Tanaka	SAL	カルピー
Citrus duttae Tanaka	LEM	ハシュクリー
Citrus excelsa Wester	SAL	レモンリアル
Citrus hyalopulpa Tanaka	SAL	セキロクカン
Citrus jambhiri Lush.	LEM (RLM)	ラフレモン
Citrus javanica Blume	SAL	ジェロークハンジ
Citrus karna Raf.	LEM	カルナカッタ
Citrus latifolia (Yu. Tanaka) Tanaka	SAL (LAL)	タヒチライム
Citrus limetta Risso	LEM	スイートライム
Citrus limettioides Tanaka	SAL (SWL)	スイートライム
Citrus limon (L.) Burm. f.	LEM	レモン
Citrus limon (L.) Burm. x *C. aurantifolia* (Christm.) Swing.	HLL	（レモン×ライム）
Citrus limonia Osbeck	LEM	ヒメレモン
Citrus longilimon Tanaka	LEM	アッサムレモン
Citrus longispina Wester	SAL	タラミサン
Citrus lumia Risso & Poit.	LEM	ルミー
Citrus macrolimon Tanaka	LEM	ガルガルラージ
Citrus megaloxycarpa Lush.	LEM	アミルベッド
Citrus mellarosa Risso	LEM	メラローサ
Citrus meyeri Yu. Tanaka	LEM	マイヤーレモン
Citrus montana (Wester) Tanaka	SAL	ビロロ
Citrus obversa Hassk.	SAL	ジェロークバリック
Citrus ovata Hassk.	SAL	ジェロークタンジェングブーラー
Citrus papaya Hassk.	SAL	ジェロークパパヤ
Citrus peretta Risso	LEM	ペレッタ
Citrus pseudolimon Tanaka	LEM	ヒルレモン
Citrus pseudolimonum Wester	SAL	フォールスレモン

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid	ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ	
2	2	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後３年以上の樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	ﾘｽﾎﾞﾝ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾋﾒﾚﾓﾝ	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	ﾏｲﾔｰ、ﾊﾞﾛﾁﾝﾍﾞﾙｶﾞｯﾄ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾗﾌﾚﾓﾝ	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（とげのある品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾗﾌﾚﾓﾝ	
5	5	QL (*) G	若葉のアントシアニン着色の有無	Young leaf: presence of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	ｽｲｰﾄﾗｲﾑ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香	
6	6	QN	若葉のアントシアニン着色の強弱	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の強弱	観察 (a) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ	
7	7	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
8	8	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 7)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾀｲﾋﾁﾗｲﾑ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ	
9	9	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 7)	成葉の葉身の長さと幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｽｲｰﾄﾗｲﾑ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香	
10	10	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 7)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (b) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
11	11	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
12	12	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (b) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
13	13	QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波打ちの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾘｽﾎﾞﾝ、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	PQ	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸歯の形	観察 (b) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香	
15	15	PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の形	観察 (b) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ﾘｽﾎﾞﾝ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、璃の香、ﾏｲﾔｰ、ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾊﾞﾛﾁﾝﾍﾞﾙｶﾞﾓｯﾄ	
16	16	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切れ込みの有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		
17	17	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	璃の香 ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾞﾛﾛ	
18	18	QL	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present	ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香	
19	19	QN	葉柄の翼葉の幅	Varieties with petiole wings present only: Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	QL	つぼみのアントシアニン着色の有無	Flower bud: presence of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の有無	観察 (c) (d) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香	
21	21	QN	つぼみのアントシアニン着色の強弱	Flower bud: intensity of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香 ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ	
22	22	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
23	23	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香	
24	24	QN	花弁の幅	Flower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (c) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ	
25	25	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さと幅の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾘｽﾎﾞﾝ、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	26	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ	
27	27	QL	雄ずいの基部の融合の有無	Flower: basal union of stamens	雄ずいの基部の融合の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香	
28	28	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (c) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ	
29	29	QL	花粉の稔性の有無	Anther: viable pollen	稔性花粉の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
30	30	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長さ	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾘｽﾎﾞﾝ、璃の香	
31	31	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果房）の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
32	32	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (e) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾘｽﾎﾞﾝ、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	QN (*)	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾀﾋﾁﾗｲﾑ ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾘｽﾎﾞﾝ、璃の香	
34	34	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さと直径の比	測定 比 (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ	
35	35	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (e) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、璃の香	
36	36	PQ (+)	果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (e) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、 ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ	
37	37	QL (*) (+) G	果実の果梗部のネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネックの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	ｽｲｰﾄﾗｲﾑ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、 ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	
38	38	QN	果実の果梗部のネックの長さ	Necked varieties only: Fruit: length of neck	果実の果梗部のネックの直径	(e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	39	QL (*) (+)	果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾏｲﾔｰ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	
40	40	QN	果実の果梗部のへこみの深さ（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	
41	41	QN (+)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその隆起及び凹環は含まない。）	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (e) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾏｲﾔｰ	
42	42	QL (*) (+) G	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	Fruit: presence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香	
43	43	QN	果実の乳頭状突起の突出の強弱	Fruit: prominence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の突出の強弱	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾋﾒﾚﾓﾝ、 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	QN	果実の花柱痕の大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱痕の直径	観察 (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾘｽﾎﾞﾝ	
45	45	PQ	花柱の果実への残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残存の程度	観察 (e) VG	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
46	46	QL	果実の果頂部の放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	ﾏｲﾔｰ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	
47	47	QN	果実の果頂部の放射状溝の明瞭さ	Fruit: expression of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の明瞭さ（放射状溝が有の品種に限る。）	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
48	48	QL	果皮色の複色の有無	Fruit: color variegation	果皮の色の複色性（斑、アントシアニン等）の有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀｲﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香	
49	49	PQ G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の主な色	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4 5	緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙	green yellow green light yellow medium yellow yellow orange	 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ ﾘｽﾎﾞﾝ、璃の香 ﾋﾞﾛﾛ ﾏｲﾔｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
50	50	QN (*)	果実の表面の光沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部の光沢の程度	観察 (e) (f) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾏｲﾔｰ、璃の香	
51	51	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の粗滑の程度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾗﾌﾚﾓﾝ	
52	52	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (e) (f) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香 ﾏｲﾔｰ	
53	53	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
54	54	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
55	55	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	 ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ	
56	56	QN	果実の表面のへこみの密度（へこみのある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pitting present only: Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
57	57	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (e) (f) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ	
58	58	QN (*)	果皮の油の多少	Fruit rind: oiliness	剥皮時の油胞から出る油の多少	観察 (e) (f) VG	3 5 7	少 中 多	dry medium oily	 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香	
59	59	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (e) (g) VG	1 2 3	淡緑 淡黄 ピンク	light green light yellow medium pink	ﾀｲﾋﾁﾗｲﾑ ﾘｽﾎﾞﾝ、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (e) (g) VG	1 3 5 7 9	無又は極疎 疎 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾀｲﾋﾁﾗｲﾑ	
61	61	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (e) (g) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾗﾌﾚﾓﾝ	
62	62	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	観察 (e) (g) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	
63	63	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (e) (g) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ 璃の香	
64	64	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾋﾞﾛﾛ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香	
66	66	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾋﾞﾛﾛ	
67	67	QN	さじょうの明瞭さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明瞭さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
68	68	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
67	69	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (e) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	
70	70	QN	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量（Brix）	測定 % (e) MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
71	71	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度（クエン酸）	測定 % (e) MG	1 3 5 7 9	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	ｽｲｰﾄﾗｲﾑ ﾋﾒﾚﾓﾝ ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香 ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾏｲﾔｰ	
72	72	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香	
73	73	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ	
74	74	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (e) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾋﾒﾚﾓﾝ 璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、 ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ	
75	75	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (h) VG	1 9	無 有	absent present	ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ	
76	76	QL (*)	四季咲き性の有無	Flowering habit	四季咲き性（開花期が年に２回以上）の有無	観察 VG	1 2	1 回のみ 2 回以上	flowering once flowering more than once	ﾋﾒﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ ﾀﾋﾁﾗｲﾑ、ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、璃の香	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
77	77	QN (*)	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ﾋﾒﾚﾓﾝ、璃の香 ﾘｽﾎﾞﾝ、ﾗﾌﾚﾓﾝ、ﾏｲﾔｰ	
78	78	QL (*)	単為結果性の有無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ	
79	79	QL (+)	自家不和合性の有無	Plant: self-incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾋﾁﾗｲﾑ	

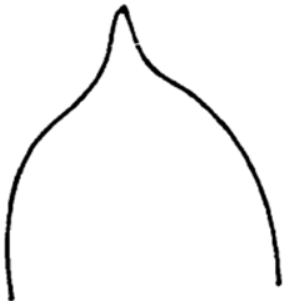
Ⅷ. 特性表の説明　(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2　樹姿　　Char. 2　Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 15　葉身の先端部の形　　Char.15　Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形



4
円形

形質 16　葉身の先端の切れ込みの有無　　Char.16　Leaf blade: emargination at tip



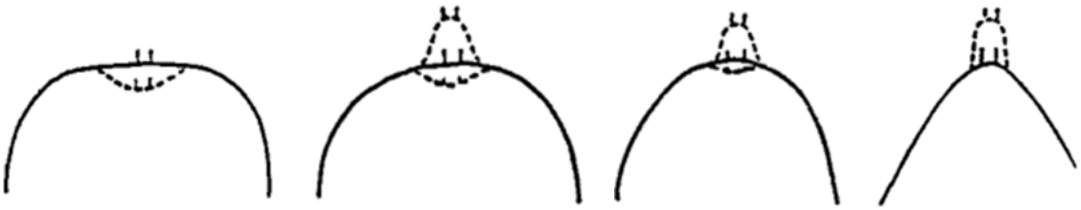
1
無
absent



9
有
present

形質 36　果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.36　Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1	2	3	4
平	やや円	円	先細
flattened	slightly rounded	strongly rounded	tapered

形質 37　果実の果梗部のネックの有無　　Char.37　Fruit: presence of neck



1	9
無	有
absent	present

形質 39　果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）

Char.39　Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



1	9
無	有
absent	present

形質 41　果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその隆起及び凹環は含まない。）

Char.41　Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal part)

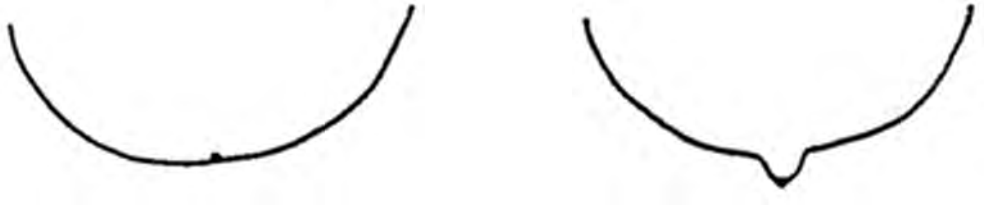


1
平
flattened

2
やや円
slightly rounded

3
円
strongly rounded

形質 42　果実の果頂部の乳頭状突起の有無　　Char.42　Fruit: presence of nipple



1
無
absent

9
有
present

形質 73　自家受粉の場合の種子数

Char.73　Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 74　自然受粉の場合の種子数　　Char.74　Fruit: number of seeds (open pollination)

Open pollination は、同じ品種の樹間で行われる自然受粉である。

Open pollination means natural pollination between trees of the same variety.

形質 79　自家不和合性の有無　　Char.79　Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

資料 1-2-5

2026 年 月

TG/204/1 Rev.2019-10-29 に準拠

カンキツ属
(グレープフルーツ
及びブンタン類)

(*Citrus* L. - Group 4)

GRAPEFRUIT and POMMELO

(案)

カンキツ属（グレープフルーツ及びブンタン類）審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科（*Rutaceae*）カンキツ属（*Citrus* L.）の、別表１に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は１年生苗木

ⅱ）数量　　10 個体

ⅲ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　５個体

ⅲ）栽培期間　　正常な果実が収穫できる２生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

ⅳ)調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体５個体又は各個体から２個採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(h)で示した時期に行う。

(a) 若葉に関する形質は、春の伸長中の葉について調査する。

(b) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は先端小葉）について調査する。

(c) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。

(d) つぼみに関する形質は、つぼみが開く直前で花弁の先端が見えたときに調査する。

(e) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。

(f) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。

(g) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。

(h) 種子に関する形質は、収穫した果実からの新鮮な種子で調査する。

ｖ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 １％、受容確率 95％ を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 ５により判定する。供試個体数が５の場合、許容される異型個体数は０である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）果実の長さ（形質 33）
ⅱ）果実の直径（形質 34）
ⅲ）果実の表面の色（形質 50）
ⅳ）果肉の色（形質 67）
ｖ）成熟期（形質 92）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表１

学名	Subgroup	和名
Citrus ampullacea hort. ex Tan.	GRA	ヒョウカン
Citrus anonyma hort. ex Yu. Tan.	GRA	シレンボー
Citrus asahikan hort. ex Tanaka	GRA	アサヒカン
Citrus aurantiaca hort. ex Tanaka	GRA	セキオオカン
Citrus flavicarpa hort. ex Tanaka	GRA	マエダカン
Citrus glaberrima hort. ex Tanaka	GRA	キヌカワ

Citrus grandis (L.) Osbeck	PUM	ブンタン(*C. maxima* の同義語)
Citrus hassaku hort. ex Tanaka	GRA	ハッサク
Citrus himekitsu Hort. ex Yu. Tan.	GRA	ヒメキツ
Citrus hiroshimana hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ヒロシマナツザボン
Citrus intermedia hort. ex Tanaka	GRA	ヤマミカン
Citrus iwaikan hort. ex Yu. Tanaka	GRA	イワイカン
Citrus kotokan Hayata	GRA	コトウカン
Citrus maxima (Burm.) Merr.	PUM	ブンタン
Citrus medioglobosa hort. ex Tanaka	GRA	ナルト
Citrus miaray Wester	GRA	ミアライ
Citrus mitsuharu Hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ミツハル
Citrus natsudaidai Hayata	GRA	ナツミカン
Citrus obovoidea hort. ex I. Takah	GRA	キンコウジ
Citrus omikanto hort. ex Yu. Tanaka	GRA	オオミカントウ
Citrus otachibana hort. ex Yu. Tanaka	GRA	オオタチバナ
Citrus panuban (Wester) Tanaka	PUM	パニュバン
Citrus paradisi Macfad.	GRA	グレープフルーツ
Citrus paradisi Macfad. x *C. grandis* (L.) Osbeck	HGP	（グレープフルーツ×ブンタン）
Citrus pseudograndis hort. ex Shirai	PUM	ウゾンクネブ
Citrus pseudogulgul hort. ex Shirai	PUM	ジャガタラミ
Citrus pseudoparadisi hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ウクポメロ
Citrus rugulosa hort. ex Tanaka	GRA	ー
Citrus suizabon Tan.	PUM	スイザボン
Citrus sulcata hort. ex Tak.	GRA	サンボウカン
Citrus tengu hort. ex Tanaka	GRA	テング
Citrus tosa-asahi hort. ex Yu. Tanaka	GRA	トサアサヒ
Citrus truncata hort. ex Tanaka	PUM	カイコウカン
Citrus yamabuki hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ヤマブキ
Citrus yuge-hyokan hort. ex Yu. Tanaka	GRA	ユゲヒョウカン

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑、 ｵﾛﾌﾞﾗﾝｺ	
2	2	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後３年以上の樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	 晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 ﾋｮｳｶﾝ	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	平戸文旦、八朔、川野夏橙、河内晩柑 晩白柚、大橘 絹川	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（とげのある品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	晩白柚、平戸文旦、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 絹川	
5	5	QL (*)	若葉のアントシアニン着色の有無	Young leaf: presence of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、河内晩柑	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	QN	若葉のアントシアニン着色の強弱	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の強弱	観察 (a) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
7	7	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾋｮｳｶﾝ、ﾔﾏﾌﾞｷ、ｻﾝﾎﾞｳｶﾝ 八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
8	8	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 7)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾋｮｳｶﾝ、ﾔﾏﾌﾞｷ、ｻﾝﾎﾞｳｶﾝ 八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
9	9	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 7)	成葉の葉身の長さと幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	晩白柚、平戸文旦、八朔、大橘、ﾔﾏﾌﾞｷ、ｻﾝﾎﾞｳｶﾝ 絹川、河内晩柑、ﾋｮｳｶﾝ 川野夏橙	
10	10	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 7)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (b) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
11	11	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
12	12	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の凹凸の強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (b) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
14	14	QN	葉身の裏面の毛	Leaf blade: pubescence on lower side	成葉の葉身裏面の毛じの程度	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚	
15	15	QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波打ちの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘	
16	16	PQ	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸歯の形	観察 (b) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	晩白柚、平戸文旦、大橘、絹川、八朔、川野夏橙 河内晩柑	
17	17	PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の形	観察 (b) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ﾔﾏﾐｶﾝ 平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、河内晩柑 大橘 晩白柚	
18	18	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切れ込みの有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	河内晩柑 平戸文旦、川野夏橙、八朔、絹川 晩白柚、大橘	
20	20	QL	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、川野夏橙、八朔、絹川、大橘、河内晩柑	
21	21	QN	葉柄の翼葉の幅	Varieties with petiole wings present only: Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	川野夏橙、河内晩柑、絹川 平戸文旦、八朔 晩白柚、大橘	
22	22	QL	つぼみのアントシアニン着色の有無	Flower bud: presence of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の有無	観察 (c) (d) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、川野夏橙、八朔、絹川、大橘、河内晩柑	
23	23	QN	つぼみのアントシアニン着色の強弱	Flower bud: intensity of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
24	24	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	川野夏橙 八朔、河内晩柑、大橘、ﾔﾏﾐｶﾝ 晩白柚、平戸文旦、絹川	
26	26	QN	花弁の幅	lower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (c) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾔﾏﾐｶﾝ 八朔、川野夏橙、河内晩柑、大橘 晩白柚、平戸文旦、絹川	
27	27	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さと幅の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	平戸文旦、川野夏橙 晩白柚、絹川、八朔、大橘、河内晩柑 ﾔﾏﾐｶﾝ	
28	28	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
29	29	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (c) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	 晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑	
30	30	QN (+)	花粉の稔性	Anther: pollen viability	稔性花粉の割合の高低	測定 (c) MS	1 2 3	無又は低 中 高	absent or low medium high	 ﾏｰｼｭｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長さ	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	 平戸文旦、川野夏橙 晩白柚、絹川、八朔、大橘、河内晩柑	
32	32	QL	総状花序の有無	Infructescence: clustering of fruits	総状花序（果房）の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
33	33	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (e) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	八朔 絹川、川野夏橙、大橘、河内晩柑、ﾕｹﾞﾋｮｳｶﾝ 晩白柚、平戸文旦	
34	34	QN (*) G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	八朔、ﾕｹﾞﾋｮｳｶﾝ 絹川、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦	
35	35	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さと直径の比	測定 比 (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	平戸文旦、八朔、絹川、川野夏橙 晩白柚、大橘、河内晩柑 ﾕｹﾞﾋｮｳｶﾝ	
36	36	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (e) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	 晩白柚、平戸文旦、八朔、川野夏橙 絹川、大橘、河内晩柑	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	PQ (*) (+)	果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (e) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚、絹川、大橘 河内晩柑、ﾕｹﾞﾋｮｳｶﾝ	
38	38	QL (*) (+)	果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚 平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘	
39	39	QN	果実の果梗部のへこみの深さ（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	川野夏橙、大橘、八朔 平戸文旦、絹川	
40	40	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の多少	観察 (e) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	晩白柚、平戸文旦、八朔、大橘 絹川 川野夏橙、河内晩柑	
41	41	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の長さ（放射状溝のない品種を除く。）	観察 (e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42	QN (+)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (e) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘 晩白柚、河内晩柑、ﾃﾝｸﾞ	
43	43	QL (+)	果実の果頂部のへこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	川野夏橙、ﾃﾝｸﾞ 晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、大橘、河内晩柑	
44	44	QN	果実の果頂部のへこみの深さ	Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果頂部のへこみの深さ	観察 (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
45	45	QN	果実の果頂部のへこみの直径	Fruit: diameter of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの直径	観察 (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
46	46	QL	果実の果頂部の凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環状模様の明瞭さ	観察 (e) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、河内晩柑 川野夏橙、大橘 ﾔﾏﾐｶﾝ	
47	47	QL (+)	果実の果頂部の凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹環の状態（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	観察 (e) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	大橘 川野夏橙、ﾔﾏﾐｶﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	48	QN	果実の果頂部の凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹環の直径（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	測定 mm (e) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	 川野夏橙、大橘、ﾔﾏﾐｶﾝ	
49	49	QN	果実の花柱痕の大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱痕の直径	観察 (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	河内晩柑 八朔、川野夏橙、絹川 晩白柚、平戸文旦、大橘	
50	50	PQ (*) G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の主な色	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4 5 6 7 8	黄緑 緑黄 淡黄 黄 淡桃 桃 濃桃 黄橙	yellow green greenish yellow light yellow medium yellow light pink medium pink dark pink yellowish orange	 晩白柚 平戸文旦 大橘 絹川、八朔、川野夏橙、河内晩柑	
51	51	QN	果実の表面の光沢	Fruit surface: glossiness	果実の表面赤道部の光沢の程度	観察 (e) (f) VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 ﾃﾝｸﾞ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
52	52	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の粗滑の程度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	晩白柚、平戸文旦、絹川、大橘、河内晩柑 八朔、川野夏橙 獅子柚、三宝柑	
53	53	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (e) (f) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、三宝柑、ｲﾜｲｶﾝ	
54	54	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	絹川 平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚、大橘	
55	55	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾏｰｼｭｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ ﾁｬﾝﾄﾞﾗ、ｽﾀｰﾙﾋﾞｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	56	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (e) (f) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凹無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	晩白柚、平戸文旦、大橘、絹川 八朔、川野夏橙、河内晩柑	
57	57	QN	果実の表面の凹型油胞の密度（凹型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only: Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
58	58	QN	果実の表面の凹型油胞の深さ（凹型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only: Fruit surface: depth of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の深さ	観察 (e) (f) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ﾏｰｼｭｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ	
59	59	QN	果実の表面の凸型油胞の密度（凸型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present only: Fruit surface: density of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の密度	観察 (e) (f) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60	QN	果実の表面の凸型油胞の突出の強弱（凸型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling on oil glands present only: Fruit surface: degree of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の突出の強弱	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
61	61	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (e) (f) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	八朔、川野夏橙 河内晩柑、大橘、絹川 晩白柚、平戸文旦	
62	62	QN (*)	果皮と果肉の密着性	Fruit rind: adherence to flesh	剥皮時の果皮と果肉の分離の難易	観察 (e) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	絹川 八朔、川野夏橙、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
63	63	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (e) VG	1 2 3	白 淡桃 桃	white light pink pink	晩白柚、大橘 平戸文旦	
64	64	QL	異なる色のさじょうの有無	Fruit: differently colored specks in flesh	果肉内の果肉色と異なる色のさじょうの有無	観察 (e) (g) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 平戸文旦、ﾁｬﾝﾄﾞﾗｰ	
65	65	QL	複色のじょうのうの有無	Fruit: bicolored segments	果実内の複色のじょうのうの有無	観察 (e) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑、ｽﾀｰﾙﾋﾞｰ 平戸文旦、ﾁｬﾝﾄﾞﾗｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
66	66	QL	じょうのうの赤色の分布（複色のじょうのうが有の品種に限る。）	Only varieties with Fruit: bicolored segments: present: Fruit: distribution of red coloration	じょうのうの赤色の複色の分布	観察 (e) VG	1 2	全体 主に周縁部	every distributed mainly marginate	 ﾁｬﾝﾄﾞﾗ、ｽﾀｰﾙﾋﾞｰ	
67	67	PQ (*) G	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (e) (g) VG	1 2 3 4 5 6 7	緑黄 淡緑 淡桃 桃 濃桃 桃白 橙	greenish yellow light green light pink medium pink dark pink whitish and pink orange	ﾏｰｼｭｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ 晩白柚 ｽﾀｰﾙﾋﾞｰ ﾃﾝｸﾞ	
68	68	QL	果肉の苦味の有無	Fruit: bitterness of flesh	果肉の苦味の有無	観察 (e) (g) VG	1 9	無 有	absent present	絹川 晩白柚、平戸文旦、八朔、川野夏橙、河内晩柑	
69	69	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (e) (g) VG	1 3 5 7 9	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	獅子柚、ﾔﾏﾌﾞｷ 絹川、河内晩柑 八朔、川野夏橙 晩白柚、平戸文旦、大橘	
70	70	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (e) (g) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	河内晩柑 八朔 晩白柚、平戸文旦、絹川、川野夏橙、大橘	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
71	71	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	観察 (e) (g) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦	
72	72	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (e) (g) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	絹川、八朔、川野夏橙、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
73	73	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、絹川	
74	74	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	絹川、八朔、川野夏橙、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
75	75	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	晩白柚、平戸文旦、大橘、河内晩柑 絹川、八朔、川野夏橙	
76	76	QN	さじょうの明瞭さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明瞭さ	観察 (e) (g) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
77	77	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (e) (g) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
78	78	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (e) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	晩白柚、大橘 絹川、八朔、川野夏橙 平戸文旦、河内晩柑	
79	79	QN	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量（Brix）	測定 % (e) MS	3 5 7	低 中 高	low medium high	絹川 晩白柚、平戸文旦、八朔、川野夏橙、河内晩柑 大橘	
80	80	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度（クエン酸）	測定 % (e) MS	3 5 7	低 中 高	low medium high	絹川 晩白柚、八朔、大橘、川野夏橙、河内晩柑	
81	81	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	絹川、河内晩柑 平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚、大橘	
82	82	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (e) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	 ﾏｰｼｭｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ 絹川、八朔、川野夏橙、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
83	83	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (h) VG	1 9	無 有	absent present	晩白柚、平戸文旦、大橘、絹川、八朔、河内晩柑 川野夏橙、ﾏｰｼｭｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ	
84	84	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (h) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾕｹﾞﾋｮｳｶﾝ 平戸文旦、絹川、川野夏橙、大橘、河内晩柑 晩白柚	
85	85	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (h) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	 絹川、川野夏橙、八朔、河内晩柑 晩白柚、平戸文旦、大橘	
86	86	QL	種子の表面の状態	Seed: surface	成熟種子表面の状態	観察 (h) VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled		
87	87	QN	種子の表面のしわの強弱	Varieties with seed: surface wrinkled only: Seed: prominence of wrinkle	種子の表面のしわの強弱	観察 (h) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
88	88	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の色	観察 (h) VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	絹川 河内晩柑、大橘 平戸文旦、八朔、川野夏橙 晩白柚	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
89	89	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種皮の色	観察 (h) VG	1 2 3 4 5 6 7	白 淡黄 淡褐 褐 濃褐 赤 紫	white light yellow light brown medium brown dark brown red purple	 八朔、川野夏橙 晩白柚、平戸文旦、絹川、大橘、河内晩柑	
90	90	PQ	子葉の色（種子の多胚性が有の品種に限る。）	Only varieties with seed: polyembryony present: Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の色	観察 (h) VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	 川野夏橙、ﾏｰｼｭｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ	
91	91	QL (*)	四季咲き性の有無	Flowering habit	四季咲き性（開花期が年に２回以上）の有無	観察 VG	1 2	1 回のみ 2 回以上	flowering once flowering more than once	晩白柚、平戸文旦、絹川、八朔、川野夏橙、大橘、河内晩柑	
92	92	QN (*) G	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定 月日 MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late	絹川 晩白柚、平戸文旦、八朔、大橘 川野夏橙、河内晩柑	
93	93	QL (*)	単為結果性の有無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
94	94	QL (+)	自家不和合性の有無	Plant: self-incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

Ⅷ. 特性表の説明　(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2　樹姿　　Char. 2　Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 17　葉身の先端部の形　　Char.17　Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形
obtuse



4
円形
rounded

形質 18　葉身の先端の切れ込みの有無　　Char.18　Leaf blade: emargination at tip



1
無
absent



9
有
present

形質 30　花粉の稔性　　Char. 30 ([239]): Anther: pollen viability

花蕾の発育過程には変動がある。完全に開花している期間中に観察する必要がある。２年間の観察結果から、最も高い値を選ぶ。これが最も高い受粉の可能性を示すことになるからである。

There is variability during development of the floral bud. It must be observed during the period of full flowering. From the two years of observations, the highest value should be taken, as this would indicate the highest potential for pollination.

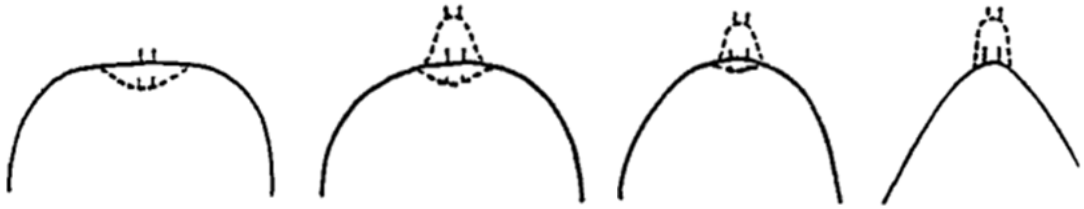
稔性花粉の割合を決定する方法
Method to determine the percentage of pollen viability

花粉は、花弁が開き始めた時点でまだ閉じた状態のやくを採取し、これをペトリ皿に入れて、室温、暗条件の下でシリカゲル乾燥器内に 20～48 時間置く。やくが開いたらこれを８℃のチャンバーに移し、相対湿度 70～80％で１時間保存する。その後花粉を２ml の Brewbacker 培地（Brewbaker and Kwock, 1963）を用いて顕微鏡スライドにすり付け、24 ºC のチャンバーに入れ、相対湿度 75％で 20 時間保存する。

花粉の生育率は、２枚の異なる顕微鏡スライドから 15 の視野で観察された発芽した花粉粒の平均を計算して求める。

The pollen should be collected when the petals begin to open (but with the anthers closed). The anthers should be introduced into a Petri dish and placed inside a silica gel dryer at room temperature, for 20-48 hours of darkness. When the anthers are open they should be moved to an 8 ºC chamber with a 70-80 % Relative Humidity for one hour. Afterwards, the pollen should be brushed onto a microscope slide with 2 ml of Brewbacker medium (Brewbaker and Kwack. 1963). Finally, the microscope slide should be placed in a 24 ºC chamber with a 75 % RH for 20 hours.

形質 37　果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）
Char.37　Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1	2	3	4
平	やや円	円	先細
flattened	slightly rounded	strongly rounded	tapered

形質 38　果実の果梗部のへこみの有無（ネックがない品種に限る。）

Char.38　Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



1
無
absent



9
有
present

形質 42　果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）

Char.42　Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)



1
平
flattened



2
やや円
slightly rounded



3
円
strongly rounded

形質 43　果実の果頂部のへこみの有無　　Char.43　Fruit: presence of depression at distal end



1
無
absent



9
有
present

形質 47　果実の果頂部の凹環のタイプ　　Char.47　Fruit: type of areola



1	2	3
平	凹む	盛り上がる
smooth	grooved	ridged

形質 82　自然受粉の場合の種子数　　Char.82　Fruit: number of seeds (open pollination)

任意の品種との自然交配による種子数を調査する。

Open pollination means natural pollination between trees of the any variety.

形質 94　自家不和合性の有無　　Char.94　Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

資料 1-2-6

2026 年　月

TG/83/4 Rev.2020-02-25 に準拠

カンキツ属

(カラタチ)

(*Citrus* L. - Group 5)

TRIFOLIATE ORANGE

(案)

カンキツ属（カラタチ）審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科（*Rutaceae*）カンキツ属（*Citrus* L.）の、別表１に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は１年生苗木

ⅱ）数量　　10 個体

ⅲ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　５個体

ⅲ）栽培期間　　正常な果実が収穫できる２生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

ⅳ)調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体５個体又は各個体から２個採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(g)で示した時期に行う。

(a) 若葉に関する形質は、春の伸長中の葉について調査する。

(b) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉について調査する。

(c) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。

(d) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。

(e) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。

(f) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。

(g) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 １％、受容確率 95％ を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 ５により判定する。供試個体数が５の場合、許容される異型個体数は０である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）落葉性（形質 7）
ⅱ）葉の小葉の数（形質 8）
ⅲ）果実の表面の毛じの有無（形質 72）
ⅳ）自然受粉の場合の種子数（形質 100）
ⅴ）種子の多胚性の有無（形質 102）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表１

学名	Subgroup	和名
Citrus clementina Hort. ex Tan. x *Citrus trifoliata* L.	HPO	（クレメンティン×カラタチ）
Citrus limon (L.) Burm. x *Citrus trifoliata* L.	CTL	（レモン×カラタチ）
Citrus paradisi Macf. x *Citrus trifoliata* L.	CML	（グレープフルーツ×カラタチ）
Citrus reticulata Blanco x *Citrus trifoliata* L.	CTI	（ポンカン×カラタチ）
Citrus sinensis (L.) Osb. x *Citrus trifoliata* L.	CTG	（スイートオレンジ×カラタチ）
Fortunella sp. x *Citrus trifoliata* L.	HPO	（キンカン×カラタチ）
Citrus x *polytrifolia Govaerts*	PON	
Citrus trifoliata L.	PON	カラタチ

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
1	1	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後３年以上の樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ﾎﾟﾒﾛｲ	
2	2	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	 ﾎﾟﾒﾛｲ ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
3	3	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（とげのある品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ﾎﾟﾒﾛｲ USDA	
4	4	QN	枝の皮目の強弱	Branch: expression of lenticels	枝の皮目の強弱の程度	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
5	5	QL (*)	若葉のアントシアニン着色の有無	Young leaf: presence of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ	
6	6	QN	若葉のアントシアニン着色の強弱	Young leaf: intensity of anthocyanin coloration	若葉のアントシアニン着色の強弱	観察 (a) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7	PQ (*) G	落葉性	Leaf: caducity	１年の生育サイクルにおける落葉の性質	観察 (b) VG	1 2 3	常緑 部分落葉 全て落葉	perennial partially caducous caducous	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ	
8	8	PQ (*) G	葉の小葉の数	Leaf: number of leaflets	葉の小葉の数	観察 (b) VG	1 2 3	1 枚 混在 3 枚	one only variable three only	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ	
9	9	QN	葉身の長さ（複葉の場合は先端小葉）	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
10	10	QN	葉身の幅（複葉の場合は先端小葉）	Leaf blade: width (as for 9)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
11	11	QN	葉身の長さ／幅（複葉の場合は先端小葉）	Leaf blade: ratio length/width (as for 9)	成葉の葉身の長さと幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
12	12	QN	側小葉の葉身の長さ（複葉の場合に限る。）	Leaf blade: length (lateral leaflet in case of compound leaf)	複葉の側小葉の葉身の長さ	測定 cm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	QN	側小葉の葉身の幅（複葉の場合に限る。）	Leaf blade: width (as for 12)	複葉の側小葉の葉身の最大幅	測定 cm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
14	14	QN	側小葉の葉身の長さ／幅（複葉の場合に限る。）	Leaf blade: ratio length/width (as for 12)	複葉の側小葉の葉身の長さと幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
15	15	QN	先端小葉と側小葉の長さの比（複葉の場合に限る。）	Leaf blade: ratio length of blade of apical leaflet/length of blade of lateral leaflet	複葉の頂小葉と側小葉の長さの比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
16	16	QN	葉身の横断面の形（複葉の場合は先端小葉）	Leaf blade: shape in cross section (as for 9)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (b) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave		
17	17	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
18	18	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の凹凸の強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
19	19	QN	葉身の緑色の濃淡	leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (b) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	QN	葉身の裏面の毛	Leaf blade: pubescence on lower side	成葉の葉身裏面の毛じの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
21	21	QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波打ちの強弱	観察 (b) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ｶﾗﾀﾁ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
22	22	PQ (*)	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸歯の形	観察 (b) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
23	23	PQ (*) (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の形	観察 (b) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ﾎﾟﾒﾛｲ	
24	24	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切れ込みの有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		
25	25	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｶﾗﾀﾁ	
26	26	QL (*)	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	QN	葉柄の翼葉の幅	Varieties with petiole wings present only: Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
28	28	QL	つぼみのアントシアニン着色の有無	Flower bud: presence of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の有無	観察 (c) (d) VG	1 9	無 有	absent present	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
29	29	QN	つぼみのアントシアニン着色の強弱	Flower bud: intensity of anthocyanin coloration	つぼみのアントシアニン着色の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｶﾗﾀﾁ	
30	30	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
31	31	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾎﾟﾒﾛｲ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
32	32	QN	花弁の幅	lower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (c) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｶﾗﾀﾁ ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	33	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さと幅の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾎﾟﾒﾛｲ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｶﾗﾀﾁ	
34	34	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾎﾟﾒﾛｲ ｶﾗﾀﾁ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
35	35	QL	雄ずいの花糸の色	Stamen: color of filament	雄ずいの花糸の色	観察 (c) VG	1 2	白 ピンク	white pink	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ	
36	36	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (c) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
37	37	QL	花粉の稔性の有無	Anther: viable pollen	稔性花粉の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present		
38	38	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長さ	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
39	39	QL	子房の毛じの有無	Ovary: pubescence	子房の毛じの発生の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
40	40	QN (*)	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (d) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｶﾗﾀﾁ ﾎﾟﾒﾛｲ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
41	41	QN	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (d) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｶﾗﾀﾁ ﾎﾟﾒﾛｲ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
42	42	QN	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さと直径の比	測定 比 (d) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
43	43	QN	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (d) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
44	44	PQ (+)	果実の横断面の形	Fruit: shape in transverse section	果実の横断面の形	観察 (d) VG	1 2 3	円 やや角張る 波状	circular somewhat angular scalloped	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
45	45	PQ (+)	果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar, and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (d) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
46	46	QL (+)	果実の果梗部のネックの有無	Fruit: presence of neck	果実の果梗部のネックの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
47	47	QN	果実の果梗部のネックの長さ	Necked varieties only: Fruit: length of neck	果実の果梗部のネックの直径	観察 (d) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		
48	48	QN	果実の果梗部のネックの厚さ	Necked varieties only: Fruit: thickness of neck	果実の果梗部のネックの厚さ	観察 (d) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		
49	49	QL (+)	果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
50	50	QN	果実の果梗部のへこみの深さ（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (d) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
51	51 (+)	QL	果実の果梗部のくびれの有無	Fruit: presence of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present		
52	52	QN	果実の果梗部のくびれの強弱	Fruit: expression of constriction at stalk end	果実の果梗部のネック基部のくびれの強弱	観察 (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
53	53	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の多少	観察 (d) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
54	54	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の長さ（放射状溝のない品種を除く。）	観察 (d) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		
55	55	QN	果実の果梗部のへこみの深さ（ネックが有の品種に限る。）	Necked varieties only: Fruit: depression at stalk attachment	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (d) VG	1 2 3	無又は浅 中 深	absent or shallow intermediate deep		
56	56	QL (+)	果実の果梗部のカラーの有無	Fruit: presence of collar	果実の果梗部のカラーの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
57	57	QN	花盤と果実の間の離層	Fruit: abscission layer between floral disc and fruit	花盤と果実の間の離層の発達の強弱	観察 (d) VG	1 2 3	無又は弱く発達 中間 強く発達	absent or weakly developed intermediate strongly developed		
58	58	QN (+)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (d) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
59	59	QL (+)	果実の果頂部のへこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
60	60	QN	果実の果頂部のへこみの深さ	Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果頂部のへこみの深さ	観察 (d) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
61	61	QL (*) (+)	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	Fruit: presence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
62	62	QN	果実の果頂部の乳頭状突起の強弱	Fruit: prominence of nipple	果実の果頂部の乳頭状突起の突出の強弱	観察 (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
63	63	QL	果実の果頂部の凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環状模様の明瞭さ	観察 (d) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ﾎﾟﾒﾛｲ、ﾋﾘｭｳ、USDA	
64	64	QL (+)	果実の果頂部の凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹環の状態（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	観察 (d) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	ﾎﾟﾒﾛｲ、ﾋﾘｭｳ、USDA	
65	65	QN	果実の果頂部の凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹環の直径（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	測定 mm (d) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾎﾟﾒﾛｲ USDA	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
66	66	QN	果実の花柱痕の大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱痕の直径	観察 (d) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
67	67	QN	果実の花柱痕の突出	Fruit: protruding stylar point	果実の花柱痕の突出程度の強弱	観察 (d) VG	3 5 7	弱 中 強	small medium large		
68	68	PQ	花柱の果実への残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残存の程度	観察 (d) VG	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
69	69	QN	果実の果頂部のへその隆起	Fruit: bulging of navel	果実の果頂部のへその隆起の強弱	観察 (d) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
70	70	QL	果実の果頂部の放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
71	71	PQ	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の主な色	観察 (d) (e) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	緑 黄緑 緑と黄 淡黄 黄 黄橙 橙 濃橙 緑と橙 黄と橙 橙赤 黄と赤 橙と赤	green yellow green green and yellow light yellow medium yellow yellow orange medium orange dark orange green and orange yellow and orange orange red yellow and red orange and red	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	
72	72	QL (*) G	果実の表面の毛の有無	Fruit surface: presence of pubescence	果実の表面赤道部の毛じの有無	観察 (d) (e) VG	1 9	無 有	absent present	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ	
73	73	QN (*)	果実の表面の毛の粗密	Fruit surface: intensity of pubescence	果実の表面赤道部の毛じの粗密（毛じが有の品種に限る。）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	粗 中 密	weak medium strong	 ﾎﾟﾒﾛｲ ｶﾗﾀﾁ	
74	74	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の果面赤道部の粗滑の程度	観察 (d) (e) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
75	75	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (d) (e) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller one	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
76	76	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
77	77	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む。）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
78	78	PQ	果実の表面の油胞の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands	果実の表面赤道部の油胞の凹凸の有無	観察 (d) (e) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凹無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
79	79	QN	果実の表面のへこみの密度（へこみのある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pitting present only: Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (d) (e) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
80	80	QN	果実の表面の凹型油胞の深さ（凹型油胞のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pitting on oil glands present only: Fruit surface: depth of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の深さ	観察 (d) (e) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		
81	81	QN	果実の表面の凸の密度（凸のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling present only: Fruit surface: density of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の密度	観察 (d) (e) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
82	82	QN	果実の表面の凸の突出の強弱（凸のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling present only: Fruit surface: degree of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の突出の強弱	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
83	83	QN	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (d) (e) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	ﾋﾘｭｳ、ﾙﾋﾞﾄﾞｰ ｶﾗﾀﾁ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ﾎﾟﾒﾛｲ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
84	84	QN	果皮と果肉の密着性	Fruit rind: adherence to flesh	剥皮時の果皮と果肉の分離の難易	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
85	85	QN	果皮の強さ	Fruit rind: strength	果皮の強さ（硬さ、ちぎれにくさ）	観察 (d) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
86	86	QN	果皮の裏面の油胞の明瞭さ	Fruit rind: conspicuousness of oil glands on inner surface	果皮の裏側から見た油胞の明瞭度	観察 (d) (e) VG	1 2 3	無又はわずかに明瞭 中 明瞭	absent or weakly conspicuous intermediate strongly conspicuous		
87	87	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (d) VG	1 2 3 4 5 6	緑 白 淡黄 淡橙 ピンク 赤	greenish white light yellow light orange pink reddish	ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼ	
88	88	QN	アルベドの粗密	Fruit: density of albedo	アルベドの粗密の程度	観察 (d) VG	3 5 7	粗 中 密	loose medium dense	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
89	89	QN	果実の果肉と密着するアルベドの量（維管束は除く。）	Fruit: amount of albedo adhering to flesh (strands excluded)	剥皮時に果肉に残るアルベドの量	観察 (d) VG	1 3 5 7 9	無又は極少 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large		
90	90	QL	アルベドの維管束の有無	Fruit: presence of albedo strands	アルベドの維管束の有無	観察 (d) VG	1 9	無 有	absent present		
91	91	QN	アルベドの維管束の量	Fruit: amount of albedo strands	アルベド維管束の多少	観察 (d) VG	3 5 7	少 中 多	small medium large		
92	92	PQ	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (d) (f) VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	帯白 淡緑 淡黄 黄 淡橙 橙 濃橙 赤 紫 黄と赤	whitish light green light yellow medium yellow light orange medium orange dark orange red purple yellow and red	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
93	93	QL	果肉の苦味の有無	Fruit: bitterness of flesh	果肉の苦味の有無	観察 (d) (f) VG	1 9	無 有	absent present		
94	94	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (d) (f) VG	1 3 5 7 9	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
95	95	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	観察 (d) (f) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
96	96	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (d) (f) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
97	97	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (d) (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
98	98	PQ	果実内部の二次果の有無	Fruit: presence of navel (viewed internally)	果実内部の二次果（ネーブル）の有無	観察 (d) VG	1 2 3	無又は極稀にあり 希にあり 常にあり	absent or very rare occasionally present always present	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
99	99	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (d) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
100	100	QN (+)	自家受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (controlled manual self pollination)	自家受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many		
101	101	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (d) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ	
102	102	QL (*) G	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (g) VG	1 9	無 有	absent present	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
103	103	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (g) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
104	104	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (g) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
105	105	QL	種子の表面の状態	Seed: surface	成熟種子の表面の状態	観察 (g) VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
106	106	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の色	観察 (g) VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
107	107	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種珠皮の色 7/	観察 (g) VG	1 2 3 4 5 6 7	白 淡黄 淡褐 褐 濃褐 赤 紫	white light yellow light brown medium brown dark brown red purple	ｶﾗﾀﾁ ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
108	108	PQ	子葉の色（種子の多胚性が有の品種に限る。）	Only varieties with seed: polyembryony present: Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の色	観察 (g) VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
109	109	QL (*)	四季咲き性の有無	Flowering habit	四季咲き性（開花期が年に２回以上）の有無	観察 VG	1 2	１回のみ ２回以上	flowering once flowering more than once	ｶﾗﾀﾁ、ﾎﾟﾒﾛｲ、ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
110	110	QN	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定 月日 MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ｶﾗﾀﾁ ｷｬﾘｿﾞｼﾄﾚﾝｼﾞ、ｽｲﾝｸﾞﾙｼﾄﾙﾒﾛ	
111	111	QL (+)	自家不和合性の有無	Plant: self-incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

Ⅷ. 特性表の説明　(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1　樹姿　　Char. 1　Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 23　葉身の先端部の形　　Char.23　Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3
鈍形



4
円形

形質 24　葉身の先端の切れ込みの有無　　Char.24　Leaf blade: emargination at tip

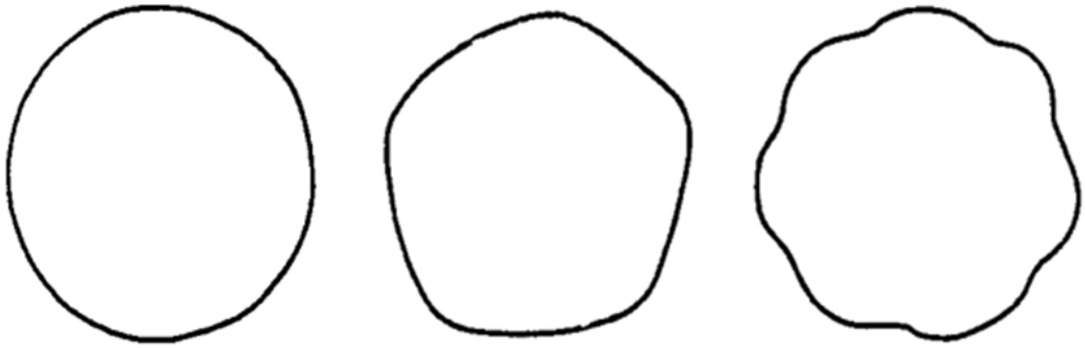


1
無



9
有

形質 44　果実の横断面の形　　Char. 44 Fruit: shape in transverse section



1
円
circular

2
やや角張る
somewhat angular

3
波状
scalloped

形質 45　果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）

Char.45　Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1
平
flattened

2
やや円
slightly rounded

3
円
strongly rounded

4
先細
tapered

形質 46　果実の果梗部のネックの有無　　Char. 46 Fruit: presence of neck



1
無
absent

9
有
present

形質 49　果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）

Char.49　Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end

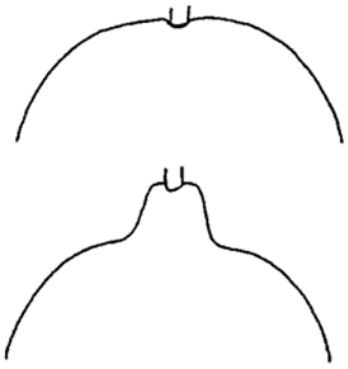


1
無
absent

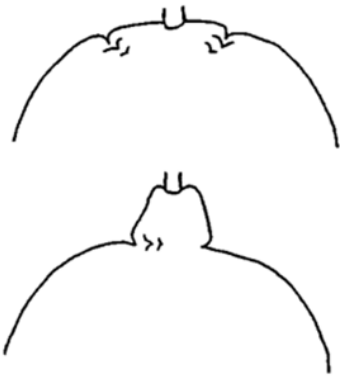


9
有
present

形質 51　果実の果梗部のくびれの有無　Char. 51 ([260]): Fruit: presence of collar

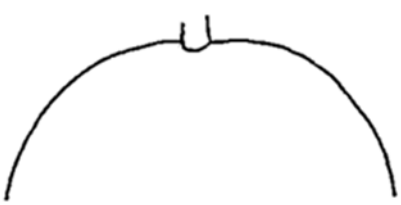


1
無
absent

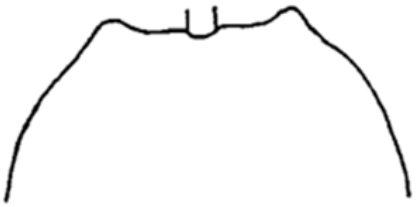


9
有
present

形質 56　果実の果梗部のカラーの有無　Char. 56 ([260]): Fruit: presence of collar



1
無
absent



9
有
present

形質 58　果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）

Char. 58 ([264]): Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)



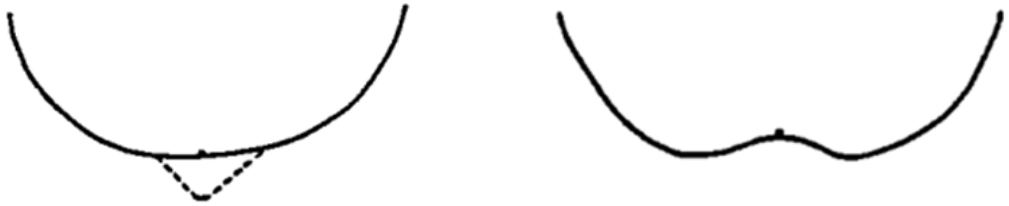
1
平
flattened

2
やや円
slightly rounded

3
円
strongly rounded

形質 59　果実の果頂部のへこみの有無

Char.59　Fruit: presence of depression at distal end

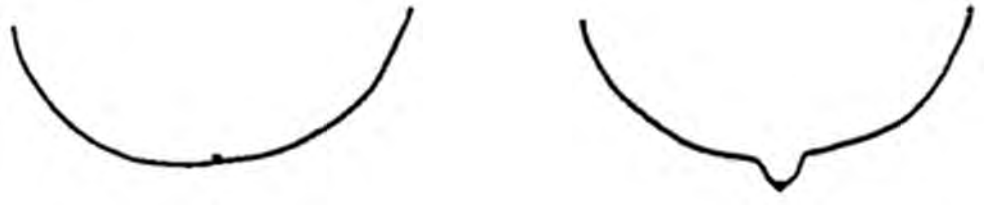


1
無
absent

9
有
present

形質 61　果実の果頂部の乳頭状突起の有無

Char. 61　Fruit: presence of nipple



1
無
absent

9
有
present

形質 64　果実の果頂部の凹環のタイプ　　Char.64　Fruit: type of areola



1	2	3
平	凹む	盛り上がる
smooth	grooved	ridged

形質 100　自家受粉の場合の種子数

Char. 100　Fruit: number of seeds (controlled manual self-pollination)

一貫性のある種子数を調査するためには、人工的に自家受粉する必要がある。

Manual self-pollination is necessary to ensure a consistent production of seed.

形質 101　自然受粉の場合の種子数

Char.101　Fruit: number of seeds (open pollination)

任意の品種間の自然交配による種子数を調査する。

Open pollination means natural pollination between trees of the any variety.

形質 111　自家不和合性の有無

Char.111　Self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

資料 1-2-7

2026 年　月
TG/155/4 Rev. 2007-03-28+2009-04-01 に準拠

セイヨウカボチャ種

Pumpkin; Squash

(*Cucurbita maxima* Duchesne*)*

(案)

セイヨウカボチャ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、ウリ科（Cucurbitaceae）カボチャ属（*Cucurbita* L.）のセイヨウカボチャ種（*C. maxima* Duchesne）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　200g 又は 1,500 粒

種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　20 個体（2 区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された時期に行う。

(a) 葉は、1 番果が充実した時期に完全展開葉を調査する。

(b) 成熟果は、適切な節位に着果させ、十分に発達した成熟果を調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、単交雑品種及び近交系品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

他家受粉品種及び交雑品種においては、上記一般基準の第４の２（２）及び（３）をそれぞれ適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ) 茎の長さ（形質 2）

ⅱ) 果実の長さ（形質 12）

ⅲ) 果実の直径（形質 13）

ⅳ) 果実の形（形質 15）

ⅴ) 果実の先端部の形（形質 18）

ⅵ) 果皮の色数（形質 22）

ⅶ) 果皮の主な色（形質 23）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1	1	PQ	子葉の形	Seedling: shape of cotyledons	完全展開時の子葉の形	観察 VG	1 2 3	楕円形 広楕円形 倒卵形	medium elliptic broad elliptic obovate	つるなしやっこ、 打木赤皮栗	
2	2	QN (*) G	茎の長さ	Plant: length of main stem	1 番果着果期の主茎の長さ	測定/ 観察 MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	 つるなしやっこ 打木赤皮栗	
3	3	QN	葉身の大きさ	Leaf blade: size	葉身の大きさ	測定/ 観察 cm^2 MS/ VG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	 芳香青皮栗 つるなしやっこ	
4	4	QN (+)	葉身の周縁の切れ込み	Leaf blade: margin	葉身の周縁の切れ込みの強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は極弱 弱 中	entire or very weakly incised weakly incised moderately incised	打木赤皮栗 芳香青皮栗	
5	5	QN (*)	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color of upper side	葉身の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	打木赤皮栗 くりほまれ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定/観察 cm MS/VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	 芳香青皮栗 打木赤皮栗	
7	7	QN	葉柄の直径	Petiole: diameter (at base)	葉柄の基部の太さ	測定/観察 mm MS/VG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	打木赤皮栗 つるなしやっこ	
8	8	QN	雌花のがく片の長さ	Female flower: length of sepal	雌花のがく片の長さ	測定/観察 MS/VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	打木赤皮栗	
9	9	QN	雄花のがく片の長さ	Male flower: length of sepal	雄花のがく片の長さ	測定/観察 MS/VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	打木赤皮栗	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	QN	果柄の長さ	Peduncle: length	果柄の長さ	測定/観察 cm MS/VG (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	芳香青皮栗	
11	11	QN	果柄の直径	Peduncle: diameter	果柄の太さ	測定/観察 mm MS/VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	打木赤皮栗 つるなしやっこ	
12	12	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の長さ	測定/観察 cm MS/VG (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	打木赤皮栗	
13	13	QN (*) (+) G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の最大幅部の直径	測定/観察 cm MS/VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	打木赤皮栗 Rouge vif d'Etampes	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
14	14	QN	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径の比	測定/観察 比 MS/VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	つるなしやっこ、 Rouge vif d’Etampes 打木赤皮栗	
15	15	PQ (*) (+) G	果実の形	Fruit: shape	果実の形	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	心臓形 ターバン形 扁平形 横楕円形 円形 狭楕円形 楕円形 長方形 台形 広洋梨形 狭洋梨形 紡錘形 三葉形	heart shaped capped transverse medium elliptic transverse broad elliptic circular narrow elliptic medium elliptic rectangular trapezoid broad pear shaped narrow pear shaped Hubbard type tri-lobed	 Giraumon Turban Rouge vif d’Etampes 芳香青皮栗、 つるなしやっこ 打木赤皮栗	
16	16	QN (*)	果実の最大幅部の位置	Fruit: position of broadest part	果実の最大幅部の位置	観察 VG (b)	1 2 3	基部側 中央部 先端側	towards stem end at middle towards blossom end	 芳香青皮栗	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	17	QN (*) (+)	果実の基部の形	Fruit: profile at stem end	果実の基部の形	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	凸 平 わずかに凹 やや凹 強く凹	raised flat slightly depressed moderately depressed strongly depressed	打木赤皮栗 芳香青皮栗 Rouge vif d'Etampes	
18	18	QN (*) (+) G	果実の先端部の形	Fruit: profile at blossom end (flower scar included)	花落ちを含む果実の先端部の形	観察 VG (b)	1 2 3	凹 平 凸	depressed flat raised	Rouge vif d'Etampes つるなしやっこ	
19	19	QL (*)	果実の条溝の有無	Fruit: grooves	果実の表面の条溝の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	打木赤皮栗 芳香青皮栗	
20	20	QN	果実の条溝間の距離	Fruit: distance between grooves	果実の表面の条溝から条溝までの距離	測定/ 観察 MS/ VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	芳香青皮栗 Rouge vif d'Etampes	
21	21	QN	果実の条溝の深さ	Fruit: depth of grooves	果実の表面の条溝の深さ	観察 VG (b)	1 3 5 7 9	極浅 浅 中 深 極深	very shallow shallow medium deep very deep	芳香青皮栗 くりほまれ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
22	22	PQ (*) (+) G	果皮の色数	Fruit: number of colors of skin	果皮の色数	観察 VG (b)	1 2 3 4	一色 色相が同じ二色 色相が異なる二色 三色以上	one two color intensities (with clear borders) two color hues more than two color hues or intensities (with clear borders)	打木赤皮栗	
23	23	PQ (*) (+) G	果皮の主な色	Fruit: main color of skin	果皮の主な色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 黄白 黄 橙 赤 桃 緑 灰緑 灰	white cream yellow orange red pink green grey green grey	打木赤皮栗 つるなしやっこ 芳香青皮栗	
24	24	QN (+)	果皮の主な色の濃淡（果皮の主な色が白及び黄白の品種を除く。）	Excluding varieties with main color of skin: cream or white: Fruit: intensity of main color of skin	果皮の主な色の濃淡（色区分毎に評価）	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	打木赤皮栗、つるなしやっこ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
25	25	PQ (*) (+)	果皮の二次色（果皮の色数が一色の品種を除く。）	Only varieties with two or more color hues or intensities: Fruit: secondary color of skin	果皮の二次色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 黄白 黄 橙 赤 桃 緑 灰緑 灰	white cream yellow orange red pink green grey green grey	 つるなしやっこ	
26	26	QN (*) (+)	果皮の二次色の濃淡（果皮の色数が一色の品種及び果皮の二次色が白及び黄白の品種を除く。）	Only varieties with two or more color hues or intensities: Fruit: intensity of secondary color of skin	果皮の二次色の濃淡（色区分毎に評価）	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	 つるなしやっこ	
27	27	PQ (*) (+)	果皮の二次色の分布（果皮の色数が一色の品種を除く。）	Only varieties with two or more color hues or intensities: Fruit: distribution of secondary color of skin	果皮の二次色の分布	観察 VG (b)	1 2 3	斑点のみ 斑点と条 条のみ	only patches patches and stripes only stripes	 つるなしやっこ 打木赤皮栗	
28	28	PQ	果実の表面の状態	Fruit: texture of surface	果実の表面の状態	観察 VG (b)	1 2 3 4	滑 粗 いぼ状 こぶ状	smooth rough warted bullate	打木赤皮栗 くりほまれ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
29	29	PQ (*) (+)	果皮のコルク層の形成	Fruit: cork formation	果皮の表面のコルク層の形成（自然発生したもの）	観察 VG (b)	1 2 3	無又は極疎 斑点状 網状	absent or very sparse in dots netted	打木赤皮栗	
30	30	QN	果皮のコルク層の厚さ	Fruit: thickness of cork	果皮のコルク層の厚さ	観察 VG (b)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		
31	31	QN	果実の花落ちの直径	Fruit: diameter of flower scar	花落ちの直径	測定/観察 cm MS/ VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	つるなしやっこ Turks Turban	
32	32	PQ (*) (+)	果肉の主な色	Fruit: main color of flesh	果肉の主な色	観察 VG (b)	1 2 3	黄 橙 赤橙	yellow orange reddish orange	つるなしやっこ、 くりほまれ 芳香青皮栗 打木赤皮栗、 北海 3 号	
33	33	QN (*)	種子の大きさ	Seed: size	収穫した種子の大きさ	測定/観察 mm^2 MS/ VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	北海 3 号 打木赤皮栗	

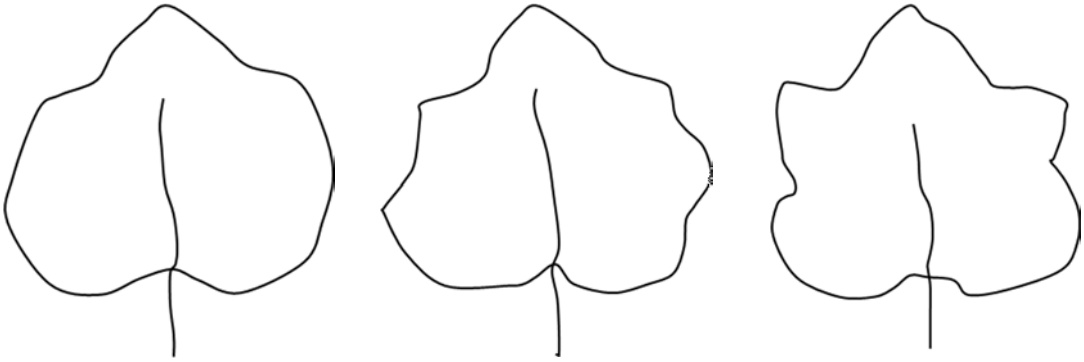
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34	QN (*)	種子の形	Seed: shape	収穫した種子の形	観察 VG (b)	1 2 3	狭楕円形 楕円形 広楕円形	narrow elliptic medium elliptic broad elliptic	北海 3 号 打木赤皮栗	
35	35	PQ (*)	種皮の色	Seed: color of coat	収穫した種子の表面の主な色	観察 VG (b)	1 2 3	白 淡黄 淡褐	white cream light brown	Giraumon Turban 打木赤皮栗	
36		QN (+)	種皮の粗滑	Seed: texture of coat	収穫した種子の表面の粗滑	観察 VG (b)	1 2 3	滑 中間 粗	smooth moderator smooth rough	打木赤皮栗 芳香青皮栗	

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

セイヨウカボチャ種は、一年生で種子は白、淡黄又は淡褐色であり、茎は丸くて柔らかく、葉に白斑がない。また、果柄は円筒形であり、柔軟なコルク質で肥厚する点においてカボチャ属のその他の種と区別される。

Cucurbita maxima Duch. is an annual plant with white, light yellow or light brown seeds, round and soft stems and leaves without white variegations. It is also distinguished from other species in the *Cucurbita* L. by their cylindrical shapes thickened with soft corky peduncles.

形質 4　葉身の周縁の切れ込み　　Char.4　Leaf blade: margin



1	2	3
無又は極弱	弱	中
entire or very weakly incised	weakly incised	moderately incised

形質 13　果実の直径　　Char.13　Fruit: diameter

果実の直径は、果実の最大幅部の直径で評価する。

The diameter should be observed at the broadest part.

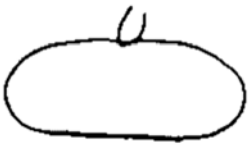
形質 15　果実の形　　Char. 15　Fruit: shape



1
心臓形
heart shaped



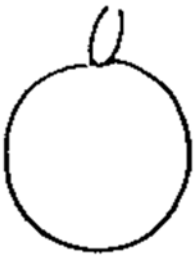
2
ターバン形
capped



3
扁平形
transverse medium elliptic



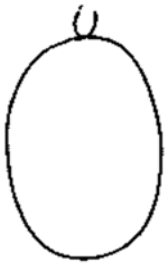
4
横楕円形
transverse broad elliptic



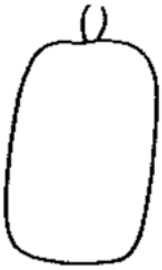
5
円形
circular



6
狭楕円形
narrow elliptic



7
楕円形
medium elliptic



8
長方形
rectangular



9
台形
trapezoid



10
広洋梨形
broad pear shaped



11
狭洋梨形
narrow pear shaped

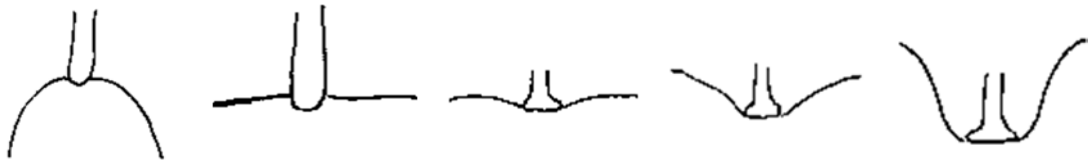


12
紡錘形
Hubbard type



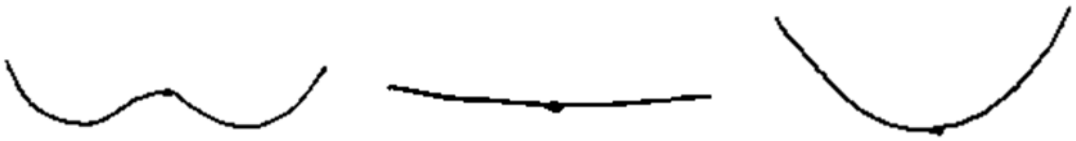
13
三葉形
tri-lobed

形質 17　果実の基部の形　　Char.17　Fruit: profile at stem end



1	2	3	4	5
凸	平	わずかに凹	やや凹	強く凹
raised	flat	slightly depressed	moderately depressed	strongly depressed

形質 18　果実の先端部の形　　Char.18　Fruit: profile at blossom end (flower scar included)



1	2	3
凹	平	凸
depressed	flat	raised

形質 22　果皮の色数　　Char.22　Fruit: number of colors of skin

濃淡のない単色の場合や境界が不明瞭な同じ色相の濃淡の場合は、「1 一色」として評価する。

境界が明確な同じ色相（例えば、赤と橙や、緑と灰緑）の 2 色の場合は、「2 色相が同じ二色」として評価する。

色相が異なる 2 色の場合は、「3 色相が異なる二色」として評価する。

3 色以上の場合や境界が明確な同じ色相の 3 色の場合は、「4 三色以上」として評価する。

In the case of single color with no shading, or in the case of shading of the same hue where the borders are unclear, it should be assessed as "1 one".

In the case of two colors of the same hue (for example, red and orange, or green and grayed-green) with clear borders between them, it should be assessed as "2 two color intensities (with clear borders)".

In the case of two colors with different hues, it should be assessed as "3 two color hues".

In the case of more than two colors, or three colors of the same hue with clear borders between them, it should be assessed as "4 more than two color hues or intensities (with clear borders)"

形質 23　果皮の主な色　　Char.23　Fruit: main color of skin

形質 24　果皮の主な色の濃淡（果皮の主な色が白及び黄白の品種を除く。）

Char.24　Excluding varieties with main color of skin: cream or white: Fruit: intensity of main color of skin

形質 25　果皮の二次色（果皮の色数が一色の品種を除く。）

Char.25　Only varieties with two or more color hues or intensities: Fruit: secondary color of skin

形質 26　果皮の二次色の濃淡（果皮の色数が一色の品種及び果皮の二次色が白及び黄白の品種を除く。）

Char.26　Only varieties with two or more color hues or intensities: Fruit: intensity of secondary color of skin

形質 27　果皮の二次色の分布（果皮の色数が一色の品種を除く。）

Char.27　Only varieties with two or more color hues or intensities: Fruit: distribution of secondary color of skin

果皮の主な色は、花落ち部分を除く果実全体で最も大きい面積を占める色を示す。果皮の二次色は、花落ち部分を除く果実全体で 2 番目に大きい面積を占める色を示す。

The main color is the color with the largest area over the whole fruit excluding the scar area. The secondary color is the color with the second largest area over the whole fruit excluding the scar area.

形質 29　果皮のコルク層の形成　　Char.29　Fruit: cork formation



1	2	3
無又は極疎	斑点状	網状
absent or very sparse	in dots	netted

形質 32　果肉の主な色　　Char.32　Fruit: main color of flesh

果肉の主な色は、十分に発達した成熟果を収穫した後、1 週間程度風乾させた果実により評価する。

The main color of the flesh should be assessed by fruit which has been air-dried for about a week after harvested fully developed mature fruit.

形質 36　種皮の粗滑　　Char.36　Seed: texture of coat



1
滑
smooth



3
粗
rough

資料 1-2-8

2026 年　月
TG/234/1 2007-03-28 に準拠

ニホンカボチャ種

Butternut Squash, Cheese Pumpkin, China Squash, Cushaw, Golden Cushaw, Musky Gourd, Pumpkin, Squash, Winter crookneck Squash

(*Cucurbita moschata* Duchesne)

(案)

ニホンカボチャ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、ウリ科（Cucurbitaceae）カボチャ属（*Cucurbita* L.）のニホンカボチャ種（*C. moschata* Duchesne）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　200g 又は 1,500 粒

種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　20 個体（2 区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された時期に行う。

(a) 葉は、1 番果が充実した時期に完全展開葉を調査する。

(b) 果実は、適切な節位に着果させ、十分に肥大し、果皮色が変化する前の果実を調査する。

(c) 完熟果は、果皮色が変化した後の果実を調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性について、単交雑品種及び近交系品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

他家受粉品種及び交雑品種においては、上記一般基準の第４の２（２）及び（３）をそれぞれ適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）茎の長さ（形質 2）

ⅱ）果実の長さ（形質 14）

ⅲ）果実の直径（形質 15）

ⅳ）果実の形（形質 18）

ⅴ）果実の条溝の有無（形質 24）

ⅵ）完熟果の果皮の主な色（形質 28）

ⅶ）完熟果の表面のいぼ状突起（形質 31）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN	子葉の幅／長さ	Cotyledon: ratio width/length	完全展開時の子葉の幅／長さの比	測定/観察 比 MS/VG	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 はやと、Waltham まろあじ	
2	2	QN (*) G	茎の長さ	Plant: length of main stem	1番果着果期の主茎の長さ	測定/観察 MS/VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	はやと まろあじ Muscade de Province	
3	3	QN	葉身の大きさ	Leaf blade: size	葉身の大きさ（葉身の長さ×葉身の最大幅）	測定/観察 cm^2 MS/VG (a)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	はやと 富津黒皮、シェルパ Muscade de Province Trombolino d'Albenga	
4	4	QN (*) (+)	葉身の周縁の切れ込み	Leaf blade: margin	葉身の周縁の切れ込みの強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は極弱 弱 中又は強	entire or very weakly incised weakly incised moderately or strongly incised	はやと、シェルパ まろあじ、会津南瓜	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
5	5	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color of upper side	葉身の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	 まろあじ シェルパ 富津黒皮、はやと	
6	6	QL	葉身の白斑	Leaf blade: silver patches	葉身の表面の白斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	富津黒皮、まろあじ 日向 14 号、はやと	
7	7	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定/ 観察 cm MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	はやと、富津黒皮 シェルパ	
8	8	QN	葉柄の直径	Petiole: diameter	葉柄の最大径	測定/ 観察 mm MS/ VG (a)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	はやと 富津黒皮、まろあじ	
9	9	QN	雌花のがく片の長さ	Female flower: length of sepal	雌花のがく片の長さ	測定/ 観察 MS/ VG	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 まろあじ 富津黒皮	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	QN	雄花のがく片の長さ	Male flower: length of sepal	雄花のがく片の長さ	測定/観察 MS/VG	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 富津黒皮 はやと	
11	11	QN	果柄の長さ	Peduncle: length	果柄の長さ	測定/観察 cm MS/VG (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	 富津黒皮 シェルパ	
12	12	QN	果柄の直径	Peduncle: diameter	果柄の最大径	測定/観察 mm MS/VG (b)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	はやと 富津黒皮 まろあじ Muscade de Province	
13	13	QN (*)	果皮の緑色の濃淡	Fruit: intensity of green color of skin	果皮の緑色の濃淡	観察 VG (b)	1 3 5 7 9	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	まろあじ Trombolino d'Albenga 会津南瓜 富津黒皮	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14	QN (*) (+) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の長さ（湾曲している場合は湾曲に沿った長さ）	測定/観察 cm MS/VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	 会津南瓜 富津黒皮 Muscade de Province、日向 14 号 まろあじ Waltham Trombolino d'Albenga	
15	15	QN (*) (+) G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の最大幅部の直径	測定/観察 cm MS/VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	まろあじ 会津南瓜、富津黒皮 Muscade de Province	
16	16	QN	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さ／直径の比	測定/観察 比 MS/VG (b)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	Muscade de Province、会津南瓜 富津黒皮 まろあじ	
17	17	QN (*)	果実の最大幅部の位置	Fruit: position of broadest part	果実の最大幅部の位置	観察 VG (b)	1 2 3	基部側 中央部 先端側	toward stem end at middle toward blossom end	はやと 富津黒皮 まろあじ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18	18	PQ (*) (+) G	果実の形	Fruit: shape in longitudinal section	果実の縦断面の形	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	扁平形 偏円形 円形 卵形 横広四角形 台形 洋なし形 棍棒形 円筒形	transverse broad elliptic transverse medium elliptic round ovate quadrangular trapezoidal pear shaped club shaped cylindrical	 会津南瓜 はやと シェルパ まろあじ Trombolino d'Albenga	
19	19	QN (*)	果実のネック発生の強弱	Fruit: presence of neck	果実のネック発生の強弱	観察 VG (b)	1 2 3	無又は極弱 弱 中又は強	absent or very weak weak medium or strong	富津黒皮、シェルパ まろあじ Trombolino d'Albenga	
20	20	QN	果実のネックの長さ	Fruit: length of neck	果実のネックの長さ	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極短 短 中 長 極長	absent or very short short medium long very long	 シェルパ まろあじ Trombolino d'Albenga	
21	21	QN (*) (+)	果実の湾曲	Fruit: curving (longitudinal axis)	果実の湾曲の強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	シェルパ まろあじ Trombolino d'Albenga	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22	22	QN (*) (+)	果実の基部の形	Fruit: profile at stem end	果実の基部（果柄側）の縦断面の形	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	凸 平 わずかに凹 やや凹 凹	raised flat slightly depressed moderately depressed strongly depressed	Trombolino d'Albenga まろあじ 富津黒皮 日向 14 号	
23	23	QN (*) (+)	果実の先端部の形	Fruit: profile at blossom end	果実の先端部（花落ち側）の縦断面の形	観察 VG (b)	1 2 3	凹 平 凸	depressed flat raised	はやと まろあじ Trombolino d'Albenga	
24	24	QL (*) G	果実の条溝の有無	Fruit: grooves	果実の表面の条溝の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	まろあじ 富津黒皮 Muscade de Province	
25	25	QN	果実の条溝間の距離	Fruit: distance between grooves	果実の表面の条溝から条溝までの距離	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 富津黒皮 Muscade de Province	
26	26	QN	果実の条溝の深さ	Fruit: depth of grooves	果実の表面の条溝の深さ	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	極浅 浅 中 深 極深	very shallow shallow medium deep very deep	シェルパ 富津黒皮	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	QN	果皮の模様の強弱	Fruit: marbling	果実の表面の模様の強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	シェルパ 日向 14 号 Muscade de Province 会津南瓜	
28	28	PQ (*) G	完熟果の果皮の主な色	Fruit: main color of skin	完熟果の果皮の主な色	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	緑 黄白 黄 橙褐 褐	green cream yellow orange brown brown	 Trombolino d'Albenga シェルパ Muscade de Province、 まろあじ 日向 14 号、富津黒皮	
29	29	QN	完熟果の果皮の主な色の濃淡	Fruit: intensity of main color of skin	完熟果の果皮の主な色の濃淡（色相毎に評価）	観察 VG (c)	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	富津黒皮、まろあじ Muscade de Province、 Trombolino d'Albenga 日向 14 号 シェルパ	
30	30	QL	完熟果の果皮のろう質	Fruit: waxiness of skin	完熟果の果皮のろう質の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	まろあじ はやと、富津黒皮	
31	31	QL (*) (+) G	完熟果の表面のいぼ状突起	Fruit: warts	完熟果の表面のいぼ状突起の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	まろあじ はやと、富津黒皮	

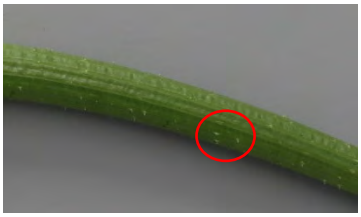
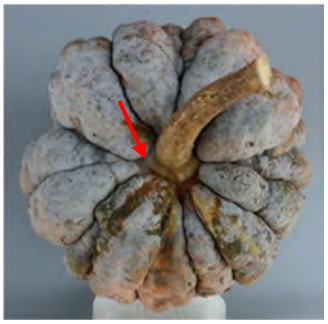
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32	32	PQ (*)	完熟果の果肉の主な色	Fruit: main color of flesh	完熟果の果肉の主な色	観察 VG (c)	1 2 3	黄 黄橙 橙	yellow yellowish orange orange	 富津黒皮 まろあじ	
33	33	QN (+)	完熟果の果肉の厚さ	Fruit: thickness of flesh (at level of seed cavity)	完熟果の果肉の最大の厚さ	測定/観察 mm MS/ VG (c)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	Trombolinod'Albenga 富津黒皮 日向 14 号、はやと Muscade de Province	
34	34	QN	完熟果の花落ちの直径	Fruit: diameter of flower scar	完熟果の果実の花落ちの直径	測定/観察 mm MS/ VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	Trombolinod'Albenga 富津黒皮 はやと まろあじ	
35	35	QN (*)	種子の長さ	Seed: length	種子の長さ	測定/観察 mm MS/ VG (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	富津黒皮、日向 14 号 Waltham、シェルパ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	36	QN (+)	種子の幅／長さ	Seed: ratio width/length	種子の幅／長さの比	測定/観察 比 MS/VG (c)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 富津黒皮 シェルパ、まろあじ	
37	37	PQ	種皮の色	Seed: color of coat	種皮の色	観察 VG (c)	1 2 3 4	淡黄 黄 褐 半透明	cream yellow brown bluish grey	富津黒皮 Trombolino d'Albenga	

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

ニホンカボチャ種は一年生で、葉は角張り、白斑があるものが多く、葉柄や葉身に軟毛が多い。果柄の付着部に坐を形成する。セイヨウカボチャとは葉が丸みを帯びること、果柄が円筒形で角張らず、柔軟なコルク質であることで区別される。ペポカボチャとは葉に刺があり、果柄が硬く、鋭く角張って稜と溝が明瞭であることで区別される。

Cucurbita moschata Duch. is an annual plant with angular leaves, many of white variegation, and soft hairs on the petioles and leaf blades. It develops an enlarged peduncle at the attachment point of the peduncle. It is distinguished from *Cucurbita maxima* Duch. by its rounded leaves and cylindrical, non-angular, soft corky peduncle. It is distinguished from *Cucurbita pepo* L. by its leaves with prickles and firm, sharply angular peduncles with conspicuous ridges and grooves.

ニホンカボチャ *C. moschata* Duch.	セイヨウカボチャ *C. maxima* Duch.	ペポカボチャ *C. pepo* L.
 角張り、白斑がある	 丸みを帯び、白斑がない	 角張る
 刺がない	 刺がない	 刺（丸印）がある
 果柄の付着部に坐（矢印）を形成	 円筒形で、柔軟なコルク質	 角張り、稜と溝（矢印）が明瞭

形質 4　葉身の周縁の切れ込み　　Char.4　Leaf blade: margin



1

無又は極弱

entire or very weakly incised



2

弱

weakly incised



3

中又は強

moderately or strongly incised

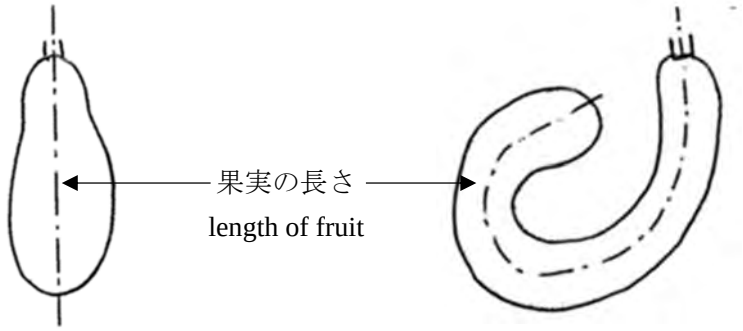
形質 14　果実の長さ　　Char.14　Fruit: length

果実の長さは、果実の基部(果柄部)から先端部(花落ち部)の長さで評価する。

果実が湾曲している場合は、湾曲に沿った長さで評価する。

Fruit length should be assessed as the length from stem end of the fruit (peduncle side) to blossom end (blossom scar side).

If the fruit is curved, it should be assessed according to the length along the curve.

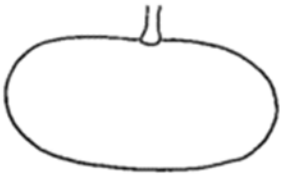


形質 15　果実の直径　　Char.15　Fruit: diameter

果実の直径は、果実の最大幅部の直径で評価する。

The diameter should be observed at the position of the broadest part.

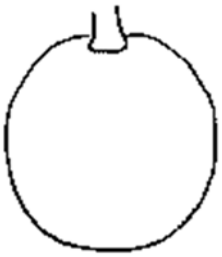
形質 18　果実の形　　Char.18　Fruit: shape in longitudinal section



1
扁平形
transverse broad elliptic



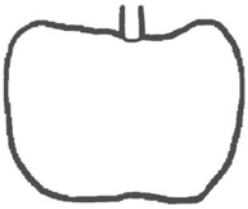
2
偏円形
transverse medium elliptic



3
円形
round



4
卵形
ovate



5
横広四角形
quadrangular



6
台形
trapezoidal



7
洋なし形
pear shaped

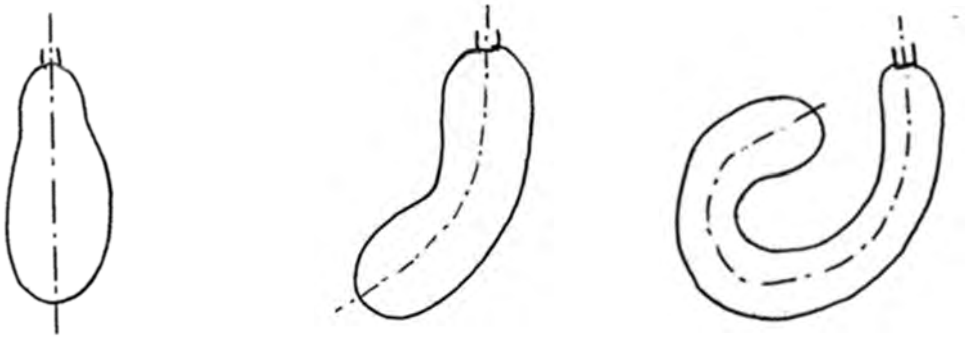


8
棍棒形
club shaped



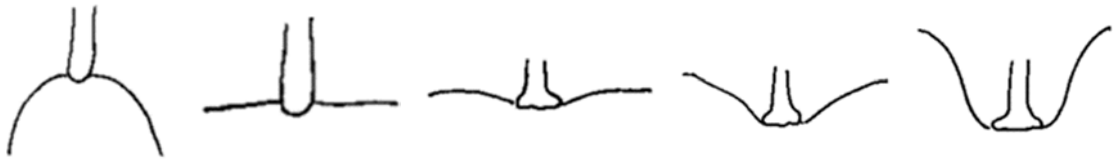
9
円筒形
cylindrical

形質 21　果実の湾曲　　Char.21　Fruit: curving (longitudinal axis)



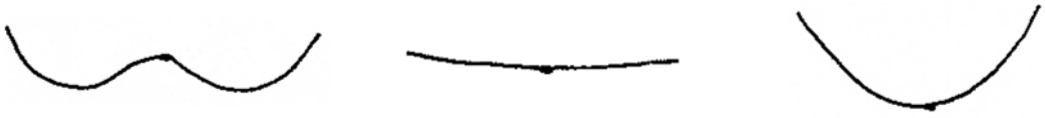
1	3	5
無又は極弱	中	極強
absent or very weak	medium	very strong

形質 22　果実の基部の形　　Char.22　Fruit: profile at stem end



1	2	3	4	5
凸	平	わずかに凹	やや凹	凹
raised	flat	slightly depressed	moderately depressed	strongly depressed

形質 23　果実の先端部の形　　Char.23　Fruit: profile at blossom end



1	2	3
凹	平	凸
depressed	flat	raised

形質 31　完熟果表面のいぼ状突起　　Char.31　Fruit: warts



1
無
absent

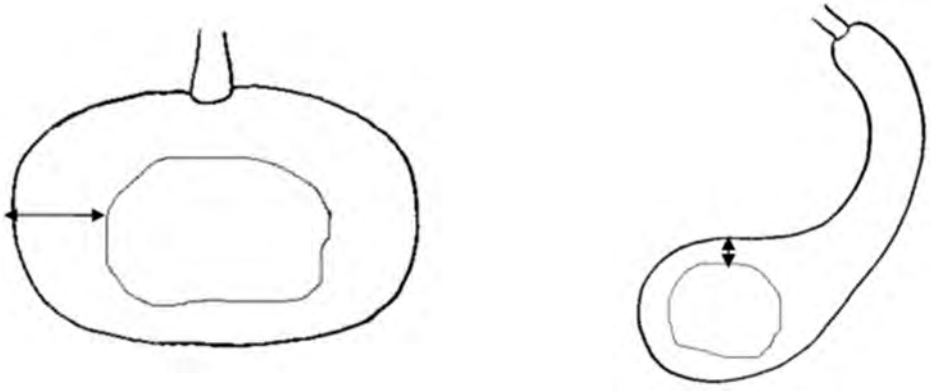


9
有
present

形質 33　完熟果の果肉の厚さ　　Char.33　Fruit: thickness of flesh (at level of seed cavity)

果肉の厚さは、ネックを除いた内果皮の最内側から表皮までの最も厚い部分を測定する。

Thickness should be measured at the widest part of the flesh, at the level of seed cavity.



形質 36　種子の幅／長さ　　Char.36　Seed: ratio width/length

幅／長さの比 Ratio width/length	階級 note	
0.5 よりも小さい smaller than 0.5	2	小 small
概ね 0.5 close to 0.5	3	中 medium
0.5 よりも大きい higher than 0.5	4	大 large

資料 1-2-9

2026 年 月

TG/119/4 Corr.2 2002-04-17+2007-03-28+2016-03-16 に準拠

ペポカボチャ種

Courgette; Marrow; Pumpkin; Summer squash;

Table queen squash; Vegetable Marrow; Zucchini

(*Cucurbita pepo* L.)

(案)

ペポカボチャ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、ウリ科（Cucurbitaceae）カボチャ属（*Cucurbita* L.）のペポカボチャ種（*C. pepo* L.）及びその交雑種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　200g 又は 1,500 粒

種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　20 個体（2 区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された時期に行う。

(a) 葉は 1 番果が充実した時期に完全展開葉を調査する。

(b) 未熟果は開花の 3～5 日後に調査する。

(c) 果実の色は適切な位置に着果させた果実が十分に肥大し、果皮の色が変化する前に調査する。

(d) 果実に関する形質は完熟期の果実を調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性について、放任受粉品種においては、母集団標準 2%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 4 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

また、単交雑品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8

文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）品種のタイプ（形質 1）

ⅱ）草姿（形質 5）

ⅲ）分枝の発生の有無（形質 6）

ⅳ）葉身の白斑の有無（形質 16）

Ⅴ）果皮の主な色（形質 59）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QL G (+)	品種のタイプ	Type of edible varieties	食用品種のタイプの区分	観察 VG	1 2 3 4 5 6	ズッキーニ系 スカラップ系 エイコーン系 ネック系 ロンディニ系 パンプキン類	zucchini scallop acorn neck rondinii pumpkin group	「Ⅷ. 特性表の説明」を参照	
2	1	PQ	子葉の形	Seedling: shape of cotyledons	完全展開時の子葉の形	観察 VG	1 2 3 4 5	狭楕円形 楕円形 広楕円形 円形 倒卵形	narrow elliptic elliptic broad elliptic circular obovate	ブラックエッグ Sunburst プッチィーニ	
3	2	QN	子葉の緑色の濃淡	Seedling: intensity of green color of cotyledons	完全展開時の子葉の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	Sunburst ストライプペポ、 ゴールディー パリーノ オリーブ	
4	3	QN (*)	子葉の横断面の形	Seedling: cross section of cotyledons	完全展開時の子葉の中央部の横断面の形	観察 VG	1 2 3	凹 平 凸	concave straight convex	Sunburst	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
5	4	PQ (*) G	草姿	Plant: growth habit	草姿	観察 VG	1 2 3	叢性 半つる性 つる性	bush semi-trailing trailing	Sunburst、テーブルクイーン プッチィーニ、ストライプペポ 金糸瓜	
6	5	QL (*) G	分枝の発生の有無	Plant: branching	分枝の発生の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ゴールディー プッチィーニ	
7	6	QN	分枝の多少	Plant: degree of branching	分枝の多少	観察 VG	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very weak weak medium strong very strong	 ストライプペポ プッチィーニ	
8	7	QN	葉柄の角度（草姿が叢性の品種に限る。）	Bushy varieties only: Plant: attitude of petiole (excluding lower eternal leaves)	下位葉を除く葉柄の角度	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	直立 やや直立 斜上 やや水平 水平	erect erect to semi-erect semi-erect semi-erect to horizontal horizontal	 ブラックエッグ Sunburst	
9	8	PQ (*)	茎の色	Stem: color	茎の色	観察 VG	1 2	緑 緑と黄	completely green partly green and partly yellow	Sunburst	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
10	9	QN	茎の緑色の濃淡	Stem: intensity of green color	茎の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	カスタードホワイト ストライプペポ プッチィーニ ゴールディー ブラックエッグ	
11	10	QL	茎の斑紋	Stem: mottling	茎の節間の斑紋の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	プッチィーニ Sunburst	
12	11	PQ (+)	巻きづるの発達	Stem: tendrils	巻きづるの発達の程度	観察 VG	1 2	無又は未発達 十分に発達	absent to rudimentary well developed	Sunburst ストライプペポ	
13	12	QN	葉身の大きさ	Leaf blade: size	葉身の大きさ （葉身の長さ×葉身の最大幅）	測定/観察 cm^2 MS/VG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	プッチーニ 金糸瓜、テーブルクイーン ストライプペポ、ブラックエッグ	
14	13	QN (*) (+)	葉身の切れ込み	Leaf blade: incisions	葉身の切れ込みの深さ	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極浅 浅 中 深 極深	absent or very shallow shallow medium deep very deep	Sunburst ゴールディー ストライプペポ ステラ２	
15	14	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color of upper surface	葉身の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ストライプペポ プッチィーニ ブラックエッグ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	15	QL (*) G	葉身の白斑の有無	Leaf blade: silvery patches	葉身の表面の白斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	プッチィーニ パリーノ オリーブ	
17	16	QN	葉身の白斑の大きさ	Leaf blade: relative area covered by silvery patches	葉身の表面の白斑の葉身に対する相対的な大きさ	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	ブラックエッグ Gold Rush パリーノ オリーブ	
18	17	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定/観察 cm MS/VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ストライプペポ ステラ２、 Sunburst ゴールディー、 ブラックエッグ	
19	18	QN	葉柄のとげ	Petiole: number of prickles	葉柄のとげ（とげ状の剛毛）の多少	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	 ゴールディー ストライプペポ Sunburst	
20	19	QL (*) (+)	雌花の花冠内側の環状着色の有無	Female flower: ring at inner side of corolla	雌花の花冠内側の環状着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	プッチィーニ ブラックエッグ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
21	20	PQ	雌花の花冠内側の環状着色部の色	Female flower: color of ring at inner side of corolla	雌花の花冠内側の環状着色部の色	観察 VG	1 2 3	黄 緑 黄と緑	yellow green yellow and green	イエローボート カスタードホワイト ゴールディー	
22	21	QN	雌花の花冠内側の環状着色部の緑色の濃淡（雌花の花冠内側の環状着色部の色が緑の品種に限る。）	Only varieties with green ring at inner side of corolla: Female flower: intensity of color of green ring at inner side of corolla	雌花の花冠内側の環状着色部の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very weak weak medium strong very strong	 パリーノ オリーブ ゴールディー ブラックエッグ ステラ２	
23	22	QL (+)	雄花の花冠内側の環状着色の有無	Male flower: ring at inner side of corolla	雄花の花冠内側の環状着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	プッチィーニ ストライプペポ	
24	23	PQ (*)	雄花の花冠内側の環状着色部の色	Male flower: color of ring at inner side of corolla	雄花の花冠内側の環状着色部の色	観察 VG	1 2 3	黄 緑 黄と緑	yellow green yellow and green	パリーノ オリーブ カスタードホワイト ストライプペポ	
25	24	QN	雄花の花冠内側の環状着色部の緑色の濃淡（雄花の花冠内側の環状着色部の色が緑の品種に限る。）	Only varieties with green ring at inner side of corolla: Male flower: intensity of green color of ring at inner side of corolla	雄花の花冠内側の環状着色部の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very weak weak medium strong very strong	ｹﾞﾙﾊﾞｰｲﾝｸﾞﾘｯｼｬｰ カスタードホワイト ブラックエッグ ステラ２	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
26	25	QN	未熟果の長さ／直径（ズッキーニ系の品種に限る。）	Only Zucchini type varieties: Young fruit: ratio length/maximum diameter	ズッキーニ系品種の未熟果の長さ／最大直径の比	測定比 MS (b)	1	極小	very small	ゴールディー、ブラックエッグ	
							3	小	small		
							5	中	medium		
							7	大	large	イエローボート、Zephyr	
							9	極大	very large		
27	26	PQ (+)	未熟果の形（ズッキーニ系の品種に限る。）	Only Zucchini type varieties: Young fruit: general shape	ズッキーニ系品種の未熟果の全体の形	観察 VG (b)	1	円形	globular	ゴールディー	
							2	洋なし形	pear shaped		
							3	偏楕円形	tapered elliptical		
							4	楕円形	elliptical		
							5	円筒形	cylindrical	Gold Rush	
							6	偏円筒形	tapered cylindrical	Zephyr	
28	27	PQ (*)	未熟果の果皮の主な色	Young fruit: main color of skin (excluding color of ribs or grooves)	稜及び条溝の色を除いた未熟果の果皮の主な色	観察 VG (b)	1	白	white		
							2	黄白	cream		
							3	黄	yellow	ゴールディー、プッチィーニ	
							4	緑	green	ブラックエッグ、パリーノ オリーブ	
							5	白と黄	partly white and partly yellow		
							6	白と緑	partly white and partly green		
							7	黄と緑	partly yellow and partly green	Zephyr	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
29	28	QN	未熟果の果皮の黄色の濃淡（未熟果の果皮の主な色に黄がある品種に限る。）	Only varieties with yellow color of skin: Young fruit: intensity of yellow color of skin (as for 28)	未熟果の果皮の黄色の濃淡	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	 プッチィーニ Gold Rush ゴールディー	
30	29	QN	未熟果の果皮の緑色の濃淡（未熟果の果皮の主な色に緑がある品種に限る。）	Only varieties with green color of skin: Young fruit: intensity of green color of skin (as for 28)	未熟果の果皮の緑色の濃淡	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	金糸瓜 パリーノ オリーブ ストライプペポ ブラックエッグ	
31	30	PQ (*) (+)	果実の形	Fruit: general shape	果実の全体の形	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	円盤形 扁平形 偏円形 円形 心臓形 広楕円形 卵形 楕円形 円筒形 洋なし形 ボトル形 棍棒形	disc shaped transverse elliptical transverse broad elliptical globular top shaped broad elliptical ovate elliptical cylindrical pear shaped bottle shaped club shaped	Sunburst プッチィーニ ゴールディー ストライプペポ テーブルクイーン 金糸瓜 ゴールディー・ボー イエローボート	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
32	31. 1	QN (*)	果実の長さ（スカラップ系の品種に限る。）	Only Scallop type varieties: Fruit: length	スカラップ系品種の果実の長さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	Sunburst ｹﾞﾙﾊﾞｰｲﾝｸﾞﾘｯｼｬｰ	
33	31. 2	QN (*)	果実の長さ（エイコーン系の品種に限る。）	Only Acorn type varieties: Fruit: length	エイコーン系品種の果実の長さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	テーブルクイーン	
34	31. 3	QN (*)	果実の長さ（ネック系の品種に限る。）	Only Neck type varieties: Fruit: length	ネック系品種の果実の長さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	Rugosa friulana	
35	31. 4	QN (*)	果実の長さ（ズッキーニ系の品種に限る。）	Only Zucchini type varieties: Fruit: length	ズッキーニ系品種の果実の長さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ブラックエッグ Zephyr	
36	32. 1	QN	果実の直径（スカラップ系の品種に限る。）	Only Scallop type varieties: Fruit: maximum diameter	スカラップ系品種の果実の最大直径	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	Sunburst カスタードホワイト	
37	32. 2	QN	果実の直径（エイコーン系の品種に限る。）	Only Acorn type varieties: Fruit: maximum diameter	エイコーン系品種の果実の最大直径	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	テーブルクイーン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	32.3	QN	果実の直径（ズッキーニ系の品種に限る。）	Only Zucchini type varieties: Fruit: maximum diameter	ズッキーニ系の品種の果実の最大直径	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	Zephyr ゴールディー ブラックエッグ、 パリーノ オリーブ	
39	33.1	QN	果実の長さ／直径（スカラップ系の品種に限る。）	Only Scallop type varieties: Fruit: ratio length/maximum diameter	スカラップ系品種の果実の長さ／最大直径の比	測定 比 MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	Sunburst	
40	33.2	QN	果実の長さ／直径（エイコーン系の品種に限る。）	Only Acorn type varieties: Fruit: ratio length/maximum diameter	エイコーン系品種の果実の長さ／最大直径の比	測定 比 MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	テーブルクイーン	
41	33.3	QN	果実の長さ／直径（ズッキーニ系の品種に限る。）	Only Zucchini type varieties: Fruit: ratio length/maximum diameter	ズッキーニ系品種の果実の長さ／最大直径の比	測定 比 MS (c)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	ブラックエッグ イエローボート、 Zephyr	
42	34.1	QN (*)	果実の大きさ（パンプキン類の品種に限る。）	Only Pumpkin group varieties: Fruit: size	パンプキン類品種の果実の重さ	測定 g MS (c)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	プッチィーニ 金糸瓜 ストライプペポ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
43	34. 2	QN (*)	果実の大きさ（ロンディニ系及び果実の大きさが極小のパンプキン類の品種に限る。）	Only Rondini type varieties: Fruit: size	ロンディニ系品種及び果実の大きさが極小のパンプキン類品種の果実の重さ	測定 g MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	 プッチィーニ Sweet Dumpling	
44	35	PQ	果実の基部の形（パンプキン類の品種に限る。）	Only pumpkin group varieties: Fruit: peduncle end	パンプキン類品種の果実の基部（果柄側）の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2	平 凹	straight concave	ストライプペポ プッチィーニ	
45	36	QN	果実の側面の隆起の強弱（スカラップ系の品種に限る。）	Only Scallop type varieties: Fruit: protrusion of equatorial margin	スカラップ系品種の果実の側面の隆起の強弱	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	 Sunburst ｹﾞﾙﾊﾞｰｲﾝｸﾞﾘｯｼｬｰ	
46	37	PQ	果実の側面の隆起の位置（スカラップ系の品種に限る。）	Only Scallop type varieties: Fruit: position of equatorial margin	スカラップ系品種の果実の側面の隆起の位置	観察 VG (c)	1 2	中央部 茎の基部に向かう	at the middle towards stem end	カスタードホワイト ｹﾞﾙﾊﾞｰｲﾝｸﾞﾘｯｼｬｰ	
47	38	PQ	果実の基部の形（スカラップ系の品種に限る。）	Only Scallop type varieties: Fruit: peduncle end	スカラップ系品種の果実の基部（果柄側）の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2	平 凸	straight convex	ｹﾞﾙﾊﾞｰｲﾝｸﾞﾘｯｼｬｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
48	39	PQ	果実の先端部の形（スカラップ系の品種に限る。）	Only Scallop type varieties: Fruit: blossom end	スカラップ系品種の果実の先端部（花落ち側）の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2	平 へこむ	flat indented	ｹﾞﾙﾊﾞｰｲﾝｸﾞﾘｯｼｬｰ カスタードホワイト	
49	40	PQ	果実の最大直径の位置（エイコーン系の品種に限る。）	Only Acorn type varieties: Fruit: position of maximum diameter	エイコーン系品種の果実の最大直径の位置	観察 VG (c)	1 2	中央部 茎の基部に向かう	at the middle towards stem end	テーブルクイーン	
50	41	QN	果実の基部の形（エイコーン系の品種に限る。）	Only Acorn type varieties: Fruit: peduncle end	エイコーン系品種の果実の基部（果柄側）の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2 3	凹 平 凸	concave straight convex	テーブルクイーン	
51	42	QN	果実のネックの長さ（ネック系の品種に限る。）	Only Neck type varieties: Fruit: length of neck	ネック系品種の果実のネックの長さ	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	Rugosa friulana	
52	43	QN	果実のネックの直径（ネック系の品種に限る。）	Only Neck type varieties: Fruit: diameter of neck in relation to maximum diameter	ネック系品種の果実の最大直径に対するネックの直径	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	Rugosa friulana	
53	44	QL (*)	果実のネックの湾曲（ネック系の品種に限る。）	Only Neck type varieties: Fruit: curving of neck	ネック系品種の果実のネックの湾曲の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	Rugosa friulana	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	45	PQ	果実の先端部の形（ネック系の品種に限る。）	Only Neck type varieties: Fruit: blossom end	ネック系品種の果実の先端部（花落ち側）の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2	円 尖	rounded pointed	Rugosa friulana	
55	46	QL (*)	果実の条溝の有無	Fruit: grooves	果実の条溝の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	ストライプペポ プッチィーニ、 テーブルクイーン	
56	47	QN	果実の条溝の深さ	Fruit: depth of grooves	果実の条溝の深さ	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極浅 浅 中 深 極深	very shallow shallow medium deep very deep	プッチィーニ テーブルクイーン	
57	48	QL (*)	果実の稜の有無	Fruit: ribs	果実の稜の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	プッチィーニ ステラ 2、 テーブルクイーン	
58	49	QN	果実の稜の隆起の強弱	Fruit: protrusion of ribs	果実の稜の隆起の強弱	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	ゴールディー ステラ 2 テーブルクイーン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
59	50	PQ (*) G	果皮の主な色	Fruit: main color of skin (excluding color of dots, patches, stripes and bands)	稜の色を含む果皮の主な色（斑点並びに二次的な緑色の斑紋、条及び帯状を除く）	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7	白 黄白 黄 緑 白と黄 白と緑 黄と緑	white cream yellow green partly white and partly yellow partly white and partly green partly yellow and partly green	カスタードホワイト Sweet Dumpling ゴールディー、プッチィーニ ブラックエッグ、ストライプペポ Zephyr	
60	51	QN	果皮の黄色の濃淡（果皮の主な色に黄がある品種に限る。）	Only varieties with yellow color of skin: Fruit: intensity of yellow color of skin (as for 59)	果皮の黄色の濃淡	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	パリーノ オリーブ プッチィーニ Zephyr ゴールディー	
61	52	QN	果皮の緑色の濃淡（果皮の主な色に緑がある品種に限る。）	Only varieties with green color of skin: Fruit: intensity of green color of skin (as for 59)	果皮の緑色の濃淡	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	 ステラ２ ストライプペポ ブラックエッグ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
62	53	PQ	果皮の緑色の分布位置（果皮の主な色が白と緑及び黄と緑の品種に限る。）	Varieties with two main colors only: Fruit: distribution of green color	果皮の緑色の分布位置	観察 VG (c)	1 2 3	花落ちの周囲 花落ち側の 1/3 花落ち側の 1/2	green ring around blossom end from blossom end one third green from blossom end one half green	Zephyr	
63	54	QL (+)	果実の条溝の着色の有無（果実の条溝が有の品種に限る。）	Fruit: stripes in grooves	果皮色と異なる条溝の着色の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	テーブルクイーン プッチィーニ、 Sweet Dumpling	
64	55	PQ (+)	果実の条溝の色	Fruit: color of stripes in grooves	果皮の条溝の色	観察 VG (c)	1 2	濃緑 黄	dark green yellow	Sweet Dumpling プッチィーニ	
65	56	PQ (+)	果皮の色と比較した果実の稜の色（果実の稜が無の品種を除く。）	Fruit: color of ribs compared to main color of skin	果皮の主な色と比較した稜の色の濃淡	観察 VG (c)	1 2	同等 濃い	same darker	ステラ 2、 テーブルクイーン パリーノ オリーブ	
66	57	QL	果実の斑点の有無	Fruit: dots	果実の表面の斑点の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	Sunburst ブラックエッグ、 ストライプペポ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
67	58	QN	果実の斑点の大きさ	Fruit: size of main dots	果実の表面の主な斑点の大きさ	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	ブラックエッグ ストライプペポ	
68	59	QL (+)	果実の稜間の二次的な緑色の有無	Fruit: secondary green color between ribs (excluding dots)	果実の稜の間の果皮の主な色と斑点の色を除く二次的な緑色の着色の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	テーブルクイーン、 ブラックエッグ ステラ 2、 ストライプペポ	
69	60	QN	果実の稜間の二次的な緑色の濃淡	Fruit: intensity of secondary green color between ribs	果実の稜の間の二次的な緑色の濃淡	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	 ステラ２	
70	61	PQ (+)	果実の稜間の二次的な緑色の分布	Fruit: distribution of secondary green color between ribs	果実の稜の間の二次的な緑色の分布	観察 VG (c)(d)	1 2 3 4 5 6	粗な斑紋 密な斑紋 １色の条 ２色の条 １色の帯状 ２色の帯状	sparse patches dense patches one colored stripes two colored stripes one colored bands covering the whole surface two colored bands covering the whole surface	Sweet Dumpling ストライプペポ ステラ 2	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
71	62	QL (*)	果実の表面のいぼ状突起の有無	Fruit: warts on skin	果実の表面のいぼ状突起の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	ストライプペポ Rugosa friulana	
72	63	QN	果実の表面のいぼ状突起の多少	Fruit: number of warts on skin	果実の表面のいぼ状突起の多少	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	カスタードホワイト Rugosa friulana	
73	64	QN	果実の花落ちの大きさ	Fruit: size of flower scar	果実の花落ちの大きさ	測定 cm MS (c)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	プッチィーニ ゴールディー、 ストライプペポ	
74	65	QN	果柄の長さ	Fruit: length of peduncle	果柄の長さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	プッチィーニ、 ゴールディー 金糸瓜	
75	66	PQ	果柄の色	Fruit: color of peduncle	果柄の色	観察 VG (c)	1 2 3	黄 緑 黄と緑	yellow green partly yellow and partly green	 ブラックエッグ、 ストライプペポ Gold Rush、 イエローボート	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
76	67	QN	果柄の緑色の濃淡（果柄の色が黄の品種を除く。）	Fruit: intensity of green color of peduncle	果柄の緑色の濃淡	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	カスタードホワイト イエローボート Sunburst ゴールディー	
77	68	QL	果柄の斑紋	Fruit: mottling of peduncle	果柄の斑紋の有無	観察 VG (c)	1 9	無 有	absent present	Sunburst、 プッチィーニ ゴールディー、 ブラックエッグ	
78	69	PQ (*) (+)	完熟果の果皮の主な色	Ripe Fruit: main color of skin (excluding color of mottles, patches, stripes and bands)	完熟果の果皮の主な色（斑点並びに二次的な緑色の斑紋、条及び帯状の色を除く）	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	白 白系 黄白 黄 橙	white whitish cream yellow orange	カスタードホワイト Sweet Dumpling 金糸瓜、 パリーノ オリーブ ゴールディー、 ストライプペポ、 ブラックエッグ	
79	70	QN (+)	完熟果の果皮の主な色の濃淡（完熟果の果皮の主な色が黄及び橙の品種に限る。）	Ripe fruit: intensity of main color of skin (only yellow and orange)	完熟果の果皮の主な色の濃淡	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	金糸瓜 プッチーニ ストライプペポ ブラックエッグ	

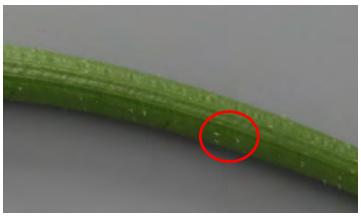
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex. Var.)	備考
80	71	PQ (*) (+)	完熟果の果皮の二次色	Ripe fruit: secondary color of skin (as for 78)	完熟果の果皮の主な色を除く色	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	白系 黄白 黄 橙 緑	whitish cream yellow orange green	 プッチィーニ ステラ 2、 ストライプペポ	
81	72	QL	完熟果の果皮の緑色の着色の有無（完熟果の果皮の主な色が白、白系、黄白の品種に限る。）	Ripe fruit: green hue (only white and cream)	完熟果の果皮の緑色の着色の有無	観察 VG (d)	1 9	無 有	absent present	カスタードホワイト Sweet Dumpling	
82	73	QN	完熟果の果皮の緑色の着色の強弱	Ripe fruit: prominence of green hue (as for 81)	完熟果の果皮の緑色の着色の強弱	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	 Sweet Dumpling	
83	74	PQ (*)	完熟果の果肉の色	Ripe fruit: color of flesh	完熟果の果肉の色	観察 VG (d)	1 2 3	淡黄 黄 橙	cream yellow orange	ストライプペポ プッチィーニ ゴールディー	
84	75	QL	完熟果の木質化	Ripe fruit: lignifies rind	完熟果の木質化の有無	観察 VG (d)	1 9	無 有	absent present	テーブルクイーン、 金糸瓜 Sunburst	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
85	76	QL (*)	完熟果の果肉の状態	Ripe Fruit: structure of flesh	完熟果の果肉の加熱後の状態	観察 VG (d)	1 2	非繊維状 繊維状	non fibrous fibrous	 金糸瓜	
86	77	QN	種子の大きさ	Seed: size	種子の大きさ	測定/観察 mm^2 MS/VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	プッチィーニ ストライプペポ、パリーノ オリーブ ゴールディー	
87	78	QN	種子の形	Seed: shape	種子の形	観察 VG	1 2 3 4 5	極狭楕円形 狭楕円形 楕円形 広楕円形 極広楕円形	very narrow elliptic narrow elliptic elliptic broad elliptic very broad elliptic	 ストライプペポ、ゴールディー プッチィーニ、Sunburst Zephyr、カスタードホワイト	
88	79	QL	種皮の有無	Seed: hull	種皮の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ストライプペポ プッチーニ	
89	80	PQ (+)	種皮の形成	Seed: appearance of hull	種皮の発達形成	観察 VG	1 2	未発達 発達	rudimentary fully developed	ｹﾞﾙﾊﾞｰｲﾝｸﾞﾘｯｼｬｰ ブラックエッグ	
90	81	PQ	種皮の色（種皮の形成が発達の品種に限る。）	Seed: color of hull	種皮の色	観察 VG	1 2	白 淡黄	whitish cream	ブラックエッグ Zephyr、カスタードホワイト	

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

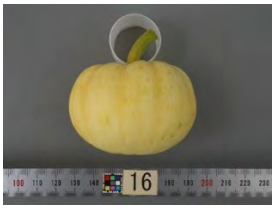
ペポカボチャ種は一年生で、茎は角張って硬く、葉柄や葉身に刺がある。果柄が硬く、鋭く角張って稜と溝が明瞭である。ニホンカボチャは葉に刺がなく、果実の付着部に坐を形成することで区別される。セイヨウカボチャとは葉が丸みを帯びること、果柄が円筒形で角張らず、柔軟なコルク質であることで区別される。

Cucurbita pepo L. is an annual plant with a firm, angular stem and prickles on the petiole and leaf blade. The peduncles are firm, sharply angular, and has conspicuous ridges and grooves. *Cucurbita moschata* Duch. is distinguished by its leaves not having prickles and by the developing an enlarged peduncle at the attachment point of the fruit. It is distinguished from *Cucurbita maxima* Duch. by its rounded leaves and cylindrical shape, non-angular, soft corky of the peduncle.

ペポカボチャ *C. pepo* L.	ニホンカボチャ *C. moschata* Duch.	セイヨウカボチャ *C. maxima* Duch.
 角張る	 角張り、白斑がある	 丸みを帯び、白斑がない
 刺（丸印）がある	 刺がない	 刺がない
 角張り、稜と溝（矢印）が明瞭	 果柄の付着部に坐（矢印）を形成	 円筒形で、柔軟なコルク質

果実の色変化は、以下の通り進行する。

The color change in the fruit progresses as follows.

未熟果 （開花 3～5 日後）	果実 （肥大期）	果実 （果皮の変色前）	完熟果
			
Sunburst			
			
プッチィーニ			
			
ステラ 2			
			
ブラックエッグ			

形質 1　品種のタイプ　　Char.1　Type of edible varieties

タイプ		形質 31 果実の形	形質 5 草姿	形質 55 果実の条溝の有無	形質 71 果実の表面のいぼ状突起の有無	未熟果利用	標準品種
1	ズッキーニ系	円形、洋なし形、楕円形、円筒形、棍棒形	叢生			有	ゴールディー、ブラックエッグ、パリーノ オリーブ、Zephyr、Gold Rush、イエローボート、ゴールディー・ボー、ステラ 2
2	スカラップ系	円盤形	叢生、半つる性	無			Sunburst、ゲルバーイングリッシャー、カスタードホワイト
3	エイコーン系	心臓形	叢性				テーブルクイーン
4	ネック系	ボトル形			有		Rugosa friulana
5	ロンディニ系	円形	つる性、半つる性		無	有	
6	パンプキン類	扁平形、偏円形、円形、楕円形	つる性、半つる性			無	ストライプペポ、Jack Be Little、プッチィーニ、Sweet Dumpling、錦甘露、金糸瓜

※パンプキン類には、パンプキン系を含むほか、ズッキーニ系、スカラップ系、エイコーン系、ネック系及びロンディニ系のいずれにも該当しないタイプを含む。
Pumpkin type includes pumpkin lines, as well as types that do not applicable into any of the Zucchini, Scallop, Acorn, Neck, and Rondini types.

形質 12　巻きづるの発達　　Char.12　Stem: tendrils



1
無又は未発達
absent or rudimentary





2
十分に発達
well developed

形質 14　葉身の切れ込み　　Char.14　Leaf blade: incisions



1
無又は極浅
absent or very shallow



3
浅
shallow



5
中
medium



7
深
deep



9
極深
very deep

形質 20　雌花の花冠内側の環状着色の有無
Char.20　Female flower: ring at inner side of corolla
形質 23　雄花の花冠内側の環状着色の有無
Char.23　Male flower: ring at inner side of corolla



1
無
absent



9
有
present

※写真は雌花を示した。
Photo shows a female flower.

形質 27　未熟果の形（ズッキーニ系の品種に限る。）

Char.27　Only Zucchini type varieties: Young fruit: general shape



1
円形
globular



2
洋なし形
pear shaped



3
偏楕円形
tapered elliptical



4
楕円形
elliptical



5
円筒形
cylindrical



6
偏円筒形
tapered cylindrical

形質 31　果実の形　　Char.31　Fruit: general shape



1
円盤形
disc shaped



2
扁平形
transverse elliptical



3
偏円形
transverse broad elliptical



4
円形
globular



5
心臓形
top shaped



6
広楕円形
broad elliptical



7
卵形
ovate



8
楕円形
elliptical



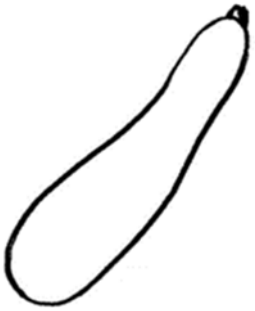
9
円筒形
cylindrical



10
洋なし形
pear shaped



11
ボトル形
bottle shaped



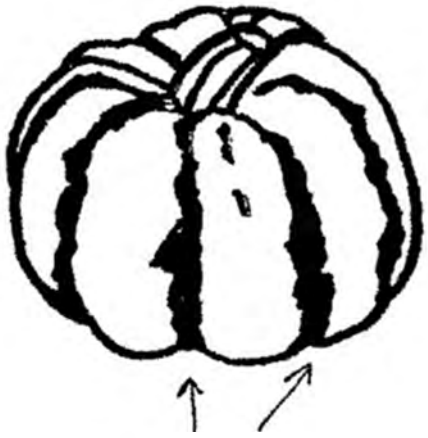
12
棍棒形
club shaped

形質 63　果実の条溝の着色の有無（果実の条溝が有の品種に限る。）

Char.63　Fruit: stripes in grooves

形質 64　果実の条溝の色

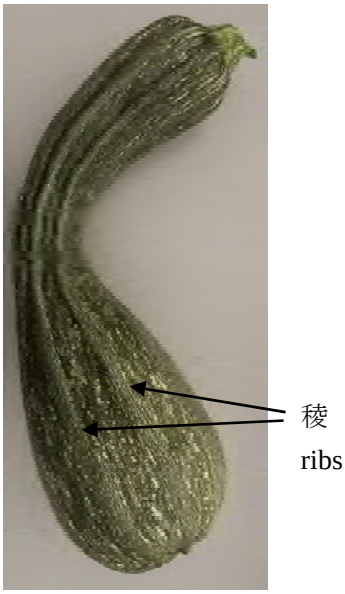
Char.64　Fruit: color of stripes in grooves



条溝　grooves

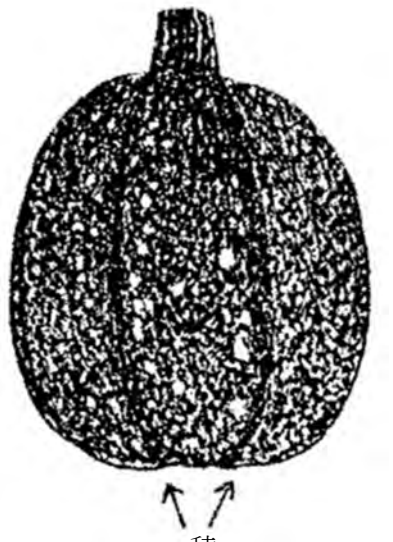
形質 65　果皮の色と比較した果実の稜の色（果実の稜が無の品種を除く。）

Char.65　Fruit: color of ribs compared to main color of skin



稜

ribs



稜

ribs

2 darker ribs (small and dense dots)

1	2
同等	濃い
same	darker

形質 68　果実の稜間の二次的な緑色の有無

Char.68　Fruit: secondary green color between ribs (excluding dots)

形質 70　果実の稜間の二次的な緑色の分布

Char.70　Fruit: distribution of secondary green color between ribs



1

粗な斑紋

sparse patches



2

密な斑紋

dense patches



条

stripes



帯状

bands

図の濃色部分が二次的な緑色であり、完熟果の果皮の主な色を除いた部分の色の場合がある。

形質 78　完熟果の果皮の主な色

Char.78　Ripe Fruit: main color of skin (excluding color of mottles, patches, stripes and bands)

形質 79　完熟果の果皮の主な色の濃淡（完熟果の果皮の主な色が黄及び橙の品種に限る。）

Char.79　Ripe fruit: intensity of main color of skin (only yellow and orange)

形質 80　完熟果の果皮の二次色

Char.80　Ripe fruit: secondary color of skin (as for 78)

完熟果の果皮の主な色は、果実が十分に肥大し、果皮の色が変化した後に現れる色であり、果皮に占める最大面積の色ではない場合がある。

完熟果の果皮の複色は、果皮の主な色を除いた色であり、果皮の色が変化する前の色の場合がある。

形質 89　種皮の形成　　Char.89　Seed: appearance of hull

1 未発達：種皮は形成されるが、内部の胚が透けて見える。

2 発達：厚い種皮が形成され、内部の胚は見えない。

資料 1-2-10

2026 年 月
TG/163/4 2015-03-25 に準拠

リンゴ属（台木用）

Apple Rootstock

(*Malus* Mill.)

（案）

リンゴ属（台木用）審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、バラ科（Rosaceae）リンゴ属（*Malus* Mill.）のうち、台木用のみとして利用する全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　１年生苗（取り木繁殖した苗の場合はその旨を明記。また、台木を使用している場合には、その品種名を明記。）

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　７個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）　栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　５個体

ⅲ）栽培期間　　２生育周期（試験は通常、特性調査が可能な十分な量の果実が得られる２栽培期間行う。）ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体５個体又は各個体から２個採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された時期及び特定された箇所で行う。

(a) 植物体：休眠期に調査を行う。

(b) 一年枝：休眠期に一年枝を３等分した中央部を調査する。

(c) 新しょう：生長期に一年枝を３等分した先端部を調査する。

(d) 葉：生育の旺盛な新しょうを３等分した中央部に着生した完全展開葉を調査する。

(e) 花：十分に生育した樹の二番花以降について、開やく開始時に調査する。

(f) 果実：十分に生育した樹の最低 20 個の成熟果から典型的な 10 個の果実を選び調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がそれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１％、受容確率 95％を適用し、UPOV の TGP８文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が５の場合、許容される異型個体数は０である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）樹勢（形質１）
ⅱ）樹姿（形質４）
ⅲ）新しょうのアントシアニンの着色面積（形質 19）
ⅳ）葉身の向き（形質 20）
ⅴ）葉身周縁部の鋸歯の形（形質 26）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of Characteristic)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
1	1	QN (*) (+) G	樹勢	Plant: vigor	樹の栄養生長量	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	 M.9 M.27 M.26 M.7 MM.106	
2	2	QN	枝の数	Plant: number of branches	枝の発生の多少	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	 M.9 M.26 MM.106	
3	3	QN	一年枝の数（取り木繁殖品種に限る。）	Plant: number of shoots	一年枝の多少（取り木繁殖品種に限る。）	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many		
4	4	PQ (*) (+) G	樹姿	Plant: habit	樹全体を側面から見た形状	観察 VG (a)	1 2 3 4	直立 直立から開張 開張 枝垂れ	upright upright to spreading spreading drooping		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
5	5	QN	とげの数	Plant: number of spines	枝のとげの多少	観察 VG (a)	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few medium many	JM1、JM7、 M.9、M.26 M.25 ミツバカイドウ	
6	6	QN (*) (+)	枝の伸長の型	One-year-old shoot: growth pattern	一年枝の伸長の型	観察 VG (b)	1 2 3	直線状 やや波状 強い波状	straight moderately wavy strongly wavy		
7	7	QN (*) (+)	枝の毛じ	One-year-old shoot: pubescence	一年枝に着生する毛じ（軟毛）の粗密	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very weak weak medium strong very strong	JM1、マルバカイドウ、マルバカイドウ MO84、ミツバカイドウ M.26、JM7 M.9 MM.106	
8	8	QN (*)	枝の光沢	One-year-old shoot: glossiness	一年枝の光沢の強弱	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は弱 やや弱 中 やや強 強	absent or weak weak to medium medium medium to strong strong	JM7 マルバカイドウ、M.9、M.26 JM1、ミツバカイドウ、マルバカイドウ MO84	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
9	9	QN (*)	枝の太さ	One-year-old shoot: thickness	一年枝の太さ	観察/測定 mm VG/ MS (b)	1	細	thin	マルバカイドウ、マルバカイドウ MO84	
							2	中	medium	JM1、JM7、MM.106	
							3	太	thick		
10	10	QN (*)	節間長	One-year-old shoot: length of internodes	一年枝の節間長	観察/測定 cm VG/ MG (b)	1	短	short	M.7	
							2	中	medium	JM1、JM7、M.26、マルバカイドウ、ミツバカイドウ	
							3	長	long		
11	11	QN (*)	皮目の多少	One-year-old shoot: number of lenticels	一年枝の皮目の多少	観察 VG (b)	1	極少	very few		
							2	少	few	M.9	
							3	中	medium	M.26、MM.106、マルバカイドウ、マルバカイドウ MO84	
							4	多	many	JM1、JM7、ミツバカイドウ	
							5	極多	very many		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
12	12	QN	皮目の大きさ	One-year-old shoot: size of lenticels	一年枝の皮目の大きさ	観察 VG (b)	1 2 3	小 中 大	small medium large	 M.9、M.26、MM.106、マルバカイドウ、マルバカイドウ MO84、ミツバカイドウ JM1、JM7	
13	13	PQ (*)	枝の色	One-year-old shoot: color on sunny side	一年枝の陽光面の主な色	観察 VG (b)	1 2 3 4	緑褐 赤褐 褐 濃褐	greenish brown reddish brown medium brown dark brown	 JM1、JM7、M.9、ミツバカイドウ マルバカイドウ MO84 MM.106、M.26、マルバカイドウ	
14	14	QN (*)	葉芽の大きさ	One-year-old shoot: size of vegetative bud	一年枝の葉芽の大きさ	観察 VG (b)	1 2 3	小 中 大	small medium large	JM7、マルバカイドウ、マルバカイドウ MO84 M.26、MM.106 M.9	
15	15	PQ (+)	葉芽の先端部の形	One-year-old shoot: shape of apex of vegetative bud	一年枝の葉芽の先端部の形	観察 VG (b)	1 2 3	鋭形 鈍形 円形	acute obtuse rounded		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
16	16	QN (+)	一年枝の枝に対する葉芽の着生部の位置（取り木繁殖品種に限る。）	One-year-old shoot: position of vegetative bud in relation to shoot	一年枝の枝に対する葉芽の着生部の位置（取り木繁殖品種に限る。）	観察 VG (b)	1 2 3	密着 少し離れる 強く離れる	adpressed slightly held out strongly held out		
17	17	QN (+)	葉芽の着生部の大きさ	One-year-old shoot: size of vegetative bud support	一年枝の葉芽の着生部の大きさ	観察 VG (b)	1 2 3	小 中 大	small medium large		
18	18	PQ (*) (+)	新しょうの色	Young shoot: color of upper part	新しょうの色	観察 VG (c)	1 2 3 4	白 緑 赤 黒	whitish greenish reddish blackish	 M.9、JM7 M.26、JM1	
19	19	QN (*) G	新しょうのアントシアニンの着色面積	Young shoot: extent of anthocyanin coloration	新しょうのアントシアニンの着色面積	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large	 M.9 JM2 M.7 JM1、JM7、マルバカイドウ MO84	
20	20	QN (*) (+) G	葉身の向き	Leaf blade: attitude in relation to shoot	枝に対する葉身の向き	観察 VG (d)	1 2 3	上向き 水平 下向き	upwards outwards downwards		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
21	21	QN (*)	葉身の長さ	Leaf blade: length	葉身の長さ	観察/測定 cm VG/ MS (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	M.26、M.27 ミツバカイドウ JM1、JM7	
22	22	QN (*)	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の最大幅	観察/測定 cm VG/ MS (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極狭 かなり狭 狭 やや狭 中 やや広 広 かなり広 極広	very narrow very narrow to narrow narrow narrow to medium medium medium to broad broad broad to very broad very broad	M.26 マルバカイドウ MO84	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
23	23	QN (*) (+)	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width	葉身の幅に対する葉身の長さの比	観察/測定 比 VG/ MS (d)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very low low medium high very high	 ミツバカイドウ、サナシ 63、M.7 M.26 JM1	
24	24	QN (*) (+)	葉身の横断面の形	Leaf blade: profile in cross section	葉身中央部の横断面の形	観察 VG (d)	1 2 3	凹 平 凸	concave flat convex		
25	25	QN (+)	葉身の先端の長さ	Leaf blade: length of tip	葉身の先端の長さ	観察 VG (d)	1 2 3	短 中 長	short medium long	マルバカイドウ M.9、MM.106、マルバカイドウ MO84 JM1、JM7	
26	26	PQ (*) (+) G	葉身周縁部の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	葉身周縁部の鋸歯の形	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	鈍鋸歯 複鈍鋸歯 鋭鋸歯 鋭細鋸歯 複鋭鋸歯	crenate bicrenate serrate type 1 serrate type 2 biserrate		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
27	27	QN	葉身周縁部の鋸歯の深さ	Leaf blade: depth of incisions of margin	葉身周縁部の鋸歯の深さ	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	極浅 浅 中 深 極深	very shallow shallow medium deep very deep	M.26、マルバカイドウ MO84 JM1 CG.10	
28	28	QN (*)	葉身周縁部の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	葉身周縁部の波打ちの強弱	観察 VG (d)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	 M.9、MM.106 M.7、M.26、JM1、JM2、JM7	
29	29	QN	葉身の裏面の毛じ	Leaf blade: pubescence on lower side	葉身裏面の毛じの粗密	観察 VG (d)	1 2 3	粗 中 密	weak medium strong	JM1、JM2、JM7、マルバカイドウ、ミツバカイドウ	
30	30	QN (*)	葉身の光沢	Leaf blade: glossiness of upper side	葉身表面の光沢の強弱	観察 VG (d)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	M.26 MM.106、JM1、JM2、JM7 マルバカイドウ MO84	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
31	31	QN (*)	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color	葉身の緑色の濃淡	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	淡 やや淡 中 やや濃 濃	light light to medium medium medium to dark dark	JM1、キミノイヌリンゴ JM2、JM7、M.9 MM.106	
32	32	QN (*)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	観察/測定 cm VG/MS (d)	1 2 3 4 5	短 やや短 中 やや長 長	short short to medium medium medium to long long	M.26 JM7、M.9 MM.106	
33	33	QN (*) (+)	葉柄の長さ／葉身の長さ	Petiole: length relative to length of blade	葉身の長さに対する葉柄の長さの比	観察/測定 比 VG/MS (d)	1 2 3 4 5	小 やや小 中 やや大 大	short short to medium medium medium to long long	M.7 JM2 M.27 JM1	
34	34	QN (+)	葉柄のアントシアニンの着色面積	Petiole: extent of anthocyanin coloration	葉柄のアントシアニンの着色面積	観察 VG (d)	1 2 3	小 中 大	small medium large	JM2、JM7、M.26 キミノイヌリンゴ、ミツバカイドウ、マルバカイドウ MO84	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
35	35	QN (*)	たく葉の大きさ	Stipule: size	たく葉の大きさ	観察 VG (d)	1 2 3	小 中 大	small medium large	JM2 M9、M26 MM.106、JM1、JM7、マルバカイドウ MO84	
36	36	QN (+)	花の数（取り木繁殖品種に限る。）	Plant: number of flowers	花の多少（取り木繁殖品種に限る。）	観察 VG (e)	1 2 3	無又は少 中 多	none or few medium many		
37	37	PQ (+)	つぼみの色	Flower: color at balloon stage	開花直前のつぼみの花弁外側の色	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	淡桃 桃 赤 濃赤 紫	light pink medium pink medium red dark red purple	マルバカイドウ JM7	
38	38	QN (+)	花弁の重なり	Flower: arrangement of petals	花弁の重なり	観察 VG (e)	1 2 3	離れる 中間 重なる	free intermediate overlapping	 M.7 ミツバカイドウ	
39	39	QN (+)	花の直径	Flower: diameter	花の直径	観察 VG (e)	1 2 3 4	極小 小 中 大	very small small medium large	 ミツバカイドウ JM1、JM7	
40	40	QN (+)	やくに対する柱頭の位置	Flower: position of stigmas relative to anthers	やくに対する柱頭の位置	観察 VG (e)	1 2 3	下位 同位 上位	below same level above		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
41	41	QN	果実の大きさ	Fruit: size	果実の大きさ	観察/測定 g VG/MS (f)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	マルバカイドウ、サナシ 63 JM1、JM7 M.7 M.26 MM.106	
42	42	QN (+)	果実の高さ／横径	Fruit: ratio length/width	果実の横径に対する縦径の比	観察 VG (f)	1 2 3 4	極小 小 中 大	very low low medium high	M.26 M.7、MM.106 マルバカイドウ、サナシ 63、JM7	
43	43	PQ (+)	果実の形	Fruit: shape	果実の縦断面の形	観察 VG (f)	1 2 3 4 5 6 7	くびれのある円錐形 円錐形 卵形 偏円形 円形 楕円形 長方形	conic waisted conic ovate oblate circular elliptic oblong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
44	44	QN	果実の角張り	Fruit: ribbing	果実の角張りの強弱	観察 VG (f)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	マルバカイドウ、JM1 M.26 MM.106	
45	45	QN	果実の王冠	Fruit: crowning at calyx end	果実のがくあ頂部の冠状隆起の強弱	観察 VG (f)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	マルバカイドウ、JM1、JM7 M.26 MM.106	
46	46	PQ (+)	果皮の地色	Fruit: ground color	果皮の地色	観察 VG (f)	1 2 3 4 5 6	不明瞭 黄白 黄 緑白 黄緑 緑	not visible whitish yellow yellow whitish green yellow green green	サナシ 63 M.8 JM1、JM7 MM.106	
47	47	PQ (+)	果皮の着色の色相	Fruit: over color	果皮を覆う着色（複色）の色相	観察 VG (f)	1 2 3 4 5	橙赤 桃赤 赤 赤紫 赤褐	orange red pink red red purple red brown red	M.26 ミツバカイドウ Mark	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
48	48	QN	果皮の着色面積	Fruit: relative area of over color	果皮を覆う着色（複色）面積の占める割合	観察 VG (f)	1	無又は極小	absent or very small	JM7、マルバカイドウ	
							2	かなり小	very small to small		
							3	小	small	M.26	
							4	やや小	small to medium		
							5	中	medium		
							6	やや大	medium to large		
							7	大	large		
							8	かなり大	large to very large		
							9	極大	very large	サナシ 63	
49	49	QN	果柄の長さ	Fruit: length of stalk	果実の果柄の長さ	観察 VG (f)	1	極短	very short	M.26	
							2	かなり短	very short to short		
							3	短	short	MM.106	
							4	やや短	short to medium		
							5	中	medium	ミツバカイドウ	
							6	やや長	medium to long		
							7	長	long	JM7	
							8	かなり長	long to very long		
							9	極長	very long	JM1	
50	50	QN (+)	果実の心室の開度	Fruit: aperture of locules in transverse section	果実横断面の心室の開度	観察 VG (f)	1	閉じる又はわずかに開く	closed or slightly open		
							2	開く	moderately open		
							3	広く開く	fully open		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
51	51	QN (*) (+)	ほう芽期	Time of beginning of bud burst	10%の芽の先端に緑色が現れた時期の早晩	測定 月日 MG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late		
52	52	QN (+)	開花始期	Time of beginning of flowering	10%の花が開花した時期の早晩	測定 月日 MG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late	JM1 マルバカイドウ	
53		QN (+)	挿し木発根性	Rooting ability by hardwood cuttings	挿し木の発根率	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極低 低 中 高 極高	absent or very low low medium high very high	M.9 MM.106、M.26 JM1 マルバカイドウ MO84	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
54		QN (+)	わい化性	Dwarfing effect	わい化性の強弱	観察 VG	1	無又は極弱	absent or very weak	リンゴ（M.domestica）実生台木	選択形質
							2	弱	weak	マルバカイドウ MO84	
							3	中	medium	MM.106、JM2	
							4	強	strong	M.9、M.26、JM7	
							5	極強	very strong	M.27、JM5	

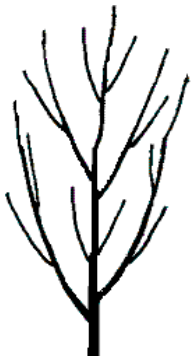
Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1　樹勢　Char.1　Plant: vigor

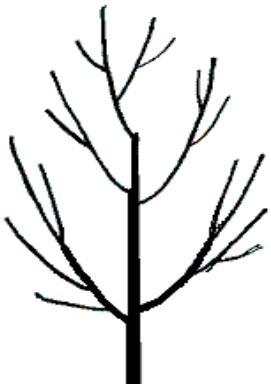
樹勢は年間の総栄養生長量を評価する。

The vigor of the plant should be considered as the overall abundance of vegetative growth.

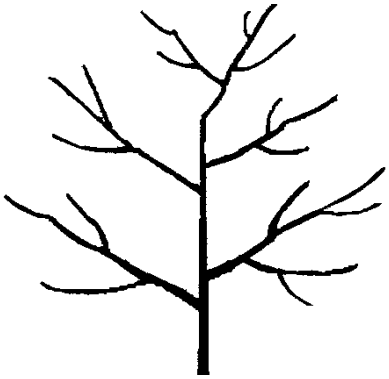
形質 4　樹姿　Char.4　Plant: habit



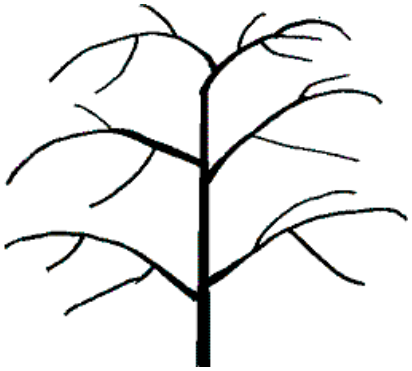
1
直立
upright



2
直立から開張
upright to spreading

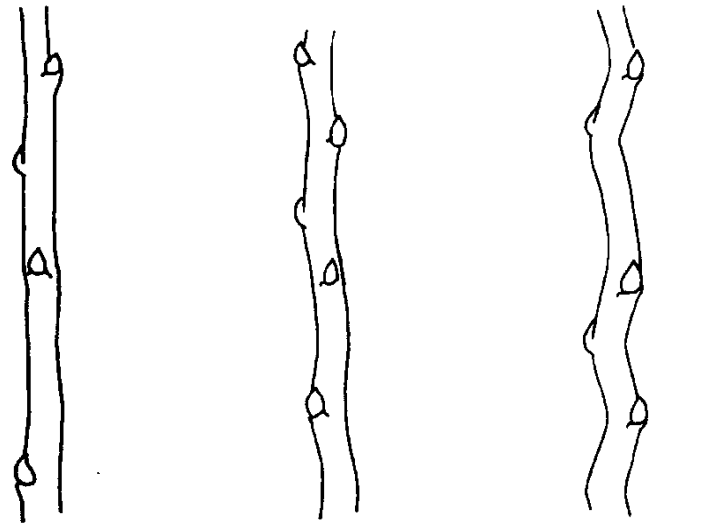


3
開張
spreading



4
枝垂れ
drooping

形質 6　枝の伸長の型　Char.6　One-year-old shoot: growth pattern



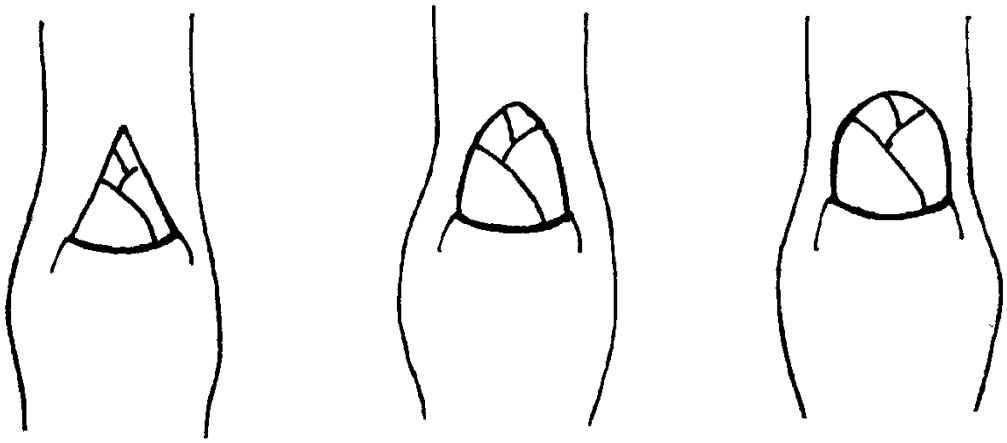
1
直線状
straight

2
やや波状
moderately wavy

3
強い波状
strongly wavy

形質 7　枝の毛じ　Char.7　One-year-old shoot: pubescence
枝の中央より先端側の毛じを観察する。
The pubescence should be observed on the distal half of the shoot.

形質 15　葉芽の先端部の形　Char.15　One-year-old shoot: shape of apex of vegetative bud

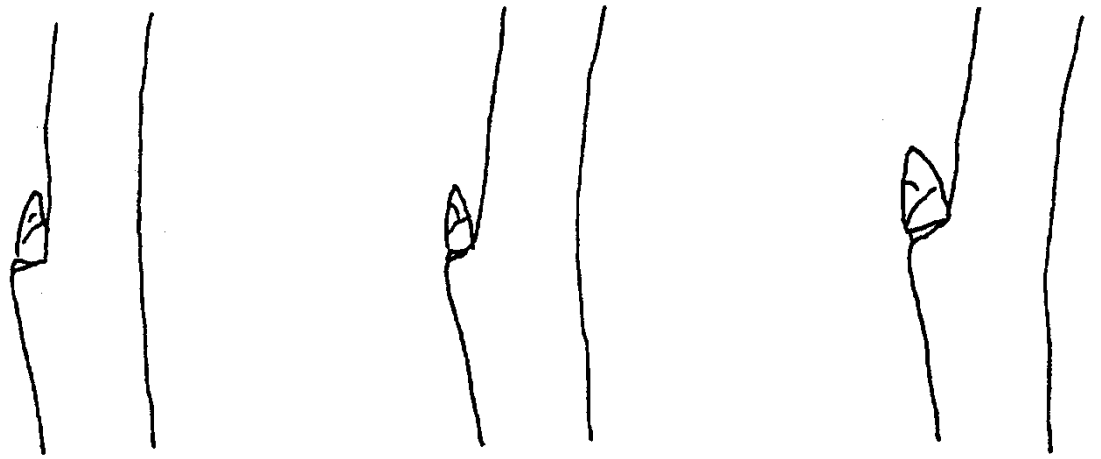


1
鋭形
acute

2
鈍形
obtuse

3
円形
rounded

形質 16　一年枝の枝に対する葉芽の着生部の位置（取り木繁殖品種に限る。）
Char.16　One-year-old shoot: position of vegetative bud in relation to shoot

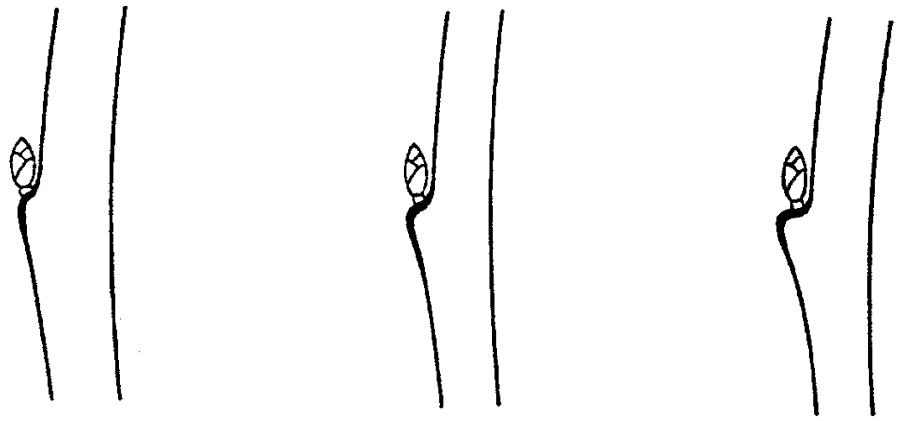


1
密着
adpressed

2
少し離れる
slightly held out

3
強く離れる
strongly held out

形質 17　葉芽の着生部の大きさ　Char.17　One-year-old shoot: size of vegetative bud support



1
小
small

2
中
medium

3
大
large

形質 18　新しょうの色　Char.18　Young shoot: color of upper part
毛じを除いた新しょうの色を評価する。
The color observed should be of the underlying skin underneath the pubescence.

形質 20　葉身の向き　Char.20　Leaf blade: attitude in relation to shoot



1
上向き
upwards

2
水平
outwards

3
下向き
downwards

形質 23　葉身の長さ／幅　Char.23　Leaf blade: ratio length/width



1
極小
very low

2
小
low

3
中
medium

4
大
high

5
極大
very high

形質 24　葉身の横断面の形　Char.24　Leaf blade: profile in cross section



1
凹
concave

2
平
flat

3
凸
convex

形質 25　葉身の先端の長さ　Char.25　Leaf blade: length of tip



1
短
short



2
中
medium



3
長
long

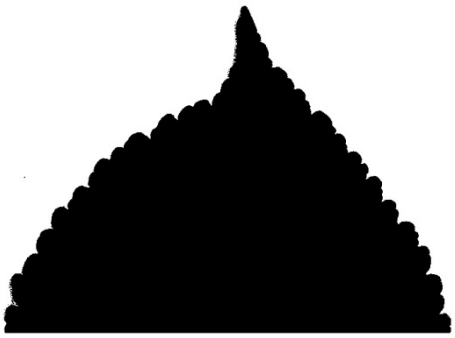
形質 26　葉身周縁部の鋸歯の形　Char.26　Leaf blade: incisions of margin

葉身の上半分を評価する。

Observations should be done on the upper half of the leaf blade.



1
鈍鋸歯
crenate



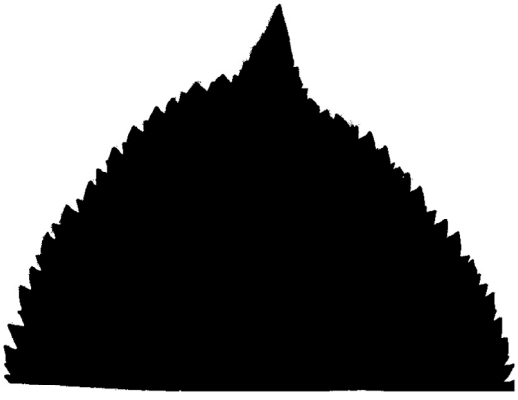
2
複鈍鋸歯
bicrenate



3
鋭鋸歯
serrate type 1



4
鋭細鋸歯
serrate type 2



5
複鋭鋸歯
biserrate

形質 33　葉柄の長さ／葉身の長さ　Char.33　Petiole: length relative to length of blade

葉身の主脈の長さに対する葉柄の長さを評価する。

Should be assessed regarding the length of the petiole compared to the length of the middle vein of the leaf.

形質 34　葉柄のアントシアニンの着色面積

Char.34　Petiole: extent of anthocyanin coloration

葉柄基部から葉身基部にかけての着色を評価する。

Should be assessed regarding the degree to which the anthocyanin coloration extends from the petiole base towards the base of the leaf.

形質 36　花の数（取り木繁殖品種に限る。）

Char.36　Plant: number of flowers

開花期に存在する花の数を評価する。

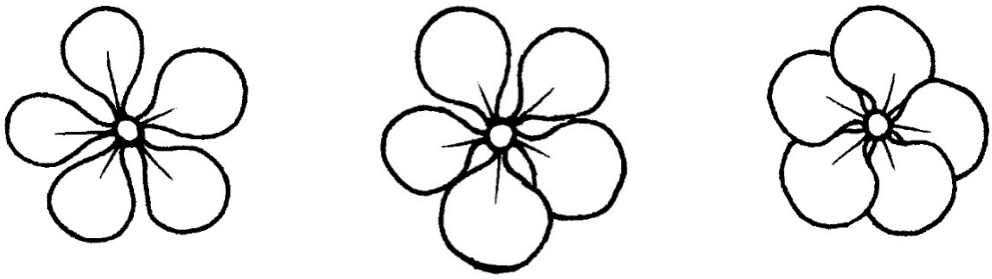
Should be assessed as the amount of flowers present during the flowering period.

形質 37　つぼみの色　Char.37　Flower: color at balloon stage

調査時期は、がくが完全に開き、花弁は認識可能ながら、部分的に膨らんでいるものの閉じており、内部器官を覆っている、花の発達段階である。この時期は花弁が展開する 1-2 日前である。

Balloon stage is the phenological stage in the course of the flower development when the calyx is fully expanded and the petals are recognizable, having partially expanded and inflated but are closed, covering the internal organs.　Balloon stage is usually 1-2 days before the petals unfold.

形質 38　花弁の重なり　Char.38　Flower: arrangement of petals



1
離れる
free

2
中間
intermediate

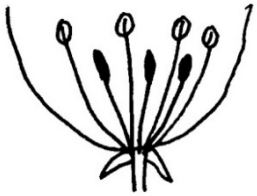
3
重なる
overlapping

形質 39　花の直径　Char.39　Flower: diameter

花弁を水平に押し広げて評価する。

The observation should be done with the petals pressed into a horizontal position.

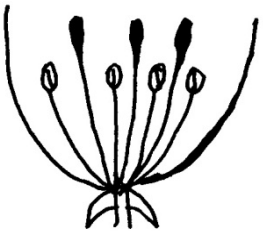
形質 40　やくに対する柱頭の位置　Char.40　Flower: position of stigmas relative to anthers



1
下位
below

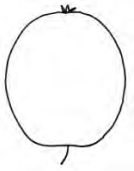
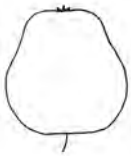
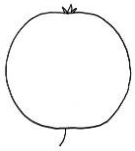
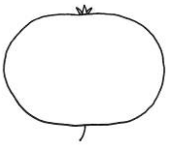


2
同位
same level



3
上位
above

形質 42　果実の高さ／横径　Char.42　Fruit: ratio length/width
形質 43　果実の形　Char.43　Fruit: shape

横径（高さ／横径）width (ratio length/width)	最大横径の位置 ← broadest part →	
	中央部より梗あ側 below middle	中央部 at middle
狭い（大）narrow (high) →		 7 長方形 oblong
	 3 卵形 ovate	 6 楕円形 elliptic
	 1 くびれのある円錐形 conic waisted	 2 円錐形 conic	 5 円形 circular
広い（小）broad (low) ←		 4 偏円形 oblate

形質 46　果皮の地色　Char.46　Fruit: ground color

地色は、果実の発達過程で最初に現れる色である。それ以外の色は斑点などの模様として現れる。地色は果実の表面全体に連続的に分布する色である。

The ground color is the first color to appear chronologically during the development of the fruit. Other colors may develop in time in the form of spots, blotches, or a flush. The ground color is the color which has a continuous dispersion across the surface of the fruit.

形質 47　果皮の着色の色相　Char.47　Fruit: over color

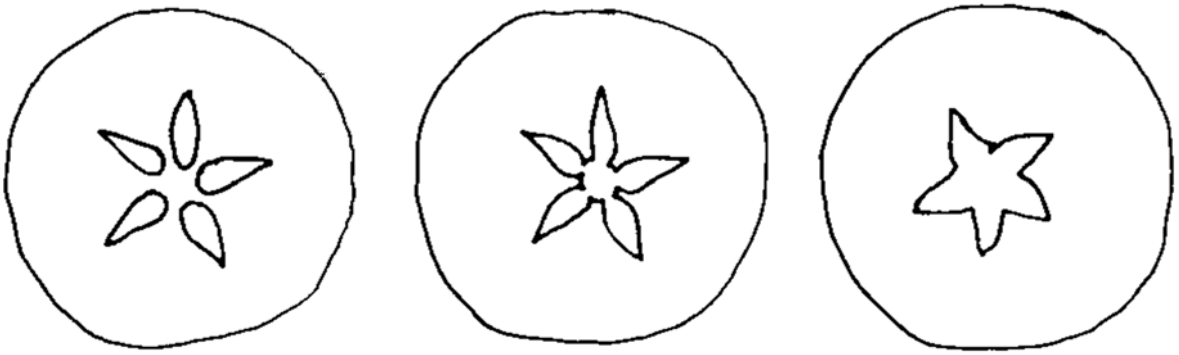
果粉を除いて評価する。

果実の地色にべた着色などの二次的な色が時間の経過とともに現れる場合、べた着色は果皮を覆う着色とみなす。果皮を覆う着色は必ずしも最も小さな面積を占める色とは限らない。

All observation should be done with the bloom removed.

In the case where the fruit has a ground color upon which a second color such as a flush develops over time, the flush is considered the over color. The over color is not always the color occupying the smallest surface area of the fruit concerned.

形質 50　果実の心室の開度　Char.50　Fruit: aperture of locules in transverse section



1	2	3
閉じる又はわずかに開く closed or slightly open	開く moderately open	広く開く fully open

形質 51　ほう芽期　Char.51　Time of beginning of bud burst

ほう芽期は 10%の芽の先端に緑色が確認できた時期である。

The time of beginning of bud burst is when 10% of the buds show green points

形質 52　開花始期　Char.52　Time of beginning of flowering

開花始期は供試樹の 10%の花が開花した時期である。

The time of beginning of flowering is when 10% of the flowers on the 5 trees are fully open.

形質 53　挿し木発根性　Char.53　　Rooting ability by hardwood cuttings

充実した休眠枝 20 本を 15cm に切り、基部をくさび型に削り、春に挿し木を行う。秋に「活着本数／供試本数」から活着率を算出し、標準品種との比較で発根性を評価する。

形質 54　わい化性　Char.54　　Dwarfing effect

「ふじ」、「Wijcik」などの栽培品種を穂木として用い、接ぎ木後３～４年以上経過した樹の生育量（樹高、幹断面積等）を評価し、標準品種との比較で判断する。反復樹数は３～５樹。なお、カラムナー型品種を穂品種として用いると小面積での試験が可能である。挿し木繁殖が困難な台木品種については取り木などで繁殖し、自根苗を評価に用いる。

＜参考＞
特性調査の概要
１．現地検討会
（１）開催年月日
令和４年 5 月 19 日（茨城県つくば市）
令和４年 7 月 27-28 日（岩手県盛岡市）
令和４年 10 月 27-28 日（岩手県盛岡市）
（２）調査実施場所
果樹茶業研究部門（岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-24）
種苗管理センター（茨城県つくば市藤本２－２）
（３）調査者
別所　英男　　種類別審査基準案作成検討委員
阿部　陽介　　農林水産省輸出・国際局知的財産課種苗室審査専門職
高松　芳明　　種苗管理センター試験・検査部特性調査業務課

２．栽培調査
（１）調査期間
令和３年４月～令和５年３月
（果樹茶業研究部門で栽培管理している品種を調査）
（２）調査場所
果樹茶業研究部門（岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-24）
（３）調査者
高松　芳明　　種苗管理センター試験・検査部特性調査業務課

３．栽培方法
（１）作型
露地栽培
（２）耕種概要

	遺伝資源圃
栽培目的	ジーンバンク保存
栽植距離	株間 1m、通路 2m
樹齢	3 年～10 年以上
施肥	慣行
防除	慣行
着果管理	簡易（摘果剤）
剪定	簡易（強剪定）
	樹冠が小さい。簡易な強剪定のため着果が少ない。 徒長枝が多く、株間が狭いため、着色不良の果実が多い。

４．調査結果及び所見
（１）対象植物の範囲
UPOV 基準に準拠し、リンゴ属のうち台木のみとして利用する品種を対象とした。
（２）提出種苗
UPOV 基準では自根苗の提出としており、台木用品種を主な対象とするため、挿し木や取り木で自根苗の提出が可能と判断した。ただし、中間台木用品種など発根性の低い品種の出願も考慮し、台木に関する記載を追記した。
（３）試験方法
一部の形質には記号[A] - Applies only for stoolbeds、[B] - Applies only for fully grown trees

が付いているため試験方法を検討した。海外の審査当局に確認したところ、これらの形質はアスタリスク（必須）形質ではないので、A、B のいずれか一方あるいは両方を審査基準に採用するかは各国の判断によるとの回答であった。A が指定されている形質は「Plant: number of shoots」「One-year-old shoot: position of vegetative bud in relation to shoot」の２形質のみであり、特に「Plant: number of shoots」は取り木繁殖での分枝の発生程度を評価する形質であり、挿し木繁殖が中心の日本では B が指定されている形質３「新しょうの数　Plant: number of branches」が存在することからも、A が指定されている形質は採用しない整理とした。

（４）形質の検討

UPOV 基準に準拠した形質としたが、前段の理由から「Plant: number of shoots」「One-year-old shoot: position of vegetative bud in relation to shoot」は本基準案では採用しなかった。いっぽう、形質 50「挿し木発根性」、形質 51「わい化性」は、国内の品種識別において有用と判断し、日本独自形質として追加した。

（５）標準品種

作成開始時の日本審査基準では標準品種の記載がないため、UPOV 基準に記載されている標準品種の評価結果を参考に、日本国内で一般的に使用されている品種も含めて検討した。

（６）階級値設定表

標準品種の樹齢や生育状況のばらつき等、今回のデータのみで作成することは難しいため、今後の試作や栽培試験において改めて作成を検討する。

５．参考文献

青森県りんご協会著(2021)りんご生産指導要項　令和２年度改訂版(青森県りんご協会)
長野県、全国農業協同組合連合会長野県本部編（2006）果樹指導指針（長野県）
上野勇、土屋七郎、梶浦一郎、小崎格監修（1996）新編原色果物図説（養賢堂）
吉田義雄編著（1986）リンゴ品種大観（長野県経済事業農業協同組合連合会）
河瀬憲次編著（1995）果樹台木の特性と利用（農山漁村文化協会）

６．供試品種一覧表

農研機構果樹茶業研究部門で栽培されている品種を調査した。

番号	品種名	圃場	備考
1	JM1	母樹	標準品種候補
2	JM2	苗圃	標準品種候補
3	JM7	母樹	標準品種候補
4	M.7	遺伝	標準品種候補
5	M.9	遺伝	標準品種候補
6	M.9 EMLA	遺伝	標準品種候補
7	M.26	遺伝	標準品種候補
8	M.26 EMLA	遺伝	標準品種候補
9	MM.106	遺伝	標準品種候補
10	MM.106 EMLA	遺伝	標準品種候補
11	マルバカイドウ	遺伝	標準品種候補、JP173432
12	マルバカイドウ MO84	遺伝	標準品種候補
13	M.27	(上北農場)	標準品種候補
14	CG.24	遺伝	標準品種候補
15	CG.55	遺伝	標準品種候補
16	CG.80	遺伝	標準品種候補

17	MARK (MAC 9)	遺伝	標準品種候補
18	サナシ 63	遺伝	標準品種候補
19	ミツバカイドウ	遺伝	標準品種候補
20	キミノイヌリンゴ	遺伝	標準品種候補
21	CEPILAND (PAJAM 2)	遺伝	UPOV 標準品種
22	CG.10	遺伝	UPOV 標準品種
23	CG.935	遺伝	UPOV 標準品種
24	J-TE-F	遺伝	UPOV 標準品種
25	J-TE-G	遺伝	UPOV 標準品種
26	J-TE-H	遺伝	UPOV 標準品種
27	LANCEP (PAJAM 1)	遺伝	UPOV 標準品種
28	M.1	遺伝	UPOV 標準品種
29	M.11	遺伝	UPOV 標準品種
30	M.16	遺伝	UPOV 標準品種
31	M.25	遺伝	UPOV 標準品種
32	M.3	遺伝	UPOV 標準品種
33	M.4	遺伝	UPOV 標準品種
34	M.5	遺伝	UPOV 標準品種
35	M.8	遺伝	UPOV 標準品種
36	MM.102	遺伝	UPOV 標準品種
37	MM.104	遺伝	UPOV 標準品種
38	MM.109	遺伝	UPOV 標準品種
39	MM.111	遺伝	UPOV 標準品種
40	MM.115	遺伝	UPOV 標準品種
41	P16	遺伝	UPOV 標準品種
42	P22	遺伝	UPOV 標準品種

７．既存品種特性一覧

形質		単位	標準品種 JM1		標準品種 JM2		標準品種 JM7		標準品種 M.7	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		6				4		3	
2	枝の数		3				2		2	
3	樹姿		1				1		2	
4	とげの数		1				1		1	
5	枝の伸長の型		1				2		1	
6	枝の毛じ		1				2		4	
7	枝の光沢		5				1		3	
8	枝の太さ	mm		4.6				4.8		3.5
9	節間長	cm		3.3				2.7		1.9
10	皮目の数		4				4		3	
11	皮目の大きさ		3				3		3	
12	枝の色		2				2		2	
13	葉芽の大きさ		2				1		1	
14	葉芽の先端の形		2				1		3	
15	葉芽の着生部の大きさ		2				2		2	
16	新しょうの色		4		3		3		3	
17	新しょうのアントシアニンの着色面積		5		3		5		4	
18	葉身の向き		2		2		2		2	
19	葉身の長さ	cm		9.7		7.5		9.2		6.8
20	葉身の幅	cm		5.4		5.8		5.5		5.8
21	葉身の長さ／幅	比		1.80		1.30		1.70		1.20
22	葉身の横断面の形		1		2		1		2	
23	葉身の先端の長さ		3		2		3		1	

形質		単位	標準品種 JM1		標準品種 JM2		標準品種 JM7		標準品種 M.7	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	葉身周縁部の鋸歯の形		3		3		3		2	
25	葉身周縁部の鋸歯の深さ		3		1		1		3	
26	葉身周縁部の波打ち		3		3		3		3	
27	葉身の裏面の毛じ		1		1		1		2	
28	葉身の光沢		3		3		3		4	
29	葉身の緑色の濃淡		1		3		3		2	
30	葉柄の長さ	cm		1.9		2.0		2.3		2.4
31	葉柄の長さ／葉身の長さ	比		0.20		0.27		0.25		0.35
32	葉柄のアントシアニンの着色面積		2		2		2		1	
33	たく葉の大きさ		3		1		3		2	
34	つぼみの色		2				2			
35	花弁の重なり		1				2		2	
36	花の直径	cm		5.3				5.4		
37	やくに対する柱頭の位置		3				2		2	
38	果実の大きさ	g		34.0				38.0		101.0
39	果実の高さ／横径	比		0.80				0.90		0.90
40	果実の形		4				5		2	
41	果実の角張り		1				1		1	
42	果実の王冠		1				1		1	
43	果皮の地色		3	15C,15D,11A			3	10A,11A,12A	3	4D
44	果皮の着色の色相		3	35A,35B			3	35B,35C		
45	果皮の着色面積		3	0-20%			1	0-10%	1	
46	果柄の長さ	cm		5.4				4.0		1.7

※形質 36、39、46 は観察形質であるが、参考に測定値を記載した。

形質		単位	標準品種 JM1		標準品種 JM2		標準品種 JM7		標準品種 M.7	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
47	果実の心室の開度		1				1		1	
48	ほう芽期	月日								
49	開花始期	月日		5月7日				5月9日		
50	挿し木発根性									
51	わい化性									

形質		単位	標準品種 M.9		標準品種 M.9 EMLA		標準品種 M.26		標準品種 M.26 EMLA	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		2		1		4		1	
2	枝の数		2		2		3		2	
3	樹姿		2		2		2		2	
4	とげの数		1		1		1		1	
5	枝の伸長の型		1		1		2		2	
6	枝の毛じ		4		4		2		2	
7	枝の光沢		3		3		3		3	
8	枝の太さ	mm		2.8		3.1		3.2		2.9
9	節間長	cm		2.6		1.6		2.8		2.9
10	皮目の数		2		2		3		3	
11	皮目の大きさ		2		2		2		2	
12	枝の色		2		2		4		4	
13	葉芽の大きさ		3		3		2		2	
14	葉芽の先端の形		1		2		1		2	
15	葉芽の着生部の大きさ		1		1		2		2	
16	新しょうの色		3		3		4		4	
17	新しょうのアントシアニンの着色面積		2		2		3		3	
18	葉身の向き		2		2		2		2	
19	葉身の長さ	cm		8.1		7.6		7.2		8.3
20	葉身の幅	cm		5.1		4.7		4.5		4.9
21	葉身の長さ／幅	比		1.60		1.60		1.60		1.70
22	葉身の横断面の形		2		2		2		2	
23	葉身の先端の長さ		2		2		3		2	

形質		単位	標準品種 M.9		標準品種 M.9 EMLA		標準品種 M.26		標準品種 M.26 EMLA	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	葉身周縁部の鋸歯の形		3		3		3		4	
25	葉身周縁部の鋸歯の深さ		2		2		1		1	
26	葉身周縁部の波打ち		2		2		3		3	
27	葉身の裏面の毛じ		2		1		3		3	
28	葉身の光沢		4		4		1		1	
29	葉身の緑色の濃淡		3		3		4		4	
30	葉柄の長さ	cm		2.2		2.0		1.6		2.0
31	葉柄の長さ／葉身の長さ	比		0.27		0.26		0.22		0.24
32	葉柄のアントシアニンの着色面積		1		1		2		2	
33	たく葉の大きさ		2		2		2		2	
34	つぼみの色		2							
35	花弁の重なり						2			
36	花の直径	cm						5.2		
37	やくに対する柱頭の位置						3			
38	果実の大きさ	g						142.0		
39	果実の高さ／横径	比						0.80		
40	果実の形						4			
41	果実の角張り						3			
42	果実の王冠						2			
43	果皮の地色						3	154C,1C,4B		
44	果皮の着色の色相						1	37A,37B		
45	果皮の着色面積						3			
46	果柄の長さ	cm						0.7		

※形質 36、39、46 は観察形質であるが、参考に測定値を記載した。

形質		単位	標準品種 M.9		標準品種 M.9 EMLA		標準品種 M.26		標準品種 M.26 EMLA	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
47	果実の心室の開度						2			
48	ほう芽期	月日								
49	開花始期	月日		5月6日				5月7日		
50	挿し木発根性									
51	わい化性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			MM.106		MM.106 EMLA		マルバカイドウ		マルバカイドウMO84	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		7		6		6		4	
2	枝の数		4		4		4		3	
3	樹姿		2		2		2		4	
4	とげの数		1		1		1		1	
5	枝の伸長の型		2		2		2		3	
6	枝の毛じ		5		5		1		1	
7	枝の光沢		3		3		3		5	
8	枝の太さ	mm		4.3		4.6		2.5		3.1
9	節間長	cm		3.7		3.0		3.5		2.9
10	皮目の数		3		3		3		3	
11	皮目の大きさ		2		3		2		2	
12	枝の色		4		4		4		3	
13	葉芽の大きさ		2		2		1		1	
14	葉芽の先端の形		3		2		2		3	
15	葉芽の着生部の大きさ		3		3		2		2	
16	新しょうの色		2		2		3		3	
17	新しょうのアントシアニンの着色面積		2		2		3		5	
18	葉身の向き		2		2		2		3	
19	葉身の長さ	cm		7.9		7.8		7.7		9.3
20	葉身の幅	cm		7.0		5.1		5.1		5.8
21	葉身の長さ／幅	比		1.20		1.50		1.50		1.60
22	葉身の横断面の形		2		2		2		3	
23	葉身の先端の長さ		2		2		1		2	

形質		単位	標準品種 MM.106		標準品種 MM.106 EMLA		標準品種 マルバカイドウ		標準品種 マルバカイドウMO84	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	葉身周縁部の鋸歯の形		4		4		3		3	
25	葉身周縁部の鋸歯の深さ		3		3		1		1	
26	葉身周縁部の波打ち		2		2		2		2	
27	葉身の裏面の毛じ		3		3		1		1	
28	葉身の光沢		3		3		4		4	
29	葉身の緑色の濃淡		5		5		4		4	
30	葉柄の長さ	cm		2.7		2.3		1.9		2.8
31	葉柄の長さ／葉身の長さ	比		0.34		0.29		0.25		0.30
32	葉柄のアントシアニンの着色面積		1		1		2		3	
33	たく葉の大きさ		3		3		1		3	
34	つぼみの色						1			
35	花弁の重なり									
36	花の直径	cm		4.7						
37	やくに対する柱頭の位置		3		2		3			
38	果実の大きさ	g		225.6				10.0		
39	果実の高さ／横径	比		0.90				0.90		
40	果実の形		5				5			
41	果実の角張り		4				1			
42	果実の王冠		3				1			
43	果皮の地色		5	1C,154C,154D			3	16A		
44	果皮の着色の色相		3	47A,47B						
45	果皮の着色面積			0.4			1			
46	果柄の長さ	cm		1.6				3.0		

※形質 36、39、46 は観察形質であるが、参考に測定値を記載した。

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			MM.106		MM.106 EMLA		マルバカイドウ		マルバカイドウMO84	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
47	果実の心室の開度		2				1			
48	ほう芽期	月日								
49	開花始期	月日		5月10日						
50	挿し木発根性									
51	わい化性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			M.27		CG.24		CG.55		CG.80	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢				3		5		3	
2	枝の数				2		3		3	
3	樹姿				3		3		2	
4	とげの数				1		1		1	
5	枝の伸長の型				1		2		2	
6	枝の毛じ				2		1		4	
7	枝の光沢				3		5		3	
8	枝の太さ	mm				3.1		3.3		3.5
9	節間長	cm				2.4		2.9		4.0
10	皮目の数				2		3		3	
11	皮目の大きさ				2		3		3	
12	枝の色				2		3		4	
13	葉芽の大きさ				2		1		1	
14	葉芽の先端の形				2		2		2	
15	葉芽の着生部の大きさ				2		2		3	
16	新しょうの色				3		3		3	
17	新しょうのアントシアニンの着色面積				3		3		3	
18	葉身の向き				2		2		1	
19	葉身の長さ	cm		7.4		8.1		8.1		7.2
20	葉身の幅	cm		5.2		4.7		6.2		4.6
21	葉身の長さ／幅	比		1.40		1.70		1.30		1.60
22	葉身の横断面の形		1		1		1		2	
23	葉身の先端の長さ		3		3		3		3	

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			M.27		CG.24		CG.55		CG.80	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	葉身周縁部の鋸歯の形		2		3		4		1	
25	葉身周縁部の鋸歯の深さ		3		1		3		2	
26	葉身周縁部の波打ち		2		4		1		2	
27	葉身の裏面の毛じ		2		1		1		1	
28	葉身の光沢		2		3		2		2	
29	葉身の緑色の濃淡		4		3		5		5	
30	葉柄の長さ	cm		1.7		2.1		1.9		1.9
31	葉柄の長さ／葉身の長さ	比		0.23		0.26		0.23		0.26
32	葉柄のアントシアニンの着色面積		1		2		2		2	
33	たく葉の大きさ		1		1		1		1	
34	つぼみの色									
35	花弁の重なり									
36	花の直径	cm								
37	やくに対する柱頭の位置				2					
38	果実の大きさ	g								
39	果実の高さ／横径	比								
40	果実の形									
41	果実の角張り									
42	果実の王冠									
43	果皮の地色									
44	果皮の着色の色相									
45	果皮の着色面積									
46	果柄の長さ	cm								

※形質 36、39、46 は観察形質であるが、参考に測定値を記載した。

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			M.27		CG.24		CG.55		CG.80	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
47	果実の心室の開度									
48	ほう芽期	月日								
49	開花始期	月日								
50	挿し木発根性									
51	わい化性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			MARK（MAC9）		サナシ63		ミツバカイドウ		キミノイヌリンゴ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		4		4		3		4	
2	枝の数		3		2		2		3	
3	樹姿		2		4		3		2	
4	とげの数		1		1		1		1	
5	枝の伸長の型		2		3		2		3	
6	枝の毛じ		3		1		1		2	
7	枝の光沢		3		5		5		3	
8	枝の太さ	mm		4.1		2.9		3.9		3.8
9	節間長	cm		3.3		3.4		3.3		3.6
10	皮目の数		3		4		4		4	
11	皮目の大きさ		3		3		2		3	
12	枝の色		2		2		2		2	
13	葉芽の大きさ		2		1		2		2	
14	葉芽の先端の形		2		1		1		2	
15	葉芽の着生部の大きさ		3		3		3		2	
16	新しょうの色		3		3		3		4	
17	新しょうのアントシアニンの着色面積		3		5		5		5	
18	葉身の向き		2		3		3		2	
19	葉身の長さ	cm		7.8		8.3		8.8		8.9
20	葉身の幅	cm		4.5		7.0		6.6		6.2
21	葉身の長さ／幅	比		1.70		1.20		1.30		1.50
22	葉身の横断面の形		2		2		2		2	
23	葉身の先端の長さ		2		2		2		2	

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			MARK（MAC9）		サナシ63		ミツバカイドウ		キミノイヌリンゴ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	葉身周縁部の鋸歯の形		3		4		3		4	
25	葉身周縁部の鋸歯の深さ		2		3		4		1	
26	葉身周縁部の波打ち		3		2		2		1	
27	葉身の裏面の毛じ		2		1		1		1	
28	葉身の光沢		2		2		3		3	
29	葉身の緑色の濃淡		3		1		3		1	
30	葉柄の長さ	cm		2.2		2.3		1.9		2.3
31	葉柄の長さ／葉身の長さ	比		0.28		0.28		0.22		0.26
32	葉柄のアントシアニンの着色面積		1		3		3		3	
33	たく葉の大きさ		1		3		3		1	
34	つぼみの色				2		2			
35	花弁の重なり						3			
36	花の直径	cm								
37	やくに対する柱頭の位置		3		2		3			
38	果実の大きさ	g				5.0		5.0		
39	果実の高さ／横径	比				1.00		0.90		
40	果実の形				5		5			
41	果実の角張り				1		1			
42	果実の王冠				1		1			
43	果皮の地色				1	11C,11D	3	162A		
44	果皮の着色の色相		5		3	N45A,46A,53A	3	185A,53A		
45	果皮の着色面積				9	90-100%		40-60%		
46	果柄の長さ	cm				3.6		3.0		

※形質 36、39、46 は観察形質であるが、参考に測定値を記載した。

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			MARK（MAC9）		サナシ63		ミツバカイドウ		キミノイヌリンゴ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
47	果実の心室の開度				1		1			
48	ほう芽期	月日								
49	開花始期	月日								
50	挿し木発根性									
51	わい化性									

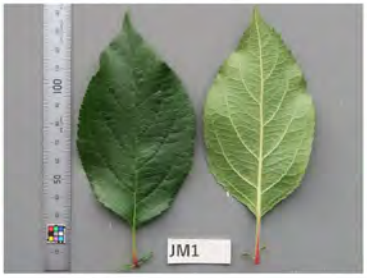
．参考写真

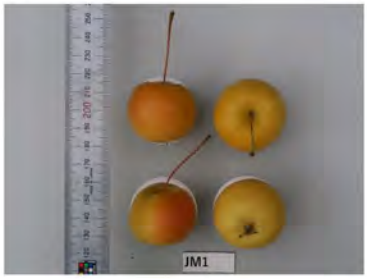
標準品種　　「JM1」







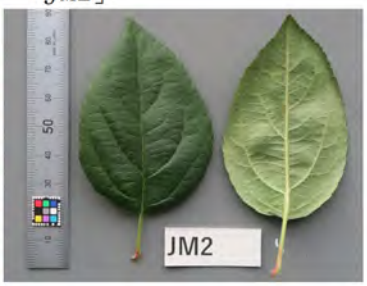





標準品種



「JM2」





＊若木のため着花無し。

標準品種



「JM7」

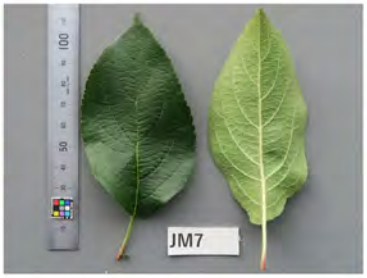




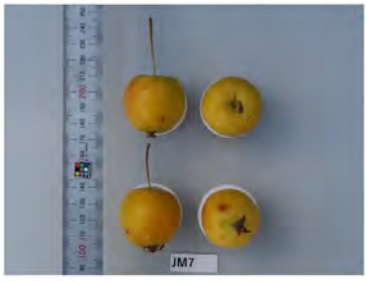














標準品種　　「M. 7」














標準品種　「M. 9」







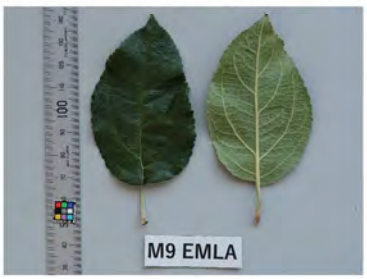



＊着果したが、成熟前に落果したため、果実の写真なし。

標準品種　「M. 9　EMLA」





＊着果したが、成熟前に落果したため、果実の写真なし。

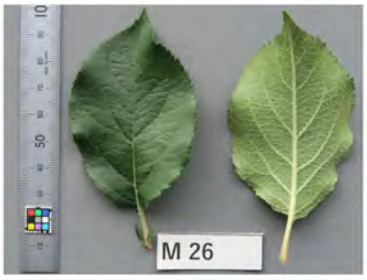
標準品種　　「M. 26」

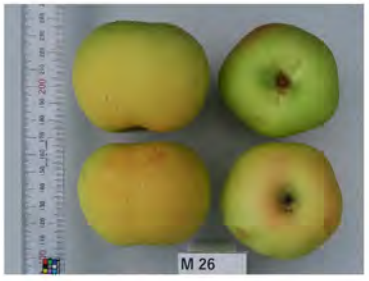












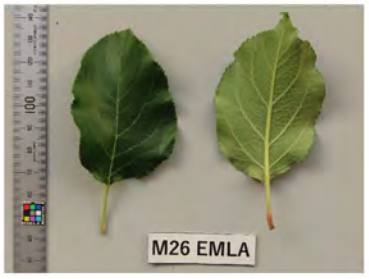
標準品種



「M.26 EMLA」







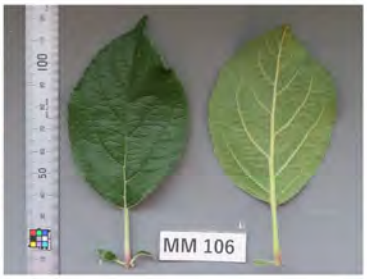
標準品種　「MM. 106」

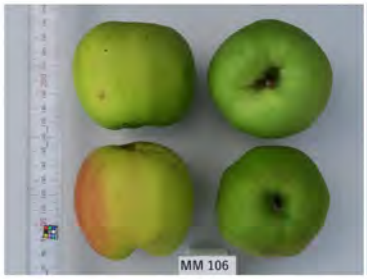












標準品種　　「MM. 106 EMLA」













標準品種　　「マルバカイドウ」

















標準品種　「マルバカイドウMO84」



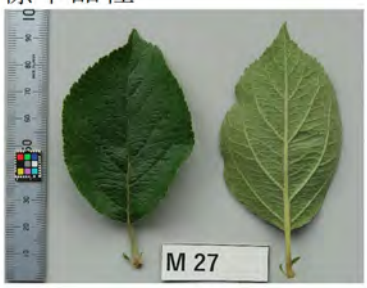







＊開花、着果なしのため果実の写真なし。

標準品種　「M. 27」

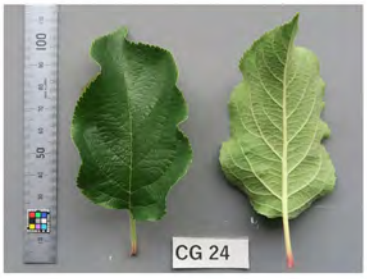


＊上北農場産。着果なしのため果実の写真なし。

標準品種　「CG24」





＊着果なしのため、果実の写真なし。

標準品種　「CG55」







標準品種

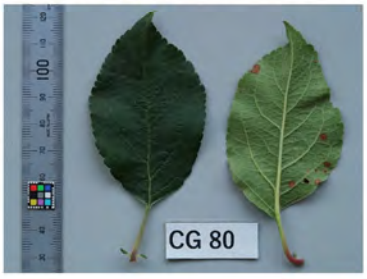
「CG80」













標準品種　　「MARK （MAC 9)」

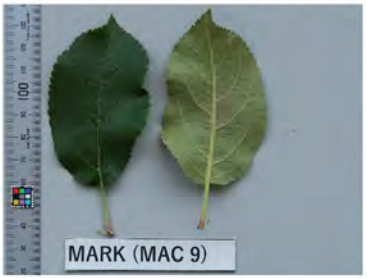














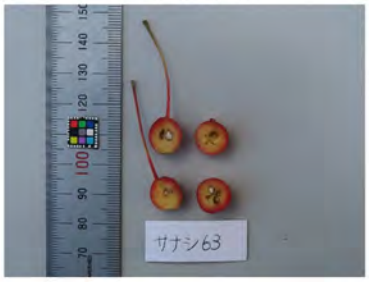
標準品種　　「サナシ63」











標準品種　「ミツバカイドウ」













標準品種　「キミノイヌリンゴ」



＊開花、着果なしのため、果実の写真なし。

資料 1-2-11

2026 年 月
TG/340/1 2023-10-24 に準拠

オクシペタルム

Oxypetalum

(*Oxypetalum coeruleum* (D. Don) Decne.)

(案)

オクシペタルム審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、キョウチクトウ科（Apocynaceae）オクシペタルム属（*Oxypetalum* R. Br.）のオクシペタルム　カエルレウム種（*O. coeruleum* (D. Don) Decne.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　種子又は発根苗

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　種子繁殖性品種の場合　　1,000 粒

栄養繁殖性品種の場合　　30 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　種子繁殖性品種　　30 個体

栄養繁殖性品種　　15 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、種子繁殖性品種の場合は植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個について、栄養繁殖性品種の場合は植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、開花盛期に行う。

特性表の調査方法の欄の(a)～(g)の記号によって示された調査方法の詳細は、以下のとおりである。

(a)最初の花序の 50%程度の花が開花した頃に行う。

(b)茎の中央部 1/3 について行う。

(c)茎の中央部 1/3 に着生する葉で行う。

(d)花序の下から 4 節目の花が完全に開花した頃に、最長側枝について行う。

(e)完全に開花した花について行う。

(f)半八重及び八重品種の場合は、最も外側の花冠裂片について行う。

(g)主な色は、表面積が最も大きい色である。二次色は、2 番目に大きい面積を占める色である。主な色と二次色の面積が同程度である場合は、より濃い色を主な色とする。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び種子繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 15 の場合、許容される異型個体数は 1 である。供試個体数が 30 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）花型（形質 15）

ⅱ）花冠裂片の表面の色数（形質 22）

ⅲ）花冠裂片の表面の主な色（形質 23）

Gr. 1: 白
Gr. 2: 桃
Gr. 3: 赤
Gr. 4: 紫
Gr. 5: 青

ⅳ）副花冠の明瞭度（形質 27）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1	1	PQ (+)	草姿	Plant: growth habit	株全体の形	観察 VG (a)	1 2 3	直立性 アーチ状 開張性	upright arched spreading	シェーン　ブルー、 谷岡 2 号 ササオデム	
2	2	QN (*) (+)	草丈	Plant: height	地際から株の最頂部までの高さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極低 かなり低 低 やや低 中 やや高 高 かなり高 極高	very short very short to short short short to medium medium medium to tall tall tall to very tall very tall	 シェーン　ブルー、 谷岡 2 号 ササブランド	
3	3	PQ	茎の色	Stem: color	茎の中間部の色	観察 VG (a) (b)	1 2 3	淡緑 緑 緑褐	light green medium green green brown	シェーン　ブルー、 谷岡 2 号 池田　ピンク 1 号	
4	4	QN	茎の毛	Stem: density of pubescence	茎の中間部の毛の粗密	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	 INTA-GEISEI001 シェーン　ブルー、 谷岡 2 号 ペガススホワイト	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5	5	QN (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	葉身の長さ	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG (a) (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	マヨールピンク ササオデム	
6	6	QN (+)	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の最大幅	測定/ 観察 cm MG/ MS/ VG (a) (c)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	ササパウエル ササオデム	
7	7	PQ (*) (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	葉身の先端部の形	観察 VG (a) (c)	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded		
8	8	PQ (*) (+)	葉身の基部の形	Leaf blade: shape of base	葉身の基部の形	観察 VG (a) (c)	1 2 3	切形 心形 耳形	truncate cordate auriculate		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9	9	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color of upper side	葉身の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a) (c)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	INTA-GEISEI001 シェーン　ブルー	
10	10	QN	葉身の毛	Leaf blade: pubescence	葉身の表面の毛の粗密	観察 VG (a) (c)	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	INTA-GEISEI001 シェーン　ブルー、谷岡 2 号	
11	11	QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定/観察 cm MG/ MS/ VG (a) (c)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	マヨールピンク 谷岡 2 号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	QN (+)	花序の長さ	Inflorescence: length	最初の着花節から花序の先端までの長さ	測定/観察 cm MG/MS/VG (d)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ササパウエル 谷岡 2 号	
13	13	QN	一花序当たりの花数	Inflorescence: number of flowers	一花序の全ての花の数	測定/観察 MG/MS/VG (d)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	INTA-GEISEI001 シェーン　ブルー、 谷岡 2 号	
14	14	QN (+)	花柄の長さ	Pedicel: length	小花柄の長さ	測定/観察 mm MG/MS/VG (e)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	ホッピーペガスス ササオデム	
15	15	QN (*) (+) G	花型	Flower: type	花型	観察 VG (e)	1 2 3	一重 半八重 八重	single semi-double double	シェーン　ブルー、 谷岡 2 号 ブルーダイヤ ササダンゴ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
16	16	QN (+)	花冠裂片の向き	Flower: attitude of corolla lobes	花冠裂片の向き	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5	上向き やや上向き 水平 やや下向き 下向き	upwards upwards to horizontal horizontal horizontal to downwards downwards	 谷岡 2 号 ササダンゴ	
17	17	QN (*) (+)	花の直径	Flower: diameter	花の最大径	測定/観察 cm MG/MS/VG (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	 ササブランド、ササイク キングサファイア	
18	18	QN	がく裂片の長さ	Calyx: length of lobe	がく裂片の長さ	測定/観察 mm MG/MS/VG (e)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 ササブランド シェーン　ブルー、谷岡 2 号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
19	19	QN (+)	花冠裂片の長さ	Corolla lobe: length	花冠裂片の長さ	測定/ 観察 mm MG/ MS/ VG (e) (f)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 シェーン　ブルー ササイク ササダンゴ	
20	20	QN (+)	花冠裂片の幅	Corolla lobe: width	花冠裂片の最大幅	測定/ 観察 mm MG/ MS/ VG (e) (f)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 INTA-GEISEI001、ササイク 池田　ピンク 1 号	
21	21	PQ (*) (+)	花冠裂片の形	Corolla lobe: shape	花冠裂片全体の形	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5	披針形 広楕円形 楕円形 狭楕円形 へら形	lanceolate broad elliptic medium elliptic narrow elliptic spatulate	 シェーン　ブルー、谷岡 2 号 ササイク ササダンゴ	
22	22	QL (*) G	花冠裂片の表面の色数	Corolla lobe: number of colors on upper side	花冠裂片の表面の色数	観察 VG (e) (f)	1 2	1 ２以上	one more than one	シェーン　ブルー、谷岡 2 号 ブルーハート	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	PQ (*) G	花冠裂片の表面の主な色	Corolla lobe: main color of upper side	花冠裂片の表面の主な色	観察 VG (e) (f) (g)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
24	24	PQ (*)	花冠裂片の表面の二次色	Only varieties with more than one color: Corolla lobe: secondary color of upper side	花冠裂片の表面の二次色（花冠裂片の表面の色数が２以上の品種に限る。）	観察 VG (e) (f) (g)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
25	25	PQ (+)	花冠裂片の表面の二次色の分布	Only varieties with more than one color: Corolla lobe: distribution of secondary color of upper side	花冠裂片の表面の二次色の分布（花冠裂片の表面の色数が２以上の品種に限る。）	観察 VG (e) (f) (g)	1 2	周縁部 中央部	at margin central	ブルーハート	
26	26	PQ (+)	花冠裂片の裏面の色	Corolla lobe: color of lower side	花冠裂片の裏面の色	観察 VG (e) (f)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
27	27	QL (*) (+) G	副花冠の明瞭度	Corona: conspicuousness	副花冠の明瞭度	観察 VG (e)	1 9	明瞭 不明瞭	conspicuous inconspicuous	シェーン　ブルー、谷岡２号 ササダンゴ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
28	28	PQ (*) (+)	副花冠の先端部の色	Only varieties with conspicuous corona: Corona: color of distal part	副花冠の先端部の色（明瞭な副花冠を持つ品種に限る。）	観察 VG (e)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　草姿　　Char.1　Plant: growth habit



1
直立性
upright

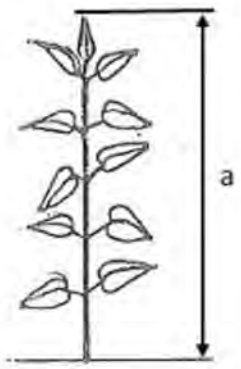


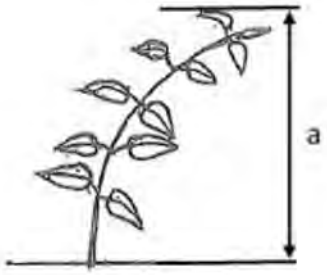
2
アーチ状
arched



3
開張性
spreading

形質 2　草丈　　Char.2　Plant: height



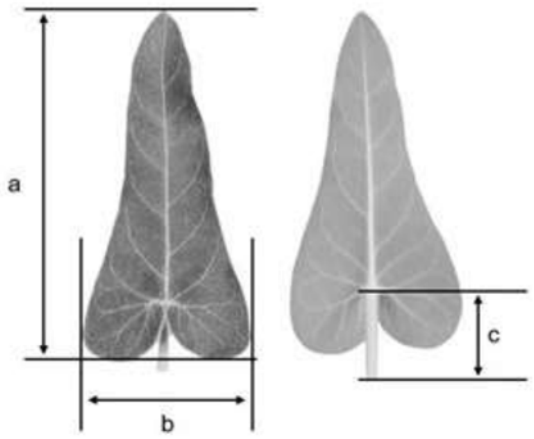




a = 草丈
a = Plant: height

草丈は、地際から株の最頂部までとする。
The plant height should be observed from the base to the highest point of the plant.

形質 5　葉身の長さ　　Char.5　Leaf blade: length
形質 6　葉身の幅　　Char.6　Leaf blade: width
形質 11　葉柄の長さ　　Char.11　Petiole: length



a = 葉身の長さ
b = 葉身の幅
c = 葉柄の長さ

a = Leaf blade: length
b = Leaf blade: width
c = Petiole: length

形質 7　葉身の先端部の形　　Char.7　Leaf blade: shape of apex



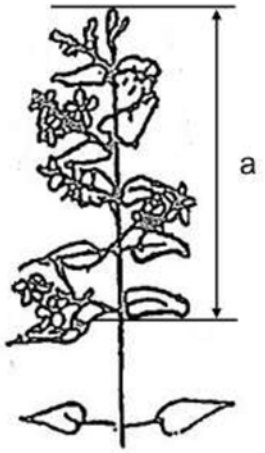
1	2	3	4
鋭尖形	鋭形	鈍形	円形
acuminate	acute	obtuse	rounded

形質 8　葉身の基部の形　　Char.8　Leaf blade: shape of base



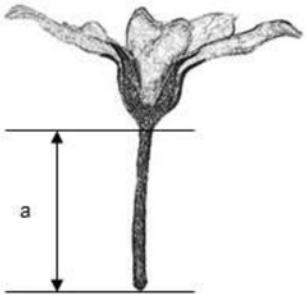
1	2	3
切形	心形	耳形
truncate	cordate	auriculate

形質 12　花序の長さ　　Char.12　Inflorescence: length



a = 花序の長さ
a = Inflorescence: length

形質 14　小花柄の長さ　　Char.14　Pedicel: length



a = 小花柄の長さ
a = Pedicel: length

形質 15　花型　　Char.15　Flower: type

1. 一重：5 枚以下の花冠裂片を持つ花
2. 半八重：6～10 枚の花冠裂片を持つ花
3. 八重：11 枚以上の花冠裂片を持つ花

1. Single: flowers with 5 or less corolla lobes.
2. Semi-double: flowers with 6 to 10 corolla lobes.
3. Double: flowers with 11 or more corolla lobes.



1
一重
single



2
半八重
semi-double



3
八重
double

形質 16　花冠裂片の向き　　Char.16　Flower: attitude of corolla lobes



1
上向き
upwards

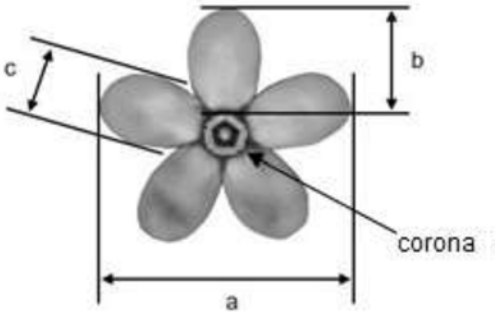


3
水平
horizontal



5
下向き
downwards

形質 17　花の直径　　Char.17　Flower: diameter
形質 19　花冠裂片の長さ　　Char.19　Corolla lobe: length
形質 20　花冠裂片の幅　　Char.20　Corolla lobe: width

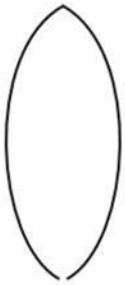
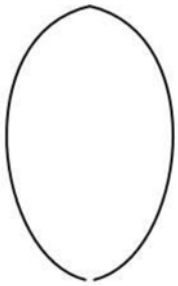


a =　花の直径
b =　花冠裂片の長さ
c =　花冠裂片の幅

a = Flower: diameter
b = Corolla lobe: length
c = Corolla lobe: width

花の直径は花の最大幅部で測定する。
The diameter should be observed at the broadest part of the flower.

形質 21　花冠裂片の形　　Char.21　Corolla lobe: shape

		←	最大幅部 broadest part	→
		中央より下部 below middle	中央部 at middle	中央より上部 above middle
相対的な幅 relative width				
狭 narrow		 1 披針形 lanceolate	 4 狭楕円形 narrow elliptic	 5 へら形 spatulate
中 medium			 3 楕円形 medium elliptic	
広 broad			 2 広楕円形 broad elliptic	

形質 25　花冠裂片の表面の二次色の分布

Char.25　Only varieties with more than one color: Corolla lobe: distribution of secondary color of upper side



1
周縁部
at margin



2
中央部
central

形質 26　花冠裂片の裏面の色　　Char.26　Corolla lobe: color of lower side

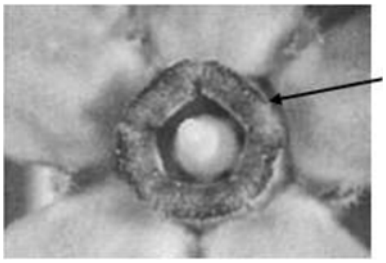
裏面に 2 色以上が存在する場合、その占める面積割合に関わらず、最も濃い色について観察する。中肋部の緑色は除く。

The darkest color should be observed regardless of its percentage of the surface area in the case with more than one color on lower side.

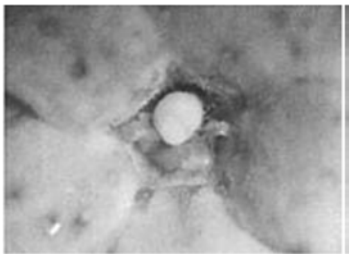
The green color on the midrib should be excluded.

形質 27　副花冠の明瞭度　　Char.27　Corona: conspicuousness

形質 28　副花冠の先端部の色　　Char.28　Only varieties with conspicuous corona: Corona: color of distal part



副花冠の先端部の色
Corona: color of distal part



1
明瞭
conspicuous

9
不明瞭
inconspicuous

資料 1-2-12

2026 年　月
TG/21/7 1981-10-26 に準拠

ハコヤナギ（ポプラ）属
Poplar
(Populus L.)
（案）

ハコヤナギ（ポプラ）属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ヤナギ科（Salicaceae）ハコヤナギ属（*Popular* L.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗 (Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　挿し木発根苗

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　15 個体

ただし、同属内のアイゲイロス(Aigeiros)節、タカマハカ(Tacamahaca)節及びこれらの節の種間交雑品種においては 25 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施 (Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　10 個体

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期

ただし、区別性、均一性の結果が明確な場合には、2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、少なくとも定植後 2 年経過した個体で調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準 (Standards for Decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP 8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 10 及び 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

ⅰ）樹姿（形質 1）

ⅱ）幹の陽光面の色 2（形質 8）

ⅲ）皮目の形（形質 12）

ⅳ）小枝の数（形質 14）

ⅴ）葉芽の位置（形質 21）

ⅵ）葉身の長さ（形質 25）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表 (Table of Characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QN G	樹姿	Plant: general appearance (time: autumn of 2nd year)	定植２年後の秋の着葉苗木を側面から見た外観	観察 VG	3 5 7	繊細 中 粗	delicate medium coarse	'*P. nigra*'	
2	2	PQ (*)	幹の形	Stem: shape	休眠期の幹の先端までの曲がりの程度	観察 VG	1 2 3 4 5	直 やや曲 曲 極曲 蛇行	straight slightly curved curved very curved sinuous	'*P. nigra*'	
3	3	PQ (*) (+)	幹上部の断面の形	Stem: cross-section at 3/4 of height (at the center of an internode)	幹の高さ 3/4 の節間の中央部で切断した断面の形	観察 VG	1 2 3 4	円形 やや角張る 角張る 翼状	circular slightly angular angular winged	'*P. nigra*'	
4	4	QN	幹の角間の溝	Stem: grooves between the angles	断面を横から見た幹の溝の深さ	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極浅 浅 中 深 極深	absent or very slight slight medium strong very strong	'*P. nigra*'	
5	5	PQ	幹上部の陽光面の色	Stem: color of the sun side at 3/4 of the height	幹の高さ 3/4 の陽光面の幹の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	黄 淡緑 灰緑 灰 赤 赤紫 褐	yellow light green grey-green grey red red-violet brown	'*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	PQ	幹上部の非陽光面の色	Stem: color of the shadow side at 3/4 of the height	幹の高さ 3/4 の非陽光面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	黄 淡緑 灰緑 灰 赤 赤紫 褐	yellow light green grey-green grey red red-violet brown		
7	7	PQ (+)	幹中央部の断面の形	Stem: cross-section at 1/2 of the height	幹の高さ 1/2 で切断した断面の形	観察 VG	1 2 3 4	円形 やや角張る 角張る 翼状	circular slightly angular angular winged		
8	8	PQ G	幹中央部の陽光面の色	Stem: color of the sun side at 1/2 of the height	幹の高さ 1/2 の陽光面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	黄 淡緑 灰緑 灰 赤 赤紫 褐	yellow light green grey-green grey red red-violet brown		
9	9	PQ	幹中央部の非陽光面の色	Stem: color of the shadow side at 1/2 of the height	幹の高さの 1/2 の非陽光面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	黄 淡緑 灰緑 灰 赤 赤紫 褐	yellow light green grey-green grey red red-violet brown		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	QL (*)	フェルト状毛の有無	Stem: felt at 3/4 of the height	幹の高さ 3/4 のフェルト状毛の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
11	11	QN	幹の毛	Stem: hairiness at 3/4 of the height	幹の高さ 3/4 の毛の多少	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	'*P. nigra*'	
12	12	PQ (*) (+) G	皮目の形	Lenticells: shape	幹の皮目の形	観察 VG	1 2 3 4	円形 楕円形 短線形 長線形	round elliptical short linear long linear	 '*P. nigra*'	
13	13	PQ (*) (+)	皮目の分布	Lenticells: distribution	幹の皮目の分布	観察 VG	1 2 3 4	規則的 群状 葉基部に群状 不規則	regular in regular distributed clusters in clusters just under leaf base irregular	 '*P. nigra*'	
14	14	QN (*) G	小枝の数	Twigs: total number of twigs longer than 5 cm (time: autumn of 1st year)	休眠期における 5cm 以上の小枝の総数	観察/測定 VG/ MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	QN (*)	枝の角度	Branch: angle between first 5 cm of branch and stem	枝の基部 5 ㎝と幹の角度	観察 VG	1 2 3 4	極鋭 鋭 やや鋭～直角 鈍	very acute acute weakly acute to right angle obtuse		
16	16	QN (*)	枝の曲がり	Branch: attitude	枝の曲がり	観察 VG	1 2 3	上向きに曲がる 直 下向きに曲がる	curved up straight curved down		
17	17	QN (*)	葉芽の長さ	Leaf bud: length	休眠期の幹の高さ 3/4 部位の葉芽の長さ	測定 mm MS	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	'*P. nigra*'	
18	18	PQ (*)	葉芽の形	Leaf bud: shape	休眠期の葉芽の形	観察 VG	1 2 3	狭卵形 卵形 広卵形	narrow ovate ovate broad ovate	'*P. nigra*'	
19	19	PQ	葉芽の色	Leaf bud: color	休眠期葉芽の色	観察 VG	1 2 3 4 5	緑 赤 紫 褐 赤褐	green red violet brown red brown	'*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
20	20	PQ (*)	葉芽の先端の形	Leaf bud: shape of the tip	休眠期の葉芽の先端の形	観察 VG	1 2 3 4	鈍形 鋭形 狭鋭形 先尖形	obtuse acute narrow acute acuminate	'*P. nigra*'	
21	21	QN (*) G	葉芽の位置	Leaf bud: position in relation to the stem	休眠期の葉芽の幹に対する付き方	観察 VG	1 2 3	密着 先が離れる 密着しない	applied adpressed with divergent tip divergent	'*P. nigra*'	
22	22	PQ (*) (+)	芽吹き時の葉身の表面の色	Leaf blade: color of upper side during bud burst (stage 4 to 5 of bud burst; time: spring of the second year)	葉身の表面の色（2年目の春における芽吹きのステージ4から5）	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7	白 灰 黄 緑 赤 紫 褐	white grey yellow green red violet brown	'*P. nigra*'	
23	23	QN	葉身の色の濃淡	Leaf blade: intensity of color of upper side during bud burst (time: as for 22)	葉身の表面の色の濃淡(2年目の春における芽吹きのステージ4から5)	観察 VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark		
24	24	QN	葉身の幹への付き方	Leaf blade: attitude in relation to stem	2年目の夏における葉身の幹への付き方	観察 VG	1 2 3	上向き 水平 下向き	upward horizontal downward	'*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
25	25	QN (*) (+) G	葉身の長さ	Leaf blade: length	2 年目の夏における葉身の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		
26	26	QN (*) (+)	葉身の幅	Leaf blade: maximum width	2 年目の夏における葉身の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	'*P. nigra*'	
27	27	QN (*) (+)	主脈の長さ／葉身の幅	Leaf blade: ratio length of midrib/ maximum width of leaf	2 年目の夏における主脈の長さ／葉身の最大幅の比	測定 比 MS	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	'*P. nigra*'	
28	28	QL	主脈のアントシアニン着色の有無	Leaf blade: anthocyanin coloration of the mid-rib (upper side)	2 年目の夏における葉身の表面の主脈のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
29	29	QN	主脈のアントシアニンの分布	Leaf blade: distribution of anthocyanin coloration of the midrib (as for 28)	2 年目の夏における葉身の表面の主脈のアントシアニン着色の分布	観察 VG	1 2 3	基部のみ 基部から中間まで 主脈全体	only on the base from base up to middle on whole midrib		
30	30	QN	主脈のアントシアニン着色の強弱	Leaf blade: intensity of anthocyanin coloration of the midrib (as for 28)	2 年目の夏における葉身の表面の主脈のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	QN (*) (+)	主脈と側脈の角度	Leaf blade: angle between the midrib and the second lower lateral vein	2年目の夏における主脈と下から2番目の側脈の角度	観察 VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	'*P. nigra*'	
32	32	QN	葉身表面の毛	Leaf blade: hairiness of the upper side	2年目の夏における葉身の表面の毛の分布	観察 VG	1 2 3	無又は極弱 葉脈のみ 葉身全体	absent or very weak on the veins only on the whole leaf blade	'*P. nigra*'	
33	33	QN (*)	葉身裏面の毛	Leaf blade: hairiness of the lower side	2年目の夏における葉身の裏面の毛の分布	観察 VG	1 2 3	無又は極弱 葉脈のみ 葉身全体	absent or very weak on the veins only on the whole leaf blade	'*P. nigra*'	
34	34	QN (*)	葉身の裏面の毛の密度	Leaf blade: intensity of hairiness on the lower side	2年目の夏における葉身の裏面の毛の密度	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
35	35	PQ (*)	葉身表面の輪郭	Leaf blade: surface profile	2年目の夏における葉身表面の輪郭	観察 VG	1 2 3 4 5	平 葉先が沈む 椀型 屋根型 歪む	flat sunk to the leaf tip bowl-shaped roof-shaped warped	'*P. nigra*'	
36	36	QN	葉身の脈間の膨らみ	Leaf blade: doming between veins	2年目の夏における葉身の脈間の膨らみの程度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	'*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	37	PQ (*) (+)	葉身の基部の形	Leaf blade: general shape of base	2年目の夏における葉身の基部の主な形	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	楔形凸 楔形直 楔型凹 広楔型凸 円形 広楔形直 広楔形凹 直 やや心臓形 心臓形 明瞭な心臓形	wedge-shaped, convex wedge-shaped, straight wedge-shaped, concave broadly wedge-shaped, convex rounded broadly wedge-shaped, straight broadly wedge-shaped, concave straight weakly cordate medium cordate distinctly cordate	'*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38	PQ (*) (+)	葉柄と葉身の接合部の形	Leaf blade: shape of junction with petiole	2年目の夏における葉柄と葉身基部との接合部の形	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8	平形 浅く切れ込む 楔形に切れ込む 深く切れ込む 平行に切れ込む 重なる ひだ状 先細	straight shallow widely wedge shaped steep parallel leaf base overlapping pleated descending	'*P. nigra*'	
39	39	PQ (*) (+)	葉身の先端の形	Leaf blade: shape of tip	2年目の夏における葉身の先端部の形	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	狭鋭形 鋭形 広鋭形 狭長鋭尖形 広長鋭尖形 狭短鋭尖形 広短鋭尖形 微凸形 鈍円形	narrow acute acute broad acute narrow long acuminate broad long acuminate narrow short acuminate broad short acuminate mucronate obtuse		
40	40	QL (*) (+)	葉身の裂状葉対の有無	Leaf blade: lobe pairs	2年目の夏における葉身の裂葉対の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	'*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
41	41	QN (*) (+)	葉身の上部の裂状葉対	Leaf blade: distinctness of the upper lobe pair	2年目の夏における葉身の上部の裂状葉対の明瞭度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	'*P. nigra*'	
42	42	QN (*) (+)	葉身の中央部の裂状葉対	Leaf blade: distinctness of the medium lobe pair	2年目の夏における葉身の中央部の裂状葉対の明瞭度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	'*P. nigra*'	
43	43	QN (*) (+)	葉身の下部の裂状葉対	Leaf blade: distinctness of the lower lobe pair	2年目の夏における葉身の下部の裂状葉対の明瞭度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	'*P. nigra*'	
44	44	PQ (+)	葉身の裂状葉対の先端の形	Leaf blade: shape of lobe tips	2年目の夏における葉身の中央部の裂状葉対の先端部の形	観察 VG	1 3 5 7 9	丸 鈍 中間型 尖 鋭尖	rounded blunt medium pointed sharp-pointed		
45	45	QL (*)	葉身の周縁の波打ちの有無	Leaf blade: undulation of margin	2年目の夏における葉身の周縁の波打ちの有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	'*P. nigra*'	

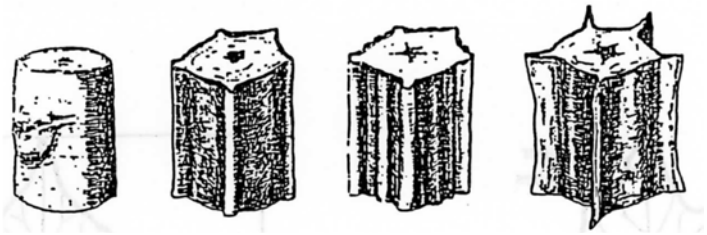
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
46	46	QN	葉身の周縁の波打ちの大きさ	Leaf blade: size of undulation of margin	2年目の夏における葉身の周縁の波打ちの大きさ（波打ちが有の品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	 '*P. nigra*'	
47	47	QN	葉身の周縁の波打ちの間隔	Leaf blade: periodicity of undulation of margin	2年目の夏における葉身の周縁の波打ちの間隔	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		
48	48	QN (*)	葉身の基部の蜜腺の数	Leaf blade: glands at the base of the leaf	2年目の夏における葉身の基部にある蜜腺の数	観察 VG	1 2 3 4 5	無 主に１ 主に２ 主に３以上 不定	absent predominantly one predominantly two predominantly more than two variable	 '*P. nigra*'	
49	49	QN (*) (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	2年目の夏における葉柄の長さ	測定 cm MS	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 '*P. nigra*'	
50	50	QN (*) (+)	葉柄の長さと主脈の長さの比	Petiole: ratio length of petiole / length of midrib	2年目の夏における葉柄の長さ／主脈の長さの比	測定 比 MS	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 '*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
51	51	PQ	葉柄の断面の形	Petiole: shape of cross section (at middle of length)	2 年目の夏における葉柄の中央部切断面の形	観察 VG	1 2 3	円形 楕円 長方形	circular elliptic oblong		
52	52	QN (*)	葉柄の毛	Petiole: hairiness	2 年目の夏における葉柄全体の毛の多少	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very weak weak medium strong very strong		
53	53	QN	葉柄の毛の分布	Petiole: distribution of hairiness	2 年目の夏における葉柄全体の毛の分布（葉柄の毛が無の品種を除く。）	観察 VG	1 2 3	基部のみ 上部 1/3 のみ 全体	on base only on upper third only on whole petiole		
54	54	PQ	葉柄の色	Petiole: color of sun side	2 年目の夏における葉柄の陽光面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6	灰緑 淡緑 緑 淡赤 赤 紫	grey-green light green green light red red violet	'*P. nigra*'	
55	55	QN (*)	たく葉の付着期間	Stipules: duration of adherence to stem	葉柄にたく葉が付着している期間	観察/測定日 VG/MG	3 5 7	短 中 長	short medium long	'*P. nigra*'	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
56	56	PQ (*)	たく葉の付着状態	Stipules: attitude	たく葉の葉柄への付着状態	観察 VG	1 2	密着 密着しない	adpressed divergent		
57	57	QN (*) (+)	頂芽の展開期	Terminal bud: time of appearance of green tips (stage 2 of bud burst; time as for 22)	2 年目の春における頂芽が緑色になる時期（芽吹きのステージ 2）	測定月日 MG	3 5 7	早 中 遅	early medium late	'*P. nigra*'	
58	58	QN (*)	休眠始期	Plant: time of termination of growth of main shoot (time: as for 14)	1 年目の秋における成長が終了となる時期	観察/測定月日 VG/MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

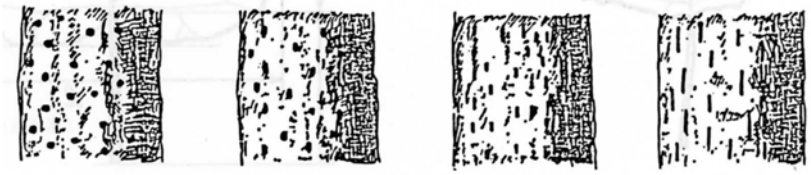
Ⅷ. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 3　幹の断面の形 1
Char.3　Stem: cross-section at 3/4 of height (at the center of an internode)
形質 7　幹の断面の形 2
Char.7　Stem: cross-section at 1/2 of the height



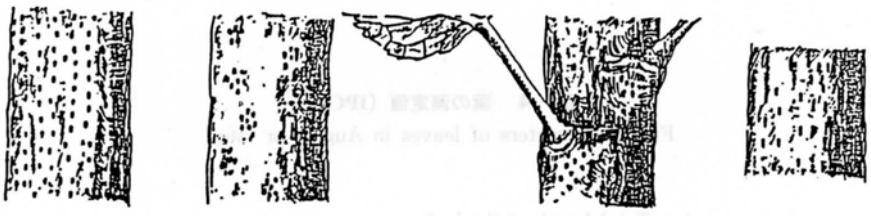
1	2	3	4
円形	やや角張る	角張る	翼状
circular	slightly angular	angular	winged

形質 12　皮目の形　Char.12　Lenticells: shape



1	2	3	4
円形	楕円形	短線形	長線形
round	elliptical	short linear	long linear

形質 13　皮目の分布　Char.13　Lenticells: distribution



1	2	3	4
規則的	群状	葉基部に群状	不規則
regular	in regular distributed clusters	in clusters just under leaf base	irregular

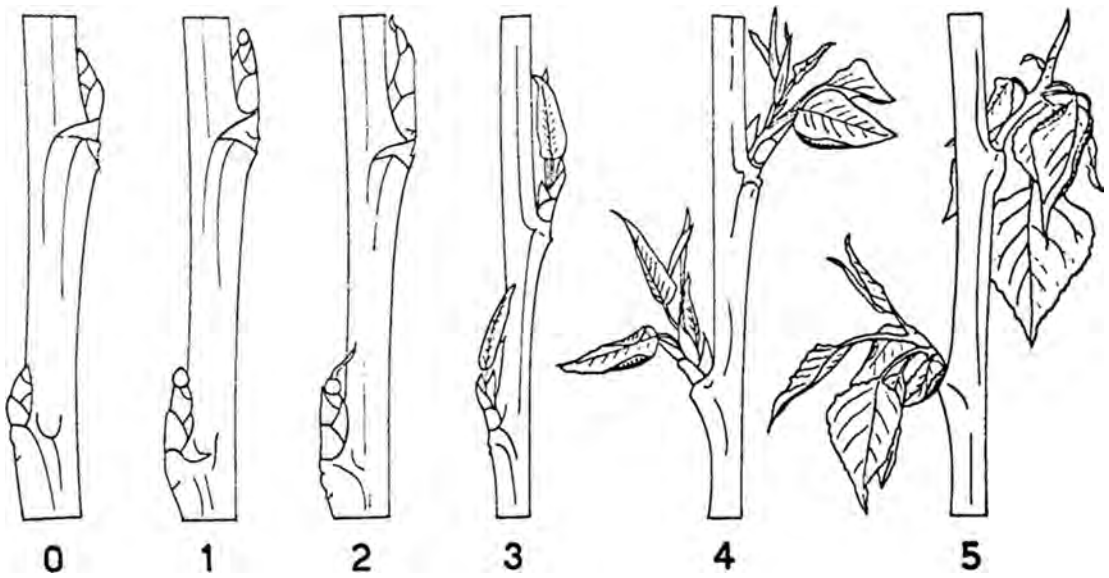
形質 22　芽吹き時の葉身の表面の色

Char.22　Leaf blade: color of upper side during bud burst (stage 4 to 5 of bud burst; time: spring of the second year)

形質 57　頂芽の展開期

Char.57　Terminal bud: time of appearance of green tips (stage 2 of bud burst; time as for 22)

芽吹きのステージ　　Stage of bud burst



０：休眠芽は完全に鱗片に覆われている。

１：鱗片と共に膨らんだ芽が縁に狭い黄色い部分が見える程度に分れた状態、1 つ又はそれ以上の樹脂の滴がある。

２：芽が芽吹き、小さな葉の先端がか鱗片から出現

３：つぼみが完全に開いているが葉はまだ密集したままで鱗片もまだ残っている。

４：葉は、葉身がまだ巻き込まれた状態で分岐する。鱗片は存在する場合もあるし、存在しない場合もある。

５：葉は完全に展開している（しかし成熟した葉よりは小さい)。主軸の伸長は明確で鱗片は見られない。

形質 25　葉身の長さ　　Char.25　Leaf blade: length

形質 26　葉身の幅　　Char.26　Leaf blade: maximum width

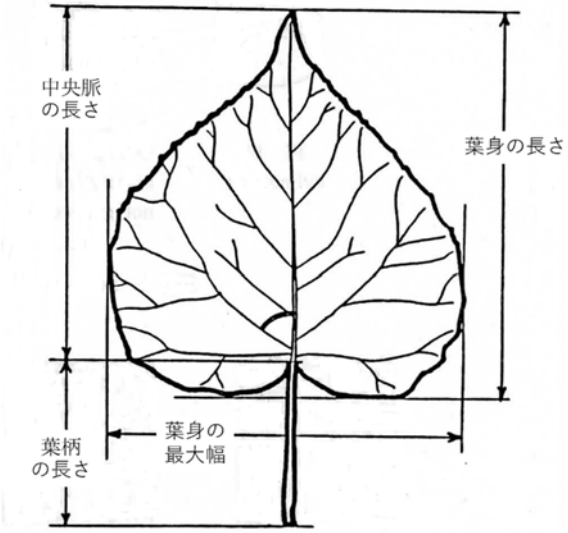
形質 27　主脈の長さ／葉身の幅

Char.27　Leaf blade: ratio length of midrib/ maximum width of leaf

形質 49　葉柄の長さ　　Char.49　Petiole: length

形質 50　葉柄の長さと主脈の長さの比

Char.50　Petiole: ratio length of petiole / length of midrib



形質 31　主脈と側脈の角度

Char.31　Leaf blade: angle between the midrib and the second lower lateral vein



形質 37　葉身の基部の形　　Char.37　Leaf blade: general shape of base



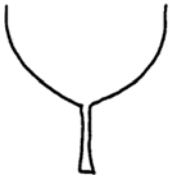
1
楔形凸
wedge-shaped, convex



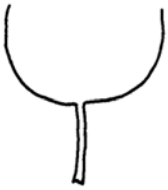
2
楔形直
wedge-shaped, straight



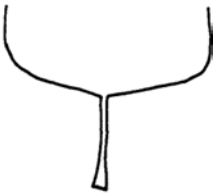
3
広形凹
wedge-shaped, concave



4
広楔形凸
broadly wedge-shaped, convex



5
円形
round



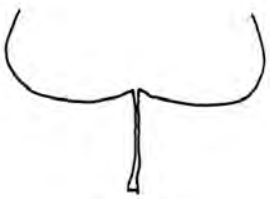
6
広楔形直
broadly wedge-shaped, straight



7
広楔形凹
broadly wedge-shaped, concave



8
平形
straight



9
やや心臓形
weakly cordate

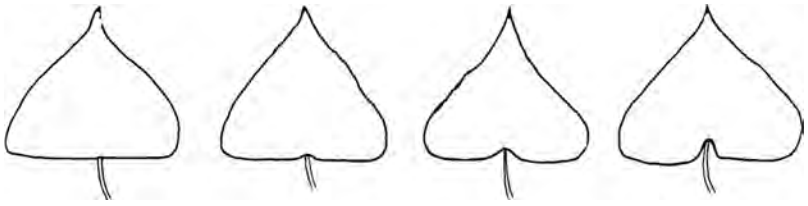


10
心臓形
medium cordate



11
明瞭な心臓形
strongly cordate

形質 38　葉柄と葉身の接続部の形　　Char.38　　Leaf blade: shape of junction with petiole

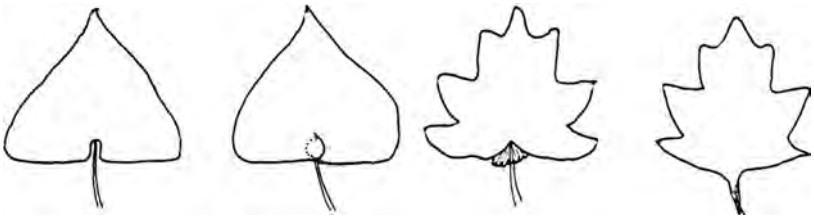


1　平形　straight

2　浅く切れ込む　shallow

3　楔形に切れ込む　widely wedge-shaped

4　深く切れ込む　steep



5　平行に切れ込む　parallel

6　重なる　leaf base overlapping

7　ひだ状　pleated

8　先細り形　descending

形質 39　葉身の先端の形　　Char.39　　Leaf blade: shape of tip



1　狭鋭形　narrow acute

2　鋭形　acute

3　広鋭形　broad acute



4　狭長鋭尖形　narrow long acuminate

5　広長鋭尖形　broad long acuminate

6　狭短鋭尖形　narrow short acuminate

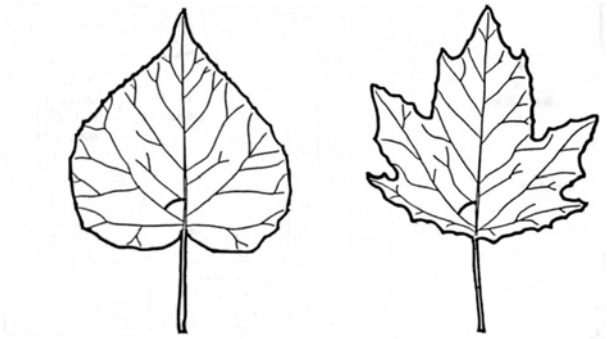


7　広短鋭尖形　broad short acuminate

8　微凸形　mucronate

9　鈍円形　obtuse

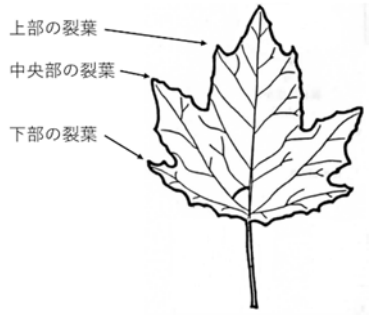
形質 40　葉身の裂状葉対の有無　　Char.40　Leaf blade: lobe pairs



1
無
absent

9
有
present

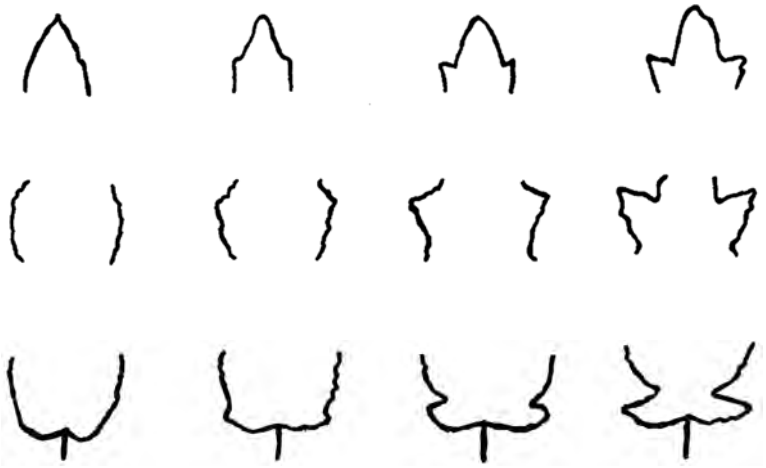
形質 41　葉身の上部の裂状葉対　　Char.41　Leaf blade: distinctness of the upper lobe pair
形質 42　葉身の中央部の裂状葉対　　Char.41　Leaf blade: distinctness of the medium lobe pair
形質 43　葉身の下部の裂状葉対　　Char.41　Leaf blade: distinctness of the lower lobe pair



上部の裂葉対

中央部の裂葉対

下部の裂葉対



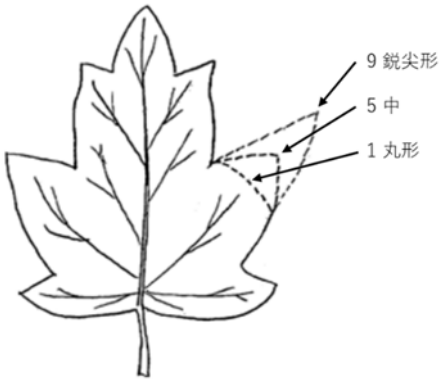
1
無又は極弱
absent or very weak

3
弱
weak

5
中
medium

7
強
strong

形質 44　葉身の裂状葉対の先端の形　　Char.44　Leaf blade: shape of lobe tips



資料 1-3-1

2026 年　月
TG/130/4 2010-03-24 に準拠

アスパラガス種

Asparagus

(*Asparagus officinalis* L.)

（案）

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この基準は、ユリ科（*Liliaceae*）クサスギカズラ属オフィキナリス種（*Asparagus officinalis* L.）及びその交雑種の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　種子又は発根苗

ⅱ）提出時期　審査当局が指示する時期

ⅲ）数量　種子繁殖性品種の場合　1,200 粒

栄養繁殖性品種の場合　60 個体

種子は発芽率、純潔率、水分量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　特性の確認が十分できる正常な生育が可能な条件で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　40 個体（2 区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 30 個体又は各個体から採取した部分 30 個とする。

調査時期等　特性表の調査方法欄に以下の記号を含む形質については、以下に示された時期に行う。

(a) 若茎の形質については、出芽時に行う。

(b) 葉及び植物体の形質は、収穫されていない生育終期の植物体のぎ葉が十分に展開したときに行う。

ⅴ）特別な試験　特別な条件でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は、実施することがある。

Ⅳ．判定基準

判定は、品種登録出願等審査要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般審査基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び雄性交雑品種の均一性においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

他家受粉品種の均一性においては、上記一般基準の第４の２（２）を適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）若茎先端部のアントシアニン着色の有無（形質 2）

ⅱ）ぎ葉群の緑色の濃淡（形質 14）

ⅲ）茎の長さ（形質 15）

ⅳ）開花型（形質 19）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：必須形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex.Var.)	備考
1	1	QN (*) (+)	ほう芽始期	Time of emergence of spears	30%以上の株から1本以上ほう芽した時の早晩	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	Early California UC157、Grande Pacific Purple	
2	2	QL (*) G	若茎先端部のアントシアニン着色の有無	Spear: anthocyanin coloration of apex	若茎先端部(りん片葉)のアントシアニン着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
3		QN (+)	若茎先端部のアントシアニン着色の強弱	Spear: intensity of anthocyanin coloration of apex	若茎先端部(りん片葉)のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	 UC157 Gijnlim Purple Passion	
4		QN (+)	若茎のアントシアニン着色の強弱	Spear: intensity of anthocyanin coloration	若茎のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	UC157 Gijnlim はるむらさきエフ Pacific Purple	
5		QN	若茎の緑色の濃淡	Spear: intensity of green color	若茎のクロロフィル発色の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	Purple Passion はるむらさきエフ UC157、Grande Gijnlim	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	3	QN (*) (+)	若茎先端部の形	Spear: shape of apex	収穫適期の若茎先端部の形	観察 VG (a)	1 2 3	狭三角 三角 広三角	narrow triangular medium triangular broad triangular	UC157	
7	4	QN (*) (+)	若茎の中央部と比較した先端部の基部の太さ	Spear: diameter of base of apex compared to middle of stem	若茎の中央部の茎の太さと比較した若茎先端部の頭基部の太さ	観察 VG (a)	1 2 3	細 同等 太	smaller equal larger	UC157、Gijnlim	
8	5	QN (+)	若茎のりん片葉の着き方	Spear: attitude of bracts	若茎のりん片葉の若茎表面への着き方	観察 VG (a)	1 2 3	密着 やや突出 突出	adpressed slightly held out markedly held out	Gijnlim、 はるむらさきエフ	
9	6	QN (*) (+)	若茎のりん片葉の長さ	Spear: length of first bracts at base of apex	若茎先端部の頭基部の第一りん片葉の長さ	観察/測定 mm VG/ MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	UC157、Grande Purple Passion、Pacific Purple	
10	7	QN (*) (+)	若茎のりん片葉の幅	Spear: width of first bracts at base of apex	若茎先端部の頭基部の第一りん片葉の最大幅	観察/測定 mm VG/ MS (a)	3 5 7	狭 中 広	small medium wide	UC157、 RG 紫色舞　ファースト Purple Passion、	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics) (日本語)	形質 (Characteristics) (English)	定義	調査方法	階級	状態 (State) (日本語)	状態 (State) (English)	標準品種 (Ex.Var.)	備考
11	8	QN (*) (+)	茎の数	Plant: number of stems	1株当たりの茎の数	観察/測定 VG/MS (b)	3 5 7	少 中 多	few medium many	RG 紫色舞　ファースト Gijnlim	
12	9	QN (+)	りん片葉の開き	Spear: opening of bracts	若茎のりん片葉の開きの程度	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weakly open moderately open strongly open		
13	10	QN (+)	ぎ葉の粗密	Plant: density of phylloclades	最初の分枝していない側枝に着生しているぎ葉の粗密	観察 VG (b)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	RG 紫色舞　ファースト	
14	11	QN (*) G	ぎ葉群の緑色の濃淡	Plant: intensity of green color of foliage	十分に展開したぎ葉群の緑色の程度	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	UC157 Early California RG 紫色舞　ファースト	
15	12	QN (*) (+) G	茎の長さ	Stem: length	株の地際から先端までの茎の長さ	観察/測定 cm VG/MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	さぬきのめざめビオレッタ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	13	QN (*) (+)	茎の分枝着生最下節までの長さ	Stem: length up to first ramification	株の地際から分枝の着生最下節までの茎の長さ	観察/測定 cm VG/MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	Gijnlim、UC157 はるむらさきエフ、 RG 紫色舞　ファースト	
17	14	QN (*)	茎の太さ	Stem: diameter at ground level	株の地際の最大直径	観察/測定 mm VG/MS (b)	3 5 7	細 中 太	small medium large	Gijnlim 大宝早生、Grande	
18	15	QN (+)	開花始期	Time of beginning of flowering	未収穫株において、30%以上の株から1花以上開花したときの早晩	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	Gijnlim UC157	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	16	QL (*) (+) G	開花型	Type of flowering	株の花の雌雄性	観察 VG	1	雄花株のみ	only plants with male flowers without style rudiments		
							2	雄花株と雌花株	plants with male flowers and plants with female flowers	UC157	
							3	未発達花柱のある雄花株のみ	only plants with male flowers with style rudiments	Gijnlim	
							4	雌花株のみ	only plants with female flowers		

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　ほう芽始期　Char.1　Time of emergence of spears

ほう芽始期は、30%以上の株から 1 本以上ほう芽した時を記録する。

The time of emergence of spears is when at least 30% of the plants have at least 1 spear emerged.

形質 3　若茎先端部のアントシアニン着色の強弱

Char.3　Spear: intensity anthocyanin coloration of apex



1	2	3	4	5
極弱	弱	中	強	極強
very weak	weak	medium	strong	very strong

形質 4　若茎のアントシアニン着色の強弱

Char.4　Spear: intensity anthocyanin coloration



1	2	3	4	5
極弱	弱	中	強	極強
very weak	weak	medium	strong	very strong

形質 6　若茎先端部の形　　Char.6　Spear: shape of apex

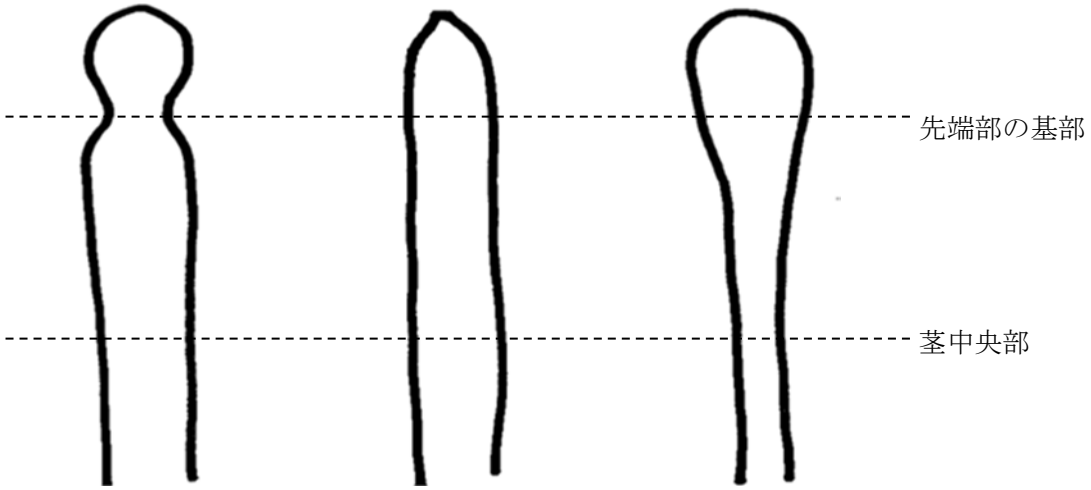


1
狭三角
narrow triangular

2
三角
medium triangular

3
広三角
broad triangular

形質 7　若茎の中央部と比較した先端部の基部の太さ
Char.7　Spear: diameter of base of apex compared to middle of stem



1
細
smaller

2
同等
equal

3
太
larger

形質 8　若茎のりん片葉の着き方　　Char.8　Spear: attitude of bracts

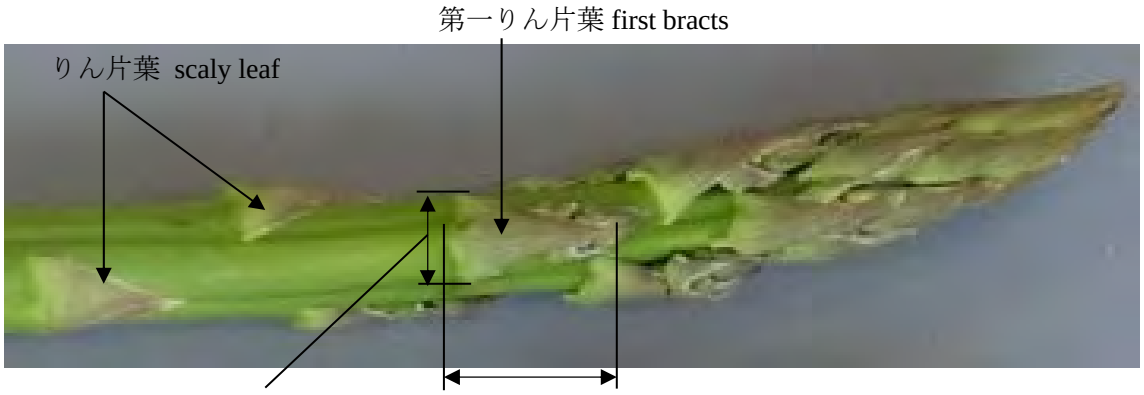


1
密着
adpressed

2
やや突出
slightly held out

3
突出
markedly held out

形質 9　若茎のりん片葉の長さ　Char.9　Spear: length of first bracts at base of apex
形質 10　若茎のりん片葉の幅　Char.10　Spear: width of first bracts at base of apex



調査は、若茎の頭部の基部にある第一りん片葉で行う。

形質 11　茎の数　　Char.11　Plant: number of stems

最初の生育期の若茎が十分に生育した時期に、収穫しない放任個体の茎の数により調査する。

形質 12　りん片葉の開き　　Char.12　Spear: opening of bracts

若茎が土壌表面から 5-10cm 伸びたときに観察する。

To be observed when the spear is 5-10 cm above soil surface.

形質 13　ぎ葉の粗密　　Char.13　Plant：density of phylloclades



3

粗

sparse



5

中

medium



7

密

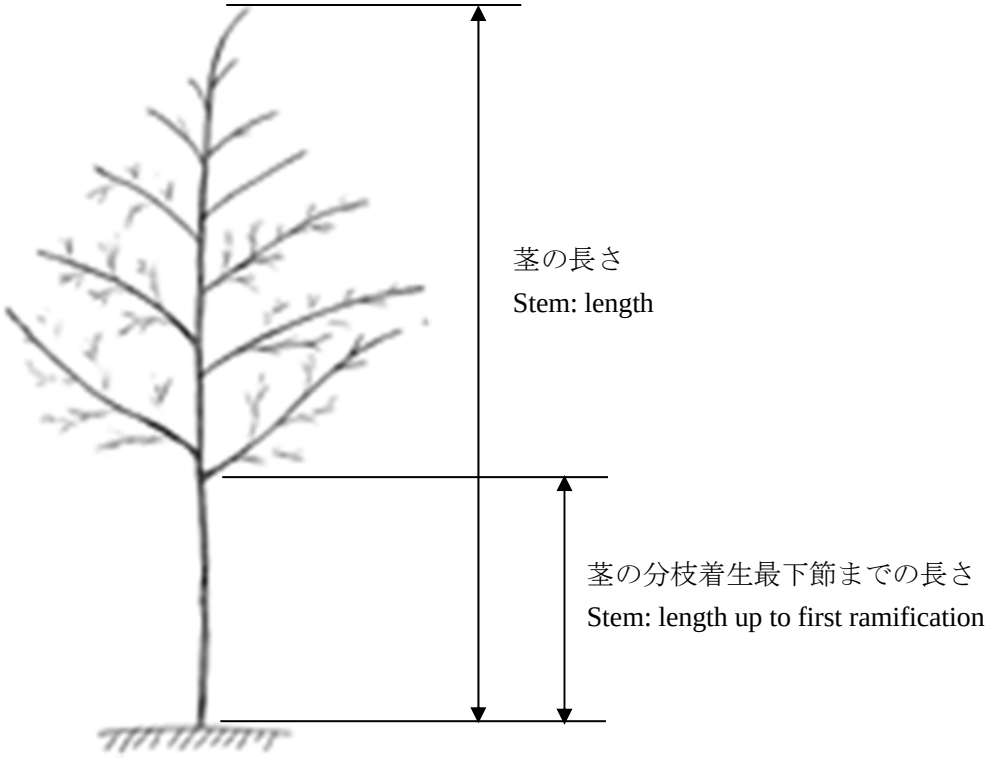
dense

ぎ葉の粗密は、最初の分枝していない側枝で観察する。調査時期の葉を観察して、ぎ葉の先端着生部から 10 節までの長さを目安に評価する。

The density of phylloclades should be observed on the first non-branched side shoot.

形質 15　茎の長さ　　Char.15　Stem: length

形質 16　茎の分枝着生最下節までの長さ　　Char.16　Stem: length up to first ramification

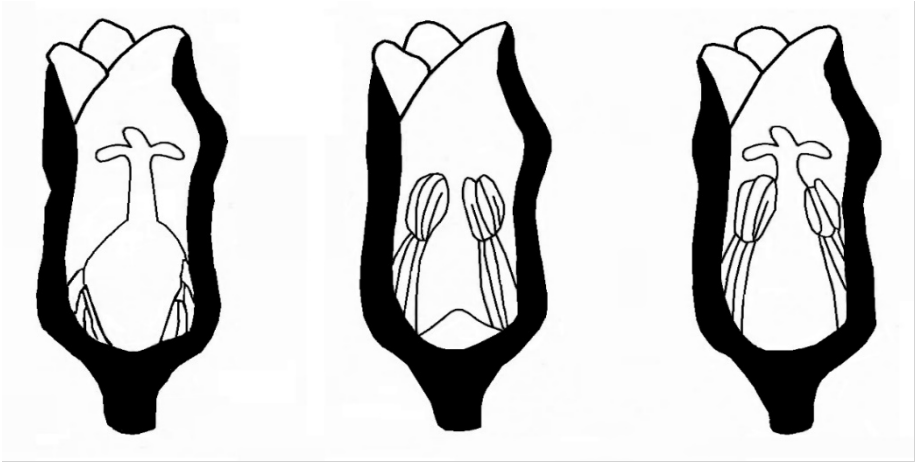


形質 18　開花始期　　Char.18　Time of beginning of flowering

収穫していない株で観察する。開花始期は、30%の株で 1 つ以上の花が開花した時。

To be observed on non-harvested plants. The time of flowering is when 30% of the plants have at least one flower open.

形質 19　開花型　　Char.19　Type of flowering



雌花　　雄花(未発達な花柱なし)　　雄花(両性花を含む未発達な花柱あり)

female flower　　male flower (without style rudiment)　　male flower (with style rudiment including androhermaphrodite)



タイプⅠ
Type I
階級 1：雄花株

Note 1: plants with male flowers without style rudiment

タイプⅡ　タイプⅢ　タイプⅣ
Type II　Type III　Type IV
階級 3：未発達花柱のある雄花株（両性花を含む。）

Note 3: plants with male flower with style rudiments (including androhermaphrodite flowers)

雄花のタイプ：花には常に完全に発達した葯があり、花柱は無いものから完全に発達したもの(タイプⅠ～Ⅳ)まであるが、柱頭は常に未発達か欠如している。通常は 3 本の柱頭のうち 2 本ある場合も、その花は雄花とみなされる。また、雄花は種子を作らない。

Type of male flowers: the flowers always have fully developed anthers; the style can be from absent to fully developed (Type I to IV), but the stigmas are always rudimentary or absent. Even when two of the (normal) three stigmas are present, the flower is considered to be male. The male flower will not produce seeds.

両性花(タイプⅣ)は、3 本の柱頭と花粉を作る葯がある。自家受粉すると、種子を含む実ができる可能性がある。これらの実は、雌花株に比べ常に小さく、種子の量も少ない。

The androhermaphrodite flower (Type IV) has three stigmas and anthers which produce pollen. The flower has the possibility, when self pollinated, to produce a berry with some seeds. These berries are always smaller and with less seeds than on female plants and in much smaller quantities.

階級 3 の品種(雄花に花柱があるもの)には、両性花があるものもある。これらの株の中で、雄花に花柱があるもの(タイプⅡとⅢ)と、両性花(タイプⅣ)の比率は様々で、小さな実をつける雄花株の割合は増減する。

Varieties with note 3 (plants with male flowers with style rudiments) can also have plants with androhermaphrodite flowers. Within these plants the ratio between male flowers with style rudiments (type II and III) and androhermaphrodite flowers (type IV) can vary, leading to a smaller or larger percentage of male plants with a varying number of small berries.

資料 1-3-2

2026 年　月
TG/151/5 2018-10-30 + 2023-10-24 に準拠

ブロッコリー変種

Broccoli

(*Brassica oleracea* L. (Broccoli Group))

(案)

ブロッコリー変種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、アブラナ科（Brassicaceae）アブラナ属（*Brassica* L.）のブロッコリー変種（*Brassica oleracea* L. (Broccoli Group)）の全ての品種に適用する。なお、本種との交雑種については、花らいを利用する品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　20g 又は 5,000 粒

種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　60 個体（2 区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 40 個体又は各個体から採取した部分 40 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある以下の記号に示された時期及び部位で行う。

(a) 株及び葉に関する形質は、収穫期直前の十分に生長した株で調査する。

(b) 葉、葉身及び葉柄の形質は、花らい球を除く茎中央部 1/3 にある、十分に発達した葉で調査する。

(c) 花らい球の形質は、収穫適期において頂花らい球で調査する。収穫適期とは、頂花らい型の品種の場合、花らい球のつぼみが破らいする直前又は分枝が伸長して花らい球が変形し始める前の概ね最大の大きさに達したときとする。側花らい型の品種の場合は、つぼみが破らいする直前で頂花らいと同時期に発達する側花らいが頂花らいと概ね同程度の大きさに達したときとする。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、近交系品種及び交雑品種においては、母集団標準(population standard) 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

また、交雑品種の場合、親系統の自殖によることが明確な場合には追加の異型個体を許容することができる。親系統の自殖個体には、母集団標準(population standard) 3%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 3 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 4 である。

他家受粉品種においては、上記一般基準の第４の２（２）及び（３）をそれぞれ適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）草丈に対する花らい球の位置（生育型が頂花らい型の品種に限る。）（形質 13）
ⅱ）花らい球の色（形質 17）
ⅲ）収穫期（形質 23）
ⅳ）雄性不稔性（形質 24）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1	1	QN (*)	草丈	Plant: height	地際から株最高部までの高さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	クリア スティックセニョール	
2	2	QN (+)	葉の姿勢	Leaf: attitude	葉の向き	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5	直立 やや直立 半直立 やや水平 水平	erect erect to semi-erect semi-erect semi-erect to horizontal horizontal	スティックセニョール 紫セニョーラ	
3	3	QN (*) (+)	葉の長さ	Leaf: length	葉柄を含む葉の長さ	測定 cm MS (a) (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ピクセル	
4	4	QN (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の最大幅	測定 cm MS (a) (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ピクセル	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
5	5	QN (*) (+)	葉の側小葉の数	Leaf: number of lobes	葉の先端小葉を除いた側小葉の数	観察 VG (a) (b)	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	バイオレットクイン スティックセニョール	
6	6	PQ (*)	葉身の色	Leaf blade: color	葉身の表面の色	観察 VG (a) (b)	1 2 3	緑 灰緑 青緑	green grey green blue green	スティックセニョール、ピクセル ハイツ SP、アーサー	
7	7	QN	葉身の色の濃淡	Leaf blade: intensity of color	葉身の表面の色の濃淡（色の状態区分ごとに評価する。）	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	はなっこりーE2 グリーン　カラブリーゼ スティックセニョール、アーサー	
8	8	QN (*) (+)	葉身の周縁部の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	葉身の周縁部の波打ちの強弱	観察 VG (a) (b)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	SK9-099 ピクセル	
9	9	QN (+)	葉身の周縁部の鋸歯の強弱	Leaf blade: dentation of margin	葉身の周縁部の鋸歯の強弱	観察 VG (a) (b)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	バイオレットクイン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
10	10	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	葉身の周縁部を除く凹凸の強弱	観察 VG (a) (b)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	SK9-099、ピクセル バイオレットクイン	
11	11	QN	葉柄のアントシアニンの着色	Petiole: anthocyanin coloration	葉柄のアントシアニン着色の強弱（葉柄の長さが無の品種を除く。）	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ピクセル	
12	12	QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定 cm MS (a) (b)	1 3 5 7 9	無又は極短 短 中 長 極長	absent or very short short medium long very long	バイオレットクイン クリア スティックセニョール	
13	13	QN (*) (+) G	草丈に対する花らい球の位置（生育型が頂花らい型の品種に限る。）	Only Calabrese type varieties: Head: level of main head in relation to plant height	草丈に対する花らい球の位置	観察 VG (c)	1 2 3	低 中 高	low medium high	SK9-099 スティックセニョール グリーン　カラブリーゼ	
14	14	QN (+)	花らい球の分枝の長さ（生育型が頂花らい型の品種に限る。）	Only Calabrese type varieties: Head: length of branching at base of main head	花らい球の最下部の分枝着生位置から花らいまでの長さ	測定/ 観察 cm MS/ VG (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ピクセル スティックセニョール	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
15	15	QN (*)	花らい球の直径	Head: diameter	花らい球の直径	測定 cm MS (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	 ピクセル	
16	16	QN (*) (+)	花らい球の縦断面の形（生育型が頂花らい型の品種に限る。）	Only Calabrese type varieties: Head: shape in longitudinal section	花らい球の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2 3 4	円形 広楕円形 楕円形 狭楕円形	circular transverse broad elliptic transverse medium elliptic transverse narrow elliptic	 サマードーム ピクセル、アーサー スティックセニョール	
17	17	PQ (*) G	花らい球の色	Head: color	花らいの球の色	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	黄白 緑 灰緑 青緑 紫	whitish green grey green blue green violet	 ピクセル、アーサー クリア ブロフローレ 65 紫セニョーラ	
18	18	QN	花らい球の色の濃淡（花らい球の色が黄白の品種を除く。）	Head: intensity of color	花らい球の色の濃淡（色の状態区分ごとに評価する。）	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	 はなっこりーE2 ピクセル、クリア、ハイツ SP サマードーム、スティックセニョール、バイオレットクイン	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	QN	花らい球のアントシアニンの着色（花らい球の色が紫の品種を除く。）	Only varieties with Head: color: whitish, green, grey green or blue green: Head: intensity of anthocyanin coloration	花らい球のアントシアニンの着色の強弱	観察 VG (c)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	アーサー、クリア ハイツ SP	
20	20	QN (+)	花らい球のこぶの凹凸（生育型が頂花らい型の品種に限る。）	Only Calabrese type varieties: Head: knobbling	花らい球のこぶの凹凸の強弱	観察 VG (c)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	スティックセニョール サマードーム	
21	21	QN	花らい球のつぼみの大きさ	Head: diameter of flower bud	花らい球のつぼみの大きさ	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	ピクセル スティックセニョール	
22	22	QN	側花らいの発生（生育型が頂花らい型の品種に限る。）	Only Calabrese type varieties: Plant: development of secondary heads	側花らいの発生の強弱	観察 VG (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	SK9-099 ピクセル グリーンパレス スティックセニョール	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
23	23	QN (*) (+) G	収穫期	Time of harvest maturity	収穫期の早晩（供試株数の 50%が収穫適期となった時期）	測定 月日 MG	1 3 5 7 9	極早 早 中 晩 極晩	very early early medium late very late	はなっこりーE2 スティックセニョール アーサー クリア すずか	
24	24	QL (*) (+) G	雄性不稔性	Male sterility	開花時の雄性不稔性の有無	観察 VS	1 9	無 有	absent present	グリーン　カラブリーゼ スティックセニョール	
25	25	PQ	花の色	Flower: color	開花時の花の色	観察 VG	1 2 3 4 5	白 黄白 淡黄 黄 濃黄	white whitish light yellow medium yellow dark yellow	 サマードーム スティックセニョール はなっこりーE2	

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

ブロッコリー変種(*Brassica oleracea* L. var. *italica* Plenck.)と、カリフラワー変種(*Brassica oleracea* L. convar. *botrytis* (L.) Alef. var. *botrytis*. L.)の植物学的な違いは、ブロッコリーは花芽が発達した花らいをつけた頭部を作るのに対し、カリフラワーは未分化の組織がぎっしり詰まった塊を作り、それが発達すると花芽になることである。

The botanical difference between broccoli and cauliflower is that broccoli produces heads bearing clusters of developed flower buds, whereas cauliflower produces curds consisting of a tightly-packed mass of undifferentiated tissue which in an advanced stage will develop into flower buds.

生育型について



頂花らい型



側花らい型

頂花らい型：頂花らいが大きく発達し、側花らいがない、もしくは側花らいの発達が遅い。

Calabrese type: One main head and no or small secondary heads that develop in the axils, usually later than the main head

側花らい型：頂花らいの大きさが側花らいと同程度であり、すべての花らいが同時期に発達する。

Sprouting type: Multiple heads, the main head is of the same size as the heads in the axils and all develop at the same time

形質 2　葉の姿勢　　Char.2　Leaf: attitude

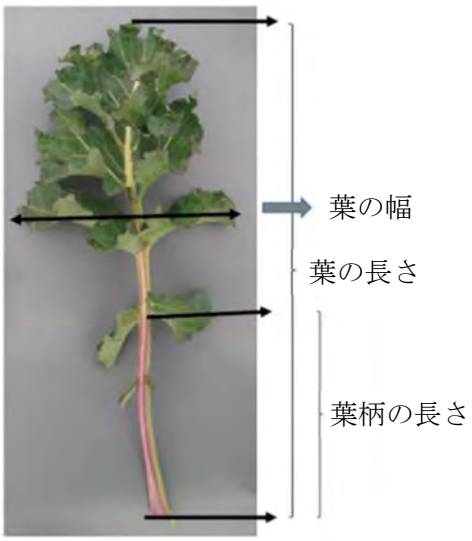


1
直立
erect

3
半直立
semi-erect

5
水平
horizontal

形質 3　葉の長さ　　Char.3　Leaf: length
形質 4　葉の幅　　Char.4　Leaf: width
形質 12　葉柄の長さ　　Char.12　Petiole: length

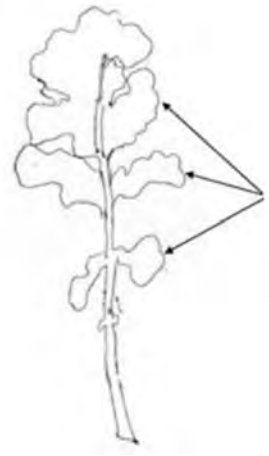


葉柄の長さは、葉基部から最も基部側の側小葉までの長さを測定する。なお、側小葉については後述する形質 5「葉の側小葉の数」を参照。

Length of the petiole is measured from the base of the leaf to the lateral leaflets on the most basal side. For lateral leaflets, see characteristic 5 "Number of Leaf: number of lobes".

形質 5　葉の側小葉の数　　Char.5　Leaf: number of lobes

側小葉を数える。側小葉は先端小葉を除く小葉。



葉身の一部の裂片において、両側の切れ込みの深さが裂片の長さの半分以上あるもの、裂片自体の長さが葉柄との着生部分以上の長さであるものを側小葉とする。

Parts of the leaf blade are considered as lobes if their length is at least equivalent to the width of the leaf petiole at their point of attachment and if both notches of the blade have at least half the length of the lobe itself.

形質 8　葉身の周縁部の波打ち　　Char.8　Leaf blade: undulation of margin



3
弱
weak



5
中
medium



7
強
strong

形質 9　葉身の周縁部の鋸歯の強弱　　Char.9　Leaf blade: dentation of margin



3
弱
weak



5
中
medium



7
強
strong

形質 13　草丈に対する花らい球の位置（生育型が頂花らい型の品種に限る。）

Char.13　Only Calabrese type varieties: Head: level of main head in relation to plant height



1
低
low



2
中
medium



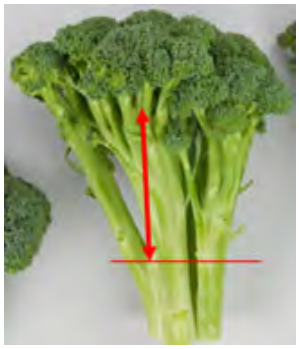
3
高
high

形質 14　花らい球の分枝の長さ（生育型が頂花らい型の品種に限る。）

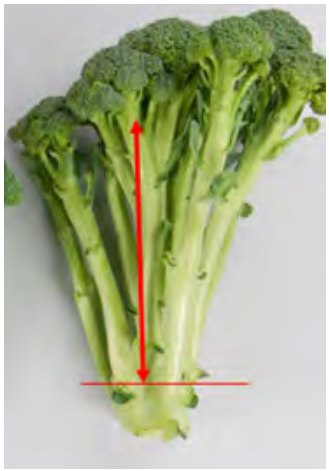
Char.14　Only Calabrese type varieties: Head: length of branching at base of main head



3
短
short



5
中
medium



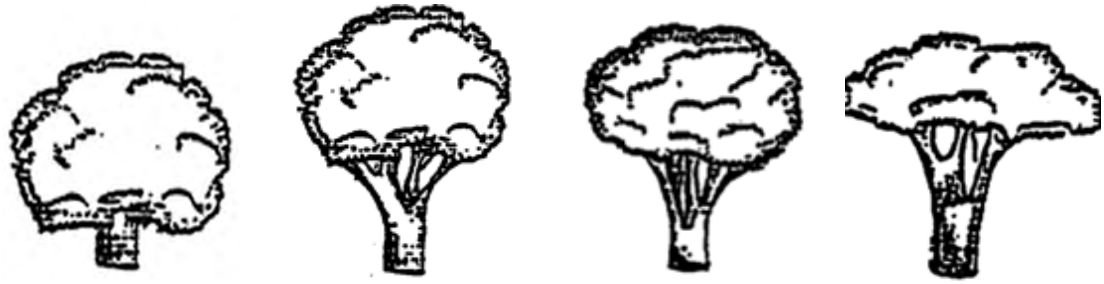
7
長
high

花らい球全体の下縁部の中間位置から、最下分枝着生部までの長さを測定、または観察する。

Observation should be made on the length from the middle part of the lower side of the entire head to the most lower branch part.

形質 16　花らい球の縦断面の形（生育型が頂花らい型の品種に限る。）

Char.16　Only Calabrese type varieties: Head: shape in longitudinal section



1	2	3	4
円形	広楕円形	楕円形	狭楕円形
circular	transverse broad elliptic	transverse medium elliptic	transverse narrow elliptic

形質 20　花らい球のこぶの凹凸（生育型が頂花らい型の品種に限る。）

Char.20　Only Calabrese type varieties: Head: knobbling



3	5	7
弱	中	強
weak	medium	strong

形質 23　収穫期　　Char.23　Time of harvest maturity

収穫期は、試験区の 50%の株が収穫適期となった時期とする。頂花らい型品種は、頂花らいが収穫適期となった時期、側花らい型品種は、複数の花らいが収穫適期となった時期とする。

Time of harvest maturity is when 50% of the plants have a head (Calabrese type)/ multiple heads (Sprouting type) ready for harvest.

The varieties are divided into two harvest maturity characteristics because the varieties for summer and autumn are never included in the same trial with the overwinter varieties: The overwinter varieties need a much larger amount of cold to develop a head (which is in fact the start of flowering), usually a winter period, whereas the summer and autumn varieties start to develop a head after a little amount of cold. This mechanism is called vernalisation: The induction of flowering by exposure to a certain amount of time of cold temperatures.

In broccoli, time of harvest maturity is strongly influenced by the temperature and the season of growing. Nevertheless, at the same place and for the same growing season, time of harvest maturity is an important characteristic for the assessment of distinctness of varieties. For those reasons, no example varieties are provided in the Test Guidelines and the variety description should always state the place and the season of growing.

形質 24　雄性不稔性　　Char.24　Male sterility



1
無
absent



9
有
present

完全に開花した花から花粉の発生を確認し、花粉が確認できるものを「1 無」、花粉が確認できないものを「9 有」と評価する。

Observations should be made on fully opened flowers. Tapping or shaking the flowering stem will release pollen, which, if present, can be observed on dark colored paper or card. The absence of pollen production is an indication of male sterility. The presence of pollen production is an indication of male fertility.

資料 1-3-3

2025 年　月

オオシマカンスゲ

Oshima-kan-suge

(*Carex oshimensis* Nakai)

(*Carex morrowii* Boott)

（案）

オオシマカンスゲ審査基準

Ⅰ．審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、カヤツリグサ科（*Cyperaceae*）スゲ属（*Carex* L.）の、オオシマカンスゲ種（*C. oshimensis* Nakai）、カンスゲ種（*C. morrowii* Boott）及びその交雑種の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗 (Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　発根苗

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　20 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施 (Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　15 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

夏の定植（概ね 8 月頃）後から、翌年の春（果胞の成熟期）までを１生育周期とする。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示されたとおり調査を行う。茎・小穂に関する形質については、１生育周期の栽培期間において開花するものについて行う。

(a) 葉の特性評価は、定植当年の 12 月から翌年 2 月に、枯ちょうの程度が小さい成葉で行う。

(b) 植物全体、茎及び小穂の特性評価は、出穂盛期（複数の側小穂が完全に出穂している茎が確認できる時期）に行う。出穂・開花が確認できない場合は、植物全体の調査は地上部の生育盛期に行う。

(c) 鱗片の特性評価は、果胞の成熟期（開花後 1 ヵ月程度経過し、硬くなった時期）に行う。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１％、受容確率95％を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が15 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

ⅰ）葉身の斑の有無（形質10）

ⅱ）葉身の斑の型（形質11）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める形質であり、出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN	草姿	Plant: growth habit	株全体を側面から見た形状	観察 VG (b)	1 2 3	直立 半直立 開張	upright semi-upright spreading	 シマカンスゲ エヴァーゴールド	
2		QN (+)	草丈	Plant: height	地際から最頂部までの自然高	測定 cm MS (b)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	エヴァーゴールド	
3		QN (+)	葉群の高さ	Plant: height of foliage	地際から葉の最頂部までの自然高（突出した葉を除く。）	測定 cm MS (b)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	エヴァーゴールド	
4		QN	株幅	Plant: width	株の最大幅	測定 cm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	 エヴァーゴールド	
5		QN	葉身の外曲	Leaf blade: strength of reflexing	典型的な葉身の縦方向の外曲の強弱	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 シマカンスゲ エヴァーゴールド	
6		QL (+)	葉身のねじれの有無	Leaf blade: twisting	典型的な葉身の縦軸方向のねじれの有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	エヴァーゴールド、 シマカンスゲ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7		QN	葉身の長さ	Leaf blade: length	最長葉の葉身の長さ（葉鞘を含まない）	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	エヴァーゴールド	
8		QN	葉身の幅	Leaf blade: width	最長葉の葉身の最大幅（葉鞘を含まない）	測定 mm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エヴァーゴールド	
9		PQ	葉身の緑色部の色	Leaf blade: color of green part	葉身の表面の緑色部の色（斑入り品種にあっては、最も濃い緑色部で評価する。）	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
10		QL G	葉身の斑の有無	Leaf blade: variegation	葉身の表面の斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	エヴァーゴールド、 シマカンスゲ	
11		QL (+) G	葉身の斑の型	Leaf blade: pattern of variegation	葉身の表面の斑の型	観察 VG (a)	1 2 3 4	外斑 中斑 外斑及び縞斑 中斑及び縞斑	edged centered edged and striped centered and striped	シマカンスゲ エヴァーゴールド	
12		PQ	葉身の斑の主な色	Leaf blade: color of variegation	葉身の斑で面積が最大の色（斑の色が明瞭に 2 色以上あり、面積が同等の場合は濃い方の色）	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
13		PQ	葉身の斑の二次色	Leaf blade: secondary color of variegation	葉身の斑で面積割合が2番目に大きい色（斑の色が明瞭に異ならない場合は、二次色としない）	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
14		QN	葉身の斑の面積	Leaf blade: area of variegation	葉身の表面の斑の面積割合	観察 VG (a)	1 2 3	小 中 大	small medium large	シマカンスゲ エヴァーゴールド	
15		PQ	葉身の中肋の色	Leaf blade: color of midrib	葉身の中肋の色	観察 VG (a)	1 2 3	白 黄 緑	white yellow green	 エヴァーゴールド シマカンスゲ	
16		QN	茎の数	Stem: number	茎の数の多少	測定 MS (b)	3 5 7	少 中 多	few medium many	エヴァーゴールド	
17		QN (+)	茎の長さ	Stem: length	最長茎の地際から頂小穂の基部までの長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	エヴァーゴールド	

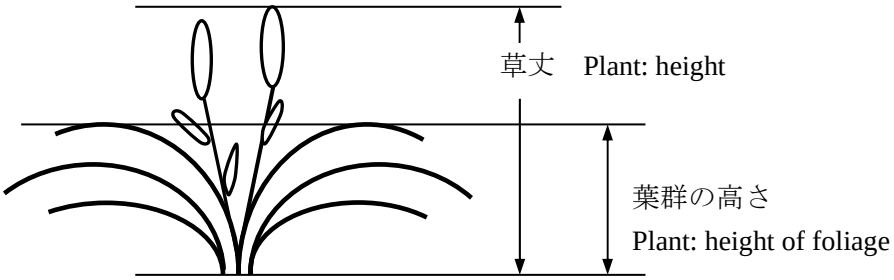
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18		QN (+)	頂小穂の長さ	Top spikelet: length (excluding stamens)	開花した頂小穂の基部から先端部までの長さ（雄ずいを除く。）	測定 cm MS (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	エヴァーゴールド	
19		QN (+)	頂小穂の幅	Top spikelet: width (excluding stamens)	開花した頂小穂の幅（雄ずいを除く。）	測定 mm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エヴァーゴールド	
20		QN	頂小穂の褐色の濃淡	Top spikelet: intensity of brown color	開花直前の頂小穂の褐色の濃淡	観察 VG (b)	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	シマカンスゲ エヴァーゴールド	
21		QN (+)	側小穂の長さ	Side spikelet: length (excluding stamens and pistils)	開花した最大側小穂の基部から先端部までの長さ（雄ずい及び雌ずいを除く。）	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	エヴァーゴールド	
22		QN (+)	側小穂の幅	Side spikelet: width (excluding stamens and pistils)	開花した最大側小穂の幅（雄ずい及び雌ずいを除く。）	測定 mm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	エヴァーゴールド	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
23		QN (+)	側小穂の果胞に対する鱗片の長さ	Side spikelet: length of scale relative to perigynium	側小穂の雌鱗片の果胞に対する長さ（果胞の長さに柱頭は含めない。）	観察 VG (c)	1 2 3	短 同等 長	shorter equal longer	シマカンスゲ エヴァーゴールド	
24		QN	出穂期	Time of emergence (50% of plants with heads)	供試株の 50%以上が出穂始めとなった日の早晩	測定 月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	エヴァーゴールド	

Ⅷ. 特性表の説明 (Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2　草丈　　Char. 2　Plant: height

形質 3　葉群の高さ　　Char. 3　Plant: height of foliage



形質 6　葉身のねじれの有無　Char. 6　　Leaf blade: twisting

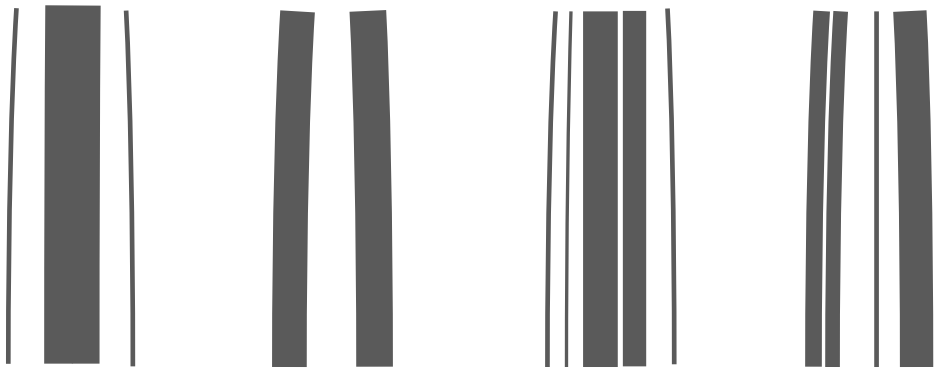


01　無



09　有

形質 11　葉身の斑の型　　Char. 11　Leaf blade: pattern of variegation



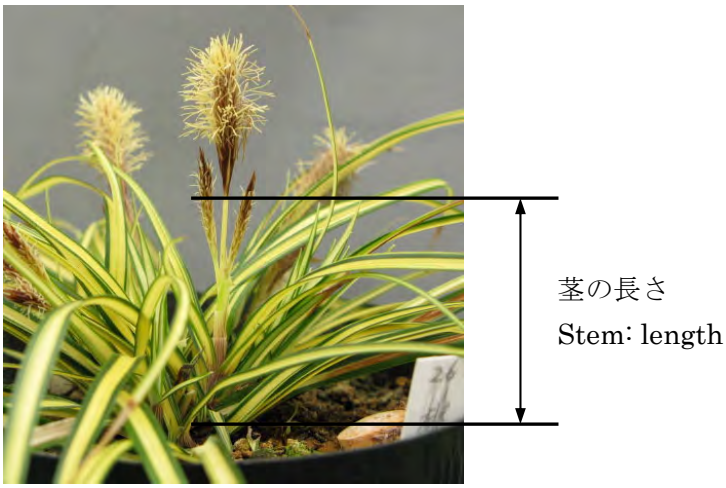
1
外斑
edged

2
中斑
centered

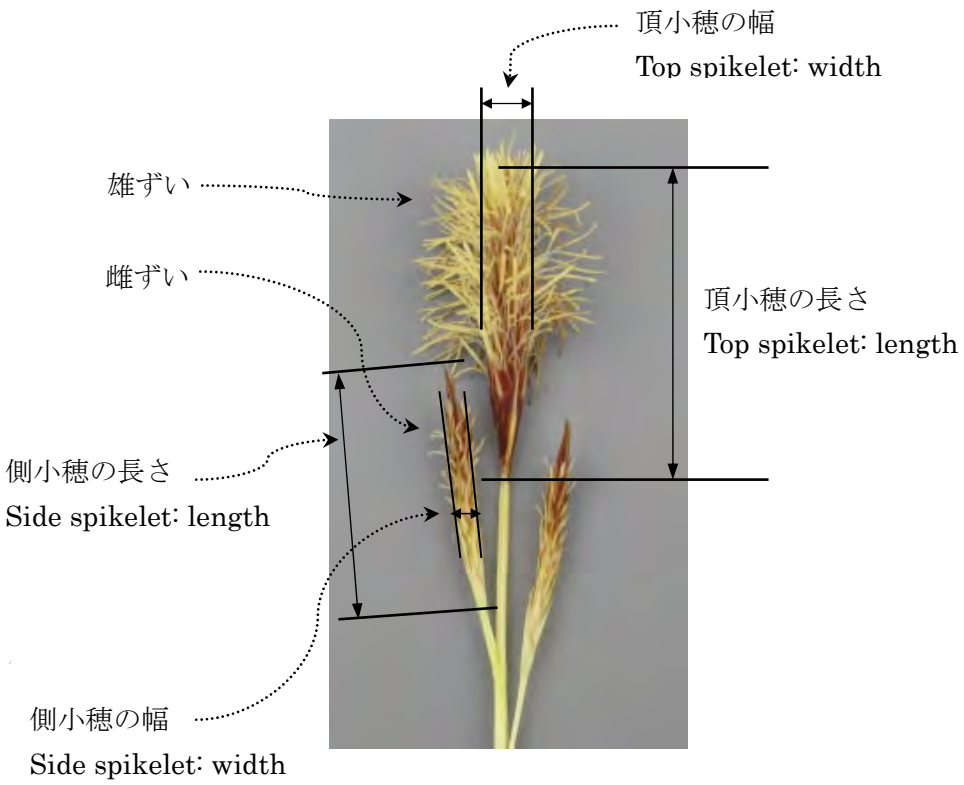
3
外斑及び縞斑
edged and striped

4
中斑及び縞斑
centered and striped

形質 17　茎の長さ　　Char. 17　Stem: length



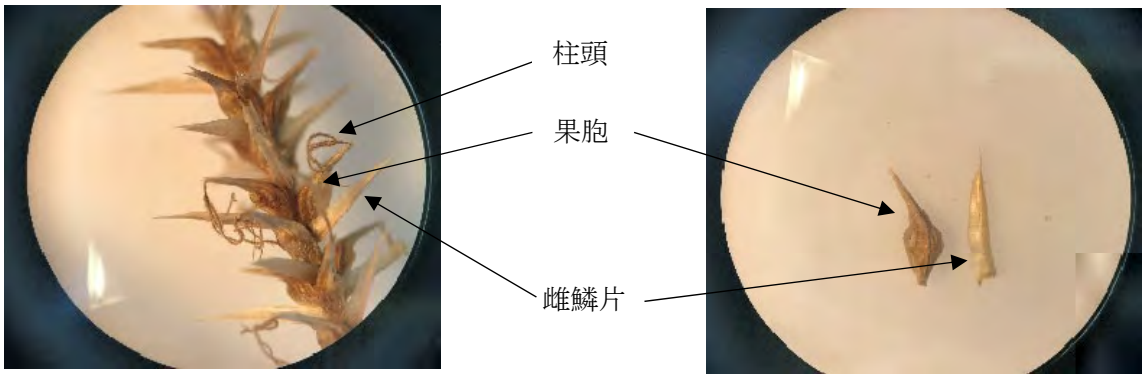
形質 18	頂小穂の長さ	Char. 18	Top spikelet: length(excluding stamens)
形質 19	頂小穂の幅	Char. 19	Top spikelet: width(excluding stamens)
形質 21	側小穂の長さ	Char. 21	Side spikelet: length(excluding stamens and pistils)
形質 22	側小穂の幅	Char. 22	Side spikelet: width(excluding stamens and pistils)



形質 23　側小穂の果胞に対する鱗片の長さ

Char. 23　Side spikelet: length of scale relative to perigynium

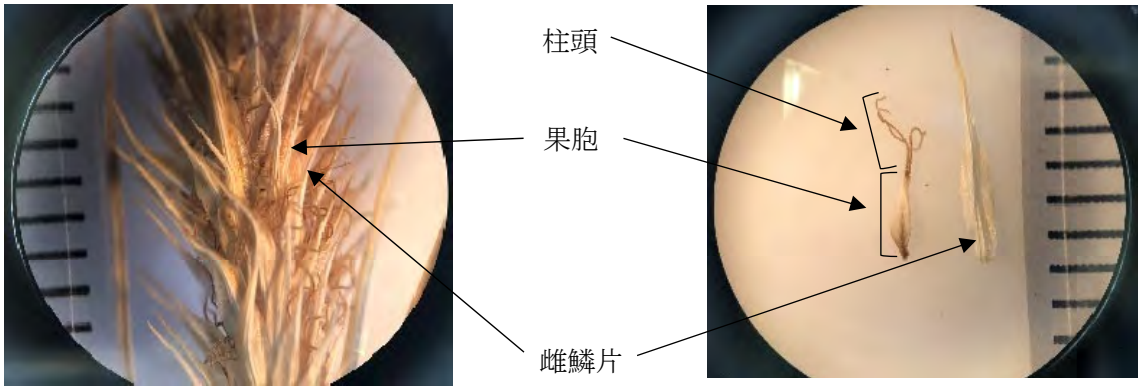
果胞に対する雌鱗片の相対的な長さを観察する。



2

同等

equal



3

長

longer

資料 1-3-4

2026 年 月

TG202/1 Rev.2 2003-04-09 + 2015-03-15 + 2019-10-29 に準拠

カンキツ属

（オレンジ類）

(*Citrus* L. - Group 2)

ORANGE

（案）

カンキツ属（オレンジ類）審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ミカン科（*Rutaceae*）カンキツ属（*Citrus* L.）の、別表１に示す種及びその交雑種の全ての品種に適用する。同表に記載されていない他のカンキツ属のグループの種との交雑種については、どの審査基準が最も適用可能かを検討した上で審査基準を決定する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　芽接ぎ可能な芽を着けた枝又は１年生苗木

ⅱ）数量　　10 個体

ⅲ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　５個体

ⅲ）栽培期間　　正常な果実が収穫できる２生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

ⅳ)調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体５個体又は各個体から２個採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に(a)～(f)で示した時期に行う。

(a) 葉に関する形質は、春に伸長し、ほぼ伸長を停止した枝の中央部に着生する十分に展開した葉（複葉の場合は頂小葉）について調査する。

(b) 花に関する形質は、特に指示がない限り、その品種の開花盛期に枝の先端に着生した花について、開花初日に行う。

(c) 果実に関する形質は、成熟期に行う。毎週調査して、成熟期になった場合直ちに収穫して調査する。調査果実は、樹の外縁部に着生した果実を用いる。房なりの結果として変形した果実は調査しない。

(d) 果実表面及び果皮に関する形質は、果実の赤道部で調査する。

(e) 果肉に関する形質は、果実の赤道部の横断面で調査する。

(f) 種子に関する形質は、収穫した果実の新鮮な種子で調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が５の場合、許容される異型個体数は０である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）果実の長さ（形質 29）
ⅱ）果実の直径（形質 30）
ⅲ）果実の表面の色（形質 51）
ⅳ）果実の二次果の有無（形質 78）
Ⅴ）適食期（形質 93）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び疑似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

別表１

学名	Subgroup	和名
Citrus aurantium L.	SOR	ダイダイ
Citrus aurea hort. ex Tanaka	SWO	川畑
Citrus canaliculata hort. ex Yu. Tanaka	SOR	菊ダイダイ
Citrus funadoko hort. ex Yu. Tanaka	SWO	舟床
Citrus iriomotensis hort. ex Tanaka, nom. nud.	HOR	フサラ
Citrus iyo hort. ex Tanaka	SWO	イヨ
Citrus luteoturgida hort. ex Tanaka, nom. nud.	SWO	デーデー
Citrus maderaspatana hort. ex Tanaka	SOR	キチリー
Citrus myrtifolia Raf.	SOR	マートルリーフオレンジ
Citrus neoaurantium Tanaka	SOR	サツマキコク
Citrus oblonga hort. ex Yu. Tanaka	SWO	ダエンカン
Citrus papillaris Blanco	HOR	チゾン
Citrus pseudopapillaris Tanaka	HOR	バラガオレンジ
Citrus rokugatsu hort. ex Yu. Tanaka	SOR	ロクガツミカン
Citrus shunkokan hort. ex Tanaka	SWO	春光柑
Citrus sinensis (L.) Osbeck	SWO	スイートオレンジ
Citrus sinograndis hort. ex Yu. Tanaka	SWO	オオトウミカン
Citrus taiwanica Tanaka & Y. Shimada	HOR	ナンショウダイダイ
Citrus tamurana hort. ex Tanaka	SWO	日向夏
Citrus tankan Hayata	SWO	タンカン
Citrus ujukitsu Tanaka	SWO	ウジュキツ
Citrus yanbaruensis hort. ex Tanaka	SOR	ユークニブ

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	QL	倍数性	Ploidy	倍数性	観察 VG	2 3 4	二倍体 三倍体 四倍体	diploid triploid tetraploid	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、日向夏、 ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
2	2	PQ (*) (+)	樹姿	Tree: growth habit	定植後３年以上の樹の形	観察 VG	1 2 3	直立 開張 下垂	upright spreading drooping	ﾀﾝｶﾝ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、日向夏、ﾊﾞﾚﾝｼｱ ﾕｰｸﾆﾌﾞ、ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ	
3	3	QN	枝のとげの粗密	Tree: density of spines	枝のとげの粗密	観察 VG	1 2 3	無又は粗 中 密	absent or sparse intermediate dense	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、日向夏 ｻﾂﾏｷｺｸ	
4	4	QN	枝のとげの長さ	Tree: length of spines	枝のとげの長さ（とげのある品種に限る。）	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、日向夏 ﾕｰｸﾆﾌﾞ ｻﾂﾏｷｺｸ	
5	5	QN	葉身の長さ	Leaf blade: length (apical leaflet in case of compound leaf)	成葉の葉身の長さ	測定 cm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾀﾝｶﾝ ｲﾖ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ﾀﾞｲﾀﾞｲ、日向夏 ﾕｰｸﾆﾌﾞ	
6	6	QN	葉身の幅	Leaf blade: width (as for 5)	成葉の葉身の最大幅	測定 cm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾀﾝｶﾝ、ﾀﾞｲﾀﾞｲ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏、ｲﾖ ﾕｰｸﾆﾌﾞ	
7	7	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width (as for 5)	成葉の葉身の長さと幅の比	測定 比 (a)	3 5	小 中	small medium	ﾕｰｸﾆﾌﾞ 日向夏、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
						MS	7	大	large	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ	
8	8	QN	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section (as for 5)	成葉の葉身中央部の横断面の形	観察 (a) VG	1 2 3	平又はやや内曲 内曲 強く内曲	straight or weakly concave intermediate strongly concave	 ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
9	9	QN	葉身のねじれ	Leaf blade: twisting	成葉の葉身のねじれの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
10	10	QN	葉身の凹凸	Leaf blade: blistering	成葉の葉身表面の凹凸の強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
11	11	QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: green color	成葉の葉身表面の緑色の濃淡	観察 (a) VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	 ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
12	12	QN	葉身の周縁の波打ち	Leaf blade: undulation of margin	成葉の葉身周縁の波打ちの強弱	観察 (a) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ﾀﾝｶﾝ 日向夏、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ	
13	13	PQ	葉身の周縁の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	成葉の葉身周縁の鋸歯の形	観察 (a) VG	1 2 3	無 鈍鋸歯状 歯状	absent crenate dentate	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ﾀﾞｲﾀﾞｲ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏	
14	14	PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	成葉の葉身先端部の形	観察 (a) VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	ﾀﾝｶﾝ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
15	15	QL (+)	葉身の先端の切れ込みの有無	Leaf blade: emargination at tip	成葉の葉身先端の切れ込みの有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
16	16	QN	葉柄の長さ	Petiole: length	成葉の葉柄の長さ	測定 mm (a) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、ﾀﾝｶﾝﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
17	17	QL	葉柄の翼葉の有無	Petiole: presence of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の有無	観察 (a) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾝｶﾝ、ﾁｿﾞﾝﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏、ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
18	18	QN	葉柄の翼葉の幅	Varieties with petiole wings present only: Petiole: width of wings	成葉の葉柄に着生する翼葉の幅	測定 mm (a) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖﾀﾞｲﾀﾞｲ、日向夏 ﾕｰｸﾆﾌﾞ、ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ	
19	19	QN	がくの直径	Flower: diameter of calyx	頂花のがくの直径	観察 (b) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large		
20	20	QN	花弁の長さ	Flower: length of petal	頂花の花弁の長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	QN	花弁の幅	Flower: width of petal	頂花の花弁の幅	測定 mm (b) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾁﾉｯﾄ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ 日向夏、ﾊﾞﾚﾝｼｱ	
22	22	QN	花弁の長さ／幅	Flower: ratio length/width of petal	満開時の頂花の花弁の長さと幅の比	測定 比 (b) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾕｰｸﾆﾌﾞ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
23	23	QN	雄ずいの長さ	Flower: length of stamens	開やく前の雄ずいの長さ	測定 mm (b) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
24	24	QL	雄ずいの基部の融合の有無	Flower: basal union of stamens	雄ずいの基部の融合の有無	観察 (b) VG	1 9	無 有	absent present		
25	25	PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの色	観察 (b) VG	1 2 3	白 淡黄 黄	white light yellow medium yellow	 ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏	
26	26	QN (+)	花粉の稔性	Anther: pollen viability	稔性花粉の割合の高低	測定 (b) MS	1 2 3	無又は極低 中 高	absent or low medium high	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27	27	QN	花柱の長さ	Style: length	開やく時の花柱の長さ	観察 (b) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾁﾉｯﾄ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、日向夏	
28	28	PQ	花柱の形	Style: shape	開やく時の花柱の形	観察 (b) VG	1 2 3	直 弓形 よじれ	straight arched kinked	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏	
29	29	QN (*) G	果実の長さ	Fruit: length	果実の縦の長さ	測定 cm (c) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾁﾉｯﾄ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏 ｲﾖ、ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
30	30	QN (*) G	果実の直径	Fruit: diameter	果実の直径	測定 cm (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾁﾉｯﾄ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ	
31	31	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さと直径の比	測定 比 (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾁｿﾞﾝ、ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏 白柳ﾈｰﾌﾞﾙ	
32	32	QN (*)	果実の最大幅の位置	Fruit: position of broadest part	果実の縦断面の最大幅の位置	観察 (c) VG	1 2 3	果梗側 中央部 先端側	towards stalk end at middle towards distal end	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
33	33	PQ (+)	果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）	Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)	果実の果梗部の形	観察 (c) VG	1 2 3 4	平 やや円 円 先細	flattened slightly rounded strongly rounded tapered	ﾀﾞｲﾀﾞｲ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏、ｲﾖ	
34	34	QL (*) (+)	果実の果梗部のへこみの有無（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
35	35	QN	果実の果梗部のへこみの深さ（ネックが無の品種に限る。）	Only varieties without fruit neck: Fruit: depth of depression at stalk end	果実の果梗部のへこみの深さ	観察 (c) VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ｲﾖ ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
36	36	QN	果実の果梗部の放射状溝の数	Fruit: number of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の多少	観察 (c) VG	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few intermediate many	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ	
37	37	QN	果実の果梗部の放射状溝の長さ	Fruit: length of radial grooves at stalk end	果実の果梗部の放射状溝の長さ（放射状溝のない品種を除く。）	観察 (c) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38	QL (+)	果実の果梗部のカラーの有無	Fruit: presence of collar	果実の果梗部のカラーの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏	
39	39	QN (+)	果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）	Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal end)	果実の果頂部の形	観察 (c) VG	1 2 3	平 やや円 円	flattened slightly rounded strongly rounded	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、 ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏	
40	40	QL (*) (+)	果実の果頂部のへこみの有無	Fruit: presence of depression at distal end	果実の果頂部のへこみの有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ	
41	41	QL (*)	果実の果頂部の凹環の明瞭さ	Fruit: presence of areola	果実の果頂部の環状模様の明瞭さ	観察 (c) VG	1 2 3	無 不明瞭 明瞭	absent incomplete complete	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、日向夏	
42	42	QL (+)	果実の果頂部の凹環のタイプ	Fruit: type of areola	果実の果頂部の凹環の状態（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	観察 (c) VG	1 2 3	平 凹む 盛り上がる	smooth grooved ridged	ﾀﾞｲﾀﾞｲ 日向夏	
43	43	QN	果実の果頂部の凹環の大きさ	Fruit: diameter of areola	果実の果頂部の凹環の直径（凹環の明瞭さが無の品種を除く。）	測定 mm (c) MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	 日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	44	QN	果実の花柱痕の大きさ	Fruit: diameter of stylar scar	果実の果頂部の花柱痕の直径	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
45	45	PQ	花柱の果実への残存	Fruit: persistence of style	花柱の果実への残存の程度	観察 (c) VG	1 2 3	無 部分的に残る 全体が残る	none partial total		
46	46	PQ	果実の果頂部のへその開きの有無	Fruit: presence of navel opening	果実の果頂部のへその開きの有無	観察 (c) VG	1 2 3	無 たまに有 常に有	absent occasionally present always present	ﾊﾞﾚﾝｼｱ ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾁｿﾞﾝ ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
47	47	QN	果実の果頂部のへその開きの大きさ	Fruit: diameter of navel opening	果実の果頂部のへその開きの直径（開きが無の品種を除く。）	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾁｿﾞﾝ、ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
48	48	QN	果実の果頂部のへその隆起	Fruit: bulging of navel	果実の果頂部のへその隆起の強弱	観察 (c) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ﾁｿﾞﾝ、ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ	
49	49	QL	果実の果頂部の放射状溝の有無	Fruit: presence of radial grooves at distal end	果実の果頂部の放射状溝の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ	
50	50	QL	果皮色の複色の有無	Fruit: color variegation	果皮色の複色性（斑、アントシアニン等）の有無	観察 (c) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	51	PQ (*) G	果実の表面の色	Fruit surface: predominant color(s)	果実の表面赤道部の主な色	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4 5	黄橙 橙 濃橙 橙赤 赤	yellow orange medium orange dark orange orange red red	ﾊﾞﾚﾝｼｱ ｲﾖ ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
52	52	QN	果実の表面の粗滑	Fruit surface: roughness	果実の表面赤道部の粗滑の程度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	滑 中 粗	smooth medium rough	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、日向夏 ｷｸﾀﾞｲﾀﾞｲ	
53	53	PQ	果実の表面の油胞の大きさ	Fruit surface: size of oil glands	果実の表面赤道部の油胞の大きさ	観察 (c) (d) VG	1 2	ほぼ斉一 小油胞の中に大油胞が散在	all more or less the same size larger ones interspersed by smaller ones	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏	
54	54	QN	果実の表面の大油胞の大きさ	Fruit surface: size of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の大きさ（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む）	観察 (c) (d) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏 ﾁﾉｯﾄ	
55	55	QN	果実の表面の大油胞の明瞭さ	Fruit surface: conspicuousness of larger oil glands	果実の表面赤道部の大油胞の目立つ程度（油胞の大きさがほぼ斉一の場合を含む）	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
56	56	PQ (+)	果実の果梗側半分の凹凸	Fruit surface: presence of pitting and pebbling	果実の果梗側半分の油胞の凹凸の有無	観察 (c) (d) VG	1 2 3 4	凹凸両方無 凹無、凸有 凹有、凸無 凹凸両方有	pitting and pebbling absent pitting absent, pebbling present pitting present, pebbling absent pitting and pebbling present	 ﾊﾞﾚﾝｼｱ ﾀﾞｲﾀﾞｲ ｲﾖ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏	
57	57	QN	果実の表面のへこみの密度（へこみのある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pitting present only: Fruit surface: density of pitting	果実の表面赤道部の凹型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
58	58	QN	果実の表面の凸の密度（凸のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling present only: Fruit surface: density of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の密度	観察 (c) (d) VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
59	59	QN	果実の表面の凸の突出の強弱（凸のある品種に限る。）	Varieties with fruit surface: pebbling present only: Fruit surface: degree of pebbling	果実の表面赤道部の凸型油胞の突出の強弱	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
60	60	QN (*)	果皮の厚さ	Fruit rind: thickness	果実の赤道部の果皮の厚さ	観察 (c) (d) VG	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	ﾊﾞﾚﾝｼｱ ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ	
61	61	QN	果皮の強さ	Fruit rind: strength	果皮の強さ（硬さ、ちぎれにくさ）	観察 (c) (d) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾁｿﾞﾝ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏	
62	62	PQ	アルベドの色	Fruit: color of albedo	アルベドの色	観察 (c) VG	1 2 3 4 5 6	緑 白 淡黄 淡橙 桃 赤	greenish white light yellow light orange pink reddish	日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
63	63	QL	異なる色のさじょうの有無	Fruit: differently colored specks in flesh	果肉内の果肉色と異なる色のさじょうの有無	観察 (c) (e) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏	
64	64	QL	複色のじょうのうの有無	Fruit: bicolored segments	果実内の複色のじょうのうの有無	観察 (c) (e) VG	1 9	無 有	absent present	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	QL	じょうのうの赤色の分布（複色のじょうのうが有の品種に限る。）	Only varieties with Fruit: bicolored segments: present: Fruit: distribution of red coloration	じょうのうの赤色の複色の分布	観察 (c) (e) VG	1 2	全体 主に周縁部	every distributed mainly marginate		
66	66	PQ (*)	果肉の色	Fruit: main color of flesh	果実横断面の果肉の主な色	観察 (c) (e) VG	1 2 3 4 5	淡橙 橙 濃橙 橙赤 赤	light orange medium orange dark orange orange red red	 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾁｿﾞﾝ	
67	67	QL	果肉の苦味の有無	Fruit: bitterness of flesh	果肉の苦味の有無	観察 (c) (e) VG	1 9	無 有	absent present	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
68	68	QN	果心の充実度	Fruit: filling of core	果心の詰まりの粗密	観察 (c) (e) VG	1 3 5 7 9	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	ｲﾖ ﾀﾞｲﾀﾞｲ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏	
69	69	QN	果心の大きさ	Fruit: diameter of core	果心の直径	観察 (c) (e) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
70	70	QN	不完全じょうのうの出現	Fruit: presence of rudimentary segments	不完全じょうのうの出現程度の強弱	観察 (c) (e) VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏 ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
71	71	QN	じょうのうの数	Fruit: number of well developed segments	十分に発達したじょうのうの数	測定 (c) (e) MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、ｲﾖ、日向夏 ﾁｿﾞﾝ	
72	72	QN	じょうのう膜の密着性	Fruit: coherence of adjacent segment walls	隣接したじょうのう膜どうしの密着の強弱	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ 日向夏	
73	73	QN	じょうのう膜の強さ	Fruit: strength of segment walls	食べた時のじょうのう膜の硬さの程度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ｲﾖ 日向夏	
74	74	QN	さじょうの長さ	Fruit: length of juice vesicles	さじょうの長さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾁｿﾞﾝ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏 ｲﾖ	
75	75	QN	さじょうの太さ	Fruit: thickness of juice vesicles	さじょうの太さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ﾁﾉｯﾄ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ、日向夏 ｲﾖ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
77	76	QN	さじょうの明瞭さ	Fruit: conspicuousness of juice vesicle walls	さじょうの膜壁の明瞭さ	観察 (c) (e) VG	3 5 7	低 中 高	low medium high		
77	77	QN	さじょうの密着性	Fruit: coherence of juice vesicles	さじょうどうしの密着の程度	観察 (c) (e) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
78	78	PQ (*) G	果実内部の二次果の有無	Fruit: presence of navel (viewed internally)	果実内部の二次果（ネーブル）の有無	観察 (c) VG	1 2 3	無又は極希 希にあり 常にあり	absent or very rare occasionally present always present	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ、日向夏 ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
79	79	QN	果実内部の二次果の大きさ	Fruit: size of navel (viewed internally)	果実内部の二次果（ネーブル）の大きさ（二次果がない品種を除く。）	観察 (c) VG	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
80	80	QN	果汁の多少	Fruit: juiciness	果汁の多少の程度	観察 (c) VG	3 5 7	少 中 多	low medium high	ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、日向夏	
81	81	QN	果汁の可溶性固形分量	Fruit juice: total soluble solids	果汁の可溶性固形分の含量（Brix）	測定 % (c) MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏 ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
82	82	QN	果汁の酸度	Fruit juice: acidity	果汁の酸度（クエン酸）	測定 % (c) MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	 ｲﾖ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏	
83	83	QN	果肉繊維の強さ	Fruit: strength of fiber	食べた時の果肉繊維の硬さの程度	観察 (c) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、日向夏 ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
84	84	QN (+)	自然受粉の場合の種子数	Fruit: number of seeds (open pollination)	自然受粉の場合の１果当たりの種子数	測定 (c) MS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾊﾞﾚﾝｼｱ ｲﾖ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ	
85	85	QL (*)	種子の多胚性の有無	Seed: polyembryony	種子の多胚性の有無	観察 (f) VG	1 9	無 有	absent present	ｲﾖ、日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ	
86	86	QN	種子の長さ	Seed: length	成熟種子の長さ	測定 mm (f) MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 ｲﾖ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、日向夏	
87	87	QN	種子の幅	Seed: width	成熟種子の最大幅	測定 mm (f) MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ ｲﾖ、日向夏	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
88	88	QL	種子の表面の状態	Seed: surface	成熟種子表面の状態	観察 (f) VG	1 2	滑 しわ有	smooth wrinkled		
89	89	QN	種子の表面のしわの強弱	Varieties with seed: surface wrinkled only: Seed: prominence of wrinkles	種子の表面のしわの強弱	観察 (f) VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
90	90	PQ	種子の表面の色	Seed: external color	成熟種子の表面の色	観察 (f) VG	1 2 3 4 5	緑 白 黄 桃 褐	greenish whitish yellowish pinkish brownish	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、日向夏	
91	91	PQ	内種皮の色	Seed: color of inner seed coat	成熟種子の内種皮の色	観察 (f) VG	1 2 3 4 5 6 7	白 淡黄 淡褐 褐 濃褐 赤 紫	white light yellow light brown medium brown dark brown red purple	日向夏 ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾊﾞﾚﾝｼｱ、ｲﾖ	
92	92	PQ	子葉の色（種子の多胚性が有の品種に限る。）	Only varieties with seed: polyembryony present: Seed: color of cotyledons	成熟種子の子葉の色	観察 (f) VG	1 2 3 4	白 乳白 淡緑 濃緑	white cream light green dark green	ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ﾀﾝｶﾝ ﾊﾞﾚﾝｼｱ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
93	93	QN (*) G	成熟期	Time of maturity of fruit for consumption	果実が完全着色して食味が最も良くなったと考えられる時期	測定月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ ﾀﾞｲﾀﾞｲ、ｲﾖ 日向夏、ﾊﾞﾚﾝｼｱ	
94	94	QL (*)	単為結果性の有無	Fruit: parthenocarpy	単為結果性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾜｼﾝﾄﾝﾈｰﾌﾞﾙ	
95	95	QL (+)	自家不和合性の有無	Plant: self-incompatibility	自家不和合性の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		

Ⅷ. 特性表の説明　(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2　樹姿　　Char. 2　Tree: growth habit

樹姿の調査は、収穫直後に行う。

The observation on the growth habit of the tree should be made immediately after harvest.

形質 14　葉身の先端部の形　　Char.14　Leaf blade: shape of apex



1
鋭尖形
acuminate



2
鋭形
acute



3



4

形質 15　葉身の先端の切れ込みの有無　　Char.15　Leaf blade: emargination at tip



1
無



9
有

形質 26　花粉の稔性　　Char.26　Anther: pollen viability

稔性花粉の割合を決定する方法
Method to determine the percentage of viable pollen:

花粉は、花弁が開き始めた時点でまだ閉じた状態のやくを採取し、これをペトリ皿に入れて、室温、暗条件の下でシリカゲル乾燥器内に 20～48 時間置く。やくが開いたらこれを８℃のチャンバーに移し、相対湿度 70～80％で１時間保存する。その後花粉を２ml の Brewbacker 培地（Brewbaker and Kwock, 1963）を用いて顕微鏡スライドにすり付け、24 ºC のチャンバーに入れ、相対湿度 75％で 20 時間保存する。

花粉の生育率は、２枚の異なる顕微鏡スライドから 15 の視野で観察された発芽した花粉粒の平均を計算して求める。

The pollen should be collected when the petals begin to open (but with the anthers closed). The anthers should be introduced into a Petri dish and placed inside a silica gel dryer at room temperature, for 20-48 hours of darkness. When the anthers are open they should be moved to an 8 ºC chamber with a 70-80 % Relative Humidity for one hour. Afterwards, the pollen should be brushed onto a microscope slide with 2 ml of Brewbacker medium (Brewbaker and Kwack. 1963). Finally, the microscope slide should be placed in a 24 ºC chamber with a 75 % RH for 20 hours.

The percentage of pollen fertility is calculated as the average of germinated pollen grains observed with a binocular in 15 visual fields from 2 different microscope slides.

(Brewbaker, J.L. and Kwack, B.H. 1963. The essential role of calcium ion in pollen germination and pollen tube growth. Amer. Jour. Botany. 50: 859-865.)

形質 33　果実の果梗部の形（ネック、カラー及び梗あは含まない。）
Char.33　Fruit: general shape of proximal part (excluding neck, collar and depression at stalk end)



1	2	3	4
平	やや円	円	先細
flattened	slightly rounded	strongly rounded	tapered

形質 34　果実の果梗部のへこみの有無（ネックがない品種に限る。）

Char.34　Only varieties without fruit neck: Fruit: presence of depression at stalk end



1
無
absent

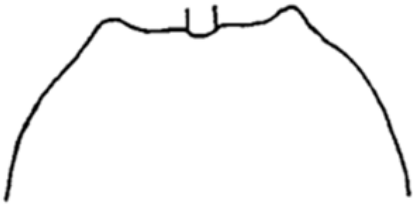


9
有
present

形質 38　果実の果梗部のカラーの有無　　Char.38　Fruit: presence of collar



1
無
absent



9
有
present

形質 39　果実の果頂部の形（乳頭状突起、へその突起及び凹環は含まない。）

Char.39　Fruit: general shape of distal part (excluding nipple, bulging of navel and depression at distal part)



1
平
flattened



2
やや円
slightly rounded



3
円
strongly rounded

形質 40　果実の果頂部のへこみの有無　　Char.40　Fruit: presence of depression at distal end



1
無
absent



9
有
present

形質 42　果実の果頂部の凹環のタイプ　　Char.42　Fruit: type of areola



1
平
smooth



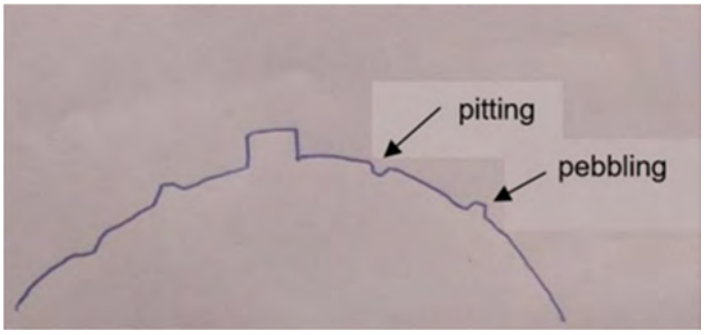
2
凹む
grooved



3
盛り上がる
ridged

形質 57　果実の果梗側半分の油胞の凹凸
Char.57　Fruit surface: presence of pitting and pebbling on oil glands

果実の果梗側半分の位置の油胞の凹凸を調査する。
Observation should be made on the proximal half of the fruit



形質 84　自然受粉の場合の種子数　　Char.84　Fruit: number of seeds (open pollination)

Open pollination は、同じ品種の樹間で行われる自然受粉である。

Open pollination means natural pollination between trees of any variety.

形質 95　自家不和合性の有無　　Char.95　Plant: self-incompatibility

自家不和合品種とは、自花又は同一品種の花の稔性花粉を交配させても、子房が受精しないものをいう。

A variety is self-incompatible when the fertile pollen of its own flower or of other flowers of the same variety is not able to fertilize the ovary.

資料 1-3-5

2026 年 月

ワサビ種

Wasabi, Japanese-horseradish

(*Eutrema japonicum* (Miq.) Koidz.)

(案)

ワサビ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、アブラナ科（Brassicaceae）ワサビ属（*Eutrema* R. Br.）のワサビ種（*Eutrema japonicum* (Miq.) Koidz.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　種子繁殖性品種：実生苗
栄養繁殖性品種：分根苗又はメリクロン苗（本葉 3～5 枚程度）

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　種子繁殖性品種の場合　80 個体
栄養繁殖性品種の場合　80 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　40 個体（2 区以上に分割して栽培する。）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。
均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、5 月に定植した株を翌年 5～6 月に調査を行う。
葉に関する形質は、主根茎に着生する十分に展開した葉で調査する。
根茎に関する形質は、主根茎で調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び単交雑品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

他家受粉品種及び交雑品種（単交雑品種を除く。）においては、上記一般基準の第 4 の２（２）及び（３）をそれぞれ適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）分根の多少（形質 3）

ⅱ）葉身の形（形質 5）

ⅲ）葉柄の基部のアントシアニン着色の強弱（形質 12）

ⅳ）根茎の表面の色（水ワサビ栽培の品種に限る）（形質 17）

Ⅴ）根茎のすりおろし時の緑色の濃淡（形質 21）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5

大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QN (+)	草姿	Plant: growth habit	根茎に着生する葉の着生角度及び湾曲の状態（分根から発生した葉を除く）	観察 VG	1 2 3 4 5	直立 直立～反直立 半直立 反直立～開張 開張	erect erect to semi erect semi erect semi erect to spreading spreading	伊づま あまぎみどり 真妻 天城にしき	
2		QN (+)	草丈	Plant: height	根茎上部から植物体最高部までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	大神 2 号 真妻	
3		QN (+) G	分根の多少	Plant: number of young rhizome	一株当たりの分根の多少	観察 測定 VG MS	1 2 3	少 中 多	few medium many	 伊づま 真妻	
4		QN	葉の多少	Plant: number of leaves on main rhizome	主根茎に着生する展開葉の多少	観察 測定 VG MS	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	 大神 2 号 伊づま	
5		PQ (＋) G	葉身の形	Plant: shape of leaf blade	十分に展葉、伸長した新葉の形	観察 VG	1 2 3 4	倒心臓系 やや丸形 丸形 五角形	obcordate semi-round round pentagon	天城にしき 伊づま、ふじだるま	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6		PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	葉身の先端部の形	観察 VG	1 2 3 4	鋭形 鈍形 広鈍形 円形	acute obtuse broad obtuse rounded	伊づま 真妻、あまぎみどり 天城にしき ふじだるま	
7		QN (+)	葉身の基部裂片の深さ	Leaf blade: depth of lobes	葉身の基部裂片の深さ	観察 VG	1 2 3 4 5	浅 やや浅 中 やや深 深	shallow shallow to medium medium medium to deep deep	 伊づま 天城にしき	
8		QN	葉身の緑色の濃淡	Leaf blade: intensity of green color	葉身の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	淡 やや淡 中 やや濃 濃	light light to medium medium medium to dark dark	 真妻 天城にしき、ふじだるま	
9		QN	葉身の光沢の強弱	Leaf blade: glossiness of upper side	葉身の表面の光沢の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	弱 やや弱 中 やや強 強	few few to medium medium medium to many many	 島根3号 真妻	
10		QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	大神2号 島根3号 真妻	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
11		QN (+)	葉柄の太さ	Petiole: diameter	葉柄の中央部の太さ	測定 mm MS	3 5 7	細 中 太	small medium large	大神 2 号 真妻、ふじだるま	
12		QN (+) G	葉柄の基部のアントシアニン着色	Petiole: intensity of anthocyanin coloration on base	葉柄の基部（株上面）のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent of very weak weak medium strong very strong	あまぎみどり 伊づま 真妻 天城にしき	
13		QN (+)	根茎の花茎痕	Rhizome: number of flowering stem scar	根茎の花茎痕の多少	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は少 やや少 中 やや多 多	absent or few absent or few to medium medium medium to many many	伊づま 真妻	
14		QN (+)	根茎の長さ	Rhizome: length	根茎の先端から基部までの長さ	測定 cm MS	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	 真妻 伊づま	
15		QN (+)	根茎の直径	Rhizome: diameter	根茎の基部の直径	測定 cm MS	1 2 3 4 5	極細 細 中 太 極太	very small small medium large very large	 真妻 伊づま	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16		QN	根茎の長さ／直径	Rhizome: ratio length/ diameter	根茎の長さ／根茎の直径の比	測定 比 MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	真妻 伊づま 平成三号	
17		PQ G	根茎の表面の色（水ワサビ栽培の品種に限る）	Rhizome: color of skin (only for varieties of hydroponic culture)	水わさび栽培における根茎の表面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6	淡緑 緑 濃緑 淡緑褐 緑褐 濃緑褐	light green green dark green light green brown green brown dark green brown	 ふじだるま 天城にしき 真妻、伊づま	
18		PQ	根茎の表面の色（畑ワサビ栽培の品種に限る）	Field trials only: Rhizome: color of skin (only for varieties of soil culture)	畑わさび栽培における根茎の表皮の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6	淡緑 緑 淡褐 褐 淡赤紫 赤紫	light green green light brown brown light red purple red purple	 島根 3 号	
19		QL	根茎の肉質部のアントシアニン着色の有無	Rhizome: anthocyanin coloration on flesh	根茎の肉質部(縦断面)のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	 真妻	
20		QN	根茎の肉質部の色の濃淡	Rhizome: intensity of color of flesh	根茎の肉質部(縦断面)の色の強弱	観察 VG	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	伊づま	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21		QN (+) G	根茎のすりおろし時の緑色の濃淡	Rhizome: intensity of green color of grated rhizome	根茎の中位部をすりおろした時の緑色の濃淡	観察 VG	1 2 3 4 5	極淡 淡 中 濃 極濃	very light light medium dark very dark	伊づま 真妻 あまぎみどり	
22		QN	根茎のすりおろし時の辛みの強弱	Rhizome: intensity of pungent of grated rhizome	根茎の中位部をすりおろした時の辛みの強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	伊づま 真妻	
23		QN	根茎のすりおろし時の硬さの強弱	Rhizome: intensity of firmness of grated rhizome	根茎の中位部をすりおろした時の硬さの強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	弱 やや弱 中 やや強 強	weak weak to medium medium medium to strong strong	伊づま 天城にしき 真妻 あまぎみどり	
24		QN (+)	根茎の根の多少	Rhizome: number of roots	根茎に発生する側根の多少	観察 VG	1 2 3 4 5	少 やや少 中 やや多 多	few few to medium medium medium to many many	天城にしき	
25		QN	開花期	Time of flowering	50%の株が開花始期に達した時期	測定月日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1　草姿　　Char.1　　Plant: growth habit



1
直立
erect



2
直立～反直立
erect to semi erect



3
半直立
semi erect



4
反直立～開張
semi erect to spreading

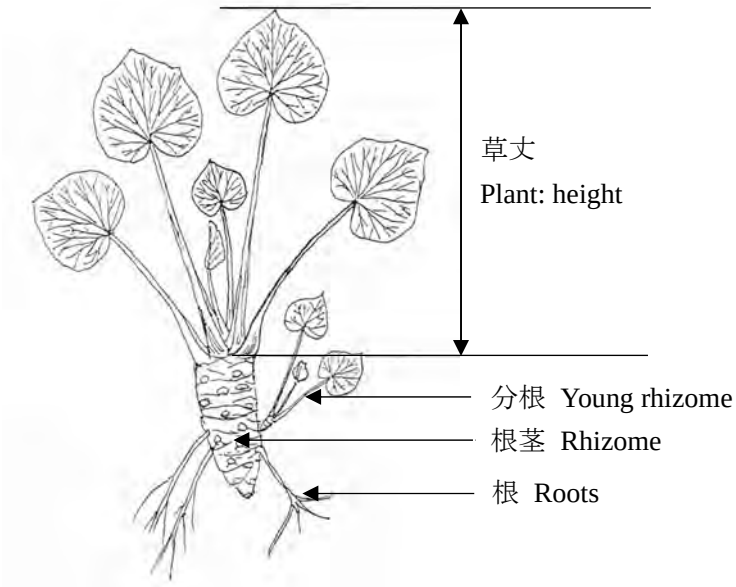


5
開張
spreading

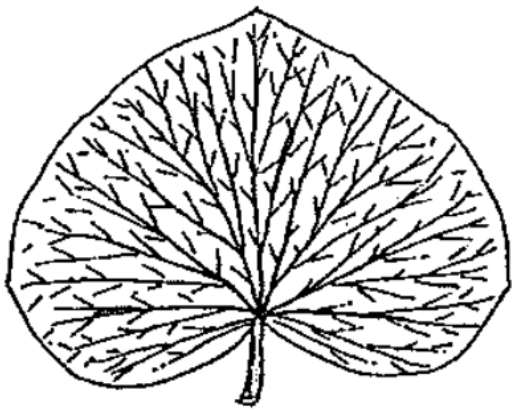
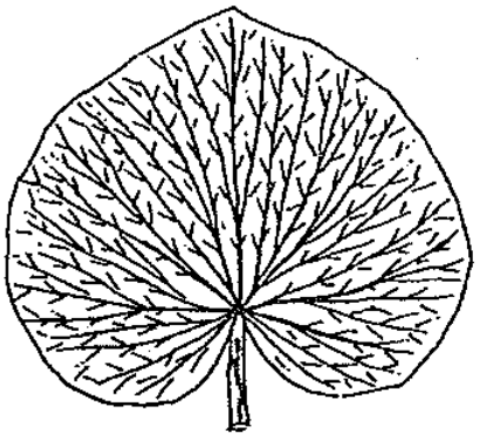
形質 2　草丈　　Char.2　Plant: height

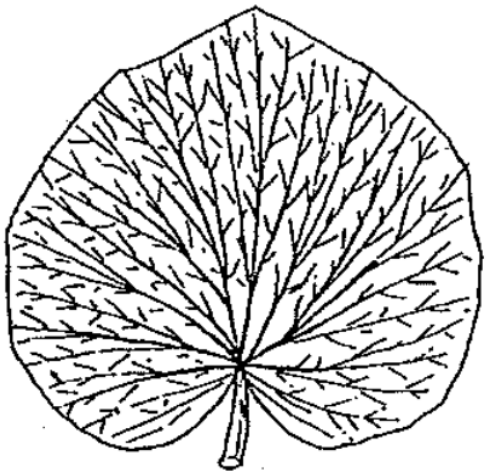
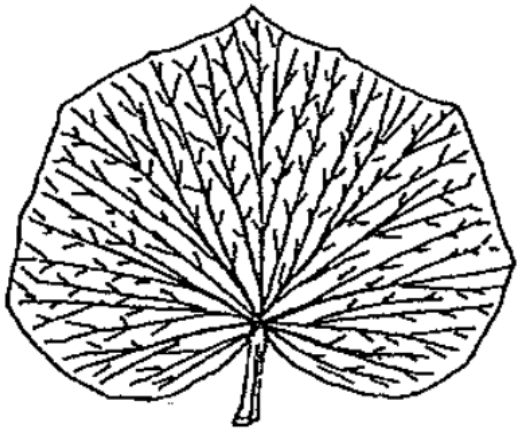
形質 3　分根の多少　　Char.3　Plant: number of young rhizome

形質 24　根茎の根の多少　　Char.24　Rhizome: number of roots



形質 5　葉身の形　　Char.5　Plant: shape of leaf blade

	
1	2
倒心臓系	やや丸形
obcordate	semi-round

	
3	4
丸形	五角形
obcordate	pentagon

形質 6　葉身の先端部の形　　Char.6　　Leaf blade: shape of apex



2
鈍形
obtuse



3
広鈍形
broad obtuse



4
円形
rounded

形質 7　葉身の基部裂片の深さ　　Char.7　　Leaf blade: depth of lobes



1
浅
shallow



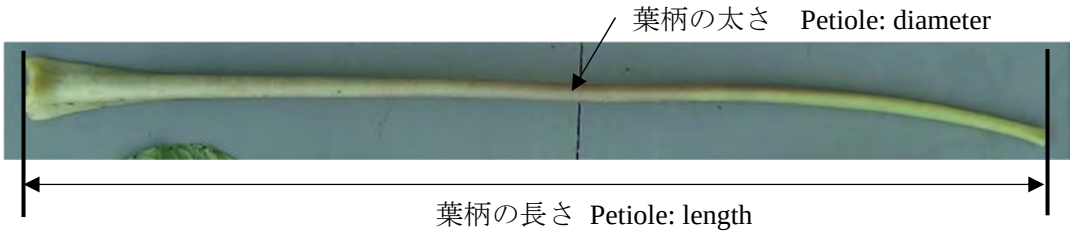
3
中
medium



5
深
deep

形質 10　葉柄の長さ　　Char.10　Petiole: length

形質 11　葉柄の太さ　　Char.11　Petiole: diameter



形質 12　葉柄の基部のアントシアニン着色の強弱

Char.12　Petiole: intensity of anthocyanin coloration on base



1
無又は極弱
absent of very weak



2
弱
weak



3
中
medium

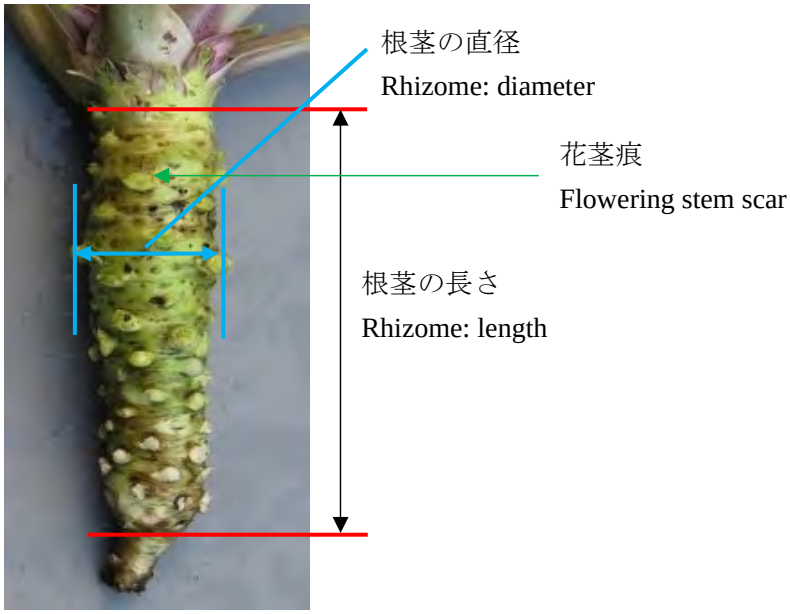


4
強
strong



5
極強
very strong

形質 13　根茎の花茎痕　　Char.13　Rhizome: number of flowering stem scar
形質 14　根茎の長さ　　Char.14　Rhizome: length
形質 15　根茎の直径　　Char.15　Rhizome: diameter



形質 21　根茎のすりおろし時の緑色の濃淡
Char.21　Rhizome: intensity of green color of grated rhizome



2
淡
light



3
中
weak



4
濃
medium

根茎のすりおろしは、目の細かいステンレス製のおろし器(ワサビ用おろし器推奨)により、根茎の表皮は除かずにすりおろして評価する。
The paste of rhizome should be grated with a fine-grained stainless-steel grater (wasabi grater is recommended) without removing the skin of the rhizome.

形質 22　根茎のすりおろし時の辛みの強弱
Char.22　Rhizome: intensity of pungent of grated rhizome

根茎の中位部を包丁で横に切断し、ワサビ専用おろし金を用いて、表皮は剥かずに切断面から、ゆっくりと円を描くように、小さじ１杯程度（約５g）の量をすりおろす。すりおろし終了から 2 分経過後、少量のペーストの辛みの程度を標準品種と相対比較する。
Cut off the middle part of the rhizome horizontally with a kitchen knife and use a special wasabi grater to grate about 1 teaspoon (about 5 g) from the cutting surface in a slow circular motion without peeling off the skin. 2 minutes after the end of grating, take a few pastes and compare it with the pungent of the example variety.

形質 23　根茎のすりおろし時の硬さの強弱
Char.23　Rhizome: intensity of firmness of grated rhizome

根茎の中間部を包丁で横に切断し、ワサビ専用おろし金を用いて、表皮は剥かずに切断面から、ゆっくりと円を描くように、小さじ１杯程度（約５g）の量をすりおろす。すりおろしている途中のペーストのまとまり、おろした後のペーストの伸び等の状態を標準品種と相対比較する。
Cut off the middle part of the rhizome horizontally with a kitchen knife and use a special wasabi grater to grate about 1 teaspoon (about 5 g) from the cutting surface in a slow circular motion without peeling off the skin. The condition of the paste during grating and the elasticity of the paste after grating are compared with the example variety.

資料 1-3-6

2026年　月

まいたけ

Hen of the Woods
(*Grifola frondosa* (Dicks.) Gray)

(案)

まいたけ種審査基準

I. 審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、タマチョレイタケ目（Polyporales）マイタケ科（Grifolaceae）マイタケ属（*Grifola* Gray）の、マイタケ種（*Grifola frondosa* (Dicks.) Gray ）の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗（Material Required）

i）種苗の形態 寒天培地に生育させた二核菌糸体

ii）提出時期　審査当局が指定する時期

iii）数量　試験管 3 本

iv）提出する種苗は、雑菌に汚染されていないものであること。

v）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き、薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし処理が行われている場合は、その処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施（Conduct of Tests）

i）栽培条件　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する（参考を参照）。

ii）最低供試培地数　36 菌床（12 菌床×3 反復）

iii）栽培期間　2 生育周期

ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は、2 生育周期目を省略することができる。（出願品種と対照品種が対峙培養において帯線の形成が認められない場合は、特性の違いが十分に一貫していることを確認するために 2 回目を実施する。）

iv）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、標準的な 36 菌床から標準的な子実体株 24 個体（菌さんに関しては 1 子実体株から各 3 枚）を選定して調査する。均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、菌糸、菌そうは、PDA 培地において二核菌糸体の小片を 25±1 ℃で暗培養したものを指定された時期に調査する。子実体株については、収穫期（菌さん裏の管孔が縁から 2-3 mm 程度まで形成された時期）に行う。

v）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV. 判定基準 （Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS.）審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数 36 の場合は、許容される異形個体数は 2 である。

V.グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

i）菌さんの形状（形質 12）

ii）菌さんの縦断面の形 （形質 14）

iii）菌さんの表面の主な色 （形質 15）

iv）菌さんの表面の環紋の形状 （形質 16）

VI. 特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
（+）：VIII.に特性表の説明図等を示す
MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質： 原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質： 種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。
状態区分： 質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN (+)	菌糸密度	Colony: density of hyphae on the medium	寒天培地上の菌糸の粗密	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	大雪華の舞 1 号 森51号、雪国舞14号 KM-2、チクマッシュ CM-6	
2		QN (+)	気中菌糸の発達状態	Development of aerial hyphae	寒天培地上で生長した気中菌糸の発達状態	観察 VG (a)	3 5 7	少 中 多	few medium many	 森 51 号、大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ CM-6 雪国舞 14 号	
3		PQ (+)	菌そうの周縁部の形状	Shape of colony periphery	寒天培地上で生長した菌そう周縁部の形状	観察 VG (a)	1 2	均質 不均質	homogeneous heterogeneous	森 51 号、KM-2、チクマッシュ CM-6、雪国舞 14 号 大雪華の舞 1 号	
4		QN (+)	菌そうの厚さ	Thickness of colony	寒天培地上で生長した菌そうの厚さ	観察 VG (a)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	雪国舞 14 号 森 51 号 大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ CM-6	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5		QL (+)	菌そうの表面の形状	Shape of colony surface	寒天培地上で生長した菌そう表面の形状	観察 VG (a)	1 2	平滑 島しょ状	smooth island	森 51 号、大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ CM-6、雪国舞 14 号	
6		QL (+)	菌そう表面の着色の有無	Tinting of colony surface	寒天培地上で生長した菌そうの表面の着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	大雪華の舞 1 号、KM-2、雪国舞 14 号 森 51 号、チクマッシュ CM-6	
7		QL (+)	菌そう裏面の着色の有無	Tinting of reverse side of colony	寒天培地上で生長した菌そうの裏面の着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	大雪華の舞 1 号、雪国舞 14 号 森 51 号、KM-2、チクマッシュ CM-6	
8		QN (+)	菌糸体の生長最適温度	Hyphae: optimum temperature for growth	寒天培地上で菌糸が最も良く生長する温度帯	測定 ℃ MS (b)	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	大雪華の舞 1 号 森 51 号、KM-2、チクマッシュ CM-6、雪国舞 14 号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
9		QN (+)	子実体株の径	Fruit-body: Diameter of a cluster of caps on a bag	1菌床から発生した子実体株の平均径	測定 cm MS (c)	1	極小	very small		
							2	かなり小	very small to small		
							3	小	small		
							4	やや小	small to medium	大雪華の舞1号、KM-2、チクマッシュ CM-6	
							5	中	medium	森51号、雪国舞14号	
							6	やや大	medium to large		
							7	大	large		
							8	かなり大	large to very large		
							9	極大	very large		
10		QN (+)	菌さんの直径	Cap: diameter	菌さんの直径（最大幅部）	測定 mm MS (c)	1	極小	very small		
							2	かなり小	very small to small		
							3	小	small		
							4	やや小	small to medium	KM-2、チクマッシュ CM-6	
							5	中	medium	森51号、大雪華の舞1号、雪国舞14号	
							6	やや大	medium to large		
							7	大	large		
							8	かなり大	large to very large		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							9	極大	very large		
11		QN (+)	菌さんの厚さ	Cap: thickness	菌さんの最大の厚さ	測定 mm MS (c)	1	極薄	very thin		
							2	かなり薄	very thin to thin		
							3	薄	thin		
							4	やや薄	thin to medium		
							5	中	medium	森 51 号、雪国舞 14 号	
							6	やや厚	medium to thick	KM-2、チクマッシュ CM-6	
							7	厚	thick	大雪華の舞 1 号	
							8	かなり厚	thick to very thick		
							9	極厚	very thick		
12		PQ (+) G	菌さんの形状	Cap: Shape	菌さんの形状	観察 VG (c)	1	扇状	fan	森 51 号、大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ CM-6、雪国舞 14 号	
							2	ロート状	funnel		
							3	針状	spine		
13		QN (+)	菌さんの縁部の切れ込み	Notch of cap periphery	菌さんの縁部の切れ込み	観察 VG (c)	1	無	absent	森 51 号、大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
							9	有	present	CM-6、雪国舞 14 号	
14		PQ (+) G	菌さんの縦断面の形	Cap: shape of vertical section	成熟時の菌さんの曲がりの程度	観察 VG (c)	1 2 3 4	上方向 水平 下方45度 下方直角	above level 45 lower parts lower parts right angle	KM-2 森 51 号、大雪華の舞 1 号、雪国舞 14 号 チクマッシュ CM-6	
15		PQ G (+)	菌さんの表面の主な色	Cap: main color of surface	菌さん上面の中央部の地色	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	白色 灰白色 濃灰色 褐色 濃褐色	white gray white dark gray brown dark brown	雪国舞 14 号 チクマッシュ CM-6 森 51 号、大雪華の舞 1 号、KM-2	
16		PQ (+) G	菌さんの表面の環紋の形状	Shape of the zonate spot on the cap surface	菌さんの表面の環紋の形状	観察 VG (c)	1 2 3	無 周縁部	absent peripheral part peripheral circles	森 51 号、KM-2、雪国舞 14 号 大雪華の舞 1 号、チクマッシュ CM-6	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
								周縁部内側	site		
17		QN (+)	管孔発達の部位	Development part of pore	管孔の発達部位	観察 VG (e)	3 5 7	菌さん先端 菌さん全体 菌柄付近まで	tip of cap whole of cap stalk from cap	森 51 号、大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ CM-6、雪国舞 14 号	
18		QN (+)	子実体株基部の硬さ	Cap: Firmness of base of cluster	子実体株基部の硬さ	測定 MS (e)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軟 かなり軟 軟 かなり軟 中 やや硬 硬 かなり硬 極硬	very soft very soft to soft soft soft to medium medium medium to hard hard hard to very hard very hard	雪国舞 14 号 森 51 号、大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ CM-6	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
19		QN	子実体株の平均重量	Fruit body: fresh weight at harvest maturity	1株あたりの平均生重量	測定 g MS (e)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very light very light to light light light to medium medium medium to heavy heavy heavy to very heavy very heavy	 チクマッシュ CM-6 大雪華の舞 1 号 森 51 号、KM-2、 雪国舞 14 号	
20		PQ (+) G	培養菌床の表面被（皮）膜の色	Tinting of mycelial block of the surface of bag-culture	培養菌床の表面被（皮）膜の着色の面積	観察 VG (d)	1 2 3	無又は少 中 多	absent or few medium many	雪国舞 14 号 大雪華の舞 1 号、KM-2、チクマッシュ CM-6 森 51 号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
21		QNG	原基形成までの期間	Period from inoculation to primordial formation	種菌接種から原基が隆起するまでの期間	観察/測定日 VG/MS	1 2 3 4 5 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium long long to very long very long	チクマッシュ CM-6、雪国舞 14号 KM-2 森51号 大雪華の舞 1 号	
22		QNG	発生最盛期までの期間	Period from inoculation to harvest	種菌接種から収穫適期までの期間	観察/測定日 VG/MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	KM-2、雪国舞 14 号 森 51 号、チクマッシュ CM-6 大雪華の舞 1 号	

VIII. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

i)　特性の概要説明

（a）菌そう周縁部の形、厚さ、表面及び裏面の着色、形状
：純粋培養基による観察を行う。
・培養基　　：PDA（Difco Labolatories, Detroit, Michigan, USA）
・シャーレ　：内径 90 mm、高さ 15～20 mm（プラスチック製）
・培養条件　：後述VIII ii詳細参照
・シャーレ数：1 区 5 枚以上

（b）菌糸体（菌糸生長量）：純粋培養基による測定を行う。
・培養基　　：PDA
・シャーレ　：内径 90 mm、高さ 15～20 mm（プラスチック製）
・培養条件　：後述VIII.ii詳細参照
・シャーレ数：1 区 7 枚以上

（c）菌さん
標準的な菌さんは、菌さん裏の管孔が縁から 2～3 mm 程度まで形成された時期のものとする。（各部の名称は図 1 を参照）。

（d）培養菌床の表面被（皮）膜
標準的な培養菌床の表面被（皮）膜は、発生操作時のものとする。

（e）子実体株
標準的な子実体株の特性は菌さん裏の管孔が縁から 2～3 mm 程度まで形成された時期のものとする。（各部の名称は図 1 を参照）。

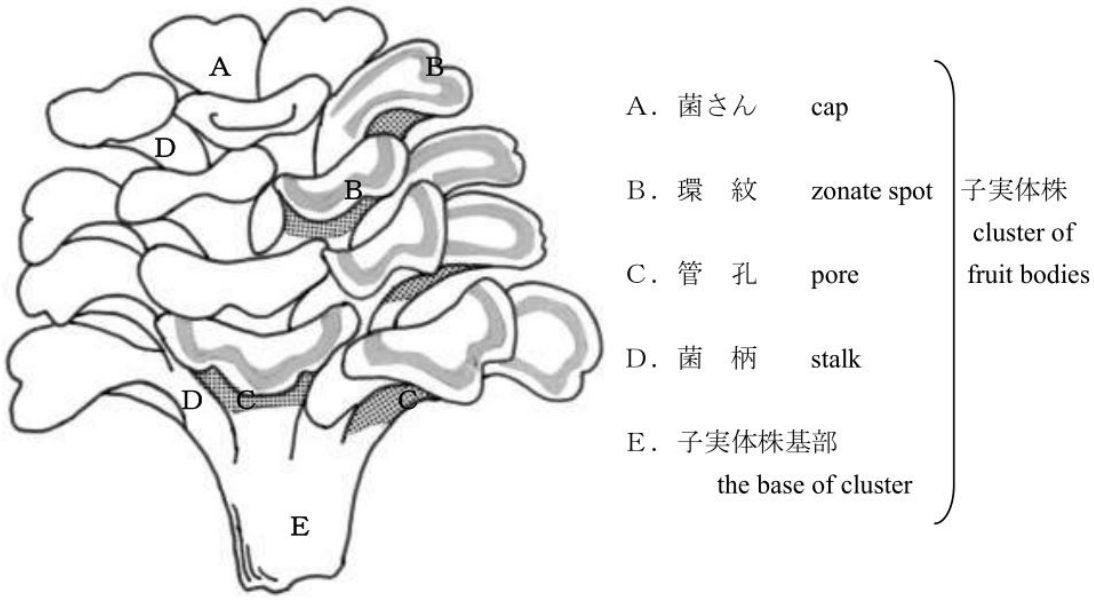


図 1　子実体株および子実体の各部分の名称
Fig. 1 Name of parts of a fruit body for measurement and observation

ii)　特性表の説明

形質 1　菌糸密度　Char. 1: Colony: Density of hyphae on the medium

PDA 培地を使用する。

常法（121 ℃、15 分）により滅菌し、シャーレ（内径 90 mm、高さ 15～20 mm）に 20 mL 程度分注して作製した平面培地の中央部に、別に供試培地で培養した二核菌糸体の小片（直径 5 mm 程度、20～25 ℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80 %程度生長した時）をコルクボーラーで打ち抜いて接種する（コルクボーラーで打ち抜く箇所は、図 5 写真参照）。

25±1 ℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80 % 程度生長した時に調査する。供試数は各区シャーレ 5 枚以上とする。



図 2　菌糸密度　Fig. 2 Colony: density of hyphae on the medium

形質 2　気中菌糸の発達状態　Char. 2: Development of aerial hyphae
形質 3　菌そうの周縁部の形状　Char. 3: Shape of colony periphery
形質 4　菌そうの厚さ　Char. 4: Thickness of colony
形質 5　菌そうの表面の形状　Char. 5: Shape of colony surface
形質 6　菌そう表面の着色の有無　Char. 6: Tinting of colony surface

PDA 培地を使用する。

常法（121 ℃、15 分）により滅菌し、シャーレ（内径 90 mm、高さ 15～20 mm）に 20mL 程度分注して作製した平面培地の中央部付近に、別に供試培地で培養した二核菌糸体の小片（直径 5 mm 程度、20～25 ℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80 %程度生長した時）をコルクボーラーで打ち抜いて接種する（コルクボーラーで打ち抜く箇所は、図 5 写真参照）。

25±1 ℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80 %程度生長した時から、常時光照射下で 14 日間～21 日間追培養した後、「菌そう表面の着色の有無」及び「菌そう裏面の着色の有無」について観察する。供試数は各区シャーレ 5 枚以上とする。

なお、光源・光量は、1～3 μmol･$^{m-2\cdot s-1}$　程度（80～100 lux 程度）とする。

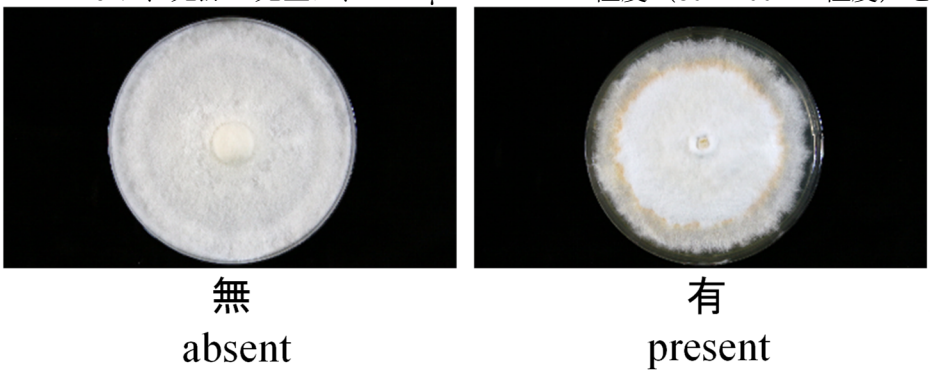


図 3　菌そう表面の着色の有無　Fig. 3 Tinting of colony surface

形質 7　菌そう裏面の着色の有無　Char.7: Tinting of reverse side of colony

培養方法は形質 6「菌そう表面の着色の有無」と同様とする。

また、接種源は着色しやすいことから、接種源を除く菌糸体部分の着色の有無を判断する。

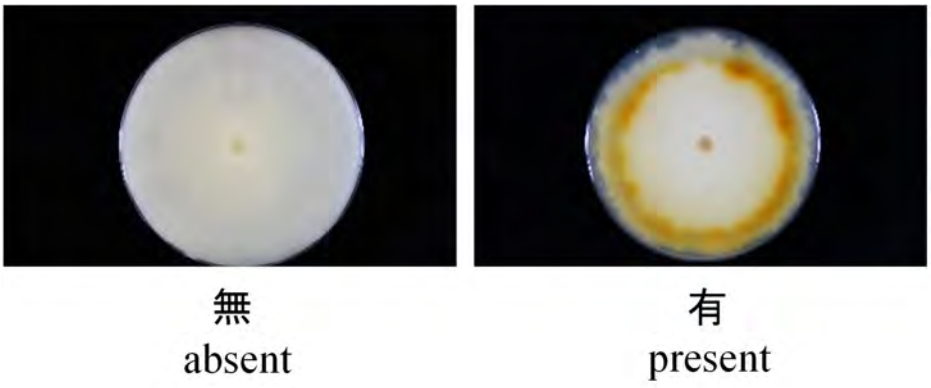


図 4　菌そう裏面の着色の有無　Fig. 4 Tinting of reverse side of colony

形質 8　菌糸体の生長最適温度　Char. 8: Colony: optimum temperature for growth

PDA 培地を使用する。

常法（121℃、15 分）により滅菌し、シャーレ（内径 90 mm、高さ 15～20 mm）に 20 mL 程度分注して作製した平面培地の中央部付近に、別に供試培地で培養した二核菌糸体の小片（直径 5 mm 程度、20～25 ℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80 %程度生長した時）をコルクボーラーで打ち抜いて接種する。

25±1 ℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 10 mm 程度まで生長した時から、接種した切片部の中心を通るようにシャーレ裏に十字の印を書き入れ、各設定温度（22 ℃、24 ℃、26 ℃、28 ℃および 30 ℃）のインキュベーターに移し、48 時間後に十字線上にある菌糸先端 4 箇所をマークする。マーク後、各設定温度のインキュベーターに戻し、さらに培養を継続する。菌糸がシャーレ上に 80～90 %程度まで生長した時点で、測定終了時の目印を十字線上の菌糸先端 4 箇所にマークする。

各シャーレの菌糸生長量は、十字線上にマークした 2 点間の距離を計測して求めた 4 データの平均として求め、生長に要した時間を基に、1 日当たりに換算する。その後、1 日あたりの菌糸生長量を算出した各シャーレの数値の最大値、最小値を除いた 各区 5 枚以上の平均値から算出する。そのため、最低供試数は 1 区 7 枚以上とする。生長最適温度は、各区の 1 日当たりの生長量を用いて生長曲線（二次曲線）を描いて算出する。

※　インキュベーターで培養する際は、シャーレ 7 枚をビニール袋に入れるなどして温度差が生じないように留意する（写真参照）。



図 5　菌糸体培養の様子と接種源使用部位　Fig. 5 Mycelial culture and inoculum use site

※　調査には、各品種の菌糸の状態を揃えたものを供試する。

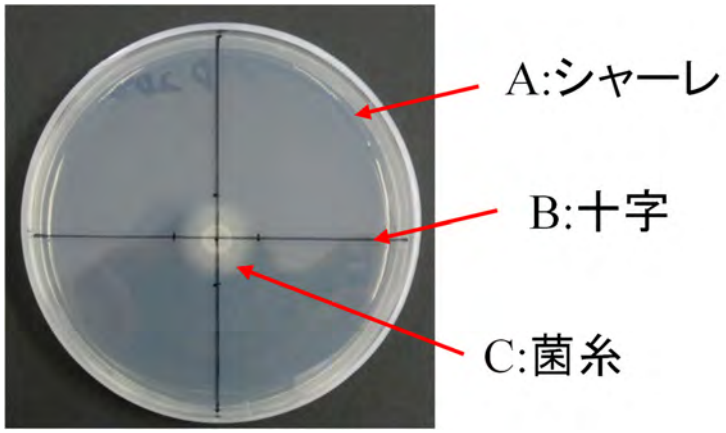
上図のように、菌糸がシャーレの直径の 70～80 %程度生長した状態（シャーレ上で菌糸が蔓延していない状態）の菌株から、菌糸の先端より 5 mm 程度内側を最外とした円状に一列に打ち抜いたものを供試する。

なお、打ち抜いた小片は、菌糸が上向きになるようにシャーレに接種する。

●菌糸生長量の測定方法

① シャーレにコルクボーラーで打ち抜いた切片を接種し、菌糸体（コロニー）の直径が 10 mm 程度まで生長した後、シャーレの裏にシャーレの中心で直交する十字の印を入れる。

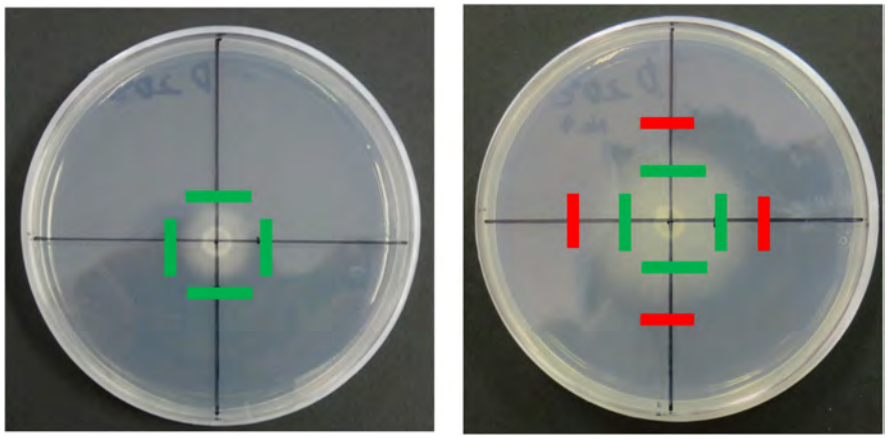
A：シャーレ



② シャーレを 22 ℃、24 ℃、26 ℃、28 ℃および 30 ℃の各温度に設定したインキュベーターに移動する。

③ 移動から 48 時間後、十字線上にある菌糸先端 4 箇所をマークする。（ ―― ）

④ マーク後、各設定温度のインキュベーターに戻し、さらにシャーレの直径の 70～80 %程度生長した状態まで培養し、十字線上にある菌糸先端 4 箇所をマークする。（ ―― ）



⑤ 4 箇所の 2 点のマーカー間の長さをノギスでそれぞれ測定する。

⑥ 4 箇所（赤線―緑線）の平均生長量を算出し、生長に要した経過時間を基に 1 日あたりの生長量を算出する（これがシャーレ 1 枚あたりの平均生長量となる）。
設定温度ごとに 5 枚以上のシャーレの菌糸生長データ（最大と最小の生長量を示したシャーレを除いたデータ）を使用して、各温度における平均生長量を算出する。
生長最適温度は、22 ℃、24 ℃、26 ℃、28 ℃及び 30 ℃の 1 日当たりの生長量で生長曲線（二次曲線）を描いて判定する。
各温度区の菌糸生長量に関しては提出するデータに記載し、生長曲線の図には計算の根拠（近似曲線の計算式など）を示す（図 6 参照）。
なお、前後の温度帯の生長量と比較し異常な数値となった場合は、当該温度帯の測定をやり直すこととする。

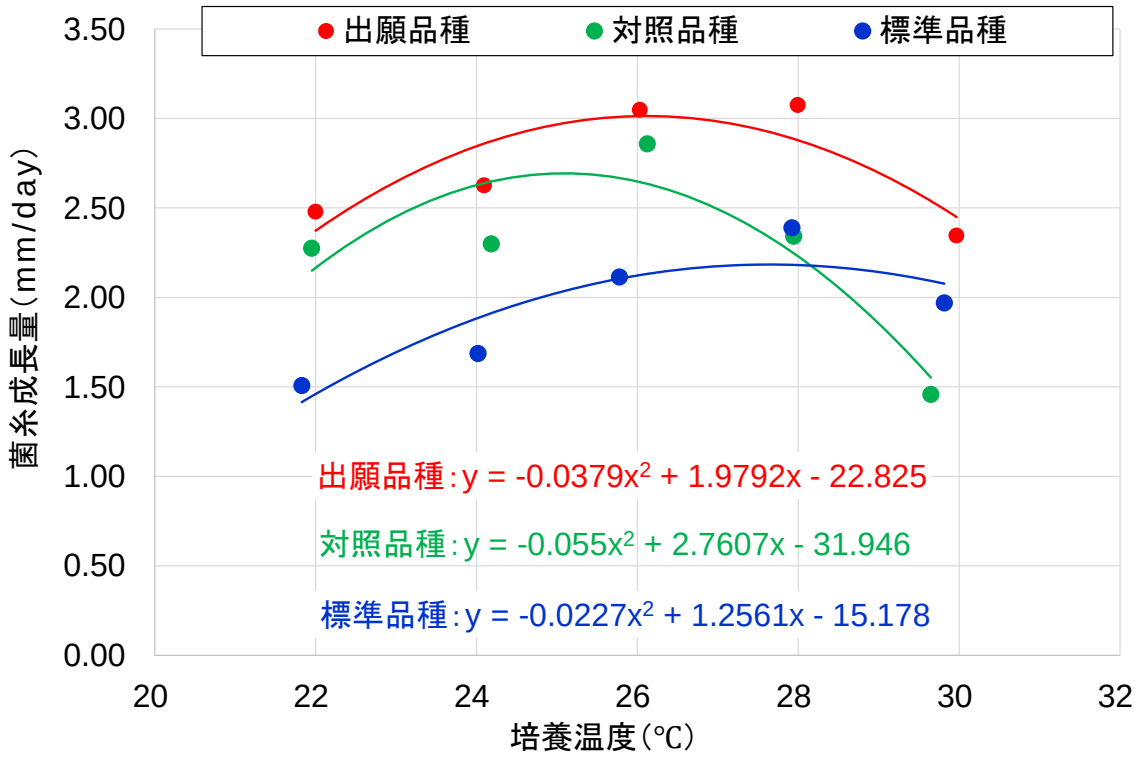


図 6　菌糸生長曲線　Fig. 6: mycelial growth curve

形質 9　子実体株の径　Char. 9: Fruit - body: Diameter of a cluster of caps on a bag

収穫時の標準的な子実体株の中心で交差する十字線の長径と短径を計測し、平均値〔（長径＋短径）／2〕を求める。

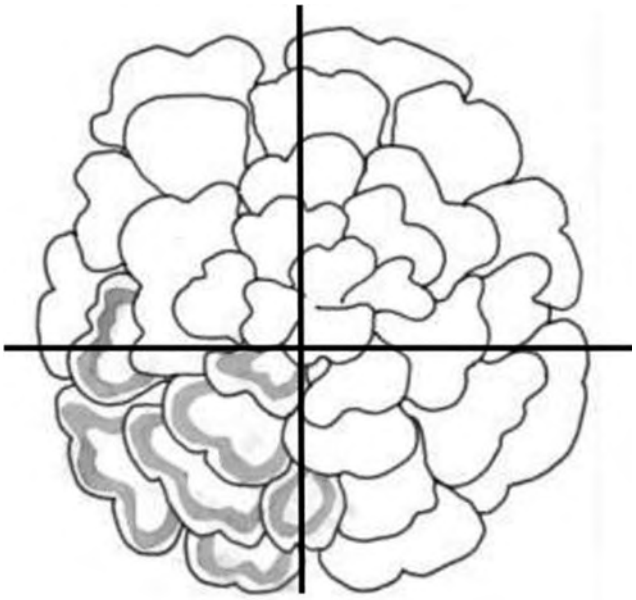


図 7　子実体株の測定部位　Fig. 7 Measurement site of the fruit body

形質 10　菌さんの直径　Char.10: Cap: diameter

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）から標準的な 72 個体（各 3 枚／株）の菌さんを選び、図 8 を基に直径の最も長い部分を測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較する。

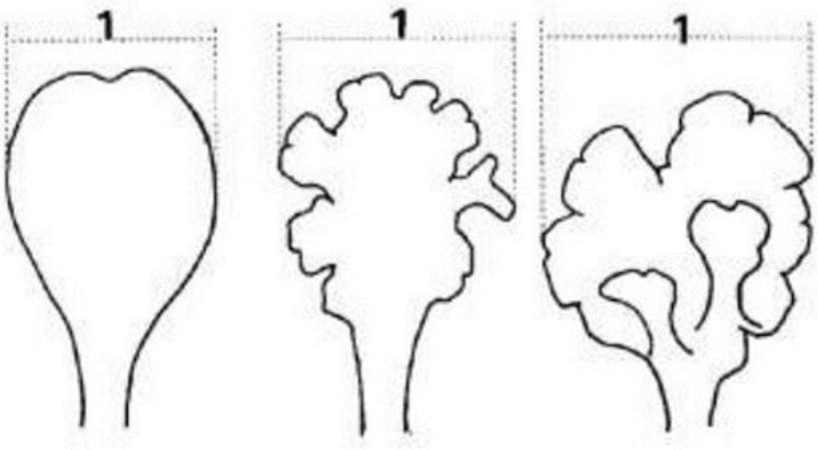


図 8　菌さんの直径　Fig. 8 Cap: diameter

形質 11 菌さんの厚さ　Char.11:Cap: thickness

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）から標準的な 72 個体（各 3 枚／株）の菌さんを選び、図 9 を基に菌さんの厚さ（最も厚い部分）を測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較する。

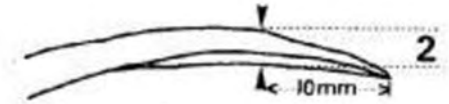


図9　菌さんの厚さ　Fig. 9 Cap: thickness

形質12　菌さんの形状　Char.12: Cap: shape

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）から標準的な 72 個体（各 3 枚／株）の菌さんを選び、図 10 を基に菌さんの形を観察で評価する。

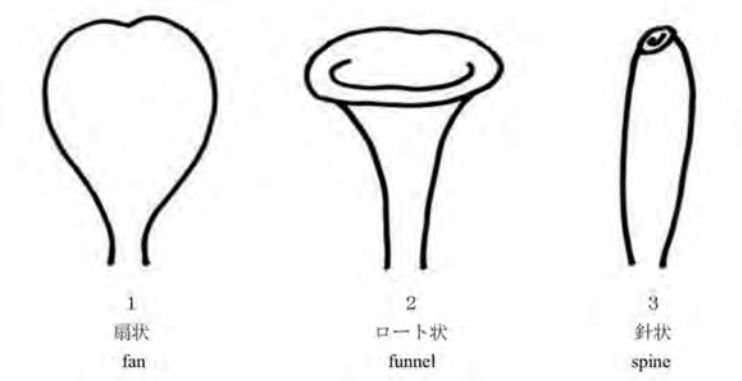


図10　菌さんの形状　Fig. 10 Cap: shape

形質 13　菌さんの縁部の切れ込み　Char.13: Notch of cap periphery

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）から標準的な 72 個体（各 3 枚／株）の菌さんを選び、図 11 を基に、菌さんの縁部の切れ込みを観察して評価する。

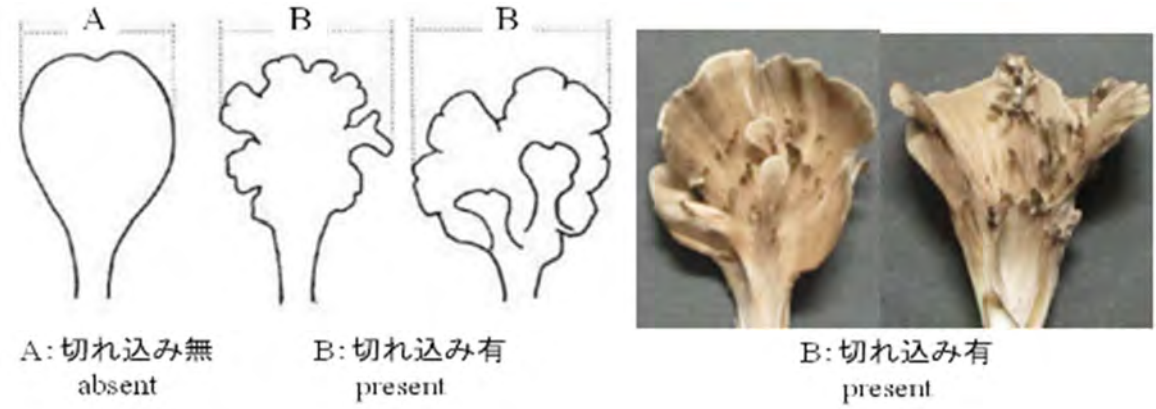


図11　菌さんの形状　Fig. 11 Cap: shape

形質 14　菌さんの縦断面の形　Char. 14: Observe a shape of vertical section of cap

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）から標準的な 72 個体（各 3 枚／株）の菌さんを選び、図 12 を基に、菌さんを縦に割った縦断面の形を観察し評価する。

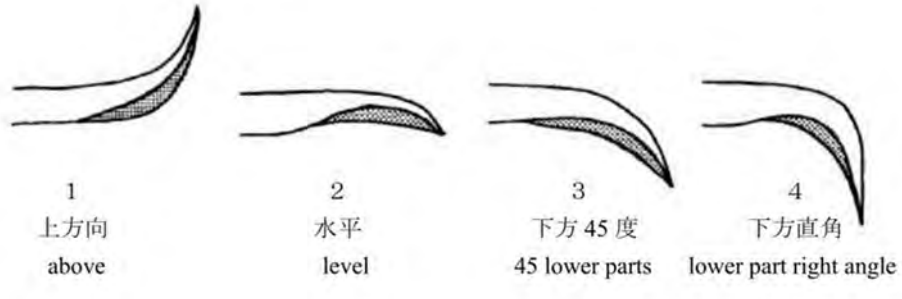


図12　菌さん断面の形　Fig 12 Observe a shape of vertical section of cap

形質 15　菌さんの表面の主な色　Char. 15:Cap: main color of surface

収穫時の標準的な子実体の菌さん表面の中央部（20 mm）の地色を観察する。

（参考）

1：白　　＝159C、162D

2：黄褐色＝164A、165B、166C、N199C、N199D

3：褐色　＝165A、177A、200A、200B、200C、200D、N199B、N200A

4：赤茶色＝166A、175A、176A、178A、183A、185A

5：灰褐色＝199A、199B、199C、199D、N199A

（評価は標準品種との相対比較が優先であり、カラーチャート№は参考扱いとする。）

形質 16　菌さん表面の環紋の形状　Char. 16: Shape of zonate spots on cap surface

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）から標準的な 72 個体（各 3 枚/株）の菌さんを選び、図 13 を基に、菌さんの表面の環紋の形状を観察し評価する。

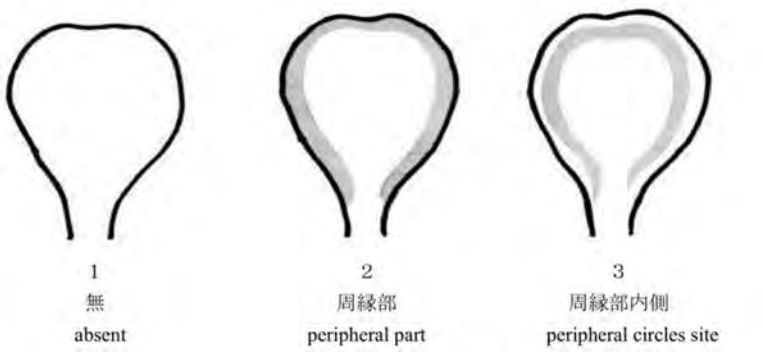


図13　菌さん断面の形　Fig 13 Shape of zonate spots on cap surface

形質 17　管孔発達の部位　Char. 17: Stipe: Cao:Development part of pore

収穫時の標準的な子実体株として選んだ24株（8株/反復）の管孔の発達部位を、図14を基に、観察し標準品種と評価する。

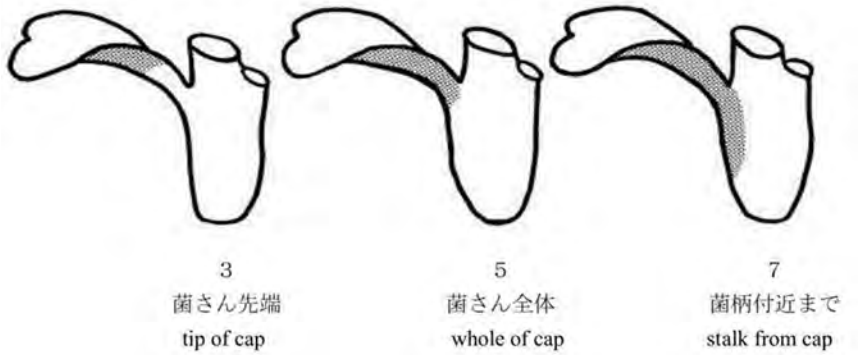


図14　管孔の発達の部位　Fig. 14 Stipe: Cao:Development part of pore

形質 18　子実体株基部の硬さ　Char.18: Hardness of fruiting body plant base

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）を縦方向に切り、子実体株基部の下から 3 cm 上方部分に計器（果実硬度計 1.0 Kg に円錐型先端チップを装着）を静かに押し当て、計測部位の反対側を指で支えながら測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較する。押し当てる部位は、計器に対して凹や凸にならない平面的部位にて測定する。



図15　子実体基部の硬さの測定

Fig. 15 Determination of hardness at the base of the fruiting body plant

形質 19　子実体株の平均重量　Char.19: Fruit body: fresh weight

収穫時の標準的な子実体株として選んだ 24 株（8 株/反復）を乾燥しないように留意して生重量を測定し、反復ごとに平均重量を求め、標準品種と比較する。

形質 20　培養菌床の表面被（皮）膜の色

Char.20: Tinting of mycelial block of the surface of bag-culture

発生操作時の菌床の表面被（皮）膜の色の有無（着色の程度）を観察する。



1	2	3
無又は少	中	多
absent or few	medium	many

図 16　培養菌床の表面被（皮）膜の色の有無

Fig. 16 Tinting of mycelial mat of the surface of bag-culture

「参考」

栽培方法（Cultivation Method）

菌床施設栽培によるものとする。

(容器)

栽培試験に用いる容器は、ポリプロピレン（PP）製栽培袋〔角形、容量 8,500-9,000 cc、口径約 200×120 mm、高さ約 440 mm、通気フィルター（通気孔径約 25 mm で 1 つ、1～5 sec/300 cc 程度の透気度）〕を使用する。

註：JIS P 8117:1998（透気度ガーレー試験機法を参照）

(培地組成)

培地基材には広葉樹おが粉（ブナ主体を推奨するが、入手困難な場合はナラ類・クヌギ等主体でも可）を使用する。栄養源には、培地乾物総重量で精撰フスマを 20 %、トウモロコシ糠を 10 %使用する。含水率（湿量基準）は 65 %とする。

註： おが屑粒度は平均 16 メッシュ（8 メッシュオン 10 %以下、32 メッシュパス 10 %以下）程度のものを用いる。

(培地充填重量)

フィルター付きのきのこ栽培専用袋を使用する。

培地を栽培袋に 2.5 kg 充填し、ボックス型（200 mm×120 mm×150 mm）に押圧した後、培地中央部に径 15～20 mm の穴を 2 か所開ける。袋口はクリップ・セロハンテープ等で仮止めする。

(殺菌)

殺菌は、培地内温度 110 ℃で 60 分の高圧殺菌を原則とするが、98 ℃で 4 時間以上の常圧殺菌も可とする。いずれも場合も培地内温度を測定し記録しておく。

(接種)

殺菌後、上記と同様の方法で培養した種菌を 1 袋あたり 20～25 cc 接種する。接種後は図 17 に示すように袋上部を折り込み、フィルター面が表になるようにして形を整える。

(培養管理)

培養温度は、22±1 ℃とする。湿度は、70～75 %（R.H.）を標準とする。照度は、100～200 lux（5 min/day）の条件下で行い、菌床全体に均等に光が照射されるように配置する。

※ LED の場合、光量子量測定にあたっては、各菌床に均等に照射されることが必要。
光量：1～3μmol・m^{-2}・s^{-1} 程度（80～100 lux 程度）。

二酸化炭素濃度は、2,000 ppm 以下で管理する。

※ 形質 20「培養菌床の表面被（皮）膜の色の有無」に関しては、照度 200～300 lux（常時照射）の条件での培養を行う。

※ 1 日の光照射時間を測定しておく。培養後期に光が当たらないと原基形成されない。

(発生操作)

培養室で原基の生長を促し、原基がフィルター部分に接触する程度まで生長した後、発生室へ移動する（図 18 参照）。その後、原基部分を傷付けないように図 19 のようにフィルター部分を取り去り、子実体株への生育を促す。

(発生管理)

発生管理は 17±1 ℃で行う。湿度は、90～95 %（R.H.）の範囲内での管理を標準とする。二酸化炭素濃度は、800 ppm 程度を標準とする。光照度は、蛍光灯で常時 300 lux 程度で行うことを標準とするが、品種ごとに適した方法に変更することができる。

(収穫方法)

収穫は、菌さん裏の管孔が縁から 2-3 mm 程度まで形成された時期に実施し、子実体株の基部に付着する培地を除去した後に計量する。



図 17　栽培袋の折り方　Fig. 17 Setup method of a cultivation bag

接種後の栽培袋を持ち（①）、フィルター面を下になるように折り返す（②）。
袋の口を、透過して見えるフィルター上部まで折り返す（③）。
③で折った部分をさらに半分に折り（④）、折ることで厚くなった部分を中心からフィルター方向と反対側へ 2 つに折る（⑤）。
折った部分が開かないように、⑥の指で挟んだ部分をセロハンテープなどで止める（⑥）。
フィルター面を表に向け、形を整える（⑦）。完成（⑧）。



図 18　発生操作時の原基形成
Fig. 18 Formation of primordia during operation for fruitng



図 19　フィルター除去のタイミング
Fig. 19 The timing to remove the filter

資料 1-3-7

2026 年　月

はたけしめじ種

Clustered Domecap

(*Lyophyllum decastes*（Fr.) Singer)

（案）

はたけしめじ種特性審査基準

I. 審査基準の対象 (Subject of these Guidelines)

この審査基準は、シメジ科（Lyophyllaceae）シメジ属（*Lyophyllum* P. Karst.）ハタケシメジ種（*L. decastes* (Fr.) Singer）の全ての品種に適用する。

Ⅱ. 提出種苗 (Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　寒天培地に生育させた二核菌糸体

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　試験管　3 本

ⅳ）提出する種苗は、雑菌に汚染されていないものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ. 試験の実施 (Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する（栽培方法を参照）。

ⅱ）最低供試培地数　36 菌床（12 菌床×3 反復）

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期。

ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は、2 生育周期目を省略することができる。（出願品種と対照品種が対峙培養（供試数はシャーレ 3 枚以上とする。）において帯線の形成が認められない場合は、特性の違いが十分に一貫していることを確認するために 2 回目を実施する。）

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、標準的な 36 菌床から、標準的な子実体 36 個体を選定して調査する。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号(a)、(b)に示された時期に行う。

(a)　菌糸､菌そうは､PDA 培地において二核菌糸体の小片を 25±1℃で暗培養したものを指定された時期に調査する。

(b)　子実体（菌柄、菌さん、子実層たく）は、菌さんが 80～90％の開いた時期に調査する。

特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ. 判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数 36 の場合は、許容される異型個体数は 2 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

ⅰ）菌さんの縦断面の形（形質 7）

ⅱ）菌さんの中心部の色（形質 11）

ⅲ）菌柄の形（形質 20）

Ⅵ. 特性表で使用する記号の説明

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：疑似の質的形質

(+)：Ⅷ.に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）（ ）は参考品種	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN (+)	菌糸密度	Colony: density of hyphae on the medium	寒天培地上の菌糸の粗密	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
2		QL (+)	菌そう表面の着色の有無	Colony: tinting of surface on the medium	寒天培地上で生長した菌そうの表面の着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
3		QL (+)	菌そう裏面の着色の有無	Colony: tinting of reverse side on the medium	寒天培地上で生長した菌そうの裏面の着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
4		PQ (+)	菌そう表面の状態	Colony: surface condition	寒天培地上で生長した菌そうの表面の形状	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6	極平滑 かなり平滑 平滑 やや島しょう状 島しょう状 極島しょう状	very smooth very smooth to smooth smooth smooth to insular insular very insular		
5		QL (+)	菌そう周縁部の状態	Colony: periphery condition	寒天培地上で生長した菌そうの表面の周縁部の形状	観察 VG (a)	1 2	均一 不均一	uniform non-uniform		
6		QN (+)	菌糸体の生長最適温度	Colony: optimum temperature for growth	寒天培地上で菌糸が最も良く生長する温度帯	測定 ℃ MS (a)	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high		
7		PQ G (+)	菌さんの縦断面の形	Cap: shape of vertical section	菌さんの縦断面の形	観察 VG (b)	1 2 3 4	凹形 平形 丸山形 凸形	concave flat round convex		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.) ( )は参考品種	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8		QN (+)	菌さんの直径	Cap: diameter	収穫時の菌さんの直径(最大幅部)	測定 mm MS (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
9		QN (+)	菌さんの厚さ	Cap: thickness	収穫時の菌さんの厚さ(最厚部)	測定 mm MS (b)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		
10		QN	菌さんの直径／厚さ	Cap: ratio of diameter / thickness	収穫時の菌さんの直径／菌さんの厚さ	測定 比 MS (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large		
11		PQ G (+)	菌さんの中心部の色	Cap: color of central part	収穫時の菌さん上面の中央部の色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6	白 黄白 灰 淡褐 褐 濃褐	white yellow white gray light brown brown dark brown		
12		PQ (+)	菌さんの周縁部の色	Cap: color of marginal part	収穫時の菌さん上面の周縁部の色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6	白 黄白 灰 淡褐 褐 濃褐	white yellow white gray light brown brown dark brown		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.) ( )は参考品種	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13		QN (+)	菌さんの硬さ	Cap: firmness	収穫時の菌さんの中間部の硬さ	測定 MS (b)	3 5 7	軟 中 硬	soft medium solid		
14		QL (+)	ひだの形	Gill: shape	収穫時のひだ(子実層たく)の形	観察 VG (b)	1 2	離柄形 着柄形	separate from stipe attached to stipe		
15		QL (+)	ひだの並び方	Gill: arrangement	収穫時のひだ(子実層たく)の放射状態	観察 VG (b)	1 2	直 ちぢれ	straight frizz		2 0
16		QN (+)	ひだの高さ	Gill: height	収穫時のひだ(子実層たく)の最大高	測定 mm MS (b)	3 5 7	低 中 高	low medium high		
17		QN (+)	ひだの密度	Gill: density	収穫時のひだ(子実層たく)の粗密	観察 VG (b)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		2 3
18		PQ (+)	ひだの色	Gill: color	収穫時のひだ(子実層たく)の色	観察 VG (b)	1 2 3 4	白 クリーム 淡褐黄 淡黄	white cream light brown yellow light yellow		
19		PQ (+)	菌柄へのつき方	Stipe: attachment for cap	収穫時のひだ(子実層たく)の菌柄への付き方	観察 VG (b)	1 2 3	湾生 直生 垂生	gulf life straight growth perpendicular		
20		PQ (+) G	菌柄の形	Stipe shape in vertical section	収穫時の菌柄の縦断面の形	観察 VG (b)	1 2	直幹 とっくり型	straight upturned		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.) ( )は参考品種	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21		QN (+)	菌柄の長さ	Stipe: length	収穫時の菌柄の基部から菌さんの基部までの長さ	測定 mm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
22		QN (+)	菌柄の太さ	Stipe: diameter	収穫時の菌柄の最大径	測定 mm MS (b)	3 5 7	細 中 太	thin medium thick		
23		QN (+)	菌柄の硬さ	Stipe: firmness	収穫時の菌柄の中間部の硬さ	測定 MS (b)	3 5 7	軟 中 硬	soft medium solid		
24		QN (+)	菌さんの直径の菌柄の長さに対する比	Fruit body: ratio of cap diameter / stipe length	収穫時の菌さんの直径／菌柄の長さ	測定 比 MS (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large		
25		PQ (+)	菌柄の主な色	Stipe: main color	収穫時の菌柄の地色	観察 VG (b)	1 2 3	白色 淡黄白色 淡灰色	white light yellow white light gray		
26		QL (+)	菌柄の横断面の形	Stipe: status of cross section	収穫時の菌柄の横断面の形	観察 VG (b)	1 2	中実 中空	solid cavitate		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.) ( )は参考品種	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
27		QN	菌さん直径の菌柄の長さに対する比	Fruit body: ratio of cap diameter / stipe length	収穫時の菌さんの直径／菌柄の長さ	測定 比 MS (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
28		PQ (+)	子実体の発生型	Fruit body: development type	収穫時の子実体発生の状態	観察 VG (b)	1 2 3	群状 散発 株状	group sporadic stocky		
29		QN	発生処理までの期間	Fruit body: period from inoculation to fruiting induction	種菌接種から発生処理までの期間	観察/ 測定 日 VG/ MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long		
30		QN	発生処理から収穫最盛期までの期間	Fruit body: period from fruiting induction to harvest maturity	発生処理から収穫最盛期までの期間	観察/ 測定 日 VG/ MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long		
31		QN	子実体の平均生重量	Fruit body: fresh weight	初回発生のみの子実体の生重量を測定	測定 MS (b)	3 5 7	少 中 多	few medium many		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.) ( )は参考品種	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
32		QN	有効茎本数	Fruit body: number of effective stipes	初回発生のみの菌さんの大きさ10㎜以上の菌柄の本数を測定	測定 MS (b)	3 5 7	少 中 多	few medium many		

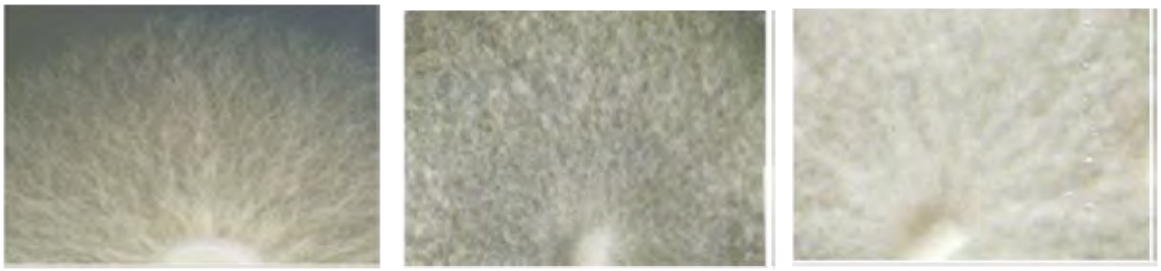
Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　菌糸密度　Char.1 Density of hyphae on the medium

PDA 培地（Difco Laboratories, Detroit, Michigan, USA) を使用する。

常法(121℃、15 分)により滅菌し、シャーレ（内径 90 ㎜、高さ 15～20 ㎜）に 20 mL 程度分注して作製した平面培地の中央部に、別に供試培地で前培養(20±1℃、7～8 日間)した 2 核菌糸体の小片（直径 5 ㎜程度）をコルクボーラーで打ち抜いて接種する。（コルクボーラーで打ち抜く箇所は、写真参照）

25±1℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80％程度生長した時に調査し、標準品種と比較し評価する。供試数はシャーレ 3 枚以上とする。



3	5	7
粗	中	密
sparse	intermediate	dense

形質 2　菌そう表面の着色の有無　Char. 2 Colony: tinting of surface on the medium

PDA 培地 を使用する。

常法(121℃、15 分)により滅菌し、シャーレ（内径 90 ㎜、高さ 15～20 ㎜）に 20mL 程度分注して作製した平面培地の中央部付近に、別に供試培地で培養した二核菌糸体の小片（直径 5mm 程度、20～25℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80％程度生長した時）をコルクボーラーで打ち抜いて接種する。

（コルクボーラーで打ち抜く箇所は、形質 4 写真参照）

25±1℃で暗培養し、菌糸が蔓延後 14 日間 18～27℃の範囲、光照射下で追培養した後、「菌そう表面の着色の有無」及び「菌そう裏面の着色の有無」について観察し、標準品種と比較し評価する。供試数はシャーレ 3 枚以上とする。

なお、追培養は 8 時間/日以上光照射された環境下で行う。

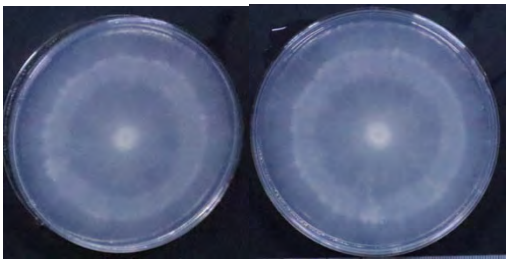
光源・光量は、1～3μmol･$^{m\text{-}2\cdot s\text{-}1}$　程度（80～100lux 程度）とする。



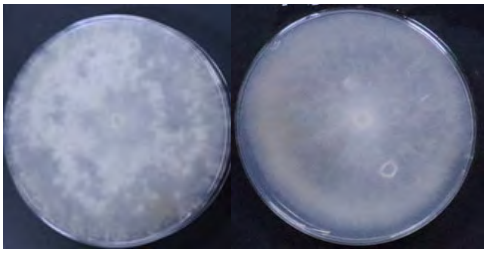
1	9
無	有
absent	present

形質 3　菌そう裏面の着色の有無　Char.3 Colony: tinting of reverse side of the medium

培養方法は形質 2「菌そう表面の着色の有無」と同様とする。



1
無
absent



9
有
present

形質 4　菌そう表面の状態　Char.4 Colony: surface condition

現在、確認中

形質5　菌そう周縁部の状態　Char.5 Colony: periphery condition

現在、確認中

形質 6　菌糸体の生長最適温度　Char.6 Colony: optimum temperature for growth

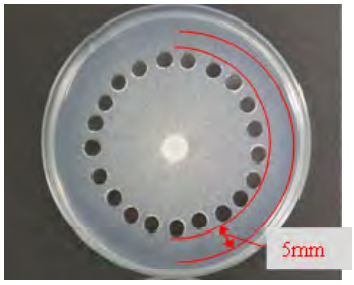
20℃、23℃、25℃、27℃、30℃の各設定温度のインキュベーターに移動し、移動から 48 時間後（菌糸体の直径が 10 ㎜程度に伸長した時）、十字線上にある菌糸先端 4 箇所をマークする。マーク後、各設定温度のインキュベーターに戻し、さらに 72 時間後（通算で 5 日間培養後）（生長が遅い品種の場合は、状況により培養期間を伸ばす）、十字線上にある菌糸先端 4 箇所をマークし、菌糸体の生長量を測定し、二次曲線を描いて、生長最適温度を算出し、標準品種と比較し評価する。最低供試数は 1 区 7 枚（以上）とし、菌糸の伸長を測定した最大値及び最小値を除いた 5 枚で平均値を算出する。

供試培地は PDA 培地を使用し、常法により滅菌した培地をプラスチックシャーレ（内径 90 ㎜、高さ 15～20 ㎜）に 15mL 分注する。このあと、別に供試培地で培養した二核菌糸体の小片（直径 5 ㎜程度、20～25℃で暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70～80%程度生長した時）をコルクボーラーで打ち抜いた菌糸の小片の表面が上になるようにプレートの中央に置く。

（コルクボーラーで打ち抜く箇所は、写真参照）

インキュベーターで培養する際の留意点として、シャーレ 7 枚をビニール袋に入れ（写真参照）温度差が生じないように留意する。





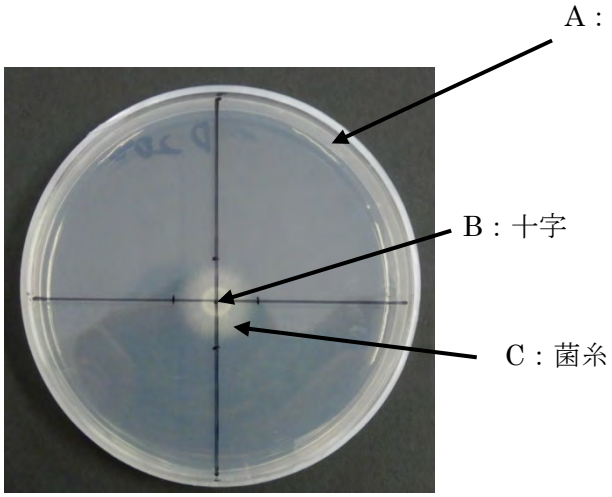
※調査に用いる種菌は、各品種の菌糸の状態を揃えたものを供試する。

上図のように、菌糸がシャーレの直径の 70～80％程度伸長した状態（シャーレ上で菌糸が蔓延していない状態）の菌株から、菌糸の先端から 5 ㎜程度内側を最外とした円状に一列に打ち抜いたものを供試する。

なお、打ち抜いた小片は、菌糸が上向きになるようにシャーレに接種する。

生長量の測定方法

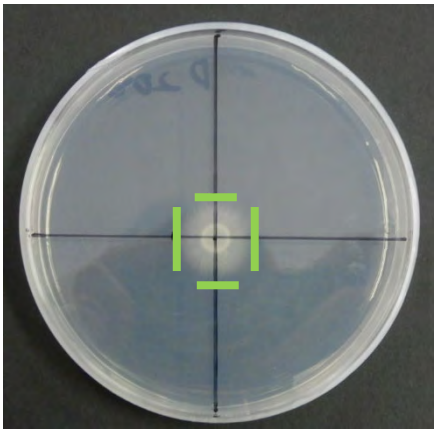
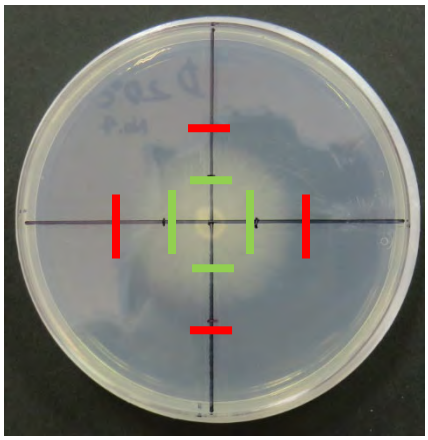
① 予備暗培養したシャーレの裏に置床した小片の中心で直交する十字の印を入れる。



② シャーレを 20℃、23℃、25℃、27℃、30℃の各温度に設定したインキュベーターに移動する。

③ 移動から 48 時間後（菌糸体の直径が 10 ㎜程度に伸長した時）、十字線上にある菌糸先端 4 箇所をマークする。（ ）

④ マーク後、各設定温度のインキュベーターに戻し、さらに 72 時間後（通算で 5 日間培養後）（生長が遅い品種の場合は、状況により培養期間を伸ばす）、十字線上にある菌糸先端 4 箇所をマークする。（ ）

⑤ 4 箇所の 2 点のマーカー間の長さをノギスでそれぞれ測定する。

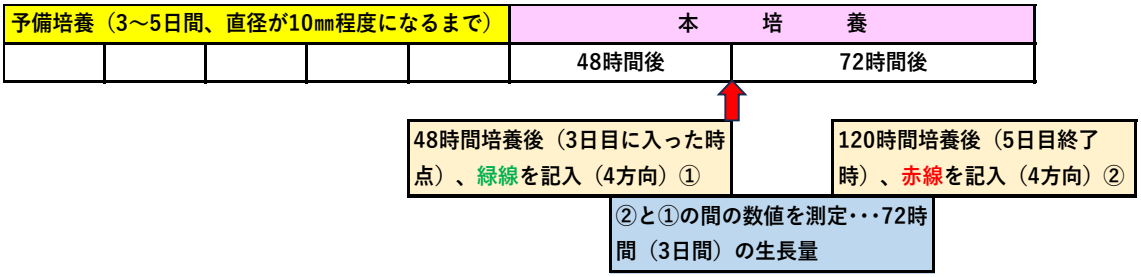
⑥　4 箇所（赤線―緑線）の平均生長量を算出する（これがシャーレ 1 枚あたりの 3 日の平均生長量となる）。

設定温度ごとに 5 枚のシャーレ（7 枚のシャーレのうち最大と最小のシャーレを除き）を供試し、各温度における 3 日あたりの平均生長量を算出する。

生長最適温度は、20℃、23 ℃、25℃、27℃、30℃の 1 日当たりの生長量で生長曲線（二次曲線）を描いて判定する。

温度別生長速度は、各温度での測定データと計算結果を表に示すこととする。

なお、前後の温度帯の生長量と比較し異常な数値となった場合は、当該温度帯の測定をやり直すこととする。



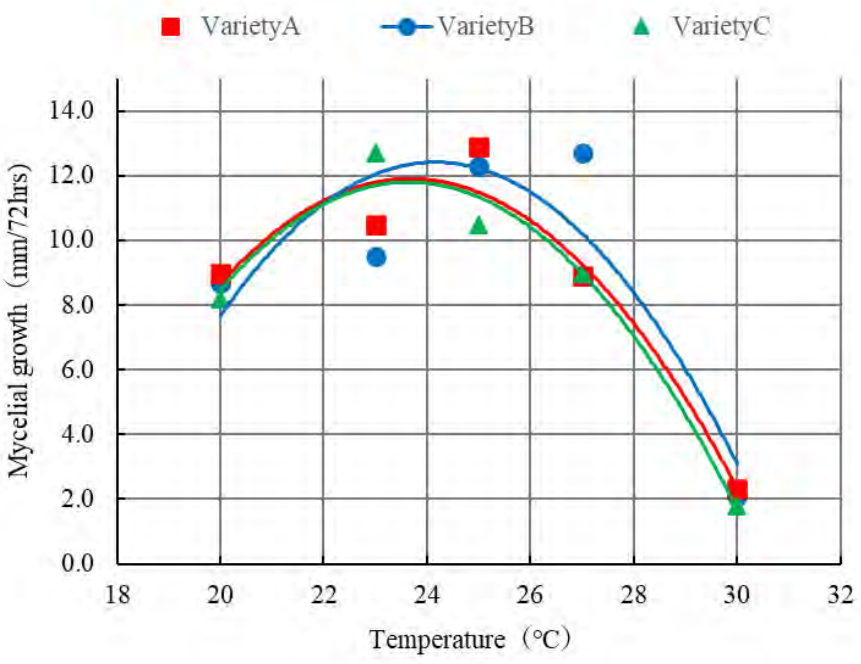
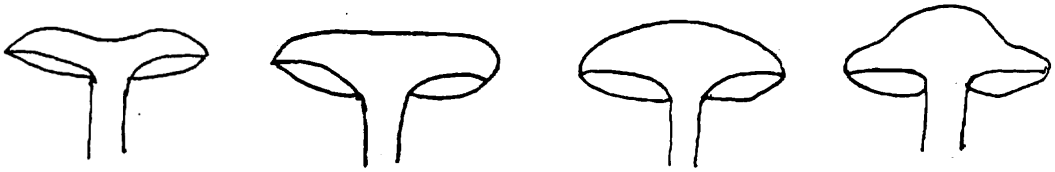


図 1　生長曲線

形質7　菌さんの縦断面の形 Char.7 Cap: shape of vertical section

収穫時の標準的な子実体36個体（1区12菌床×3反復（各1個体／菌床））の菌さんの形を観察し、標準品種と比較し評価する。



1
凹形
concave

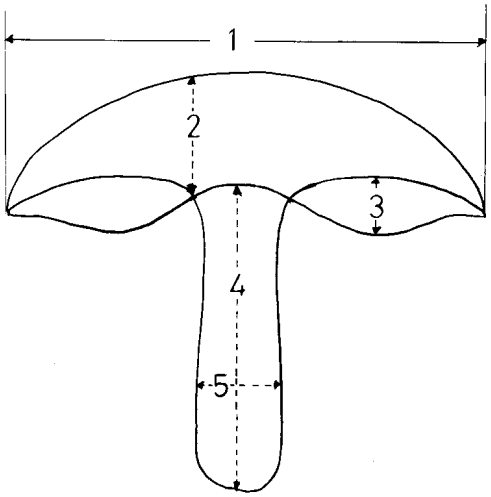
2
平形
flat

3
丸山形
round

4
凸形
convex

形質 8　菌さんの直径 Char.8 Cap: diameter

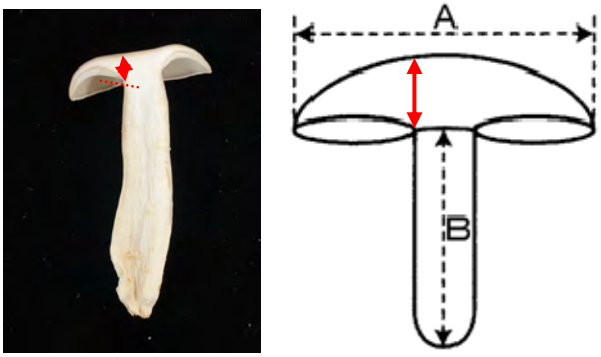
収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌さんの直径（最も広い部分）を測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較し評価する。



1　菌さんの直径(diameter of cap)
2　菌さんの厚さ(height of cap)
3　ひだ(gill)
4　菌柄の長さ(length of stipe)
5　菌柄の太さ(diameter of stipe)

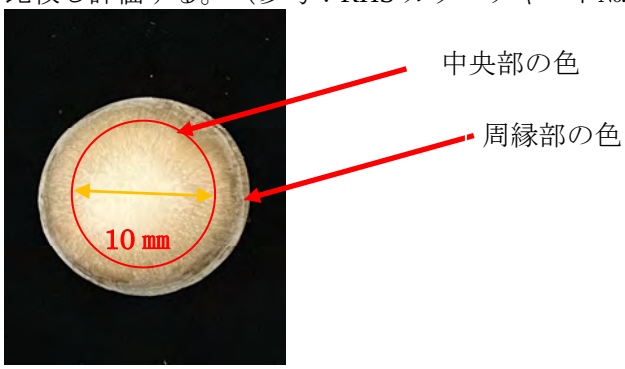
形質 9　菌さんの厚さ　　Char.9 Cap: thickness

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体/菌床））の菌さんの厚さ（最も厚い部分）を測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較し評価する。



形質 11　菌さんの中心部の色　Char.11 Cap: color of central part

収穫時の標準的な子実体の菌さん表面の中央部（10 ㎜程度）の地色を観察し、標準品種と比較し評価する。（参考：RHS カラーチャート№と状態区分）



（参考）

1：白　　＝155A、155D、NN155A
2：黄白　＝11D、20D、158A、158D、163C
3：灰　　＝
4：淡褐　＝164A、N167A、169A、N172A、175A、176A
5：褐　　＝165A、166A、177A、187A、200D、N199B、N200A
6：濃褐　＝

形質 12　菌さんの周縁部の色 Char.12 Cap: color of marginal part

収穫時の標準的な子実体の菌さん表面の周縁部の色を観察し、標準品種と比較し評価する。（参考：RHS カラーチャート№と状態区分）

（参考）

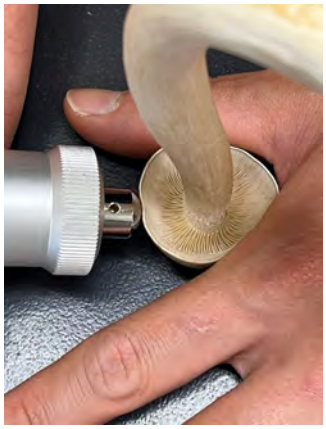
1：白　　＝155A、155D、NN155A
2：黄白　＝11D、20D、158A、158D、163C
3：灰　　＝
4：淡褐　＝164A、N167A、169A、N172A、175A、176A
5：褐　　＝165A、166A、177A、187A、200D、N199B、N200A
6：濃褐　＝

形質 13　菌さんの硬さ Char.13 Cap: firmness

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌さんの硬さを果実硬度計（1kg）で測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較し評価する。

なお、測定時の留意点として、菌さんの縁を机に垂直に接地し、上から計器（果実硬度計 1kg)の測定部位を傘さん外周部に押し当て若しくは、菌さん全体を手のひらで支え菌さん外周部に計器を押し当てて菌さんの硬さを測定する。（写真参照）





形質 14　ひだの形　Char.14 Gill: shape

収穫時の標準的な子実体の菌さん裏面のひだ（子実層たく）の形を観察し、標準品種と比較し評価する。



1
離柄形
separate from stipe



2
着柄形
attached to stipe

形質15　ひだの並び方　Char.15 Gill: arrangement

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌さん裏面のひだ（子実層たく）の並び方を観察する。反復ごとに平均を求め、標準品種と比較し評価する。



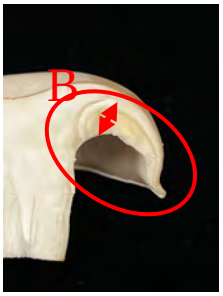
1
直
straight



2
ちぢれ
curvature

形質 16　ひだ（子実層たく）の高さ　Char.16 Gill: height

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））のひだ（子実層たく）の最大高幅を測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較し評価する。



形質17　ひだの密度　Char.17 Gill: density

収穫時の標準的な子実体のひだ（子実層たく）の密度を観察し、標準品種と比較し評価する。



2
中
medium



3
密
dense

形質 18　ひだの色 Char.18 Gill: color

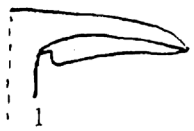
収穫時の標準的な子実体のひだ（子実層たく）の色を観察し、標準品種と比較し評価する。（参考：RHS カラーチャート№と状態区分）

（参考）

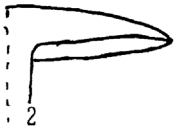
1：白色　　＝155A、155B、155D、NN155A、NN155B、NN155C
2：クリーム色　＝18D、158A、158C、158D、159D
3：淡黄褐色　　＝
4：淡橙色　　＝

形質 19　菌柄への付き方 Char.19 Gill: attachment for cap

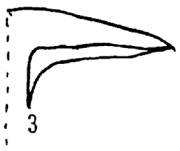
収穫時の標準的な子実体のひだ（子実層たく）の菌柄への付き方を観察し、標準品種と比較し評価する。



湾生
gulf life



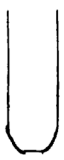
直生
straight growth



垂生
perpendicular

形質20　菌柄の形　Char.20 Stipe: shape in vertical section

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌柄を側面から見て、下図の菌柄の形を 1 個体（子実体）ずつ観察し、菌柄の形の割合を算出し、標準品種と比較し評価する。



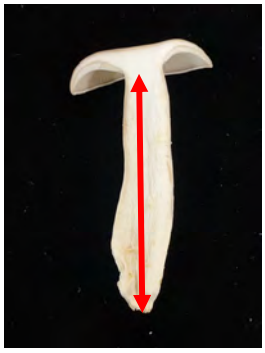
1
直幹
straight



2
とっくり型
upturned

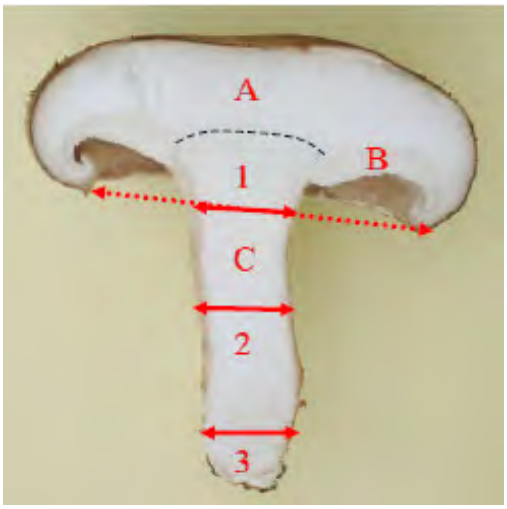
形質 21　菌柄の長さ　Char.21 Stipe: length

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌柄（基部から菌さん基部まで）の長さを測定し、反復ごとに菌柄の長さの平均を求め、標準品種と比較し評価する。



形質 22　菌柄の太さ　Char.22 Stipe: diameter

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌柄（下図 1、2、3 の最も太い部分）の太さを測定し、反復ごとに菌柄の太さの平均を求め、標準品種と比較し評価する。



形質 23　菌柄の硬さ　Char.23 Stipe: firmness

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌柄の中間部に計器（果実硬度計 KM-1)を静かに押し当て、計測部位の反対側を指で支え測定し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較し評価する。押し当てる部位は、計器に対して凹や凸にならない平面的部位にて測定する。



形質24 菌さん直径の菌柄の長さに対する比

Char.24 Fruit body: ratio of cap diameter / stipe length

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌さんの直径の菌柄の長さに対する比を算出し、反復ごとに平均を求め、標準品種と比較し評価する。

形質 25 菌柄の主な色　Char.25 Stipe: main color

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌柄の主な色を観察し、標準品種と比較し評価する。

（参考：RHS カラーチャート№と状態区分）

（参考）

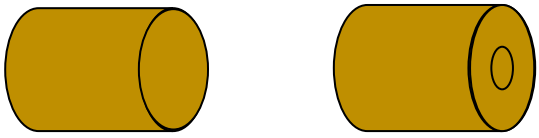
1：白色　＝NN155B、NN155C、NN155D

2：淡黄白色　＝NN155A、155A、155D、158D、159D

3：淡灰色　＝156A、156D

形質26 菌柄の横断面の形　Char.26 Cap: shape of cross section

収穫時の標準的な子実体 36 個体（1 区 12 菌床×3 反復（1 個体／菌床））の菌柄を横断面に切り、菌柄の断面の状態を観察し評価する。

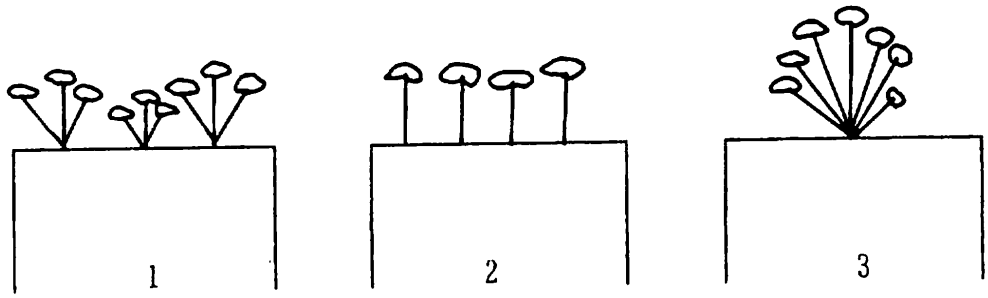


中実
solid

中空
cavitate

形質28 子実体の発生型　Char.28 Fruit body: development type

子実体の発生状態を下図により評価する。



群状
group

散発
sporadic

株状
stocky

参考形質　帯線形成の有無　reference trait Presence or absence of zone line on PDA medium

PDA 培地を使用し、対峙培養を行い帯線形成の有無を確認する。

常法(121℃、15 分)により滅菌し、シャーレ（内径 90 ㎜、高さ 15～20 ㎜）に 20 mL 程度分注して作製した平面培地の中央部に、別に供試培地で前培養(20±1℃、7～8 日間)した 2 核菌糸体の小片（直径 5 ㎜程度）をコルクボーラーで打ち抜いて接種する。（コルクボーラーで打ち抜く箇所は、写真参照）

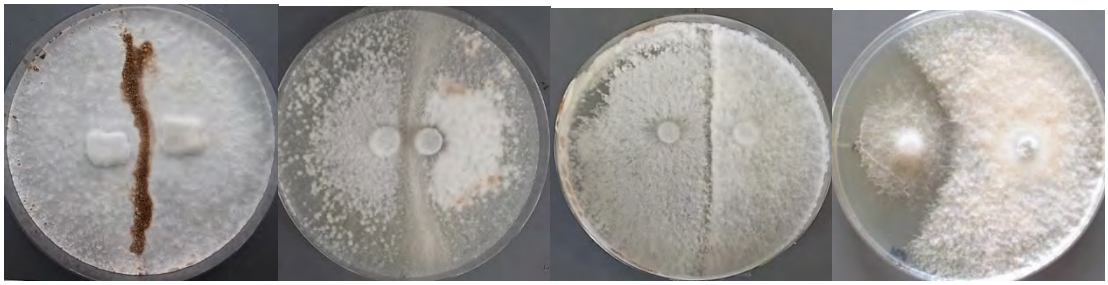
25±1℃で暗培養し、菌糸が蔓延後 14 日間 18～27℃の範囲、光照射下で追培養した後、「菌そう表面の着色の有無」及び「菌そう裏面の着色の有無」について観察する。供試数はシャーレ 3 枚以上とする。

なお、追培養は 8 時間/日以上光照射された環境下で行う。

光源・光量は、1～3μmol･m^{-2}･s^{-1} 程度（80～100lux 程度）とする。

対峙培養（帯線形成の有無）Presence or absence of zone line on PDA medium

帯線の形成が認められない場合は、特性の違いが十分に一貫していることを確認するために2回目を実施する。



○栽培方法

菌床（袋）施設栽培によるものとする。

（容器（袋））

培養・栽培袋は下記と同様の性能を有するものを使用する。

（参考）

ポリエチレン製袋

フィルター：厚み50μ（±5%）

フィルター特性：材質PE、孔径：47φ、孔数1（参考：タイベック不織布）

フィルターJIS透気度（ガーレー試験機法JISP8117）による。

透気度：面積642㎟の紙又は板紙を空気100mLが通過する時間

参考通気量（mL／㎠・sec）：0.09（1 秒当たり 1 ㎠を通過する空気の体積）

他、耐熱性のフィルター付きガゼット袋（バイオポット BS タイプ、森産業株式会社）

基本培養基は、粒度 4 メッシュ以下のナラ類落葉広葉樹おが粉とスギおが粉を 1：1（容積比）とし、2.5kg 菌床 1 袋あたり）一般ふすま 220g、ナメコ用ネオビタス 50g、乾燥おから 100g、炭酸カルシウム 10g

含水率：65±2%（殺菌前水分）

培養基充填量：培地水分調整済重量で 2,500g／袋充填

＋（200×120×150 ㎜ボックス型に圧縮）

接種孔：径 20 ㎜、深さ 70 ㎜～80 ㎜、2 か所

（培養基殺菌）

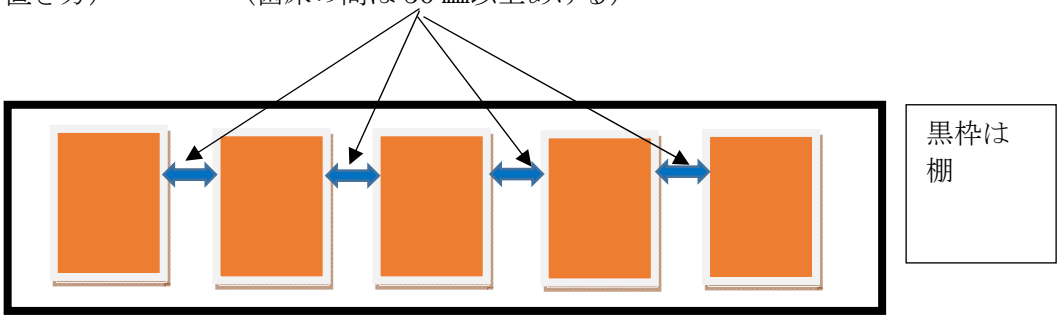
高圧蒸気滅菌：118～120℃、70～90 分（釜内温度）

（種菌接種量）
おが粉種菌 20mL／菌床を接種

（培養）
培養温度（空調）：22±2℃
培養期間：品種により≦69 日、70～80 日、81～90 日、91～100 日、101～110 日、111～120 日、121 日≦を設定

（棚配置）
棚置き静置培養とする。菌床と菌床の間隔は発熱を防ぎ通風を図るために 50 ㎜以上の間隔をあける。

（菌床の置き方）　　（菌床の間は 50 ㎜以上あける）



（培養中の光）
培養開始 70 日目以降、作業中も含め終日に 1 時間以上／日程度、光量：1～3μmol・m^{-2}・s^{-1} 程度（80～100lux 程度）
（培養室の炭酸ガス濃度
3,000ppm 以下に制御

（発生処理と栽培方法）

○発生処理
子実体原基が 3～5 ㎝以上に生長した時点で袋をカットする。菌掻き、覆土処理を行った場合はその旨を記載する。

○発生・生育温度
17±2℃、湿度 75～90%の範囲で管理。

○発生・生育中の光と光量子量
光量：3～4μmol・m^{-2}・s^{-1} 程度（蛍光灯 100～300lux 程度）を日中、8 時間／日程度照射。

○発生生育中の炭酸ガス濃度
1,000ppm 以下に制御

資料 1-3-8

2026 年　月
TG/14/10 2023-10-24 に準拠

リンゴ種

Apple

(*Malus domestica* (Suckow) Borkh.)

（案）

リンゴ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、バラ科（Rosaceae）リンゴ属（*Malus* Mill.）リンゴ種（*Malus domestica* (Suckow) Borkh.）のうち、台木用のみとして利用する品種を除く全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　１年生接ぎ木苗（審査当局が指定する台木を使用する。）

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　交配品種　　７個体
　　突然変異品種　14 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　交配品種　　５個体
　　突然変異品種　10 個体

ⅲ）栽培期間　　２生育周期（試験は通常、特性調査が可能な十分な量の果実が得られる２栽培期間行う。）ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体３個体又は各個体から１個採取した部分３個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された時期及び特定された箇所で行う。

(a) 葉は生育の旺盛な一年枝を３等分した中央部に着生した完全展開葉を調査する（ステージ 71-77）。

(b) 花は樹の二番花以降を花の開やく開始時に調査する。

(c) 果皮を覆う色とは、果実の地色の他に、成熟に伴い生成されるアントシアニン色素などの二次的な着色である。

(d) 果実は可食期に達した果実を調査する。

Ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がそれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一

般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１％、受容確率95％を適用し、UPOV の TGP８文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が５の場合、許容される異型個体数は０である。供試個体数が 10 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）樹の型（形質２）
ⅱ）樹姿（側枝型品種に限る。）（形質３）
ⅲ）果実の形（形質 26）
ⅳ）果皮の着色の色相（形質 30）
ⅴ）果皮の着色面積（形質 32）
ⅵ）果皮の着色の型（形質 33）
ⅶ）果肉の主な色（形質 45）
ⅷ）開花始期（形質 53）
ⅸ）可食期（形質 55）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
00-99：仁果類の表現型上の主要な生育ステージ
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
（日本語）	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristic）

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
1	1	QN (+)	樹勢	Tree: vigor	樹の栄養生長量	観察 MG/ VG 00/39	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	 あかね つがる、スターキングデリシャス、ふじ 陸奥	
2	2	QL (*) (+) G	樹の型	Tree: type	樹の生育型	観察 VG 00	1 2	カラムナー型 側枝型	columnar ramified	Wijcik ジョナゴールド、ふじ、ゴールデンデリシャス	
3	3	PQ (*) (+) G	樹姿（側枝型品種に限る。）	Only varieties with Tree type: ramified: Tree: habit	樹全体を側面から見た形状	観察 VG 00	1 2 3 4 5	直立 直立から開張 開張 枝垂れ 下向き	upright upright to spreading spreading drooping weeping		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
4	4	QN (*) (+)	節間長	One-year-old shoot: length of internode	一年枝の節間長	測定/観察 cm MG/VG 00	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	Wijcik スターキングデリシャス ジョナゴールド、さんさ、ふじ 陸奥	
5	5	QN (*) (+)	皮目の多少	One-year-old shoot: number of lenticels	一年枝の皮目の多少	測定/観察 MG/VG 00	1 2 3	少 中 多	few medium many	スターキングデリシャス、ジョナゴールド 千秋 ふじ、陸奥	
6	6	QN (*) (+)	葉身の向き	Leaf blade: attitude in relation to shoot	枝に対する葉身の向き	観察 VG 71-77 (a)	1 2 3 4	上向き 斜上 水平 下向き	upwards upwards to outwards outwards downwards		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
7	7	QN (*) (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	葉身の長さ	測定/観察 cm MG/VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	スターキングデリシャス、つがる ふじ 王林、陸奥 Trajan	
8	8	QN (*) (+)	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の最大幅	測定/観察 cm MG/VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極狭 かなり狭 狭 やや狭 中 やや広 広 かなり広 極広	very narrow very narrow to narrow narrow narrow to medium medium medium to broad broad broad to very broad very broad	紅玉、Cox’s Orange Pippin さんさ 世界一、ふじ、王林 北斗、陸奥	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
9	9	QN (*) (+)	葉身の長さ／幅	Leaf blade: ratio length/width	葉身の幅に対する葉身の長さの比	測定/観察 比 MG/VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very low very low to low low low to medium medium medium to high high high to very high very high	 北斗、旭 ふじ、あかね、さんさ つがる、紅玉	
10	10	PQ	葉身の色	Leaf blade: color	葉身の色	観察 VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5 6 7 8	淡緑 やや淡緑 緑 やや濃緑 濃緑 淡赤紫 赤紫 濃赤紫	light green light to medium green medium green medium to dark green dark green light purple red medium purple red dark purple red	 さんさ 紅玉 王林	
11	11	QN	葉身の光沢	Leaf blade: glossiness	葉身表面の光沢の強弱	観察 VG 71-77 (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	さんさ、ふじ、北斗 紅玉、陸奥 つがる、王林、ジョナゴールド	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
12	12	QN (*) (+)	葉身周縁部の鋸歯の形	Leaf blade: incisions of margin	葉身周縁部の鋸歯の形	観察 VG 71-77 (a)	1 2 3	鈍鋸歯 中間 鋭鋸歯	crenate crenate to serrate serrate	つがる、紅玉、あかね スターキングデリシャス、ふじ、陸奥	
13	13	PQ (+)	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross-section	葉身中央部の横断面の形	観察 VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5	V 字 凹 周縁が反った 平 平 凸	v-shaped concave flat with reflexed margins flat convex		
14	14	QN (*) (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定/観察 cm MG/ VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	ジョナゴールド ふじ、紅玉 さんさ、あかね Trajan	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
15	15	QN (+)	葉身の長さ／葉柄の長さ	Leaf: ratio length of leaf blade/length of petiole	葉柄の長さに対する葉身の長さの比	測定/観察 比 MG/VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very low low medium high very high	 紅玉、さんさ、つがる ゴールデンデリシャス、ジョナゴールド、陸奥、千秋 	
16	16	QN	葉柄基部のアントシアニンの着色面積	Petiole: extent of anthocyanin coloration from base	葉柄基部のアントシアニンの着色面積	観察 VG 71-77 (a)	1 2 3 4 5	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large	Trajan ゴールデンデリシャス、王林、つがる、ジョナゴールド ふじ 紅玉、スターキングデリシャス メイポール	
17	17	QN (*) (+)	花の直径	Flower: diameter	花の直径	測定/観察 cm MG/VG 60-65 (b)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 アルプス乙女 ふじ、さんさ、王林 ジョナゴールド 	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
18	18	QN (*) (+)	花弁の重なり	Flower: arrangement of petals	花弁の重なり	観察 VG 60-65 (b)	1 2 3	離れる 中間 重なる	free intermediate overlapping	 千秋 北斗	
19	19	QN (+)	やくに対する柱頭の位置	Flower: position of stigmas relative to anthers	やくに対する柱頭の位置	観察 VG 60-65 (b)	1 2 3	下位 同位 上位	below same level above		
20	20	QN (+)	雄ずい基部のアントシアニンの着色	Flower: anthocyanin coloration at base of filament	雄ずい基部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG 65-69 (b)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ふじ、つがる、ジョナゴールド 紅玉、さんさ	
21	21	QN	幼果を覆う色の着色面積	Young fruit: relative area of over color	幼果を覆う色（複色）の着色面積	観察 VG 73-74 (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	absent or very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	 ふじ ジョナゴールド、ゴールデンデリシャス、つがる 王林、千秋	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
22	22	QN (*)	果実の重さ	Fruit: weight	果実の一果当たりの重さ	測定 g MG 89 (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very low very low to low low low to medium medium medium to high high high to very high very high	アルプス乙女 あかね、紅玉 さんさ つがる ふじ ジョナゴールド 陸奥、世界一	
23	23	QN (*) (+)	果実の高さ	Fruit: height	果実の縦径	測定/ 観察 cm MG/ VG 89 (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極低 かなり低 低 やや低 中 やや高 高 かなり高 極高	very short very short to short short short to medium medium medium to tall tall tall to very tall very tall	アルプス乙女 あかね、紅玉 さんさ ふじ ゴールデンデリシャス、ジョナゴールド、北斗、陸奥	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
24	24	QN (*) (+)	果実の横径	Fruit: diameter	果実の横径	測定/観察 cm MG/VG 89 (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	アルプス乙女 あかね、紅玉 ゴールデンデリシャス、王林、さんさ、つがる、ふじ ジョナゴールド Bramley’s Seedling	
25	25	QN (*)	果実の高さ／横径	Fruit: ratio height/diameter	果実の横径に対する縦径の比	測定/観察 比 MG/VG 89 (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very low very low to low low low to medium medium medium to high high high to very high very high	 あかね さんさ、つがる、ふじ ゴールデンデリシャス、王林 スリムレッド	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
26	26	PQ (*) (+) G	果実の形	Fruit: shape	果実の縦断面の形	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	平らな円錐形 扁円形 円形 楕円形 正方形 長方形 卵形 円錐形 くびれのある円錐形 倒円錐形	flat globose conic oblate circular elliptic square oblong ovate conic conic waisted obconic		
27	27	QN	果実の角張り	Fruit: ribbing	果実の角張りの強弱	観察 VG 89 (d)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	ふじ、あかね、さんさ、つがる、王林 ゴールデンデリシャス スターキングデリシャス	
28	28	QN	果実の王冠	Fruit: crowning at calyx end	果実のがくあ頂部の冠状隆起の強弱	観察 VG 89 (d)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	さんさ、つがる、ふじ シナノゴールド スターキングデリシャス	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
29	29	PQ (*) (+)	果皮の地色	Fruit: ground color	果皮の地色	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4 5 6	不明瞭 黄白 黄 緑白 黄緑 緑	not visible whitish yellow yellow whitish green yellow green green	 ゴールデンデリシャス ジョナゴールド、ふじ 陸奥、王林、Granny Smith	
30	30	PQ (*) (+) G	果皮の着色の色相	Fruit: hue of over color	果皮を覆う着色（複色）の色相	観察 VG 89 (c) (d)	1 2 3 4 5	橙赤 桃赤 赤 紫赤 褐赤	orange red pink red red purple red brown red	さんさ Cripps Pink あかね、紅玉、ジョナゴールド 旭 ふじ、千秋	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
31	31	QN (*) (+)	果皮の着色の濃淡	Fruit: intensity of over color	果皮を覆う着色（複色）の濃淡	観察 VG 89 (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極淡 かなり淡 淡 やや淡 中 やや濃 濃 かなり濃 極濃	very light very light to light light light to medium medium medium to dark dark dark to very dark very dark	 ゴールデンデリシャス、王林 つがる さんさ、ふじ、Cripps Pink ジョナゴールド 紅玉、あかね スターキングデリシャス、秋映	
32	32	QN (*) G	果皮の着色面積	Fruit: relative area of over color	果皮を覆う着色（複色）面積の占める割合	観察 VG 89 (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	absent or very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	Granny Smith ゴールデンデリシャス、王林 北斗、つがる さんさ ふじ、紅玉 スターキングデリシャス	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
33	33	PQ (*) (+) G	果皮の着色の型	Fruit: pattern of over color	果皮を覆う着色（複色）の型	観察 VG 89 (c) (d)	1 2 3 4 5 6	べた着色のみ べた着色としま模様 しま模様のみ べた着色とまだら模様 べた着色、しま模様、まだら模様 大理石模様	only solid flush solid flush with stripes only stripes flushed and mottled flushed, striped and mottled marbled		
34	34	QN	果皮のしま模様の明瞭度	Fruit: conspicuousness of stripes	果皮のしま模様の明瞭さ	観察 VG 89 (d)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	紅玉 ジョナゴールド ふじ	
35	35	QN (*) (+)	梗あ部のさびの面積	Fruit: area of russet around stalk attachment	果実の梗あ（くぼみ）部に発生するさびの面積	観察 VG 89 (d)	1 2 3	無又は小 中 大	absent or small medium large	ふじ、ジョナゴールド 紅玉、さんさ あかね、Schone van Boskoop	
36	36	QN (+)	果実側面のさびの面積	Fruit: area of russet on cheeks	果実の側面に発生するさびの面積	観察 VG 89 (d)	1 2 3	無又は小 中 大	absent or small medium large	ふじ、ジョナゴールド Schone van Boskoop Egremont Russet	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
37	37	QN (*)	がくあ部のさびの面積	Fruit: area of russet around eye basin	果実のがくあ（くぼみ）部に発生するさびの面積	観察 VG 89 (d)	1 2 3	無又は小 中 大	absent or small medium large	ふじ、ジョナゴールド 陽光、さんさ Egremont Russet、Schone van Boskoop	
38	38	QN (+)	果点の数の多少	Fruit: number of lenticels	果実の赤道部の果点の多少	測定/観察 MG/ VG 89 (d)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	紅玉 ふじ Granny Smith、Honeycrisp	
39	39	QN (*) (+)	果柄の長さ	Fruit: length of stalk	果実の果柄の長さ	測定/観察 MG/ VG 89 (d)	1 2 3 4 5	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	紅玉 つがる ジョナゴールド、ふじ	
40	40	QN (*) (+)	梗あの深さ	Fruit: depth of stalk cavity	果実の梗あ（くぼみ）部の深さ	測定/観察 cm MG/ VG 89 (d)	1 2 3 4 5	極浅 浅 中 深 極深	very shallow shallow medium deep very deep	千秋、王林 さんさ、つがる ジョナゴールド、ふじ、陸奥	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
41	41	QN	がくの開き	Fruit: calyx eye	果実のがくの開度	観察 VG 89 (d)	1 2 3	閉じる 一部開く 完全に開く	closed partially open fully open	ふじ、トキ、ジョナゴールド さんさ、つがる 王鈴、世界一、ローズパール	
42	42	QN (*) (+)	がくあの深さ	Fruit: depth of eye basin	果実のがくあ（くぼみ）部の深さ	測定/観察 MG/ VG 89 (d)	1 2 3 4 5	極浅 浅 中 深 極深	very shallow shallow medium deep very deep	 王林、千秋 ふじ ジョナゴールド	
43	43	QN (*) (+)	がくあの幅	Fruit: width of eye basin	果実のがくあ（くぼみ）部の幅	測定/観察 MG/ VG 89 (d)	1 2 3 4 5	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad	 王林 つがる、ふじ 北斗、陸奥、ジョナゴールド	
44	44	QN (*) (+)	果肉の硬さ	Fruit: firmness of flesh	果実の赤道部の果肉の硬さ	測定/観察 lbs. MG/ VG 89 (d)	1 2 3 4 5	極軟 軟 中 硬 極硬	very soft soft medium firm very firm	 つがる、ジョナゴールド ふじ Granny Smith、Cripps Pink、Braeburn	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
45	45	PQ (*) (+) G	果肉の主な色	Fruit: main color of flesh	果肉の主な色	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4 5 6 7	白 緑 黄白 黄 橙 桃 赤	white greenish yellowish white yellowish orangish pinkish reddish	あかね、旭 Granny Smith ふじ、ジョナゴールド ゴールデンデリシャス ローズパール、ルビースイート、紅の夢 Geneva、御所川原	
46	46	PQ (*) (+)	果肉の二次色	Fruit: secondary color of flesh	果肉の二次色	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4 5 6 7 8	無 白 緑 黄白 黄 橙 桃 赤	none white greenish yellowish white yellowish orangish pinkish reddish	ふじ、つがる、あかね、旭、Granny Smith、ジョナゴールド、ゴールデンデリシャス	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
47	47	QN	果肉の二次色の面積	Fruit: extent of secondary color of flesh	果肉の二次色の面積	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large		
48	48	PQ (*) (+)	果肉の桃色又は赤色着色の分布	Flesh color: distribution of pinkish or reddish coloration	果肉の桃色又は赤色着色の分布	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4 5	無 果皮下のみ 果心周辺のみ 果皮下と果心周辺 全体	none under skin only around core only under skin and around core throughout		
49		QN (+)	果実の蜜	Fruit: water-core of flesh	果肉の蜜の多少	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4 5	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very small small medium large very large	あかね、さんさ、つがる 紅玉 スターキングデリシャス、ふじ、こうとく	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
50		QN (+)	果実の糖度	Fruit: sweetness of flesh	果肉の糖度	測定 % MG 89 (d)	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	 あかね ジョナゴールド、スターキングデリシャス、紅玉 ふじ、王林 はるか	
51		QN (+)	果実の酸度	Fruit: acidity of flesh	果肉の酸度	測定 g/100 ml (%) MG 89 (d)	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	 王林、つがる 陸奥、千秋、ふじ、ジョナゴールド 紅玉、あかね Bramley's Seedling	
52		QN (+)	果肉の褐変	Fruit: browning of flesh	すりおろした果肉の 24 時間後の褐変の強弱	観察 VG 89 (d)	1 2 3 4	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	あおり 27 つがる 紅玉 ふじ、スターキングデリシャス	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
53	49	QN (*) (+) G	開花始期	Time of beginning of flowering	10%の花が開花した時期の早晩	測定/観察 月日 MG/VG 61	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late	王林 トキ ふじ、紅玉 シナノゴールド 国光	
54	50	QN (+) G	収穫期	Time for harvest	収穫期の早晩	測定/観察 月日 MG/VG 89	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	超極早 かなり極早 極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩 かなり極晩 超極晩	extremely early extremely early to very early very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late very late to extremely late extremely late		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
55	51	QN (*) (+)	可食期	Time of eating maturity	可食期の早晩	測定/観察月日 MG/VG 89	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	超極早 かなり極早 極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩 かなり極晩 超極晩	extremely early extremely early to very early very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late very late to extremely late extremely late	夏緑 未希ライフ つがる、さんさ、あかね 紅玉 ジョナゴールド ゴールデンデリシャス ふじ Cripps Pink、Granny Smith	
55		QN (+)	黒星病抵抗性	Resistance to *Venturia inaequalis*	*Venturia inaequalis* に対する抵抗性の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	 つがる、陸奥、ふじ、ジョナゴールド、紅玉 あかね、さんさ Prima, Freedom	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	(English)				（日本語）	(English)		
56		QN (+)	斑点落葉病抵抗性	Resistance to *Alternaria mali*	*Alternaria mali* に対する抵抗性の強弱	観察 VG	1	極弱	very weak	スターキングデリシャス、印度	選択形質
							2	弱	weak	王林、陸奥	
							3	中	medium	ふじ	
							4	強	strong	ジョナゴールド、国光	
							5	極強	very strong	つがる、紅玉	

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　樹勢　Char.1　Tree: vigor

少なくとも一度の十分な着果後に、年間の総栄養生長量を評価する。夏の栄養成長最盛期（ステージ 39）又は剪定前の休眠期（ステージ 00）に、枝の長さや太さ、幹の直径などにより評価できる。

The vigor of the tree should be considered as the overall abundance of vegetative growth, after at least one satisfactory crop of fruit. It can either be assessed at the peak of vegetative growth in summer (growth stage 39), or during the dormant season before pruning (stage 00), considering shoot length and thickness, and to trunk diameter.

形質 2　樹の型　Char.2　Tree: type

少なくとも一度の十分な着果後、休眠期に評価する。

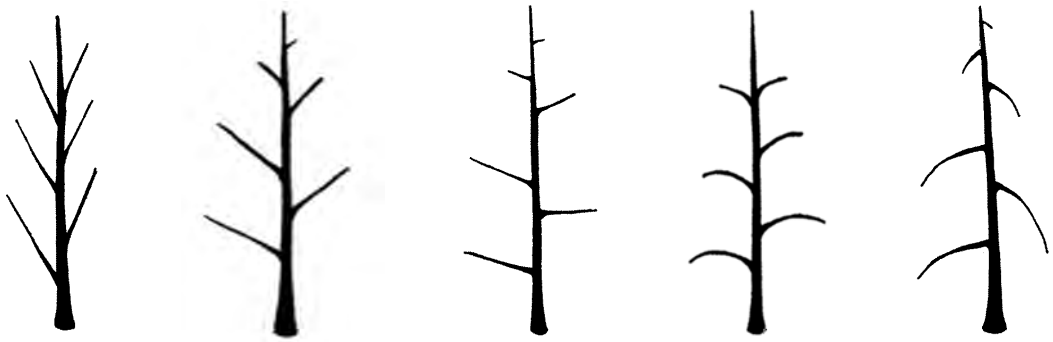


1	2
カラムナー型	側枝型
Columnar	ramfied

形質 3　樹姿（側枝型品種に限る。）

Char.3　Only varieties with Tree type: ramified: Tree: habit

少なくとも一度の十分な着果後、休眠期に評価する。



1	2	3	4	5
直立	直立から開張	開張	枝垂れ	下向き
upright	upright to spreading	spreading	drooping	weeping

形質 4　節間長　Char.4　One-year-old shoot: length of internode

少なくとも一度の十分な着果後の休眠期に、枝を三等分した中央部の節間長を評価する。測定はノギスを使用する。

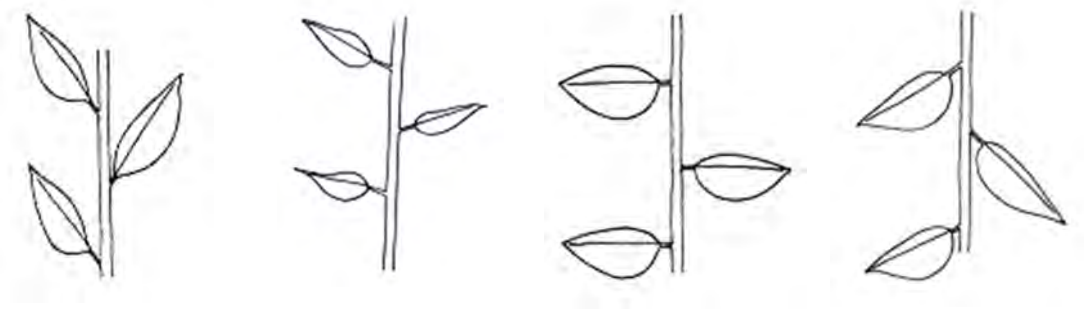
Observations should be made using a vernier caliper gauge.

形質 5　皮目の多少　Char.5　One-year-old shoot: number of lenticels

少なくとも一度の十分な着果後の休眠期に、枝を三等分した中央部の皮目の単位面積（例えば 1 cm^2）当たりの数を測定、又は、皮目の密度を観察する。

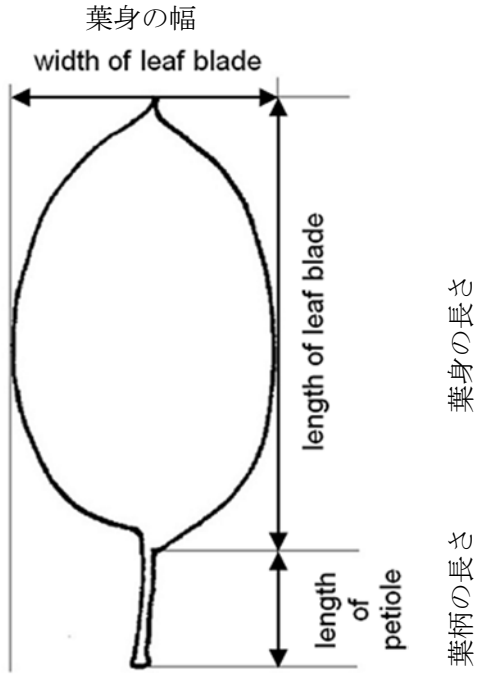
Observations should be made by counting in a defined area [e.g. an area of 1cm^2] or by visual assessment of the density of lenticels on the bark.

形質 6　葉身の向き　Char.6　Leaf blade: attitude in relation to shoot



1	2	3	4
上向き	斜上	水平	下向き
upwards	upwards to outwards	outwards	downwards

形質 7　葉身の長さ　Char.7　Leaf blade: length
形質 8　葉身の幅　Char.8　Leaf blade: width
形質 9　葉身の長さ／幅　Char.9　Leaf blade: ratio length/width
形質 14　葉柄の長さ　Char.14　Petiole: length
形質 15　葉身の長さ／葉柄の長さ　Char.15　Leaf: ratio length of leaf blade/length of petiole



形質 12　葉身周縁部の鋸歯の形　Char.12　Leaf blade: incisions of margin
葉の先端 1/2 の主要な鋸歯を評価する。
The predominant type of incision at distal half should be observed.



1	2	3
鈍鋸歯	中間	鋭鋸歯
crenate	crenate to serrate	serrate

形質 13　葉身の横断面の形　Char.13　Leaf blade: shape in cross-section



1
V 字
v-shaped



2
凹
concave



3
周縁が反った平
flat with reflexed margins



4
平
flat



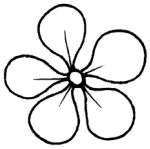
5
凸
convex

形質 17　花の直径　Char.17　Flower: diameter

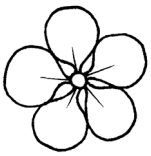
花弁を水平に押し広げて評価する。

Observations should be made with petals pressed into a horizontal position.

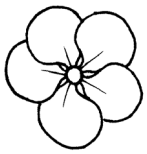
形質 18　花弁の重なり　Char.18　Flower: arrangement of petals



1
離れる
free



2
中間
intermediate



3
重なる
overlapping

形質 19　やくに対する柱頭の位置　Char.19　Flower: position of stigmas relative to anthers



1
下位
below

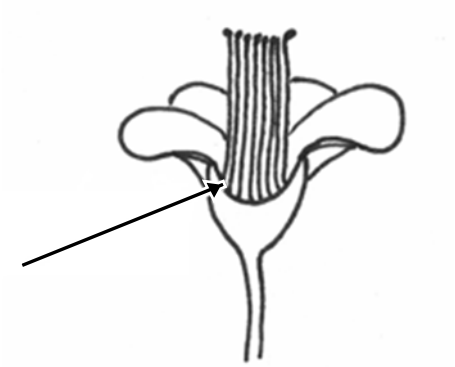


2
同位
same level



3
上位
above

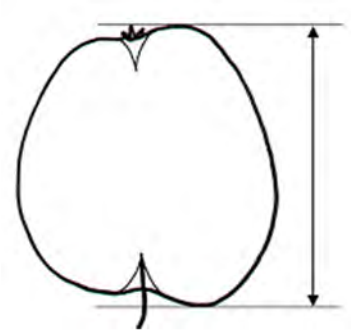
形質 20　雄ずい基部のアントシアニンの着色
Char.20　Flower: anthocyanin coloration at base of filament
雄ずい基部のアントシアニン着色は、花弁が脱落した直後に観察する。
Observations should be made just after petal drop.



形質 23　果実の高さ　Char.23　Fruit: height

最大の縦径を測定する。

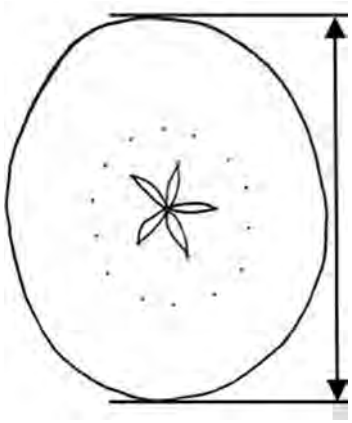
The maximum height should be observed.



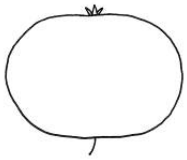
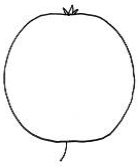
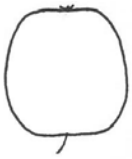
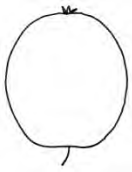
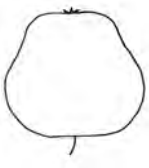
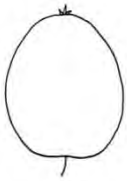
形質 24　果実の横径　Char.24　Fruit: diameter

最大の横径を測定する。

The maximum diameter should be observed.



形質 26　果実の形　Char.26　Fruit: shape

最大横径の位置 broadest part		高さ／横径 ratio height / diameter 小 low	中 medium	大 high	
	中央部よりがく あ側 above middle		 10 倒円錐形 obconical		
	中央部 at middle	 2 扁円形 oblate	 3 円形 circular  5 正方形 square	 4 楕円形 elliptic	 6 長方形 oblong
	中央部より梗あ側 below middle	 1 平らな円錐形 flat globose conical	 9 くびれのある円錐形 conical waisted	 8 円錐形 conical	 7 卵形 ovate

形質 29　果皮の地色　Char.29　Fruit: ground color

地色は、果実の成熟に伴って現れる最初の色である。

The ground color is the first color to appear chronologically during the development of the fruit.

形質 30　果皮の着色の色相　Char.30　Fruit: hue of over color

果皮を覆う色は、果粉を除いて観察する。

Observations should be made after removing the bloom.

形質 31　果皮の着色の濃淡　Char.31　Fruit: intensity of over color

果皮の着色の色相 Fruit: hue of over color	果皮の着色の濃淡 Fruit: intensity of over color								
	1 極淡 very light	2 かなり淡 very light to light	3 淡 light	4 やや淡 light to medium	5 中 medium	6 やや濃 medium to dark	7 濃 dark	8 かなり濃 dark to very dark	9 極濃 very dark
1 橙赤 orange red					さんさ				
2 桃赤 pink red					Cripps Pink				
3 赤 red						ジョナゴールド	あかね、紅玉		
4 赤紫 purple red									
5 赤褐 brown red					ふじ				

形質 33　果皮の着色の型　Char.33　Fruit: pattern of over color



1
べた着色のみ
only solid flush



2
べた着色としま模様
solid flush with stripes



3
しま模様のみ
only stripes



4
べた着色とまだら模様
flushed and mottled



5
べた着色、しま模様、
まだら模様
flushed, striped and mottled



6
大理石模様
marbled

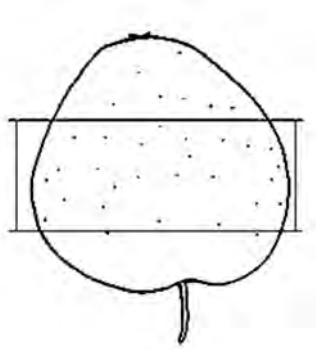
形質 35　梗あ部のさびの面積　Char.35　Fruit: area of russet around stalk attachment
霜害など気象災害によりさびの発生が多い場合には被害果を除いて評価する。
さびとは果実表面に発生する茶褐色でザラザラした肌質の部分を示す。
The russet is a dull brown rough finish on the skin.

形質 36　果実側面のさびの面積　Char.36　Fruit: area of russet on cheeks
梗あ部とがくあ部の間部分（形質 40 の ab と ef ライン）の果実側面で評価する。
Observations should be made on the outer part of the fruit skin, in the area between the stalk cavity and the eye basin (see Ad. 40: fruit outline between the lines through e-f and a-b).

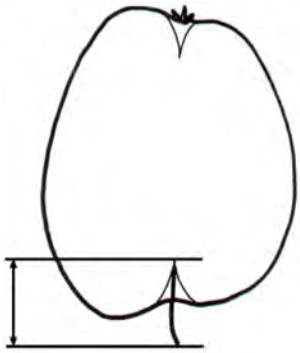
形質 38　果点の数の多少　Char.38　Fruit: number of lenticels

果実の赤道部で、果点の数を測定（例えば 1 cm^2 など一定の面積とする）する、又は、果点の密度を観察する。

Observations should be made in the central part of the fruit, by counting (in a defined area [e.g. of 1 cm^2]) or by visual assessment of the density of lenticels on the skin.



形質 39　果柄の長さ　Char.39　Fruit: length of stalk



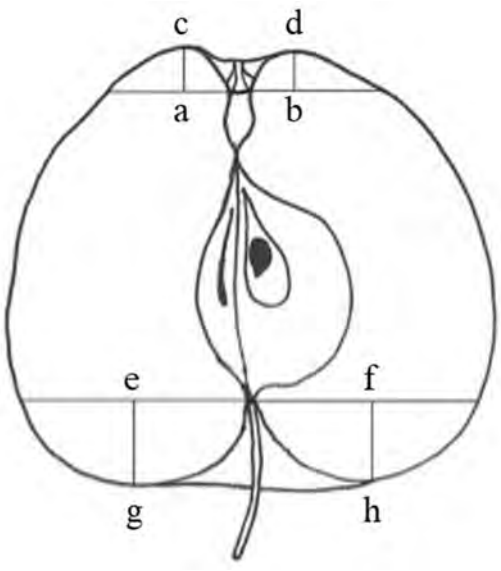
形質 40　梗あの深さ　Char.40　Fruit: depth of stalk cavity
形質 42　がくあの深さ　Char.42　Fruit: depth of eye basin
形質 43　がくあの幅　Char.43　Fruit: width of eye basin

果実は中心を通るように切断する。梗あの深さ、がくあの深さ・幅は切断した果実で測定する。以下の図は、これら形質を評価する前に、果実に付ける線の位置を示す。

Fruits should be cut through the central axis as accurately as possible. Stalk cavity and eye basin depth and width should be measured from the sectioned fruits. The following diagram indicates the position of lines scored, using a knife or scalpel, on the fruit prior to measuring these characteristics.

・線 ab 及び線 ef は果実の軸に対して垂直である。
・線 ab はがく片の基部を通る。
・線 ef は果柄の基部を通る。
・線 ac 及び線 bd はがくあの深さを示し、線 ab に対して垂直である。
・線 eg 及び線 fh は梗あの深さを示し、線 ef に対して垂直である。
・果実が左右非対称または不揃いである場合、値の大きな部位を評価する。（梗あの深さは線 eg と線 fh の、がくあの深さは線 bd と線 ac のいずれか大きいほうを評価する）

• The lines a-b and e-f must be at right angles to the axis of the fruit. (A plastic protractor can be used to ensure accuracy.)
• The line a-b is marked at the base of the sepals.
• The line e-f is marked at the insertion of the stalk.
• The lines a-c and b-d indicate the eye basin depth. They are drawn at right angles to the line a-b to the point where the basin curve levels out.
• The lines e-g and f-h indicate the stalk cavity depth. They are drawn at right angles to the line e-f to the point where the stalk cavity curve levels out.
• In the case of asymmetric or irregular sections, the larger side should be considered (i.e. in case of depths of stalk cavity: e-g instead of f-h; in case of depth of eye basin: a-c instead of b-d).



f-h =梗あの深さ（形質 40）
　　depth of stalk cavity (characteristic 40)
a-c =がくあの深さ（形質 42）
　　depth of eye basin (characteristic 42)
a-b =がくあの幅（形質 43）
　　width of eye basin (characteristic 43)

形質 44　果肉の硬さ　Char.44　Fruit: firmness of flesh

可食期に硬度計で測定する。

Observations can be made by measuring, using a penetrometer.

形質 45　果肉の主な色　Char.45　Fruit: main color of flesh

形質 46　果肉の二次色　Char.46　Fruit: secondary color of flesh

主な色とは最大面積を占める色である。二次色は二番目に占める色である。主な色と二次色が同等の場合は、濃い色を主な色とする。

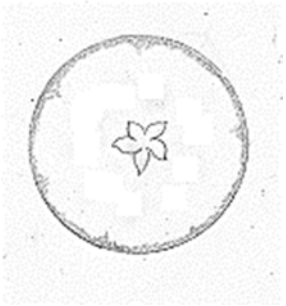
The main color is the color with the largest surface area. The secondary color is the color with the second largest surface area. In cases where the areas of the main and secondary color are too similar to reliably decide which color has the largest area, the darker color is considered to be the main color.

形質 48　果肉の桃色又は赤色着色の分布

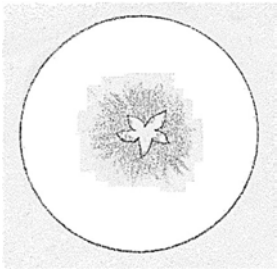
Char.48　Flesh color: distribution of pinkish or reddish coloration

果実の赤道部横断面を観察する。

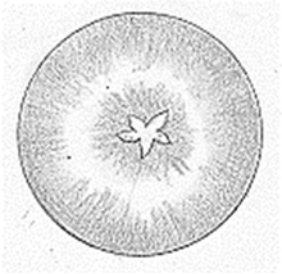
To be observed in cross section.



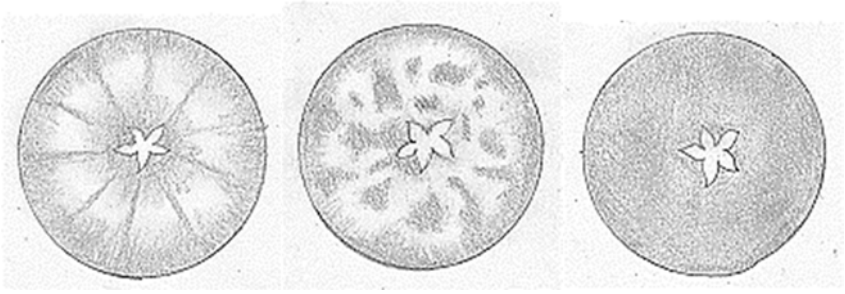
2
果皮下のみ
under skin only



3
果心周辺のみ
around core only



4
果皮下と果心周辺
under skin and around core



5
全体
throughout

形質 49　果実の蜜　Char.49　　Fruit: water-core of flesh

果実の赤道部横断面の蜜入り程度を観察し、標準品種との比較で評価する。

形質 50　果実の糖度　Char.50　　Fruit: sweetness of flesh

可食期に、果皮及び果心を除いた果肉の果汁を糖度計で測定する。

形質 51　果実の酸度　Char.51　　Fruit: acidity of flesh

可食期に、果皮及び果心を除いた果肉の果汁を酸度計又は中和滴定法で測定する。

形質 52　果肉の褐変　Char.52　　Fruit: browning of flesh

果実の側面の対角となる２カ所から、果皮、果心を含まない果肉(約 10～20g）をすりおろし、平らな小容器に移し、24 時間後に標準品種との比較により褐変程度を観察する。

形質 53　開花始期　Char.53　Time of beginning of flowering

開花始期は 10%の花が開花した時期である。

The time of beginning of flowering is reached when 10% of the flowers are fully open.

形質 54　収穫期　Char.55　Time for harvest

収穫期は、果実が摘果されるために熟し、樹上から最も簡単に摘果できる状態に達した時期となる。この果実の外見上のステージは、果肉のデンプン含有量の糊化の程度によって評価されるため、デンプン含有量の測定で判定することもできる。なお、日本における収穫期と可食期はほぼ同時期であるため、形質 55 と同評価でもよい。

The time for harvest is reached when fruits are ripe for picking and can most easily be picked from the trees. As this physiological stage of the fruit is characterized by a regression of starch content in the flesh, the time for harvest can also be determined by assessing the starch content.

形質 55　可食期　Char.55　Time of eating maturity

可食期は、果実が食べられる程度に熟し、味と香りが最も良い状態に達した時期であり、樹上又は冷蔵庫で判断する。この果実の外見上のステージは、果肉のデンプン含有量の分解の程度によっても評価されるため、デンプン含有量の測定で判定することもできる。

The time of eating maturity is reached when the fruit is ripe for eating and has reached its optimum of flavor and aroma. Eating maturity can be reached on trees or in cold chambers. As this physiological stage of the fruit is characterized by a degression of starch content in the flesh, the time of eating maturity can also be determined by assessing the starch content.

形質 55　黒星病抵抗性　Char.55　　Resistance to *Venturia inaequalis*

黒星病菌（*Venturia inaequalis*）の分生胞子懸濁液（濃度１×10^6/ml 程度）をサンプル葉に噴霧接種し、18℃前後の湿室に２日間置き、２～３週間後に病斑の発生程度を観察し、標準品種との比較により評価する。

抵抗性弱（２）: 胞子を形成し、病斑が拡大。

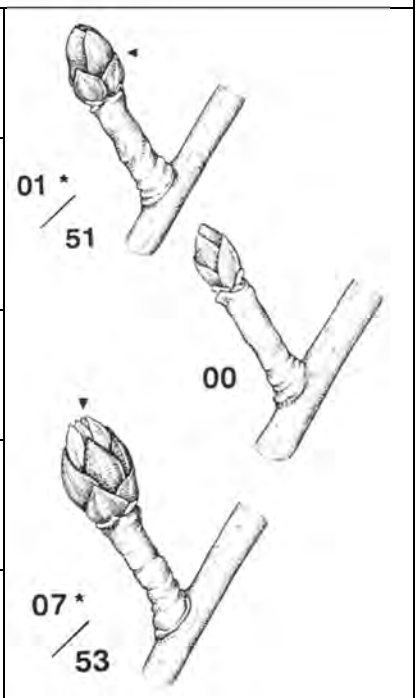
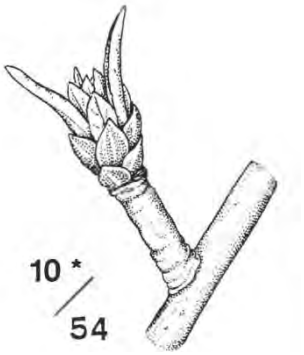
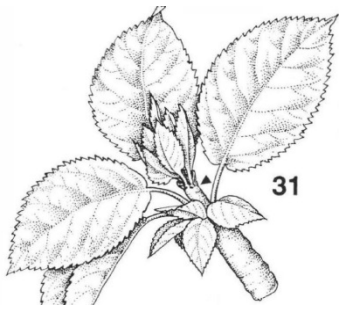
抵抗性中（３）: 胞子は形成されるが、少数に限定。

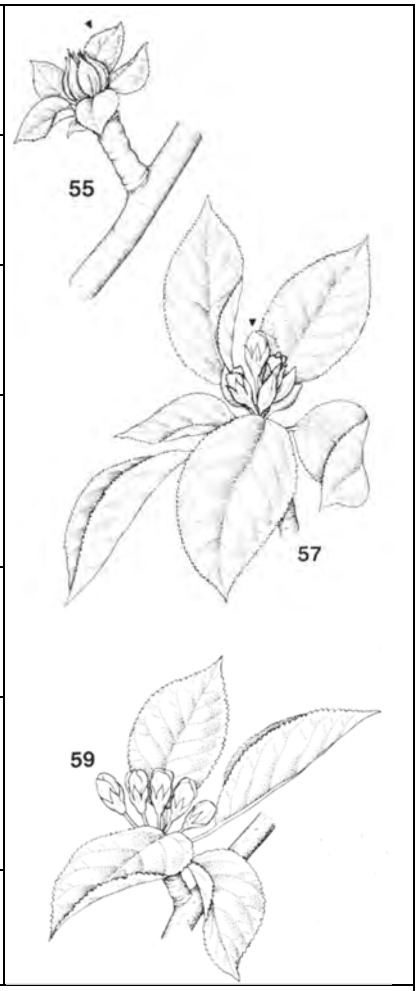
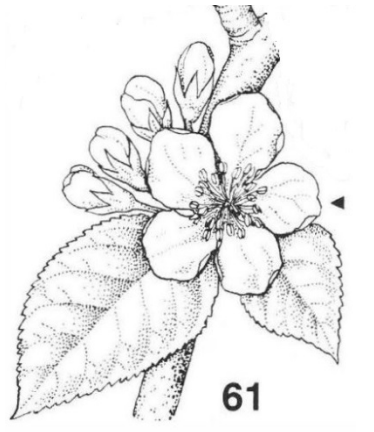
抵抗性強（４）: クロロシスまたはネクロシスは生じるが、胞子は形成されない。

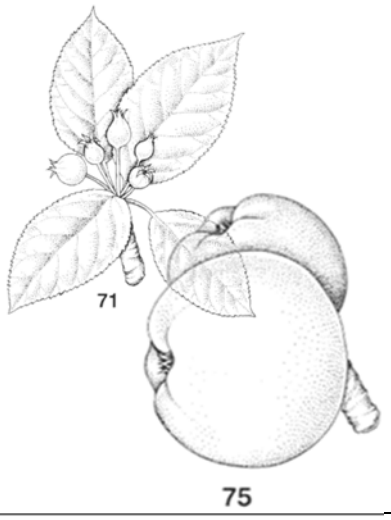
形質 56　斑点落葉病抵抗性　Char.56　　Resistance to *Alternaria mali*

斑点落葉病菌（*Alternaria mali*）の分生胞子懸濁液（濃度１×10^6/ml 程度）をサンプル葉に噴霧接種し、20℃前後の湿室に２日間置き、１週間後に病斑の発生程度を観察し、標準品種との比較により評価する。

仁果類の表現型上の主要な生育ステージ

BBCH コード	説　　明	
生育ステージ　0	芽の発達	
00	休眠：葉芽と太い花芽が閉じ、黒褐色の鱗片で覆われる。	
01	葉芽が膨らみ始める：芽が明らかに膨らみ、鱗片は細長くなり、明るい色の斑点がある。	
03	芽が膨らみ終わる：鱗片の色は明るく、一部は毛じで密に覆われている。	
07	芽がほころび始める。緑色の葉の先端が見え始める。	
09	緑色の新しょうの先端が鱗片から約 5mm 上にある。	
生育ステージ　1	葉の発達	
10	緑色の葉の先端が鱗片から 10mm 上にある。最初の葉が分化する。	
11	最初の葉が展開を始める。（他の葉はまだ展開していない。）	
15	さらに葉が展開するが、まだ完全な大きさには達しない。	
19	最初の葉が完全に展開する。	
生育ステージ　3	末端の芽から新しょうが発生	
31	新しょうの伸長開始：新しょうの軸が見える。	
32	新しょうが最終的な長さの約 20%になる。	
39	新しょうが最終的な長さの約 90%になる。	
生育ステージ　5	花序の出現	

51	花序の膨らみ：鱗片は細長くなり、薄茶色で斑点がある。	
52	花序が膨らみ終わる：鱗片の色は明るく、一部は毛じで密に覆われている。	
53	花序がほころぶ：花を囲む葉の先端が見える。	
54	花を囲む葉の先端が鱗片の 10mm 上にある。最初の葉が分化し花芽が見える（まだ閉じている）。	
56	緑の蕾の段階：個々の花が分かれる（まだ閉じている）。	
57	赤い蕾の段階：花弁が十分に発達する。がくがわずかに開き、花弁が見える。	
59	大部分の花の花弁がくぼんだ球状になる。	
生育ステージ　6	開花	
60	最初の花が開花する。	
61	開花始期: 約 10%の花が開花する。	
65	開花盛期：50%以上の花が開花、古い花弁の落下が始まる。	
67	花の退色: 花弁の大部分が退色し落下する。	
69	開花終期：全ての花弁が落下する。	
生育ステージ　7	果実の発達	
71	果実の大きさが 10mm になる：開花後に落果する。	
72	果実の大きさが 20mm になる。	

73	2 番果が落果する。	
74	果実の直径が最大 40mm：果実は着生している枝に対して直立している。	
75	果実が最終的な大きさの約 50%になる。	
77	果実が最終的な大きさの約 70%になる。	
生育ステージ　8	果実と種子の成熟	
81	果実が熟し始める：品種特有の果皮の着色の色相が確認できるようになる。	
85	果実の熟成が進む：品種特有の果皮の着色の色相が強くなる。	
87	収穫適期	
89	利用に適した熟度：果実が典型的な味と硬さになる。	
生育ステージ　9	老化、休眠の始まり	
91	枝の伸長は止まり、頂芽が成熟発達、紅葉は始まっていない。	
92	葉の退色が始まる。	
93	落葉が始まる。	
97	全ての葉が落葉する。	
99	収穫物	

参考：Lorentz et al., 1994 and in Meier, 1997

U. Meier, H. Graf, H. Hack, M. Heß, W. Kennel, R. Klose, D. Mappes, D. Seipp, R. Stauß, J. Streif und T. van den Boom (1994): Phenological growth stages of pome fruit (Malus domestica Borkh. and Pyrus communis L.), stone fruit (Prunus species), currants (Ribes species) and strawberry (Fragaria x ananassa Duch.).

Nachrichtenblatt Deutscher Pflanzenschutzdienst 46 (7), S. 141-153; ISSN 0027-7479.

＜参考＞

特性調査の概要

１．現地検討会

（１）開催年月日

令和４年 5 月 19 日（茨城県つくば市）

令和４年 7 月 27-28 日（岩手県盛岡市）

令和４年 10 月 27-28 日（岩手県盛岡市）

（２）調査実施場所

果樹茶業研究部門（岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-24）

種苗管理センター（茨城県つくば市藤本２－２）

（３）調査者

別所　英男　　種類別審査基準案作成検討委員

阿部　陽介　　農林水産省輸出・国際局知的財産課種苗室審査専門職

高松　芳明　　種苗管理センター試験・検査部特性調査業務課

２．栽培調査

（１）調査期間

令和３年４月～令和５年３月

（果樹茶業研究部門で栽培管理している品種を調査）

（２）調査場所

果樹茶業研究部門（岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92-24）

（３）調査者

高松　芳明　　種苗管理センター試験・検査部特性調査業務課

３．栽培方法

（１）作型

露地栽培

（２）耕種概要

	遺伝資源圃	母樹園	4 号園
栽培目的	ジーンバンク保存	交配母本	特性確認
栽植距離	株間 1m、通路 2m	株間 2.5m、通路 4m（間伐済）	株間 2.5m、通路 4m（間伐済）
樹齢	3 年～10 年以上	10 年以上	10 年以上
施肥	慣行	慣行	慣行
防除	慣行	慣行	慣行
着果管理	簡易（摘果剤）	慣行	慣行
剪定	簡易（強剪定）	慣行	慣行
	樹冠が小さい。簡易な強剪定のため着果が少ない。	交配果があるため、調査可能な果実が限られる。	一般的な営利栽培に最も近い管理。

	徒長枝が多く、株間が狭いため、着色不良の果実が多い。		

４．調査結果及び所見

（１）対象植物の範囲

UPOV 基準案に準拠し、リンゴ種のうち台木のみとして利用する品種以外を対象とした。

（２）提出種苗

UPOV 基準案では接ぎ木苗および穂木の提出としている。しかしながら、穂木と台木の親和性や、未充実で提出された穂木の接ぎ木活着率を考慮すると、接ぎ木苗での提出が適当と判断した。栽培試験で使用する台木は「JM7」を想定しているものの、台木品種を指定すると例外的な対応ができないため、「(審査当局が指定する台木を使用する。)」との文言を追記した。

（３）形質の検討

UPOV 基準案に準拠した形質としたが、Time for harvest（生育ステージ 87）と Time of eating maturity（生育ステージ 89）があり、日本基準では「収穫期」（Time of harvest）が存在する。日本では果実が食べられる程度に成熟したら収穫するため、アスタリスク記号のある Time of eating maturity のみを「成熟期」として採用した。また、UPOV 基準案との整合を目的として、改訂案作成開始時の日本審査基準の以下の形質は不採用とした。

・結実の型（Tree: type of bearing）
・枝の太さ（One-year-old shoot: thickness）
・枝の色（One-year-old shoot: color on sunny side）
・枝の毛じの粗密（One-year-old shoot: pubescence）
・葉身の裏面の毛じの粗密（Leaf blade: pubescence on lower side）
・つぼみの色（Flower: predominant color at balloon stage）
・果実のがくの開閉（Fruit: size of eye）
・果実のがくの長さ（Fruit: length of sepal）
・果粉の多少（Fruit: bloom of skin）
・果皮のろう質の多少（Fruit: greasiness of skin）
・果面の粗滑（Fruit: surface texture of skin）
・果皮のしまの幅（Fruit: width of stripes）
・果点の大きさ（Fruit: size of lenticels）
・スカーフスキンの多少（Fruit: scarfskin）
・果柄の太さ（Fruit: thickness of stalk）
・梗あの幅（Fruit: width of stalk cavity）
・果心の形（Fruit: shape of core）
・果実の子室の型（Fruit: aperture of locules）
・普通貯蔵の貯蔵性（Duration of storage: common storage）
・冷蔵貯蔵の貯蔵性（Duration of storage: cold storage）

いっぽう、形質 49「果実の蜜」、形質 50「果実の糖度」、形質 51「果実の酸度」、形

質 52「果肉の褐変」、形質 55「黒星病抵抗性」、形質 56「斑点落葉病抵抗性」は日本国内の品種識別において有用と判断し、日本独自形質として追加した。

（４）標準品種

現行日本審査基準では標準品種の記載がないため、UPOV 基準案に記載されている標準品種の評価結果を参考に、日本国内で一般的に栽培されている品種を中心に検討・設定した。

（５）階級値設定表

標準品種の樹齢や生育状況のばらつき等、今回のデータのみで作成することは難しいため、今後の試作や栽培試験において改めて作成を検討する。

（６）UPOV 基準案の修正に伴う対応

準拠した UPOV 基準案 ”TG/14/10(proj.6) 2022-09-30” は UPOV の TC に諮問したものの、一部修正・再検討の指示があり 2023 年３月に採択予定とされている。このため、準拠した基準案の内容が修正された場合には、本基準案の内容も修正する。

５．参考文献

青森県りんご協会著（2021）りんご生産指導要項　令和２年度改訂版（青森県りんご協会）
長野県、全国農業協同組合連合会長野県本部編（2006）果樹指導指針（長野県）
上野勇、土屋七郎、梶浦一郎、小崎格監修（1996）新編原色果物図説（養賢堂）
吉田義雄編著（1986）リンゴ品種大観（長野県経済事業農業協同組合連合会）

６．供試品種一覧表

農研機構果樹茶業研究部門で栽培されている品種を調査した。また、複数の圃場で栽培されている品種は、順位を①４号園、②母樹園、③遺伝資源圃として、最も順位の高い圃場の特性を採用し、検討した。

番号	品種名	圃場	備考
1	ゴールデンデリシャス	遺伝	標準品種候補
2-1	ジョナゴールド	遺伝	
2-2	ジョナゴールド	４号	標準品種候補
3-1	紅玉 (JONATHAN)	遺伝	
3-2	紅玉 (JONATHAN)	４号	標準品種候補
4-1	あかね	遺伝	
4-2	あかね	母樹	標準品種候補
5	王林	遺伝	標準品種候補
6-1	さんさ	遺伝	
6-2	さんさ	母樹	
6-3	さんさ	４号	標準品種候補
7-1	つがる	遺伝	
7-2	つがる	４号	標準品種候補
8-1	ふじ	遺伝	
8-2	ふじ	４号	標準品種候補

8-3	ふじ	母樹	
9	陸奥	遺伝	標準品種候補
10	旭 (McINTOSH)	遺伝	標準品種候補
11	スターキングデリシャス	遺伝	標準品種候補
12	金星	遺伝	標準品種候補
13	世界一	遺伝	標準品種候補
14-1	千秋	遺伝	
14-2	千秋	４号	標準品種候補
14-3	千秋	母樹	
15	はつあき	遺伝	標準品種候補
16	ひめかみ	遺伝	標準品種候補
17	北斗	遺伝	標準品種候補
18	アルプス乙女	遺伝	標準品種候補
19	秋映	遺伝	標準品種候補
20	トキ	遺伝	標準品種候補
21	ぐんま名月	遺伝	標準品種候補
22	デリシャス	遺伝	標準品種候補
23	COX'S ORANGE PIPPIN	遺伝	標準品種候補
24	国光 (RALLS JANET)	遺伝	標準品種候補
25	WORCESTER PEARMAIN	遺伝	標準品種候補
26	印度	遺伝	標準品種候補
27	陽光	遺伝	標準品種候補
28	8C-27-96（Sunrise）	遺伝	UPOV 標準品種
29	ALKMENE	遺伝	UPOV 標準品種
30	ANGOLD	遺伝	UPOV 標準品種
31	ANNA HT	遺伝	UPOV 標準品種
32	API NOIR	遺伝	UPOV 標準品種
33	ARIWA	遺伝	UPOV 標準品種
34	ARLET (Vf g. 2)	遺伝	UPOV 標準品種
35	BEAUTY OF BATH	遺伝	UPOV 標準品種
36	BELLE DE BOSKOOP (Schone van Boskoop)	遺伝	UPOV 標準品種
37	BRAEBURN (S1-22-48)	遺伝	UPOV 標準品種
38	BRAMLEY'S SEEDLING	遺伝	UPOV 標準品種
39	CHARLES ROSS	遺伝	UPOV 標準品種
40	CORTLAND	遺伝	UPOV 標準品種
41	COURT PENDU PLAT	遺伝	UPOV 標準品種
42	CRIPP'S PINK	遺伝	UPOV 標準品種
43	CRIPPS RED	遺伝	UPOV 標準品種

44	DISCOVERY	遺伝	UPOV 標準品種
45	DL11 (DALINBELL)	遺伝	UPOV 標準品種
46	EARLISTRIPE RED DELICIOUS	遺伝	UPOV 標準品種
47	EDWARD VII	遺伝	UPOV 標準品種
48	EGREMONT RUSSET	遺伝	UPOV 標準品種
49	EIN SHEMER	遺伝	UPOV 標準品種
50	ELSTAR	遺伝	UPOV 標準品種
51	EMPIRE (NY 45500-5)	遺伝	UPOV 標準品種
52	FEUILLEMORTE	遺伝	UPOV 標準品種
53	FIESTA	遺伝	UPOV 標準品種
54	FLORINA (QUERINA)	遺伝	UPOV 標準品種
55	FREEDOM (NY 58553-1)	遺伝	UPOV 標準品種
56	GALA	遺伝	UPOV 標準品種
57	GARDNER RED DELICIOUS	遺伝	UPOV 標準品種
58	GLOSTER 69	遺伝	UPOV 標準品種
59	GOLDEN HARVEY	遺伝	UPOV 標準品種
60	GRANNY SMITH	遺伝	UPOV 標準品種
61	GRAVENSTEIN(Gravensteiner)（生娘）	遺伝	UPOV 標準品種
62	GRENADIER	遺伝	UPOV 標準品種
63	HONEY CRISP	遺伝	UPOV 標準品種
64	HOWGATE WONDER	遺伝	UPOV 標準品種
65	IDARED	遺伝	UPOV 標準品種
66	INGRID MARIE	遺伝	UPOV 標準品種
67	JAMES GRIEVE (RED SPORT)	遺伝	UPOV 標準品種
68	JONAFREE (COOP 22)	遺伝	UPOV 標準品種
69	JONAGORED (9614)	遺伝	UPOV 標準品種
70	KAISER WILHELM	遺伝	UPOV 標準品種
71	KARMIJN DE SONNAVILLE	遺伝	UPOV 標準品種
72	KATJA	遺伝	UPOV 標準品種
73	KENT	遺伝	UPOV 標準品種
74	KIDD'S ORANGE RED	遺伝	UPOV 標準品種
75	LADY WILLIAMS	遺伝	UPOV 標準品種
76	LAXTON'S FORTUNE	遺伝	UPOV 標準品種
77	LODI (EARLY GOLDEN)	遺伝	UPOV 標準品種
78	LORD BURGHLEY	遺伝	UPOV 標準品種
79	McINTOSH WIJCIK STRAIN(WIJCIK)	遺伝	UPOV 標準品種
80	MELROSE	遺伝	UPOV 標準品種
81	MILLER'S SEEDLING	遺伝	UPOV 標準品種
82	Modi (civg 198)	遺伝	UPOV 標準品種

83	MONARCH	遺伝	UPOV 標準品種
84	NEILD'S DROOPER	遺伝	UPOV 標準品種
85	ONTARIO	遺伝	UPOV 標準品種
86	PINOVA	遺伝	UPOV 標準品種
87	PRIAM (S1-1-24)	遺伝	UPOV 標準品種
88	PRIMA (COOP 2)	遺伝	UPOV 標準品種
89	REANDA	遺伝	UPOV 標準品種
90	RED ASTRACHAN（紅魁）	遺伝	UPOV 標準品種
91	RED GOLD	遺伝	UPOV 標準品種
92	RED PRINCE (RED JONAPRINCE)	遺伝	UPOV 標準品種
93	RED SLEEVES	遺伝	UPOV 標準品種
94	REDSPUR DELICIOUS	遺伝	UPOV 標準品種
95	REGINE	遺伝	UPOV 標準品種
96	REINE DES REINETTES	遺伝	UPOV 標準品種
97	REKA	遺伝	UPOV 標準品種
98	REMO	遺伝	UPOV 標準品種
99	RENORA	遺伝	UPOV 標準品種
100	REWENA	遺伝	UPOV 標準品種
101	RICHARED DELICIOUS（瑞光）	遺伝	UPOV 標準品種
102	ROME BEAUTY（芹川）	遺伝	UPOV 標準品種
103	RUBENS (CIVNI)	遺伝	UPOV 標準品種
104	RUBINOLA	遺伝	UPOV 標準品種
105	RUBY	遺伝	UPOV 標準品種
106	SHARP RED DELICIOUS	遺伝	UPOV 標準品種
107	SILKEN	遺伝	UPOV 標準品種
108	SPARTAN	遺伝	UPOV 標準品種
109	SPENCER	遺伝	UPOV 標準品種
110	STARKRIMSON DELICIOUS	遺伝	UPOV 標準品種
111	STURMER PIPPIN	遺伝	UPOV 標準品種
112	SUMMER RED	遺伝	UPOV 標準品種
113	SYLVIA	遺伝	UPOV 標準品種
114	TOPAZ	遺伝	UPOV 標準品種
115	TRAJAN（ポルカ）	遺伝	UPOV 標準品種
116	TRANSPARENT DE CRONCELS	遺伝	UPOV 標準品種
117	TUMANGA (Auralia)	遺伝	UPOV 標準品種
118	TURNER RED DELICIOUS	遺伝	UPOV 標準品種
119	TUSCAN（ボレロ）	遺伝	UPOV 標準品種
120	VISTA BELLA	遺伝	UPOV 標準品種
121	WHITE TRANSPARENT	遺伝	UPOV 標準品種

122	WINESAP（初日の出）	遺伝	UPOV 標準品種
123	WINTER BANANA（芳玉）	遺伝	UPOV 標準品種
124	ZABERGAU RENETTE (Zabergäurenette)	遺伝	UPOV 標準品種
125	AMERICAN SUMMER PEARMAIN (祝)	遺伝	UPOV 標準品種
126	王鈴	遺伝	UPOV 標準品種
127	東光	遺伝	UPOV 標準品種
129	恵	遺伝	UPOV 標準品種

７．既存品種特性一覧

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			ゴールデンデリシャス		ジョナゴールド（4号園）		紅玉（4号園）		あかね（母樹園）	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		6		4		6		3	
2	樹の型		2		2		2		2	
3	樹姿（側枝型品種に限る。）		3		3		2		3	
4	節間長	cm		3.1		3.0		2.9		2.8
5	皮目の多少			9.4		6.8		6.2		7.4
6	葉身の向き		2		2		2		2	
7	葉身の長さ	cm		9.1		9.0		7.7		8.1
8	葉身の幅	cm		5.8		6.3		4.3		5.3
9	葉身の長さ／幅	比		1.57		1.43		1.78		1.52
10	葉身の色		2	NN137A	4	NN137A	3	NN137B	3	NN137A
11	葉身の光沢		2		3		2		2	
12	葉身周縁部の鋸歯の形		2		1		1		1	
13	葉身の横断面の形		2		1		1		1	
14	葉柄の長さ	cm		2.3		2.4		2.6		3.1
15	葉身の長さ／葉柄の長さ	比		3.93		3.79		3.01		2.66
16	葉柄基部のアントシアニンの着色面積		2		2		4		3	
17	花の直径	cm				5.3		4.5		4.4
18	花弁の重なり				2		2		2	
19	やくに対する柱頭の位置		3		2		2		2	
20	雄ずい基部のアントシアニンの着色		1		1		3		1	
21	幼果を覆う色の着色面積		5		5		4		5	
22	果実の重さ	g		327.0		450.5	4	244.4		199.5
23	果実の高さ	cm		8.9		9.2	6	7.7		6.6

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			ゴールデンデリシャス		ジョナゴールド（4号園）		紅玉（4号園）		あかね（母樹園）	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	果実の横径	cm		9.3		10.4	5	8.5		8.1
25	果実の高さ／横径	比		0.96		0.89	6	0.90		0.81
26	果実の形		8		8		8		9	
27	果実の角張り		2		1		1		1	
28	果実の王冠		1		1		1		1	
29	果皮の地色		3	3D,4C,8B,1C	5	3C,3D,4B,4C	3	8B,8C	2	4D
30	果皮の着色の色相		2	48B,48D	3	53A,46A	3		3	187A
31	果皮の着色の濃淡		2		6		7		7	
32	果皮の着色面積		2	0-20%		60-80%	7	70-100%		90-100%
33	果皮の着色の型		1		5		2		2	
34	果皮のしま模様の明瞭度		1		2		1		2	
35	梗あ部のさびの面積		2		1		2		3	
36	果実側面のさびの面積		1		1		1		1	
37	がくあ部のさびの面積		1		1		1		1	
38	果点の数の多少	個		3.9		4.7	2	3.9		6.0
39	果柄の長さ	cm		3.1		3.2	3	1.6		1.5
40	梗あの深さ	cm		2.7		2.4	3	2.1		1.8
41	がくの開き		2		1		1		1	
42	がくあの深さ	cm		0.8		1.0	4	1.2		0.8
43	がくあの幅	cm		3.1		3.8	3	2.9		2.9
44	果肉の硬さ	Ibs.		11.4		11.7	2	13.4		15.5
45	果肉の主な色		4	4D	3	8D	3	155B	1	155B,N155A
46	果肉の二次色		1		1		1		1	
47	果肉の二次色の面積									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			ゴールデンデリシャス		ジョナゴールド（4号園）		紅玉（4号園）		あかね（母樹園）	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
48	果肉の桃色又は赤色着色の分布									
49	果実の蜜		1		1		3			
50	果実の糖度	%		13.5		14.8		14.6		13.7
51	果実の酸度	g/100ml		0.4		0.4		0.5		0.8
52	果肉の褐変									
53	開花始期	月 日				5月7日		5月8日		5月7日
54	成熟期	月 日		11月5日		10月20日		10月13日		9月3日
55	黒星病抵抗性									
56	斑点落葉病抵抗性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			王林		さんさ（4号園）		つがる（4号園）		ふじ（4号園）	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		3		6		5		5	
2	樹の型		2		2		2		2	
3	樹姿（側枝型品種に限る。）		2		2		2		2	
4	節間長	cm		2.2		3.2		3.1		3.3
5	皮目の多少			11.6		8.2		12.0		10.6
6	葉身の向き		1		1		2		2	
7	葉身の長さ	cm		9.5		8.6		8.8		8.4
8	葉身の幅	cm		5.8		5.5		5.1		5.4
9	葉身の長さ／幅	比		1.65		1.56		1.74		1.56
10	葉身の色		4	NN137B	2	NN137B	4	NN137A	3	NN137B
11	葉身の光沢		3		1		3		1	
12	葉身周縁部の鋸歯の形		2		2		1		3	
13	葉身の横断面の形		2		2		1		2	
14	葉柄の長さ	cm		2.9		2.8		2.8		2.5
15	葉身の長さ／葉柄の長さ	比		3.26		3.10		3.17		3.45
16	葉柄基部のアントシアニンの着色面積		2		2		2		3	
17	花の直径	cm						4.3		4.3
18	花弁の重なり				2		3		2	
19	やくに対する柱頭の位置		3		2		2		2	
20	雄ずい基部のアントシアニンの着色		1		3		1		1	
21	幼果を覆う色の着色面積		7		5		5		3	
22	果実の重さ	g		316.7		279.0		331.5		338.0
23	果実の高さ	cm		8.7		7.5		8.4		8.2

形質		単位	標準品種 王林		標準品種 さんさ（4号園）		標準品種 つがる（4号園）		標準品種 ふじ（4号園）	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	果実の横径	cm		9.0		8.9		9.4		9.0
25	果実の高さ／横径	比		0.97		0.85		0.89		0.91
26	果実の形		2		2		8		8	
27	果実の角張り		1		1		1		1	
28	果実の王冠		1		1		1		1	
29	果皮の地色		6	154C,150C	4	2C,8C	5	1C-D,2C-D	5	
30	果皮の着色の色相		1	39A,35D	1	53A,N45A	3	53A,187B	5	
31	果皮の着色の濃淡		2		5		3		5	
32	果皮の着色面積		2	10-40%	5	60-80%	3	70-80%	7	70-90%
33	果皮の着色の型		1		2		2		2	
34	果皮のしま模様の明瞭度		1		1		2		3	
35	梗あ部のさびの面積		1		2		2		1	
36	果実側面のさびの面積		1		1		1		1	
37	がくあ部のさびの面積		1		2		1		1	
38	果点の数の多少	個		7.1		7.4		6.9		6.8
39	果柄の長さ	cm		1.5		1.8		2.2		2.8
40	梗あの深さ	cm		1.7		2.1		2.1		2.3
41	がくの開き		2		2		2		1	
42	がくあの深さ	cm		0.6		1.1		1.1		1.0
43	がくあの幅	cm		2.6		3.0		3.1		3.1
44	果肉の硬さ	Ibs.		14.4		11.5		13.2		15.1
45	果肉の主な色		3	155A,155B	3	155B,4D	3		3	
46	果肉の二次色		1		1		1		1	
47	果肉の二次色の面積									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			王林		さんさ（4号園）		つがる（4号園）		ふじ（4号園）	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
48	果肉の桃色又は赤色着色の分布									
49	果実の蜜		2		1		1		3	
50	果実の糖度	%		15.8		13.2		14.5		15.3
51	果実の酸度	g/100ml		0.3		0.4		0.4		0.4
52	果肉の褐変									
53	開花始期	月 日		4月27日				5月9日		5月3日
54	成熟期	月 日		11月5日		9月3日		9月7日		11月15日
55	黒星病抵抗性									
56	斑点落葉病抵抗性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			陸奥		旭		スターキング デリシャス		金星	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		7		3		5		5	
2	樹の型		2		2		2		2	
3	樹姿（側枝型品種に限る。）		3		2		2		2	
4	節間長	cm		3.6		3.2		2.6		2.2
5	皮目の多少			12.8		11.0		6.6		7.6
6	葉身の向き		2				2		2	
7	葉身の長さ	cm		9.7		7.1		7.6		7.6
8	葉身の幅	cm		6.7		5.4		4.8		5.2
9	葉身の長さ／幅	比		1.45		1.31		1.59		1.48
10	葉身の色		4	NN137A	2		4	NN137A	3	NN137A
11	葉身の光沢		2		2		3		3	
12	葉身周縁部の鋸歯の形		3		2		3		2	
13	葉身の横断面の形		2		1		2		2	
14	葉柄の長さ	cm		2.3		2.9		2.7		2.2
15	葉身の長さ／葉柄の長さ	比		4.19		2.50		2.86		3.45
16	葉柄基部のアントシアニンの着色面積		2		2		4		3	
17	花の直径	cm								
18	花弁の重なり									
19	やくに対する柱頭の位置		2				2		2	
20	雄ずい基部のアントシアニンの着色		1	極薄			1		1	
21	幼果を覆う色の着色面積		5				3		5	
22	果実の重さ	g		352.5				301.0		368.8
23	果実の高さ	cm		8.8				8.0		8.5

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			陸奥		旭		スターキングデリシャス		金星	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	果実の横径	cm		9.3				9.1		9.5
25	果実の高さ／横径	比		0.95				0.88		0.89
26	果実の形		8				8		5	
27	果実の角張り		1				3		1	
28	果実の王冠		1				3		2	
29	果皮の地色		6	5C,4B,8B			3	4A,8B	3	10B,10C
30	果皮の着色の色相		3	48A,48B			4	53A,187A-C	3	47B-D
31	果皮の着色の濃淡		2				9		2	
32	果皮の着色面積			10-30%			9	70-90%		5-30%
33	果皮の着色の型		2				2		4	
34	果皮のしま模様の明瞭度		1				1		1	
35	梗あ部のさびの面積		2				1		1	
36	果実側面のさびの面積		1				1		2	
37	がくあ部のさびの面積		1				1		1	
38	果点の数の多少	個		3.5				7.6		7.0
39	果柄の長さ	cm		3.0				2.6		2.6
40	梗あの深さ	cm		2.5				2.0		2.1
41	がくの開き		2				2		1	
42	がくあの深さ	cm		0.9				1.5		1.0
43	がくあの幅	cm		3.5				3.4		3.5
44	果肉の硬さ	Ibs.		11.1				12.4		14.0
45	果肉の主な色		4	8D			3	4C	4	11D
46	果肉の二次色		1				1		1	
47	果肉の二次色の面積									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			陸奥		旭		スターキング デリシャス		金星	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
48	果肉の桃色又は赤色着色の分布									
49	果実の蜜		1				4		1	
50	果実の糖度	%						16.7		16.1
51	果実の酸度	g/100ml						0.3		0.3
52	果肉の褐変									
53	開花始期	月日		5月6日						
54	成熟期	月日		11月15日				10月17日		11月5日
55	黒星病抵抗性									
56	斑点落葉病抵抗性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			世界一		千秋（4号園）		はつあき		ひめかみ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		7		5		5		5	
2	樹の型		2		2		2		2	
3	樹姿（側枝型品種に限る。）		2		2		3		2	
4	節間長	cm		2.9		2.9		3.7		2.9
5	皮目の多少			8.6		7.8		8.0		6.8
6	葉身の向き		2		2		2		2	
7	葉身の長さ	cm		8.9		8.4		8.8		8.0
8	葉身の幅	cm		5.8		5.1		5.1		5.0
9	葉身の長さ／幅	比		1.53		1.64		1.72		1.60
10	葉身の色		4	147A	4	NN137B	4	NN137A	3	NN137A
11	葉身の光沢		3		2		2		3	
12	葉身周縁部の鋸歯の形		2		2		2		2	
13	葉身の横断面の形		1		2		2		2	
14	葉柄の長さ	cm		2.3		2.0		2.7		2.7
15	葉身の長さ／葉柄の長さ	比		3.97		4.29		3.31		3.00
16	葉柄基部のアントシアニンの着色面積		2		2		2		2	
17	花の直径	cm								
18	花弁の重なり				2					
19	やくに対する柱頭の位置		2		1		3		2	
20	雄ずい基部のアントシアニンの着色		1		1		1		1	極薄
21	幼果を覆う色の着色面積				7		7		7	
22	果実の重さ	g				314.5		302.5		316.0
23	果実の高さ	cm				7.8		7.8		8.4

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			世界一		千秋（4号園）		はつあき		ひめかみ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	果実の横径	cm				9.1		8.8		9.0
25	果実の高さ／横径	比				0.87		0.89		0.93
26	果実の形				8		8		8	
27	果実の角張り				1		1		2	
28	果実の王冠				1		1		2	
29	果皮の地色				5		3	4C,1D,2D	2	2C,2D
30	果皮の着色の色相				5		3	45A,46A	3	46A,53A
31	果皮の着色の濃淡				6		5		6	
32	果皮の着色面積				6	70-80%		60-80%		80-90%
33	果皮の着色の型				2		4		2	
34	果皮のしま模様の明瞭度				1		1		1	
35	梗あ部のさびの面積				1		2		1	
36	果実側面のさびの面積				1		1		1	
37	がくあ部のさびの面積				1		1		1	
38	果点の数の多少	個				6.5		4.8		7.2
39	果柄の長さ	cm				2.5		3.2		2.9
40	梗あの深さ	cm				1.8		2.1		2.6
41	がくの開き				2	1,3	2		1	
42	がくあの深さ	cm				0.7		0.9		1.2
43	がくあの幅	cm				2.8		3.5		3.5
44	果肉の硬さ	Ibs.				13.1		14.5		16.1
45	果肉の主な色				3		3	155B	4	8D
46	果肉の二次色				1		1		1	
47	果肉の二次色の面積									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			世界一		千秋（4号園）		はつあき		ひめかみ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
48	果肉の桃色又は赤色着色の分布									
49	果実の蜜				1		1		1	
50	果実の糖度	%				13.6		8.1		16.7
51	果実の酸度	g/100ml				0.4				0.6
52	果肉の褐変									
53	開花始期	月日				5月12日				
54	成熟期	月日				10月6日		9月13日		9月16日
55	黒星病抵抗性									
56	斑点落葉病抵抗性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			北斗		アルプス乙女		秋映		トキ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		5		6		5		3	
2	樹の型		2		2		2		2	
3	樹姿（側枝型品種に限る。）		3		3		2		3	
4	節間長	cm		3.2		3.5		3.0		3.0
5	皮目の多少			8.4		9.8		7.4		9.4
6	葉身の向き		2		2		2		2	
7	葉身の長さ	cm		8.8		8.1		7.7		7.9
8	葉身の幅	cm		6.6		4.8		4.9		5.1
9	葉身の長さ／幅	比		1.35		1.70		1.56		1.55
10	葉身の色		4	147A	3		4		4	
11	葉身の光沢		1		1		3		3	
12	葉身周縁部の鋸歯の形		3		3		2		2	
13	葉身の横断面の形		2		2		1		2	
14	葉柄の長さ	cm		2.1		7.7		2.2		2.6
15	葉身の長さ／葉柄の長さ	比		4.23		1.05		3.49		3.04
16	葉柄基部のアントシアニンの着色面積		2		2		2		2	
17	花の直径	cm				3.0		4.4		
18	花弁の重なり		3				2		3	
19	やくに対する柱頭の位置		2		2		2		2	
20	雄ずい基部のアントシアニンの着色		1		1		1		1	
21	幼果を覆う色の着色面積		1		1		5		7	
22	果実の重さ	g		450.0		49.0		303.9		289.0
23	果実の高さ	cm		8.9		4.5		7.7		8.0

形質		単位	標準品種 北斗		標準品種 アルプス乙女		標準品種 秋映		標準品種 トキ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	果実の横径	cm		10.0		4.5		9.2		9.1
25	果実の高さ／横径	比		0.90		1.00		0.84		0.88
26	果実の形		8				3		8	
27	果実の角張り		2				1		2	
28	果実の王冠		1				2		2	
29	果皮の地色		3	10B			2	2C,4C	3	6D,11B
30	果皮の着色の色相		3	47A-C			5	187A,185A	2	51C,48C,48D
31	果皮の着色の濃淡		4				9		2	
32	果皮の着色面積		3					80-90%		10-40%
33	果皮の着色の型		2				2		2	
34	果皮のしま模様の明瞭度		1				1		1	
35	梗あ部のさびの面積		1				2		1	
36	果実側面のさびの面積		1				1		1	
37	がくあ部のさびの面積		1				1		1	
38	果点の数の多少	個		5.5				5.8		6.9
39	果柄の長さ	cm		2.7		2.9		1.5		2.4
40	梗あの深さ	cm		2.3		1.0		1.8		2.0
41	がくの開き		2				2		1	
42	がくあの深さ	cm		1.6		0.4		0.8		0.6
43	がくあの幅	cm		4.0		1.8		3.5		2.7
44	果肉の硬さ	Ibs.						15.2		16.6
45	果肉の主な色		4	8D			3	4C	3	11C
46	果肉の二次色		1				1		1	
47	果肉の二次色の面積									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			北斗		アルプス乙女		秋映		トキ	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
48	果肉の桃色又は赤色着色の分布									
49	果実の蜜		5							
50	果実の糖度	%						14.3		15.1
51	果実の酸度	g/100ml						0.5		0.2
52	果肉の褐変									
53	開花始期	月日								
54	成熟期	月日		11月5日				10月20日		10月20日
55	黒星病抵抗性									
56	斑点落葉病抵抗性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			ぐんま名月		デリシャス		COX'S ORANGE PIPPIN		国光	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		5		5		2		3	
2	樹の型		2		2				2	
3	樹姿（側枝型品種に限る。）		3		2		1		2	
4	節間長	cm		2.9		2.1		2.6		3.0
5	皮目の多少			8.2		5.0		9.0		7.2
6	葉身の向き		3				2		3	
7	葉身の長さ	cm		8.4		6.8		6.2		7.6
8	葉身の幅	cm		5.8		4.3		3.8		4.9
9	葉身の長さ／幅	比		1.46		1.59		1.66		1.56
10	葉身の色		4		4		3		4	
11	葉身の光沢		2		3		2		2	
12	葉身周縁部の鋸歯の形		2		2		2		3	
13	葉身の横断面の形		1		2		2		2	
14	葉柄の長さ	cm		2.4		2.4		2.6		2.2
15	葉身の長さ／葉柄の長さ	比		3.46		2.85		2.41		3.48
16	葉柄基部のアントシアニンの着色面積		2		4		2		2	
17	花の直径	cm								3.1
18	花弁の重なり									
19	やくに対する柱頭の位置		1		1				2	
20	雄ずい基部のアントシアニンの着色		1		1				1	
21	幼果を覆う色の着色面積		4		5		5		2	
22	果実の重さ	g		341.0				166.0		206.7
23	果実の高さ	cm		8.4						

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			ぐんま名月		デリシャス		COX'S ORANGE PIPPIN		国光	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	果実の横径	cm		9.5				7.4		
25	果実の高さ／横径	比		0.89						
26	果実の形		2							
27	果実の角張り		1							
28	果実の王冠		1				1		1	
29	果皮の地色		3	1C,1D,3C			4	145C		
30	果皮の着色の色相		3	47B,47C			1	53A		
31	果皮の着色の濃淡						5		5	46A
32	果皮の着色面積			5-40%			7		6	60-80%
33	果皮の着色の型		2							
34	果皮のしま模様の明瞭度		1							
35	梗あ部のさびの面積		1						1	
36	果実側面のさびの面積		1							
37	がくあ部のさびの面積		1				2			
38	果点の数の多少	個		5.9						
39	果柄の長さ	cm						1.2		1.8
40	梗あの深さ	cm								1.7
41	がくの開き		1						1	
42	がくあの深さ	cm								0.7
43	がくあの幅	cm								2.6
44	果肉の硬さ	Ibs.		11.8				17.9		15.3
45	果肉の主な色		3	155B,4D						
46	果肉の二次色		1							
47	果肉の二次色の面積									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種		標準品種	
			ぐんま名月		デリシャス		COX'S ORANGE PIPPIN		国光	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
48	果肉の桃色又は赤色着色の分布									
49	果実の蜜		2						1	
50	果実の糖度	%		16.7						
51	果実の酸度	g/100ml		0.3						
52	果肉の褐変									
53	開花始期	月日								
54	成熟期	月日		11月2日						
55	黒星病抵抗性									
56	斑点落葉病抵抗性									

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種	
			WORCESTER PEARMAIN		印度		陽光	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
1	樹勢		7		6		5	
2	樹の型		2		2		2	
3	樹姿（側枝型品種に限る。）		2		3		2	
4	節間長	cm		2.8		3.0		3.7
5	皮目の多少			4.0		8.4		12.6
6	葉身の向き		2		3		2	
7	葉身の長さ	cm		9.2		8.4		8.6
8	葉身の幅	cm		5.3		4.8		6.0
9	葉身の長さ／幅	比		1.74		1.74		1.46
10	葉身の色		4		5		3	
11	葉身の光沢		2		3		2	
12	葉身周縁部の鋸歯の形		3		3		3	
13	葉身の横断面の形		2		2		1	
14	葉柄の長さ	cm		2.0		2.4		2.0
15	葉身の長さ／葉柄の長さ	比		4.62		3.49		4.37
16	葉柄基部のアントシアニンの着色面積		1		2		1	
17	花の直径	cm						
18	花弁の重なり							
19	やくに対する柱頭の位置		2		3		2	
20	雄ずい基部のアントシアニンの着色		1		1		1	極薄
21	幼果を覆う色の着色面積		1		7		5	
22	果実の重さ	g						
23	果実の高さ	cm						

形質		単位	標準品種 WORCESTER PEARMAIN		標準品種 印度		標準品種 陽光	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
24	果実の横径	cm						
25	果実の高さ／横径	比						
26	果実の形							
27	果実の角張り							
28	果実の王冠							
29	果皮の地色				6	145B-C,144D		
30	果皮の着色の色相				5	185D		
31	果皮の着色の濃淡							
32	果皮の着色面積							
33	果皮の着色の型							
34	果皮のしま模様の明瞭度							
35	梗あ部のさびの面積							
36	果実側面のさびの面積							
37	がくあ部のさびの面積							
38	果点の数の多少	個						
39	果柄の長さ	cm		1.7				
40	梗あの深さ	cm						
41	がくの開き							
42	がくあの深さ	cm		0.8				
43	がくあの幅	cm		2.4				
44	果肉の硬さ	Ibs.						
45	果肉の主な色							
46	果肉の二次色							
47	果肉の二次色の面積							

形質		単位	標準品種		標準品種		標準品種	
			WORCESTER PEARMAIN		印度		陽光	
			特性値	測定値	特性値	測定値	特性値	測定値
48	果肉の桃色又は赤色着色の分布							
49	果実の蜜							
50	果実の糖度	%						
51	果実の酸度	g/100ml						
52	果肉の褐変							
53	開花始期	月日						
54	成熟期	月日						
55	黒星病抵抗性							
56	斑点落葉病抵抗性							

８．参考写真

標準品種　「ゴールデンデリシャス」









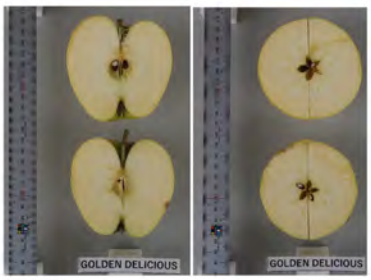










標準品種　「ジョナゴールド」



標準品種　「紅玉」


JONATHAN（紅玉）
7
JONATHAN（紅玉）
（4号園）
JONATHAN（紅玉）
JONATHAN（紅玉）
JONATHAN（紅玉）
JONATHAN（紅玉）
JONATHAN（紅玉）
JONATHAN（紅玉）

標準品種

「あかね」





























標準品種　「王林」


















標準品種　「さんさ」















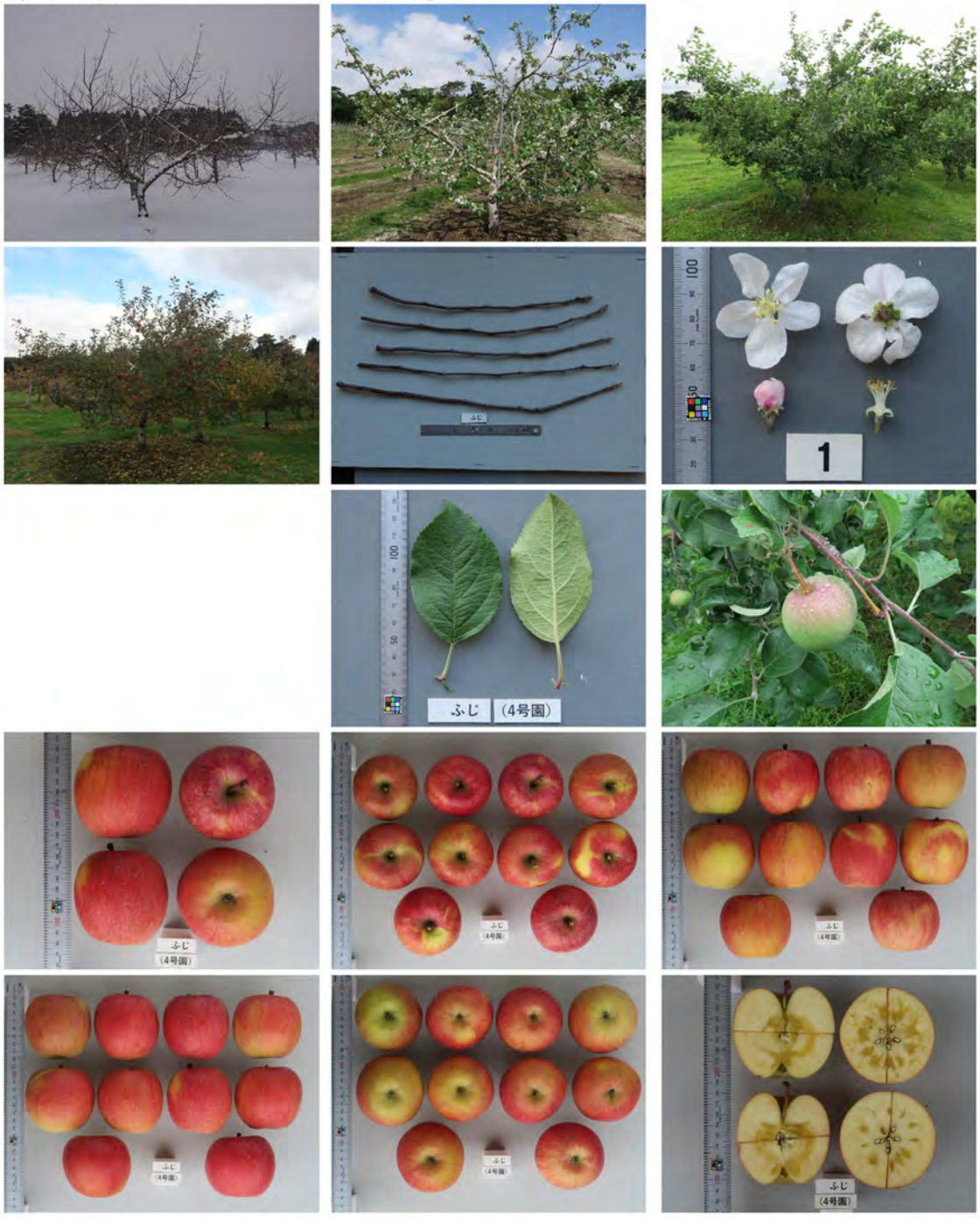





標準品種　「つがる」



標準品種　「ふじ」



標準品種　「陸奥」














標準品種　　「旭」





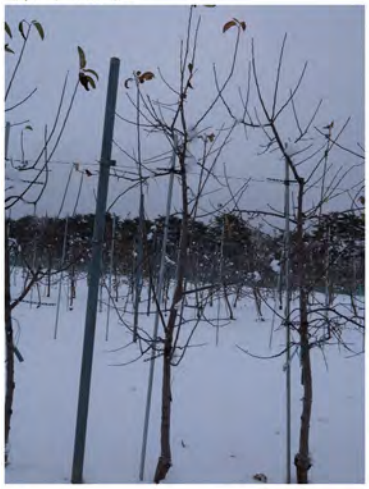


＊定植後、数年程度のため着果なし。果実の写真等はなし。

標準品種　「スターキングデリシャス」



標準品種　「金星」

















標準品種



「世界一」









＊わずかに着果した程度で、収穫可能な果実がなかったため、果実の写真はなし。

標準品種　「千秋」





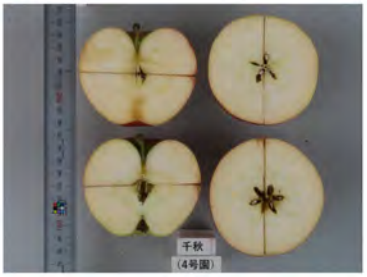










標準品種　「はつあき」






















標準品種　「ひめかみ」






















標準品種　「北斗」

















標準品種



「アルプス乙女」













標準品種

「秋映」



















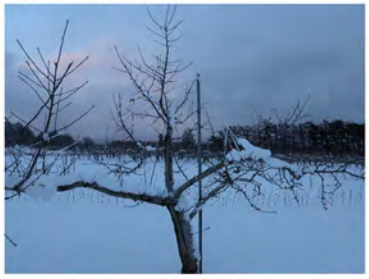






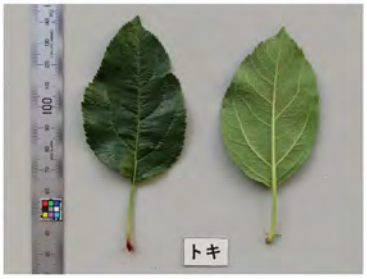


標準品種　「トキ」















標準品種

「ぐんま名月」

























標準品種　「デリシャス」



＊定植後、数年程度のため着果なし。果実の写真等はなし。

標準品種　「COX’S ORANGE PIPPIN」














標準品種



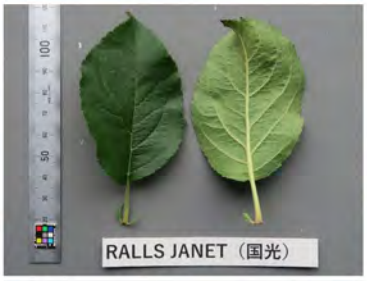
「国光」

















標準品種　「WORCESTER PEARMAIN」













標準品種



「印度」

















標準品種





「陽光」







＊品種保存園のため、着果なし。果実の写真はなし。

資料 1-3-9

2026 年 月

ロドヒポクシス属

Rhodohypoxis

(*Rhodohypoxis* Nel)

（案）

ロドヒポクシス属　審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、キンバイザサ科（Hypoxidaceae）ロドヒポクシス属（*Rhodohypoxis* Nel）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　　球根

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　30 個

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　20 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された時期に行う。

(a) 開花盛期（萌芽後１ヶ月以上経過し複数の花茎が同時に伸長し連続的に開花がみられる時期）

(b) 生育盛期（開花盛期後、葉が最長に達した時期）

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定については、母集団標準１％、受容確率 95％を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）葉の斑の有無（形質 6）

ⅱ）花型（形質 13）

ⅲ）外花被片の主な色（形質 20）

以下の区分とする。

Gr. 1: 黄

Gr. 2: 桃

Gr. 3: 白

ⅳ）子房の色（形質 43）

Ⅵ. 特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める形質であり、出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 （State）		階級 （Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV№	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN (+)	葉群の高さ	Plant: height of foliage	葉群の高さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	紅鳥 ドナルドマン	
2		QN (+)	葉の数	Plant: number of leaves	葉の枚数	測定 MS (b)	3 5 7	少 中 多	few medium many	 紅鳥	
3		QN	葉の長さ	Leaf: length	最長葉の長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	シェリーローズ ドナルドマン	
4		QN	葉の幅	Leaf: width	最長葉の最大幅	測定 mm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	紅鳥 シェリーローズ	
5		QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color	葉の緑色の濃淡	観察 VG (b)	1 2 3	淡 中 濃	light medium dark	 紅鳥	
6		QL G	葉の斑の有無	Leaf: variegation	葉の斑の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	紅鳥	
7		PQ (+)	葉の横断面の形	Leaf: shape in cross-section	葉の中間部横断面の形	観察 VG (b)	1 2 3	凹 やや凹 平	concave slightly concave flat		

形質番号	UPOV№	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
8		QN	葉の毛	Leaf: pubescence	葉の表面の毛の粗密	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	無又は極粗 粗 中 密 極密	absent or very sparse sparse medium dense very dense	 ドナルドマン 紅鳥	
9		QN (+)	花茎の長さ	Scape: length	最長花茎の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	シェリーローズ ドナルドマン	
10		QN	花茎のアントシアニン着色部の面積	Scape: size of anthocyanin coloration area	花茎のアントシアニン着色部の面積	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large	 シェリーローズ 紅鳥	
11		QN	花茎のアントシアニン着色の濃淡	Scape: anthocyanin coloration	花茎のアントシアニン着色の濃淡	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 シェリーローズ 紅鳥	
12		QN (+)	花の直径	Flower: diameter	花の最大径	測定 cm MS (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	 シェリーローズ 紅鳥	

形質番号	UPOV№	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
13		QL G (+)	花型	Flower: type	一重、八重の別	観察 VG (a)	1 2	一重 八重	single double	紅鳥 桃孔雀	
14		QN	花被片数（八重品種に限る。）	Flower: number of tepals	花被片の数（八重品種に限る。）	測定 MS (a)	1 3 5	少 中 多	few medium many	桃孔雀	
15		QN (+)	花の中心部の開き(一重品種に限る。)	Flower: openness of central	花の中心部の開き(一重品種に限る。)	観察 VG (a)	1 2 3	閉じる やや開く 開く	closed semi-open open	紅鳥 シェリーローズ	
16		QN (+)	外花被片の基部の向き	Outer tepal : attitude of basal part	外花被片の基部の向き	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	直立 斜上 水平 斜下 下垂	elect semi-elect horizontal semi-drooping drooping		
17		QN (+)	外花被片の長さ	Outer tepal: length	外花被片の長さ	測定 mm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	紅鳥	
18		QN (+)	外花被片の幅	Outer tepal: width	外花被片の最大幅	測定 mm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	紅鳥	

形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19		PQ (+)	外花被片の形	Outer tepal: shape	外花被片の形	観察 VG (a)	1 2 3 4	卵形 楕円形 倒卵形 線形	ovate elliptic obovate linear		
20		PQ G	外花被片の主な色	Outer tepal: main color	外花被片の主な色	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
21		QL	外花被片の二次色の有無	Outer tepal: secondary color	外花被片の二次色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
22		PQ	外花被片の二次色	Outer tepal: secondary color	外花被片の二次色	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
23		PQ (+)	外花被片の二次色の分布	Outer tepal: distribution of secondary color	外花被片の二次色の分布	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	基部 先端部 周縁部 中央部 全体	at base at apex at margin central throughout		
24		QL	外花被片の三次色の有無	Outer tepal: tertiary color	外花被片の三次色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
25		PQ	外花被片の三次色	Outer tepal: tertiary color	外花被片の三次色	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26		PQ (+)	外花被片の三次色の分布	Outer tepal: distribution of tertiary color	外花被片の三次色の分布	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	基部 先端部 周縁部 中央部 全体	at base at apex at margin central throughout		
27		PQ (+)	外花被片の先端部の形	Outer tepal: shape of apex	外花被片の先端部の形	観察 VG (a)	1 2 3	鋭尖形 鋭形 鈍形	acuminate acute obtuse		
28		QN (+)	外花被片の先端部の反り	Outer tepal: recurvation of apex	外花被片の先端部の反り	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	内曲 平 やや外曲 外曲 かなり外曲	incurved flat slightly recurved moderately recurved very recurved		
29		QN (+)	内花被片の基部の向き	Inner tepal: attitude of basal part	最大内花被片の基部の向き	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	直立 斜上 水平 斜下 下垂	elect semi-elect horizontal semi-drooping drooping		
30		QN (+)	内花被片の長さ	Inner tepal: length	最大内花被片の長さ	測定 mm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	紅鳥	

形質番号	UPOV №	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31		QN (+)	内花被片の幅	Inner tepal: width	最大内花被片の最大幅	測定 mm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	紅鳥	
32		PQ (+)	内花被片の形	Inner tepal: shape	最大内花被片の形	観察 VG (a)	1 2 3 4	卵形 楕円形 倒卵形 線形	ovate elliptic obovate linear		
33		PQ	内花被片の主な色	Inner tepal: main color	最大内花被片の主な色	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
34		QL	内花被片の二次色の有無	Inner tepal: secondary color	最大内花被片の二次色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
35		PQ	内花被片の二次色	Inner tepal: secondary color	最大内花被片の二次色	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
36		PQ (+)	内花被片の二次色の分布	Inner tepal: distribution of secondary color	最大内花被片の二次色の分布	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	基部 先端部 周縁部 中央部 全体	at base at apex at margin central throughout		
37		QL	内花被片の三次色の有無	Inner tepal: tertiary color	最大内花被片の三次色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		

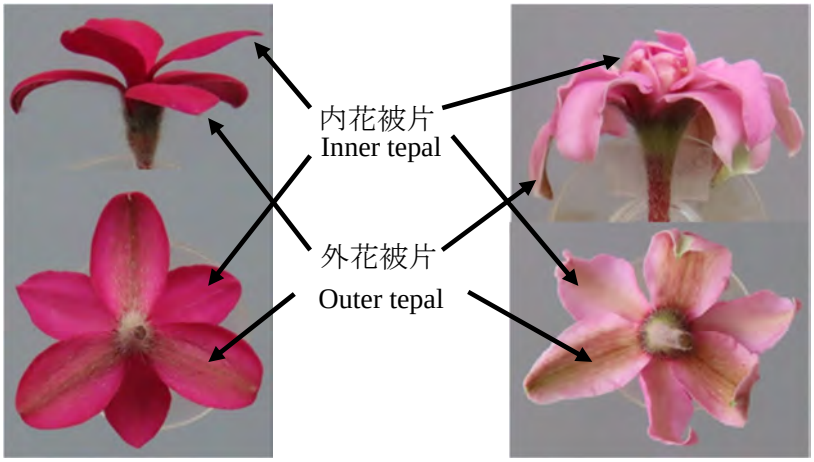
形質番号	UPOV№	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
38		PQ	内花被片の三次色	Inner tepal: tertiary color	最大内花被片の三次色	観察 VG (a)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
39		PQ (+)	内花被片の三次色の分布	Inner tepal: distribution of tertiary color	最大内花被片の三次色の分布	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	基部 先端部 周縁部 中央部 全体	at base at apex at margin central throughout		
40		QL (+)	内花被片の周縁部の切れ込みの有無	Inner tepal: incisions of margin	最大内花被片の周縁部の切れ込みの有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
41		PQ (+)	内花被片の先端部の形	Inner tepal: shape of apex	最大内花被片の先端部の形	観察 VG (a)	1 2 3	鋭尖形 鋭形 鈍形	acuminate acute obtuse		
42		QL	雄ずいの有無	Stamen: presence	雄ずいの有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	紅鳥	
43		PQ G (+)	子房の色	Ovary: color	子房の主な色	観察 VG (a)	1 2 3	緑 黄 赤	green yellow red	ドナルドマン	

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

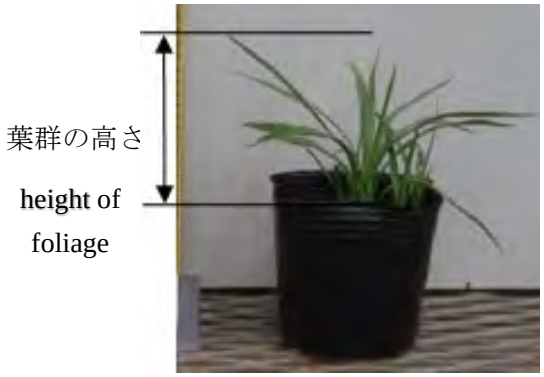
外花被片及び内花被片について

一重品種の場合、外側の３花被片を外花被片、内側の３花被片を内花被片とする。

八重品種の場合、外側の３花被片を外花被片、それ以外の花被片を内花被片とする。



形質 1　葉群の高さ　　Char.1　Plant: height of foliage

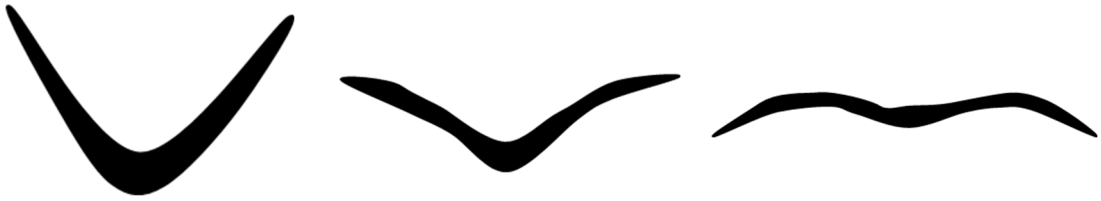


形質 2　葉の数　　Char.2　Plant: number of leaves

株が複数ある場合は、最大の株の葉枚数を調査する。



形質 7　葉の横断面の形　　Char.7　Leaf : shape in cross-section



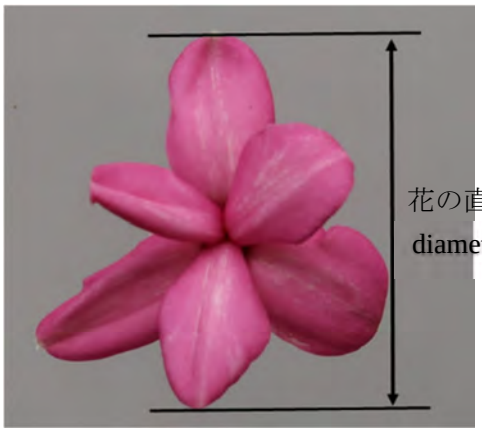
1	2	3
凹	やや凹	平
concave	slightly concave	flat

形質 9　花茎の長さ　　Char.9　Scape: length

花茎は、花柄及び小花柄を併せた部位である。



形質 12　花の直径　　Char.12　Flower: diameter



形質 13　花型　　Char.13　Flower: type



1
一重
single



2
八重
double

形質 15　花の中心部の開き（一重品種に限る。）　Char.15　Flower: openness of central



1
閉じる
closed



2
やや開く
semi-open



3
開く
open

形質 16　外花被片の基部の向き　　Char.16　Outer tepal : attitude of basal part
形質 29　内花被片の基部の向き　　Char.29　Inner tepal : attitude of basal part



1
直立
elect

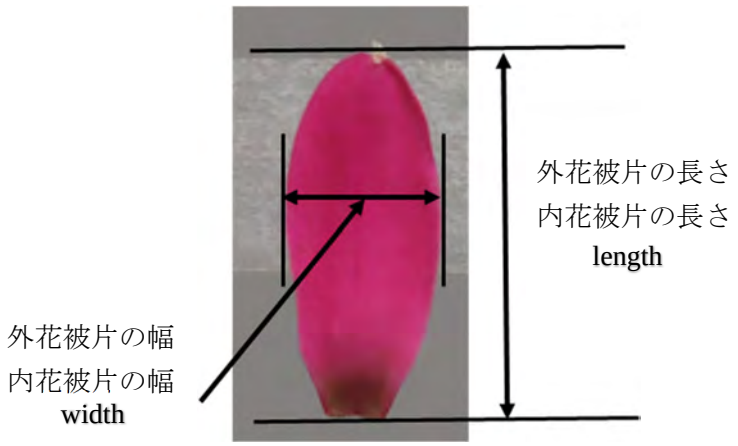
2
斜上
semi-elect

3
水平
horizontal

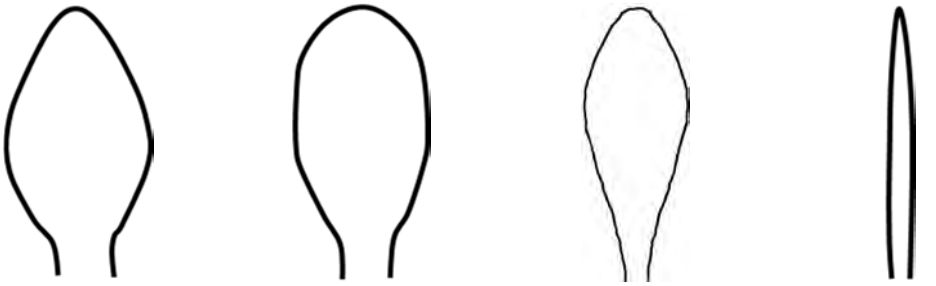
4
斜下
semi-drooping

5
下垂
drooping

形質 17　外花被片の長さ　Char.17　Outer tepal : length
形質 18　外花被片の幅　Char.18　Outer tepal : width
形質 30　内花被片の長さ　Char.30　Inner tepal : length
形質 31　内花被片の幅　Char.31　Inner tepal : width



形質 19　外花被片の形　Char.19　Outer tepal: shape
形質 32　内花被片の形　Char.32　Inner tepal: shape



1
卵形
ovate

2
楕円形
elliptic

3
倒卵形
obovate

4
線形
linear

形質 23　外花被片の二次色の分布　　Char.23　Outer tepal: distribution of secondary color
形質 26　外花被片の三次色の分布　　Char.26　Outer tepal: distribution of tertiary color
形質 36　内花被片の二次色の分布　　Char.36　Inner tepal: distribution of secondary color
形質 39　内花被片の三次色の分布　　Char.39　Inner tepal: distribution of tertiary color



1 基部 at base　2 先端部 at apex　3 周縁部 at margine　4 中央部 central　5 全体 throughout

形質 27　外花被片の先端部の形　　Char.27　Outer tepal: shape of apex
形質 41　内花被片の先端部の形　　Char.41　Inner tepal: shape of apex



1 鋭尖形 acuminate　2 鋭形 acute　3 鈍形 obtuse

形質 28　外花被片の先端部の反り　　Char.28　Outer tepal: recurvation of apex



1 内曲 incurved　2 平 flat　3 やや外曲 slightly recurved　4 外曲 moderately recurved　5 かなり外曲 very recurved

形質 40　内花被片の周縁部の切れ込みの有無　　Char.40　Inner tepal: incisions of margin



1
無
absent



9
有
Present

形質 43　子房の色　　Char.43　Ovary: color



資料1-3-10

2026年　月

はなびらたけ種

Wood Cauliflower

Sparassis crispa Wulfen Fr.

（案）

はなびらたけ種審査基準

I.　審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ハナビラタケ科（Sparassidaceae）の、ハナビラタケ属（*Sparassis* Fr.）ハナビラタケ種（*Sparassis crispa* (Wulfen) Fr.（Cauliflower Mushroom）)の全て品種に適用する。

II.　提出種苗 (Material Required)

i）　種苗の形態　　寒天培地に生育させた二核菌糸体

ii）　提出時期　　審査当局が指定する時期

iii）数量　　試験管 3 本

iv）提出する種苗は、雑菌に汚染されていないものであること。

v）　提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III.　試験の実施 (Conduct of Tests)

ｉ）　栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。（参考を参照）

ii）　最低供試培地数　36菌床（1kg 丸玉）（12 菌床×3 反復）

iii）　栽培期間　　2生育周期　ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は、2生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、36 菌床すべてを調査する。均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、子実体株の花弁状菌さんの形、色、密度が本来の特性を維持した状態で、生長が最大到達点となった時期（収穫期）に調査する。

また、特性表の調査方法欄に記載がある(a)-(c)の記号については、特性表の説明Ⅷ．ｉを参照する。

特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

IV.　判定基準 (Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（D.U.S.）審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数 36 の場合は、許容される異形個体数は 2 である。

V. グループ分けに使用する形質 (Grouping of Varieties)

i）花弁状菌さんの形（形質9）

ⅱ）最適培養期間（形質21）

VI. 特性表で使用する記号の説明 (legend)

G ：グループ分けに使用する形質

(*) ：品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：疑似の質的形質

(+)：VIII.に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第5条第2項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1		QN (+)	菌糸密度	Colony: density of hyphae on the medium	寒天培地上の菌糸の粗密	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	KSC-03号、KSC-H2号、KSC-H8号	
2		QL (+)	菌そう表面の着色の有無	Colony: tinting of surfaces on the medium	寒天培地上で生長した菌そうの表面の着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	KSC-03号、KSC-H2号、KSC-H8号	
3		QL (+)	菌そう裏面の着色の有無	Colony: tinting of back on the medium	寒天培地上で生長した菌そうの裏面の着色の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present	KSC-03号、KSC-H2号 KSC-H8号	
4		QN (+)	菌糸体の生長最適温度	Colony: optimum temperature for growth	寒天培地上で菌糸が最も良く伸長する温度帯	測定 MS ℃ (b)	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	KSC-H8号 KSC-03号、KSC-H2号	
5		QN (+)	板状原基（気中菌糸）の割合	Rate of plate-like primordia（aerial mycelium）	発生処理時において、袋上部に形成する板状の原基（気中菌糸）の割合	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	KSC-H2号 KSC-H8号 KSC-03号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
6		QN (+)	子実体の直径	Fruit body: diameter	子実体株の長径と短径の平均値	測定 cm MS (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	KSC-03号、 KSC-H8号 KSC-H2号	
7		QN (+)	子実体の高さ	Fruit body: height	接種面から 2cm 上で収穫して得られる子実体株の高さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high	KSC-03号、 KSC-H2号、 KSC-H8号	
8		PQ (+)	花弁状菌さんの色	Petal-like cap: color	花弁状菌さん表面の色	観察 VG (c)	1 2 3 4	白色 淡黄白色 黄白色 淡黄色	white light yellow white yellow white light yellow	KSC-H2号、 KSC-H8号 KSC-03号	
9		PQ (+) G	花弁状菌さんの形	Petal-like cap: shape	花弁状菌さんの形	観察 VG (c)	1 2 3 4	針状 カーネーション状 ハボタン状 イチョウ葉状	spine carnation kale ginkgo	KSC-03号、 KSC-H2号、 KSC-H8号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
10		QN	花弁状菌さんの厚さ	Petal-like cap: thickness	花弁状菌さんの先端から 1cm の位置の厚さ	測定 mm MS (c)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	KSC-03号、 KSC-H2号 KSC-H8号	
11		QN (+)	花弁状菌さんの硬さ	Petal-like cap: firmness	花弁状菌さんの先端から 1cm の位置の硬さ	測定 MS (c)	3 5 7	軟 中 硬	soft medium hard	KSC-03号、 KSC-H2号 KSC-H8号	
12		QN (+)	花弁状菌さん周縁部の切れこみ割合	Petal-like cap: notch of periphery	花弁状菌さん周縁部の切れ込みがある子実体株の割合	測定 % MS (c)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	KSC-03号、 KSC-H2号、 KSC-H8号	
13		PQ (+)	花弁状菌さんの密度	Petal-like cap: density	子実体株全体を見た時の花弁状菌さんの密度	観察 VG (c)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	KSC-H2号、 KSC-H8号 KSC-03号	
14		PQ (+)	枝の色	Branch: color	枝の表面の色	観察 VG (c)	1 2 3 4	白色 淡黄白色 黄白色 淡黄色	white light yellow white yellow white light yellow	KSC-H2号、 KSC-H8号 KSC-03号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
15		QN	枝の厚さ	Branch: thickness	枝の先端から 1cm の位置の厚さ	測定 mm MS (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極薄 かなり薄 薄 やや薄 中 やや厚 厚 かなり厚 極厚	very thin very thin to thin thin thin to medium medium medium to thick thick thick to very thick very thick	KSC-03号、 KSC-H2号 KSC-H8号	
16		QN (+)	枝の硬さ	Branch: firmness	枝の先端から1cm の位置の硬さ	測定 MS (c)	3 5 7	軟 中 硬	soft medium hard	KSC-03号、 KSC-H2号、 KSC-H8号	
17		PQ (+)	菌柄の色	Stipe: color	菌柄最下部（収穫した際の子実体株の切断面）の標準的な色	観察 VG (c)	1 2 3 4	白色 淡黄白色 黄白色 淡黄色	white light yellow white yellow white light yellow	KSC-03号、 KSC-H8号 KSC-H2号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18		QN	菌柄の厚さ	Stipe: thickness	菌柄最下部（収穫した際の子実体株裏面の断面部分）の標準的な厚さ	測定 mm MS (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極薄 かなり薄 薄 やや薄 中 やや厚 厚 かなり厚 極厚	very thin very thin to thin thin thin to medium medium medium to thick thick thick to very thick very thick	KSC-03号 KSC-H2号 KSC-H8号	
19		QN (+)	菌柄の硬さ	Stipe: firmness	菌柄最下部（収穫した際の子実体株裏面の断面部分）の標準的な硬さ	測定 MS (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軟 かなり軟 軟 やや軟 中 やや硬 硬 かなり硬 極硬	very soft very soft to soft soft soft to medium medium medium to hard hard hard to very hard very hard	KSC-H2号、 KSC-H8号 KSC-03号	
20		QN (+)	菌柄の模様割合	Stipe: rate of pattern	菌柄最下部（収穫した際の子実体株裏面の断面部分）の模様の有無の割合	測定 % MS (c)	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	KSC-H2号、 KSC-H8号 KSC-03号	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var.)	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
21		QN (+) G	最適培養期間	Fruit body: incubation period	種菌接種から発生処理（発生移行）までの期間（品種特性を維持し、子実体株を最も得られる期間）	観察/測定 日 VG/MS (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	KSC-H2号、KSC-H8号 KSC-03号	
22		QN (+)	発生処理から収穫最盛期までの期間	Fruit body: period from scratching to harvest	発生処理から収穫最盛期までの期間	観察/測定 日 VG/MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	KSC-H2号 KSC-03号、KSC-H8号	
23		QN (+)	子実体の平均重量	Fruit body: weight at harvest maturity	菌床あたりの子実体株の平均重量	測定 g MG/MS (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very light very light to light light light to medium medium medium to heavy heavy heavy to very heavy very heavy	KSC-H2号 KSC-03号、KSC-H8号	

VIII. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

i）特性の概要説明

(a)　菌そう表面及び裏面の着色：純粋培養基による観察を行う。

培養基　：PDA（Difco Laboratories, Detroit, Michigan, USA）シャーレ：内径 90 ㎜、高さ20 ㎜（プラスチック製）

培養条件：後述 VIII. ii詳細参照　シャーレ数：1 区 3 枚以上

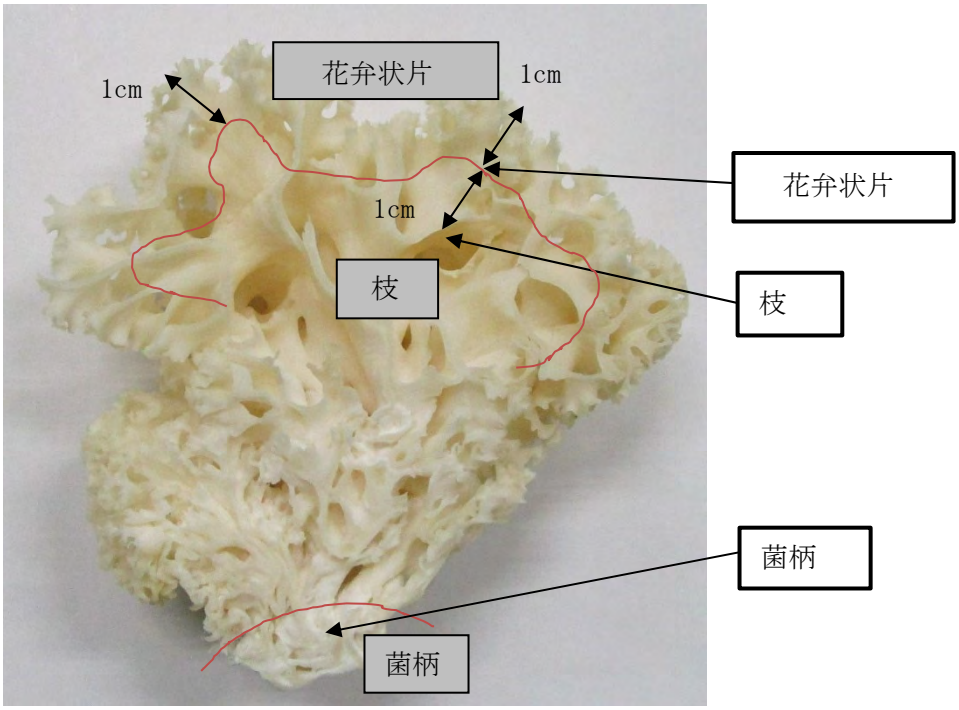
(b)　菌糸体：純粋培養基による測定を行う。

培養基　：PDA シャーレ：内径 90 ㎜、高さ20 ㎜（プラスチック製）

培養条件：後述VIII. ii詳細参照　シャーレ数：1 区 5 枚以上

(c)　子実体株

特記している場合を除き、子実体株の花弁状片の形、色、密度が本来の特性を維持した状態で、生長が最大到達点となった時期（収穫期）に調査する。



花弁状菌さん：調査対象部位は花弁状菌さんの先端から1㎝（子実体株の先端から1cm）の箇所

枝　：　花弁状菌さんと菌柄に属さない中間箇所

調査対象部位は、枝の先端から1cmの箇所（＝子実体株先端から2cmの箇所）

菌柄：　収穫した断面から枝分かれするまでの箇所

調査対象部位は、菌柄最下部（子実体株裏面の断面部分）の標準的な箇所

ii） 特性の説明

形質1　菌糸密度　Char.1 Colony: density of hyphae on the medium

PDA 培地（ Difco Laboratories, Detroit, Michigan, USA ）を使用する。
常法(121℃、15 分)により滅菌し、シャーレ（内径 90mm、高さ 20mm）に 20ml 分注して作製した平面培地の中央部付近に、別に供試培地で前培養(22±1℃、14～21 日間) した二核菌糸体の菌糸の伸びが平均的な周縁部の約5mm内側の箇所をコルクボーラーで小片（直径 5 ㎜程度）に打ち抜き、コルクボーラーで打ち抜いた二核菌糸体を表面が上になるように、培地の中央部付近に接種する。22±1℃上向きで暗培養し、菌糸がシャーレ上に 70%程度に生長した時期に調査する。最低供試数はシャーレ 3 枚以上とする。

形質2　菌そう表面の着色の有無　Char.2 Colony: tinting of surfaces on the medium

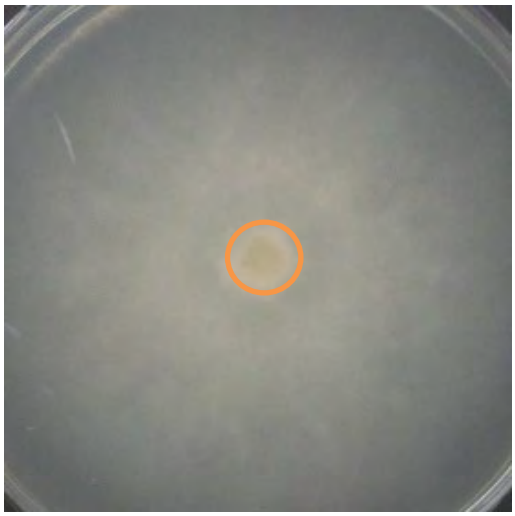
形質3　菌そう裏面の着色の有無　Char.3 Colony: tinting of back on the medium

菌そう表面及び裏面の着色の有無については、PDA 培地を使用する。
供試培地は PDA 培地を使用し、常法により滅菌した培地をプラスチックシャーレ（内径90 ㎜、高さ 20 ㎜）に20mL 分注する。
このあと、別に供試培地で前培養（22± 1 ℃、14～21 日間）した二核菌糸体の菌糸の伸びが平均的な周縁部の約5mm内側の箇所をコルクボーラーで小片（直径 5 ㎜程度）に打ち抜き、コルクボーラーで打ち抜いた二核菌糸体を表面が上になるように、培地の中央部付近に接種する。22±1℃上向きで暗培養し、蔓延後、同温度光照射下で2週間追培養した後、「菌そう表面の着色の有無」「菌そう裏面の着色有無」について観察する。なお、追培養は 300Lx以上で8時間/日以上光照射された環境下で行う。
最低供試数は 1 区5 枚以上とする。また菌糸の状態撮影も行う。

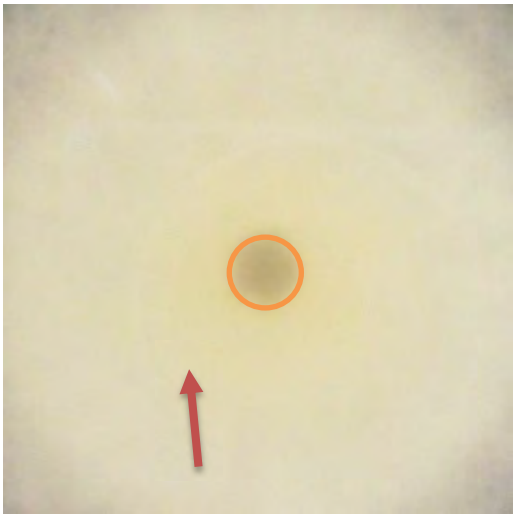
［着色有無の例］

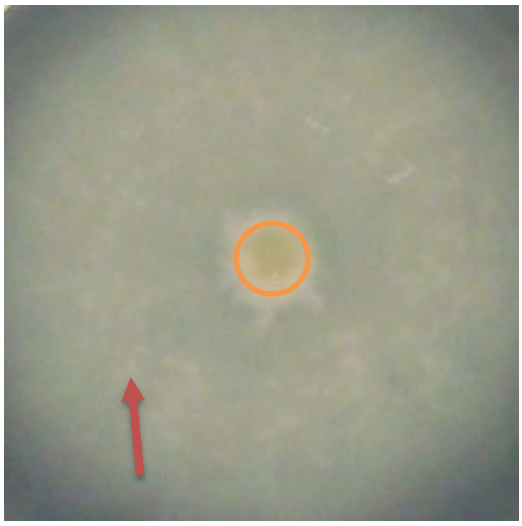
接種断片（○部分）の着色を除く菌そうの着色を判断する。（例：→ が示す部分が有）





1　無　absent





9　有　present

形質4　菌糸体の生長最適温度 Char.4 Ｃｏｌｏｎｙ: optimum temperature for growth

20℃、22℃、24℃、26℃、28℃で21日後（504時間後）の菌糸体の生長量を測定し、二次曲線を描いて、生長最適温度を判定する。最低供試数は1区5枚以上とする。

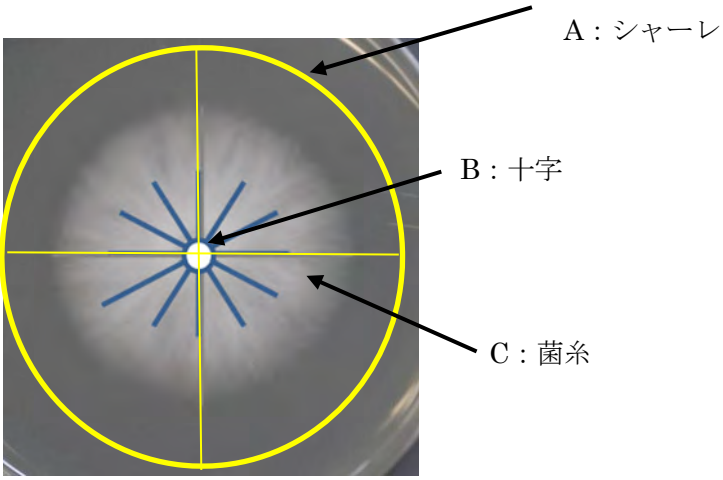
供試培地はPDA培地を使用し、常法により滅菌した培地をプラスチックシャーレ（内径90㎜、高さ20㎜）に20mL分注する。

このあと、別に供試培地で前培養（22±1℃、14～21日間）した二核菌糸体の菌糸の伸びが平均的な周縁部の約5mm内側の箇所をコルクボーラーで小片（直径5㎜程度）に打ち抜き、コルクボーラーで打ち抜いた二核菌糸体を表面が上になるように、培地の中央部付近に接種する。22±1℃上向きで暗培養し、10mm程度まで菌糸体が伸長したら、スタートの目印を付け、21日間（504時間）培養し、1日当たりの菌糸伸長を測定する。

インキュベーターで培養する際の留意点として、シャーレ5枚としているが、7枚をビニール袋に入れ（写真参照）温度差が生じないように留意し、菌糸伸長を測定した数値の最大値、最小値を除いた5枚での平均値で算出する。



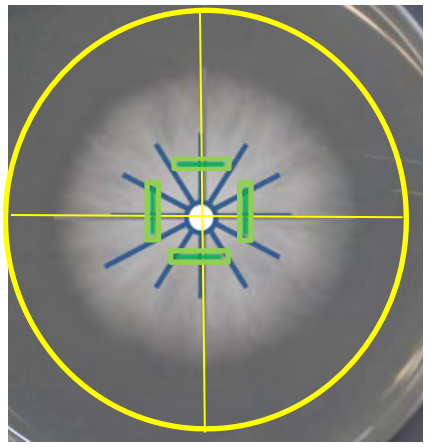
生長量の測定方法

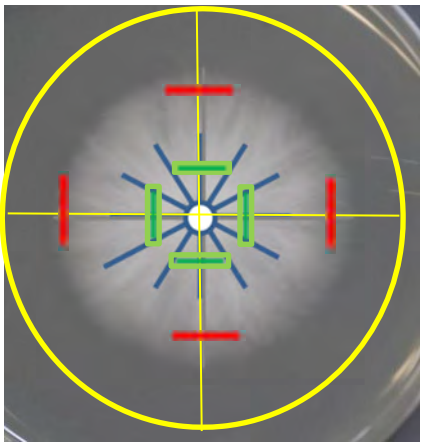


① 予備暗培養したシャーレの裏にシャーレ中心で直交する十字の印を入れる。
十字線上にある菌糸先端4箇所をマークする。 （— ）

② 20℃、22℃、24℃、26℃、28℃の各温度に設定したインキュベーターに移動する。

③ 移動から21日培養後、十字線上にある菌糸先端4箇所をマークする。 （— ）





④ 4箇所の2 点のマーカー間の長さをノギスでそれぞれ測定する。

⑤ 4箇所（赤線-緑線）の平均生長量を算出する
（これがシャーレ1枚あたりの21日の平均生長量となる）

⑥ 設定温度ごとに5枚のシャーレを供試し、各温度における1日当たりの平均生長量を算出する。

予備培養（直径が10mm程度になるまで）				本培養				
				1日目	2日目	3日目	・・・	21日目
	予備培養完了時に 緑線記入（4箇所）①				21日間（504時間）培養後 赤線記入（4箇所）②			
					②と①間の数値測定・・・21日間の成長量			

生長最適温度は、20 ℃、22℃、24 ℃、26 ℃、28 ℃の1 日当たりの生長量で生長曲線（二次曲線）を描いて判定する。

なお、前後の温度帯の生長量と比較し、異常な数値となった場合は、当該温度帯の測定をやり直すこととする。また、20 ℃もしくは28℃で二次曲線が下がらない場合には、18 ℃もしくは30℃など、2 ℃幅で温度帯を追加で設け、測定を実施し、合わせて生長曲線（二次曲線）を描いて判定する。

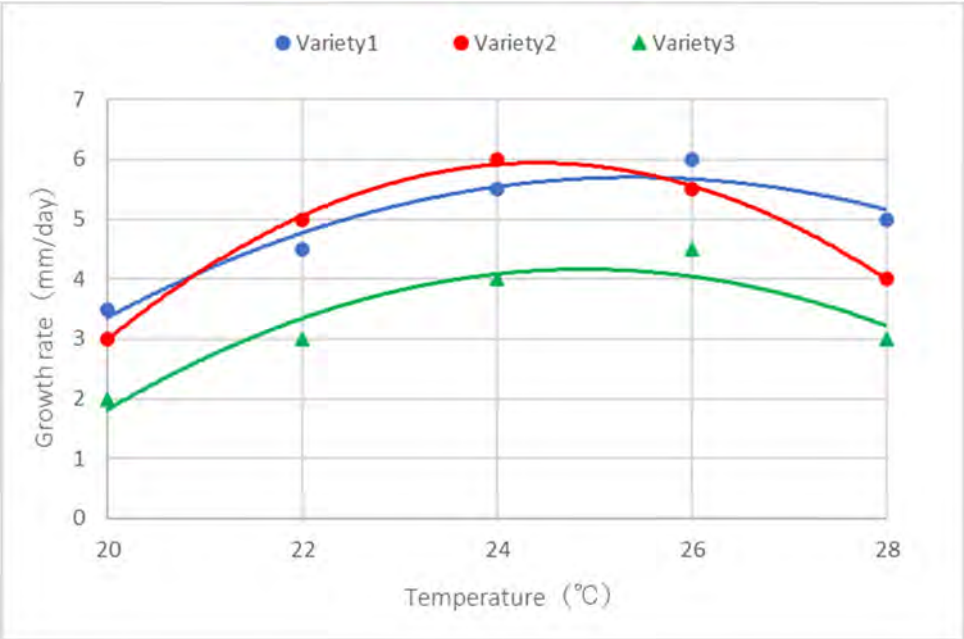


図１　生長曲線

形質 5　板状原基（気中菌糸）の割合　Char.5 Rate of plate-like primordia (aerial mycelium)

発生処理時において、接種面に接着していない袋上部に形成する板状の原基（または気中菌糸）が少しでもあれば有とし、供試した全ての菌床に占める発生の割合を観察する。



無　　absent



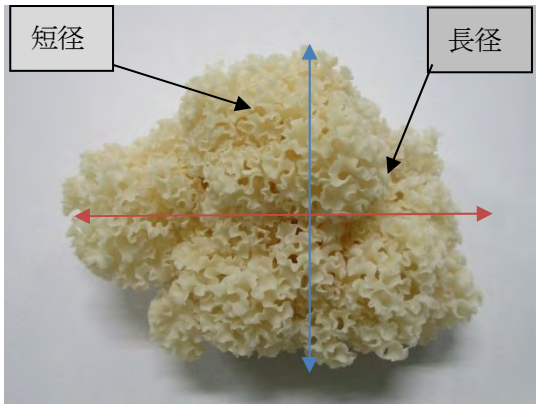


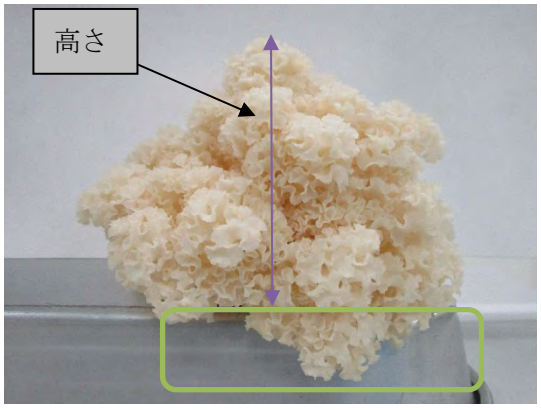
有　　present

形質6　子実体株の直径　Char.6　Fruit body: diameter

形質7　子実体株の高さ　Char.7　Fruit body: height

接種面から2cm上で収穫し、断面から上方向へ生長している最大到達点までを子実体株の高さとする。写真のように断面より下方向へ垂れ下がる部分(　　)については、高さには含まないものとする。





形質8　花弁状菌さんの色　Char.8　Petal-like cap: color

収穫時の標準的な花弁状菌さんの表面の色を観察し、標準品種と比較し評価する。（参考：RHSカラーチャート№と状態区分）

（参考）

1：白色　　＝155A、155B、155C、155D、NN155A、NN155B、NN155C、NN155D

2：淡黄白色　＝158B、158C、158D、159C、159D、11D

3：黄白色　　＝158A、159A、159B、18C、18D、19D

4：淡黄色　　＝10C、10D、11C、12C、12D、13D、14D、16D、18B

形質9　花弁状菌さんの形　Char.9　Petal-like cap: shape



1　針状　spine



2　カーネーション状　carnation



3　ハボタン状　kale

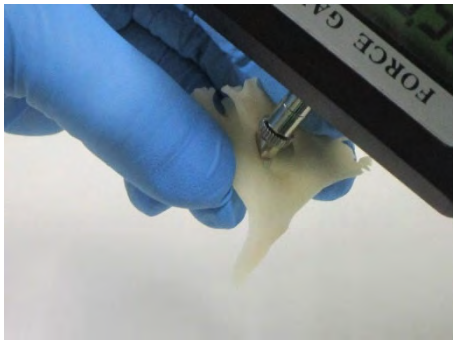


4　イチョウ葉状　ginkgo

形質11　花弁状菌さんの硬さ　　Char.11　Petal-like cap: firmness

形質16　枝の硬さ　Char.16　Branch: firmness

写真のようにデジタルフォースゲージ（ノミ型治具）で測定する。花弁状菌さんが割れた時点での最大値を測定値とする。



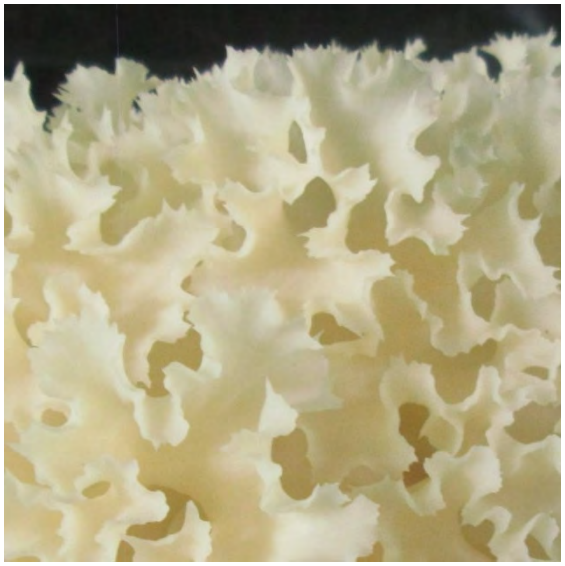
参考：写真の機器はデジタルフォースゲージはAD-4932A-50N
（株式会社エー・アンド・デイ）

形質12　花弁状菌さん先端の切れこみ割合　　Char.12　Petal-like cap: notch of periphery

収穫した子実体株において、花弁状菌さん先端の切れ込みがある子実体株の割合を観察する。少しでも切れ込みがあればその菌床は有とし、調査個体に占める切れ込み有の菌床の割合を求める。



切れ込み無
absent



切れ込み有
present

形質13　花弁状菌さんの密度　　Char.13　Petal-like cap: density

子実体株全体を見た時の花弁状菌さんの密度を評価する。



3　粗　sparse



5　中　medium



7　密　dense

形質14　枝の色　Char.14　Branch: color

収穫時の標準的な枝の表面の色を観察し、標準品種と比較し評価する。

（参考：RHSカラーチャート№と状態区分）

（参考）

1：白色　　＝155A、155B、155C、155D、NN155A、NN155B、NN155C、NN155D

2：淡黄白色　＝158B、158C、158D、159C、159D、11D

3：黄白色　　＝158A、159A、159B、18C、18D、19D

4：淡黄色　　＝10C、10D、11C、12C、12D、13D、14D、16D、18B

形質17　菌柄の色　Char.17　Stipe: color

収穫時の標準的な菌柄の色を観察し、標準品種と比較し評価する。

（参考：RHSカラーチャート№と状態区分）

（参考）

1：白色　　＝155A、155B、155C、155D、NN155A、NN155B、NN155C、NN155D

2：淡黄白色　＝158B、158C、158D、159C、159D、11D

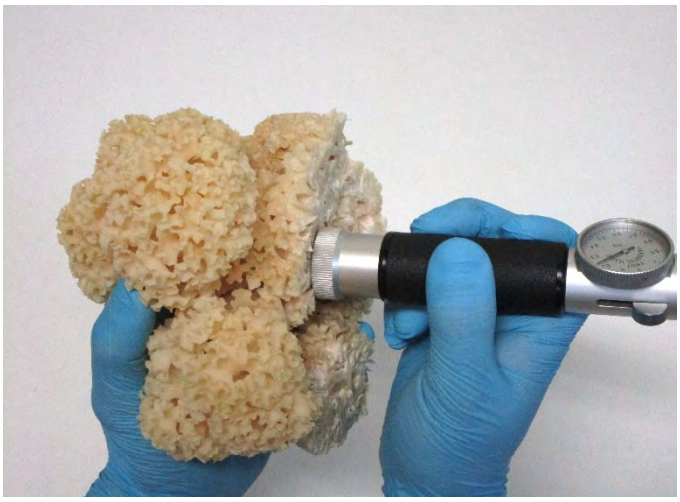
3：黄白色　　＝158A、159A、159B、18C、18D、19D

4：淡黄色　　＝10C、10D、11C、12C、12D、13D、14D、16D、18B

形質19　菌柄の硬さ　Char.19　Stipe: firmness

※現在、再度検証中です。現時点での測定方法が以下のとおりです。

菌柄最下部（収穫した際の子実体株裏面の断面部分）の硬さを、写真のように果実硬度計（円錐型治具）で測定する。円錐型治具が5㎜程度沈むまで、または、突き当てツバ全体に測定箇所の菌柄が接するまでの値を測定値とする。



参考：写真の機器は果実硬度計KM－1型（株式会社藤原製作所）

形質20　菌柄の模様割合　Char.20　Stipe: rate of pattern

菌柄最下部（収穫した際の子実体株の切断面）における模様の有無を観察する。一部でも模様があればその菌床は有とし、調査個体に占める模様有の菌床の割合を求める。



無

absent



有

present

形質21　最適培養期間　Char.21　Fruit body: incubation period

種菌接種から発生処理（発生移行）までの期間を測定する。

形質22　発生処理から収穫最盛期までの期間

Char.22　Fruit body: period from scratching to harvest

発生処理から収穫最盛期までの期間を測定する。

（発生処理および最適培養期間の定義）

・原基から花弁状菌さんが形成し始めた状態であること。

・フィルターに子実体株が食い込まないこと。

・品種特性を維持し、形質調査可能な子実体株を安定して得られ、最も子実体株の重量が得られる最短期間を最適培養期間とし、発生処理を行う。

（発生処理後の注意事項）

・子実体株の生長により栽培袋との接触の恐れがある場合は、適宜、発生処理時の袋開口部を調整する。

（収穫最盛期の定義）

・色、形、硬さなどの品種特性を維持して、最も子実体株の重量が得られる最短期間を、発生処理から収穫最盛期までの期間とする。

形質23　子実体株の平均重量　Char.23　Fruit body: weight at harvest maturity

菌床あたりの子実体株の重量を測定し、供試した全ての菌床の平均重量を算出する。

「参考」

（培地調製）

培地基材にはカラマツおが粉を使用する。栄養源には、小麦粉とフスマとビール酵母を5：1：1（重量比）で混用する。栄養源は、培地総重量の7%（1㎏菌床当りの小麦粉・フスマ・ビール酵母の合計が70g）になるように添加する。含水率（湿量基準）は65±3%とする。

（充填）　栽培に用いる容器（袋）には、特に指示がない限り、下記と同様の性能を有するものを使用する。

ポリエチレン製栽培袋（約100㎜×90㎜×390㎜）

フィルター特性：厚み　45μ(±5%)　材質　PE,PP,PET、孔径40φ、孔数1

フィルターJIS透気度（ガーレー試験機法JISP8117:2009）：通気量　3.0～10.0cc/㎠・sec

培地を栽培袋に1,000±50g充填し、約100㎜×90㎜×150㎜に押圧した後、培地中央部に径20㎜程度の穴を1か所開ける。

（殺菌）

殺菌は、118℃で60分の高圧殺菌を原則とするが、98℃で4時間以上の常圧殺菌も可とする。いずれも場合も釜内温度を測定し記録しておく。

（培養管理）

温度22±2℃、湿度70～80%、光照射50～200Lxで2～4時間程度/日とする。

（発生処理）

栽培袋上部をカッター等で切り、開口部は子実体株最上部から2～3㎝を目安とする。

（発生管理）

温度22±2℃、湿度90～98%、光照射100～500Lxで6～8時間程度/日とする。

（注意事項）

子実体株の生長により栽培袋との接触の恐れがある場合は、適宜、発生処理時の袋開口部を調整する。

資料 1-3-11

2026 年　月

TG/3/12 Rev. 2017-04-05 + 2022-10-25 に準拠

コムギ種

Wheat

(*Triticum aestivum* L.)

(案)

コムギ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、イネ科（Poaceae）コムギ属（*Triticum* L.）のフツウコムギ種（*T. aestivum* L.）の全ての品種及び交雑種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　600g

更に当局の要請があった場合は、穂を 120 本以上提出する。提出する種子は、発芽率、純度、含水量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　2,000 個体（2 区以上に分割）

穂列試験の場合　　100 穂

まき性の試験の場合　300 個体

ⅲ）栽培期間　　2 生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は、特性表の「A」が付されている形質については、植物体 100 個体又は各個体から採取した部分 100 個で判定する。「B」が付されている形質については、植物体 2,000 個体又は各個体から採取した部分 2,000 個で判定する。

調査時期　　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載した十進コードの時期に行う。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準(Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、自家受粉品種においては、母集団標準 0.3%、受容確率 95%を適用して判定する。供試個体数が 2,000 の場合、許容される異型個体数は 10 である。

穂列試験及び特性表に「A」が付されている形質については、100 個体で均一性を判定

する。母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 100 の場合、許容される異型個体数は 3 である。

また、特性表に「A」が付されている形質については、形質 2「種子のフェノール反応による着色」と形質 3「しょう葉のアントシアニン着色」を除き、均一性の評価は２段階で行うことができる。第１段階では、20 個体を観察し、異型個体が観察されない場合は均一性があると判断する。１～３の異型個体が認められた場合は、80 個体を追加して調査し、4 以上の異型個体が認められた場合は、均一性がないと判断する。

交雑品種においては、母集団標準 10%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP8 文書の 8.1.10 節の図表 1 により判定する。特性表に「B」が付されている形質については、供試個体数を 200 個体に減らすことができる。供試個体数が 200 の場合、許容される異型個体数は 27 である。穂列試験及び特性表に「A」が付されている形質については、供試個体数が 100 の場合、許容される異型個体数は 15 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）護穎の外面の毛の有無（形質 12）
ⅱ）芒の有無（形質 18）
ⅲ）穂の色（形質 20）
ⅳ）まき性（形質 34）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明(Legend)

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、5階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の 9 階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of Characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	PQ (+)	種子の色	Seed: color	種子（原麦粒）の色	観察 VG/A 00	1 2 3 4	白 赤 紫 青	white red purple blue	シロガネコムギ*、農林 61 号*	
2	2	QN (+)	種子のフェノール反応による着色（種子の色が紫及び青の品種を除く）	Seed: coloration with phenol	種子のフェノール反応による着色の濃淡	観察 VG/A 00	1 3 5 7 9	無又は極淡 淡 中 濃 極濃	absent or very light light medium dark very dark		
3	3	QN (+)	しょう葉のアントシアニンの着色	Coleoptile: anthocyanin coloration	本葉が出始めた時のしょう葉のアントシアニン着色の強弱	観察 VG/A 09-11	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	シロガネコムギ*、農林 61 号*	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	QN (*) (+)	草姿	Plant: growth habit	第 5～9 分げつ期の株の姿	観察 VG/B 25-29	1 2 3 4 5 6 7 8 9	立 立～半立 半立 半立～中 中 中～半ほふく 半ほふく 半ほふく～ほふく ほふく	erect erect to semi erect semi erect semi erect to intermediate intermediate intermediate to semi prostrate semi prostrate semi prostrate to prostrate prostrate	シロガネコムギ*、農林 61 号*	
5	5	QN (+)	反曲した止め葉を持つ個体の出現頻度	Plant: frequency of plants with recurved flag leaves	反曲した止め葉を持つ個体の出現頻度	観察 VG/B 47-51	1 3 5 7 9	無又は極低 低 中 高 極高	absent or very low low medium high very high		
6	6	QN (+)	止め葉の葉耳のアントシアニン着色	Flag leaf: anthocyanin coloration of auricles	止め葉の葉耳のアントシアニン着色の強弱	観察 VG/B 49-60	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong		
7	7	QN (*)	出穂期	Time of ear emergence	有効茎数の 50%の穂の第 1 小穂が見えた期日	測定日 MG/B	3 5 7	早 中 晩	early medium late	シロガネコムギ* 農林 61 号*	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	QN (*)	止め葉の葉しょうの白粉	Flag leaf: glaucosity of sheath	止め葉の葉しょうの白粉の強弱	観察 VG /B 60-65	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		
9	9	QN	止め葉の白粉	Flag leaf: glaucosity of blade	止め葉の葉身裏面の白粉の強弱	観察 VG/B 60-65	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	シロガネコムギ*、農林 61 号*	
10	10	QN (*)	穂の白粉	Ear: glaucosity	穂の白粉の強弱	観察 VG/B 60-69	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		
11	11	QN	穂首の白粉	Culm: glaucosity of neck	穂首の白粉の強弱	観察 VG/B 60-69	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		
12	12	QL (*) G	護穎の外面の毛の有無	Lower glume: hairiness on external surface	穂中央部の小穂の下側の護穎の外面の毛の有無	観察 VG/B 69-92	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	QN (*)	草丈	Plant: length	植物体の先端までの高さ（穂、長芒及び短芒を含む。）	測定 cm MS/B 75-92	3 5 7	低 中 高	short medium long		
14		QN	稈の長さ	Stem: length	最長稈の地際から穂首節までの長さ	測定 cm MS/B 80-92	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	 シロガネコムギ* 農林 61 号*	
15	14	QN (*) (+)	穂首節直下の節間の髄の厚さ	Straw: pith in cross section	穂首節直下の節間の中央部の横断面の髄の厚さ	観察 VG/A 80-92	1 2 3	薄 中 厚又は充満	thin medium thick or filled	シロガネコムギ*、 農林 61 号*	
16	15	QN (*)	粒着密度	Ear: density	穂の粒の粗密（小穂数／穂長の割合）	観察/ 測定 VG/B MS/B 80-92	3 5 7	粗 中 密	lax medium dense	 シロガネコムギ*、 農林 61 号*	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	16	QN	穂の長さ	Ear: length	穂の長さ（長芒、短芒を含まない。）	観察/測定 cm VG/B MS/B 80-92	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	シロガネコムギ* 農林 61 号*	
18	17	QL (*) (+) G	芒の有無	Ear: scurs or awns	穂の先端の穎の短芒又は長芒の有無	観察 VG/B 80-92	1 2 3	両方無 短芒有り 長芒有り	both absent scurs present awns present	シロガネコムギ*、 農林 61 号*	
19	18	QN (*) (+)	穂の先端の芒の長さ	Ear: length of scurs or awns	穂の先端部に着く粒の短芒又は長芒の長さ	観察/測定 mm VG/B MS/B 80-92	3 5 7	短 中 長	short medium long		
20	19	QL (*) (+) G	穂の色	Ear: color	糊熟期～完熟期の穂の色	観察 VG/B 80-92	1 2	白 着色	white colored	シロガネコムギ* 農林 61 号*	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	20	PQ (+)	穂の形	Ear: shape in profile	側面から見た穂の形	観察 VG/B 80-92	1 2 3 4 5	先細 両側平行 やや棍棒状 棍棒状 紡錘状	tapering parallel sided slightly clavate strongly clavate fusiform	シロガネコムギ*、 農林 61 号*	
22	21	QN (+)	穂軸の先端凸部表面の毛	Apical rachis segment: area of hairiness of convex surface	穂軸の先端凸部表面の毛が着生する面積の大小	観察 VG/A 80-92	1 3 5 7 9	無又は極小 小 中 大 極大	absent or very small small medium large very large		
23	22	QN (+)	護穎の肩部の幅	Lower glume: shoulder width	穂中央部の小穂の下側の護穎の肩部の幅	観察 VG/A 80-92	1 3 5 7 9	無又は極狭 狭 中 広 極広	absent or very narrow narrow medium broad very broad	ミナミノカオリ* シロガネコムギ*、 ニシノカオリ*	
24	23	QN (+)	護穎の肩部の形	Lower glume: shoulder shape	穂中央部の小穂の下側の護穎の肩部の形	観察 VG /A 80-92	1 3 5 7 9	強く下がる やや下がる 水平 やや上がる 強く上がる	strongly sloping slightly sloping horizontal slightly elevated strongly elevated	農林 61 号*	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	24	QN (+)	護穎の嘴の長さ	Lower glume: length of beak	穂中央部の小穂の下側の護穎の嘴の長さ	観察/測定 mm VG/A MG/A MS/A 80-92	3 5 7	短 中 長	short medium long	シロガネコムギ* ミナミノカオリ*	
26	25	QN (*) (+)	護穎の嘴の形	Lower glume: shape of beak	穂中央部の小穂の下側の護穎の嘴の形	観察 VG/A 80-92	1 3 5 7 9	直 やや曲がる 曲がる 強く曲がる 鋭角に曲がる	straight slightly curved moderately curved strongly curved geniculate		
27	26	QN (+)	護穎の内側の毛	Lower glume: area of hairiness on internal surface	穂中央部の小穂の下側の護穎の内面の毛の着生面積	観察 VG/A 80-92	1 3 5	極小 中 極大	very small medium very large		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28		PQ	稈の色	Glume: color	完熟期の稈の色	観察 VG/A 91-92	1 2 3 4 5 6 7 8 9	淡黄 黄 黄褐 褐 赤褐 赤 赤紫 紫 濃紫	light yellow yellow yellowish brown brown reddish brown red reddish purple purple deep purple	 シロガネコムギ* 農林 61 号*	
29		PQ	粒の形	Grain: shape	原麦粒の長さと幅の比	観察 VG/A 92	1 2 3 4	極円 円 楕円 狭楕円	round round to oval oval slender	 シロガネコムギ*、 農林 61 号*	
30		QN	成熟期	Time of maturity	全穂数の 80%の穂首部が黄化し、粒の硬さがろう程度になった日	観察 MG/B	3 5 7	早 中 晩	early medium late	シロガネコムギ* 農林 61 号*	
31		QN	千粒重	1000 grain weight	原麦粒の千粒の重さ	測定 g MG/A 92	3 5 7	小 中 大	low medium high	 シロガネコムギ*、 農林 61 号*	
32		QL	胚乳の型	Grain: endosperm type	胚乳でんぷんのうるち性、もち性の別	観察 VS/A 92	1 2	うるち もち	non-glutinous glutinous	シロガネコムギ*、 農林 61 号*	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33		QN (+)	粒質	Grain: glassiness	硝子率による粒質の別（硝子率が 70%以上の場合を硝子質、30%以下の場合を粉質とする。）	測定 MG/A 92	1 2 3	粉質 中間質 硝子質	floury medium glassy	シロガネコムギ*、 農林 61 号*	選択形質
34	27	PQ (*) (+) G	まき性	Seasonal type	まき性のタイプ	観察 VG	1 2 3	秋まき型 中間型 春まき型	winter type alternative type spring type	 シロガネコムギ*、 農林 61 号*	
35		QN (+)	穂発芽性	Sprouting resistance	穂発芽の難易	観察/ 測定 VS/ MS	3 5 7	易 中 難	weak medium strong		選択形質
36		QN (+)	コムギ縞萎縮病（病原性Ⅱ型）抵抗性	Resistance of Wheat yellow mosaic virus (pathotype II)	コムギ縞萎縮病（病原性Ⅱ型）抵抗性の強弱	観察 VS	1 2 3 4 5	弱 やや弱 中 やや強 強	weak weak to medium medium medium to strong strong	ホクシン、キタノカオリ きたほなみ、チホクコムギ ホロシリコムギ Madsen、滝系麦 2 号、ゆめちから	選択形質

＊標準品種欄の「シロガネコムギ」、「農林 61 号」、「ミナミノカオリ」及び「ニシノカオリ」は、暖地・温暖地における標準品種である（標準品種設定に際して調査を実施した調査地：福岡県筑後市、茨城県つくば市、広島県福山市）。

電気泳動法を用いる形質（形質 37～39）Characteristics derived by using Electrophoresis

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
37	28	QL (+)	グルテニン組成：Glu-A1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現	Glutenin composition: allele expression at locus Glu-A1	Glu-A1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現型によるグルテニン組成		1 2 3	バンド 1 バンド 2 バンド無し	band 1 band 2 no band	 農林 61 号* シロガネコムギ*	選択形質
38	29	QL (+)	グルテニン組成：Glu-B1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現	Glutenin composition: allele expression at locus Glu-B1	Glu-B1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現型によるグルテニン組成		1 2 3 4 5 6 7 8 9	バンド 6+8 バンド 7+8 バンド 7+9 バンド 7(又は形質 38 のバンド 5+10 とともにバンド 7+9) バンド 13+16 バンド 14+15 バンド 17+18 バンド 20 バンド 6.1+22	bands 6+8 bands 7+8 bands 7+9 band 7(or 7+9 in the presence of bands 5+10 of char. Glu-D1) bands 13+16 bands 14+15 bands 17+18 band 20 bands 6.1+22	 シロガネコムギ*、農林 61 号*	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	30	QL (+)	グルテニン組成: Glu-D1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現	Glutenin composition: allele expression at locus Glu-D1	Glu-D1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現型によるグルテニン組成		1 2 3 4 5	バンド 2+12 バンド 3+12 バンド 4+12 バンド 5+10 バンド 2.2+12	bands 2+12 bands 3+12 bands 4+12 bands 5+10 bands 2.2+12	シロガネコムギ*、農林 61 号*	選択形質

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1　種子の色　　Char.1　Seed: color

種子の色は乾いた種子または NaOH 溶液（5M NaOH 溶液に 60℃で 10 分間または室温で 60 分間浸した種子）を使用して観察する。

形質 2　種子のフェノール反応による着色

Char.2　Seed: coloration with phenol

フェノールによる種子の着色は、紫あるいは青系の種子では観察できない。

フェノール反応の方法

供試粒数	100 粒（無処理の粒を使用すること）
調整	16－20 時間流水に浸した後、縦溝を下にして蓋付きシャーレに置床
試薬の作成	1%フェノール溶液(試験毎に作成)
試薬の量	粒の 3/4 を浸す
試験場所	実験室
光条件	直射の当たらない自然光下
温度	18－20℃
調査時期	浸漬後 4 時間
階級値	判定の指標として少なくとも 2 以上の標準品種を含めること。

同じ結果が得られる場合は、任意の代替法を使用できる。

形質 3　しょう葉のアントシアニンの着色

Char.3　Coleoptile: anthocyanin coloration

アントシアニン着色程度の調査方法

供試粒数	100 粒
粒の準備	休眠していない粒をシャーレ内の湿潤ろ紙上に置床し発芽させる。
試験場所	実験室又は温室内
光条件	しょう葉が約 1 cm になるまでは暗黒条件下で、その後、3～4 日 15,000Lux の連続光条件下。
温度	15～20℃
調査時期	しょう葉が十分に生育した時期（約 1 週間）生育コード表の 09-11
階級値	区別性の試験には、判定の指標として少なくとも 2 以上の標準品種を含めること。

同じ結果が得られる場合は、任意の代替法を使用できる。

形質 4　草姿　　Char.4　Plant: growth habit

草姿は葉と分げつの状態の観察による。外側の葉と分げつが仮想の垂直軸と作る角度を用いる。



1	3	5	7	9
立	半立	中	半ほふく	ほふく
erect	semi erect	intermediate	semi prostrate	prostrate

形質 5　反曲した止め葉を持つ個体の出現頻度

Char.5　Plant: frequency of plants with recurved flag leaves

1（無又は極低）：全ての個体が直立

3（低）：約 1/4 の個体が反曲

5（中）：約 1/2 の個体が反曲

7（高）：約 3/4 の個体が反曲

9（極高）：全ての個体が反曲

形質 6　止め葉の葉耳のアントシアニン着色

Char.6　Flag leaf: anthocyanin coloration of auricles

ステージ 49 と 60 の間の適切な評価時期は場所に応じて決定する。全ての品種は同じステージで評価する必要がある。

形質 15　穂首節直下の節間の髄の厚さ　　Char.15　Straw: pith in cross section

横断面の髄は穂首節と最上節の中間点で観察する。 植物体を代表する茎を複数調べて、最も高い評点を記録する。



1	2	3
薄	中	厚又は充満
thin	medium	thick or filled

形質 18　芒の有無　Char.18　Ear: scurs or awns



1	2	3
両方無	短芒有り	長芒有り
both absent	scurs present	awns present

形質 19　穂の先端の芒の長さ　Char.19　Ear: length of scurs or awns
　　短芒も長芒もない品種では観察できない。



1	3	5	7	9
極短	短	中	長	極長
very short	short	medium	long	very long

形質 20　穂の色　Char.20　Ear: color
　白い穂の品種は、環境条件のためにわずかに色が付いている場合がある。

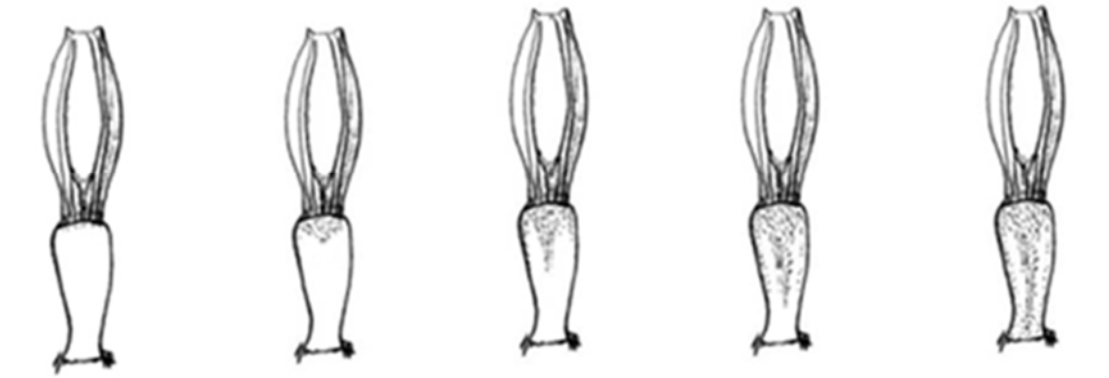
形質 21　穂の形　　Char.21　Ear: shape in profile



1	2	3	4	5
先細	両側並行	やや棍棒状	棍棒状	紡錘状
tapering	parallel sided	slightly clavate	strongly clavate	fusiform

形質 22　穂軸の先端凸部表面の毛

Char.22　Apical rachis segment: area of hairiness of convex surface



1	3	5	7	9
無又は極小	小	中	大	極大
absent or very small	small	medium	large	very large

形質 23　護穎の肩部の幅　　Char.23　Lower glume: shoulder width



1	3	5	7	9
無又は極狭	狭	中	広	極広
absent or very narrow	narrow	medium	broad	very broad

形質 24　護穎の肩部の形　　Char.24　Lower glume: shoulder shape



1	3	5	7	9
強く下がる	やや下がる	水平	やや上がる	強く上がる
strongly sloping	slightly sloping	horizontal	slightly elevated	strongly elevated

形質 25　護穎の嘴の長さ　　Char.25　Lower glume: length of beak



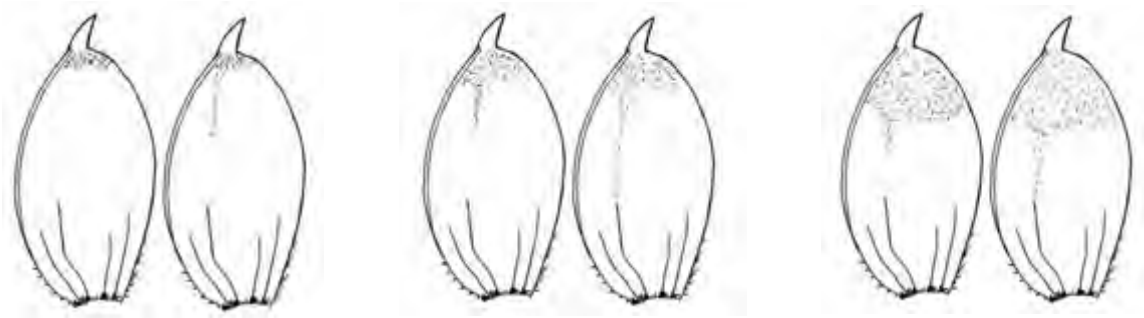
1	3	5	7	9
極短	短	中	長	極長
very short	short	medium	long	very long

形質 26　護穎の嘴の形　　Char.26　Lower glume: shape of beak



1	3	5	7	9
直	やや曲がる	曲がる	強く曲がる	鋭角に曲がる
straight	slightly curved	moderately curved	strongly curved	geniculate

形質 27　護穎の内側の毛　　Char.27　Lower glume: area of hairiness on internal surface



1	3	5
極小	中	極大
very small	medium	very large

形質 33　粒質　　Char.33　Grain: glassiness

100 粒を横断し、断面の観察から硝子質粒、中間質粒及び粉質粒に分け、以下の計算式により、硝子率を算出する。

硝子率（%）の計算式

=(1×[硝子質粒の数]＋0.5×[中間質粒の数]＋0×[粉質粒の数])／[全調査粒数]×100

（硝子質粒を 1、中間質粒を 0.5、粉質粒を 0 とする重み付け平均）

粉質粒：切断面の 30%以下が半透明の硝子状になっているもの

中間質粒：切断面の 30%～70%が半透明の硝子状になっているもの

硝子質粒：切断面の 70%以上が半透明の硝子状になっているもの

硝子率が 70%以上を硝子質、30%以下を粉質、その中間を中間質とする。

形質 34　まき性　　Char.34　Seasonal type

まき性調査（春化の必要性）は、標準品種を加えて全ての品種を春まきする。

最も遅い春まき品種が完全に成熟した時期（十進コード表のステージ 91/92 に達したとき）に、供試した各品種の状態を調査する。各タイプの状態は以下に示す。

秋まき型	最大で十進コード表のステージ 45 になる。
中間型	十進コード表のステージ 45 を超えて、一般にステージ 75 以上になり、最大でステージ 90 となる。
春まき型	十進コード表のステージ 90 を超える。

形質 35　穂発芽性　　Char. 35　Sprouting resistance

試験方法

1. 供試材料

慣行法によって栽培され、成熟期に達した麦穂を各品種 5 穂以上供試する。

穂発芽程度の異なる標準品種等を複数供試する。

2. 発芽処理

穂のまま散水装置等で麦穂に吸水させる。

吸水後，一定温度条件で発芽処理する。（10～15℃を目安とするが、供試した標準品種等が適切な特性を示す温度で行う）

穂が乾かないように、必要に応じて吸水処理は追加又は継続して行う。

3. 穂発芽程度調査

発芽処理後、概ね 7～10 日後に以下の評点で穂ごとに達観調査を行う。

評点：穂発芽程度

0（穂発芽が認められない）～5（著しく穂発芽が認められる）

発芽処理後の穂を乾燥，脱穀し発芽率（発芽粒／穂の粒数）を算出して穂発芽程度を判定しても可。

4. 評価方法

品種ごとの評点又は発芽率の平均を標準品種等との比較により相対評価する。

5. 記載データ

吸水（散水）条件の期間・頻度及び温度条件を記載する。

穂発芽性の標準品種

	1 極易	2 かなり易	3 易	4 やや易	5 中	6 やや難	7 難	8 かなり難	9 極難
寒地 春まき					ハルユタカ		はるきらり		
寒地 秋まき					ゆめちから	きたほなみ			
寒冷地				キタカミコムギ		ゆめかおり	銀河のちから ユメセイキ しろゆたか		
温暖地 暖地			ミナミノカオリ	シロガネコムギ	イワイノダイチ ニシノカオリ トワイズミ	タマイズミ ゆめかおり さぬきの夢2009	チクゴイズミ 農林61号 ちくしW2号 きぬあかり	ゼンコウジコムギ	

※寒地：北海道、寒冷地：東北・北陸、温暖地・暖地：関東以西

形質 36　コムギ縞萎縮病（病原性Ⅱ型）抵抗性

Char.36　Resistance of Wheat yellow mosaic virus (pathotype Ⅱ)

調査方法

1. 病原性 II 型のコムギ縞萎縮ウイルス汚染ほ場で実施する。汚染ほ場の土壌（汚染土壌を培養土で希釈したものを含む）を充填したプランターまたはポットで行うことも可能である。コムギ縞萎縮ウイルスの病原性Ⅱ型のみが発生している汚染ほ場であることの確認は病原性判別品種（表 1）を使って参考文献に記載の汁液接種に準じて、必要に応じて実施・確認する。
2. 1 区 5 個体以上栽植し、2〜3 反復設ける。
3. 9〜10 月に播種し、越冬・融雪後、4 月上旬〜5 月中旬に発病指数（表 2、図 1）を調査する。
4. 発病指数の調査と併せて、1 区あたり 5 個体以上からランダムに葉をサンプリングし、サンプリング葉を混合して抗コムギ縞萎縮ウイルス抗体を使った ELISA 法（注 1）またはコムギ縞萎縮ウイルス特異的配列を使った RT-PCR 法、LAMP 法（注 2）など本ウイルス特異的な検出方法により、コムギ縞萎縮ウイルスの有無を調査する。
   （注１）ELISA での検出に用いる抗体は参考文献 1）2）で示されている WYMV のコートタンパク質の塩基配列等を用いて、参考文献 3）および 4）の方法等に基づき作成可能である。
   （注２）RT-PCR または LAMP 法での検出は参考文献 1）2）で示されたウイルス塩基配列等を用いてプライマーを設計することができる（例：RT-PCR については参考文献 1）のプライマーが、LAMP 法については参考文献 5）のプライマーが使用可能である。）。
5. 3. の発病指数と 4. のウイルスの検出の有無を標準品種（表 3）と比較し階級を判定する。

表 1　病原性判別品種と汁液接種による病原性（大藤　2006）

病原性	ナンブコムギ	フクホコムギ	北海 240 号
I 型	S	S	**R**
II 型	S	**R**	**R**
III 型	S	S	S

注）R：抵抗性、コムギ縞萎縮ウイルスに感染しない。
S：罹病性、コムギ縞萎縮ウイルスに感染する。

表 2　発病指数と病徴

発病指数	病徴
0	無病徴
1	葉身にわずかにかすり状の縞や黄化が認められる。萎縮症状は認められない。
2	葉身に明らかにかすり状の縞や黄化が認められる。萎縮症状が認められるが不明瞭。
3	株全体の葉にかすり状の縞や黄化が認められる。萎縮症状が認められる。
4	株全体が激しく葉の黄化やかすり状の縞が認められる。激しい萎縮症状が認められる。

注）病徴として帯紫化（アントシアニン蓄積）の症状が出る場合がある。



発病指数：0	**発病指数：1**	**発病指数：2**	**発病指数：3**	**発病指数：4**

図 1　病徴の代表的写真（原図：北海道立総合研究機構）

表 3　コムギ縞萎縮病抵抗性（病原性 II 型）の階級値と標準品種

階級	標準品種
1　弱	ホクシン、キタノカオリ
2　やや弱	きたほなみ、チホクコムギ
3　中	ホロシリコムギ
4　やや強	
5　強	Madsen、滝系麦 2 号、ゆめちから

形質 37-39　電気泳動法の説明　　Char.37-39　Description of the method to be used

概要

以下は電気泳動によって明らかにされた貯蔵タンパク質に基づく特性のリストと使用するための手法の解説である。UPOV はこれらの特性をテストガイドラインの別添に掲載することを決め、特性の特別なカテゴリーを作成した。なぜなら、UPOV メンバーの大半は電気泳動によって明らかにされた貯蔵タンパク質マーカーに基づく特性で見られる差異だけに基づいて区別性をつけることはできないという見解であるためである。従って、このような特性は形態的又は生理的特性における他の区別性を補完するものとしてのみ使用するべきである。UPOV はこれらの特性が有用であると考えているが、区別性をつけるためにはそれらが十分ではないかもしれないことを再確認する。これらは通常の特性として使用するのではなく、出願品種の出願者の要求や同意に基づいて使用されるべきである。

高分子量（HMW）のグルテニンの分析には、ドデシル硫酸ナトリウムの存在下でのポリアクリルアミドゲル電気泳動（SDS PAGE）が使用される。同じ結果が得られるのであれば、他の方法でも良い。グルテニンはグループ 1 染色体の長腕にある Glu-A1、Glu-B1 及び Glu-D1 として知られる 3 つの複合遺伝子座によってコード化されている。各遺伝子座には多くの対立遺伝子があり、HMW グルテニンの分析は、明確に定義されたバンドやバンドパターンのシリーズとしてゲル上に現れるタンパク質からこれらの対立遺伝子を識別している。対立遺伝子は、1983 年に Payne と Lawrence[1)] が定義したバンド番号で表示される。対応する文字と見かけの分子量は、下記の説明に記載されている。

試験方法の説明

1. 器具と設備

ゲルを一定の温度で保つことができる適切な垂直電気泳動システムを使用する。 ゲルの厚さは 1.5mm 以下を推奨する。使用する電源は、定電流、定電圧出力の両方ともできるべきである。

2. 試薬

アクリルアミド（電気泳動用に特別に精製したもの）

ビスアクリルアミド（同上）

TRIS（トリスヒドロキシメチルアミノメタン）
SDS（ドデシル硫酸ナトリウム）
APS（過硫酸アンモニウム）
2-メルカプトエタノール
TEMED（テトラメチルサイレンジアミン）
TCA（クエン酸）
塩酸
氷酢酸
グリシン
ブタノール
ピロニン Y（又は G）
グリセリン
メタノールまたはエタノール
クマシーブリリアントブルーR-250
クマシーブリリアントブルーG-250

3. 溶液

3.1 抽出液

3.1.1 グルテニンの抽出のみ

貯蔵液：

6.25 mL 1M TRIS HCl 緩衝液, pH 6.8（3.3.2 参照）
12.05 mL 蒸留水
2.0g SDS
10 mg ピロニン Y（又は G）
10 mL グリセリン
この溶液は 4℃で 2 ヶ月間保存できる。

使用直前に抽出液を以下のように調整する。

4.25mL 貯蔵液(上記)に 0.75mL の 2-メルカプトエタノールと蒸留水を加えて 10mL にする。この溶液は使用直前に準備する必要があり、保存することはできない。

3.1.2 グリアジンの後のグルテニンの抽出

A 液－25mL 2-メルカプトエタノール＋50mg ピロニン Y/G を蒸留水に加えて 100mL にする。

B 液－27.0g 尿素、3.0mL 2-メルカプトエタノール＋10.0g SDS を蒸留水に加えて 100mL にする。

3.2 電気泳動（通電）用緩衝液

保存液

グリシン 141.1g、TRIS 30.0g、SDS 10.0 g に蒸留水を加えて 1 L とする。
使用直前に、保存液を蒸留水で 1：10 に希釈する。
保存緩衝液は室温で 2 ヶ月間保存が可能である。希釈緩衝液は 1 週間以上おかないこと。緩衝液の pH は 8.3 近くとする。

3.3　ゲル調製液

3.3.1　分解用ゲルの保存緩衝液（1M TRIS HCl、pH 8.8）

TRIS 121.14g と塩酸(d=1.19) 20mL を蒸留水に加えて 1L とする。この緩衝液は 4℃で 2 ヶ月間保存が可能である。

3.3.2　スタッキングゲル保存緩衝液（1M TRIS HCl、pH 6.8）

TRIS 121.14 g と塩酸 78mL を蒸留水に加えて 1 L とする。この緩衝液は 4℃で 2 か月間保存が可能である。

3.3.3　10%(w/v)ドデシル硫酸ナトリウム液

SDS 10.0g を蒸留水に溶解して 100mL とする。この保存液は 4℃で 2 ヶ月間保存が可能である。使用に先立って、SDS が結晶化していたら、撹拌してゆるやかに温めて SDS を溶解させる。

3.3.4　1%(w/v)過硫酸アンモニウム液

APS 1g を蒸留水に溶解して 100mL とする。この溶液は使用直前に作る。

3.3.5　アクリルアミド保存液

アクリルアミド 40.02g を蒸留水に加えて 100mL とする。

3.3.6　ビスアクリルアミド保存液

ビスアクリルアミド 0.5198g を蒸留水に加えて 130mL とする。

3.4　染色液

3.4.1　クマシーブリリアントブルーG-250 0.25g とクマシーブルリリアントブルーR-250 0.75g を蒸留水に加えて 100mL とする。

3.4.2　TCA 55.0g と氷酢酸 65mL、メタノールまたはエタノール 180mL、3.4.1 液 25mL を蒸留水に加えて 1L とする。

4. 手順

4.1 タンパクの抽出

4.1.1 グルテニンのみの抽出

種子をハンマー（他の道具でも可）で粉砕する。粉と、希釈した試料抽出緩衝液(3.1.1)を、ねじ蓋か密閉蓋のついた 3mL 容量のポリエチレン製血液遠心分離用チューブの中に入れて混ぜる。粉と抽出緩衝液の割合は、50mg/0.75mL とする。試料抽出は室温で 2 時間かかる。その間に数回、ボルテックスミキサーにかけて撹拌し、その後、沸騰させた湯煎器で 10 分間湯煎したのち冷却する。チューブを 18,000 *g* で 5 分間遠心分離する。

4.1.2 グリアジンの後のグルテニンの抽出

グルテニンとグリアジンを同じ麦粒から分析できる。グリアジン抽出のため、はじめに粉砕粉（1 粒または半粒）と A 液(3.1.2) 0.25mL をミクロ滴定板かミクロ遠沈管に入れて、室温で一晩培養する。次にグルテニン抽出のために、粉砕粉に B 液(3.1.2) 0.5mL を加えて、室温で一晩培養する。

泳動しようとする抽出物の量はゲルの厚さや泳動槽の大きさによって異なる。一般には、10μL ないし 25μL あれば十分である。

4.2 ゲルの準備

用いる装置のデザインに従って、清潔で十分に乾燥したゲルカセットを組み立てる。カセットのシールにテープを用いるときは、テープがなれてよく着くよう、少なくとも使用する 1 日前に装置を組み立てるとよい。

4.2.1 分解用ゲル（10%アクリルアミド、pH 8.8）

二枚垂直型ゲル（180mm×160mm×1.5mm）を作成するため、アクリルアミド保存液(3.3.5) 20mL、ビスアクリルアミド保存液(3.3.6) 26mL、ゲル保存液(3.3.1) 30mL を室温で混合する。混合液は 100mL の真空フラスコ内で 2〜3 分かけてガス抜きをする。これに、APS(3.3.4) 2mL と SDS(3.3.3.) 0.8mL、TEMED 40μL（瓶から直接供試）を加える。次に、空気泡を立てないようにゲルを注意深く注入して、室温に置いて重合させる。

ゲルカセットは満杯にせず、スタッキングゲルのために 3〜4cm の空きを残しておく。ゲルの表面にはピペットを用いてブタノール（または蒸留水）で注意深く覆う。30 分ほどで重合が終わるので、ゲル表面を蒸留水で注意深くすすぎ、ろ紙で乾かす。

4.2.2　分解用ゲル（7%アクリルアミド、pH 8.8）

サブユニット 2 と 2*を分解するため、7%濃度のアクリルアミドが必要である。

二枚垂直型ゲル（180mm×160mm×1.5mm）を作製するため、アクリルアミド保存液(3.3.5) 14mL と蒸留水 6mL、ビスアクリルアミド保存液(3.3.6) 26mL、ゲル保存液(3.3.1) 30mL を室温で混合する。混合液は 100mL の真空フラスコ内で 2〜3 分かけてガス抜きする。これに、APS(3.3.4) 2mL と SDS(3.3.3.) 0.8mL、TEMED 40μL（瓶から直接供試）を加える。次に、空気泡を立てないようにゲルを注意深く注入して、室温に置いて重合させる。

ゲルカセットは満杯にせず、スタッキングゲルのために 3〜4cm の空きを残しておく。ゲルの表面にはピペットを用いてブタノール（または蒸留水）で注意深く覆う。30 分ほどで重合が終わるので、ゲル表面を蒸留水で注意深くすすぎ、ろ紙で乾かす。

4.2.3　スタッキングゲル（3%のアクリクアミド、pH 6.8）

50mL の真空フラスコにアクリルアミド保存液(3.3.5) 1.50mL とビスアクリクアミド保存液(3.3.6) 2.15mL、ゲル緩衝保存液(3.3.2) 2.50mL、の蒸留水 13.15mL を入れて

混合する。ガス抜き後、これに APS(3.3.4) 0.75mL との SDS(3.3.3) 0.2mL、TEMED 15μL（瓶から直接供試）を加える。

これを注意深く混合後、すぐに、スタッキングゲルをゲルカセットの上端まで注ぎいれる。空気泡を立てないようにサンプルコームを挿入して、室温で 2 時間重合させる。そののちコームをゲルカセットから静かに抜いて、希釈泳動緩衝液(3.2)で泳動槽をすすぐ。

4.3　電気泳動

泳動槽に適量の通電用緩衝液(3.2)を満たし、15℃に冷却する。試料を投入後、ピロニン Y/G がスタッキングゲルを通り抜けるまで 8mA/cm^2（断面積）の定常電流で電気泳動を行い、さらにマーカーがゲルの下端に達するまで 16mA/cm^2（最大電圧 300V）で泳動を続ける。温度は常に 15℃を維持する。

4.4　静置および染色

ゲルカセットを泳動槽から取り出して開き、ゲルを 15%(w/v) TCA 250mL 溶液内で少なくとも 30 分間静置する。ゲルを蒸留水ですすぎ、染色液(3.4.2) 250mL を用いて室温で一晩染色する。脱色は必ずしも必要ないが、ゲルはポリエチレン袋で密閉される前に蒸留水で洗うべきである。

他の染色法も利用できる（例えば、クマシーブリリアントブルーG や同濃度の TCA のみ）。ゲルの調製と染色の最終的な品質調節基準は、ゲルに現れた標準品種を分析して決める。相対電気泳動の移動度（分子量）は明確な判断のために明瞭でなければならない。

5.　グルテニン対立遺伝子の識別

この表は各遺伝子座からの全てのグルテニンバンドの分子量を説明するために設計されている。

HMW グルテニンのサブユニット：個々のバンドの命名

Band number	Molecular weight (kDa)
1	113
2	108
2*	108
3	107
4	106
5	105
6	100
6.1	99
7	98
8	86
9	83
10	83
12	80
13	94
14	94
15	91
16	90
17	89.5
18	89.5
20	94
22	87

形質 37　グルテニン組成：Glu-A1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現

Char.37　Glutenin composition: allele expression at locus Glu-A1

		Note		
		1	2	3
1	(113)---	1---		
2/2*	(108)---		2*---	no band
3	(107)---			
4	(106)---			
5	(105)---			
6	(100)---			
6.1	(99)---			
7	(98)---			
13/14/20	(94)---			
15	(91)---			
16/17/18	(90/89.5)---			
22	(87)---			
8	(86)---			
9/10	(83)---			
12	(80)---			

形質 38　グルテニン組成：Glu-B1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現

Char.38　Glutenin composition: allele expression at locus Glu-B1

		Note								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	(113)---									
2/2*	(108)---									
3	(107)---									
4	(106)---									
5	(105)---									
6	(100)---	6---								
6.1	(99)---									6.1---
7	(98)---		7---	7---	7---					
13/14/20	(94)---					13---	14---		20---	
15	(91)---						15---			
16/17/18	(90/89.5)---					16---		17/18---		
22	(87)---									22---
8	(86)---	8---	8---							
9/10	(83)---			9---						
12	(80)---									

形質 39　グルテニン組成：Glu-D1 遺伝子座にある対立遺伝子の発現

Char.39　Glutenin composition: allele expression at locus Glu-D1

		Note			
		1	2	3	4
1	(113)---				
2/2*	(108)---	2---			
3	(107)---		3---		
4	(106)---			4---	
5	(105)---				5---
6	(100)---				
6.1	(99)---				
7	(98)---				
13/14/20	(94)---				
15	(91)---				
16/17/18	(90/89.5)---				
22	(87)---				
8	(86)---				
9/10	(83)---				10---
12	(80)---	12---	12---	12---	

備考：特定のバンド（例えばバンド 9 及び 10）は分子量が類似している。これは、Glu-D1（形質 38）のバンド 5+10 の存在下では、Glu-B1（形質 37）のバンド 7 及びバンド 7+9 が互いに識別することができないことになる。そこで、Glu-D1 のバンド 5+10 の存在下では、Glu-B1 の階級値 4 がバンド 7 又はバンド 7+9 のいずれかであり得る。分子量が類似する他のバンドはそれらの既知の関係から互いに識別できる。Glu-B1 では、バンド 20 は単独であるが、バンド 13 は常にバンド 16 と、バンド 14 は常にバンド 15 と結びついている。

1）Payne, P.I., and Lawrence, G.J., 1983: Catalogue of alleles for the complex gene loci, Glu-A1, Glu-B1 and Glu-D1 which code for the high-molecular-weight subunits of the glutenin in hexaploid wheat. Cereal Res. Commun., 11: pp. 29 to 35.

Ⅸ．生育ステージに関する十進コード

The descriptions of the growth stages of the Zadoks decimal code for cereals

Zadoks Decimal code	一般記述 Description	Zadoks Decimal code	一般記述 Description
	発芽 Germination		分げつ期 Tillering
00	乾燥種子 Dry seed	20	主茎のみ Main shoot only
01	吸水開始 Start of imbibition	21	主茎及び第 1 分げつ Main shoot and 1 tiller
03	吸水完了 Imbibition complete	22	主茎及び第 2 分げつ Main shoot and 2 tillers
05	穎果から幼根の出現 Radicle emerged from seed	23	主茎及び第 3 分げつ Main shoot and 3 tillers
07	穎果からしょう葉の出現 Coleoptile emerged from seed	24	主茎及び第 4 分げつ Main shoot and 4 tillers
09	しょう葉先端に葉がのぞく Leaf just at coleoptile tip	25	主茎及び第 5 分げつ Main shoot and 5 tillers
		26	主茎及び第 6 分げつ Main shoot and 6 tillers
	苗の生長 Seedling growth	27	主茎及び第 7 分げつ Main shoot and 7 tillers
10	しょう葉から第 1 葉が出る First leaf through coleoptile	28	主茎及び第 8 分げつ Main shoot and 8 tillers
11	第 1 葉の展開 First leaf unfolded	29	主茎及び第 9 又はそれ以上の分げつ Main shoot and 9 or more tillers
12	第 2 葉の展開 2 leaves unfolded		
13	第 3 葉の展開 3 leaves unfolded		茎の伸長 Stem elongation
14	第 4 葉の展開 4 leaves unfolded	30	偽茎の立ち上がり Pseudo stem erection
15	第 5 葉の展開 5 leaves unfolded	31	第 1 節が認められる 1st node detectable
16	第 6 葉の展開 6 leaves unfolded	32	第 2 節が認められる 2nd node detectable
17	第 7 葉の展開 7 leaves unfolded	33	第 3 節が認められる 3rd node detectable
18	第 8 葉の展開 8 leaves unfolded	34	第 4 節が認められる 4th node detectable
19	第 9 葉又はそれ以上の展開 9 or more leaves unfolded	35	第 5 節が認められる 5th node detectable

Zadoks Decimal code	説明 Description	Zadoks Decimal code	説明 Description
36	第 6 節が認められる 6th node detectable		開花期 Anthesis
37	止め葉が認められる Flag leaf just visible	60	開花始め Beginning on anthesis
39	止め葉の葉舌／襟の視認期 Flag leaf ligule/collar just visible	65	開花半分 Anthesis half-way
		69	開花完了 Anthesis completed
	穂ばらみ期 Booting		
41	止め葉の葉しょうの伸展 Flag leaf sheath extending		乳熟期 Milk development
43	穂ばらみ視認期 Boots just visibly swollen	71	穎果に水分が満ちる Kernel watery ripe
45	穂ばらみ期 Boots swollen	73	乳熟初期 Early milk
47	止め葉の葉しょうの開裂 Flag leaf sheath opening	75	乳熟中期 Medium milk
49	最初の芒の視認 First awns visible	77	乳熟後期 Late milk
	出穂期 Inflorescence emergence		糊熟期 Dough development
50	第 1 小穂（頂花）視認期 First spikelet of inflorescence visible	80	-
51	-	83	糊熟前期 Early dough
53	穂の 1/4 出穂 1/4 of inflorescence emerged	85	糊熟（中）期 Soft dough
55	穂の 1/2 出穂 1/2 of inflorescence emerged	87	糊熟後期 Hard dough
57	穂の 3/4 出穂 3/4 of inflorescence emerged		
59	出穂完了期 Emergence of inflorescence completed		完熟期 Ripening
		91	穎果が硬化（親指の爪で割ることが困難）Kernel hard (difficult to divide with thumbnail)
		92	穎果が硬化（親指の爪で窪みがつかない） Kernel hard (can no longer be dented with thumbnail)

Zadoks Decimal code	説明 Description
93	穎が日中緩む Kernel loosening in daytime
94	過熟、茎の枯れ上がり及び倒伏 Overripe, straw dead and collapsing
95	種子の休眠 Seed dormant
96	完熟種子の発芽力が 50%に上がる Viable seed giving 50% germination
97	種子休眠がとける Seed not dormant
98	二次休眠の誘発 Secondary dormancy induced
99	二次休眠の消失 Secondary dormancy lost

資料 1-3-12

2026 年 月

ムラサキベンケイソウ

Hylotelephium

(*Hylotelephium* H. Ohba)

(*Orostachys malacophylla* (pall.) Fisch.)

(案)

ムラサキベンケイソウ審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準はベンケイソウ科（Crassulaceae）ムラサキベンケイソウ属（*Hylotelephium* H. Ohba）の全ての品種、オロスタキス　マラコフィラ種（*Orostachys malacophylla* (Pall.) Fisch.） の全ての品種及びオロスタキス　マラコフィラ種とムラサキベンケイソウ属の交雑種の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　当年開花が見込まれる株

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　24 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き、薬剤その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　14 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り､植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　特に指示がない限り、開花盛期に行う。

葉の調査は特に指示が無い限り十分に特性を発揮している最大葉で行う。

主な色は全体で最も大きな面積を占める色、二次色は全体で２番目に大きな面積を占める色、三次色は全体で３番目に大きな面積を占める色とする。面積が同程度の異なる色は濃い色から順に調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、母集団標準１％、受容確率 95％を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が 14 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）草姿（形質1）

ⅱ）葉身の形（形質10）

ⅲ）葉身表面の主な色（形質11）

以下の区分による。

Gr.1：緑

Gr.2：紫

ⅳ）葉身の表面の二次色（形質12）

以下の区分による。

Gr.1：白

Gr.2：黄

Gr.3：赤

Gr.4：紫

ⅴ）花序の型（形質 20）

ⅵ）花弁の主な色（形質25）

以下の区分による。

Gr.1：白

Gr.2：桃

Gr.3：紫

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明(Legend)

G：グループ分けに使用する形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：疑似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of Characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QN (+) G	草姿	Plant: habit	花序を持つ茎の主な伸長方向	観察 VG	1 2 3	直立 開張 ほふく	upright spreading prostrate		
2		QN	草丈	Plant: height	地際から株の最高位までの自然高	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	ｾﾞﾉｯｸｽ	
3		QN (+)	茎の長さ	Stem: length	最長花茎の花序を除いた長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｾﾞﾉｯｸｽ	
4		QN	茎の太さ	Stem: thickness	茎の基部の最大径	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極細 細 中 太 極太	very thin thin medium thick very thick	ﾌﾛｽﾃｨﾓｰﾝ ｾﾞﾉｯｸｽ	
5		PQ	茎の主な色	Stem: main color	茎中間部の主な色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
6		QN (+)	最大葉の着生位置	Stem: position of largest leaf	茎に着生する最大葉の位置	観察 VG	1 2 3	上部 中央部 下部	upper part middle part lower part		
7		QN (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	葉身の長さ	測定 mm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾊﾞｰﾄﾗﾑｱﾝﾀﾞｰｿﾝ ﾊﾟｰﾌﾟﾙｴﾝﾍﾟﾗｰ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8		QN (+)	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の幅	測定 mm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾌﾛｽﾃｨﾓｰﾝ	
9		QN (+)	葉身の厚さ	Leaf blade: thickness	葉脈を除いた中央部の厚さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極薄 薄 中 厚 極厚	very thin thin medium thick very thick	ｾﾞﾉｯｸｽ	
10		PQ (+) G	葉身の形	Leaf blade: shape	葉身の形(基部の幅は考慮しない)	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9	広卵形 卵形 披針形 扁円形 円形 楕円形 広倒卵形 倒卵形 倒披針形	broad ovate ovate lanceolate transverse broad elliptic circular elliptic broad obovate obovate oblanceolate		
11		PQ G	葉身の表面の主な色	Leaf blade: main color of upper side	葉身の表面の主な色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
12		PQ G	葉身の表面の二次色	Leaf blade: secondary color of upper side	葉身の表面の二次色(二次色がある品種に限る)	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13		PQ	葉身の表面の三次色	Leaf blade: tertiary color of upper side	葉身の表面の三次色(三次色がある品種に限る)	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
14		PQ	葉身の裏面の主な色	Leaf blade: main color of lower side	葉身の裏面の主な色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
15		QN (+)	葉身の横断面の形	Leaf blade: shape in cross section	葉身の横断面の形	観察 VG	1 2 3 4 5	凹 やや凹 平 やや凸 凸	concave moderately concave flat moderately convex convex		
16		QN (+)	葉身の縦断面の反り	Leaf blade: curvature in longitudinal section	葉身の縦断面の反り	観察 VG	1 2 3 4 5	内曲 やや内曲 平 やや外曲 外曲	incurving moderately incurving flat moderately reflexing reflexing		
17		PQ (+)	葉身の先端部の形	Leaf blade: shape of apex	葉身の先端部の形	観察 VG	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded		

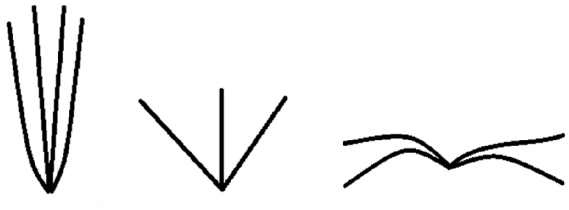
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18		QN	葉縁の鋸歯の深さ	Leaf blade: depth of incisions on margin	葉縁の鋸歯の深さ	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極浅 浅 中 深 極深	absent or very shallow shallow medium deep very deep		
19		QN (+)	葉柄の長さ	Petiole: length	葉柄の長さ	測定 mm MS	1 2 3 4 5	無又は極短 短 中 長 極長	absent or very short short medium long very long	ｾﾞﾉｯｸｽ ﾊﾞｰﾄﾗﾑｱﾝﾀﾞｰｿﾝ	
20		QL G (+)	花序の型	Inflorescence: type	花序の型	観察 VG	1 2	散形花序 総状花序	umbel raceme	ﾌﾛｽﾃｨﾓｰﾝ 岩蓮華	
21		QN (+)	花序の長さ	Inflorescence: length	最大花序の花序先端から最下の花序分岐点までの長さ(総状花序品種は花序の半分程度が開花した時)	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾌﾛｽﾃｨﾓｰﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
22		QN (+)	花序の幅	Inflorescence: width	最大花序の最大幅(総状花序品種は花序の半分程度が開花した時)	測定 cm MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極狭 かなり狭 狭 やや狭 中 やや広 広 かなり広 極広	very narrow very narrow to narrow narrow narrow to medium medium medium to broad broad broad to very broad very broad	 岩蓮華 ｾﾞﾉｯｸｽ ﾌﾛｽﾃｨﾓｰﾝ	
23		QN	がくのアントシアニンの着色	Sepal: anthocyanin coloration	がくのアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 2 3 4 5	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 ｾﾞﾉｯｸｽ	
24		QN	花の直径	Flower: diameter	花の最大径	測定 mm MS	1 2 3 4 5	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 ｾﾞﾉｯｸｽ ﾊﾞｰﾄﾗﾑｱﾝﾀﾞｰｿﾝ ﾌﾛｽﾃｨﾓｰﾝ	
25		PQ G	花弁の主な色	Petal: main color	花弁の表面の主な色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26		PQ	やくの色	Anther: color	開やく前のやくの表面の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8	緑白 黄 橙 桃 赤 赤紫 淡紫 紫	green white yellow orange pink red red purple light purple purple		
27		PQ	花粉の色	Pollen: color	花粉の色	観察 VG	1 2 3 4	淡黄 黄 赤紫 灰	light yellow yellow red purple grey		
28		PQ	子房の主な色	Ovary: main color	子房側面の主な色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1　草姿　Char. 1　Plant: habit

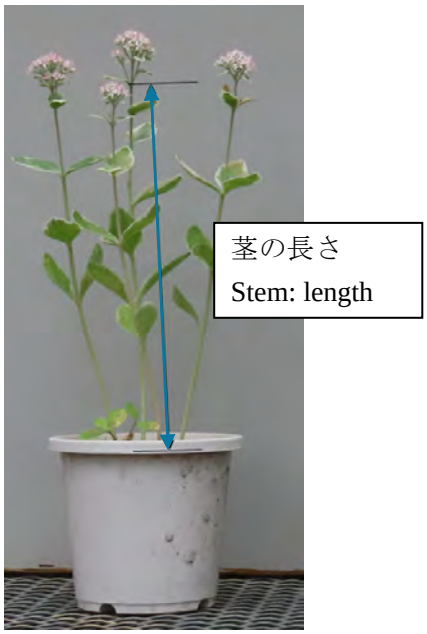


1
直立
upright

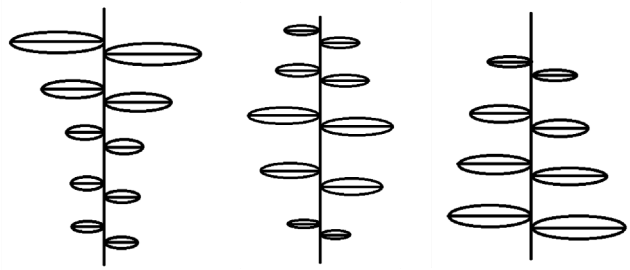
2
開張
spreading

3
ほふく
prostrate

形質 3　茎の長さ　Char. 3　Stem: length



形質 6　最大葉の着生位置　Char. 6　Stem: position of largest leaf

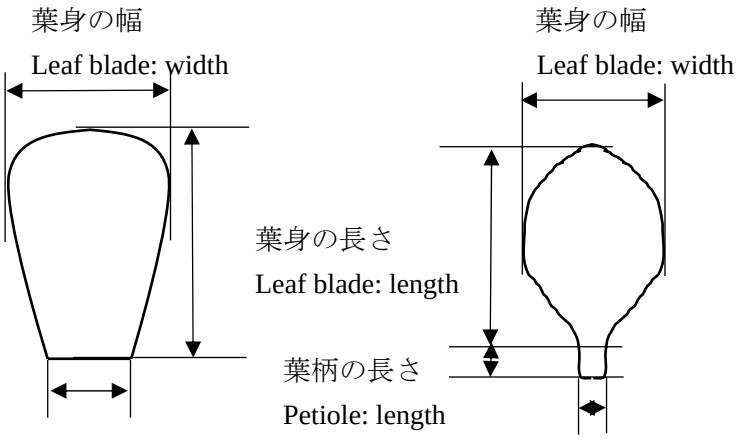


1
上部
upper part

2
中央部
middle part

3
下部
lower part

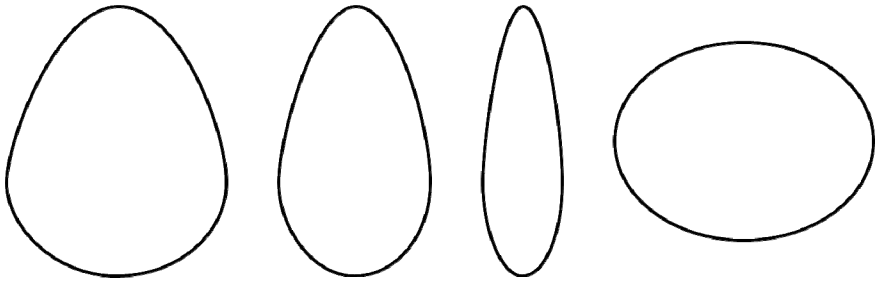
形質 7　葉身の長さ　Char.7　Leaf blade: length
形質 8　葉身の幅　　Char.8　Leaf blade: width
形質 19　葉柄の長さ　Char.19　Petiole: length



形質 9　葉身の厚さ　Char. 9　Leaf blade: thickness



形質 10　葉身の形　Char. 10　Leaf blade: shape

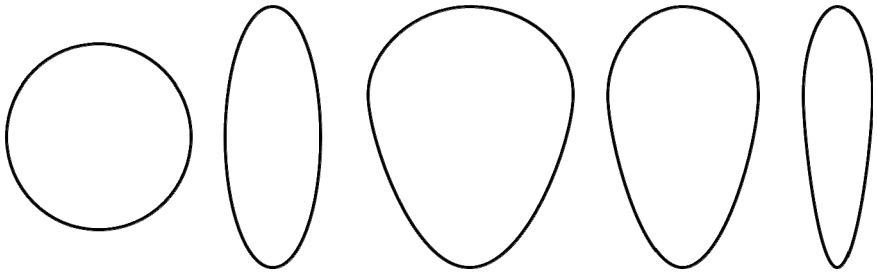


1
広卵形
broad ovate

2
卵形
ovate

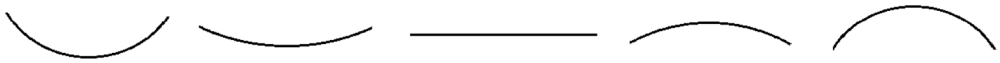
3
披針形
lanceolate

4
扁円形
transverse broad elliptic



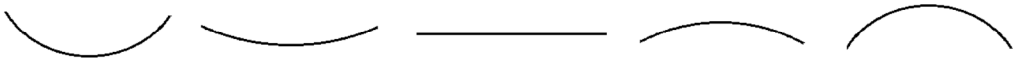
5 円形 circular　6 楕円形 elliptic　7 広倒卵形 broad obovate　8 倒卵形 obovate　9 倒披針形 oblanceolate

形質 15　葉身の横断面の形　Char. 15　Leaf blade: shape in cross section



1 凹 concave　2 やや凹 moderately concave　3 平 flat　4 やや凸 moderately convex　5 凸 convex

形質 16　葉身の縦断面の反り　Char. 16　Leaf blade: curvature in longitudinal section



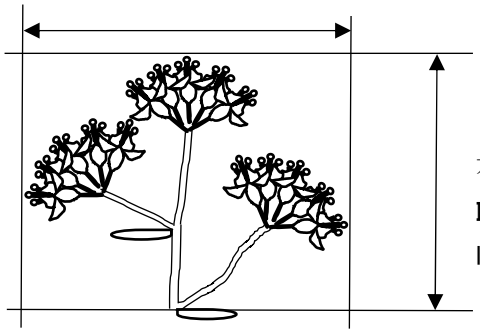
1 内曲 incurving　2 やや内曲 moderately incurving　3 平 flat　4 やや外反 moderately reflexing　5 外反 reflexing

形質 17　葉身の先端部の形　Char. 17　Leaf blade: shape of apex

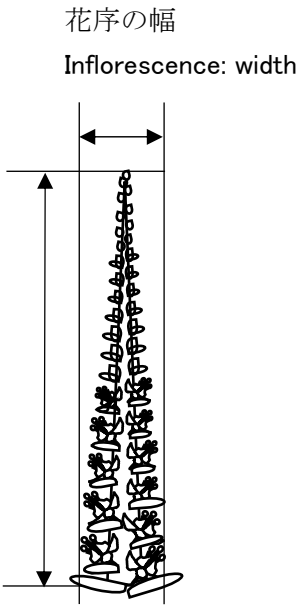


1 鋭尖形 acuminate　2 鋭形 acute　3 鈍形 obtuse　4 円形 rounded

形質 20　花序の型　Char.20　Inflorescence: type
形質 21　花序の長さ　Char. 21　Inflorescence: length
形質 22　花序の幅　Char. 22　Inflorescence: width



1
散形花序
umbel



2
総状花序
raceme

資料 1-3-13

2026 年 月

TG/44/11 Rev.3 2011-10-20+2013-03-20+2018-10-30+2019-10-29 に準拠

トマト種

Tomato

(*Solanum lycopersicum* L.)

(案)

トマト種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この審査基準は、ナス科（Solanaceae）ナス属（*Solanum* L.）のトマト種（*S. lycopersicum* L.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　種子又は発根苗（ポット苗）

ⅱ）提出時期　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　種子繁殖性品種の場合　1,000 粒

栄養繁殖性品種の場合　25 個体

種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。

栄養繁殖性品種において、病害抵抗性試験を実施する場合は別途提出種苗を追加する。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　20 個体(2 反復以上に分割)(病害抵抗性はそれぞれの説明に従う。)

ⅲ）栽培期間　2 生育周期。ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は 2 生育周期目を省略することができる。

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

病害抵抗性形質を調査する場合は、特に指示がない限り、少なくとも 20 個体を調査する。

調査時期等　特に指示がない限り、特性表の調査方法欄に記載がある下記の記号に示された部位等で行う。

(a) 無限伸育型品種の場合は、植物体、茎、葉の観察は、少なくとも 5 つの果房が結実した後、第 2 果房が完熟する前に行う。有限伸育型品種の場合は、植物体、葉の観察は、第 2 果房が結実した後に行う。葉の観察は、劣化する前のものについて行う。

(b) 幼果の観察は、第 2 果房が完熟する前の植物体で行う。

(c) 果実の観察は、第 2~3 果房において完熟した果実（当該果房で最初と最後に完熟した果実を除く。）について行う。

ⅴ）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び自家受粉品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）草姿（形質 2）
ⅱ）葉型（形質 10）
ⅲ）果柄の離層（形質 19）
ⅳ）幼果の果肩部の緑色の有無（形質 21）
ⅴ）果実の大きさ（形質 26）
ⅵ）果実の縦断面の形（形質 28）
ⅶ）果実の子室数（形質 36）
ⅷ）果実の色（形質 37）
ⅸ）サツマイモネコブセンチュウ抵抗性（形質 50）
ⅹ）半身萎凋病抵抗性（形質 51）
ⅺ）萎凋病レース 1 抵抗性（形質 52）
ⅻ）萎凋病レース 2 抵抗性（形質 53）
ⅹⅲ）トマトモザイクウイルス系統 0 抵抗性（形質 57）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
1	1	QL (+)	胚軸のアントシアニンの着色（種子繁殖性品種に限る。）	Seed-propagated varieties only: Seedling: anthocyanin coloration of hypocotyl	子葉の完全展開時（子葉が十分に展開し、本葉が見え始めた時期）における胚軸のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎、 フルーツ	
2	2	QL (*) (+) G	草姿	Plant: growth type	開花期における心止まりの有無	観察 VG	1 2	有限伸育型 無限伸育型	determinate indeterminate	ハウス桃太郎、 フルーツ	
3	6	QN (+)	草丈（無限伸育型品種に限る。）	Only varieties with plant growth type indeterminate: Plant: height	第 5 花房開花後の草丈	測定/ 観察 cm MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	ハウス桃太郎	
4	3	QN	主茎の花房の多少（有限伸育型品種に限る。）	Only varieties with plant growth type determinate: Plant: number of inflorescences on main stem (side shoots to be removed)	主茎が心止まりしたときの花房の多少	測定/ 観察 MS/ VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
5	4	QN (+)	茎のアントシアニンの着色	Stem: anthocyanin coloration	主茎の上部（1/3 以上）のアントシアニン着色の程度	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ハウス桃太郎、フルーツ	
6	5	QN (+)	節間長（無限伸育型品種に限る。）	Only varieties with plant growth type indeterminate: Stem: length of internode	第 1 果房直下の節から第 4 果房直下の節までの平均節間長	測定/観察 cm MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ハウス桃太郎、フルーツ	
7	7	QN (*) (+)	葉の着生角度	Leaf: attitude	主茎の中央 1/3 における主茎と葉（葉柄の中央 1/3）の間の角度	観察 VG (a)	1 3 5 7 9	極直立 直立 水平 下垂 極下垂	erect semi-erect horizontal semi-drooping drooping	ハウス桃太郎	
8	8	QN (+)	葉の長さ	Leaf: length	主茎の中央 1/3 における最大葉の長さ	測定/観察 cm MS/ VG (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
9	9	QN (+)	葉の幅	Leaf: width	主茎の中央 1/3 における最大葉の最大幅	測定/観察 cm MS/VG (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	フルーツ	
10	10	QL (*) (+) G	葉型	Leaf: type of blade	葉の型	観察 VG (a)	1 2	羽状複葉 2 回羽状複葉	pinnate bipinnate	フルーツ	
11	11	QN (+)	小葉の大きさ	Leaf: size of leaflets	最大葉の中間部の小葉の大きさ	観察 VG (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、フルーツ	
12	12	QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color	葉の緑色の濃淡	観察 VG (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	フルーツ	
13	13	QN (+)	葉の光沢の強弱	Leaf: glossiness	植物体中央部の葉の光沢の強弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	フルーツ	
14	14	QN (+)	葉の膨らみ	Leaf: blistering	植物体中央部の葉の上面から見た膨らみ	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
15	15	QN (+)	小葉の着生角度	Leaf: attitude of petiole of leaflet in relation to main axis	植物体中央部の葉の葉軸に対する小葉柄の着生角度	観察 VG (a)	3 5 7	直立 水平 下垂	semi-erect horizontal semi-drooping	ハウス桃太郎、フルーツ	
16	16	QN (+)	花房の形	Inflorescence: type	花房の形	観察 MS/ VG	1 2 3	単一 混合 分岐	mainly uniparous equally uniparous and multiparous mainly multiparous	ハウス桃太郎、フルーツ	
17	17	QL (*)	花の色	Flower: color	花房の開花期における開やく時の花の色	観察 VG	1 2	黄 橙	yellow orange	ハウス桃太郎、フルーツ	
18	18	QL (+)	花柱の毛	Flower: pubescence of style	花柱の毛の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎	
19	19	QL (*) (+) G	果柄の離層	Peduncle: abscission layer	果柄の離層の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎、フルーツ	
20	20	QN (*) (+)	小果柄の長さ（果柄の離層が有の品種に限る。）	Only varieties with peduncle abscission layer present: Pedicel: length	小果柄の長さ	測定/観察 mm MS/ VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	21	QL (*) (+) G	幼果の果肩部の緑色の有無	Fruit: green shoulder (before maturity)	幼果の果肩部の緑色の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎、フルーツ	
22	22	QN (+)	幼果の果肩部の緑色部の大きさ	Fruit: extent of green shoulder (before maturity)	幼果の果肩部の緑色部の大きさ	観察 VG (b)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、フルーツ	
23	23	QN (+)	幼果の果肩部の緑色の濃淡	Fruit: intensity of green color of shoulder (before maturity)	幼果の果肩部の緑色の濃淡	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ハウス桃太郎、フルーツ	
24	24	QN (*) (+)	幼果の地色の緑色の濃淡	Fruit: intensity of green color excluding shoulder (before maturity)	幼果の果肩部を除いた果実の地色の緑色の濃淡	観察 VG (b)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ハウス桃太郎	
25	25	QL (+)	幼果の緑色の縞模様	Fruit: green stripes (before maturity)	幼果の果肩部分を除いた果実の緑色縞模様の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present	ハウス桃太郎	
26	26	QN (*) G	果実の大きさ	Fruit: size	果実の大きさ	測定/観察 g MS/ VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
27	27	QN (*)	果実の長さ／直径	Fruit: ratio length/diameter	果実の長さと最大直径の比	測定/観察 比 MS/VG (c)	3 5 7	小 中 大	moderately compressed medium moderately elongated	ハウス桃太郎	
28	28	PQ (*) (+) G	果実の縦断面の形	Fruit: shape in longitudinal section	果実の縦断面の形	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	扁平形 扁円形 円形 長方形 長円形 楕円形 心臓形 卵形 倒卵形 洋なし形 倒心臓形	flattened oblate circular oblong cylindric elliptic cordate ovate obovate pyriform obcordate		
29	29	QN (*) (+)	果肩部のひだの強弱	Fruit: ribbing at peduncle end	果肩部のひだの強弱の程度	観察 VG (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong, very strong	ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
30	30	QN (+)	こうあ部のくぼみ	Fruit: depression at peduncle end	果実の長さに対するこうあ部のくぼみの深さの強弱の程度	観察 VG (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ハウス桃太郎、フルーツ	
31	31	QN (+)	へた落ちの大きさ	Fruit: size of peduncle scar	へた落ちの大小	測定/観察 mm MS/VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	フルーツ	
32	32	QN (+)	花落ちの大きさ	Fruit: size of blossom scar	花柱痕（花落ち）の大小	測定/観察 MS/VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎 フルーツ	
33	33	QN (+)	果頂部の形	Fruit: shape at blossom end	果頂部の形	観察 VG (c)	1 2 3 4 5	くぼむ 僅かにくぼむ 平滑 僅かに突出 突出	indented indented to flat flat flat to pointed pointed	フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
34	34	QN (+)	果実に対する芯の大きさ	Fruit: diameter of core in cross section in relation to total diameter	果実の直径に対する芯の大きさ	測定/観察 比 MS/VG (c)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ハウス桃太郎、フルーツ	
35	35	QN (+)	果肉の厚さ	Fruit: thickness of pericarp	果肉の厚さ	測定/観察 mm MS/VG (c)	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick	ハウス桃太郎、フルーツ	
36	36	QN (*) (+) G	果実の子室数	Fruit: number of locules	果実の平均子室数	測定/観察 MS/VG (c)	1 2 3 4 5	2 のみ 2 又は 3 3 又は 4 4，5 又は 6 7 以上	only two two and three three and four four, five or six more than six		
37	37	PQ (*) (+) G	果実の色	Fruit: color (at maturity)	果実の色	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7	黄白 黄 橙 桃 赤 茶 緑	cream yellow orange pink red brown green		

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
38	38	PQ (*) (+)	果肉の色	Fruit: color of flesh (at maturity)	果肉の色	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7	黄白 黄 橙 桃 赤 茶 緑	cream yellow orange pink red brown green	 ハウス桃太郎	
39	39	QN	果実の表皮の光沢	Fruit: glossiness of skin	果実の表皮の光沢の強弱	観察 VG (c)	1 2 3	弱 中 強	weak medium strong	 ハウス桃太郎、フルーツ	
40	40	QL (+)	果実の表皮の色	Fruit: color of epidermis	果実から剥離した時の表皮の色	観察 VG (c)	1 2	無色 黄色	colorless yellow	ハウス桃太郎、フルーツ	
41	41	QN (*) (+)	果実の硬さ	Fruit: firmness	果実の硬さ	観察 VG (c)	3 5 7	軟 中 硬	soft medium firm	 フルーツ ハウス桃太郎	
42	42	QN (+)	果実の棚持ちの長さ	Fruit: shelf-life	果実の棚持ちの長短	観察 VG	3 5 7	短 中 長	short medium long	フルーツ ハウス桃太郎	
43	43	QN (+)	開花期	Time of flowering	定植日から第 2 花房の第 3 花が開花するまでの早晩	測定日 MG/MS	3 5 7	早 中 晩	early medium late	 ハウス桃太郎、フルーツ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
44	44	QN (*) (+)	完熟期	Time of maturity	定植日から第2果房の第1果が完熟するまでの早晩	測定日 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	ハウス桃太郎、フルーツ	
45		QN (*) (+)	糖度（可溶性固形物含量）	Fruit: soluble solids content	果実のBrix値	測定 度 MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	ハウス桃太郎、フルーツ	
46		QN (+)	酸度	Fruit: titratable acidity	果実のクエン酸含量率	測定 % MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	ハウス桃太郎、フルーツ	
47		QL (+)	スクロース含有	Fruit: sucrose content	果実のスクロース含有の有無	測定 MG	1 9	無 有	absent present		選択形質
48		QN (+)	リコペン含有量	Fruit: lycopene content	果実のリコペン含有量	測定 mg /100g MG	3 5 7	低 中 高	low medium high	フルーツ	選択形質
49		QN (+)	GABA含有量	Fruit: Gamma-Amino Butyric Acid content	果実のγ-アミノ酪酸(GABA)含有量	測定 mg/ 100g MG	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very low low medium high very high	シシリアンルージュ	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
50	46	QN (*) (+) G	サツマイモネコブセンチュウ抵抗性	Resistance to *Meloidogyne incognita* (Mi)	サツマイモネコブセンチュウに対する抵抗性	観察 VG	1 2 3	罹病性 中度抵抗性 高度抵抗性	susceptible moderately resistant highly resistant	強力米寿、大型福寿 Anahu、TTM011	選択形質
51	47	QL (*) (+) G	半身萎凋病抵抗性	Resistance to *Verticillium* sp. (Va and Vd) Race 1	*Verticillium* sp. (Va and Vd) Race 1 による半身萎凋病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	Tropic	選択形質
52	48.1	QL (*) (+) G	萎凋病レース1抵抗性	Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 0 EU/1US	*Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 0 EU/1US による萎凋病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ポンデローザ 興津３号､TTM020	選択形質
53	48.2	QL (*) (+) G	萎凋病レース2抵抗性	Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 1EU/2US	*Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 1EU/2US による萎凋病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ポンデローザ 影武者、Walter	選択形質
54	48.3	QL (+)	萎凋病レース3抵抗性	Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 2 EU/3US	*Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 2 EU/3US による萎凋病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ポンデローザ ブロック	選択形質
55	49	QL (+)	根腐萎凋病抵抗性	Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *radicis- lycopersici* (Forl)	*Fusarium oxysporum* f. sp. *radicis- lycopersici* による根腐萎凋病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	強力米寿 IRB301-30、桃太郎ファイト、桃太郎ヨーク	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
56	50.1	QL (+)	葉かび病レース0抵抗性	Resistance to *Fulvia fulva* (Ff) (ex. *Cladosporium fulvum)* Race 0	*Fulvia fulva* (Ff) (ex. *Cladosporium fulvum)* Race 0 による葉かび病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ポンデローザ タキイミディ 195	選択形質
57	51.1	QL (+) G	トマトモザイクウイルス系統0抵抗性	Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)-Strain 0	トマトモザイクウイルス(ToMV)-Strain 0 に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	GCR237	選択形質
58	51.2	QL (+)	トマトモザイクウイルス系統1抵抗性	Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)-Strain 1	トマトモザイクウイルス(ToMV)-Strain 1 に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present		選択形質
59	51.3	QL (+)	トマトモザイクウイルス系統2抵抗性	Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)-Strain 2	トマトモザイクウイルス(ToMV)-Strain 2 に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present		選択形質
60	52	QL (+)	疫病抵抗性	Resistance to *Phytophthora infestans* (Pi)	*Phytophthora infestans* (Pi)による疫病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	フルーツ	選択形質
61	54	QL (+)	斑点病抵抗性	Resistance to *Stemphylium* spp. (Ss)	*Stemphylium* spp. (Ss)による斑点病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	福寿２号	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
62	56	QL (+)	青枯病抵抗性	Resistance to *Ralstonia solanacearum* (Rs) Race 1	*Ralstonia solanacearum* (Rs) Race 1 による青枯病に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	大型福寿 レシーブ、Bバリア、影武者	選択形質
63	57	QL (+)	トマト黄化葉巻ウイルス抵抗性（イスラエル系統）	Resistance to Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) (Israel)	トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)-イスラエル系統に対する抵抗性	観察 VG	1 9	無 有	absent present	大型福寿	選択形質

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　 胚軸のアントシアニンの着色（種子繁殖性品種に限る。）

Char. 1　Seed-propagated varieties only: Seedling: anthocyanin coloration of hypocotyl



1
無
absent



9
有
present

形質 2　草姿　　Char. 2　Plant: growth type

階級 1 有限伸育型：

このタイプは、茎ごとに形成される果房数が固定される。果房数は品種により異なる（注：栽培環境条件によって影響を受ける可能性がある。）。果房間の葉数あるいは節間の数は、一つの株においても不規則であり、1～3 である。茎は頂果房を形成し、側枝は形成されない。

このタイプには、果房間の葉数あるいは節間の数が必ずしも 3 ではないが、例えば、第 9 果房で心止まりとなる Prisca タイプや第 20 果房より上位で心止まりとなる Early Pack タイプのように半心止まりの生育を示す、いわゆる「半心止まり」品種が含まれる。

Determinate (1):

This type produces a fix number of trusses on each stem. The number of trusses is different among varieties (Note: can be influenced by agro climatic conditions). In this type, the number of leaves or internodes between inflorescence is irregular within a plant and varies from one to three. The stem ends with an inflorescence and no lateral shoots are produced.

This type also includes some so-called “semi-determinate” varieties which do not have consistently three leaves or internodes between inflorescences, and show semi-determinate growth, for example, with the termination of the stem with the 9th inflorescence (e.g. ‘Prisca’ type) or higher than the 20th inflorescence (e.g. Early Pack type).

階級 2 無限伸育型：

このタイプは一般に果房間の葉数あるいは節間の数が 3 である。3 葉ごとに 3 つの芽が分化する。頂芽は果房になり、二つの側芽のうち一つは茎の延長として伸長し始める。このタイプは、このような生育パターンを繰り返す。

「Daniela」由来の品種などのように、無限伸育型のあるグループの品種群では、果房間の葉数あるいは節間の数が 2 のみである場合があることに留意すべきである。これらの品種は、それでも無限伸育型である。

「Marmande」や「Costoluto Fiorentino」は、有限伸育と無限伸育の中間的なタイプであるが、果房間の葉数あるいは節間の数が常に 3 であることから無限伸育型に含まれる。

Indeterminate (2):

In this type, as a rule, three leaves or internodes are observed between inflorescences. After every group of three leaves, the plant produces three buds: the terminal bud is transformed into an inflorescence and one of the two lateral buds starts the prolongation of stem. Plants of this type grow with the continuous repetition of this growth pattern.

It should be noted that sometimes only two leaves or internodes might be observed between inflorescences in some parts of plants in a certain group of indeterminate variety types (e.g. varieties originating from 'Daniela'). These varieties nevertheless are indeterminate.

This type includes 'Marmande' and 'Costoluto Fiorentino' types which might be considered to be categorized into an intermediate class between indeterminate and determinate, but they always have three leaves or internodes between inflorescences. They should therefore be categorized into the indeterminate type.

形質 3　草丈（無限伸育型品種に限る。）

Char. 3　Only varieties with growth type indeterminate: Plant: height

草丈は、ある一定の時期、例えば、は種後 60 日、第 5 節の着果後、最初の品種が温室のワイヤー又は支柱の最上部に達したときなどに調査されるべきである。

The height of the plant should be measured at one time for the whole trial, e.g. 60 days after planting, or after a fruit set on approximately 5 nodes, or when the first variety in the trial has reached the wire in the green house or the top of the stake.

形質 5　茎のアントシアニンの着色　　Char. 5　Stem: anthocyanin coloration

大部分の品種は階級値 1～5 に分布する。アントシアニンの発現は日中の気温に影響され、温室栽培では着色の変異はかなり低い。

Most of the varieties are classed 1 to 5. Expression of anthocyanin is influenced by day temperature. Under greenhouse conditions, the variation is rather low.

形質 6　節間長（無限伸育型品種に限る。）

Char. 6　Only varieties with plant growth type indeterminate: Stem: length of internode

節間長は、ある一定の時期、例えば、第 5 節の着果後に調査する。第 1 果房と第 4 果房の間の茎の長さを測定し、その間の節間の数で割ることで節間長を求める。

The length of the internode should be observed/measured at one time for the whole trial, e.g after a fruit set on approximately 5 nodes. The total length of the stem should be observed/measured between the 1st and 4th trusses. When this observation/measure is divided by the number of internodes in between, an indication of the length of the internode is given.

形質 7　葉の着生角度　　Char. 7　Leaf: attitude

主茎と葉の中央部の間の角度を観察する。写真の線は主茎と葉（葉柄の中央 3 分の 1）の間の角度を示す。

The attitude of the middle third part of the leaves in respect to the main stem should be observed. The line in the picture indicates the angle between the stem and leaf (middle third of petiole).



3
直立
semi-erect



5
水平
horizontal

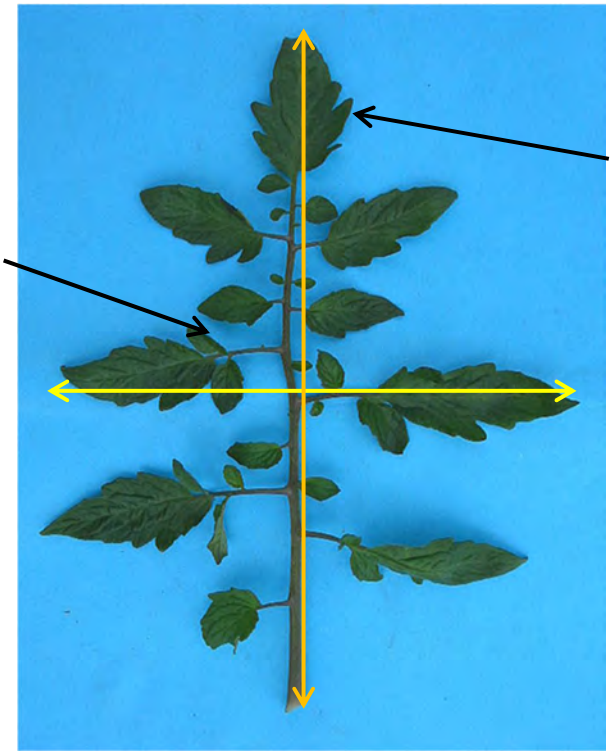


7
下垂
semi-drooping



9
極下垂
drooping

形質 8　葉の長さ　　Char. 8　Leaf: length
形質 9　葉の幅　　Char. 9　Leaf: width



形質 10　葉型　　Char. 10　Leaf: type of blade
羽状複葉：一次小葉が二次小葉を持たない。
2 回羽状複葉：一次小葉が再び羽状化するため、二次小葉を持つ。
Pinnate leaf: primary leaflets do not bear secondary leaflets
Bipinnate leaf: primary leaflets again are pinnate, so they bear secondary leaflets



1
羽状複葉
pinnate



2
2 回羽状複葉
bipinnate

形質 11　小葉の大きさ　　Char. 11　Leaf: size of leaflets

小葉の大きさは最大葉の中間部の小葉で観察する。

The size of leaflet should be observed in the middle of the leaf.

形質 13　葉の光沢の強弱　　Char. 13　Leaf: glossiness

葉の光沢は株の中央部で観察する。

The glossiness of the leaf should be observed in the middle of the plant.

形質 14　葉の膨らみ　　Char. 14　Leaf: blistering

葉の膨らみとしわを混同しないように注意する。

葉の膨らみは葉脈間において表面の高さに差が生じている。しわは葉脈とは無関係である。葉の膨らみは植物体の中央部 3 分の 1 で観察する。

Caution is required for confusion between blistering and creasing.

Blistering is the difference in height of the surface of the leaf between the veins. Creasing is independent form the veins. The blistering should be observed in the middle third of the plant.



葉の膨らみ
blistering

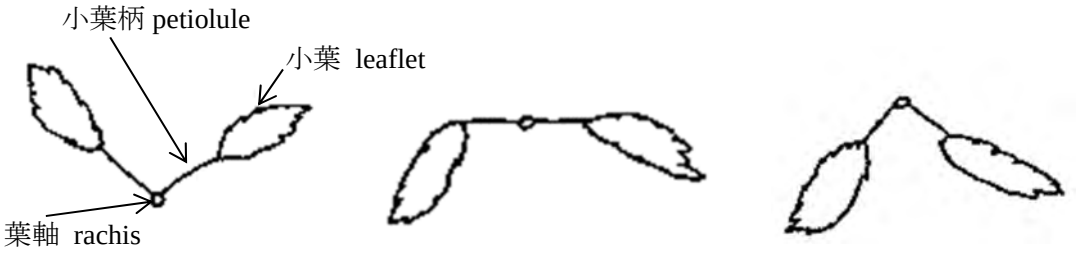


葉のしわ
Creasing

形質 15　小葉の着生角度　　Char. 15　Leaf: attitude of petiole of leaflet in relation to main axis

角度は植物体の中央部 3 分の 1 で観察する。

The attitude should be observed in the middle third of the plant.



3	5	7
直立	水平	下垂
semi-erect	horizontal	semi-drooping

形質 16　花房の形　　Char. 16　Inflorescence: type

10 株の第 2 花房と第 3 花房について単一と分岐の花房数を数え、分岐に対する単一の比率が 40-60%のときは、その特性は「2 混合」に相当する。

The number of uniparous and multiparous trusses on the second and third truss of 10 plants should be counted. When the ratio of uniparous to multiparous is 40-60 percent, the expression of the characteristic should correspond to note “2”.



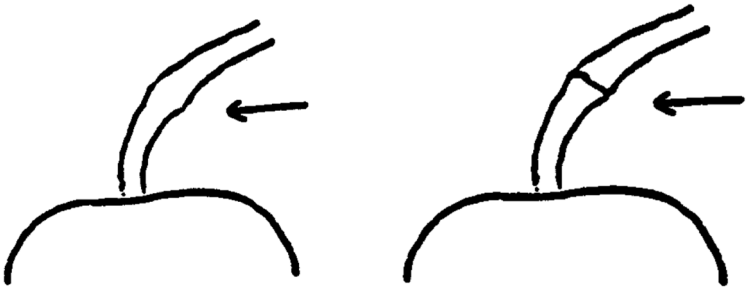
1	3	3
単一	分岐（2 股）	分岐（3 股）
mainly uniparous	mainly multiparous (biparous)	mainly multiparous (triparous)

形質 18　花柱の毛　　Char. 18　Flower: pubescence of style

まれに花柱の基部に小さい毛をもつだけの品種も「9 有」とする。

Some varieties with pubescence of style “present” may have only rare and small hairs at the base of the style.

形質 19　果柄の離層　　Char. 19　Peduncle: abscission layer



1
無
absent

9
有
Present

離層の代わりに膨らみだけを持つ品種は、ジョイントの発達を支配する遺伝子をヘテロに保有しており、ジョイントレスであり、離層は無しと考えられる。

Varieties which have only a collar instead of an abscission layer are heterozygous for the gene which controls the presence of the joint. These varieties are considered jointless and the abscission layer is considered absent.

形質 20　小果柄の長さ（果柄の離層が有の品種に限る。）

Char. 20　Only varieties with peduncle abscission layer present: Pedicel: length



離層　abscission layer

形質21　幼果の果肩部の緑色の有無　　Char. 21　Fruit: green shoulder (before maturity)

果肩部の緑色の遺伝子は環境条件によってははっきりと発現しない。そのため、特性を評価するために「9 有」の標準品種が重要である。

The gene for green shoulder might not be clearly expressed in some conditions, which is why it is important to have the example variety ‘Daniela’ to observe the expression of these characteristics.



1
無
absent



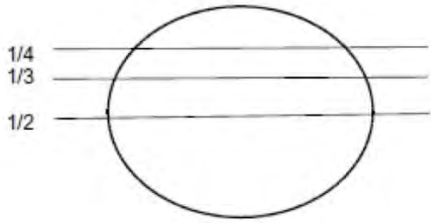
9
有
present

形質 22　幼果の果肩部の緑色部の大きさ

Char. 22　Fruit: extent of green shoulder (before maturity)

果肩部の緑色の遺伝子は環境条件によってははっきりと発現しない。そのため、特性を評価するために標準品種が重要である。

The gene for green shoulder might not be clearly expressed in some conditions, which is why it is important to have the example variety ‘Daniela’ to observe the expression of these characteristics.



3: 小 (1/4)　　3: small (1/4)

5: 中 (1/3)　　5: medium (1/3)

7: 大 (1/2)　　7: large (1/2)



1
極小
very small

3
小
small

5
中
medium

7
大
large

形質 23　幼果の果肩部の緑色の濃淡

Char. 23　Fruit: intensity of green color of shoulder (before maturity)

形質 24　幼果の地色の緑色の濃淡

Char. 24　Fruit: intensity of green color excluding shoulder (before maturity)

果肩部の緑色の濃さと果肩部以外の地色の緑色の濃さは同じ尺度で観察しなければならない。これは果肩部の緑色の濃さの階級は、果肩部以外の地色の緑色の濃さの階級よりも高くなければならないことを意味する。ただし例外的に緑色の濃さの差が非常に小さい場合は同じ評価となる。果肩部の緑色の遺伝子は環境条件によってははっきりと発現しない。そのため、特性を評価するために標準品種が重要である。

Intensity of green color of shoulder and intensity of green color excluding shoulder have to be observed on the same scale. This means that the note for intensity of green color of shoulder should be higher than the note for intensity of green color excluding shoulder, or in exceptional cases the same if the difference in intensity is very small. The gene for green shoulder might not be clearly expressed in some conditions, which is why it is important to have the example variety ‘Daniela’ to observe the expression of these characteristics.



3	5	7
淡	中	濃
light	medium	dark

形質 25　幼果の緑色の縞模様　　Char. 25　Fruit: green stripes (before maturity)

緑色の縞模様は、成熟前に果肩部を除いた部分で観察する。

The green stripes should be observed before maturity, excluding the green shoulder.





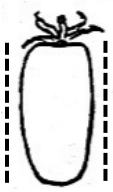
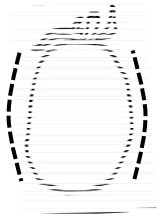
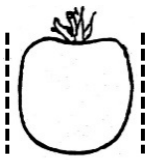
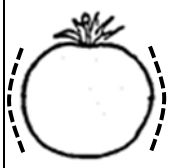
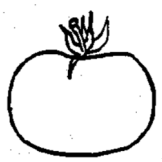
1	9
無	有
absent	present

形質 28　果実の縦断面の形　　Char. 28　Fruit: shape in longitudinal section

← 最大幅の位置 →		
下部	中央部	上部

果径比(縦÷横)　細長 →

↓ 幅広

 10 洋なし形 pyriform	 8 卵形 ovate	 5 長円形 cylindric	 6 楕円形 elliptic	 9 倒卵形 obovate	 7 心臓形 cordate
 11 倒心臓形 obcordate		 4 長方形 oblong	 3 円形 circular	側面の状態 ：側面が平ら  ：側面がカーブ	
	 2 扁円形 oblate				
	 1 扁平形 flattened				

The apex is considered to be the part that is farthest from the peduncle end.

果頂部は果柄から最も遠い部分とする。

形質 29　果肩部のひだの強弱　　Char. 29　Fruit: ribbing at peduncle end



1	3	5	7	9
無又は極弱	弱	中	強	極強
absent or very weak	weak	medium	strong	very strong

形質 30　こうあ部のくぼみ　　Char. 30　Fruit: depression at peduncle end



1	3	5	7
無又は極弱	弱	中	強
absent or very weak	weak	medium	strong

果実の形にとらわれず、こうあ部のくぼみを評価する。

形質31　へた落ちの大きさ　　Char. 31　Fruit: size of peduncle scar

へた落ちの大きさは、果実の大きさに対する相対評価ではなく、絶対評価で観察する。果柄を取り外し、へた落ち全体ではなく、緑色の輪の大きさを調査する。

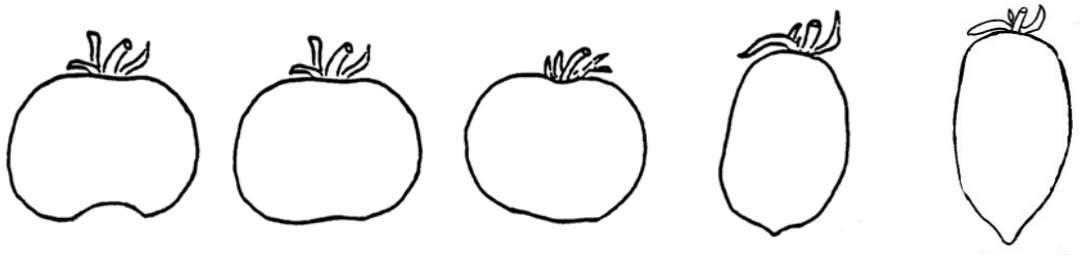
The size of the peduncle scar has to be observed as an absolute characteristic, i.e. irrespective of the size of the fruit. The peduncle should be removed and the green ring observed (not the full scar).

形質32　花落ちの大きさ　　Char. 32　Fruit: size of blossom scar

花落ちの大きさは、果実の大きさに対する相対評価ではなく、絶対評価で観察する。

The size of the blossom scar has to be observed as an absolute characteristic, i.e. irrespective of the size of the fruit.

形質 33　果頂部の形　　Char. 33　Fruit: shape at blossom end



1	2	3	4	5
くぼむ	僅かにくぼむ	平滑	僅かに突出	突出
indented	indented to flat	flat	flat to pointed	pointed

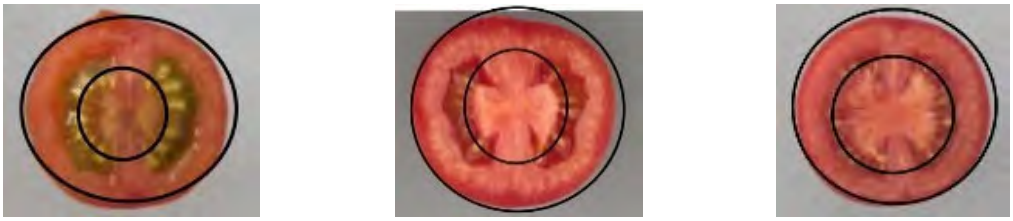


1	3	5
くぼむ	平滑	突出
indented	flat	pointed

果実全体の形にとらわれず、果頂部の形を評価する。

形質 34　果実に対する芯の大きさ

Char. 34　Fruit: diameter of core in cross section (in relation to total diameter)



1	3	5
極小	小	中
very small	small	medium



7	9
大	極大
large	very large

形質35　果肉の厚さ　　Char. 35　Fruit: thickness of pericarp

　果肉の厚さは、果実の大きさに対する相対評価ではなく、絶対評価で調査する。

The absolute thickness of the pericarp should be observed, i.e. irrespective of the size of the fruit.

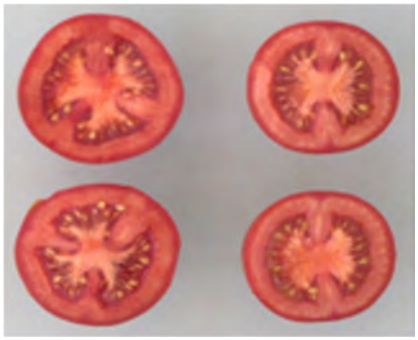
形質36　果実の子室数　　Char. 36　Fruit: number of locules

　この形質は、果房の第1果と最終果を除き、代表的な形状かつ大きさの果実の横断面で評価する。

　This characteristic is assessed by making cross sections of representative shaped and sized fruits but excluding the first and last fruits from the truss.



1
2 のみ
only two



2
2 又は 3
two and three



3
3 又は 4
three and four



4
4, 5 又は 6
four, five or six



5
7 以上
more than six

形質 37　果実の色　　Char. 37　Fruit: color (at maturity)

果実の色は、横断面で胎座がはっきりと確認され、果実が完全に着色した後に観察を行う。

The color at maturity has to be observed after a full change of color, when placenta is found clearly in the cross section.

形質 38　果肉の色　　Char. 38　Fruit: color of flesh (at maturity)

果肉の色は完熟期に観察する（形質 44 参照）

The color of flesh should be observed at maturity (see Ad. 44).

形質 40　果実の表皮の色　　Char. 40　Fruit: color of epidermis

表皮の色は、表皮を果実から剥がした後に観察する。

The color of the epidermis should be observed after the epidermis has been peeled off the fruit.

形質 41　果実の硬さ　　Char. 41　Fruit: firmness

調査方法

採取時期：果実は完全に着色したものを採取する。

評価方法：果実を手で握って標準品種と比較しながら硬さを評価する。

Method

Harvesting stage: fruits should be harvested when they are completely coloured.

Determining firmness: determine by hand the firmness of the fruits compared to the standard varieties.

形質 42　果実の棚持ちの長さ　　Char. 42　Fruit: shelf-life

棚持ちの長さは、果実が販売できる状態を何週間維持しているかによって評価する。

第 4，5，6 果房から、果実全体の半分で緑色が消えて同程度に成熟した果実を 1 区当たり 20 果採取する。

果実を箱の中に重ねずに並べるが、それらの箱は空気が循環するように積み重ねて置いてもよい。貯蔵する場所の気象的条件は制御する必要ないが、試験を実施した場所と同様の条件とし、直射日光が当たらないようにする。

調査は 7 日おきに果実が傷まないように行い、果実の硬さを記録し、偶発的に傷んだり腐敗したりした果実は取り除く。調査は果実の硬さが商品としての価値がなくなる硬さ（形質 41「果実の硬さ」が「3 軟」と同じかそれ以下）になるまで行う。

棚持ちの長さは果実を採取してから商品としての価値がなくなる硬さになるまでの週の数により評価する。調査は 8 週目に完了してよい。

The length of shelf life is estimated by the number of weeks that the fruit remains commercially viable on the shelf.

Twenty fruits per plot (2 per plant) are picked from the 4th, 5th or 6th cluster in similar stages of exterior

ripening (when green color disappears in half of whole fruit). Fruits are stored in boxes in single layers. The boxes can be stored one on top on another if they permit the air to circulate between them. The storage place does not need to be climatically controlled, but must have similar conditions to those in which the trial was performed, but not in direct sunshine. An observation is made every 7 days, noting the firmness of fruits, taking care not to damage them, and removing those accidentally damaged or rotten. The observation is made to determine when the firmness of fruits becomes no longer commercially viable (the firmness is lower than or equal to Note 3 “soft” in characteristics 41). The length of shelf life is calculated by the number of weeks between picking of fruits and the time that the firmness becomes no longer commercially viable.

The observations can be completed in the 8th week if some varieties still remain.

形質 43　開花期　　Char. 43　Time of flowering

支柱栽培品種では、第 2 花房の第 3 花と第 3 花房の第 3 花の開花日を株毎に調査することによって評価する。第 1 花房は、は種から定植期までの管理条件の影響を受けるので、本形質の調査には用いない。開花日は各花房のその区の平均を記録する。

心止まりの無支柱栽培品種でも、調査時の作業性を考慮して、支柱栽培品種と同じ管理方法を採用する。無支柱栽培では、株が分枝するために観察は容易でない。

For staked varieties, this characteristic is assessed by observing the flowering date of the third flower on the second [and third] trusses, plant by plant. It is recommended not to record the time of flowering on the first truss, as the expression on the first truss is more influenced by the seed vigor and the plantation quality.

The date of flowering is recorded by the plot average, truss by truss.

For determinate non-staked varieties, it is recommended to grow them on pruned stakes on the main stem and to record the characteristics in the same way as those for ‘staked varieties’. On non-staked plants, this characteristic cannot be easily observed due to the branching of the plant.

形質 44　完熟期　　Char. 44　Time of maturity

第 2 果房で最初に完熟した果実の完熟日を個体毎に調査することによって評価する。第 1 果房は種子の勢いや栽培環境の影響をより受けやすいので、第 1 果房の完熟日での調査は行わない。完熟日はその区の平均を記録する。

支柱栽培品種であるか無支柱栽培品種であるかにかかわらず、すべてのタイプのトマト品種で観察する。

This characteristic is assessed by observing the date of maturity of the first fully ripe fruit on the second truss, plant by plant. It is recommended not to record the time of maturity on the first truss, as the expression on the first truss is more influenced by the seed vigor and the plantation quality.

The date of maturity is recorded by the plot average, truss by truss.

This characteristic can be observed as described on all types of tomato varieties, irrespective whether the plants are staked or non-staked.

形質 45　糖度（可溶性固形物含量）　　Char. 45　Fruit: soluble solids content

調査方法　　ハンディ示差屈折計による Brix 測定

試料調製　　試料は第 2 果房～第 3 果房の完熟果を使用する。品種ごとに、完熟果 5 個以上を採取し、それぞれ 4～8 等分割し各果実の小片をビニール袋に入れて密封し、冷蔵庫に保存しておき、測定当日ビニール袋のまま室温で解凍してドリップを得る。

新鮮果実を分析する場合は、分割した試料をジューサーにかけ、ろ紙でろ過した液を用いる。

測定方法　　あらかじめ蒸留水で 0%補正を行ったハンディ示差屈折（糖度）計に、ドリップ 1～2 滴滴下して Brix%を測定する。ドリップは粘性が高いので次の測定前にはよくふき取ると共に時々0%補正を確認すること。

ドリップは凍結保存して問題ないが、凍結時に十分均一にすること。また屈折率は温度の依存性が高いので十分室温に戻してから測定すること。

供試個体　　区別性：各品種 3 連以上、各試料 2 反復以上

均一性：各品種 10 連程度、各試料 2 反復以上　が望ましい。

形質 46　酸度　　Char. 46　Fruit: titratable acidity

調査方法　滴定によるクエン酸量の定量

試 薬　0.1N 水酸化ナトリウム液：

水酸化ナトリウム（試薬特級）4.5g を、新たに煮沸し冷却した水 1 L に加えて溶かす。

市販の 0.1mol/L 水酸化ナトリウム溶液（容量分析用　和光純薬工業）を用いても良い。

滴 定

a　0.1N 水酸化ナトリウム液の標定

スルファミン酸 0.25g を 1mg 単位まで正確に量り、水 25mL に溶かし指示薬を 2～3 滴加え、0.1 N 水酸化ナトリウム液で滴定する。

終点は、淡青～淡紫（pH メーターを用いる場合は pH8.1）とする。

0.1 N 水酸化ナトリウム液 1 ml=9.709mg スルファミン酸

$$\text{f(ファクター)} = \frac{0.250\text{g} \times 1000}{0.1\text{ N 水酸化ナトリウム液 ml} \times 9.709\text{mg}}$$

b　試薬液の滴定

ドリップ 5mL(又は 10mL)をピペットで正確にとり、あらかじめ約 25mL の水を入れたビーカーに入れ、指示薬を 2～3 滴加え、0.1N 水酸化ナトリウム液で中和滴定する。1 試料液につき繰り返し 3 回滴定を行い、平均値を求める。

終点は、淡青～淡紫（pH メーターを用いる場合は pH8.1）とする。

c　酸度（クエン酸）の算出

0.1 N 水酸化ナトリウム液 1mL = 6.4mg（クエン酸）

$$酸度(\%) = \frac{0.1\text{ N 水酸化ナトリウム液 ml} \times f \times 6.4\text{mg}}{5\text{mL（又は 10mL）} \times 1000} \times 100$$

なお、滴定によるクエン酸量の定量が行えない場合は、食品用酸度計による簡易計測を行っても良い。

形質 47　スクロース含有　　Char. 48　Fruit: sucrose content

試験方法	高速液体クロマトグラフィーによる分離分析
装置	高速液体クロマトグラフ 示差屈折計検出器 カラム恒温槽または恒温水槽 糖分折用カラム（SC1011（JASCO）等　糖分析用カラム、GPC） ガードカラム（分析カラム用のもの） データ処理装置（HPLC 用） ホモジナイザー、電子天秤（0.01g 以下まで測れるもの）、低速遠心分離器（冷却機能付きが望ましい）、乾熱滅菌器、ウォーターバス、フリーザ（-40℃以下）
試薬等	蒸留水（高速液体クロマトグラフィー用）、メタノール（高速液体クロマトグラフィー用）、エタノール（高速液体クロマトグラフィー用）、ショ糖（試薬特級）、メンブランフィルター（水系、ポアサイズ 0.20 μm シリンジフィルター）、固相抽出用カートリッジ（Waters 社 Sep-Pak C18）、ろ紙（No.5A）
ショ糖標準液	80℃の乾熱滅菌器内で 2 時間乾燥したショ糖 1g を蒸留水で溶かし、50ml に定容し 20mg/mL の原液を調整する。さらに蒸留水で正確に希釈して 2.0, 1.0, 0.5mg/mL の標準液を調整する。
試料採取及び試料調整	
供試品種	通常トマトはショ糖を含有していないことから、検査をもって有の品種と無の品種の基準品種を選定する。
供試株数	各品種 1 区 10 株、2 反復
栽培方法	通常の栽培試験と同様に栽培する。
試料採取	第 2 果房～第 3 果房の完熟果を採取しヘタを取り除く。乾燥を防ぐためなるべく分割しないで、個別に袋に入れて密閉して冷凍する。
試料保存	-40℃以下で冷凍保存する。すぐに分析に用いる場合でも、粉砕しやすいように一端冷凍した方がよい。
測定方法	
試料液の調整	試料をホモジナイザー用ステンレスカップに入れ、4℃に一晩置いて解凍する。正確に試料の 4 倍重（糖含量を求めるとき必要になるのです

べて正確に秤量する）の 80%エタノールを加えた後、周りを冷凍しながら粉砕する。

遠沈管を電子天秤に乗せ、上記の粉砕物に沈殿がないように撹拌しながら、粉砕物 20g を分注する。遠沈管のふたを閉め 95℃に設定したウォーターバスで遠沈管を 20 分間加熱する。

低速遠心分離器で、3500rmp・10 分間遠心分離する。上清部分をパスツールピペットで可能な限り取り、100mL のメスフラスコに入れる。

残った沈殿に、20mL の蒸留水を加え、ふたを閉めよく撹拌し懸濁させる。

再び低速遠心分離器で 3500rmp・10 分間遠心分離する。上清だけを可能な限りパスツールピペットで取り、上記の 100mL のメスフラスコに加え、蒸留水で 100mL に定容した後、No.5A のろ紙でろ過する。ろ紙に乾いた部分がなくなるまでに出たろ液は捨て（最初の 20mL 程度）、以降のろ液を供試する。

固相抽出用カートリッジをコンディショニングする。

（Sep-Pak C18 の場合）

10mL シリンジにメタノールを取り、1mL/min 程の速度で 5mL を通す。別のシリンジに蒸留水を取り同様に 5mL 通し、最後に空気を通してフラッシングする。

ろ液 5～10mL をシリンジに取り、固相抽出用カートリッジの先にメンブランフィルターを取り付け、通したものをバイアル管に取り、試料液とする。

高速液体クロマトグラフィー

検量線作成　3 種類の濃度のショ糖標準液 10 μL を高速液体クロマトグラフィーに注入し、ピーク面積から検量線を作成する。次に試料液 10 μL を高速液体クロマトグラフィーに注入し、下記の条件で分析し、各種糖含量をピーク面積から求める。

分析条件
溶出溶媒　：蒸留水
流速　　：0.5mL/min
カラム温度：80℃
検出器　　：示差屈折計
検出器温度：35℃
検出 Range：Short
検出限界　：〈1.25mg/g（試料）〉

判定基準　スクロースの含有の有無により判定する

その他　トマトにはショ糖分解酵素であるインベルターゼが含まれるため、ウォーターバスで加熱するまでは冷やしながら操作すること。ただし、その後は室温に戻してから操作を行う。

上記の方法で市販ミニトマトをサンプルとし、ショ糖の添加回収率を調べたところ、4 反復平均で 97.8%であった。

トマトに含有する糖はブドウ糖、果糖等が知られているが、これらの糖についても標準液で検量することで同時定量が可能である。

形質 48　リコペン含有量　　Char. 48　Fruit: lycopene content

調査方法　　可視・近赤外分光光度計を用いた非破壊計測、又は液体クロマトグラフィーによる定量

供試個体数　非破壊計測の場合、1 区 10 個体(1 個体/1 株)、2 反復

標準品種　　5 中 :「フルーツ」

形質 49　GABA 含有量　　Char. 49　Fruit: Gamma-Amino Butyric Acid content

調査方法　　高速液体クロマトグラフィー(HPLC)法、イオンクロマトグラフ(IC)法、ガスクロマトグラフ(GC)法による定量、又は酵素反応を利用した測定法

供試個体数　各品種 1 区 10 個体、2 反復

標準品種　　2 低 :「シシリアンルージュ」

形質 50　サツマイモネコブセンチュウ抵抗性

Char. 50　Resistance to *Meloidogyne incognita* (Mi)

試験方法

病原体　　サツマイモネコブセンチュウ（*Meloidogyne incognita*）普通(非打破)系統を供試する。

病原性確認　試験の前に抵抗性品種を用いて普通(非打破)系統であることを確認する。

接種準備　　線虫汚染土壌に罹病性品種を植え付け、線虫を増殖させた培養土を接種源とする。

接種方法　　線虫密度が培養土 20g 当たり 10 頭程度になるように、病原線虫に汚染されていない用土と接種源を混和し、汚染土を作製する。汚染土に供試植物を移植する。

管理方法　　接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。

自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。

試験期間　　接種 40～50 日後に根こぶ着生程度を調査する。

供試個体数　　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　　根こぶ着生程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 51　半身萎凋病抵抗性　　Char. 51　Resistance to *Verticillium* sp.(Va and Vd) Race 1

※UPOV TG では当該形質はレース 0 を評価する。

試験方法

病原体　　トマト半身萎凋病菌（*Verticillim dahlia or Verticillim aibo-atrum*）レース 1 を供試する。

病原性確認　試験の前に感受性品種を用いて病原性の確認を行う。

接種準備　　接種源は以下のいずれかの方法で調整する。

方法 1　供試菌株を液体培地（PS 培地等）で、およそ 25℃、10 日間振とう培養する。培養液をガーゼでこして菌糸片等を除いた培養液を接種源とする。

方法 2　供試菌株を栄養培地（PDA 培地等）でおよそ 25℃、約 15 日間培養する。培地表面から分生子をかき取り、接種源とする。

接種方法　　供試植物の根から用土を落とし、分生子密度を 1×10^{7}～1×10^{8} 個/mL 程度に調製した接種源に 5～15 分間浸漬する。

管理方法　　接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。

自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。

試験期間　　接種 30～35 日後に発病程度を調査する。

供試個体数　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　　発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 52　萎凋病レース 1 抵抗性

Char. 52　Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 0EU/1US

形質 53　萎凋病レース 2 抵抗性

Char. 53　Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 1EU/2US

形質 54　萎凋病レース 3 抵抗性

Char. 54　Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici* Race 2EU/3US

試験方法

病原体　　トマト萎凋病菌（*Fusarium oxysporum* f. sp. *lycopersici*）レース 1(Race 0EU/1US)、レース 2(Race 1EU/2US)及びレース 3(Race 2EU/3US)を供試する。

病原性確認　試験の前に抵抗性無品種を用いて病原性の確認を行う。

接種準備　　供試菌株を液体培地（PS 培地等）で、およそ 25℃、10 日間振とう培養する。培養液をガーゼでこして菌糸片等を除いた培養液を接種源とする。

接種方法　　供試植物の根から用土を落とし、分生子密度を 1×10^{6}～1×10^{8} 個/mL 程度に調製した接種源に 5～15 分間浸漬する。

管理方法　　接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。

自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。

試験期間　接種 20～25 日後に発病程度を調査する。

供試個体数　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 55　根腐萎凋病抵抗性

Char. 55　Resistance to *Fusarium oxysporum* f. sp. *radicis-lycopersici*

試験方法

病原体　トマト根腐萎凋病菌（*Fusarium oxysporum* f. sp. *radicis-lycopersici*）を供試する。

病原性確認　試験の前に抵抗性無品種を用いて病原性の確認を行う。

接種準備　供試菌株を液体培地（PS 培地等）で、およそ 25℃、7～10 日間振とう培養する。培養液をガーゼでこして菌糸片等を除いた培養液を接種源とする。

接種方法　供試植物の根から用土を落として、分生子密度を 1×10^{7}～1×10^{8} 個/mL 程度に調製した接種源に 15 分以上浸漬する。

管理方法　接種後は温室内又は人工気象室内において、おおむね 15～25℃の範囲で管理する。

自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。

試験期間　接種 14～28 日後に発病程度を調査する。

供試個体数　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 56　葉かび病レース 0 抵抗性

Char. 56　Resistance to *Fulvia fulva* (Ff) (ex.*Cladosporium fulvum)* Race 0

試験方法

病原体　トマト葉かび病菌（学名 : *Passalora fulva* 、異名 : *Cladosporium fulvum* ）のレース 0 を供試する。抵抗性遺伝子が Cf-2、Cf-4、Cf-5 又は Cf-9 であることを確認したい場合は、さらにレース 2、4、5 又は 9 などを供試する。

病原性確認　試験の前に抵抗性無品種を用いて供試病原菌株の病原性の確認を行う。

標準品種等　標準品種

抵抗性遺伝子：無、「ポンデローザ」、「Monalbo」

Cf-1 抵抗性遺伝子：有、「Stirling Castle」

Cf-2 抵抗性遺伝子：有、「Vetomold」

Cf-3 抵抗性遺伝子：有、「V121」

Cf-4 抵抗性遺伝子：有、「Purdue135」

Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「IVT1149」
Cf-2 Cf-4 抵抗性遺伝子：有、「Vagabond」
Cf-2 Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「F1“Vetomold×IVT1149”」
Cf-2 Cf-4 Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「F1“Vagabond×IVT1149”」
Cf-6 抵抗性遺伝子：有、「F77-38」
Cf-9 抵抗性遺伝子：有、「IVT1154」「タキイミディ 195」
基準品種
抵抗性遺伝子：無、「Pontentate」
Cf-2 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf2」、「サターン」
Cf-4 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf4」、「桃太郎ファイト」
Cf-5 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf5」、「Moneymaker-Cf5」
Cf-9 抵抗性遺伝子：有、「NIVFS-Cf9」、「Moneymaker-Cf9」

接種源準備　葉かび病菌株を PDA 又は PSA 平板培地に画線して 2 週間以上 20～25℃で培養し、分生子が十分形成された菌叢の表面に蒸留水を注ぎ、筆やガラス棒等で擦って分生子懸濁液を作製し、蒸留水で 10^4 分生子/mL 以上の濃度に調整する。
注) 同菌は平板培地上では菌叢面積が広がらないので、画線により菌叢面積を大きくする。

供試品種の準備　培養土をつめたセルトレイに 1 粒ずつは種し、子葉展開後、ポットに定植する。接種時の供試植物の生育ステージは、本葉が 4 枚程度展開している苗を供試する。

接種　葉裏に分生子懸濁液を噴霧し、接種後は直ちに、水を張った衣装箱や接種箱等に入れ、高湿度条件を保つ。

接種後の管理　上記の高湿度条件で直射日光が当たらないよう 2 日間置いたのち、施設内で 14～21 日栽培して発病の有無を調査する。
また、以下の点に注意する。
・高湿度時に直射日光が当たると蒸れて苗が腐敗する。
・高温期に 3 日以上高湿度条件に置くと蒸れて苗が腐敗する。
・発病適温は 20～25℃であるが、12～35℃の範囲で管理できれば検定は可能である。

試験期間　接種 14～21 日後に接種葉の葉裏を観察して、発病の有無を調査する。また、感受性品種の病徴を十分に発現させて比較・評価する。なお、うどんこ病が発生すると、初期病徴での見分けが困難であることに注意する。

供試株数　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　接種した全ての株で無発病の品種は、接種したレースに対して抵抗性：有と評価する。抵抗性遺伝子型を確認したい場合には、標準及び基準品種の発病状態を参考に評価する。各抵抗性遺伝子は、真性抵抗性遺伝子である。

形質 57　トマトモザイクウイルス系統 0 抵抗性
Char. 57　Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)- Strain 0
形質 58　トマトモザイクウイルス系統 1 抵抗性
Char. 58　Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)- Strain 1
形質 59　トマトモザイクウイルス系統 2 抵抗性
Char. 59　Resistance to Tomato mosaic virus (ToMV)- Strain 2

接種源系統の維持

培地のタイプ	植物体あるいは乾燥葉
特別な条件	凍結あるいは BOS 法
確認法	$Tm2^2$遺伝子を持つ品種がネクロシスを生ずるストレイン 0 を用いる。

検定の手法

植物体の苗令	子葉展開期
温度条件	日中 30～35℃、夜 25～30℃
光条件	12 時間日長
栽培方法	温室内で行う。
接種方法	子葉を機械的に、なすりつけ接種する。
検定の期間	播種後 12～14 日で接種。接種 10～12 日後に調査。
供試個体数	1 品種当たり 20 個体を供試する。
標準品種	
感受性	Monalbo, Marmande
抵抗性	Mobaci （抵抗性遺伝子 Tml 保有）（ストレイン 0、2 抵抗性）
	Moperou （抵抗性遺伝子 Tm2 保有）（ストレイン 0、1 抵抗'性）
	Monalbo×Momor（ネクロシスを伴う抵抗性）
	Gourmet（すべてのストレインに抵抗性）
判定基準	標準品種と比較して評価する。

形質 60　疫病抵抗性　　Char. 60　Resistance to *Phytophthora infestans* (Pi)

試験方法

病原体	トマト疫病菌（*Phytophthora infestans*）（トマトに対して病原性を有する菌株）を供試する。
病原性の維持	試験前にトマト成葉（切離葉）上で継代を繰り返して遊走子のうを形成させる。
接種準備	トマト成葉（切離葉）上に形成させた遊走子のうを滅菌水中に洗い落とし、遊走子のうから遊走子が放出された懸濁液を接種源として供試する。
接種方法	本葉が 3～4 枚程度展開した供試植物に接種源を噴霧接種する。
管理方法	接種後は人工気象器内において、温度 15～18℃、湿度 90%以上で管

理する。
接種後 24 時間は暗黒下とし、その後、明期 14 時間の照明下で管理する。

試験期間　接種 3～4 週間後に発病程度を調査する。

供試個体数　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 61　斑点病抵抗性　Char. 61　Resistance to *Stemphylium* spp. (Ss)

試験方法

病原体　トマト斑点病菌（*Stemphylium* spp.）を供試する。

病原性確認　試験の前に感受性品種を用いて病原性の確認を行う。

接種準備　栄養培地（V8 ジュース寒天培地等）で培養し、培地上に形成された分生子を滅菌水に懸濁して接種源とする。

接種方法　本葉が 7～8 枚程度展開した供試植物に接種源を噴霧する。

管理方法　接種後は温室又は人工気象器内において、おおむね 20～28℃の範囲で管理する。
接種後 24～28 時間は高湿度で管理する。
自然光又は明期 12 時間以上の照明下で管理する。

試験期間　接種 7～15 日後に発病程度を調査する。

供試個体数　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 62　青枯病抵抗性　Char. 62　Resistance to *Ralstonia solanacearum* (Rs) Race 1

試験方法

病原体　トマト青枯病菌（*Ralstonia solanacearum*）レース 1 を供試する。

病原性確認　試験の前に感受性品種を用いて病原性の確認を行う。

接種準備　液体培地（ジャガイモ半合成培地等）に接種し、振とう培養する。

接種方法　以下のいずれかの方法で接種する。

方法 1　供試植物の株元に菌懸濁液を灌注する。

方法 2　供試植物の根から用土を落とし、菌懸濁液に浸漬する。
浸漬後、病原菌に汚染されていない用土（滅菌土又は市販の培養土）に移植する。

管理方法　接種後は温室又は人工気象器内において、おおむね 30℃で管理する。
自然光又は明期 10～12 時間の照明下で管理する。

試験期間　接種おおむね 30 日後に発病程度を調査する。

供試個体数　1 品種当たり 20 個体を供試する。

判定基準　発病程度の調査結果に基づいて判定する。

形質 63　トマト黄化葉巻ウイルス抵抗性（イスラエル系統）

Char. 63　Resistance to Tomato yellow leaf curl virus (TYLCV) (Israel)

接種源の維持

トマト植物体

検定の手法

植物体の苗令	2～3 葉展開期
温度条件	23℃以上
光条件	人工光（16 時間日長）または自然光
接種方法	トマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)-イスラエル系統罹病植物体に放飼したタバココナジラミを用いた接種
検定の期間	播種後 2 週間程度で接種。接種後 1 ヶ月程度で調査。
供試個体数	1 品種当たり 10 個体以上を供試する。
標準品種	
感受性	在来品種（「大型福寿」等）
抵抗性	
判定基準	標準品種と比較して評価する。

資料 1-3-14

2026 年 月
TG/23/7 2022-10-25 に整合

バレイショ種

Potato

(*Solanum tuberosum* L.)

(案)

バレイショ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ナス科（*Solanaceae*）ナス属（*Solanum* L.）バレイショ種（*Solanum tuberosum* L.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　塊茎（健全な萌芽が見込まれる複数の目があるもの）又は種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　塊茎 120 個（40～80 g のもの）

種子 1,000 粒

種子は、発芽率、純潔率、含水量等保存に適したものであること。

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　原則として、露地、慣行栽培により実施する。

ⅱ）最低供試個体数　60 個体（２区制以上に分割）

ⅲ）栽培期間　　２生育周期

ただし、区別性及び均一性の結果が明確な場合は２生育周期目を省略することができる。

栽培上の留意事項　　特性表中の標準品種の特性は育成地における特性である。

(標準品種の地域区分)

作型	対象地域	関係研究場所
夏作	東北地方以北、その他の地域の高冷地	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター、地方独立行政法人　北海道立総合研究機構　北見農業試験場
春作	関東地方以南の春植または冬植	長崎県農林技術開発センター~~（畑作営農研究部門）~~
秋作	中国地方以南の秋植	同上

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。幼芽の調査は栄養繁殖性品種にあっては各塊茎から採取した５個体、種子繁殖性品種にあっては各塊茎から採取した 15 個体とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　また、特に指示がない限り、特性表の調査方法欄にある次の記号を含む形質についてはⅧ．ⅰに記載している説明に準じて調査する。

ｖ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

均一性については、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP８文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 2 である。供試個体数が５の場合、許容される異型個体数は０である。

種子繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP８文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 60 の場合、許容される異型個体数は 2 である。供試個体数が 15 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）幼芽の基部のアントシアニン着色における青色の割合（形質４）
ⅱ）花冠内面のアントシアニン着色（形質 27）
ⅲ）花冠内面のアントシアニン着色における青色の割合（形質 28）
ⅳ）枯ちょう期（形質 32）
ｖ）塊茎の皮色（形質 36）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明(Legend)

G：グループ分けに使用する形質
(*)：必須形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第 5 条第 2 項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
1	1	QN	幼芽の大きさ	Lightsprout: size	幼芽の大きさ	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	男爵薯	デジマ	
2	2	PQ (*) (+)	幼芽の基部の形	Lightsprout: shape of base	幼芽の基部の形	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	球形 卵形 円錐形 広円筒形 狭円筒形	globose ovoid conic broad cylindrical narrow cylindrical	デジマ		ニシユタカ デジマ	
3	3	QN (*) (+)	幼芽の基部のアントシアニン着色	Lightsprout: anthocyanin coloration of base	幼芽の基部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ 男爵薯 普賢丸	男爵薯 フリア	ニシユタカ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
4	4	QN (*) (+) G	幼芽の基部のアントシアニン着色における青色の割合	Lightsprout: proportion of blue in anthocyanin coloration of base	幼芽の基部のアントシアニン着色における青色の割合	観察 VG (a)	1 2 3	無又は低 中 高	absent or low medium high	ニシユタカ 普賢丸	 トヨシロ コナユタカ	ニシユタカ	
5	5	QN (*) (+)	幼芽の基部の毛	Lightsprout: hairiness of base	幼芽の基部の毛の粗密	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極粗 かなり粗 粗 やや粗 中 やや密 密 かなり密 極密	absent or very sparse very sparse to sparse sparse sparse to medium medium medium to dense dense dense to very dense very dense	ニシユタカ 男爵薯 普賢丸 デジマ	 男爵薯	ニシユタカ デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
6	6	QN	幼芽の頂部の基部に対する大きさ	Lightsprout: size of apex in relation to base	幼芽の頂部の基部に対する大きさ	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	男爵薯、さやか	デジマ	
7	7	QN (+)	幼芽の頂部の型	Lightsprout: habit of apex	幼芽の頂部の型	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	閉じる やや閉じる 中間 やや開く 開く	closed closed to intermediate intermediate intermediate to open open	 デジマ 普賢丸		 デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
8	8	QN	幼芽の頂部のアントシアニン着色	Lightsprout: anthocyanin coloration of apex	幼芽の頂部のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	コナヒメ フリア コナユタカ	デジマ	
9	9	QN (+)	幼芽の頂部の毛	Lightsprout: hairiness of apex	幼芽の頂部の毛の粗密	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極粗 かなり粗 粗 やや粗 中 やや密 密 かなり密 極密	absent or very sparse very sparse to sparse sparse sparse to medium medium medium to dense dense dense to very dense very dense	デジマ 普賢丸	さやか フリア	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
10	10	QN (*) (+)	幼芽の根端の数	Lightsprout: number of root tips	幼芽の根端の数	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many	普賢丸 デジマ	トヨシロ	デジマ	
11	11	QN (+)	幼芽の側枝の長さ	Lightsprout: length of lateral shoots	幼芽の側枝の長さ	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	デジマ		デジマ	
12	12	QN (+)	植物体の草型	Plant: foliage structure	植物体の草型	観察 VG 51-69	1 2 3	茎型 中間型 葉型	stem type intermediate type leaf type	デジマ	さやか 男爵薯	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
13	13	QN (*) (+)	植物体の草姿	Plant: growth habit	植物体の草姿	観察 VG 51-69	1 2 3 4 5	直立 直立～やや直立 やや直立 やや直立～開張 開張	upright upright to semi-upright semi-upright semi-upright to spreading spreading	デジマ	男爵薯	デジマ	
14	14	QN (*)	茎のアントシアニン着色	Stem: anthocyanin coloration	茎の下部 3/4 におけるアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ 普賢丸	トヨシロ 男爵薯	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
15	15	QN	複葉の大きさ	Leaf: size	複葉外形の大きさ	観察/測定 VG/MS ㎠ (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	トヨシロ	デジマ	
16	16	QN (+)	小葉の重なり	Leaf: arrangement of leaflets	小葉の重なりの程度	観察 VG (c) 51-69	1 2 3 4 5	重なる 重なる～接する 接する 接する～離れる 離れる	overlapping overlapping to touching touching touching to free free	デジマ	男爵薯 トヨシロ	ニシユタカ デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
17	17	QN (+)	二次小葉の数	Leaf: number of secondary leaflets	二次小葉の数	観察 VG (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many	デジマ	さやか	デジマ	
18	18	QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color	植物体の中心部の十分に展開した葉における緑色の濃淡	観察 VG 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極淡 かなり淡 淡 やや淡 中 やや濃 濃 かなり濃 極濃	very light very light to light light light to medium medium medium to dark dark dark to very dark very dark	デジマ 男爵薯	さやか フリア	デジマ ニシユタカ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
19	19	QN	複葉の中肋のアントシアニン着色	Leaf: anthocyanin coloration on midrib	複葉の表面の中肋のアントシアニン着色の強弱	観察 VG (b) (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	男爵薯	デジマ	
20	20	QN (+)	第二側小葉の長幅比	Second pair of lateral leaflets: width in relation to length	第二側小葉の長幅比	観察/測定 VG/ MS 比 (c) 51-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極狭 かなり狭 狭 やや狭 中 やや広 広 かなり広 極広	very narrow very narrow to narrow narrow narrow to medium medium medium to broad broad broad to very broad very broad	 普賢丸 男爵薯	 トヨシロ フリア	 ニシユタカ	
21	21	QN (+)	頂小葉と側小葉の合着の出現率	Terminal and lateral leaflets: frequency of coalescence	植物体全体の完全展開葉における頂小葉と側小葉の合着の出現率	観察 VG 51-69	1 2 3 4 5	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	デジマ	男爵薯	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
22	22	QN	花芽のアントシアニン着色	Flower bud: anthocyanin coloration	花冠が見える前の十分に生育した花芽（つぼみ）におけるアントシアニン着色の強弱（着らいした品種に限る。）	観察 VG (b) 55-59	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	トヨシロ	デジマ	
23	23	QN (*) (+)	花房の数	Plant: number of inflorescences	花房の数	観察 VG 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	absent or very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many	ニシユタカ デジマ	 フリア マチルダ、ｵﾎｰﾂｸﾁｯﾌﾟ、コナヒメ ﾊﾟｰﾙｽﾀｰﾁ、コナユタカ	ニシユタカ デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
24	24	QN	花房の大きさ	Inflorescence: size	花房の大きさ（花房がある品種に限る。）	観察 VG (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	さやか コナヒメ コナユタカ	デジマ	
25	25	QN	花柄のアントシアニン着色	Peduncle: anthocyanin coloration	花柄のアントシアニン着色の強弱（着らいした品種に限る。）	観察 VG (b) (d) 55-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ		デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
26	26	QN	花冠の直径	Corolla: diameter	花冠の直径（花房がある品種に限る。）	観察/測定 VG/MS cm (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	トヨシロ	デジマ	
27	27	QN (*) G	花冠内面のアントシアニン着色	Corolla: intensity of anthocyanin coloration on inner side	花冠内面のアントシアニン着色の強弱（花房がある品種に限る。）	観察 VG (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	トヨシロ 男爵薯	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
28	28	QN (*) (+) G	花冠内面のアントシアニン着色における青色の割合	Corolla: proportion of blue in anthocyanin coloration on inner side	花冠内面のアントシアニン着色における青色の割合（花房がある品種に限る。）	観察 VG (d) 60-69	1 2 3	無又は低 中 高	absent or low medium high	デジマ	さやか	デジマ	
29	29	QN (*)	花冠内面のアントシアニン着色の広がり	Corolla : extent of anthocyanin coloration on inner side	花冠内面のアントシアニン着色の広がり（花房がある品種に限る。）	観察 VG (d) 60-69	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	absent or very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	デジマ	トヨシロ 男爵薯	デジマ	
30	30	QN	植物体の草高	Plant: height	開花期の地際から最高部位までの高さ	観察/測定 VG/ MS ㎝ 65-69	1 2 3 4 5	極低 低 中 高 極高	very short short medium tall very tall	ニシユタカ デジマ	男爵薯 トヨシロ コナユタカ	ニシユタカ デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
31		PQ	やくの色	Anther: color	成熟したやくの色（花房がある品種に限る。）	観察 VG 65-69	1 2 3 4 5 6 7 8	白 黄白 淡黄 黄 黄橙 橙 黄緑 緑	white yellowish white light yellow yellow yellowish orange orange yellowish green green	デジマ 男爵薯	トヨシロ	デジマ	
32	31	QN (*) G	枯ちょう期	Plant: time of maturity	80%の葉が枯れた日	測定 MG 月日 97	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late		男爵薯 さやか コナヒメ		
33	32	QN (*) (+)	塊茎の形	Tuber: form	塊茎の側面から見た形	観察 VG 99	1 2 3 4 5 6	円形 短卵形 卵形 長卵形 長形 極長形	round short-oval oval long-oval long very long	男爵薯 普賢丸、デジマ	さやか	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
34		QN	塊茎の目の数	Tuber: number of eyes	塊茎の目の数	測定 MS 99	1 2 3 4 5	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	デジマ	さやか トヨシロ	デジマ	
35	33	QN	塊茎の目の深さ	Tuber: depth of eyes	塊茎の目の深さ	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極浅 かなり浅 浅 やや浅 中 やや深 深 かなり深 極深	very shallow very shallow to shallow shallow shallow to medium medium medium to deep deep deep to very deep very deep	デジマ	トヨシロ 男爵薯	デジマ	
36	34	PQ (*) G	塊茎の皮色	Tuber: color of skin	塊茎の皮色	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	黄白 黄 橙褐 淡赤 赤 濃赤 赤斑 青紫 青紫斑	light yellow brown yellow orange brown light red medium red dark red mottled red blue violet mottled blue violet	デジマ 普賢丸	さやか さやあかね ﾚｯﾄﾞ ﾑｰﾝ ｷﾀﾑﾗｻｷ	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
37	35	QN	塊茎の表皮の粗滑	Tuber: texture of skin	塊茎の表皮の粗滑	観察 VG (e) 99	1 2 3	滑 中 粗	smooth medium tough	デジマ ニシユタカ	さやか トヨシロ コナユタカ	デジマ	
38	36	PQ (*)	塊茎の目の基部の色	Tuber: color of base of eye	塊茎の目の基部の色（塊茎の皮色が赤斑又は青紫斑の品種を除く）	観察 VG (e) 99	1 2 3 4	白 黄 赤 青	white yellow red blue	デジマ	さやか パールスターチ	デジマ	
39	37	PQ (*) (+)	塊茎の肉色	Tuber: color of flesh	塊茎の肉色	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 淡黄 明黄 黄 濃黄 赤 赤斑 青紫 青紫斑	white yellowish white light yellow medium yellow dark yellow red red parti-colored blue violet blue violet parti-colored	男爵薯 デジマ 普賢丸	男爵薯 十勝黄金 アイマサリ ながさき黄金	デジマ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
40		QN (+)	塊茎の光反応による皮のアントシアニン着色の強弱（皮色が黄白及び黄の品種に限る。）	Light beige and yellow skinned varieties only: Tuber: anthocyanin coloration of skin in reaction to light	塊茎の光反応による皮のアントシアニン着色の強弱（自然光条件下で 10 日後、又は人工光条件下で 150 時間後に調査する。）	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無又は極弱 かなり弱 弱 やや弱 中 やや強 強 かなり強 極強	absent or very weak very weak to weak weak weak to medium medium medium to strong strong strong to very strong very strong	デジマ	トヨシロ	デジマ	
41		QN	休眠期間	Time of dormancy	収穫後の塊茎の休眠明けまでの日数（20℃暗所） 半数以上の塊茎の芽の長さが５㎜以上に達した時を休眠明けとする。	測定 MG 日 (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極短 かなり短 短 やや短 中 やや長 長 かなり長 極長	very short very short to short short short to medium medium medium to long long long to very long very long	デジマ	トヨシロ	デジマ	選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)	春作	夏作	秋作	
42		QN	上いも重	Weight of fine tubers	1個重20g以上の塊茎の10 a当たり重	測定 MG kg (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very light very light to light light light to medium medium medium to heavy heavy heavy to very heavy very heavy	デジマ	トヨシロ	デジマ	
43		QN	上いも数	Number of fine tubers	1個重20g以上の塊茎の10 a当たり個数	測定 MG (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many		男爵薯		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
44		QN	上いもの平均重	Mean weight of fine tuber	上いも重／上いも数	測定 MG g (e) 99	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極軽 かなり軽 軽 やや軽 中 やや重 重 かなり重 極重	very light very light to light light light to medium medium medium to heavy heavy heavy to very heavy very heavy	デジマ	男爵薯	デジマ	
45		QN	肉質	Fleshy substance	粘質・粉質の別収穫後 1 ヶ月以内の 100g 程度の塊茎の水煮による	観察 VG (e) 99	1 2 3 4 5	粘 やや粘 中 やや粉 粉	sticky slightly sticky medium slightly powdery powdery				
46		QL (+)	ジャガイモシストセンチュウ抵抗性	Resistance to *Globodera rostochiensis*	ジャガイモシストセンチュウ（*Globodera rostochiensis*）パソタイプ Ro1 に対する抵抗性の有無	測定	1 9	無 有	absent present				選択形質

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)			備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）	春作	夏作	秋作	
47		QN (+)	ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性	Resistance to *Globodera pallida*	ジャガイモシロシストセンチュウ（*Globodera pallida*）に対する抵抗性の強弱	測定	1 2 3 4 5	弱 やや弱 中 やや強 強	weak weak to medium medium medium to strong strong				選択形質

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

Ⅷ. ｉ　特性の概要説明

(a) 種子繁殖性品種の場合は収穫した塊茎で調査を行う。

以下の方法によって生育した幼芽を調査する。

幼芽の形質の発現に最も重要な要素は光源のスペクトルと強度である。スペクトルは電球の種類と電圧によって決まる。極端な温度を避ければ、温度の生育速度への影響は小さい。室温条件下の遮光キャビネット中で、小さな白熱電球（6V AC/0.05A）による7～10luxの強さ（およそ8個/m^2の電球で20～30cm上から）の連続照明下で幼芽が生育するとき、良い形質表現が得られる。

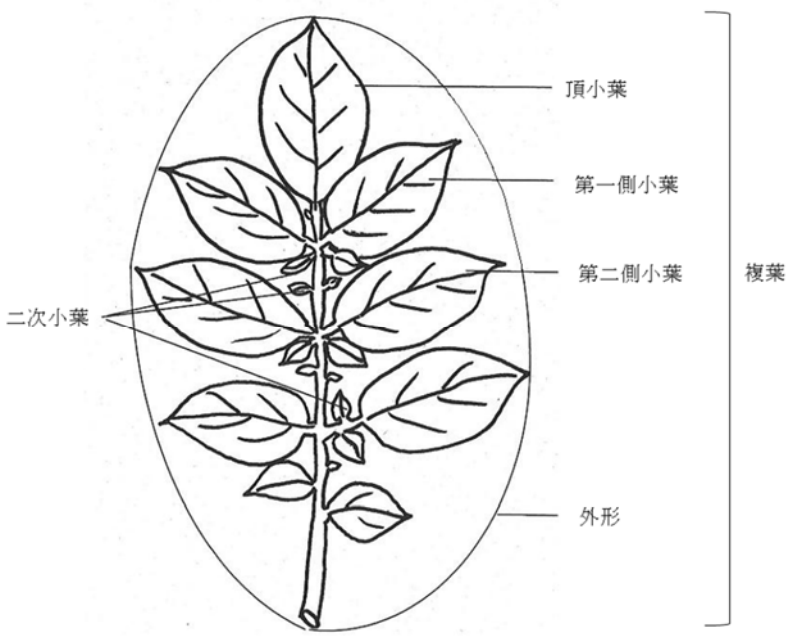
調査は形質7「幼芽の頂部の型」と形質11「幼芽の側枝の長さ」の特性が最もよく区別できる時期に昼間の間接光が入る部屋で行う。調査適期を見極めるために標準品種を供試すべきである。

幼芽の発育は収穫後の試験開始時期に影響を受ける。塊茎の老化とともに発育程度が高まる。収穫してから約100日後に試験を開始した場合、休眠や発育の遅れのため、調査に適した生育段階に達するのは14週間後になるかもしれない。試験の開始時期を遅くすれば、より短い期間で調査に適した生育段階に達する可能性がある。

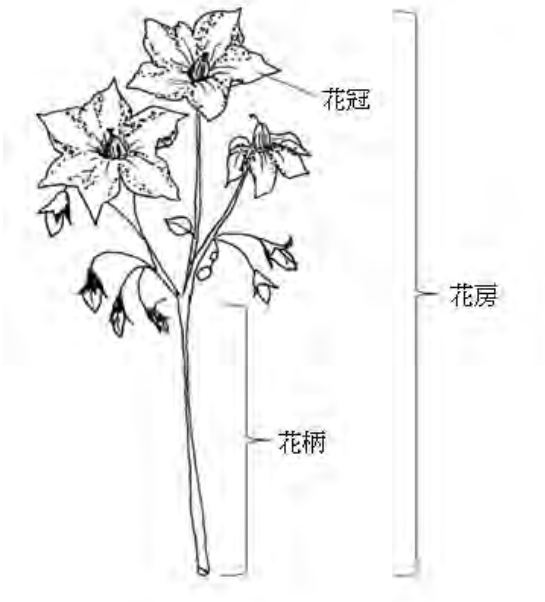


(b) アントシアニン着色の強弱を調査する形質である。着色の範囲や分布は考慮すべきではない。

(c) 葉の調査は、供試個体の中央の十分に生育したもので行う。10個体から1枚ずつ、主茎の中央部の葉を採取する。



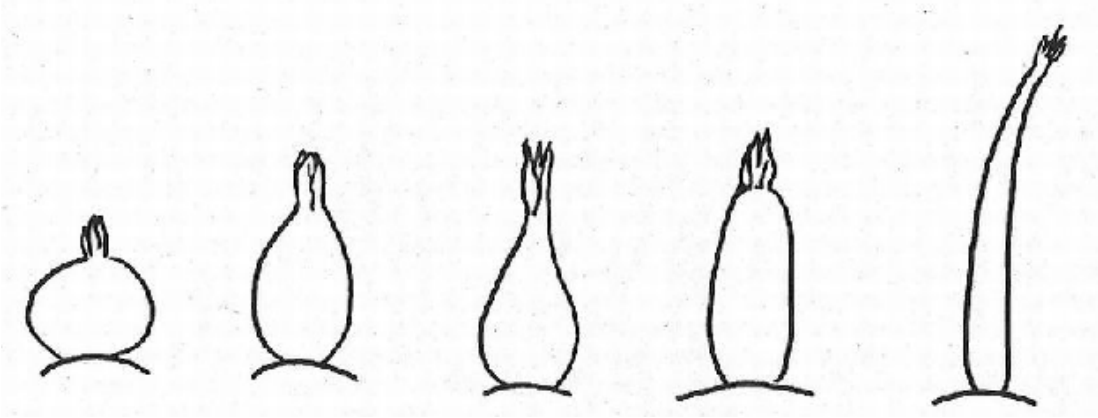
(d) 花色の調査は開花直後の花の内面で行う。調査適期は早朝である。



(e) 収穫後2週間以内に調査を行う。塊茎の色に影響を与える可能性があるため、保存中は日光を遮る必要がある。

Ⅷ. ⅱ　各特性の説明

形質２　幼芽の基部の形　Char.2　Lightsprout: shape of base

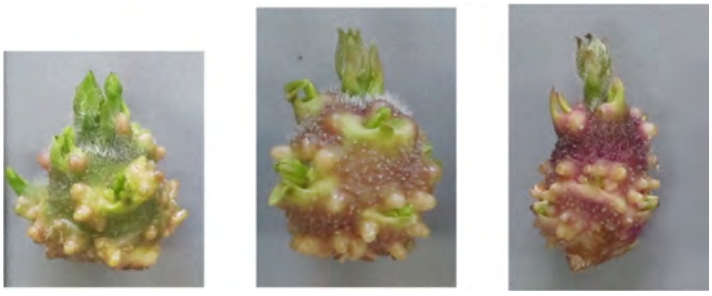


1	2	3	4	5
球 形	卵 形	円錐形	広円筒形	狭円筒形
globose	ovoid	conic	broad cylindrical	narrow cylindrical

形質３　幼芽の基部のアントシアニン着色

Char.3　Lightsprout: intensity of anthocyanin coloration of base

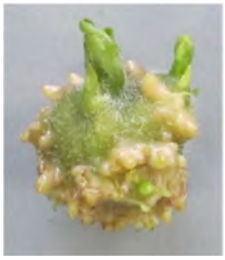
アントシアニンの着色が“無”であれば、幼芽は緑色となる。



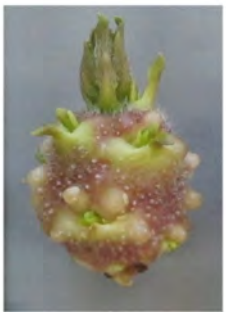
2	5	7
かなり弱	中	強
very weak to weak	medium	strong

形質４　幼芽の基部のアントシアニン着色における青色の割合

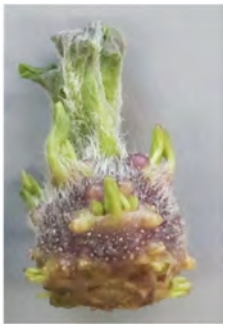
Char.4　Lightsprout: proportion of blue in anthocyanin coloration of base



1
無又は低
absent or low



2
中
medium



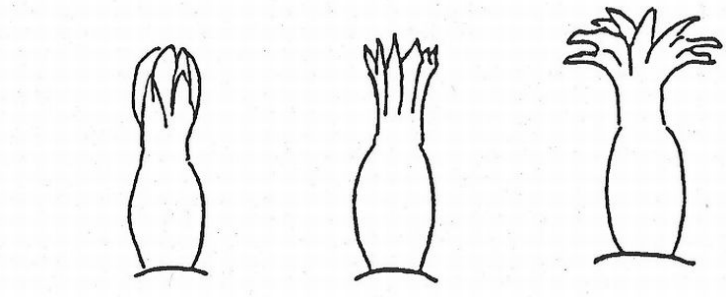
3
高
high

形質５　幼芽の基部の毛　Char.5　Lightsprout: hairiness of base

調査は拡大鏡を使用した方が良い。

毛は必ずしも幼芽の全体に均等に分布しているとは限らない。評価は幼芽の基部の面積に対する基部の毛の総量の平均値で行うべきである。

形質７　幼芽の頂部の型　Char.7　Lightsprout: habit of apex



1
閉じる
closed

3
中間
intermediate

5
開く
open

形質 9　幼芽の頂部の毛　Char.9　Lightsprout: hairiness of apex

調査は拡大鏡を使用した方が良い。

毛は必ずしも幼芽の全体に均等に分布しているとは限らない。評価は幼芽の頂部の面積に対する頂部の毛の総量の平均値で行うべきである。



5
中
medium

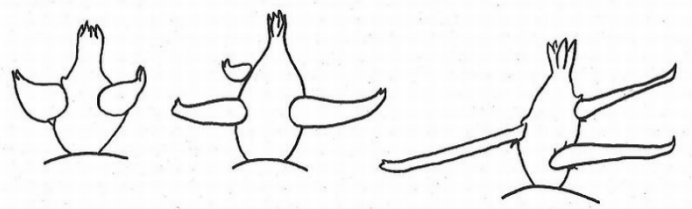


7
密
dense

形質 10　幼芽の根端の数　Char.10　Lightsprout: number of root tips



形質 11　幼芽の側枝の長さ　Char.11　Lightsprout: length of lateral shoots

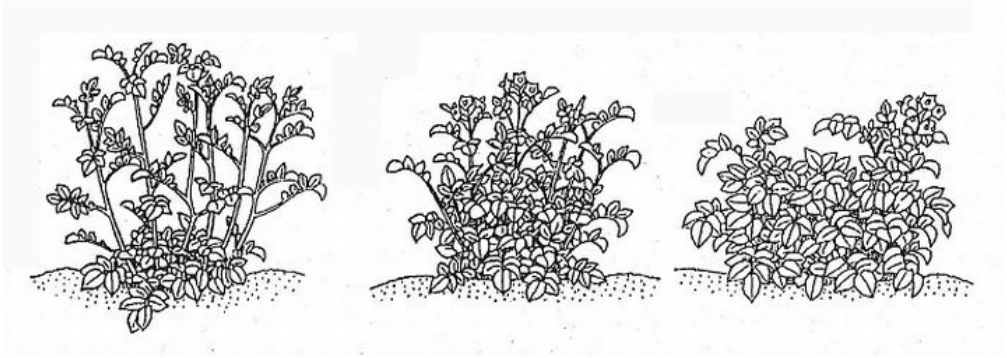


3
短
short

5
中
medium

7
長
long

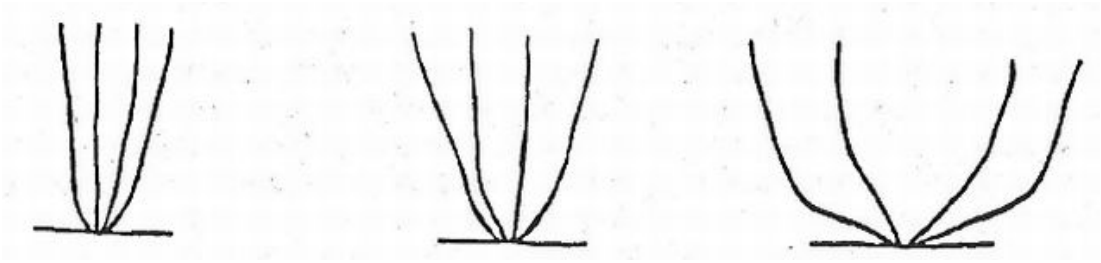
形質 12　植物体の草型　Char.12　Plant: foliage structure



1	2	3
茎型	中間型	葉型
stem type	intermediate type	leaf type

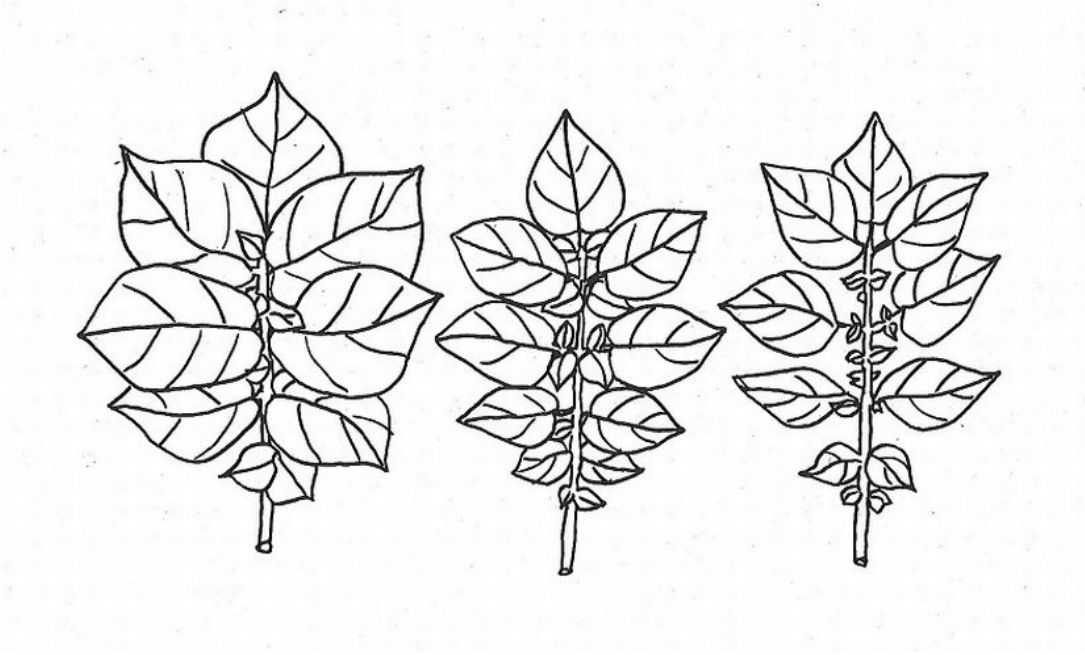
茎型　：葉の茂りが粗であり、茎ははっきりと見える。
中間型：葉の茂りがやや粗であり、茎は部分的に見える。
葉型　：葉の茂りが密で、茎は見えないかほとんど見えない。

形質 13　植物体の草姿　Char.13　Plant: growth habit



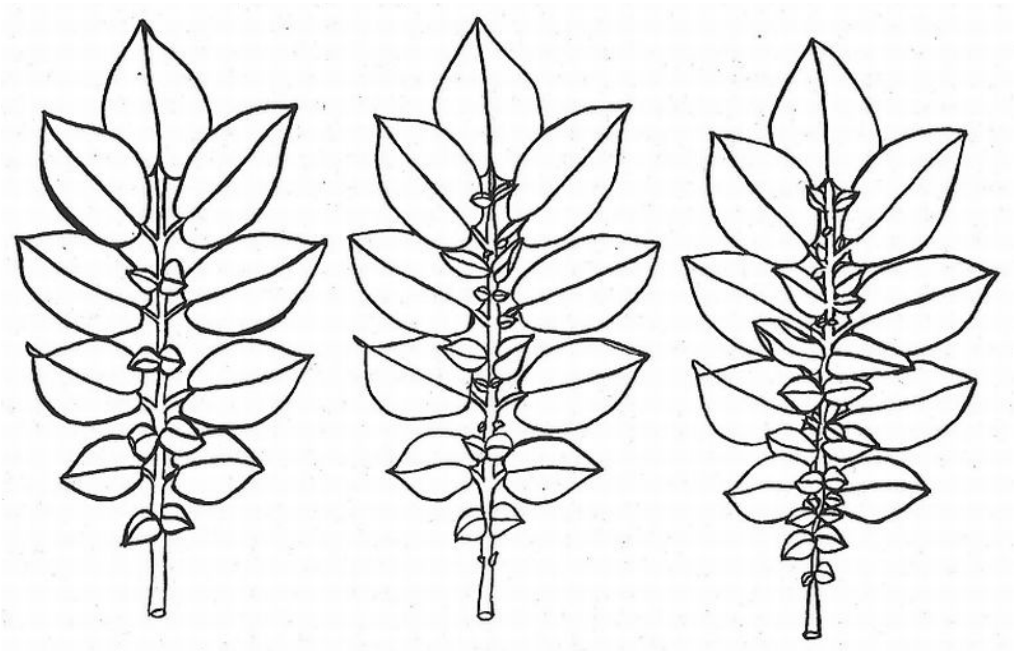
1	3	5
直立	やや直立	開張
upright	semi-upright	spreading

形質 16　小葉の重なり　Char.16　Leaf: arrangement of leaflets



1	3	5
重なる	接する	離れる
overlapping	touching	free

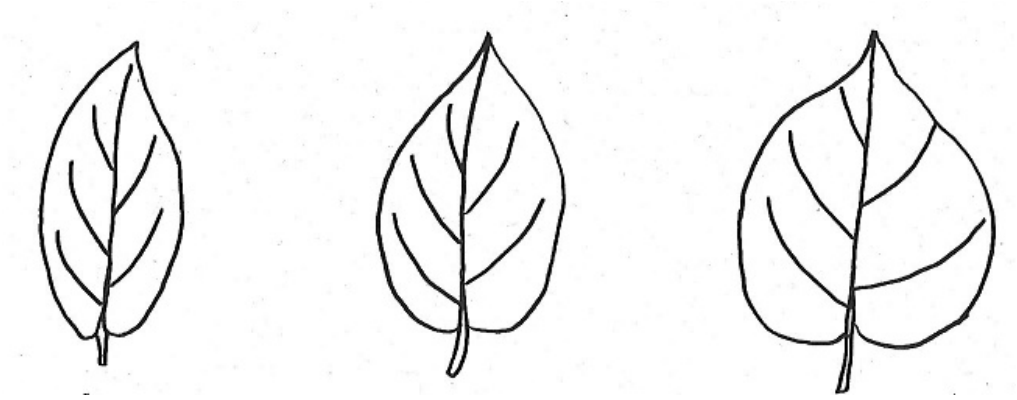
形質 17　二次小葉の数　Char.17　Leaf: number of secondary leaflets



3	5	7
少	中	多
few	medium	many

形質 20　第二側小葉の長幅比

Char.20　Second pair of lateral leaflets: width in relation to length



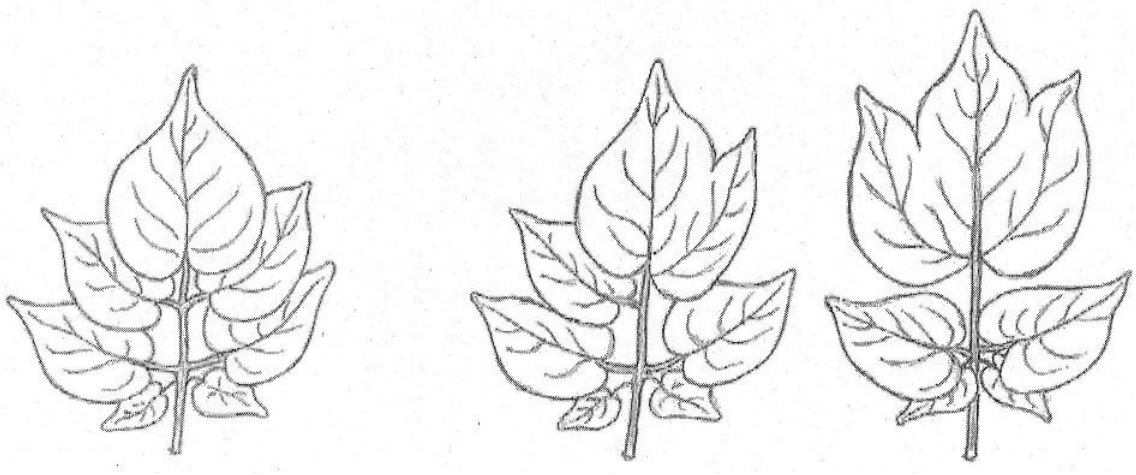
3
狭
narrow

5
中
medium

7
広
broad

形質 21　頂小葉と側小葉の合着の出現率

Char.21　Terminal and lateral leaflets: frequency of coalescence



合着していない
not coalescent

合着している
coalescent

形質 23　花房の数

Char.23　Plant: number of inflorescences

開花期間中、試験区を数回観察し、品種ごとの花房数を記載する。最も花房数が多かったものが最終的な評価となる。

形質 28　花冠内面のアントシアニン着色における青色の割合

Char.28　Corolla: proportion of blue in anthocyanin coloration on inner side

　アントシアニンの発色は赤と青の構成による。もし青の割合が低ければアントシアニンは赤紫となり、青の割合が高ければ青紫となる。



形質 33　塊茎の形　Char. 33　Tuber: form

塊茎の形は長さと幅の比で定義される。供試品種内で最も優勢な形を評価する。



1	2	3	4	5	6
円形	短卵形	卵形	長卵形	長形	極長形
round	short-oval	oval	long-oval	long	very long

（≦109）　（110-129）　（130-149）　（150-169）　（170-199）　（≧200）
評価は標準品種等との相対評価で行うが、参考として塊茎の長さ／幅×100 で示した値を（　）書きで示す。

形質 39　塊茎の肉色

Char.39　Tuber: color of flesh

切りたての塊茎を観察する必要がある。塊茎を切って数分後には、果肉が変色していることがある。

形質 46　ジャガイモシストセンチュウ抵抗性

Char.46　Resistance to *Globodera rostochiensis*

1　簡易カップ検定の手順

(1) 250ml カップに乾燥土壌 1 g あたりシスト 100 卵の土壌 25mL を入れ、その上に 30g 前後の塊茎を 1 個置き、滅菌土壌 50mL を補充し、蓋をかぶせて密閉する。1 品種につき 6 塊茎供試する。

(2) 遮光し、室温で 2 か月間培養する。根の伸長に適した土壌水分を保つように適宜給水する。

(3) カップの底面及び側面に確認される黄色～褐色の雌成虫を計数する。

(4) カップあたりの平均雌成虫着生数が 1 未満となる場合を抵抗性とする。

2　プラスチックカップ検定の手順

(1) 小型の蓋付き透明プラスチックカップ（蓋に 2 ㎜の注水用の穴を開ける）に殺菌土を大さじ 2 杯、線虫汚染土壌を中さじ 1 杯（シスト 5 個以上になるよう適宜調整）、催芽塊茎を 1 個入れ、蓋をする。

(2) コンテナーに収納し、約 20℃の無照明の恒温器（室）で保管する。

(3) 10～15 日間隔で土壌水分をチェックし、連続分注器で蓋の穴から注水する。

(4) 検定開始 30 日後に 1 回目の調査をし、寄生確認のカップを感受性系統と見なし除去する。

(5) 以後 10～15 日間隔で注水時に調査する。

(6)　60 日程度で調査を打ち切り、残存したカップの系統を抵抗性と判定する。

(7) 供試カップを湿熱 70℃、1 時間以上で消毒する。

留意事項

(1) 検定塊茎は速やかに発根するように催芽処理しておき、シストの接種は予め増殖しておいた汚染土壌を使用するのが簡便である。

(2) 根が伸張しても土壌が乾燥している場合は、線虫が感染できないので注意する。

(3) 切った塊茎を使用すると腐敗する場合があるので、カップ内に収まる小型の塊茎を供試することが望ましい。

(4)　必ず線虫感受性品種を同時に供試し、感受性品種に寄生が確認されない場合は、汚染土壌を変えるなどして再試験を行う。

(5)　ジャガイモシストセンチュウ未発生地において検定を実施する場合、管轄の植物防疫所長に対し「国内に発生している本種線虫の移動届け」が必要である。

（百田洋二、串田篤彦、植原健人、高田明子、森元幸（2002)、プラスチックカップによるジャガイモシストセンチュウ抵抗性新検定法、平成 14 年度「新しい研究成果－北海道地域」北海道農業研究センターから）

3　汚染ほ場における栽培

判定方法　シスト寄生度を調査し、シスト寄生指数と増殖率を算出して評価する。

シスト寄生度

0　　シストが全く認められない
1　　シストがわずかに認められる（ようやく散見できる）
2　　シストが中程度認められる（散見される）
3　　シストが多数認められる
4　　シストが極めて多数認められる（密生している）

$$\text{シスト寄生指数} = \frac{\Sigma\ (\text{シスト寄生度} \times \text{寄生株数})}{(\text{調査株数}) \times 4} \times 100$$

増殖率＝収穫時線虫健全卵数／植付時線虫健全卵数

標準品種　1無　男爵薯、ニシユタカ、デジマ
　　9有　コ ナ ユ タ カ

形質 47　ジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性

Char.47　Resistance to *Globodera pallida*

調査方法　カップ検定法又はポット検定法による検定

調査方法の詳細は「バレイショのジャガイモシロシストセンチュウ抵抗性検定マニュアル」（国立研究開発法人　農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）北海道農業研究センター，2020 年３月）参照

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/bpmanual.pdf

標準品種

階級	状態区分	標準品種
1	弱	パールスターチ、さんじゅうまる、男爵薯、紅丸、インカのめざめ
2	やや弱	
3	中	きたすずか
4	やや強	フリア
5	強	

Ⅷ. ⅲ　生育ステージと BBCH コード

生育ステージコード	記述
0：発芽／萌芽	
1：葉の展開	
2：主茎基部に側芽が形成される	
3：主茎の伸長（覆土）	
4：塊茎形成	
5：花房（集散花序）の出現	
51	最初の花房（主茎）の芽（1～2㎜）が見える
55	最初の花房の花芽（つぼみ）が5㎜まで伸びる
59	最初の花房に花弁が見える
6：開花	
60	供試個体における最初の開花
61	最初の花房（主茎）の約10％の花が開く
65	最初の花房の50％の花が開く
68	最初の花房の80％の花が開く
69	最初の花房の開花終了
7：果実の発達	
8：果実と種子の成熟	
9：老化	
91	葉の黄変が始まる
93	ほとんどの葉が黄変する
95	葉の50％が茶色がかる
97	葉と茎は枯れ、茎は色あせ、乾燥する
99	収穫

参考文献

Meier, U. (ed.), 1997: Growth stages of mono- and dicotyledonous plants / Entwicklungsstadien mono- und dikotyler Pflanzen / Estadios de las plantas mono- y dicotiledóneas / Stades phénologiques des mono- et dicotylédones cultivées: BBCH-Monograph. Blackwell Wissenschaftsverlag, Berlin, Wien.

資料 1-3-15

2026 年　月
TG/26/5 Corr.2 Rev に準拠

キク属

Chrysanthemum

(*Chrysanthemum* L.)

(案)

キク属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、キク科（Asteraceae）キク属（*Chrysanthemum* L.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　挿し穂又は種子

ⅱ）提出時期　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　種子繁殖性品種　1,000 粒
　　栄養繁殖性品種　40 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。また、種子は、発芽率、純潔率、含水量等保存に適したものであること。

ⅴ）提出する種苗は、審査当局が指示した場合を除き、薬剤処理及びその他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合は、その処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　種子繁殖性品種　40 個体
　　栄養繁殖性品種　20 個体（ただし、観賞ギクは 10 個体）

ⅲ）栽培期間　1 生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　　特に指示がない限り、種子繁殖性品種は植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個、栄養繁殖性品種は植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。ただし、観賞ギクは植物体 9 個体又は各個体から採取した部分 9 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　　以下に示されていなければ、すべての形質は満開時において記録される。一重と半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から２～３列の管状花が裂開した時である。八重品種は、先端の頭花が十分に開いているときで、劣化したように見え始める前である。（満開時の頭花の状態は、別添参考「調査適期とする『「満開時」の頭花の開花状態について』参照」

特に指示がない限り、特性表の調査方法の欄の(a)～(h)の記号によって示された調査方法の詳細は、以下のとおりである。

(a) 先端のつぼみが開花直前で、十分な色を示しているときに植物体、茎、たく葉、葉柄、葉及びつぼみの形質を調査する。

(b) 茎及びたく葉の形質は、茎の中央部 1/3 で調査する。

(c) 葉の形質は、茎の中央部 1/3 の典型的な葉で調査する。

(d) 摘らいしないキクとして栽培するために育成された品種は、側らい又は側枝は取り除かない。摘らいするキクとして栽培するために育成された品種は、側らい又は側枝（もしあれば）は、先端の頭花を残し早い段階で取り除く。 いくつかの品種は、両方のタイプの栽培に適している。

形質 23、24、25、26、27、32 及び 34 は、摘らいしないキクとして栽培される品種のみ調査する。兼用の品種に関しては、これらの形質は摘らいしない試験区で調査する。

形質 33 及び 35 は、摘らいする品種のみを調査する。兼用の品種の場合は、これらの形質は摘らいした試験区で調査する。

(e) 頭花の形質は先端の頭花について記録する。

(f) 他に指示がなければ、舌状花の形質は舌状花の最も外側の列で調査する。もし舌状花がなければ、これらの形質は記録されない。

(g) 主たる色は、全体で最も大きな表面積を持つ色で、２次色［もしあれば］は、全体で２番目に大きな表面積を持つ色、そして３次色［もしあれば］は全体で３番目に大きな表面積のものである。

(h) この形質はつぼみが開いた後で、花盤の管状花が裂開し始める前に調査する。

ⅴ）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準　（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性について、栄養繁殖性品種及び自家受粉品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP８文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。栄養繁殖性品種においては、供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は １であり、自家受粉品種においては、供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は２である。他家受粉品種及び交雑品種においては、上記一般基準の第４の２(２)及び(３)をそれぞれ適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）草丈（形質１）
ⅱ）草型（形質２）
ⅲ）頭花の型（形質30）
ⅳ）花盤の型（八重及び露心する八重品種を除く。）（形質 31）
ⅴ）頭花の直径（摘らいしていないもの。）（形質32）
ⅵ）頭花の直径（摘らいしたもの。）（形質33）
ⅶ）頭花の舌状花の主要な形（形質41）
ⅷ）舌状花の表面の色数（形質62）

ix）舌状花の表面の主な色（形質63）
以下の色区分による
Gr. 1：白
Gr. 2：黄色がかった白
Gr. 3：黄
Gr. 4：銅
Gr. 5：橙
Gr. 6：橙ピンク
Gr. 7：ピンク
Gr. 8：赤
Gr. 9：赤紫
Gr. 10：紫
Gr. 11：緑

x）舌状花：表面の二次色（形質64）
以下の色区分による
Gr. 1：白
Gr. 2：黄色がかった白
Gr. 3：黄
Gr. 4：銅
Gr. 5：橙
Gr. 6：橙ピンク
Gr. 7：ピンク
Gr. 8：赤
Gr. 9：赤紫
Gr. 10：紫
Gr. 11：緑

xⅰ）開花習性（形質90）

xⅱ）各開花習性における早晩性（形質91）

xⅲ）頭花の舌状花の主要な形（観賞ぎくに限る。）（形質95）

xⅳ）頭花の舌状花の二次的な形（観賞ぎくに限る。）（形質96）

Ⅵ. 特性表で使用する記号の説明(Legend)

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部を個々の観察記録

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
(日本語)	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of characteristics）

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
1	1	QN (*) G	草丈	Plant : height	地際から最高部位までの高さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	低 中 高	short medium tall	Dekyen、神馬 ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
2	2	QL (*) (+) G	草型	Plant: type	植物体のタイプ	観察 VG (a)	1 2	叢生でない 叢生	non bushy bushy	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ ﾖﾀﾞﾄﾗ	
3	3	PQ (*) (+)	草姿（叢生品種に限る。）	Only bushy varieties: Plant: growth habit	草姿 叢生の品種に限る	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	直立 半直立 半球 開張 先端が這う	upright semi upright hemispherical spreading trailing		
4	4	QN	分枝の粗密（叢生品種に限る。）	Only bushy varieties: Plant: density of branching	分枝の粗密 叢生の品種に限る	観察 VG (a)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	ﾖﾀﾞﾄﾗ	
5	5	PQ	茎の色	Stem: color	茎の色	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4	緑 紫又は褐を帯びた緑 褐 紫	green green tinged with purple or brown brown purple	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
6	6	QN	たく葉の大きさ	Stipule: size	たく葉の大きさ	観察 VG (a) (b)	1 3 5 7	無又は極小 小 中 大	absent or very small small medium large	Vymini、神馬	
7	7	QN (+)	葉柄の向き	Petiole: attitude	茎に対する葉柄の向き	観察 VG (a) (c)	1 3 5 7 9	上 斜上 水平 斜下 下垂	very strongly upwards moderately upwards horizontal moderately downwards drooping		
8	8	QN (+)	葉柄の葉長に対する長さ	Petiole: length relative to leaf length	葉の長さに対する葉柄の長さ（葉柄の長さ／葉の長さ）	測定 MS (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
9	9	QN (*) (+)	葉の長さ	Leaf: length including petiole	葉の長さ	測定 ㎜ MS (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ、神馬	
10	10	QN (*) (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 ㎜ MS (a) (c)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾖﾀﾞﾄﾗﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ、ｾｲﾛｰｻﾞ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
11	11	QN (*) (+)	葉の長さ／幅	Leaf: ratio length/width	葉の幅に対する葉の長さの比（葉の長さ／葉の幅）	測定 比 MS (a) (c)	3 5 7	低 中 高	low medium high	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
12	12	QN (*) (+)	葉の先端裂片の相対的な長さ	Leaf: length of terminal lobe relative to leaf length	葉の長と比較した先端裂片の長さ（先端裂片の長さ／葉の長さ）	測定 MS (a) (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
13	13	QN (*) (+)	葉の一次欠刻の深さ	Leaf: depth of lowest lateral sinus	葉の一次欠刻の深さ	観察 VG (a) (c)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
14	14	PQ	葉の裂片縁部の重なり	Leaf: margins of lowest lateral sinus	葉の側裂片縁部の重なり	観察 VG (a) (c)	1 2 3 4 5	広がる 平行 接近する 接する 重なる	diverging parallel converging touching overlapping	神馬 Vymini Dekyen	
15	15	PQ (*) (+)	葉の基部の形	Leaf: predominant shape of base	葉の基部の主要な形	観察 VG (a) (c)	1 2 3 4 5 6	鋭形 鈍形 円形 平形 凹形 非対称	acute obtuse rounded truncate cordate asymmetric	錦かざぐるま ｾｲﾛｰｻﾞ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	QN	葉の表面の光沢の強弱	Leaf: glossiness of upper side	葉の表面の光沢の強弱	観察 VG (a) (c)	1 2 3	無又は極弱 弱 強	absent or very weak weak strong	ｾｲﾛｰｻﾞ	
17	17	QN (*)	葉の表面の緑色の濃淡	Leaf: green color of upper side	葉の表面の緑色の濃淡	観察 VG (a) (c)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	Dekyen	
18	18	QN (*) (+)	葉の表面の周縁淡色部の顕著さ（*Chrysanthemum* ×*morifolium* 品種を除く。）	Excluding varieties of *Chrysanthemum* ×*morifolium*: Leaf: upper side: prominence of pale margin	葉の表面の葉縁淡色部の顕著さ（*Chrysanthemum* × *morifolium* 品種を除く。）	観察 VG (a) (c)	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong		
19	19	QN (*) (+)	葉の裏面の毛の粗密（*Chrysanthemum* ×*morifolium*品種を除く。）	Excluding varieties of *Chrysanthemum* ×*morifolium*: Leaf: pubescence of lower side	葉の裏面の毛の粗密（*Chrysanthemum* × *morifolium* 品種を除く。）	観察 VG (a) (c)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
20	20	PQ (*) (+)	葉の裏面の色（*Chrysanthemum* ×*morifolium* 品種を除く。）	Excluding varieties of *Chrysanthemum* ×*morifolium*: Leaf: color of lower side	葉の裏面の色（*Chrysanthemum* × *morifolium* 品種を除く。）	観察 VG (a) (c)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
21	21	QN (+)	葉の周縁の二次欠刻の数	Leaf margin: number of indentations	葉の周縁の二次欠刻の数	観察 VG (a) (c)	3 5 7	少 中 多	few medium many	ﾖﾀﾞﾄﾗ Vymini	
22	22	QN (+)	葉の周縁の二次欠刻の深さ	Leaf margin: depth of indentations	葉の周縁の二次欠刻の深さ	観察 VG (a) (c)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	ﾖﾀﾞﾄﾗ Vymini	
23	23	PQ (+)	花序の形（叢生でない品種に限る。）	Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: form	花序全体の形（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	観察 VG (d)	1 2 3 4 5	円錐形 深いﾄﾞｰﾑ形 円筒形 散房花序型 平らな散房花序型	conical deeply domed cylindrical corymbiform flat-corymbiform	Dekyen	
24	24	QN	花序の最大幅（叢生でない品種に限る。）	Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: width at widest point	花序の最大幅（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	観察 VG/ MS (d)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
25	25	QN (*) (+)	花序の一次分枝の着生角度（叢生でない品種に限る。）	Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: angle between primary lateral shoot and stem	花序の一次分枝と茎との角度（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	観察 VG (d)	3 5 7	小 中 大	small medium large	Dekyen	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
26	26	QN (+)	花序の側枝の頭花の向き（叢生でない品種に限る。）	Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: attitude of lateral flower heads	花序の側枝の頭花の向き（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	観察 VG (d)	1 3 5 7	上 斜上 水平 斜下	upright semi upright horizontal moderately downwards	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
27	27	QN (+)	一茎当たりの頭花の総数（叢生でない品種に限る。）	Only non-bushy varieties: (see char. 2):Total number of flower heads per stem	一茎当たりの頭花の総数（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）	測定 MS (d)	3 5 7	少 中 多	few medium many	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ Vymini	
28	28	QN (+)	株当たりの頭花の総数（叢生品種に限る。）	Only bushy varieties (see char. 2): Total number of flower heads per plant	株当たりの頭花の総数（叢生品種（形質2参照）に限る。）	観察 VG	3 5 7	少 中 多	few medium many		
29	29	PQ	花らいの外面の色	Flower bud: color of outer side just before opening	開花直前の花らいの外側の色	観察 VG (a) (e)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
30	30	PQ (*) (+) G	頭花の型	Flower head: type	頭花の型（舌状花の重ね）	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状花なし 一重 半八重 露心する八重 八重	without ray florets single semi double daisy-eyed double double	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ ﾖﾀﾞﾄﾗ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31	31	QL (*) (+) G	花盤の型(八重及び露心する八重品種を除く。)	Excluding double and daisy-eyed double varieties: Disc: type	花盤の型 (八重及び露心する八重品種を除く。)	観察 VG (e)	1 2	デイジーアネモネ	daisy anemone	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
32	32	QN (*) (+) G	頭花の直径(摘らいしていないもの。)	Flower head: diameter (non-disbudded plants)	頭花の直径 (摘らいしていないもの。)	測定 ㎜ MS (d) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
33	33	QN (*) (+) G	頭花の直径(摘らいしたもの。)	Flower head: diameter (disbudded plants)	頭花の直径 (摘らいしたもの。)	測定 ㎜ MS (d) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	神馬	観賞ギクは形質 93 に記載
34	34	QN (+)	頭花の高さ(摘らいしていないもの。)	Flower head: height (non disbudded plants)	頭花の総ほう直下あるいは花弁最下部のどちらか下方に位置する部位から頂部までの高さ (摘らいしていないもの)	測定 ㎜ MS (d) (e)	3 5 7	低 中 高	low medium high	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
35	35	QN (+)	頭花の高さ(摘らいしたもの。)	Flower head: height (disbudded plants)	頭花の総ほう直下あるいは花弁最下部のどちらか下方に位置する部位から頂部までの高さ (摘らいしたもの)	測定 ㎜ MS (d) (e)	3 5 7	低 中 高	low medium high	神馬	観賞ギクは形質 94 に記載

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	36	QN	頭花の花柄の長さ	Flower head: length of peduncle	頭花の花柄の長さ	測定 ㎜ MS (e)	3 5 7	短 中 長	short medium long	Vymini、ﾖﾀﾞﾄﾗ ｾｲﾛｰｻﾞ	
37	37	QN	頭花の舌状花の列数(半八重及び露心する八重品種に限る。)	Only semi double and daisy-eyed double varieties (see char. 30): Flower head: number of rows of ray florets	頭花の舌状花の列数（半八重及び露心する八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e)	3 5 7	少 中 多	few medium many	Vymini	
38	38	QN (*)	頭花の舌状花数(一重及び半八重品種に限る。)	Only single and semi double varieties (see char. 30): Flower head: number of ray florets	頭花の舌状花数（一重及び半八重品種（形質 30 参照）に限る。）	測定 MS (e)	3 5 7 9	少 中 多 極多	few medium many very many	ｾｲﾛｰｻﾞ Vymini	
39	39	QN (*)	頭花の舌状花の粗密(露心する八重及び八重品種に限る。)	Only daisy-eyed double and double varieties (see char. 30): Flower head: density of ray florets	頭花の舌状花の粗密（露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e)	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	神馬	
40	40	PQ (*) (+)	頭花の舌状花の形の数	Flower head: number of types of ray florets	頭花の舌状花の形の数	観察 VG (e)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
41	41	PQ (*) (+) G	頭花の舌状花の主要な形	Flower head: predominant type of ray floret	頭花の舌状花の主要な形	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状 舟底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ ｱﾅｽﾀｼｱ	観賞ギクは形質 95 に記載
42	42	PQ (*) (+)	頭花の舌状花の二次的な形	Flower head: secondary type of ray floret	頭花の舌状花の二次的な形	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状 舟底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped		観賞ギクは形質 96 に記載
43	43	PQ (+)	頭花の舌状花の三次的な形	Flower head: tertiary type of ray floret	頭花の舌状花の三次的な形	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	舌状 舟底状 さじ状 管状 ロート状	ligulate incurved spatulate quilled funnel shaped		観賞ギクは形質 97 に記載
44	44	QN (*) (+)	舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties (see char. 30): Ray floret: attitude of basal part	頭花の舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e)	3 5 7	斜上 水平 斜下	moderately ascending horizontal moderately descending	Vymini	
45	45	PQ (+)	舌状花の表面の状態	Ray floret: upper surface	舌状花の表面の状態	観察 VG (e) (f)	1 2 3	平滑 うね状 キール	smooth ribbed keeled	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ Vymini	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	PQ (+)	舌状花のキールの数	Ray floret: number of keels	舌状花のキールの数	観察 VG (e) (f)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two	Vymini	
47	47	QN (*)	舌状花の花筒の長さ	Ray floret: length of corolla tube	舌状花の花筒の長さ	観察 VG (e) (f)	3 5 7	短 中 長	short medium long	錦かざぐるま	
48	48	QN (*) (+)	舌状花の最大幅部の横断面の形(管状でない舌状花)	Ray floret: profile in cross section at widest point (non-quilled florets)	舌状花の最大幅部の横断面の形 (管状でない舌状花に限る。)	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	縁が重なる強い凹 縁が接する強い凹 強い凹 やや凹 わずかに凹 平 わずかに凸 やや凸 強い凸 縁が接する強い凸 縁が重なる強い凸	strongly concave with margins overlapping strongly concave with margins touching strongly concave moderately concave weakly concave flat weakly convex moderately convex strongly convex strongly convex with margins touching strongly convex with margins overlapping		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
49	49	QN (+)	舌状花の周縁の巻き方(管状でない舌状花)	Ray floret: rolling of margin (non-quilled florets)	舌状花の周縁の巻き方（管状でない舌状花に限る。）	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7	強い内巻き 内巻き 弱い内巻き 平(巻かない) 弱い外巻き 外巻き 強い外巻き	strongly involute moderately involute weakly involute flat (not rolled) weakly revolute moderately revolute strongly revolute	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
50	50	PQ	舌状花の周縁の巻く部分の位置(管状でない舌状花)	Ray floret: position of part with rolled margin (non-quilled florets)	舌状花の周縁の巻く部分の位置（管状でない舌状花に限る。）	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7 8	基部 1/4 基部 1/2 基部 3/4 中央部 先端部 3/4 先端部 1/2 先端部 1/4 至る所	basal quarter basal half basal three quarters middle half distal three quarters distal half distal quarter throughout		
51	51	PQ	舌状花の筒部の形(ロート状、さじ状及び管状の舌状花)	Ray floret: profile of tube (funnel shaped, spatulate and quilled florets)	筒部の横断面の形（ロート状、さじ状及び管状の舌状花に限る。）	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4	円形 扁円形 平形 三角形	circular oblate flattened triangular	ﾋﾞｱﾘｯﾂ ｱﾅｽﾀｼｱ	
52	52	PQ (*) (+)	舌状花の縦断面の形状	Ray floret: longitudinal axis	舌状花の縦断面の形状	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6	内曲 平 外反 曲りくねる よじれ つまおれ	incurving straight reflexing sinusoidal twisted broken	神馬 Vymini	観賞ギクの玉巻き部分は除く。

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
53	53	QN	舌状花の縦断面の平でない部位（平でない舌状花）	Ray floret: longitudinal axis: part not straight (non-straight florets)	舌状花の縦断面の形状が平でない部分の割合（平でない舌状花に限る。）	観察 VG (e) (f)	3 5 7	先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4	distal quarter distal half distal three quarters		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
54	54	QN (+)	舌状花の縦断面の湾曲の強弱（平でない舌状花）	Ray floret: longitudinal axis: strength of curvature (non-straight florets)	舌状花の縦断面の湾曲の強弱（平でない舌状花に限る。）	観察 VG (e) (f)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
55	55	PQ (+)	舌状花の内花弁の縦断面の形状（半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s)	舌状花の内花弁の縦断面の形状（半八重、露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6	内曲 平 外反 曲りくねる よじれ つまおれ	incurving straight reflexing sinusoidal twisted broken		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
56	56	QN	舌状花の内花弁の縦断面の平でない部位（平でない舌状花で半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s) : part not straight (non-straight florets)	舌状花の内花弁の縦断面の平でない部分（平でない舌状花に限る）（半八重、露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)	3 5 7	先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4	distal quarter distal half distal three quarters		観賞ギクの玉巻き部分は除く。

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	57	QN (+)	舌状花の内花弁の縦断面の湾曲の強弱(平でない舌状花で半八重､露心する八重及び八重品種に限る。)	Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s): strength of curvature (non-straight florets)	舌状花の内花弁の縦断面の湾曲の強弱（平でない舌状花に限る）（半八重、露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		観賞ギクの玉巻き部分は除く。
58	58	QN (*)	舌状花の長さ	Ray floret: length	舌状花の長さ	測定 ㎜ MS (e) (f)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾖﾀﾞﾄﾗﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ、ｾｲﾛｰｻﾞ	観賞ギクは形質 101 に記載
59	59	QN (*)	舌状花の幅	Ray floret: width	舌状花の幅	測定 ㎜ MS (e) (f)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾖﾀﾞﾄﾗ、Vymini ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ、ｾｲﾛｰｻﾞ	観賞ギクは形質 102 に記載
60	60	QN (*)	舌状花の長さ／幅	Ray floret: ratio length/width	舌状花の幅に対する長さの比（舌状花の長さ／舌状花の幅）	測定 比 MS (e) (f)	3 5 7	低 中 高	low medium high	Vymini 神馬	観賞ギクは形質 103 に記載

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
61	61	PQ (+)	舌状花の先端の形	Ray floret: shape of tip	舌状花の先端の形	観察 VG (e) (f)	1 2 3 4 5 6 7 8	尖る 丸 切型 窪む 歯状 突起状 浅い切込み 深い切込み	pointed rounded truncate emarginate dentate mamillate fringed laciniate	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ Dekyen ｾｲﾛｰｻﾞ	
62	62	QL (*) G	舌状花の表面の色数	Ray floret: number of colors of inner side	舌状花の表面の色数	観察 VG (e) (f)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
63	63	PQ (*) G	舌状花の表面の主な色	Ray floret: main color of inner side	舌状花の表面の主な色	観察 VG (e) (f) (g)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
64	64	PQ (*) G	舌状花の表面の二次色	Ray floret: second color of inner side	舌状花の表面の二次色	観察 VG (e) (f) (g)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
65	65	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の分布	Ray floret: distribution of second color of inner side	舌状花の表面の二次色の分布	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4 基部 3/4 基部 1/2 基部 1/4 基部 縁上 縁部 中央部の縦線 横断（帯状）	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin on marginal zone central bar transverse zone [band] throughout		
66	66	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の型	Ray floret: pattern of second color of inner side	舌状花の表面の二次色の型	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7	一様又はほぼ一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条 斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled	ｾｱｰﾃｨｽﾄﾋﾟﾝｸ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
67	67	PQ	舌状花の表面の三次色	Ray floret: third color of inner side	舌状花の表面の三次色の色	観察 VG (e) (f) (g)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
68	68	PQ (+)	舌状花の表面の三次色の分布	Ray floret: distribution of third color of inner side	舌状花の表面の三次色の分布	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4 基部 3/4 基部 1/2 基部 1/4 基部 縁上 縁部 中央部の縦線 横断（帯状） 至る所	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin on marginal zone central bar transverse zone [band] throughout		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
69	69	PQ (+)	舌状花の表面の三次色の型	Ray floret: pattern of third color of inner side	舌状花の表面の三次色の型	観察 VG (e) (f) (g)	1 2 3 4 5 6 7	一様又はほぼ一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条 斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled		
70	70	QL (*)	舌状花の表面と比較した裏面の色の類似性（ロート状、管状及びさじ状の花弁の花筒部を含む。）	Ray floret: color of outer side compared to inner side (including tube for funnel-shaped, quilled and spatulate florets)	舌状花の表面と比較した裏面の色の類似性（ロート状、管状及びさじ状の花弁の花筒部を含む）	観察 VG (e) (f)	1 2	類似する 著しく異なる	similar markedly different	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ 錦かざぐるま	
71	71	PQ (*)	舌状花の裏面の色	Ray floret: color of the outer side	舌状花の裏面の色	観察 VG (e) (f)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
72	72	PQ	舌状花の内花弁の表面の色（半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	Only semi double, daisy-eyed double and double varieties (see char. 30): Ray floret: color of inner side of inner row(s) (if different from outer row)	舌状花の内花弁の表面の色（半八重、露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
73	73	PQ	舌状花の内花弁の裏面の色（半八重、露心する八重及び八重品種に限る。）	Only semi double, daisy-eyed double and double varieties (see char. 30): Ray floret: color of outer side of inner row(s) (if different from outer row)	舌状花の内花弁の裏面の色（半八重、露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
74	74	QN	花盤の直径(デイジー型の一重及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties (see char. 30) which are daisy type (see char. 31): Disc: diameter	花盤の直径（デイジー型（形質 31 参照）の一重及び半八重品種（形質 30 参照）に限る。）	測定 ㎜ MS (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ、ｾｲﾛｰｻﾞ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
75	75	QN	花盤の直径(アネモネ型の一重及び半八重品種に限る。)	Only single and semi double varieties (see char. 30) which are anemone type (see char. 31): Disc: diameter	花盤の直径 (アネモネ型(形質 31 参照)の一重及び半八重品種(形質 30 参照)に限る。)	測定 mm MS (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
76	76	QN (*) (+)	花盤の頭花に対する直径の大きさ(一重及び半八重品種に限る。)	Only single and semi double varieties (see char. 30): Disc: diameter relative to head diameter	花盤の頭花に対する直径の大きさ (花盤の直径/頭花の直径)(一重及び半八重品種(形質 30 参照)に限る。)	測定 MS (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ Vymini	
77	77	PQ (+)	花盤の断面の形(デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: profile in cross section	花盤の断面の形 (デイジー型の品種(形質 31 参照)に限る。)	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6	窪む 平 ややドーム状 やや円錐状 強いドーム状 強い円錐状	indented flat slightly domed slightly conical strongly domed strongly conical		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
78	78	PQ (*)	花盤の開やく前の色の区分(デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color group before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の色（デイジー型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e) (h)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	白 緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 赤褐 褐 褐黒 紫黒	whitish green yellowish green light yellow medium yellow yellow orange orange reddish brown brown brownish black purplish black	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	
79	79	QL (*) (+)	花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無(デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: presence of dark spot at centre before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の中央暗色スポットの有無（デイジー型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e) (h)	1 9	無 有	absent present	ﾊﾞｲｷﾝｸﾞ	
80	80	QN	花盤と比較した開やく前の中央暗色スポットの大きさ(デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: size of dark spot at centre before anther dehiscence, relative to disc size	花盤と比較した裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の中央暗色スポットの大きさ（デイジー型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG/MS (e) (h)	3 5 7	小 中 大	small medium large	AAMMIL	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
81	81	PQ	花盤の開やく前の中央暗色スポットの色(デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color of dark central spot before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の中央暗色スポットの色（デイジー型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e) (h)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
82	82	PQ (*)	花盤の開やく前の色(アネモネ型の品種に限る。)	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc: color before anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）し始める前の管状花が集まった部分の色（アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e) (h)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
83	83	PQ (+)	花盤の開やく時の色(デイジー型の品種に限る。)	Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color group at anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）した管状花が集まった部分を自然状態で総合的に観察した色（デイジー型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	白 緑 黄緑 淡黄 黄 黄橙 橙 赤褐 褐 褐黒 紫黒	whitish green yellowish green light yellow medium yellow yellow orange orange reddish brown brown brownish black purplish black	ﾌｨｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟﾝｸ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
84	84	PQ (*) (+)	花盤の開やく時の色(アネモネ型の品種に限る。)	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc: color at anther dehiscence	花盤における裂開（開やく）した管状花が集まった部分を自然状態で総合的に観察した色（アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
85	85	PQ (+)	管状花の形(アネモネ型の品種に限る。)	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: type	花盤の裂開（開やく）した管状花の形（アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e)	1 2 3 4 5	針形 管状 ロート形 広がった管状 花弁状	needle shaped quilled funnel shaped enlarged tubular petaloid		
86	86	QN	管状花の長さ(アネモネ型の品種に限る。)	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: length	花盤の裂開（開やく）した管状花の長さ（アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	測定 ㎜ MS (e)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
87	87	PQ	管状花の色(アネモネ型の品種に限る。)	Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: color	花盤の裂開（開やく）した管状花の内面及び外面の視認できる色（アネモネ型の品種（形質 31 参照）に限る。）	観察 VG (e)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
88	88	PQ (+)	日長感応グループ（正確な日長制御での栽培）	Response group (grown with precise daylength control)	日長感応グループ（正確な日長制御（短日処理）で栽培した場合に限る。）	測定 週 MG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	6 週間未満 6 週間 6.5 週間 7 週間 7.5 週間 8 週間 8.5 週間 9 週間 10 週間 11 週間 12 週間 13 週間以上	less than 6 weeks 6 weeks 6.5 weeks 7 weeks 7.5 weeks 8 weeks 8.5 weeks 9 weeks 10 weeks 11 weeks 12 weeks more than 12 weeks		
89	89	QN (+)	自然の開花時期（正確な日長制御なしで栽培された場合に限る。）	Only where grown without precise daylength control: Natural flowering period	自然の開花時期（正確な日長制御なしで栽培された場合に限る。）（形質 88 を記載すれば本形質は不要。）	観察 VG/ MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
90		QLG	開花習性	Flowering habits	開花習性	観察 VG/MG	1 2 3 4	4 月～6 月咲き（夏ギク） 7 月～9 月咲き（夏秋ギク） 10 月～11 月咲き（秋ギク） 12 月～2 月咲き（寒ギク）	April to June July to September October to November December to February		
91		QNG	各開花習性における早晩性	Earliness in each flowering habits	各開花習性における早晩性 （形質 88 で記載した場合は不要。）	観察 VG/MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late		
92		QN	側枝の多少（切り花用一輪ギク品種に限る。）	Disbuded type for cut flower only : number of lateral buds	茎の上部 1/3 に発生する側枝の多少 （切り花用一輪ギク品種に限る。）	測定 MS	1 2 3 5 6 7	無又は極少 かなり少 少 中 やや多 多	absent or very few very few to few few medium medium to many many	笑王 神馬	
93		QN (+)	頭花の直径（摘らいした観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Flower head: diameter (disbudded plants)	自然開花状態での頭花の直径 （摘らいした観賞ギクに限る。）	測定 ㎜ MS (d) (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	兼六香菊 国華吉兆	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
94		QN (+)	頭花の高さ（摘らいした観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Flower head: height (disbudded plants)	自然開花状態での頭花の高さ（摘らいした観賞ギクに限る。）	測定 ㎜ MS (d) (e)	3 5 7	低 中 高	low medium high	国華の幸 国華吉兆	
95		PQ (+) G	頭花の舌状花の主要な形（観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Flower head: predominant type of ray floret	頭花の舌状花の主要な形（観賞ギクに限る。）	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 舟底状 樋状 管状 1 管状 2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped quilled1 quilled2 spatulate anemone shaped		
96		PQ (+) G	頭花の舌状花の二次的な形（観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Flower head: secondary type of ray floret	頭花の舌状花の二次的な形（観賞ギクに限る。）	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 舟底状 樋状 管状 1 管状 2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped quilled1 quilled2 spatulate anemone shaped		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
97		PQ (+)	頭花の舌状花の三次的な形(観賞ぎくに限る。)	Only Exhibition type: Flower head: tertiary type of ray floret	頭花の舌状花の三次的な形（観賞ギクに限る。）	観察 VG (e)	1 2 3 4 5 6 7	舌状 舟底状 樋状 管状 1 管状 2 さじ状 丁字状	ligulate incurved gutter-shaped quilled1 quilled2 spatulate anemone shaped		
98		PQ	舌状花の基部の向き(露心する八重及び八重品種に限る。)	Only daisy-eyed double and double varieties (see char. 30): Ray floret: attitude of basal part	頭花の舌状花の基部の向き（露心する八重及び八重品種（形質 30 参照）に限る。）	観察 VG (e) (f)	3 5 7	斜上 水平 斜下	moderately ascending horizontal moderately descending		
99		PQ (+)	管弁の返しの大きさ(舌状花の主要な形が管状２の観賞ぎくに限る。)	Only Exhibition type: only tube2 varieties on predominant type of ray floret: Projection at mouth of corolla tube	管弁の典型的な返しの大きさ（舌状花の主要な型が管状２の観賞ギクに限る。）	観察 VG (e)	3 5 7	小 中 大	small medium large	泉郷情熱	
100		PQ (+)	管弁の玉巻きの強弱(舌状花の主要な形が管状２の観賞ぎくに限る。)	Only Exhibition type: only tube2 varieties on predominant type of ray floret :Rolling of tip	管弁の典型的な玉巻きの強弱（舌状花の主要な型が管状２の観賞ギクに限る。）	観察 VG (e)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	天女の名所	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
101	58	QN	舌状花の長さ（観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Ray floret: length	舌状花の長さ（観賞ギクに限る。）	測定 ㎜ MS (e) (f)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
102	59	QN	舌状花の幅（観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Ray floret: width	舌状花の幅（観賞ギクに限る。）	測定 ㎜ MS (e) (f)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
103	60	QN	舌状花の長さ／幅（観賞ぎくに限る。）	Only Exhibition type: Ray floret: ratio length/width	舌状花の幅に対する長さの比（舌状花の長さ／舌状花の幅）（観賞ギクに限る。）	測定 比 MS (e) (f)	3 5 7	低 中 高	low medium high		
104		QN	管状花の花冠の深裂の深さ（花盤の型がアネモネ型の品種は除く。）	Excluding anemone type varieties : disc florets : lobation	管状花の花冠の深裂の深さ（露心する八重、八重品種は除く、花盤の型がアネモネ型の品種は除く。）	観察 VG (e)	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep		

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 2　草型　Char.2　Plant: type

1. 叢生でない : 側枝の有無にかかわらず、ピンチしなければ、自然にひとつの茎を生成する強い頂芽優勢を持つ品種。
2. 叢生 : 主要な一本の茎を持たず、自然に藪のような生育を生み出す、弱い頂芽優勢を持つ品種。

形質 3　草姿（叢生品種に限る。）　Char.3　Only bushy varieties: Plant: growth habit



1
直立
upright

2
半直立
semi upright

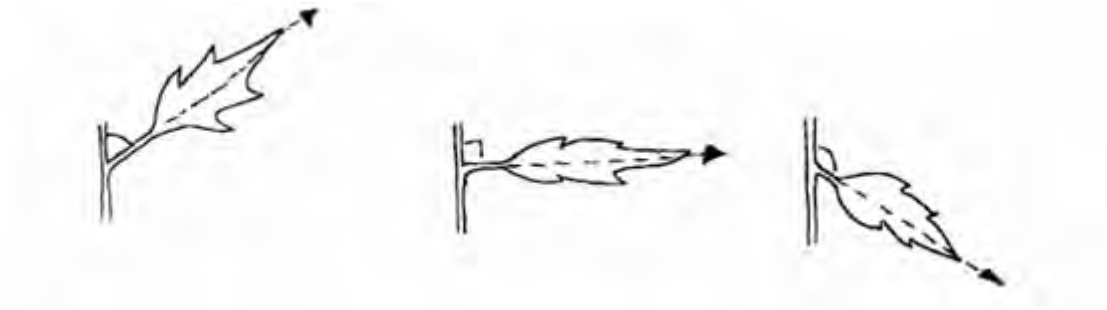
3
半球
hemispherical



4
開張
spreading

5
先端が這う
trailing

形質 7　葉柄の向き　Char.7　Petiole: attitude

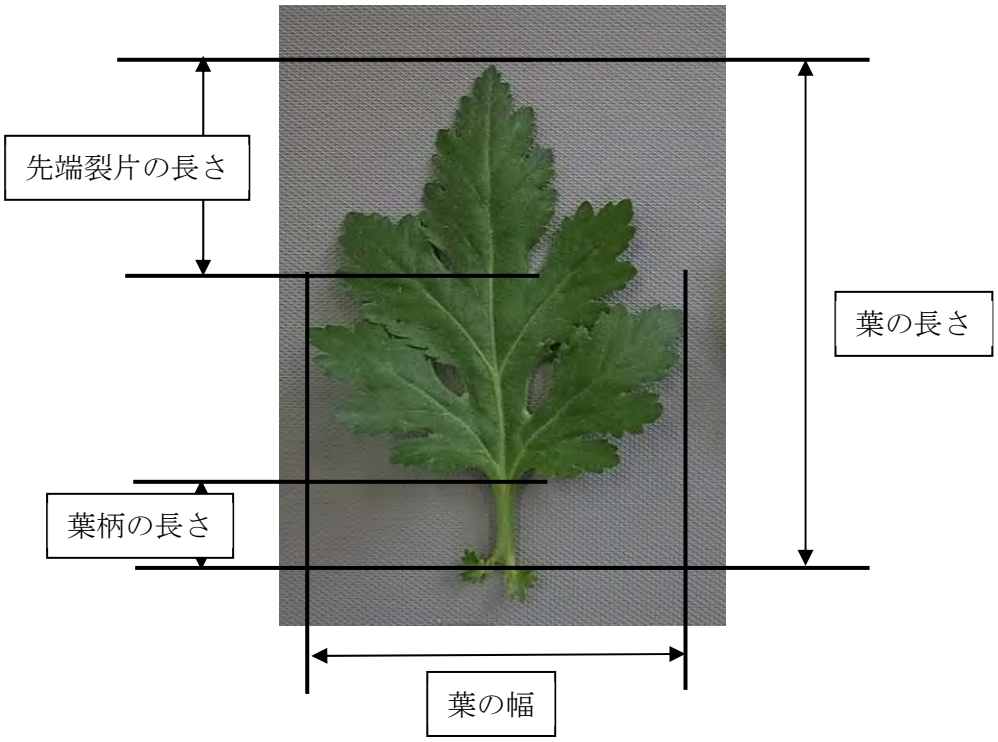


3
斜上
moderately upwards

5
水平
horizontal

4
斜下
moderately downwards

形質 8　葉柄の葉長に対する長さ　　Char.8　Petiole: length relative to leaf length
形質 9　葉の長さ　　Char.9　Leaf: length including petiole
形質 10　葉の幅　　Char.10　　Leaf: width
形質 11　葉の長さ／幅　　Char.11　　Leaf: ratio length/width

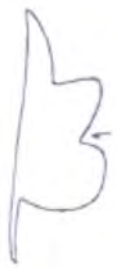


形質 12　葉の先端裂片の相対的な長さ
Char.12　Leaf: length of terminal lobe relative to leaf length



3	5	7
短	中	長
short	medium	long

形質 13　葉の一次欠刻の深さ　Char.13　Leaf: depth of lowest lateral sinus



3
浅
shallow



5
中
medium



7
深
deep

形質 15　葉の基部の形　Char.15　Leaf: predominant shape of base



1
鋭形
acute



2
鈍形
obtuse



3
円形
rounded



4
平形
truncate



5
凹形
cordate

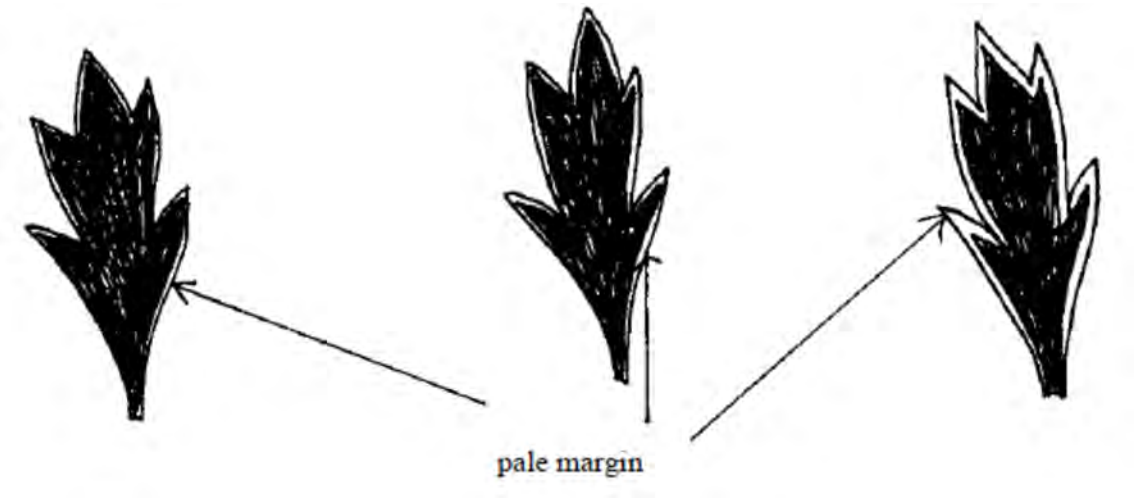


6
非対称
asymmetric

非対称の品種の基部の形はそれぞれ異なるかもしれないが、非対称の基部を持つ品種はこの形質を状態 6 として観察する。

形質 18　葉の表面の周縁淡色部の顕著さ（*Chrysanthemum* ×*morifolium* 品種を除く。）

Char.18　Excluding varieties of *Chrysanthemum* ×*morifolium*: Leaf: upper side: prominence of pale margin



3	5	7
弱	中	強
weak	medium	strong

形質19　葉の裏面の毛の粗密（*Chrysanthemum* ×*morifolium* 品種を除く。）

Char.19　Excluding varieties of *Chrysanthemum* ×*morifolium*: Leaf: pubescence of lower side

形質20　葉の裏面の色（*Chrysanthemum*×*morifolium*品種を除く。）

Char.20　Excluding varieties of *Chrysanthemum*×*morifolium*: Leaf: color of lower side

Chrysanthemum pacificum（*Ajania pacifica*）及び*Chrysanthemum pacificum*と *Chrysanthemum*×*morifolium* Ramat(*Chrysanthemum*×*grandiflorum* Ramat)間の全ての交雑種について観察する。

形質21　葉の周縁の二次欠刻の数

Char.21　Leaf margin: number of indentations



3	5	7
少	中	多
few	medium	many

形質22　葉の周縁の二次欠刻の深さ

Char.22　Leaf margin: depth of indentations



3	5	7
浅	中	深
shallow	medium	deep

形質23　花序の形（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）

Char.23　Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: form



1	2	3	4	5
円錐形	深いドーム形	円筒形	散房花序型	平らな散房花序型
conical	deeply domed	cylindrical	corymbiform	flat-corymbiform

形質25　花序の一次分枝の着生角度（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）

Char.25　Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: angle between primary lateral shoot and stem



3
小
small



5
中
medium



7
大
large

形質26　花序の側枝の頭花の向き（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）

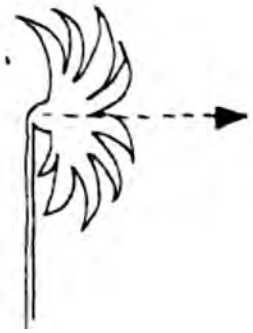
Char.26　Only non-bushy varieties (see char. 2): Inflorescence: attitude of lateral flower heads



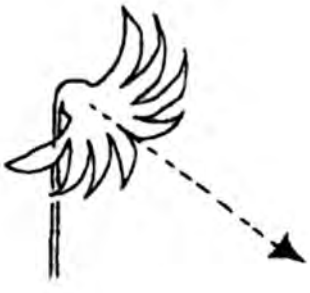
1
上
upright



3
斜上
semi upright



5
水平
horizontal



7
斜下
moderately downwards

形質27　一茎当たりの頭花の総数（叢生でない品種（形質2参照）に限る。）
Char.27　Only non-bushy varieties: (see char. 2):Total number of flower heads per stem

形質28　株当たりの頭花の総数（叢生品種（形質2参照）に限る。）
Char.28　Only bushy varieties (see char. 2): Total number of flower heads per plan

開花する花全てで判断する。

形質30　頭花の型　Char.30　Flower head: type

1　舌状花なし：　管状花のみの頭花

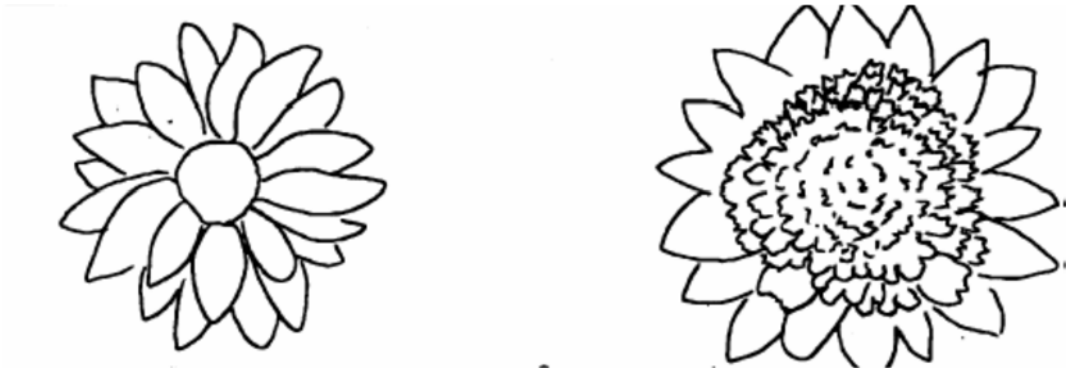
2　一重：1列の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有する頭花。

3　半八重：2列以上の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有する頭花。

4　露心する八重：花盤が開花の初期段階は見えないが、頭花が完全に開くと露心する頭花。花盤は、常に明らかとは限らない。

5　八重：開花のどのステージでも花盤が露心しない頭花。

形質31　花盤の型（八重及び露心する八重品種を除く。）
Char.31　Excluding double and daisy-eyed double varieties: disc: type



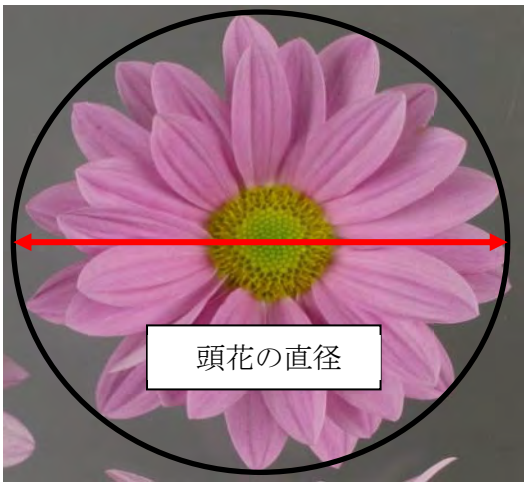
1
デイジー
daisy

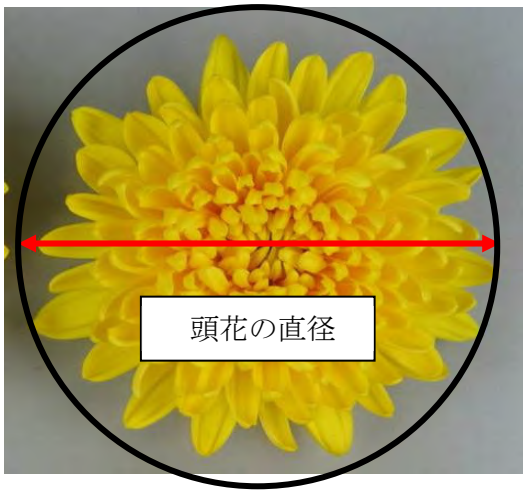
2
アネモネ
anemone

形質32　頭花の直径（摘らいしていないもの。）
Char.32　Flower head: diameter (non-disbudded plants)

形質33　頭花の直径（摘らいしたもの。）
Char.33　Flower head: diameter (disbudded plants)

形質93　頭花の直径（摘らいした観賞ぎくに限る。）
Char.93　Only Exhibition type: Flower head: diameter (disbudded plants)

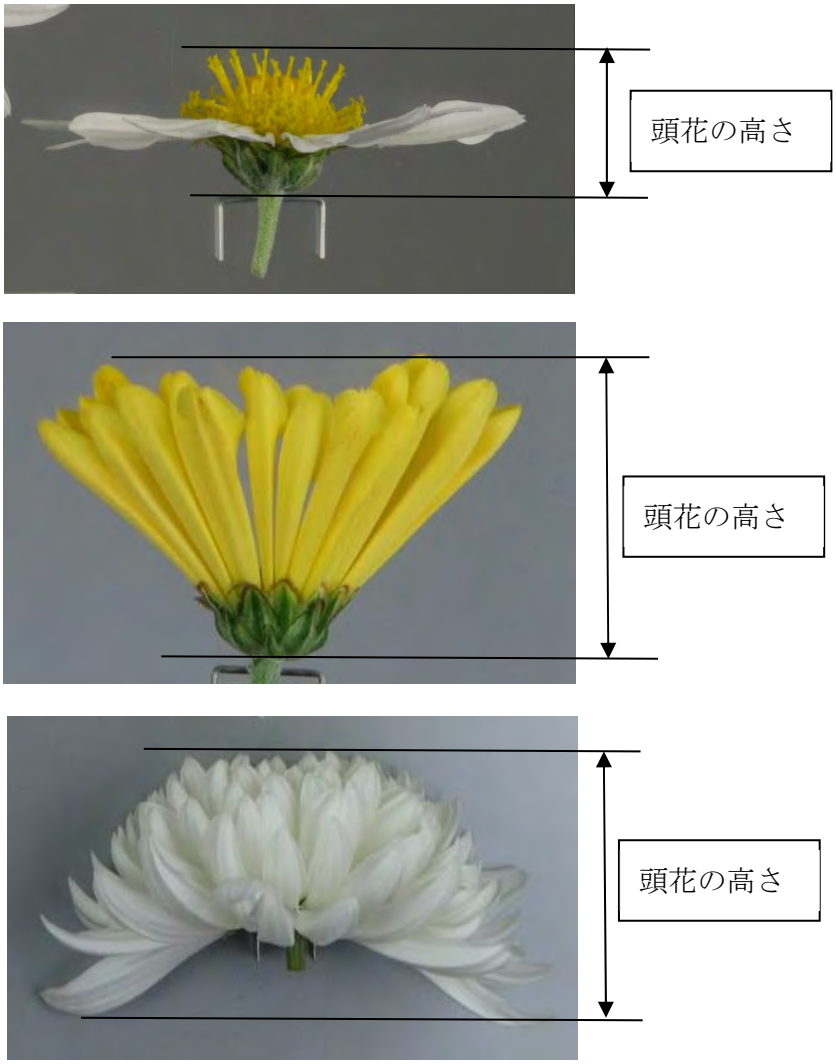




形質34　頭花の高さ（摘らいしていないもの。）
Char.34　Flower head: height (non disbudded plants)

形質35　頭花の高さ（摘らいしたもの。）
Char.35　Flower head: height (disbudded plants)

形質94　頭花の高さ（摘らいした観賞ぎくに限る。）
Char.94　Only Exhibition type: Flower head: diameter (disbudded plants)



形質40　頭花の舌状花の形の数
Char.40　Flower head: number of types of ray florets
　頭花の舌状花の形の数は、形質40で記録する；そして、個々の形は形質41～43で記載する。

形質41　頭花の舌状花の主要な形　Char.41　Flower head: number of types of ray florets

形質42　頭花の舌状花の二次的な形　Char.42　Flower head: secondary type of ray floret

形質43　頭花の舌状花の三次的な形　Char.43　Flower head: tertiary type of ray floret



1
舌状
ligulate



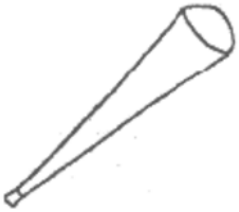
2
舟底状
incurved



3
さじ状
spatulate

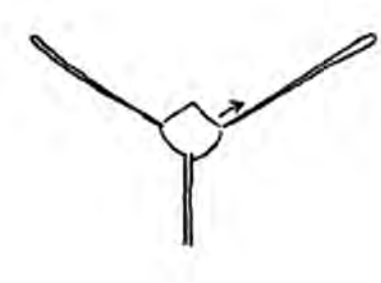


4
管状
quilled

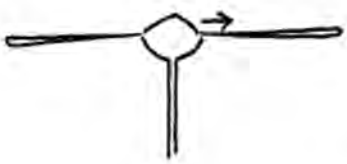


5
ロート状
funnel shaped

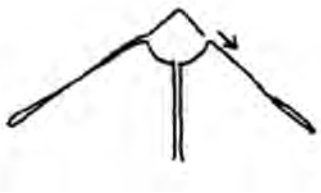
形質44　舌状花の基部の向き（一重及び半八重品種（形質30 参照）に限る。）
Char.44　Only single and semi double varieties (see char. 30): Ray floret: attitude of basal part



3
やや上向き
moderately ascending



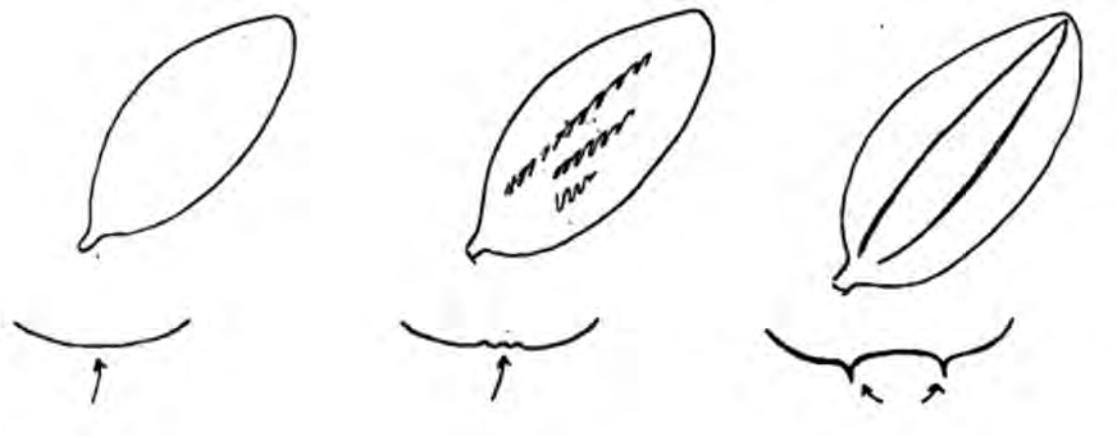
5
水平
horizontal



7
やや下向き
moderately descending

形質45　舌状花の表面の状態

Char.45　Ray floret: upper surface



1	2	3
平滑	うね状	キール
smooth	ribbed	keeled

形質46　舌状花のキールの数

Char.46　Ray floret: number of keels



1	2	3
1	2	3以上
one	two	more than two

形質48　舌状花の最大幅部の横断面の形（管状でない舌状花）

Char.48　Ray floret: profile in cross section at widest point (non-quilled florets)

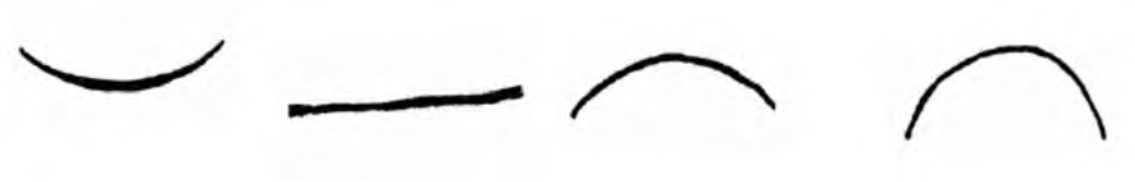


1
縁が重なる強い凹
strongly concave with margins overlapping

2
縁が接する強い凹
strongly concave with margins touching

3
かなり凹
strongly concave

4
やや凹
moderately concave



5
わずかに凹
weakly concave

6
平
flat

7
わずかに凸
weakly convex

8
やや凸
moderately convex



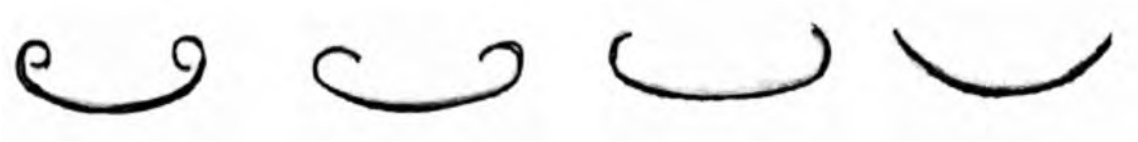
9
強い凸
strongly convex

10
縁が接する強い凸
strongly convex with margins touching

11
縁が重なる強い凸
strongly convex with margins overlapping

形質49　舌状花の周縁の巻き方（管状でない舌状花）

Char.49　Ray floret: rolling of margin (non-quilled florets)



1
強い内巻き
strongly involute

2
内巻き
moderately involute

3
弱い内巻き
weakly involute

4
平（巻かない）
flat (not rolled)



5
弱い外巻き
weakly revolute

6
外巻き
moderately revolute

7
強い外巻き
strongly revolute

形質52　舌状花の縦断面の形状　Char.52　Ray floret: longitudinal axis

形質55　舌状花の内花弁の縦断面の形状（半八重、露心する八重及び八重品種（形質30 参照）に限る。）

Char.55　Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s)



1
内曲
incurving

2
平
straight

3
外反
reflexing



4
曲りくねる
sinusoidal

5
よじれ
twisted

6
つまおれ
broken

形質54　舌状花の縦断面の湾曲の強弱（平でない舌状花）

Char.54　Ray floret: longitudinal axis: strength of curvature (non-straight florets)

形質57　舌状花の内花弁の縦断面の湾曲の強弱（平でない舌状花で半八重、露心する八重及び八重品種（形質30 参照）に限る。）

Char.57　Only semi double, daisy-eyed double and double varieties: Ray floret: longitudinal axis of inner row(s) : strength of curvature (non-straight florets)



3
弱
weak

5
中
medium

7
強
strong

形質61　舌状花の先端の形　Char.61　Ray floret: shape of tip



1
尖る
pointed

2
丸
rounded

3
切型
truncate

4
窪む
emarginate



5
歯状
dentate

6
突起状
mamillate

7
浅い切込み
fringed

8
深い切込み
laciniate

形質65　舌状花の表面の二次色の分布

Char.65　Ray floret: distribution of second color of inner side

形質68　舌状花の表面の三次色の分布

Char.68　Ray floret: distribution of third color of inner side



1
先端
at tip

2
先端部 1/4
distal quarter

3
先端部 1/2
distal half



4
先端部 3/4
distal three quarters

5
基部 3/4
basal three quarters

6
基部 1/2
basal half



7
基部 1/4
basal quarter

8
基部
at base

9
縁上
on margin



10
縁部
on marginal zone

11
中央部の縦線
central bar

12
横断（帯状）
transverse zone [band]

13
至る所
throughout

形質66　舌状花の表面の二次色の型
Char.66　Ray floret: pattern of second color of inner side

形質69　舌状花の表面の三次色の型
Char.69　Ray floret: pattern of third color of inner side



1
一様又はほぼ一様
solid or nearly solid



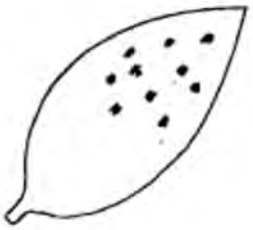
2
ぼかし
flushed



3
不明瞭な条
diffuse stripes



4
明瞭な条
clearly defined stripes



5
斑点
flecked



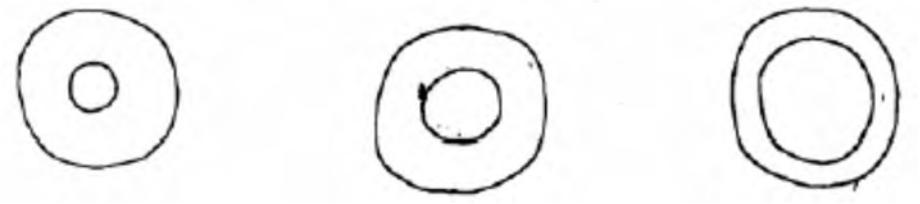
6
斑点及び条
flecked and striped



7
まだら
mottled

形質76　花盤の頭花に対する直径の大きさ（一重及び半八重品種（形質30参照）に限る。）

Char.76　Only single and semi double varieties (see char. 30): Disc: diameter relative to head diameter



3
小
small

5
中
medium

7
大
large

形質77　花盤の断面の形（デイジー型の品種（形質31 参照）に限る。）

Char.77　Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: profile in cross section



1
窪む
indented

2
平
flat

3
ややドーム状
slightly domed



4
やや円錐状
slightly conical

5
強いドーム状
strongly domed

6
強い円錐状
strongly conical

形質79 花盤の開やく前の中央暗色スポットの有無（デイジー型の品種に限る。）

Char.79　Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: presence of dark spot at centre before anther dehiscence

1
無
absent



9
有
present

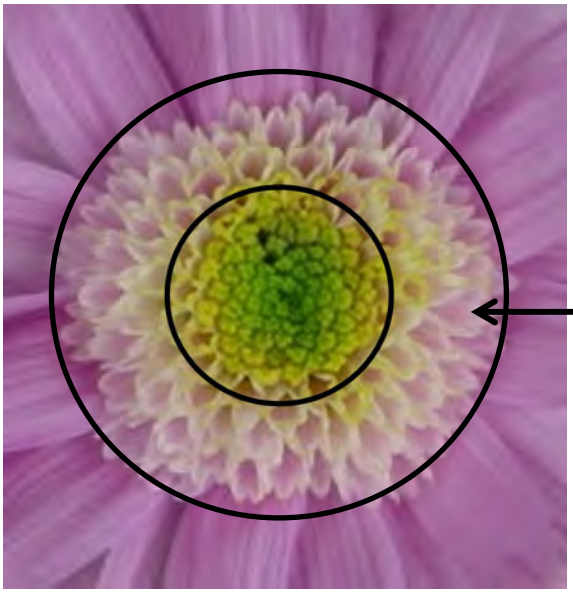




形質83　花盤の開やく時の色（デイジー型の品種に限る。）
Char.83　Only daisy type varieties (see char. 31): Disc: color group at anther dehiscence



形質84　花盤の開やく時の色（アネモネ型の品種に限る。）
Char.84　Only anemone type varieties (see char. 31): Disc: color at anther dehiscence



形質85　菅状花の形（アネモネ型の品種（形質31 参照）に限る。）
Char.85　Only anemone type varieties (see char. 31): Disc floret: type



1
針形
needle shaped



2
管状
quilled



3
ロート形
funnel shaped



4
広がった管状
enlarged tubular



5
花弁状
petaloid

形質88　日長感応グループ（正確な日長制御での栽培）
Char.88　Response group (grown with precise daylength control)
形質89　自然の開花時期（正確な日長制御なしで栽培された場合に限る。）
Char.89　Only where grown without precise daylength control: Natural flowering period

キクは、気候条件と地域によって非常に広範囲な栽培管理法で栽培することができる。試験を設計し比較する品種を選択する場合、明確に一つの栽培型が適用するか、多目的の品種の場合は他の作型も適用するか、これらを考慮するべきである。

供試品種が周年タイプシステム（ＡＹＲ）の正確な日長制御の下で栽培され開花する場合、日長感応グループ（形質88）が記録される。

日長感応グループは、摘らいしないキクの場合、短日処理の開始から半数の植物体が一花房当たり少なくとも4つの頭花が十分に展開するまでの期間として定義される。

自然環境下で栽培された品種については、自然の開花時期 (形質89) を記録する。

これらの形質における品種間の正確な比較は、同じ場所、同じ条件で栽培されたときのみ意味のあるものである。

形質95　頭花の舌状花の主要な形（観賞ぎくに限る。）

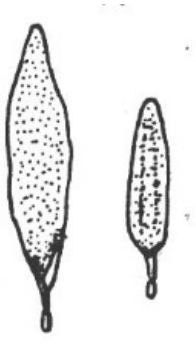
Char.95　Only Exhibition type: Flower head: predominant types of ray florets

形質96　頭花の舌状花の二次的な形（観賞ぎくに限る。）

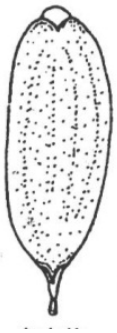
Char.96　Only Exhibition type: Flower head: secondary type of ray florets

形質97　頭花の舌状花の三次的な形（観賞ぎくに限る。）

Char.97　Only Exhibition type: Flower head: tertiary types of ray florets



1
舌状
ligulate



2
舟底状
incurved



3
樋状
gutter-shaped



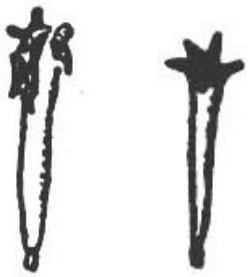
4
管状 1
quilled 1



5
管状 2
quilled 2



6
さじ状
spatulate



7
丁字状
anemone shaped

形質 99　管弁の返しの大きさ（舌状花の主要な形が管状 2 の観賞ぎくに限る。）

Char.99　Only Exhibition type: Only tube2 varieties on predominant type of ray floret: Projection at mouth of corolla tube



3	5	7
小	中	大
small	medium	large

形質 100　管弁の玉巻きの強弱（舌状花の主要な形が管状 2 とした観賞ぎくに限る。）

Char.100　Only Exhibition type: Only tube2 varieties on predominant type of ray floret :Rolling of tip(Only Exhibition type)



3	5	7
弱	中	強
weak	medium	strong

（別添参考）調査適期とする「満開時」の頭花の開花状態について

一重及び半八重品種は、先端の頭花の花盤の外から２～３列の管状花が裂開した時。



デイジータイプ

裂開した管状花





アネモネタイプ

裂開した管状花
（丁字状花）



八重品種は、先頭の頭花が十分に開いている時で、劣化したように見え始める前。

八重タイプ



頭花が十分に開いた時
（花芯が僅かに残る程度まで開花した状態。それより前に花弁の劣化が始まる場合は、その時点を調査期とする。）



資料 1-3-16

2026 年　月
TG/226/1 2006-04-05 に準拠

ダリア属

Dahlia

(*Dahlia* Cav.)

(案)

ダリア属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、キク科（*Asteraceae*）ダリア属（*Dahlia* Cav.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　種子、発根苗又は塊根

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　種子繁殖性品種の場合　　1,000 粒

栄養繁殖性品種の場合　　20 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　種子繁殖性品種の場合　40 個体

栄養繁殖性品種の場合　12 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、種子繁殖性品種にあっては、植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個について、栄養繁殖性品種の場合は、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、すべての形質は満開時において実施する。満開時とは、頭花の型等の別に次のとおりとする。

・デイジー型品種は管状花が３列程度開花した時

・アネモネ型品種は管状花（丁字状花）の 70～80%が開花した時

・露心する八重品種及び八重品種は舌状花の 70～80%が開花した時

頭花の形質は、一番花で調査する。

特性表の調査方法欄に以下の記号を含む形質については、次により調査を行う。

(a) 葉の形質は、小葉の数にかかわらず茎の中央部からとられた典型的な葉の表面で調査する。

(b) 舌状花の長さ及び幅は、最も外側の列の舌状花弁で調査する。

(c) 一重以外の品種は、特に指示がない限り、舌状花の長さと幅の形質以外は、最外列と最内列を除いた典型的な花弁で調査する。

(d) 主な色は、全体で最大の表面積を占めている色とする。また、二次色は、全体で２番目の面積を占めている色とする。さらに、三次色は、全体で３番目の面積を占めている色とする。

ｖ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種及び自家受粉品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 12 の場合、許容される異型個体数は 1 である。供試個体数が 40 の場合、許容される異型個体数は 2 である。

他家受粉品種及び交雑品種にあっては、上記一般基準の第４の２(２)及び(３)をそれぞれ適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ｉ）葉の色（形質９）

ii）頭花の型（形質 23）

iii）頭花の花盤の型（一重品種及び半八重品種に限る。）（形質 24）

iv）頭花の直径（形質 27）

ｖ）舌状花の表面の色数（形質 45）

vi）舌状花の表面の主要な色（形質 46）

以下の区分による。

Gr.1：白
Gr.2：黄白
Gr.3：黄
Gr.4：青銅
Gr.5：橙
Gr.6：橙赤
Gr.7：サーモン
Gr.8：桃
Gr.9：赤
Gr.10：赤紫
Gr.11：紫
Gr12：青紫

vii）舌状花の表面の二次色（２色以上の品種に限る。）（形質 47）

以下の区分による。

Gr.1：白
Gr.2：黄白
Gr.3：黄
Gr.4：青銅
Gr.5：橙

Gr.6：橙赤
Gr.7：サーモン
Gr.8：桃
Gr.9：赤
Gr.10：赤紫
Gr.11：紫
Gr12：青紫

Ⅵ. 特性表で使用する記号の説明（Legend）
G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
(+)：Ⅷ. に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質 のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1	PQ (+)	草姿	Plant: growth habit	開花時の草姿	観察 VG	1 2 3 4	直立 半直立 半開張 開張	upright semi-upright semi- spreading spreading	祝盃、美榛 Carolina orange ﾀﾞﾄ	
2	2	QN (*)	草丈	Plant: height	開花時の地際から最高部位までの高さ	測定 ㎝ MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	ｷｰﾀﾞﾚｯﾄﾞ 祝盃 宇宙、Hot chocolate	
3	3	PQ (+)	茎の色	Stem: color	茎の中央部の色	観察 VG	1 2 3 4	緑 赤褐又は紫を帯びた緑 褐赤 紫	green green tinged with brownish red or purple brownish red purple	秋麗 祝盃、Carolina orange 美榛 ﾐｯﾄﾞﾅｲﾄﾑｰﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
4	4	PQ (+)	葉の型	Leaf: type	葉の典型的な型	観察 VG (a)	1 2 3 4 5	主に単葉 単葉及び１回羽状複葉 主に１回羽状複葉 １回羽状複葉及び２回羽状複葉 主に２回羽状複葉	predominantly simple simple and pinnate (no predominance) predominantly pinnate pinnate and bipinnate(no predominance) predominantly bipinnate	ｷｰﾀﾞﾚｯﾄﾞ Carolina orange 榛原の華 美榛	
5	5	QN (+)	葉軸の翼の強弱	Leaf: wing	葉軸の翼の強弱	観察 VG (a)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak moderate strong	ｱﾘｽ 美榛	
6	6	QN (*) (+)	葉の長さ	Leaf: length including petiole	葉柄を含んだ葉の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	Carolina orange ｱﾘｽ 宇宙	
7	7	QN (*) (+)	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 cm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	Carolina orange 宇宙	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
8	8	QN (*)	葉の長さ／幅	Leaf: length/width ratio	葉の長さ／幅の比率	測定 比 MS (a)	3 5 7	低 中 高	low medium high	 Carolina orange	
9	9	PQ (*) G	葉の色	Leaf: color	葉の色	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7	淡緑 緑 濃緑 赤褐を帯びた緑 紫を帯びた緑 赤褐 紫	light green medium green dark green green tinged with brownish red green tinged with purple brownish red purple	 Red fox 祝盃 ﾐｯﾄﾞﾅｲﾄﾑｰﾝ ｼﾞｬﾊﾟﾆｰｽﾞﾋﾞｯｼｮｯﾌﾟ	
10	10	QN	葉の光沢の強弱	Leaf: glossiness	葉の光沢の強弱	観察 VG (a)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	Red fox PaPagaya	
11	11	QN	葉の表面のしわの強弱	Leaf: texture of surface	葉の表面のしわの強弱	観察 VG (a)	1 2 3	平滑又は極弱 弱 強	smooth or very weakly rugose weakly rugose strongly rugose	Hot chocolate Carolina orange	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12	12	QN	葉の葉脈の凹凸	Leaf: veins	葉の表面から見た葉脈の凹凸	観察 VG (a)	1 2 3	凹 平 凸	depressed flat raised	 Carolina orange	
13	13	PQ (+)	小葉の形	Leaflet: shape	小葉の主な形 （複葉の品種は先端小葉で観察する。）	観察 VG	1 2 3	卵形 楕円形 倒披針形	ovate elliptic oblanceolate	Carolina orange 花笠	
14		QN	小葉の長さ	Leaflet: length	小葉の長さ（複葉の品種のみを対象とし、先端小葉について測定する。）	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	 祝盃 榛原の華	
15		QN	小葉の幅	Leaflet: width	小葉の幅（複葉の品種のみを対象とし、先端小葉について測定する。）	測定 cm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾀﾞﾄ ｱﾘｽ	
16	14	PQ (+)	小葉の基部の形	Leaflet:shape of base	小葉の基部の主な形 （複葉の品種は先端小葉で観察する。）	観察 VG	1 2 3 4 5 6	鋭形 鈍形 円形 切形 心形 非対称	acute obtuse rounded truncate cordate asymmetric		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17	15	QN (+)	小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）	Leaflet margin:number of incisions (excluding lobes)	小葉の周縁の鋸歯の多少（複葉の品種は先端小葉で観察する。）	観察 VG	3 5 7	少 中 多	few medium many	Passion、ｷｰﾀﾞﾚｯﾄﾞ Carolina orange	
18	16	QN (+)	小葉の周縁の鋸歯の深さ（裂片を除く。）	Leaflet margin: depth of incisions (excluding lobes)	小葉の周縁の鋸歯の深さ（複葉がある品種は先端小葉で観察する。）	観察 VG	3 5 7	浅 中 深	shallow medium deep	Hot chocolate Frivolous Glow	
19	17	QN	花柄の長さ	Peduncle: length	１番花の花柄部の長さ	測定 ㎝ MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｷｰﾀﾞﾚｯﾄﾞｱﾘｽ Red fox	
20	18	PQ	花柄の色	Peduncle: color	花柄部の色	観察 VG	1 2 3 4	緑 赤褐又は紫を帯びた緑 赤褐 紫	green green tinged with brownish red or purple brownish red purple	Carolina orange ﾐｯﾄﾞﾅｲﾄﾑｰﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
21	19	QN (*)	葉群に対する頭花の位置	Flower head: position in relation to foliage	葉群と比較した頭花の位置関係	観察 VG	1 2 3 4	葉群の下 葉群と同等 葉群のやや上 葉群の上	below foliage at same level moderately above foliage high above foliage	 Gallery Rubens Red fox	
22	20	QN (+)	頭花の向き	Flower head: attitude	頭花の花盤の垂線の傾斜角度	観察 VG	1 3 5 7	直立 半直立 水平 斜下	upright semi-upright horizontal moderately downward	祝盃 秋麗 ﾀﾞﾄ	
23	21	PQ (*) (+) G	頭花の型	Flower head: type	頭花の型	観察 VG	1 2 3 4	一重 半八重 露心する八重 八重	single semi-double daisy-eyed double double	ﾌﾛｰﾗﾙｽﾀｰ ｷｰﾀﾞｺﾗﾀﾞﾄ	
24	22	QL (*) (+) G	頭花の花盤の型（一重品種及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties(see char.23): Flower head: disc type	頭花の花盤の型	観察 VG	1 2	デイジー型 アネモネ型	daisy anemone	ｱﾏｿﾞﾝ ｱﾙﾍﾟﾝﾌﾞﾚｲｽﾞ	
25	23	QL (*) (+)	頭花の副弁の有無	Flower head: collar segments	頭花の副弁の有無	観察 VG	1 9	無 有（コラレット型）	absent present(collerette type)	 HGD-92-1、Famoso	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
26	24	QN	舌状花に対する副弁の長さ	Flower head: length of collar segments relative to ray florets	舌状花と比較した副弁の長さ(副弁のある品種に限る。)	観察 VG	3 5 7	舌状花の 1/4 程度 舌状花の 1/2 程度 舌状花の 3/4 程度	about quarter the length about half the length about three quarters the length	cher Ami Famoso	
27	25	QN (*) G	頭花の直径	Flower head: diameter	頭花の直径	測定 cm MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	榛原の華 Passion、秋麗	
28	26	QN (+)	頭花の高さ(八重品種及び露心する八重品種に限る。)	Only double and daisy-eyed double varieties (see char.23): Flower head: height	頭花の高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	Hot chocolate、祝盃	
29	27	QN (*)	頭花の舌状花の数(一重品種、半八重品種及び露心する八重品種に限る。)	Only single, semi double and daisy-eyed double varieties(see char.23):Flower head: number of ray florets	頭花の舌状花の数(副弁を除く。)	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	Carolina orange	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	28	QN (*)	頭花の舌状花の粗密（八重品種に限る。）	Only double varieties (see char.23): Flower head: density of ray florets	頭花の舌状花の粗密	観察 VG	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense	Karma Venture Karma Bob Bini Red fox	
31	29	QN (*)	舌状花の長さ	Ray floret: length	舌状花の最大の長さ	測定 ㎜ MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long	祝盃、Red fox 秋麗 宇宙	
32	30	QN (*)	舌状花の幅	Ray floret: width	舌状花の最大幅	測定 ㎜ VG (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｱﾘｽ 秋麗 宇宙	
33	31	QN (*)	舌状花の長さ／幅	Ray floret: length/ width ratio	舌状花の最大の長さ／舌状花の最大幅の比率	測定 比 MS (b)	3 5 7	低 中 高	low medium high	Bounty Dark Desire	
34	32	PQ (+)	舌状花の表面の形状	Ray floret: upper surface	舌状花の表面の形状	観察 VG (c)	1 2 3	平滑 うね状 キール状（竜骨突起）	smooth ribbed keeled		
35	33	PQ (+)	舌状花のキールの数（キール状品種に限る。）	Only keeled varieties (see char. 34) Ray floret: number of keels	舌状花のキール（竜骨突起）の数	観察 VG (c)	1 2 3	1 2 3以上	one two more than two		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36	34	QN (*) (+)	舌状花の中間部の横断面の形	Ray floret: profile in cross section at mid point	舌状花の中間部の横断面の形	観察 VG (c)	1	強く内曲し周縁部が重なる	strongly concave with margins overlapping		
							2	強く内曲し周縁部が接する	strongly concave with margins touching		
							3	強く内曲	strongly concave	Red fox	
							4	中程度の内曲	moderately concave	Jaimaica	
							5	弱く内曲	weakly concave	Salvador	
							6	平	flat	Dark Desire	
							7	弱く外曲	weakly convex	Karma Venture	
							8	中程度の外曲	moderately convex	Mick's Peppermint	
							9	強く外曲	strongly convex		
							10	強く外曲し周縁部が接する	strongly convex with margins touching		
							11	強く外曲し周縁部が重なる	strongly convex with margins overlapping	Alfred Grille	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
37	35	QN (+)	舌状花の基部から四分の三地点の横断面の形	Ray floret: profile in cross section at 3/4 point from base	舌状花の基部から3/4地点の横断面の形	観察 VG (c)	1	強く内曲し周縁部が重なる	strongly concave with margins overlapping		
							2	強く内曲し周縁部が接する	strongly concave with margins touching		
							3	強く内曲	strongly concave		
							4	中程度の内曲	moderately concave		
							5	弱く内曲	weakly concave		
							6	平	flat		
							7	弱く外曲	weakly convex		
							8	中程度の外曲	moderately convex		
							9	強く外曲	strongly convex		
							10	強く外曲し周縁部が接する	strongly convex with margins touching		
							11	強く外曲し周縁部が重なる	strongly convex with margins overlapping		
38	36	QN (+)	舌状花の周縁部の巻き方	Ray floret: rolling of margin	舌状花の周縁部の巻き方	観察 VG (c)	1	強い内巻き	strongly involute		
							2	内巻き	moderately involute		
							3	弱い内巻き	weakly involute	Carolina Orange	
							4	平（巻かない）	flat(not rolled)		
							5	弱い外巻き	weakly revolute		
							6	外巻き	moderately revolute		
							7	強い外巻き	strongly revolute		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
39	37	PQ	舌状花の周縁が巻く部分の位置	Ray floret: position of part with rolled margin	舌状花の周縁が巻く部分の位置	観察 VG (c)	1 2 3 4 5 6 7 8	基部から 1/4 まで 基部から 1/2 まで 基部から 3/4 まで 中央部 先端部から 3/4 まで 先端部から 1/2 まで 先端部から 1/4 まで 全体	basal quarter basal half basal three quarters middle half distal three quarters distal half distal quarter throughout	Hot chocolate Mick's Peppermint	
40	38	QN (*) (+)	舌状花の縦断面の形	Ray floret: longitudinal axis	舌状花の縦方向の曲がり方	観察 VG (c)	1 2 3	内曲 平 外反	incurving straight reflexing		
41	39	QN	舌状花の縦方向の湾曲する位置	Ray floret: proportion of axis curved	舌状花の縦方向の湾曲する位置	観察 VG (c)	1 2 3	先端部から 1/4 先端部から 1/2 先端部から 3/4	distal quarter distal half distal three quarters	Baronesse Karma Bob Bini	
42	40	QN	舌状花の湾曲の強弱	Ray floret: strength of curvature	舌状花の縦方向の湾曲の強弱	観察 VG (c)	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	Frivolous Glow Karma Bob Bini	
43	41	QN (+)	舌状花のねじれの強弱	Ray floret: twisting	舌状花のねじれの強弱	観察 VG (c)	1 2 3	無又は極弱 弱又は中 強	absent or very weak weak or moderate strong		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
44	42	PQ (*) (+)	舌状花の先端の形	Ray floret: shape of apex	舌状花の先端部の形	観察 (c)	1 2 3 4 5 6 7 8	尖り状 丸状 小凹状 歯状 乳頭状 浅い切れ込み状 深い切れ込み状 角状	pointed rounded retuse dentate mamillate fringed laciniate horned	Jacy	
45	43	PQ (*) G	舌状花の表面の色数	Ray floret: number of colors of inner side	舌状花の表面の色の数（舌状花の状態で判断する。）	観察 VG (c) (d)	1 2 3	1 2 3以上	one two more than two		
46	44	PQ (*) G	舌状花の表面の主な色	Ray floret: main color of inner side	舌状花の表面の主な色	観察 VG (c) (d)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
47	45	PQ (*) G	舌状花の表面の二次色（２色以上の品種に限る。）	Ray floret: second color of inner side	舌状花の表面の二次色（舌状花の状態で判断する。）	観察 VG (c) (d)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
48	46	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の分布位置（２色以上の品種に限る。）	Ray floret: distribution of second color of inner side	舌状花の表面の二次色の分布する位置	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4 基部 3/4 基部 1/2 基部 1/4 基部 覆輪状 外斑状 中斑状 横縞状（帯状） 全体	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin marginal zone central bar transverse zone[band] throughout		
49	47	PQ (*) (+)	舌状花の表面の二次色の型（２色以上の品種に限る。）	Ray floret: pattern of second color of inner side	舌状花の表面の二次色の型	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7	一様又はほぼ一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条 斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled		
50	48	PQ (*)	舌状花の表面の三次色（３色以上の品種に限る。）	Ray floret: third color of inner side	舌状花の表面の三次色	観察 VG (c) (d)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	49	PQ (*) (+)	舌状花の表面の三次色の分布位置（３色以上の品種に限る。）	Ray floret: distribution of third color of inner side	舌状花の表面の三次色の分布する位置	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	先端 先端部 1/4 先端部 1/2 先端部 3/4 基部 3/4 基部 1/2 基部 1/4 基部 覆輪状 外斑状 中斑状 横縞状（帯状） 全体	at tip distal quarter distal half distal three quarters basal three quarters basal half basal quarter at base on margin marginal zone central bar transverse zone[band] throughout		
52	50	PQ (*) (+)	舌状花の表面の三次色の型（３色以上の品種に限る。）	Ray floret: pattern of third color of inner side	舌状花の表面の三次色の型	観察 VG (c) (d)	1 2 3 4 5 6 7	一様又はほぼ一様 ぼかし 不明瞭な条 明瞭な条 斑点 斑点及び条 まだら	solid or nearly solid flushed diffuse stripes clearly defined stripes flecked flecked and striped mottled		
53	51	QL (*)	舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色	Ray floret: color of outer side compared to main color of inner side	舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色の類似性	観察 VG (c)	1 2	類似する 著しく異なる	similar markedly different		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
54	52	PQ	舌状花の裏面の色	Ray floret: color of outer side	舌状花の裏面の色	観察 VG (c)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
55	53	QN (*)	頭花の直径に対する花盤の大きさ（一重品種及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties(see char.23):Disc: diameter relative to flower head diameter	頭花の直径と花盤の直径との比率	測定比 MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	Dark Desire Bamdle Rumble Scarlet comet	
56	54	PQ (*)	花盤の開やく前の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties(see char.23)which are daisy type(see char.24) :Disc: color before anther dehiscence	花盤の開やく前の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	白 緑 黄緑 黄 橙 赤褐 紫褐 褐 紫黒 褐黒	whitish green yellow green yellow orange red brown purple brown brown purple black brown black	Salvador Kiedahlem Dark Desire	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
57	55	PQ	花盤の開やく時の色（デイジー型の一重品種及び半八重品種に限る。）	Only single and semi double varieties(see char.23)which are daisy type(see char.24) :Disc: color at anther dehiscence	花盤の開やく時の色	観察 VG	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	白 緑 黄緑 黄 橙 赤褐 紫褐 褐 紫黒 褐黒	whitish green yellow green yellow orange red brown purple brown brown purple black brown black	Salvador Kiedahlem	
58	56	PQ (*)	管状花の色（アネモネ型品種に限る。）	Only anemone-type varieties(see char.22) :Disc florets: color	管状花（丁字状花）の色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
59	57	PQ (*)	副弁の色（コラレット型品種に限る。）	Only collerette-type varieties(see char.25) :Collar segments: color	副弁の色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
60		PQ	頭花の花色の変化	Flower head : change of the color	頭花の舌状花の花色の変化	観察 VG	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak moderate strong	ﾀﾞﾄ	

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質１　草姿　Char.1　Plant: growth habit



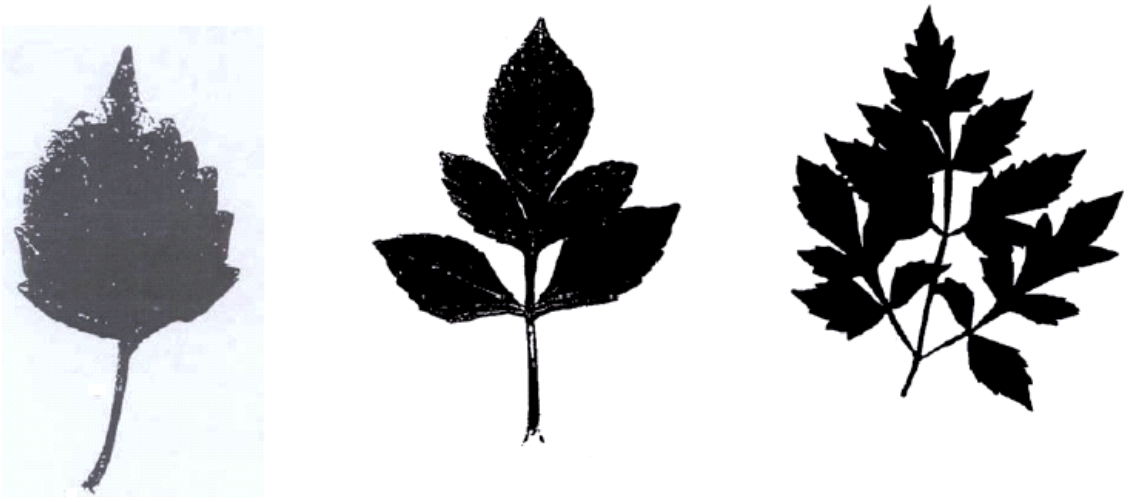
1	2	3	4
直立	半直立	半開張	開張帳
upright	semi-upright	semi-spreading	spreading

形質３　茎の色　Char.3　Stem: color

茎の色は、花柄部は除いた茎を３分割した中央部を観察する。

The stem colour should be observed on the middle third of the stem, excluding the peduncle.

形質４　葉の型　Char.4　Leaf: type

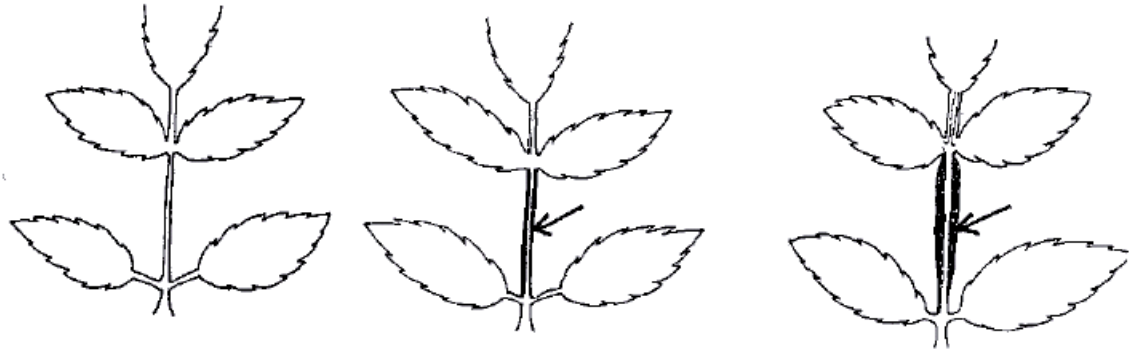


単葉	１回羽状複葉	２回羽状複葉
simple	pinnate	bipinnate

ダリアの品種は１個体の中に異なるタイプの葉が混在するのは一般的であるが、その割合は品種内で一定である。

It is common to find a number of different leaf types within each plant of a Dahlia variety but the proportion of each type on the plant should be consistent within a variety.

形質５　葉軸の翼の強弱　Char.5　Leaf: wing

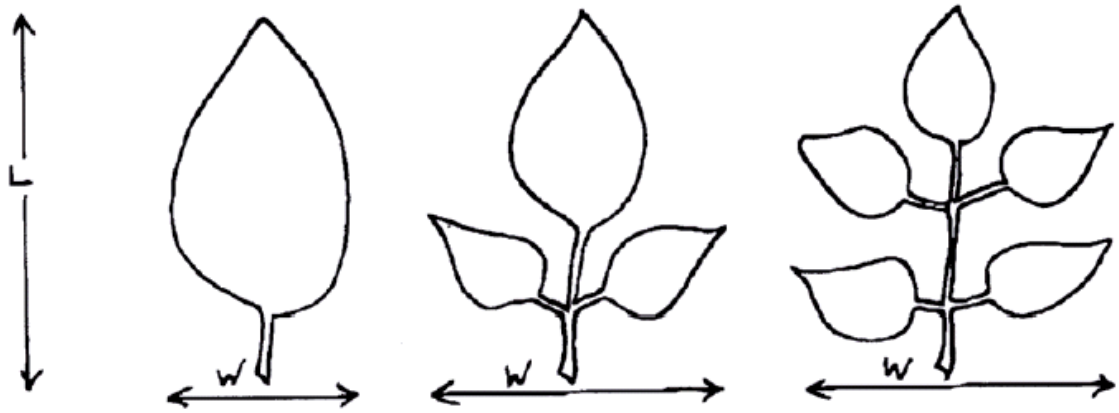


1
無又は弱
absent or weak

2
中
moderate

3
強
strong

形質６　葉の長さ　Char.6　Leaf: length including petiole
形質７　葉の幅　Char.7　Leaf: width

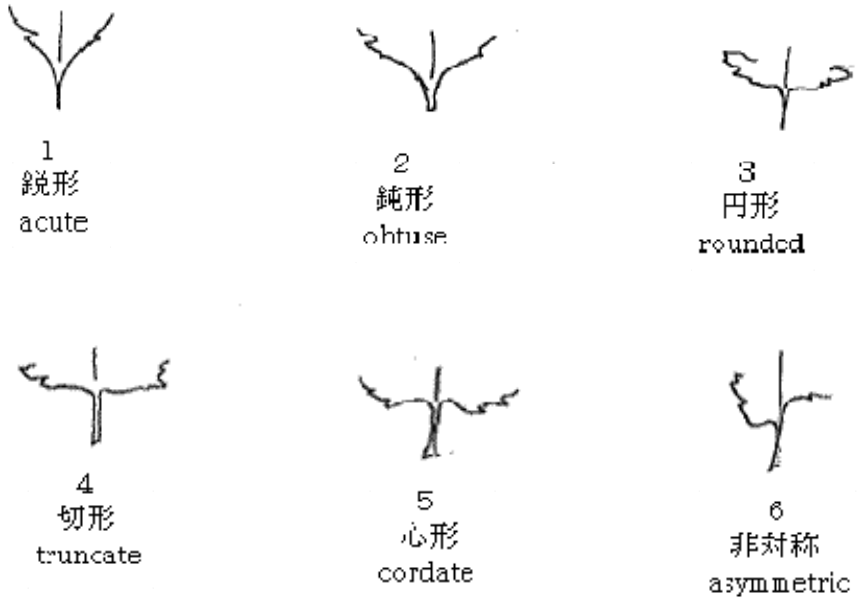


形質 13　小葉の形　Char.13　Leaflet: shape
形質 16　小葉の基部の形　Char.16　Leaflet: shape of base
形質 17　小葉の周縁の鋸歯の数（裂片を除く。）
Char.17　Leaflet margin: number of incisions (excluding lobes)
形質 18　小葉の周縁の鋸歯の深さ（裂片を除く。）
Char.18　Leaflet margin:depth of incisions (excluding lobes)

複葉の品種の場合は、先端小葉（頂小葉）を対象として判定する。単葉の品種の場合は、葉の全体を観察する。

These characteristics should be recorded on the terminal leaflet for compound leaves. In the case of simple leaves, they are recorded on the whole leaf.

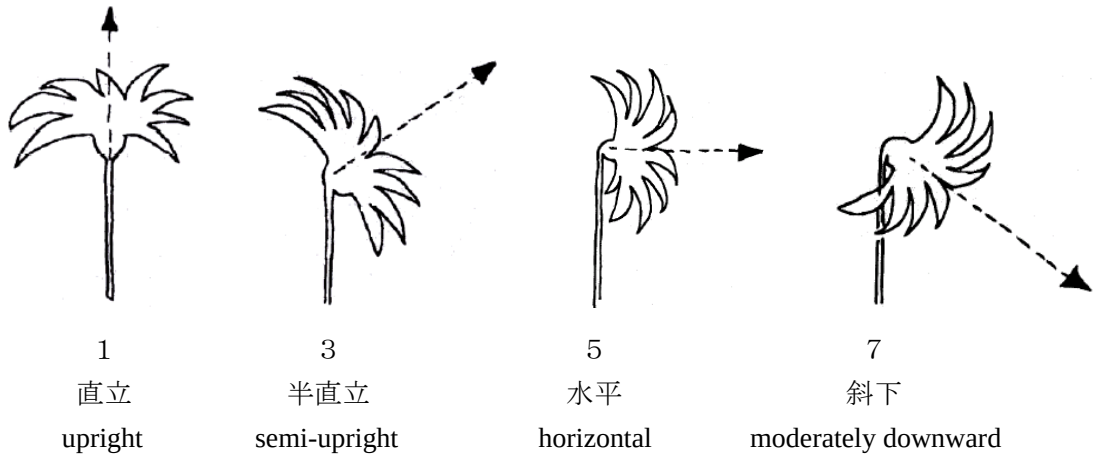
形質 16　小葉の基部の形　Char.16　Leaflet: shape of base



非対称の品種の基部の形は、それぞれ異なる形かもしれないが、非対称の基部をもつ全ての品種は、状態区分 6 として判定する。

All varieties with asymmetric bases should be observed as state 6 for this characteristic, although the shape of the base of asymmetric varieties may be different from each other.

形質 22　頭花の向き　Char.22　Flower head: attitude



形質 23　頭花の型　Char.23　Flower head: type

１．一重：１列の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有している頭花。

single: flower heads with one row of ray florets, and a clearly defined central disc

which is always visible.

２．半八重：２列以上の舌状花及び常に露心する明確な花盤を有している頭花。

semi double: flower heads with more than one row of ray florets, and a clearly defined central disc which is always visible.

３．露心する八重：花盤が開花の初期段階では見えないが、頭花が完全に開くと露心する八重の頭花。花盤は、常に明らかとは限らない。

daisy-eyed double: double flower heads where a disc is not visible in the early stages of flowering, but can be seen as the flower head opens fully. The disc is not always clearly defined.

４．八重：開花のどのステージでも花盤が露心しない八重の頭花。

double: double flower heads where a disc is not visible at any stage of flowering.



1
一重
single



2
半八重
semi-double



3
露心する八重
daisy-eyed double



4
八重
double

形質 24　頭花の花盤の型（一重品種及び半八重品種に限る。）

Char.24　Only single and semi double varieties(see char.23): Flower head: disc type



1

デイジー型

daisy



2

アネモネ型

anemone

形質 25　頭花の副弁の有無　Char.25　Flower head: collar segments

副弁

Collar segments



1

無

absent



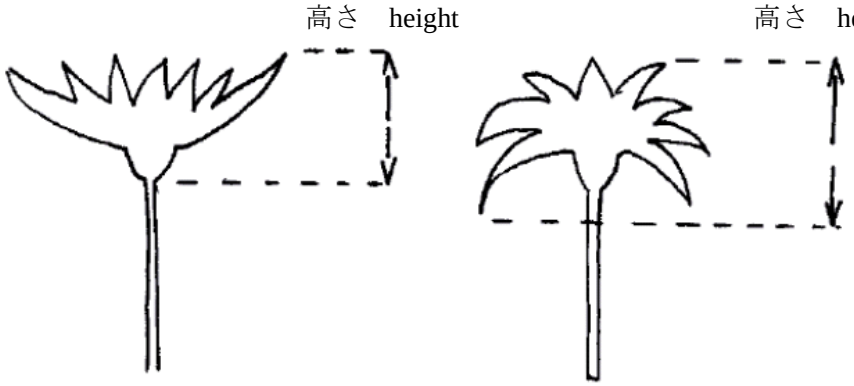
9

有（コラレット型）

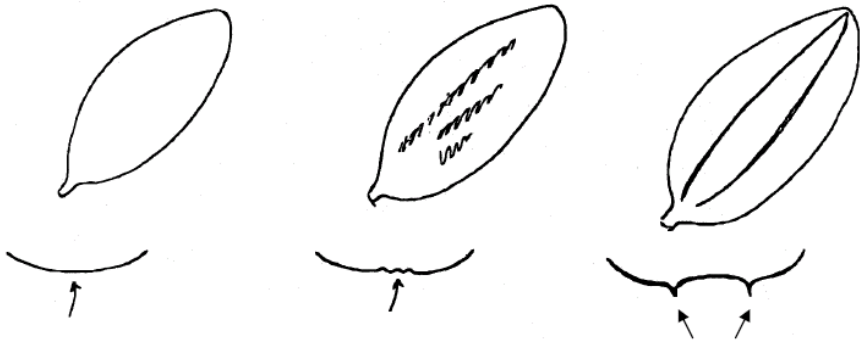
present（collerette type）

形質 28　頭花の高さ（八重品種及び露心する八重品種に限る。）

Char.28　Only double and daisy-eyed double varieties (see char.23):Flower head: height



形質 34　舌状花の表面の形状　Char.34　Ray floret: upper surface



1	2	3
平滑	うね状	キール（竜骨突起）
smooth	ribbed	keeled

上段は上から見た図であり、下段は側面から見た図である。

As seen from above (top row) and in profile (bottom row)

形質 35　舌状花のキールの数（キール状品種に限る。）

Char.35　Only keeled　varieties (see char. 34) Ray floret: number of keels



1	2	3
1	2	3以上
one	two	more than two

舌状花のキールの数は、側面より見る。

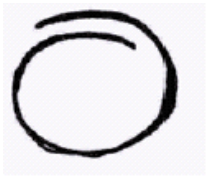
As seen in profile.

形質36　舌状花の中間部の横断面の形

Char.36　Ray floret: profile in cross section at mid point

形質37　舌状花の基部から四分の三地点の横断面の形

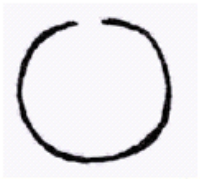
Char.37　Ray floret: profile in cross section at 3/4 point from base



1

強く内曲し周縁部が重なる

strongly concave with margins overlapping



2

強く内曲し周縁部が接する

strongly concave with margins touching



3

強く内曲

strongly concave



4

中程度の内曲

moderately concave



5

弱く内曲

weakly concave



6

平

flat



7

弱く外曲

weakly convex



8

中程度の外曲

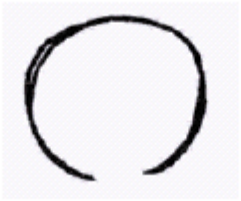
moderately convex



9

強く外曲

strongly convex



10

強く外曲し周縁部が接する

strongly convex with margins touching



11

強く外曲し周縁部が重なる

strongly convex with margins overlapping

形質 38　舌状花の周縁部の巻き方　Char.38　Ray floret: rolling of margin



1
強い内巻き
strongly involute



2
内巻き
moderately involute



3
弱い内巻き
weakly involute



4
平（巻かない）
flat(not rolled)



5
弱い外巻き
weakly revolute



6
外巻き
moderately revolute



7
強い外巻き
strongly revolute

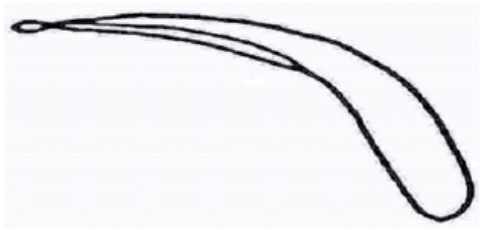
形質 40　舌状花の縦断面の形　Char.40　Ray floret: longitudinal axis



1
内曲
incurving



2
平
straight



3
外反
reflexing

形質 43　舌状花のねじれの強弱　Char.43　Ray floret: twisting



1
無又は極弱
absent or very weak



2
弱又は中
weak or moderate



3
強
strong

形質 44　舌状花の先端の形　Char.44　Ray floret: shape of apex



1
尖り状
pointed



2
丸状
rounded



3
小凹状
retuse



4
歯状
dentate



5
乳頭状
mamillate



6
浅い切り込み状
fringed



7
深い切り込み状
laciniate

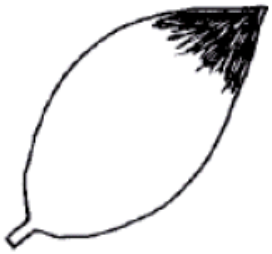


8
角状
horned

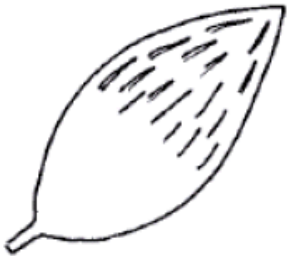
形質 48　舌状花の表面の二次色の分布位置（２色以上の品種に限る。）
Char.48　Ray floret：distribution of second color of inner side
形質 51　舌状花の表面の三次色の分布位置（３色以上の品種に限る。）
Char.51　Ray floret：distribution of third color of inner side



1
先端
at tip



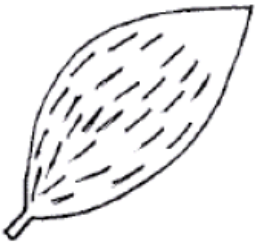
2
先端部 1/4
distal quarter



3
先端部 1/2
distal half



4
先端部 3/4
distal three quarters



5
基部 3/4
basal three quarters



6
基部 1/2
basal half



7
基部 1/4
basal quarter



8
基部
at base



9
覆輪状
on margin



10
外斑部
marginal zone



11
中斑状
central bar



12
横縞状（帯状）
transverse zone[band]

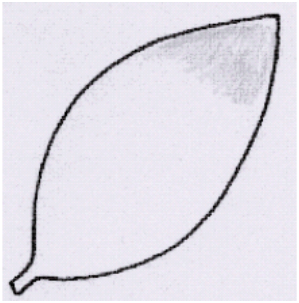


13
全体
throughout

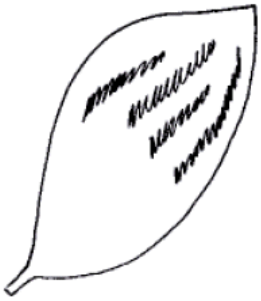
形質 49　舌状花の表面の二次色の型（２色以上の品種に限る。）
Char.49　Ray floret：pattern of second color of inner side
形質 52　舌状花の表面の三次色の型（３色以上の品種に限る。）
Char.52　 Ray floret：pattern of third color of inner side



1
一様又はほぼ一様
solid or nearly solid



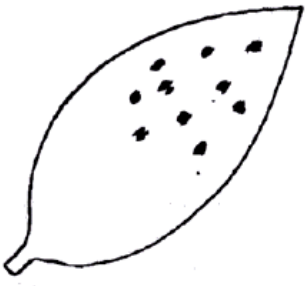
2
ぼかし
flushed



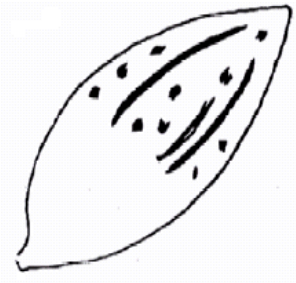
3
不明瞭な条
diffuse stripes



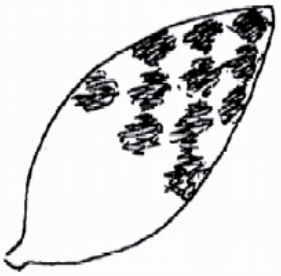
4
明瞭な条
clearly defined stripes



5
斑点
flecked



6
斑点及び条
flecked and stripes



7
まだら
mottled

資料 1-3-17

2026 年 月

デンドロビウム属

Dendrobium

(*Dendrobium* Sw.)

(案)

デンドロビウム属審査基準

Ⅰ．本審査基準の対象とする種類

本審査基準は、ラン科（*Orchidaceae*）のデンドロビウム属（*Dendrobium* Sw.）のデンドロコリネ節（sect.*Dendrocoryne*）、ラトゥーレア節（sect.*Latourea*）、カリスタ節（sect.*Callista*）、エウゲナンテ節（sect.*Eugenanthe*）、ペディロヌム節（sect.*Pedilonum*）、カリプトキルス節（sect.*Calyptochilus*）、オクシグロッスム節（sect.*Oxyglossum*）、ブラキアンテ節（sect.*Brachyanthe*）、スタキオビウム節（sect.*Stachyobium*）、ファラエナンテ節（sect.*Phalaenanthe*）、エレウテログロッスム節（sect.*Eleutheroglossum*）、ケラトビウム節（sect.*Ceratobium*）、オクシゲニアンテ節（sect.*Oxygenianthe*）及びその交配種の全ての品種に適用とする。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　２本以上のぎ球茎を有する未開花株

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）提出数量　　15 株

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．栽培試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件

以下の条件を目安として、特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

定植時期：２～３月

最適温度：D. nobile 系の品種：10 ～ 18 ℃

D. phalaenopsis 系の品種：20 ～ 25 ℃

遮光：夏季30%

土壌は水はけのよい培地を用いる。

D. nobile 系の品種は花芽分化のために、11 月に10 ～ 13 ℃で１ヵ月低温処理を行う。

ⅱ）最低供試個体数　特性調査時に10個体を下回らないこと

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数は、特に指示がない限り、調査は植物体10個体又は各個体から採取した部分10個について行う。

ぎ球茎の調査は、開花ぎ球茎で行う。

葉に関する形質の調査は、開花株の最長葉で行う。

花序及び花に関する形質の調査は、当該花序の花の50%が開花した時期に、最も最近開花した色の褪せていない花について行う。

セパル、ペタル及びリップの色の調査は内側で行う。

ｖ）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者がその試験方法等を添えて申告し、審査当局が同意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定は、供試個体数が 10 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．品種のグループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）植物体の大きさ（形質１）

ⅱ）花の着き方（形質18）

ⅲ）花の長さ（形質27）

ⅳ）花の幅（形質28）

ⅴ）リップの側裂片の有無（形質71）

ⅵ）リップの目の有無（形質77）

ⅶ）リップの模様（形質80）

ⅷ）リップの主な色（形質82）

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明

G：品種のグループ分けに使用する形質

(*)：必須形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質__

(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部を個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1 (*)	QNG	植物体の大きさ	Plant: size	植物体の大きさ	観察	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large	 ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ ﾗｯｷｰｷﾞｬﾙ･ｴﾐｺ	
2	2 (*)	QN	ぎ球茎の向き	Pseudobulb: attitude	ぎ球茎の抽出方向	観察	1 3 5 7 9	直立 半直立 水平 半下垂 下垂	erect semi-erect horizontal semi-drooping drooping	Formidible	
3	3 (*)	QN	ぎ球茎の長さ	Pseudobulb: length	ぎ球茎の長さ	測定 cm	1 3 5 7 9	極短 短 中 長 極長	very short short medium long very long	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
4	4 (*)	QN	ぎ球茎の太さ	Pseudobulb: thickness	ぎ球茎中央部の太さ	測定 mm	1 3 5 7 9	極細 細 中 太 極太	very thin thin medium thick very thick	 ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ	
5	5 (*)	PQ	ぎ球茎の縦断面の形	Pseudobulb: shape in longitudinal section	ぎ球茎の縦断面の形	観察	1 2 3	線形 披針形 卵形	linear lanceolate ovate	Formidible	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6	6	PQ	ぎ球茎の横断面の形	Pseudobulb: shape in cross section	ぎ球茎中央部の横断面の形	観察	1 2 3	楕円形 円形 多角形	elliptic circular angular	Formidible	
7	7	QL	着花ぎ球茎の齢	Plant: age of flowering pseudobulb (principally)	ぎ球茎の主たる齢	観察	1 2	１年生 ２年生以上	one year two years or more	Formidible	
8	8 (*)	QN	葉の長さ	Leaf: length	最大葉の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
9	9 (*)	QN	葉の幅	Leaf: width	最大葉の最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
10	10 (*)	PQ (+)	葉の形	Leaf: shape	最大葉の形	観察	1 2 3 4 5	狭楕円形 楕円形 狭卵形 狭倒卵形 へら形	narrow elliptic elliptic narrow ovate narrow obovate spatulate		
11	11	QN	葉の緑色の濃淡	Leaf: main green colour	葉表面の色	観察	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	 ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ	
12	12	QL	葉の斑の有無	Leaf: presence of variegation	葉表面の斑の有無	観察	1 9	無 有	absent present	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13	13	PQ (+)	葉の斑の模様	Leaf: type of variegation	葉の斑の模様	観察	1 2 3 4 5	虎斑 斑点 条線 中斑 覆輪	brindled spotted striped centered edged		図２
14	14	PQ	葉の斑の色	Leaf: color of variegation	葉の斑の色	観察	1 2 3 4 5 6	白 黄 黄緑 白及び黄 白及び黄緑 黄及び黄緑	white yellow yellow green white and yellow white and yellow green yellow and yellow green		
15	15	QL	葉の毛の有無	Leaf: pubescence	葉の毛の有無	観察	1 9	無 有	absent present	 Formidible	
16	16	QL	葉の毛の色	Leaf: colour of pubescence	葉の毛の色	観察	1 2	白 黒	white black	 Formidible	
17	17 (*)	QL	花序の着生位置	Inflorescence: position of adherence to pseudobulb	ぎ球茎に付着した花序の着生位置	観察	1 2	全体 頂部のみ	along whole length top part only		
18	18 (*)	QL G	花の着き方	Inflorescence: position of flowers	花序における花の位置	観察	1 2	花柄に添う 先端のみ	along peduncle apex only	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨｰ･ｸｲｰﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19 (*)	QN	１花茎の花数	Inflorescence: number of flowers	１花茎の花数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
20	20 (*)	QN (+)	花茎の長さ	Peduncle: length	花茎の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾗｯｷｰｷﾞｬﾙ･ｴﾐｺ ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ ｸｲｰﾝｻｳｽｲｰｽﾄ ｸﾘｽﾀﾙｸｲｰﾝ	
21	21 (*)	QN	花茎の太さ	Peduncle: thickness	花茎の太さ	測定 mm	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ﾗｯｷｰｷﾞｬﾙ･ｴﾐｺ	
22	22 (*)	PQ	花茎の向き	Peduncle: attitude	花茎の向き	観察	1 2 3 4	直立 斜上 水平 下垂	erect semi-erect horizontal recurving	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
23	23 (*)	QN (+)	小花柄の長さ	Pedicellate-ovary: length	小花柄（花柄着生部からセパル基部まで）の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
24	24 (*)	QN	小花柄の太さ	Pedicellate-ovary: thickness	小花柄中央部の太さ	測定 mm	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25 (*)	PQ	花型	Flower: general appearance of petals and sepals	花の咲き型	観察	1 2 3 4 5 6	抱え咲き 抱え・平咲き 平咲き 反転・平咲き 反転咲き 抱え・反転咲き	all incurving some incurving, some spreading all spreading some spreading, some reflexing all reflexing some incurving, some reflexing	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	
26	26	QN	花の距の長さ	Flower: length of mentum	距の長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	Formidible	
27	27 (*)	QN G (+)	花の長さ	Flower: length in front view	花の最大縦径	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ﾗｯｷｰｷﾞｬﾙ･ｴﾐｺ	
28	28 (*)	QN G (+)	花の幅	Flower: width in front view	花の最大横径	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ﾗｯｷｰｷﾞｬﾙ･ｴﾐｺ	
29	29	QL	花の香りの有無	Flower: fragrance	花の香りの有無	観察	1 9	無 有	absent present	ｽﾉｰｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞｿﾝｸﾞ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30 (*)	QN	ドーサルセパルの縦断面の形	Dorsal sepal: curvature of longitudinal axis	ドーサルセパルの縦断面の湾曲の方向	観察	1 3 5 7 9	極内曲 内曲 平 外反 極外反	strongly incurving moderately incurving straight moderately recurving strongly recurving	 ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	
31	31 (*)	QN	ドーサルセパルの長さ	Dorsal sepal: length	ドーサルセパルの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
32	32 (*)	QN	ドーサルセパルの幅	Dorsal sepal: width	ドーサルセパルの幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
33	33 (*)	PQ (+)	ドーサルセパルの正面の形	Dorsal sepal: shape	ドーサルセパルの正面の形	観察	1 2 3 4 5 6	狭楕円形 楕円形 卵形 倒卵形 横楕円形 へら形	narrow elliptic elliptic ovate obovate transsverse elliptic spatulat	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ﾗｯｷｰｷﾞｬﾙ･ｴﾐｺ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
34	34 (*)	QN (+)	ドーサルセパルの横断面の形	Dorsal sepal: shape in cross section	ドーサルセパルの中央部横断面の形	観察	1 3 5 7 9	極内曲 内曲 平 外反 極外反	strongly concave moderately concave flat moderately convex strongly convex	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	図６
35	35 (*)	QN	ドーサルセパルのねじれの強弱	Dorsal sepal: twisting	ドーサルセパルのねじれの程度	観察	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ	
36	36 (*)	QN	ドーサルセパルの周縁の波打ちの強弱	Dorsal sepal: undulation of margin	ドーサルセパルの周縁の波打ちの程度	観察	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	
37	37 (*)	QN	ラテラルセパルの縦断面の形	Lateral sepal: curvature of longitudinal axis	ラテラルセパルの縦断面の湾曲の方向	観察	1 3 5 7 9	極内曲 内曲 平 外反 極外反	strongly incurving moderately incurving straight moderately ecurving strongly recurving	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
38	38 (*)	QN	ラテラルセパルの長さ	Lateral sepal: length	ラテラルセパルの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
39	39 (*)	QN	ラテラルセパルの幅	Lateral sepal: width	ラテラルセパルの幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
40	40 (*)	PQ (+)	ラテラルセパルの正面の形	Lateral sepal: shape	テラルセパルの正面の形	観察	1 2 3 4 5 6	狭楕円形 楕円形 卵形 倒卵形 横楕円形 へら形	narrow elliptic elliptic ovate obovate transverse elliptic spatulate	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	
41	41 (*)	QN (+)	ラテラルセパルの横断面の形	Lateral sepal: cross section	ラテラルセパルの横断面の形	観察	1 3 5 7 9	極内曲 内曲 平 外反 極外反	strongly concave moderately concave straight moderately convex strongly convex	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
42	42 (*)	QN	ラテラルセパルのねじれの強弱	Lateral sepal: twisting	ラテラルセパルのねじれの程度	観察	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ	
43	43 (*)	QN	ラテラルセパルの周縁の波打ちの強弱	Lateral sepal: undulation of margin	ラテラルセパルの周縁の波打ちの程度	観察	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	
44	44 (*)	QL	セパルの色数	Sepal: number of colors	セパルの花色数	観察	1 2 3 4	1 2 3 4以上	one two three more than three	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
45	45 (*)	PQ	セパルの模様	Sepal: color pattern	セパル内側の模様	観察	1 2 3 4 5 6 7 8 9	単色 ぼかし 覆輪 条線 網目 斑点 ぼかしと条線 ぼかしと網目 ぼかしと斑点	self-coloured shaded edged striped netted spotted shaded and striped shaded and netted shaded and spotted	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ ﾎｰﾘｰﾅｲﾄ･ﾕﾒｼﾞ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
46	46	PQ	セパルの主な色	Sepal: main color	セパルの主な色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
47	47	QN	セパルのぼかしの大きさ(ぼかしのある品種に限る。)	Varieties with shaded sepals only: Sepal: extent of shading	セパルのぼかしの広がりの程度	観察	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
48	48	PQ	セパルのぼかしの色(ぼかしのある品種に限る。)	Varieties with shaded sepals only: Sepal: color of shading	セパルのぼかしの色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
49	49	PQ	セパルの覆輪の色(覆輪のある品種に限る。)	Varieties with edged sepals only: Sepal: color of edging	セパルの覆輪の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
50	50	PQ	セパルの条線の色(条線のある品種に限る。)	Varieties with striped sepals only: Sepal: color of stripes	セパルの条線の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
51	51	PQ	セパルの網目の色（網目のある品種に限る。）	Varieties with netted sepals only: Sepal: color of netting	セパルの網目の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
52	52	PQ	セパルの斑点の色（斑点のある品種に限る。）	Varieties with spotted sepals only: Sepal: color of spots	セパルの斑点の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
53	53 (*)	QN	ペタルの縦断面の形	Petal: curvature of longitudinal axis	ペタルの縦断面の湾曲の方向	観察	1 3 5 7 9	極内曲 内曲 平 外反 極外反	strongly incurving moderately incurving straight moderately recurving strongly recurving	ﾗｯｷｰｷﾞｬﾙ･ｴﾐｺ ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	
54	54 (*)	QN	ペタルの長さ	Petal: length	ペタルの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｳｪｲ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
55	55 (*)	QN	ペタルの幅	Petal: width	ペタルの最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｳｪｲ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
56	56 (*)	PQ (+)	ペタルの正面の形	Petal: shape	ペタルの正面の形	観察	1 2 3 4 5 6	狭楕円形 楕円形 卵形 倒卵形 横楕円形 へら形	narrow elliptic elliptic ovate obovate transverse elliptic spatulate	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ	
57	57 (*)	QN (+)	ペタルの横断面の形	Petal: shape in cross section	ペタルの横断面の形	観察	1 3 5 7 9	極内曲 内曲 平 外反 極外反	strongly concave moderately concave straight moderately convex strongly convex	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｳｪｲ	
58	58 (*)	QN	ペタルのねじれの強弱	Petal: twisting	ペタルのねじれの程度	観察	1 3 5 7	無又は極弱 弱 中 強	absent or very weak weak medium strong	ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
							9	極強	very strong		
59	59 (*)	QN	ペタルの周縁の波打ちの強弱	Petal: undulation of margin	ペタルの周縁部の波打ちの程度	観察	1	無又は極弱	absent or very weak		
							3	弱	weak	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ	
							5	中	medium	ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
							7	強	strong	ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	
							9	極強	very strong		
60	60 (*)	QL	ペタルの色数	Petal: number of colors	ペタルの花色数	観察	1	1	one		
							2	2	two	ﾎｰﾘｰﾅｲﾄ･ﾕﾒｼﾞ	
							3	3	three		
							4	4以上	more than three		
61	61 (*)	PQ	ペタルの模様	Petal: color pattern	ペタル内側の模様	観察	1	単色	self-coloured		
							2	ぼかし	shaded		
							3	覆輪	edged		
							4	条線	striped	ﾎｰﾘｰﾅｲﾄ･ﾕﾒｼﾞ	
							5	網目	netted		
							6	斑点	spotted		
							7	ぼかしと条線	shaded and striped		
							8	ぼかしと網目	shaded and netted		
							9	ぼかしと斑点	shaded and spotted		
62	62	PQ	ペタルの主な色	Petal: main color	ペタルの主な色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
									number)		
63	63	QN	ペタルのぼかしの大きさ(ぼかしのある品種に限る。)	Varieties with shaded petals only: Petal: extent of shading	ペタルのぼかしの大きさ	観察	3 5 7	小 中 大	small medium large		
64	64	PQ	ペタルのぼかしの色(ぼかしのある品種に限る。)	Varieties with shaded petals only: Petal: color of shading	ペタルのぼかしの色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
65	65	PQ	ペタルの覆輪の色(覆輪のある品種に限る。)	Varieties with edged petals only: Petal: color of edging	ペタルの覆輪の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
66	66	PQ	ペタルの条線の色(条線のある品種に限る。)	Varieties with striped petals only: Petal: color of stripes	ペタルの条線の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
67	67	PQ	ペタルの網目の色(網目のある品種に限る。)	Varieties with netted petals only: Petal: color of netting	ペタルの網目の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
68	68	PQ	ペタルの斑点の色（斑点のある品種に限る。）	Varieties with spotted petals only: Petal: color of spots	ペタルの斑点の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
69	69 (*)	QN	リップの長さ	Lip: length	リップの長さ	測定 mm	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｳｪｲ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
70	70 (*)	QN	リップの幅	Lip: width	リップの最大幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｳｪｲ ﾋﾒｻﾞｸﾗ ﾌｼﾞｯｺ ｳｪｰﾌﾞ･ｷﾝｸﾞ ｱｹﾎﾞﾉ	
71	71 (*)	QL G	リップの側裂片の有無	Lip: presence of lateral lobe	リップの側裂片の有無	観察	1 9	無 有	absent present	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ	
72	72 (*)	PQ (+)	リップの形（側裂片がない品種に限る。）	Varieties without lateral lobes only: Lip: shape	単純型 リップの形	観察	1 2 3	楕円形 円形 横楕円形	elliptic circular transverse elliptic	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	
73	73 (*)	QL (+)	リップの基部の重なりの有無（側裂片がない品種に限る。）	Varieties without lateral lobes only: Lip: overlapping of basal part	単純型 リップの基部の重なりの有無	観察	1 9	無 有	absent present	ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
74	74 (*)	PQ (+)	側裂片の形(側裂片のある品種に限る。)	Varieties with lateral lobes only: Lip: shape of lateral lobe	複雑形 リップの側裂片の形	観察	1 2 3 4	三角形 卵形 狭台形 広台形	triangular ovate narrow trapezoid broad trapezoid		
75	75 (*)	PQ (+)	中央裂片の形(側裂片のある品種に限る。)	Varieties with lateral lobes only: Lip: shape of apical lobe	複雑形 リップの中央裂片の形	観察	1 2 3 4	腎臓形 菱形 横楕円形 楕円形	reniform rhombic transverse elliptic elliptic		
76	76 (*)	PQ (+)	リップの湾曲の型	Lip: type of curving	リップの湾曲のタイプ(側裂片のある品種に限る。)	観察	1 2 3 4 5 6 7	Ⅰ型 Ⅱ型 Ⅲ型 Ⅳ型 Ⅴ型 Ⅵ型 Ⅶ型	type I type II type III type IV type V type VI typeⅦ		
77	77 (*)	QL G (+)	リップの目の有無	Lip: eye	リップの目の有無	観察	1 9	無 有	absent present	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ ﾌｧﾝﾀｼﾞｱ ｷﾝｸﾞ	
78	78 (*)	PQ (+)	リップの目の型	Lip: shape of eye	リップの目のタイプ	観察	1 2 3 4	Ⅰ型 Ⅱ型 Ⅲ型 Ⅳ型	type I type II type III type IV		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
79	79 (*)	QL	リップの色数	Lip: number of colors	リップの花色数（目及び喉部を除く。）	観察	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6 以上	one two three four five more than five	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	
80	80 (*)	PQ G	リップの模様	Lip: color pattern (except middle part, eye and throat)	リップ内側の模様（中央部、目及び喉部を除く。）	観察	1 2 3 4 5 6 7 8 9	単色 ぼかし 覆輪 条線 網目 斑点 ぼかしと条線 ぼかしと網目 ぼかしと斑点	self-coloured shaded edged striped netted spotted shaded and striped shaded and netted shaded and spotted	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	
81	81	QN	リップのぼかしの大きさ（ぼかしのある品種に限る。）	Varieties with shaded lips only: Lip: extent of shading	リップのぼかしの広がりの程度	観察	3 5 7	小 中 大	small medium large	ｽﾉｰ ｷｬｯﾌﾟ ﾗﾌﾞ ｿﾝｸﾞ	

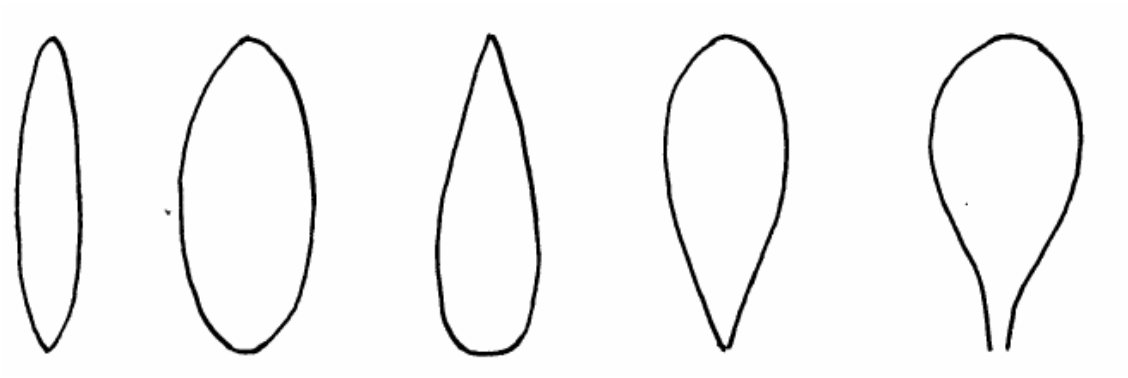
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
82	82	PQ G (+)	リップの主な色	Lip: main color	リップの主な色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
83	83	PQ (+)	リップの中央部の色	Lip: color of middle part	リップの目を除く中央部の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
84	84	PQ	リップのぼかしの色(ぼかしのある品種に限る。)	Varieties with shaded lips only: Lip : color of shading	リップのぼかしの色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
85	85	PQ	リップの覆輪の色(覆輪のある品種に限る。)	Varieties with edged lips only: Lip: color of edging	リップの覆輪の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
86	86	PQ	リップの条線の色(条線のある品種に限る。)	Varieties with striped lips only: Lip: colour of stripes	リップの条線の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
87	87	PQ	リップの網目の色(網目のある品種に限る。)	Varieties with netted lips only: Lip: color of netting	リップの網目の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
88	88	PQ	リップの斑点の色（斑点のある品種に限る。）	Varieties with spotted lips only: Lip: color of spots	リップの斑点の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
89	89	PQ	リップの目の色（目のある品種に限る。）	Varieties with eye only: Lip: color of eye	リップの目の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
90	90	PQ	リップの喉部の色	Lip: color of throat	リップの喉部の色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
91	91 (*)	QN	リップのねじれの強弱	Lip: twisting	リップのねじれの程度	観察	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	
92	92 (*)	QN	リップの周縁の波打ちの強弱	Lip: undulation of margin	リップの周縁の波打ちの程度	観察	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong	ｴﾉﾋﾞﾊﾟﾚｰﾄﾞ ﾐﾙｷｰｳｪｲ ｽﾀｰﾀﾞｽﾄ･ﾁﾖﾐ ﾋﾟﾝｸﾋﾞｭｰﾃｨ･ｸｲｰﾝ	
93	93 (*)	QN	リップの周縁の切れ込みの粗密	Lip: fringing of margin	リップの周縁の切れ込みの程度	観察	1 3 5 7	無又は極粗 粗 中 密	absent or very coarse coarse medium fine	ｴﾉﾋﾞ ｺﾏﾁ ｼﾗﾕｷﾋﾒ	
94	94 (*)	QL	リップのカルスの有無	Lip: callus	リップのカルス（突起）の有無	観察	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
95	95 (*)	QN	リップの毛の多少	Lip: pubescence	リップの毛の程度	観察	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak intermediate strong		
96	96 (*)	QN	ずい柱の長さ	Column: length	ずい柱の長さ	測定 ㎜	3 5 7	短 中 長	short medium long		
97	97	PQ	花粉のうの色	Column: color of anther cap	花粉のうの色	観察		RHS カラーチャートの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
98	98 (*)	QN	開花期	Time of flowering	開花の早晩	観察	1 2 3 4 5	極晩 早 春 夏 中	very late early spring summer medium		

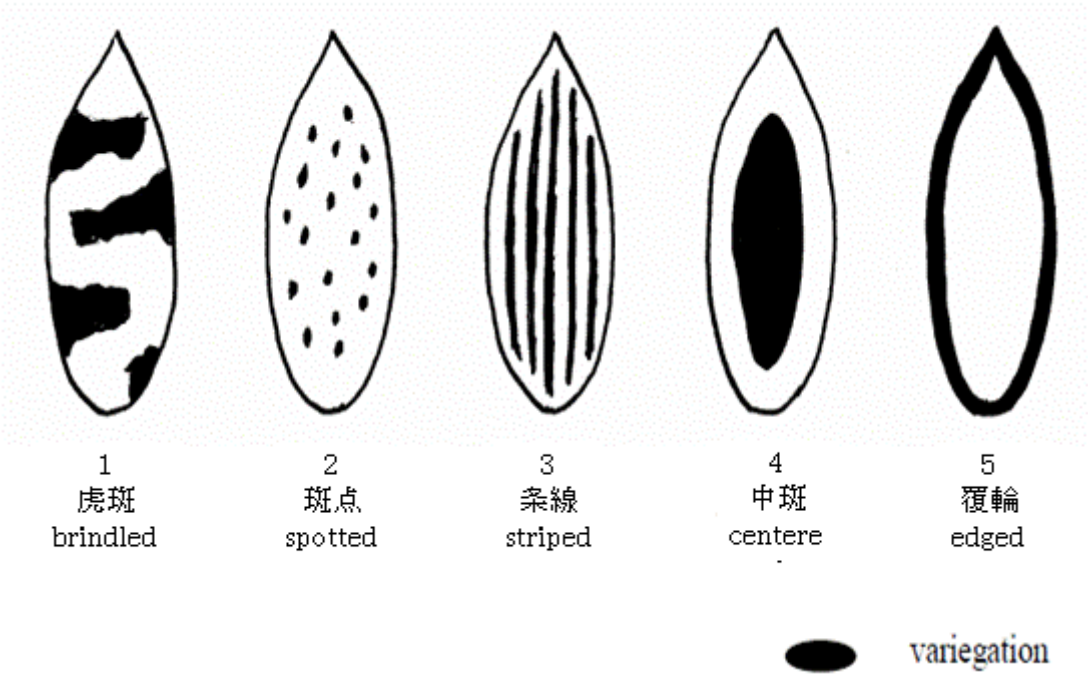
Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 10　葉の形　Char.10　Leaf: shape

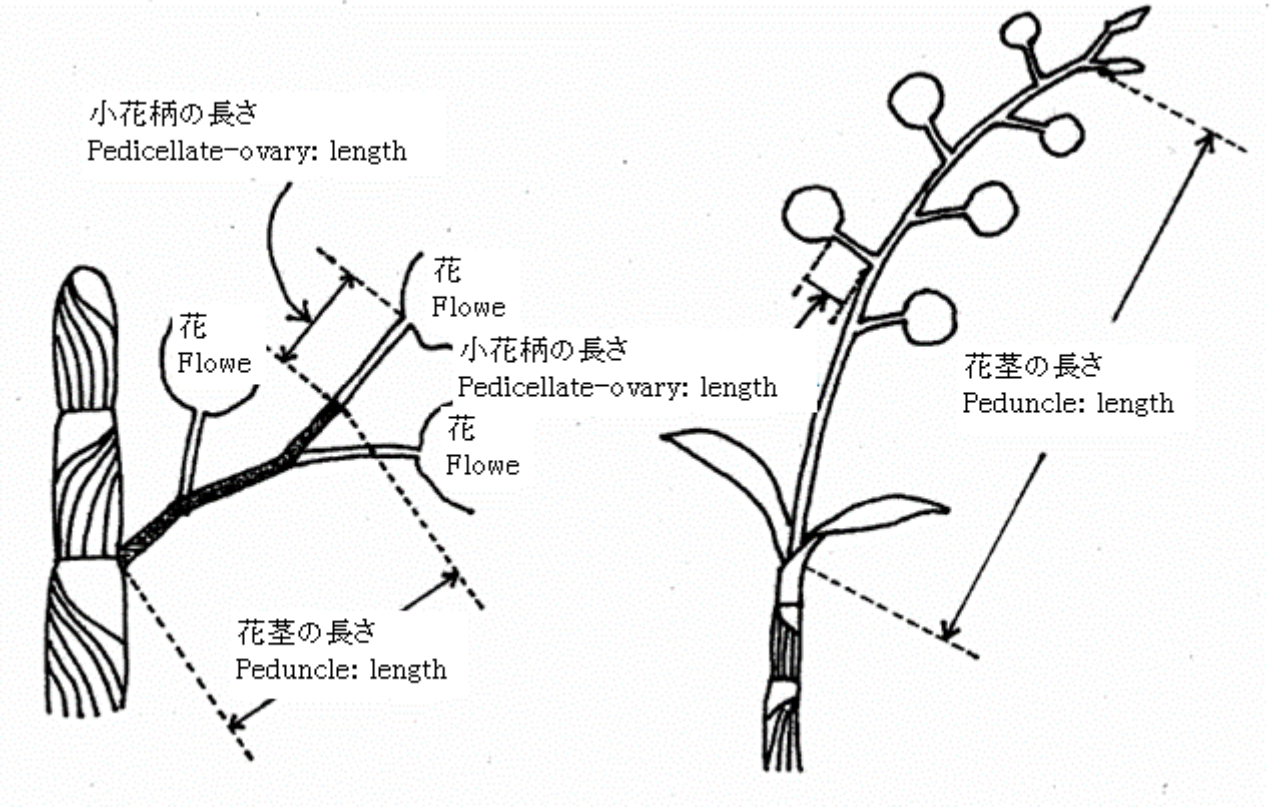


1	2	3	4	5
狭楕円形	楕円形	狭卵形	狭倒卵形	へら形
narrow elliptic	elliptic	narrow ovate	narrow obovate	spatulate

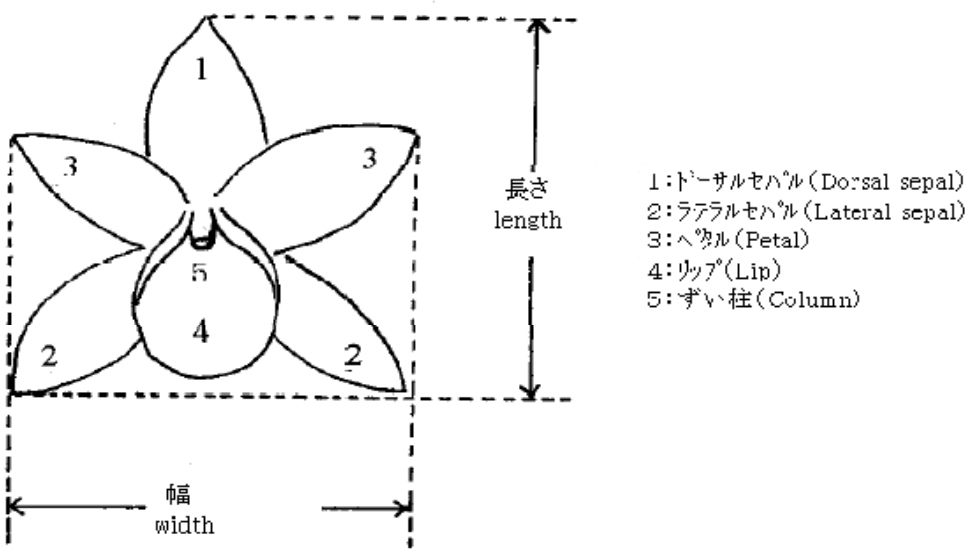
形質 13　葉の斑の模様　Char.13　Leaf: type of variegation



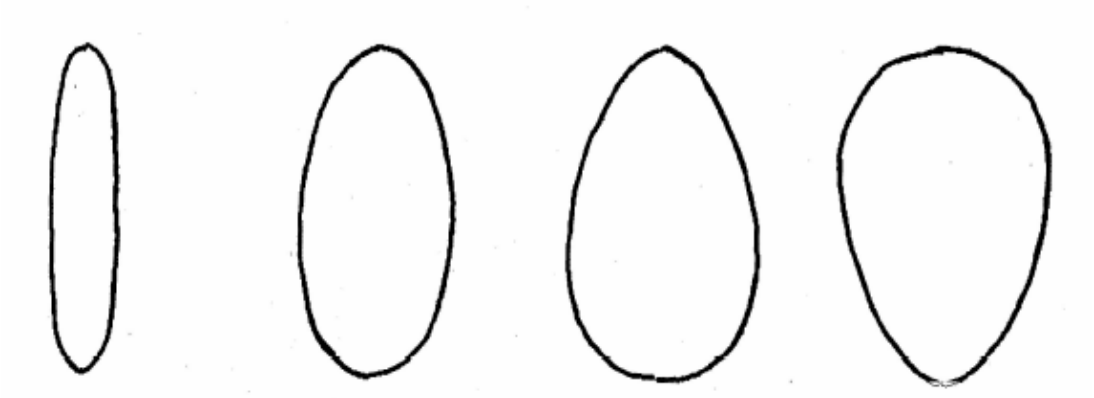
形質 20　花茎の長さ　Char.20　Peduncle: length
形質 23　小花柄の長さ　Char.23　Pedicellate-ovary: length



形質 27　花の長さ　Char.27　Flower: length in front view
形質 28　花の幅　Char.28　Flower: width in front view



形質 33　ドーサルセパルの正面の形　Char.33　Dorsal sepal: shape
形質 40　ラテラルセパルの正面の形　Char.40　Lateral sepal
形質 56　ペタルの正面の形　Char.56　Petal: shape

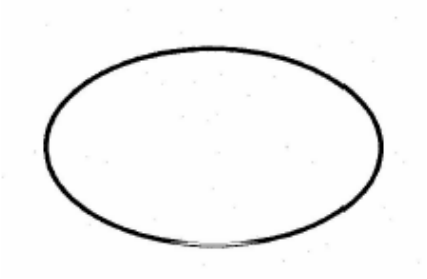


1
狭楕円形
narrow elliptic

2
楕円形
elliptic

3
卵形
ovate

4
倒卵形
obovate



5
横楕円形
transverse elliptic



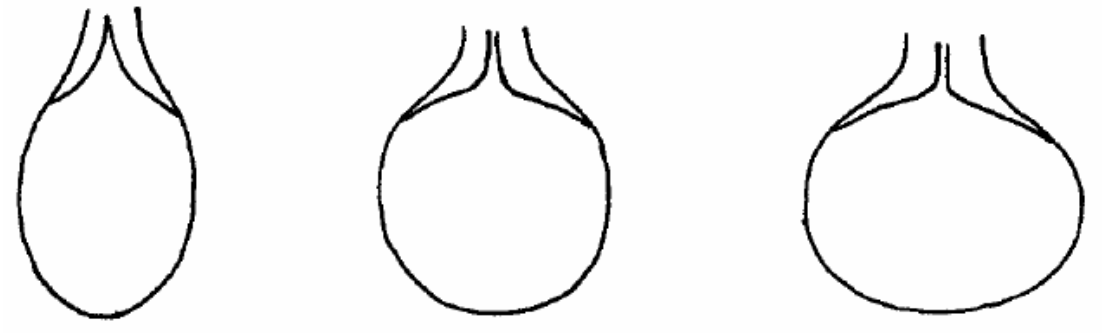
6
へら形
spatulate

形質 34　ドーサルセパルの横断面の形
Char.34　Dorsal sepal: shape in cross section
形質 41　ラテラルセパルの横断面の形
Char.41　Lateral sepal: shape in cross section
形質 57　ペタルの横断面の形　Chara.57　Petal: shape in cross section



1	3	5	7	9
極内曲	内曲	平	外反	極外反
strongly concave	moderately concave	flat	moderately convex	strongly convex

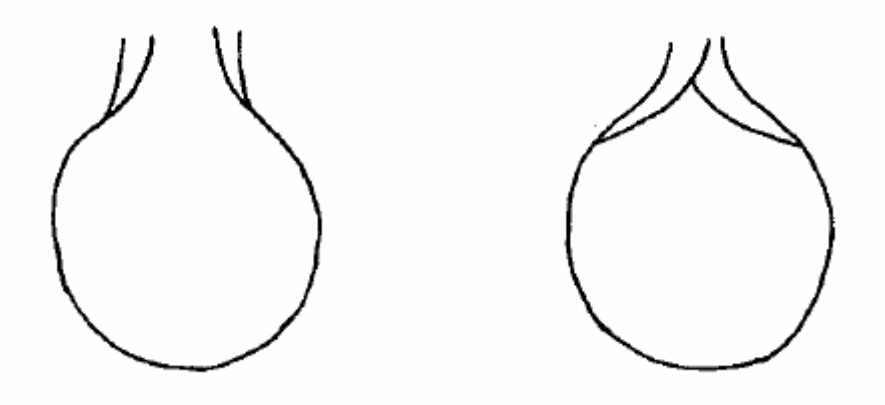
形質 72　リップの形（側裂片がない品種に限る。）
Char.72　Varieties without lateral lobes only: Lip: shape



1	2	3
楕円形	円形	横楕円形
elliptic	circular	transverse elliptic

形質 73　リップの基部の重なりの有無（側裂片がない品種に限る。）

Char.73　Varieties without lateral lobes only: Lip: overlapping of basal part

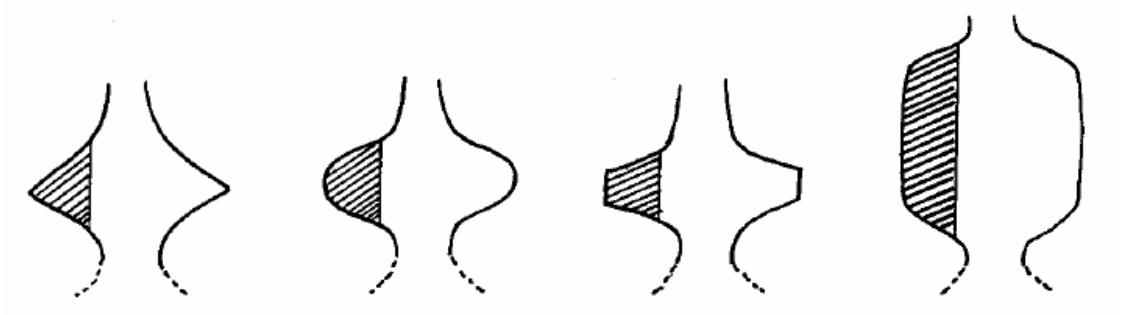


1
無
absent

9
有
present

形質 74　側裂片の形（側裂片のある品種に限る。）

Char.74　Varieties with lateral lobes only: Lip: shape of lateral lobe



1
三角形
Ttriangular

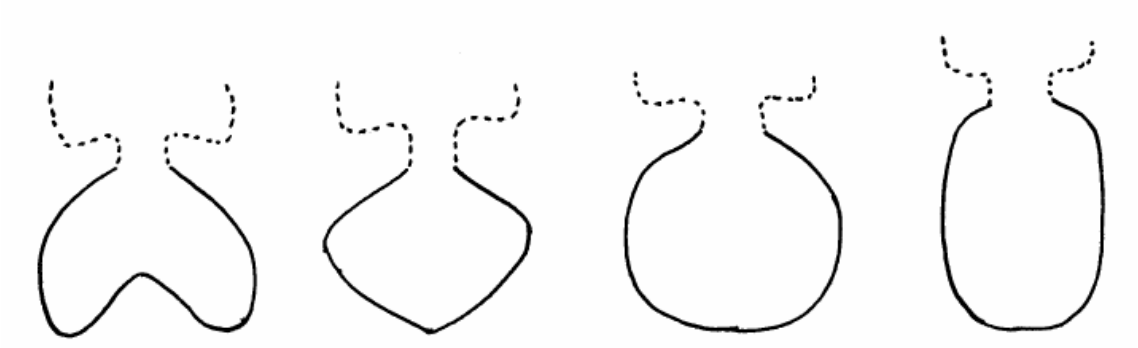
2
卵形
ovate

3
狭台形
narrow trapezoid

4
広台形
broad trapezoid

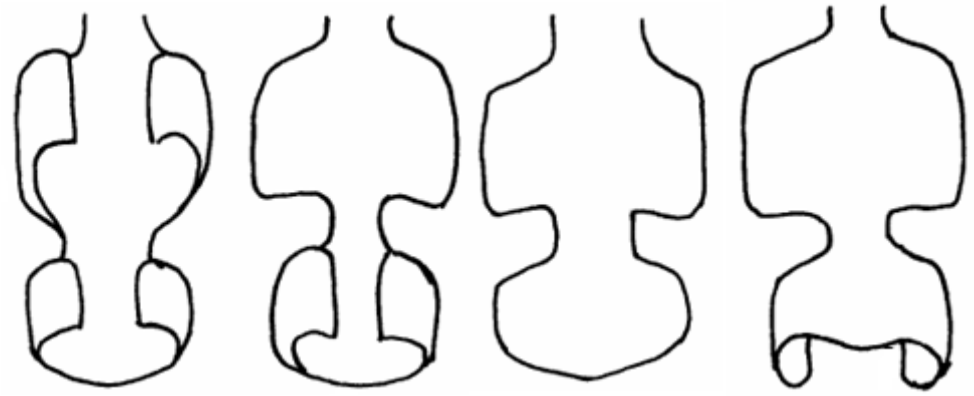
形質 75　中央裂片の形（側裂片のある品種に限る。）

Char.75　Varieties with lateral lobes only: Lip: shape of apical lobe



1	2	3	4
腎臓形	菱形	横楕円形	楕円形
reniform	rhombic	transverse elliptic	elliptic

形質 76　リップの湾曲の型　Char. 76　Lip type of curving

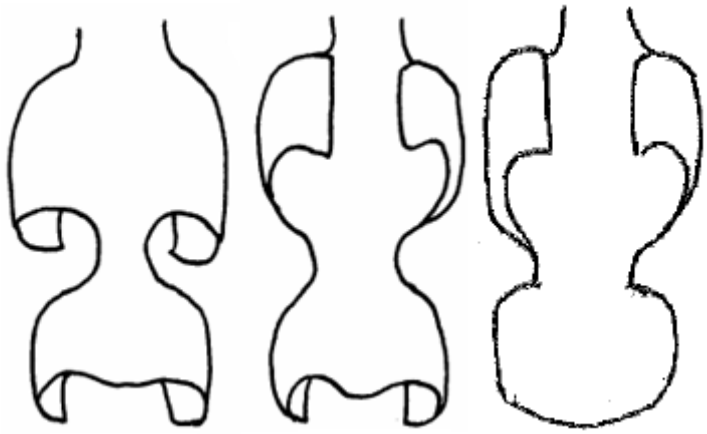


1
Ⅰ型
type Ⅰ

2
Ⅱ型
type Ⅱ

3
Ⅲ型
type Ⅲ

4
Ⅳ型
type Ⅳ

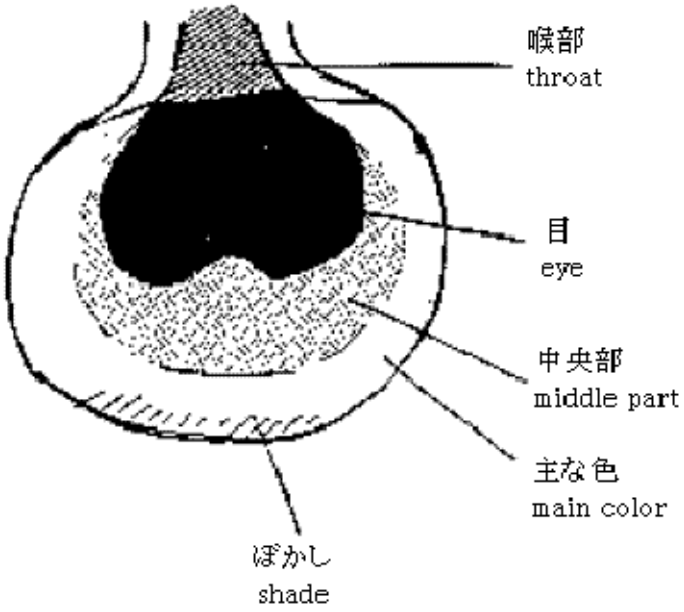


5
Ⅴ型
type Ⅴ

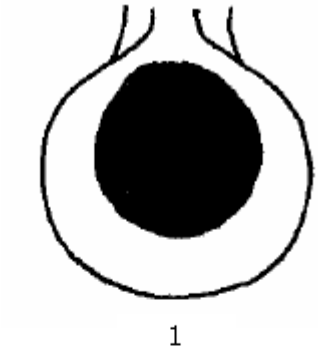
6
Ⅵ型
type Ⅵ

7
Ⅶ型
type Ⅶ

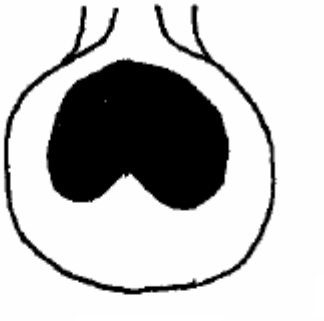
形質 77　リップの目の有無　Char.77　Lip: eye
形質 82　リップの主な色　Char.82　Lip: main color
形質 83　リップの中央部の色　Char. 83　Lipe: colour of middle part



形質 78　リップの目の型　Char.78　Lip: shape of eye



1
Ⅰ型
type Ⅰ



2
Ⅱ型
type Ⅱ



3
Ⅲ型
typeⅢ



4
Ⅳ型
typeⅣ

資料 1-3-18

2026 年 月

アメリカデイコ種

cockspur coraltree

（*Erythrina crista-galli* L.）

（案）

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この基準は、マメ科（Fabaceae）のエリスリナ属（*Erythrina* L.）のアメリカデイコ種（*E.crista-galli* L.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態　挿し木発根苗

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　８個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出する種苗は、審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合は、その処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）供試個体数　６個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数：特に指示がない限り、植物体６個体又は各個体から採取した部分６個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期：　３年生株を定植後、落葉後の晩秋から冬にかけて切り戻し「強剪定」を行い、翌春最初に伸長した開花枝の蕾の半分程度が開花した時に行う。

ⅳ）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに合意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１％、受容確率95％を適用し、UPOV の TGP８文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が６の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）葉の斑の有無（形質 10）

ⅱ）旗弁の内面の複色の有無（形質25）

ⅲ）旗弁の内面の主な色（形質26）

以下の色区分による

Gr.1：赤

Gr.2：橙
Gr.3：黄
Gr.4：白

ⅳ）旗弁の外面の主な色（形質30）
以下の色区分による
Gr.1：赤
Gr.2：橙
Gr.3：黄
Gr.4：白

Ⅶ. 特性表で使用する記号の説明(Legend)
G：グループ分けに使用する形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷ. に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	

小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of characteristics）

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex. Var)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
1		QN	開花枝の長さ	Flowering shoot : length	開花枝の長さ	測定 ㎝ MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	*E.crista-galli* L.	
2		QN	開花枝の太さ	Flowering shoot : thickness	開花枝の中央部の太さ	測定 ㎜ MS	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	*E.crista-galli* L.	
3		PQ (+)	開花枝の反りの強弱	Flowering shoot : curve	開花枝の反りの強弱	観察 VG	1 2 3	無 弱 強	absent weak strong	*E.crista-galli* L.	
4		PQ	開花枝の緑色の濃淡	Flowering shoot : intensity green color	開花枝の中央部の緑色の濃淡	観察 VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	*E.crista-galli* L.	
5		PQ	開花枝の上面のアントシアニン着色の強弱	Flowering shoot : anthocyanin coloration of upper side	開花枝の上面のアントシアニン着色の強弱	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	*E.crista-galli* L.	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex. Var)	備　考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
6		QL	開花枝のとげの有無	Flowering shoot : thorn	開花枝のとげの有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
7		QN (+)	葉の長さ	Leaf : length	典型的な最大複葉の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	*E.crista-galli* L.	
8		QN (+)	葉の幅	Leaf : width	典型的な最大複葉の幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	*E.crista-galli* L.	
9		PQ	葉の緑色の濃淡	Leaf : intensity of green color	葉の表面の緑色の濃淡	観察 VG	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	*E.crista-galli* L.	
10		QL G	葉の斑の有無	Leaf : variegation	葉の斑の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	*E.crista-galli* L.	
11		PQ (+)	葉の斑の模様	Leaf: pattern of variegation	葉の斑のタイプ	観察 VG	1 2	散斑 脈斑	spotted vein		
12		PQ	葉の斑の色	Leaf : color of variegation	葉の斑の色	観察 VG	1 2 3	白 黄 黄緑	white yellow yellow green		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex. Var)	備　考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
13		QN (+)	先端小葉の葉身の長さ	Terminal leaf : length of blade	典型的な最大複葉の先端小葉の葉身の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	*E.crista-galli* L.	
14		QN (+)	先端小葉の葉身の幅	Terminal leaf : width of blade	典型的な最大複葉の先端小葉の葉身の幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	*E.crista-galli* L.	
15		QL	葉柄のとげの有無	Petiole : thorn	葉柄のとげの有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	*E.crista-galli* L.	
16		QN	開花枝の花らいの数	Flowering shoot : number of flower buds	開花枝 1 本の総花らい数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	*E.crista-galli* L.	
17		QN (+)	つぼみの長さ	Flower bud : length	開花直前のつぼみの長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	*E.crista-galli* L.	
18		QN (+)	つぼみの幅	Flower bud : width	開花直前のつぼみの幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	*E.crista-galli* L.	

形質番号	UPOV	記号	形　質（Characteristics）		定　義	調査方法	階級	状　態（State）		標準品種（Ex. Var）	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
19		PQ	つぼみの主な色	Flower bud：main color	開花直前のつぼみの主な色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
20		QN (+)	花の縦径	Flower：vertical diameter	満開時の最大花の縦径	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	*E.crista-galli* L.	
21		QN (+)	旗弁の長さ	Vexillum：length	満開時の旗弁を押し広げた時の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	*E.crista-galli* L.	
22		QN (+)	旗弁の幅	Vexillum：width	満開時の旗弁を押し広げた時の幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	*E.crista-galli* L.	
23		PQ (+)	旗弁の形	Vexillum：shape	満開時の旗弁を押し広げた時の形	観察 VG	1 2 3 4 5 6	狭楕円形 楕円形 広楕円形 狭卵形 卵形 広卵形	narrow elliptic elliptic broad elliptic narrow ovate ovate broad ovate	*E.crista-galli* L.	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex. Var)	備　考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24		PQ (+)	旗弁の横断面の形	Vexillum：shape of cross section	満開時の旗弁の横断面の形	観察 VG	1 2 3 4	Ⅰ型 Ⅱ型 Ⅲ型 Ⅳ型	type Ⅰ type Ⅱ type Ⅲ type Ⅳ		
25		QL G	旗弁の内面の複色の有無	Vexillum：secondary color of inner side	満開時の旗弁内面の複色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	*E.crista-galli* L.	
26		PQ G	旗弁の内面の主な色	Vexillum：main color of inner side	満開時の旗弁内面の主な色（面積が最大の色）	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
27		PQ (+)	旗弁の内面の複色の分布状態	Vexillum: distribution of secondary color of inner side	満開時の旗弁内面の複色の分布状況	観察 VG	1 2 3 4	先端部 縁部 中央部 基部	apex margin center base		
28		PQ	旗弁の内面の複色の色	Vexillum：secondary color of inner side	満開時の旗弁内面の複色の色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
29		QL	旗弁の外面の複色の有無	Vexillum：secondary color of outer side	満開時の旗弁外面の複色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	*E.crista-galli* L.	
30		PQ G	旗弁の外面の主な色	Vexillum：main color of outer side	満開時の旗弁外面の主な色（面積が最大の色）	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex. Var)	備　考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
31		QN (+)	舟弁の長さ	Carina：length	満開時の舟弁の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	*E.crista-galli* L.	
32		QN (+)	舟弁の幅	Carina：width	満開時の舟弁の幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	*E.crista-galli* L.	
33		PQ	舟弁の外面の主な色	Carina：main color of outer side	満開時の舟弁の外面の色（面積が最大の色）	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
34		PQ	雄ずいの花糸の色	Stamen：color of filament	満開時の花糸の色（合着部を含む。）	観察 VG	1 2 3 4 5	緑白 淡緑 橙 赤 赤紫	green white light green orange red purple red		

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質３　開花枝の反りの強弱　Char.3　Flowering shoot：curve

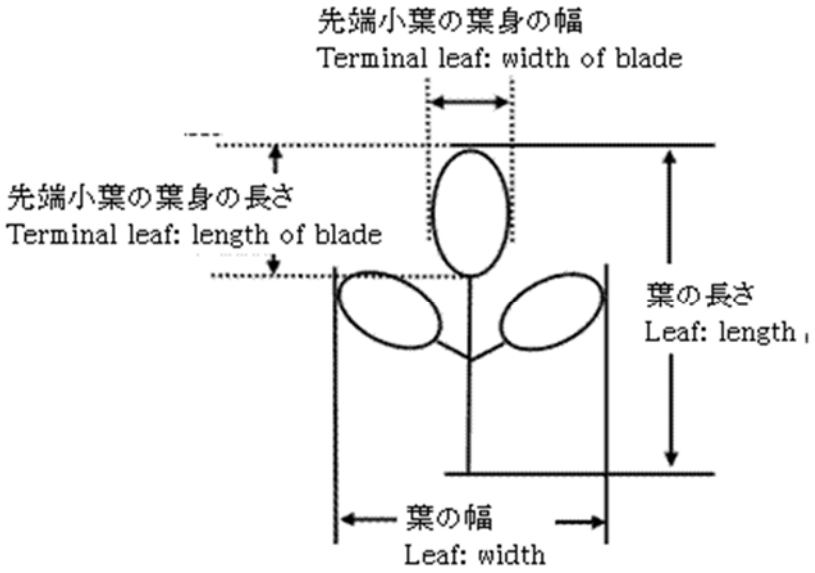


形質７　葉の長さ　Char.7　Leaf：length

形質８　葉の幅　Char.8　Leaf：width

形質 13　先端小葉の葉身の長さ　Char.13　Terminal leaf：length of blade

形質 14　先端小葉の葉身の幅　Char.14　Terminal leaf：width of blade



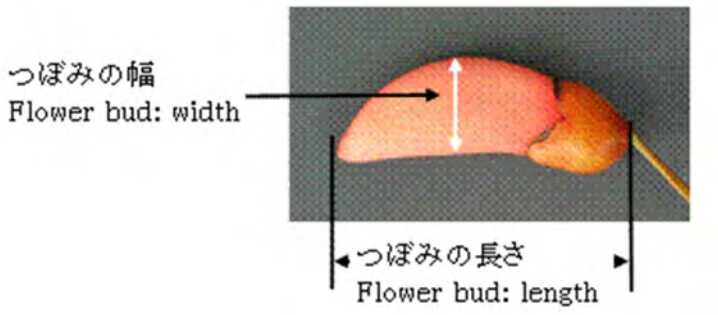
形質 12　葉の斑の模様

Char.12　Leaf : pattern of variegation

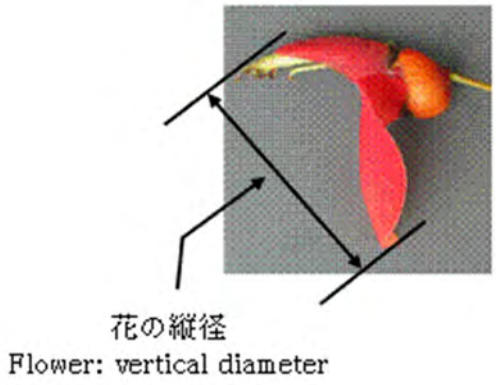


形質 17　つぼみの長さ　Char.17　Flower bud：length

形質 18　つぼみの幅　Char.18　Flower bud：width

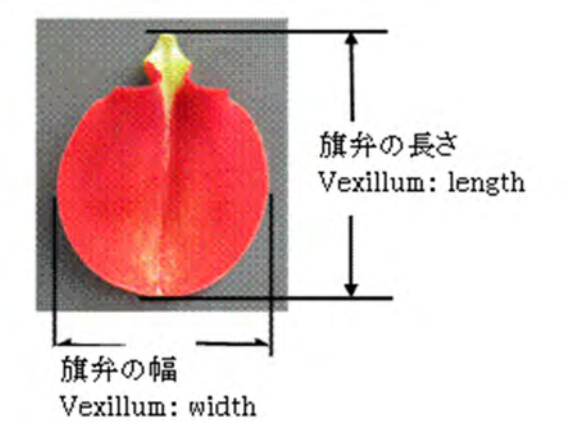


形質 20　花の縦径　Char.20　Flower：vertical diameter

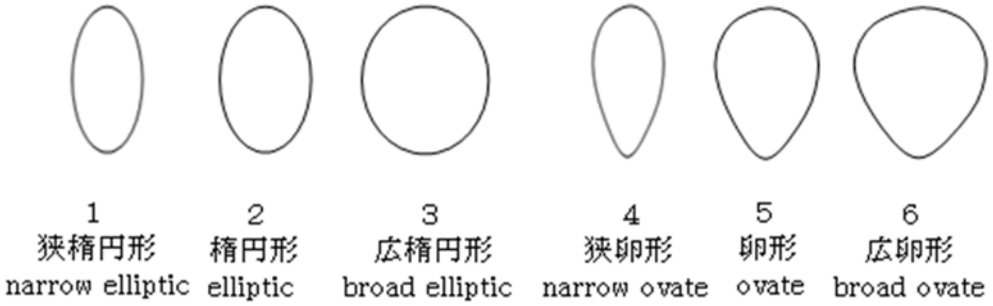


形質 21　旗弁の長さ　Char.21　Vexillum：length

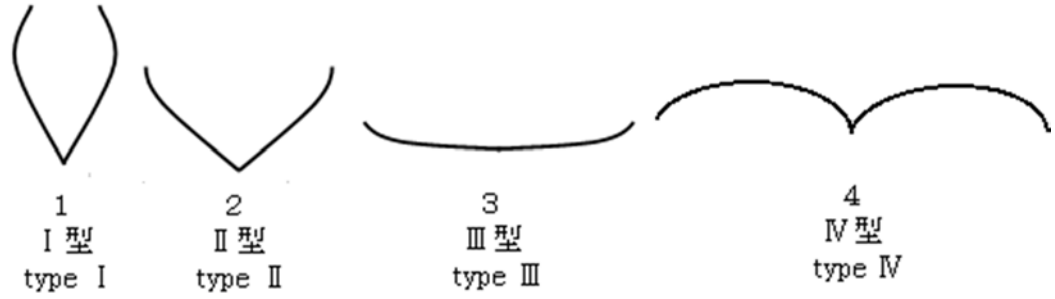
形質 22　旗弁の幅　Char.22　Vexillum：width



形質 23　旗弁の形　Char.23　Vexillum：shape

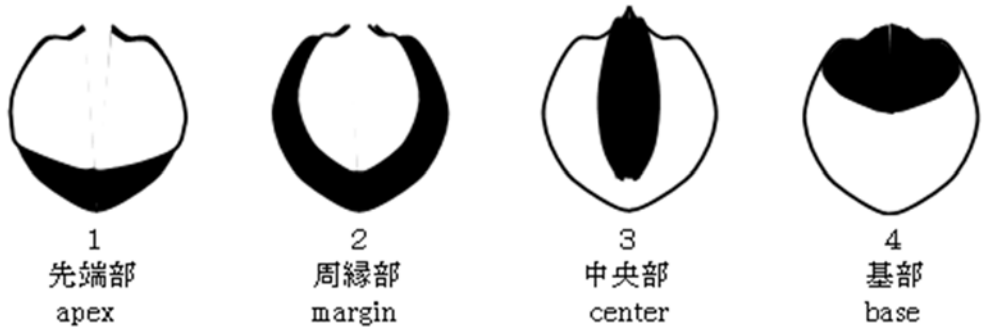


形質 24　旗弁の横断面の形　Char.24　Vexillum：shape of cross section



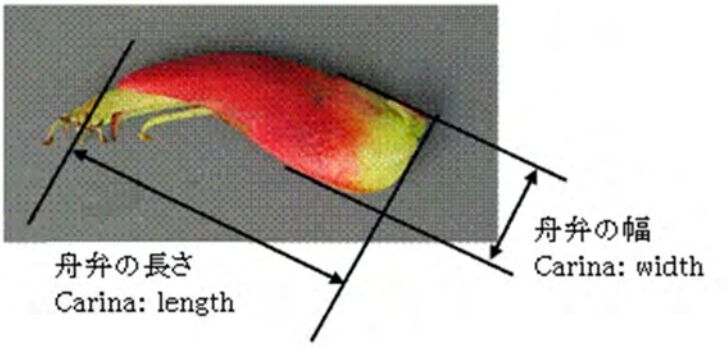
形質 27　旗弁の内面の複色の分布状態

Char.27　Vexillum: distribution of secondary color of inner side



形質 31　舟弁の長さ　Char.31　Carina：length

形質 32　舟弁の幅　Char.32　Carina：width



資料 1-3-19

2026 年 月

フェリキア（ブルーデージー）属

Blue daisy

(*Felicia* Cass.)

（案）

フェリキア属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、キク科（Asteraceae）フェリキア属（*Felicia* Cass.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　　発根苗

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　40 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　30 個体

ⅲ）栽培期間　　１生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、開花盛期に行う。

特に指示がない限り、葉に関する形質は最長分枝の中間部の葉を調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定については、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 30 の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）草姿（形質１）

ⅱ）株の幅（形質２）

ⅲ）株の高さ（形質３）

ⅳ）着らい分枝の数（形質８）

ⅴ）葉の斑の有無（形質 21）

vi）舌状花の表面の色（形質 40）

Ⅵ. 特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：疑似の質的形質
(+)：Ⅷ. に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質 のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 （State）		階級 （Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of characteristic)

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		PQ (+) G	草姿	Plant: growth habit	開花期における分枝の着生角度	観察 VG	1 2 3 4	かなり斜上 斜上 やや斜上 水平	considerable upward upward slightly upward horizontal	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ 斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
2		QN G	株の幅	Plant: width	開花期における株の最大径	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
3		QN G	株の高さ	Plant: height	開花期における地際から最頂部までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	low medium tall	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
4		QN	茎の長さ	Stem: length	開花期における最長分枝の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
5		QN	茎の太さ	Stem: thickness	最長分枝の中間部の太さ	測定 cm MS	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
6		QL	茎のアントシアニン着色の有無	Stem: anthocyanin coloration	茎のアントシアニンの着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
7		QL	茎の毛の有無	Stem: pubescence	茎の毛の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
8		QN G	着らい分枝の数	Stem: number of shoots with flower buds	１株の着らい分枝の数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
9		QN	節間長	Stem: length of internode	最長分枝の中間部の３節間の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
10		PQ	葉序	Leaf: arrangement(phyllotaxy) on flowering stem	開花した茎の葉序	観察 VG	1 2 3 4	対生 互生 上部対生下部互生 上部互生下部対生	opposite alternate upper-opposite lower-alternate upper-alternate lower-opposite	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
11		QN	葉の数	Leaf: number of leaves	最長分枝の葉の数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
12		QN	葉の長さ	Leaf: length	葉の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
13		QN	葉の幅	Leaf: width	葉の幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
14		PQ (+)	葉の形	Leaf: shape	葉の形	観察 VG	1 2 3 4	線形 長楕円形 楕円形 広楕円形	linear narrow elliptic elliptic broad elliptic	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
15		PQ (+)	葉の先端の形	Leaf: shape of apex	葉の先端の形	観察 VG	1 2	微突形 円形	mucronate rotund	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
16		PQ (+)	葉の基部の形	Leaf: shape of base	葉の基部の形	観察 VG	1 2 3	楔形脚 鋭形脚 心形脚	cuneate acute cordate	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
17		QN	葉のねじれの強弱	Leaf: twisting	葉のねじれの強弱	観察 VG	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
18		PQ	茎の中間部の葉の表面の主な色	Leaf: main color on upper side of the middle part of stem	最長分枝の中間部の葉の表面の主な色	観察 VG	1 2 3	淡緑 緑 濃緑	light green medium green dark green		
19		QL	茎の上部の葉と中間部の葉との表面の色の相違の有無	Leaf: difference of color on upper side between the upper part and the middle part of stem	最長分枝における最上位の葉と中間部の葉との表面の色の相違の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
20		PQ (+)	茎の上部の葉の表面の主な色	Leaf: main color on upper side of the upper part of stem	最長分枝の最上位の葉の表面の主な色	観察 VG	1 2 3 4	黄 淡緑 緑 濃緑	yellow light green medium green dark green		
21		QL G	葉の斑の有無	Leaf: variegation	葉の斑の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ 斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
22		QL	葉の斑の模様	Leaf: type of variegation	葉の斑の種類	観察 VG	1 2	外斑 中斑	margined centered	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
23		PQ	葉の斑の色	Leaf: color of variegation	葉の斑の色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
24		QL	葉の光沢の有無	Leaf: glossiness	葉の光沢の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
25		QL	葉の毛の有無	Leaf: pubescence	葉の毛の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
26		PQ (+)	葉の着生角度	Leaf: angle of insertion	最長分枝の葉の着生角度	観察 VG	1 2 3 4	かなり斜上 斜上 やや斜上 水平	considerable upward upward slightly upward horizontal	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
27		PQ (+)	花房の形	Inflorescence: shape	開花盛期における花房の形	観察 VG	1 2 3	三角形 平形 凹形	triangular flat concave	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
28		QN	花柄の長さ	Peduncle: length	開花盛期における花柄の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
29		QN	花柄の太さ	Peduncle: thickness	開花盛期における花柄の太さ	測定 mm MS	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	

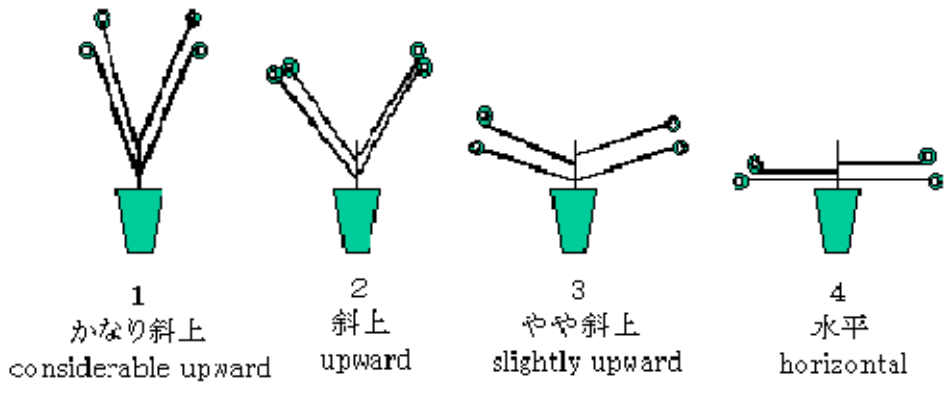
形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30		QL	花柄のアントシアニン着色の有無	Peduncle: anthocyanin coloration	開花盛期における花柄のアントシアニン着色の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
31		QN (+)	花の形	Flower head: attitude of outer floret	開花盛期における外花弁の展開角度	観察 VG	1 2 3 4	斜上 やや斜上 水平 垂下	upward slightly upward horizontal downward	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
32		QN	花の大きさ	Flower head: diameter	開花盛期における花の大きさ	測定 cm MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
33		QN	花房の花の数	Inflorescence: number of flower heads per one flower cluster	開花盛期における一花房の花の数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
34		QN	舌状花の重なり	Ray floret: overlapping	開花盛期における舌状花の重なりの有無及びその程度	観察 VG	1 3 5 7	無 小 中 大	absent low medium high	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
35		QN	舌状花の数	Ray floret: number	舌状花の数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
36		QN	舌状花の長さ	Ray floret: length	開花盛期における舌状花の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
37		QN	舌状花の幅	Ray floret: width	開花盛期における舌状花の幅	測定 mm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
38		PQ (+)	舌状花の形	Ray floret: shape	開花盛期における舌状花の形	観察 VG	1 2 3	狭線形 線形 広線形	narrow linear linear broad linear	斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
39		PQ (+)	舌状花の先端の形	Ray floret: shape of apex	開花盛期における舌状花の先端の形	観察 VG	1 2 3	尖形 円形 切形	acuminate rotund truncate	ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
40		PQ G	舌状花の表面の色	Ray floret: color on upper side	開花盛期における舌状花の表面の色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
41		PQ	舌状花の裏面の色	Ray floret: color on lower side	開花盛期における舌状花の裏面の色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		

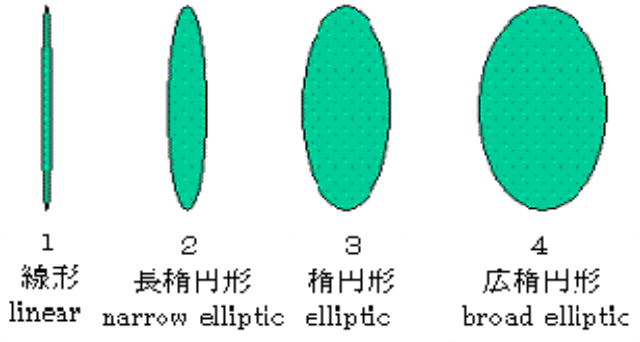
形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
42		QN	総ほうの大きさ	Involucre: width	開花盛期における総ほうの幅	測定 ㎜ MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	 斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
43		QN	花盤の直径	Disc: diameter	開花盛期における管状花部の直径	測定 ㎜ MS	3 5 7	小 中 大	small medium large	 ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
44		PQ	花盤の色	Disc: color	開花盛期における管状花部の色	観察 VG	1 2 3	淡黄 黄 橙	pale yellow yellow orange	 ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	
45		QN	開花の早晩	Flowering time	茎の頂花の開花の早晩	観察 MG	3 5 7	早 中 晩	early medium late	 斑入りﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ ﾆｭｰﾌﾞﾙｰﾃﾞｰｼﾞｰ	

Ⅷ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1　草姿　Char.1　Plant: growth habit



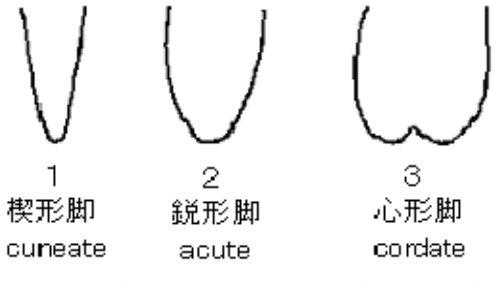
形質 14　葉の形　Char.14　Leaf: shape



形質 15　葉の先端の形　Char.15　Leaf: shape of apex

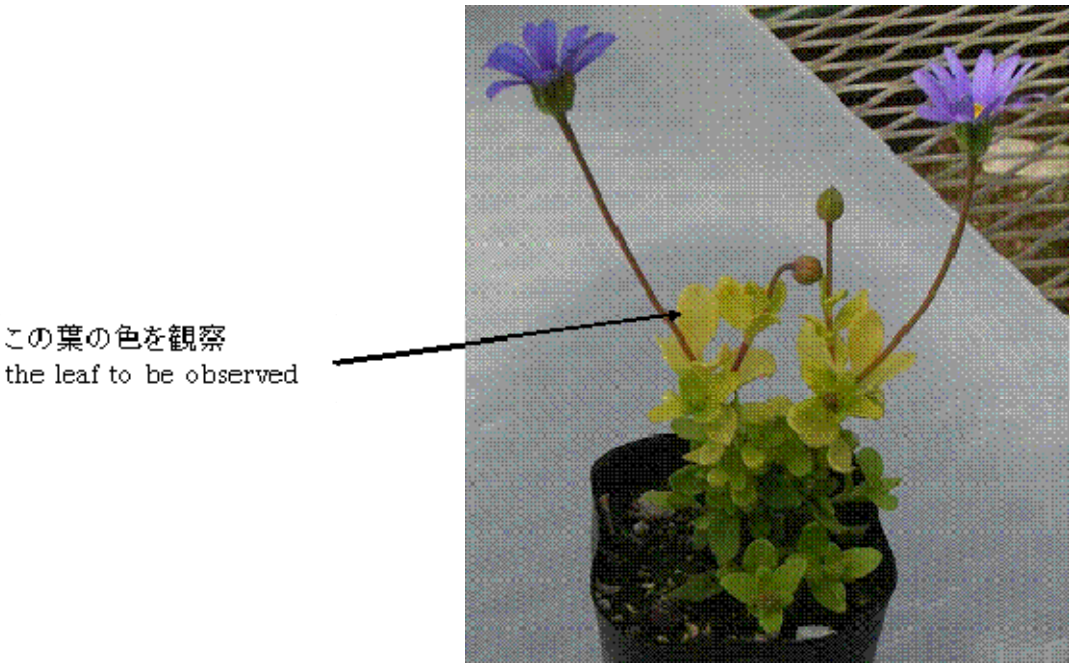


形質 16　葉の基部の形　Char.16　Leaf: shape of base

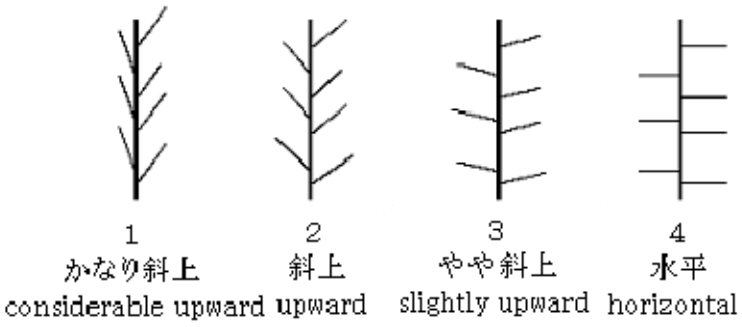


形質 20　茎の上部の葉の表面の主な色

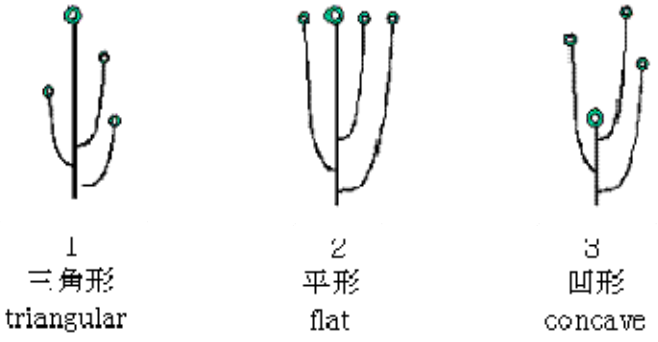
Char.20　Leaf: main color on upper side of the upper part of stem



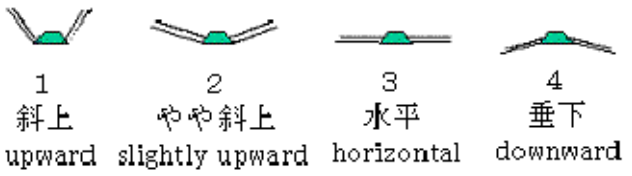
形質 26　葉の着生角度　Char.26　Leaf: angle of insertion



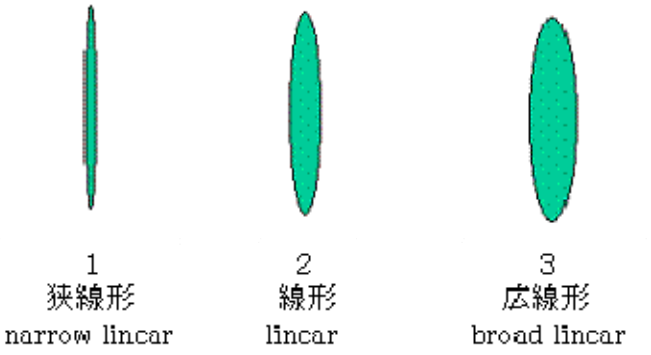
形質 27　花房の形　Char.27　Inflorescence: shape



形質 31　花の形　Char.31　Flower head: attitude of outer floret



形質 38　舌状花の形　Char.38　Ray floret: shape



形質 39　舌状花の先端の形　Char.39　Ray floret: shape of apex



資料 1-3-20

2026 年 月

TG/11/8 Rev. 2010-03-24 に準拠

バラ属

Rose

（*Rosa* L.）

（案）

ばら属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象（Subject of these Guidelines）

この基準は、バラ科（*Rosaceae*）バラ属（*Rosa* L.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗（Material Required）

ⅰ）種苗の形態

切り花用品種　挿し木発根苗（新苗、５cm 角ロックウール）

庭園用品種　切り接ぎ苗（新苗、ポット植）

鉢物用品種　挿し木発根苗（新苗、ポット植）

ⅱ）提出時期　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量

切り花用品種　交配品種　12個体、突然変異（枝変わり）品種　22個体

庭園用品種　８個体

鉢物用品種　８個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出する種苗は、審査当局が指示した場合を除き、薬剤処理及びその他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合は、その処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施（Conduct of Tests）

ⅰ）栽培条件

切り花用品種　栽培方法　施設加温栽培　温度設定　最低温度 15℃

庭園用品種　栽培方法　雨除け栽培

鉢物用品種　栽培方法　施設無加温鉢栽培　鉢サイズ　５号程度

ⅱ）最低供試個体数　特性調査時に以下に掲げる個体数を下回らないこと。

切り花用種　交配品種　９個体、突然変異（枝変わり）品種　18 個体

庭園用品種　６個体

鉢物用品種　６個体

ⅲ）栽培期間　１生育周期

ⅳ）調査方法　調査個体数は、特に指示がない限り、庭園用品種及び鉢物用品種は植物体６個体又は各個体から採取した部分６個とし、切り花用品種は植物体９個体又は各個体から採取した部分９個とする。調査時期は、切り花用品種及び鉢物用品種は秋の開花時期とし、庭園用品種及び一季咲きの鉢物用品種は、春の開花時期の花を対象とする。

(a) 葉と小葉についての観察は、開花枝を三等分した中央部分で行う。

(b) 花についての観察は、満開時の花（葯の裂開時点）で行う。

(c) 花弁についての観察は、八重品種は外側から三列目の花弁、半八重品種は花弁の重なりの中間部の花弁で行う。

ⅴ）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がそれに合意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for Decisions）

均一性の判定は、品種登録出願等審査要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準１％、受容確率 95％を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表５により判定する。供試個体数が９の場合、許容される異型個体数は１である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質（Grouping of Varieties）

ⅰ）植物体の生育型（庭園用及び鉢物用品種に限る。）（形質１）
ⅱ）花型（庭園用及び鉢物用品種に限る。）（形質21）
ⅲ）花色の分類（形質23）
ⅳ）花の直径（形質 26）
ⅴ）花弁の表面の色数（形質 40）
ⅵ）花弁の裏面の主な色（形質 50）
以下の色区分による
Gr.1：緑
Gr.2：淡黄
Gr.3：黄
Gr.4：橙
Gr.5：桃
Gr.6：赤
Gr.7：紫赤
Gr.8：褐赤

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明（Legend）

G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための必須調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷ．に特性表の説明図等を示す
(a)-(c)：Ⅲ　試験の実施　ⅳ）調査方法に説明が記載されている形質
[C]：切り花用品種の試験において審査される形質
[G]：庭園用品種の試験において審査される形質
[P]：鉢物用品種の試験において審査される形質

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of characteristics）

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種（Ex.Var.）	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
1	1 (*)	PQ [G] [P] G	植物体の生育型（庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Plant : growth type	植物体の生育型	観察	1 2 3 4 5 6	ミニ 矮性 花壇 シュラブ つる性 ｸﾞﾗﾝﾄﾞｶﾊﾞｰ	miniature dwarf bed shrub climber ground cover	ｷｬﾝﾃﾞｨｷｬﾝﾃﾞｨｰ 八女津姫 ﾋﾟｰｽ、ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ ﾒｲｸﾛﾀｰﾙ、 Ausrover、ｸﾞﾗﾊﾑ ﾄｰﾏｽ ﾂﾙﾋﾟｰｽ、つるｱｲｽﾊﾞｰｸﾞ、羽衣 ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ	
2	2 (*)	QN (+) [G] [P]	樹姿（つる性タイプを除く庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Excluding varieties with growth type climber: Plant: growth habit	開花時の植物体の側面から見た状態	観察	1 3 5 7 9	直立 半直立 中間 開張 横張	upright semi upright intermediate moderately spreading strongly spreading	ｸｲｰﾝｴﾘｻﾞﾍﾞｽ ﾋﾟｰｽ、ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ ﾒｲｼﾞｶﾀｰﾙ、ﾗ ｾﾋﾞﾘｱｰﾅ、ﾙｲﾐﾚｯﾄﾞ	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
3	3	QN [C] [G]	植物体の高さ（切り花用及び庭園用品種に限る。）	Plant: height (during second flush)	二番花開花時の植物体の高さ	測定 cm	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極低 かなり低 低 やや低 中 やや高 高 かなり高 極高	very short very short to short short short to medium medium medium to tall tall tall to very tall very tall	 ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ ｿﾆｱ、ﾒｲｸﾛﾀｰﾙ Ausrover	
4	4	QL	新しょうのアントシアニン着色の有無	Young shoot: anthocyanin coloration	20cm程度の長さの新しょうを3等分した先端部分における、茎と葉のアントシアニンの着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
5	5	QN	新しょうのアントシアニン着色の強弱	Young shoot: intensity of anthocy-anin coloration	20cm程度の長さの新しょうを三等分した先端部分における、茎と葉のアントシアニンの着色の強弱（濃淡）	観察	1 3 5 7 9	極弱 弱 中 強 極強	very weak weak medium strong very strong	 花見川、ﾙｲﾐﾚｯﾄﾞ 羽衣、ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ、ﾙｲｲ 1549 ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ、ｾﾙｲﾛﾝｸｲｰﾝｴﾘｻﾞﾍﾞｽ	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
6	6	QN	茎のとげの数	Stem: number of prickles (excluding very small and hair-like prickles)	開花枝を三等分した中央部のとげの数（極めて小さいとげと刺毛は除く）	観察	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many		
7	7	PQ	とげの主な色	Prickles: predominant color (as for 6)	開花枝を三等分した中央部のとげの主な色	観察 (a)	1 2 3 4	緑 黄 赤 紫	greenish yellowish reddish purplish	ﾚｯｸｽｱﾆｨ、ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ、ﾂﾙﾋﾟｰｽ、ﾎﾟｰﾙﾎﾞｷｭｰｽﾞ、ｴﾍﾞﾗ 152	
8	8	QN	葉の大きさ	Leaf: size	開花枝を三等分した中央部における葉の大きさ（長さと幅を測定）	測定 (a) $\underline{cm^2}$	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	ﾙｲﾐﾚｯﾄﾞ ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ、ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ ｲﾝﾀｰﾘｽ、ﾒｲｸﾛﾀｰﾙ ｾﾙｲﾛﾝ、Ausrover ｱｻﾐ・ﾚｯﾄﾞ	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
9	9	QN	葉の表面の緑色の濃淡	Leaf: intensity of green color (upper side)	開花枝を3等分した中央部における葉の表面の緑色の濃淡	観察 (a)	3 5 7	淡 中 濃	light medium dark	ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ、ｿﾆｱ、ﾒｲｸﾛﾀｰﾙ、ﾒｲｼﾞｶﾀｰﾙ	
10	10	QL [G] [P]	葉のアントシアニン着色の有無（庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Leaf: anthocyanin coloration	開花枝を三等分した中央部における葉のアントシアニンの着色の有無	観察 (a)	1 9	無 有	absent present		
11	11 (*)	QN	葉の表面の光沢の強弱	Leaf: glossiness of upper side	開花枝を三等分した中央部における葉の表面の光沢の強弱	観察 (a)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ﾎﾟｰﾙﾎﾞｷｭｰｽﾞﾀﾉﾁｶ、ﾃｨﾈｹ、ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ、ｿﾆｱ、ﾒｲｸﾛﾀｰﾙ	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
12	12 (*)	QN	小葉の周縁の波打ちの強弱	Leaflet: undulation of margin	開花枝を三等分した中央部の葉の小葉の周縁の波打ちの強弱	観察 (a)	1	無又は極弱	absent or very weak	ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ、ﾒｲｼﾞｶﾀｰﾙ	
							2	かなり弱	very weak to weak	ｱｻﾐ・ﾚｯﾄﾞ	
							3	弱	weak		
							4	やや弱	weak to medium		
							5	中	medium		
							6	やや強	medium to strong		
							7	強	strong		
							8	かなり強	strong to very strong		
							9	極強	very strong		
13	13 (*)	PQ	先端小葉の葉身の形	Terminal leaflet: shape of blade	開花枝を三等分した中央部における葉の先端小葉の葉身の形	観察 (a)	1	狭楕円形	narrow elliptic		
							2	楕円形	medium elliptic		
							3	卵形	ovate		
							4	円形	circular		
14	14	PQ (+) [C]	先端小葉の葉身基部の形（切り花用品種に限る。）	Terminal leaflet: shape of base of blade	開花枝を三等分した中央部における葉の先端小葉の葉身基部の形	観察 (a)	1	鋭形	acute		
							2	鈍形	obtuse		
							3	円形	rounded	ﾚｯｸｽｱﾆｨｽｸﾚﾄﾛｼﾞｪ	
							4	心臓形	cordate		
15	15	PQ (+)	先端小葉の葉身先端の形	Terminal leaflet: shape of apex of blade	開花枝を3等分した中央部における葉の先端小葉の葉身先端の形	観察 (a)	1	鋭尖形	acuminate		
							2	鋭形	acute		
							3	鈍形	obtuse		
							4	円形	rounded		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	QL (+) [G] [P]	開花枝の開花側枝の有無（庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Flowering shoot: flowering laterals	開花枝の開花側枝の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
17	17	QN (+) [G] [P]	開花枝の開花側枝の数（庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Flowering shoot: number of flowering laterals	開花枝の開花側枝の数	測定	1 3 5 7 9	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ	
18	18	QN (+) [G] [P]	開花枝の花の数（庭園用及び鉢物用品種で開花側枝のない品種に限る。）	Only varieties with no flowering laterals: Flowering shoot: number of flowers	開花側枝のない品種の開花枝の花の数	測定	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり少 少 やや少 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many	ﾋﾟｰｽ、ｴﾍﾞﾗ 152 羽衣 ﾙｲｲ 1549	
19	19	QN (+) [G] [P]	開花枝の側枝当たりの花の数（庭園用及び鉢物用品種で開花側枝を有する品種に限る。）	Only varieties with flowering laterals: Flowering shoot: number of flowers per lateral	開花側枝を有する品種の開花枝の側枝当たりの花の数	測定	1 3 5 7 9	極少 少 中 多 極多	very few few medium many very many	ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
20	20	PQ [G] [P]	つぼみの縦断面の形（庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Flower bud: shape in longitudinal section	がく割れ直前のつぼみの縦断面の形	観察	1 2 3	楕円形 卵形 広卵形	elliptic medium ovate broad ovate	ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ	
21	21 (*)	QN [G] [P] G	花型（庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Flower: type	一重・半八重・八重の別花弁数により一重は7枚以内、半八重は8から20枚、八重は21枚以上とする	観察 (b)	1 2 3	一重 半八重 八重	single semi-double double		
22	22 (*)	QN	花弁の数	Flower: number of petals	花弁の数	測定 (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極少 かなり小 少 やや小 中 やや多 多 かなり多 極多	very few very few to few few few to medium medium medium to many many many to very many very many	 ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ、ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ ｱｻﾐ・ﾚｯﾄﾞ、ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ ﾙｲﾐﾚｯﾄﾞ ﾀﾉﾁｶ、ﾙｲｲ 1549 ﾃｨﾈｹ Ausrover	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
23	23 (*)	PQ (+) G	花色の分類	Flower: color group	花色の分類 ①単色は、単色花の場合 ②ブレンド（系）は、花の主な色に若干他の色が混じり、若干の色合いを示す場合 ③多色は、複数色で色相が明確に分かれる場合	観察 (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	白 白系 緑 黄 黄系 橙 橙系 桃 桃系 赤 赤系 赤紫 紫 青紫系 茶系 多色	white or near white white blend green yellow yellow blend orange orange blend pink pink blend red red blend red purple purple violet blend brown blend multicolored		
24	24	PQ [G]	花の中央部分の色（庭園用品種で八重品種に限る。）	Varieties with double flowers only: Flower: colour of the centre	八重品種の花を上から見たときに中央部分と外側部分において明確に色の違いが見られる場合の中央部分の色	観察 (b)	1 2 3 4 5 6	緑 黄 橙 桃 赤 紫	green yellow orange pink red purple		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
25	25	QN [G] [P]	花弁の粗密（庭園用及び鉢物用品種で八重品種に限る。）	Varieties with double flowers only: Flower: density of petals	八重品種の花弁の締まり具合	観察 (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極粗 かなり粗 粗 やや粗 中 やや密 密 かなり密 極密	very loose very loose to loose loose loose to medium medium medium to dense dense dense to very dense very dense	 ﾂﾙﾋﾟｰｽ 羽衣	
26	26 (*)	QN G	花の直径	Flower: diameter	花の最大径	測定 (b) cm	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極小 かなり小 小 やや小 中 やや大 大 かなり大 極大	very small very small to small small small to medium medium medium to large large large to very large very large	 ﾒｲｸﾛﾀｰﾙ、ﾙｲﾐﾚｯﾄﾞ ｲﾝﾀｰﾘｽ、ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ ﾙｲｲ 1549 ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ ｿﾆｱ ﾋﾟｰｽ	
27	27 (*)	PQ (+)	花の形	Flower: shape	花を上から見た時の形	観察 (b)	1 2 3	円形 不整円形 星形	round irregularly rounded star-shaped	ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ、ﾒﾙｱﾏﾍﾝ ｱｻﾐ・ﾚｯﾄﾞ	

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
28	28	PQ (+) [C] [G]	花の上部の輪郭（切り花用及び庭園用品種に限る。）	Flower: profile of upper part	花を側面から見た時の上部の輪郭の形	観察 (b)	1 2 3	平形 やや凸形 凸形	flat flattened convex convex	ｿﾆｱ	
29	29 (*)	PQ (+) [C] [G]	花の下部の輪郭（切り花用及び庭園用品種に限る。）	Flower: profile of lower part	花を側面から見た時の下部の輪郭の形	観察 (b)	1 2 3 4	凹形 平形 やや凸形 凸形	concave flat flattened convex convex		
30	30	QN	花の香りの強弱	Flower: fragrance	花の香りの強弱	観察 (b)	1 2 3	無又は弱 中 強	absent or weak medium strong	ﾋﾟｰｽ 羽衣	
31	31 (*)	QN (+)	がくの変形の強弱	Sepal: extensions	がくの変形（伸長）の強弱	観察 (b)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	ｲﾝﾀｰﾘｽ	
32	32	QL (+)	花弁一枚ごとの展開の有無	Petals: reflexing of petals one-by-one	開花時の花弁の離れ方	観察 (b) (c)	1 9	無 有	absent present		
33	33 (*)	PQ	花弁の形	Petal: shape	花弁を押し広げた時の形	観察 (b) (c)	1 2 3 4 5	楕円形 横楕円形 倒卵形 倒心臓形 円形	elliptic transverse elliptic obovate obcordate rounded		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
34	34	QN	花弁の切れ込みの強弱	Petal: incisions	花弁の周縁の切れ込みの強弱	観察 (b) (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong		
35	35	QN	花弁の周縁の反りの強弱	Petal: reflexing of margin	花弁の周縁の反り返りの強弱	観察 (b) (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	春風 ｸｲｰﾝｴﾘｻﾞﾍﾞｽ ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ	
36	36	QN	花弁の波打ちの強弱	Petal: undulation	花弁の波打ちの強弱	観察 (b) (c)	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	羽衣 ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
37	37 (*)	QN [G] [P]	花弁の大きさ（庭園用及び鉢物用品種に限る。）	Petal: size	花弁の大きさ（長さと幅を測定）	測定 (b) (c) ㎠	1	極小	very small		
							2	かなり小	very small to small	ﾒｲｸﾛﾀｰﾙ、ﾙｲﾐﾚｯﾄﾞ	
							3	小	small	ﾗ ｾﾋﾞﾘｱｰﾅ、ﾙｲｲ 1549	
							4	やや小	small to medium	ﾁｬｰﾙｽﾄﾝ、ｴﾍﾞﾗ 152	
							5	中	medium	ﾂﾙﾋﾟｰｽ	
							6	やや大	medium to large		
							7	大	large		
							8	かなり大	large to very large		
							9	極大	very large		
38	38 (*)	QN [C]	花弁の長さ（切り花用品種に限る。）	Petal: length	花弁を押し広げた時の長さ	測定 (b) (c) ㎝	1	極短	very short		
							2	かなり短	very short to short	ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ	
							3	短	short	ｲﾝﾀｰﾘｽ	
							4	やや短	short to medium		
							5	中	medium		
							6	やや長	medium to long	ｱｻﾐ・ﾚｯﾄﾞ	
							7	長	long		
							8	かなり長	long to very long		
							9	極長	very long		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
39	39 (*)	QN [C]	花弁の幅（切り花用品種に限る。）	Petal: width	花弁を押し広げた時の幅	測定 (b) (c) ㎝	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極狭 かなり狭 狭 やや狭 中 やや広 広 かなり広 極広	very narrow very narrow to narrow narrow narrow to medium medium medium to broad broad broad to very broad very broad	ﾙｲｼﾞｪﾙﾀﾞﾝ ｲﾝﾀｰﾘｽ ﾃｨﾈｹ	
40	40 (*)	QL G	花弁の表面の色数	Petal: number of colors on inner side (basal spot excluded)	花弁表面の色数（基部の目（花弁長を3等分した基部側1/3の部分）の色は除く）	観察 (b) (c)	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two		
41	41 (*)	QN	花弁の表面の色の濃淡の分布（単色の品種に限る。）	Only varieties with one color on inner side of petal: Petal: intensity of color (basal spot excluded)	単色花弁の色の濃淡の分布	観察 (b) (c)	1 2 3	基部に向かって薄くなる 均一 上部に向かって薄くなる	lighter towards the base even lighter towards the top	ﾒｲﾎﾞﾝﾘﾌﾞ ﾗ ｾﾋﾞﾘｱｰﾅ、ｱｻﾐ・ﾚｯﾄﾞ ｴﾍﾞﾗ 107	

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
42	42 (*)	PQ	花弁の表面の主な色	Petal: main color on the inner side (main color is that with largest surface area)	花弁の表面の主な色（最大面積の色）	観察 (b) (c)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
43	43 (*)	PQ	花弁の表面の二次色	Only varieties with two or more colors on inner side of petal: Petal: secondary color (basal spot excluded)	花弁の表面の二次色（二番目に多い面積の色）（二色以上の品種のみ）	観察 (b) (c)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
44	44	PQ	花弁の表面の三次色	Only varieties with more than two colors on inner side of petal: Petal: tertiary color (basal spot excluded)	花弁の表面の三次色（三番目に多い面積の色）（三色以上の品種のみ）	観察 (b) (c)	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	白 緑 淡黄 黄 橙 桃 赤 紫赤 茶赤 紫	white green light yellow medium yellow orange pink red purple red brown red purple		

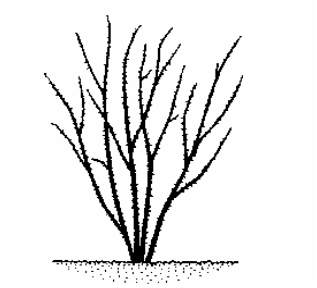
形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
45	45 (*)	PQ (+)	花弁の表面の二次色の分布	Only varieties with two or more colors on inner side of petal: Petal: distribution of secondary color on inner side (basal spot excluded)	花弁の表面の二次色の分布状態（二色以上の品種のみ）	観察 (b) (c)	1 2 3 4 5 6	基部 先端部 縁部 ぼかし 部分又は縞 斑点	at base at apex at marginal zone as a flush as segments or stripes as speckles		
46	46	PQ (+)	花弁の表面の三次色の分布	Only varieties with more than two colors on inner side of petal: Petal: distribution of tertiary color on inner side (basal spot excluded)	花弁の表面の三次色の分布状態（三色以上の品種のみ）	観察 (b) (c)	1 2 3 4 5 6	基部 先端部 縁部 ぼかし 部分又は縞 斑点	at base at apex at marginal zone as a flush as segments or stripes as speckles		
47	47 (*)	QL	花弁の表面の基部の目の有無	Petal: basal spot on the inner side	花弁の表面の基部の目の有無	観察 (b) (c)	1 9	無 有	absent present		
48	48 (*)	QN (+)	花弁の表面の基部の目の大きさ	Petal: size of basal spot on inner side	花弁の表面の基部の目の大きさ	観察 (b) (c)	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
49	49 (*)	PQ	花弁の表面の基部の目の色	Petal: color of basal spot on inner side	花弁の表面の基部の目の色	観察 (b) (c)	1 2 3 4 5 6 7	白 緑 淡黄 黄 橙黄 橙 赤	white greenish light yellow medium yellow orange yellow orange red		
50	50 (*)	PQ G	花弁の裏面の主な色	Petal: main color on the outer side	花弁の裏面の主な色	観察 (b) (c)		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
51	51	PQ	外側の雄ずいの花糸の主な色	Outer stamen: predominant color of filament	雄ずい群外周の花糸の主な色	観察 (b)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	白 緑 淡黄 黄 橙 桃 赤 茶赤 紫	white green light yellow medium yellow orange pink red brown red purple	ｲﾝﾀｰﾘｽ ﾃｨﾈｹ ｴﾍﾞﾗ 107 ｾﾙｲﾛﾝ	

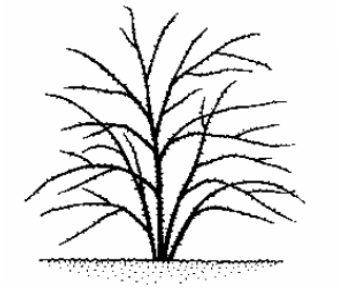
形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
52	52	QN [G]	花床の大きさ（庭園用品種に限る。）	Seed vessel: size (at petal fall)	花弁の散った時の花床の大きさ	観察	1 3 5 7 9	極小 小 中 大 極大	very small small medium large very large		
53	53	PQ (+) [G]	果実の縦断面の形（庭園用品種に限る。）	Hip: shape in longitudinal section	成熟期の果実の縦断面の形（果実を利用する品種のみ）	観察	1 2 3	ﾛｰﾄ形 ﾋﾟｯﾁｬｰ形 洋なし形	funnel-shaped pitcher-shaped pear-shaped		
54	54	PQ [G]	果実の色（庭園用品種に限る。）	Hip: color (at mature stage)	果実用栽培品種の成熟期の果実の色（果実を利用する品種のみ）	観察	1 2 3 4 5	黄 橙 赤 茶 黒	yellow orange red brown black		

Ⅷ. 特性表の説明（Explanation on the Table of Characteristics）

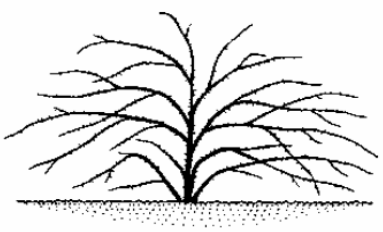
形質 2　樹姿（つる性タイプを除く庭園用及び鉢物用品種に限る。）
Char.2　Excluding varieties with growth type climber：Plant：growth habit



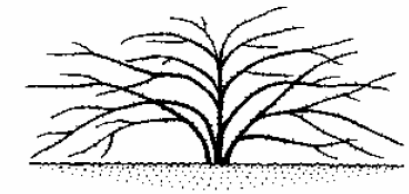
1
直立
upright



3
半直立
semi upright



5
中間
intermediate



7
開張
moderately spreading



9
横張
strongly spreading

形質 14　先端小葉の葉身基部の形（切り花用品種に限る。）
Char.14　Terminal leaflet：shape of base of blade



1
鋭形
acute



2
鈍形
obtuse

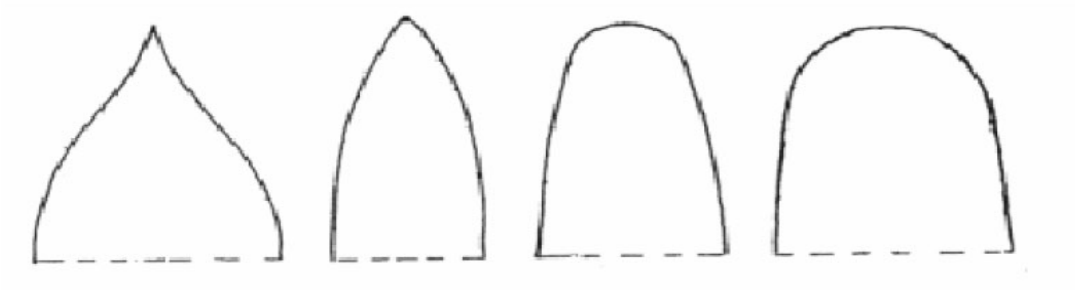


3
円形
rounded



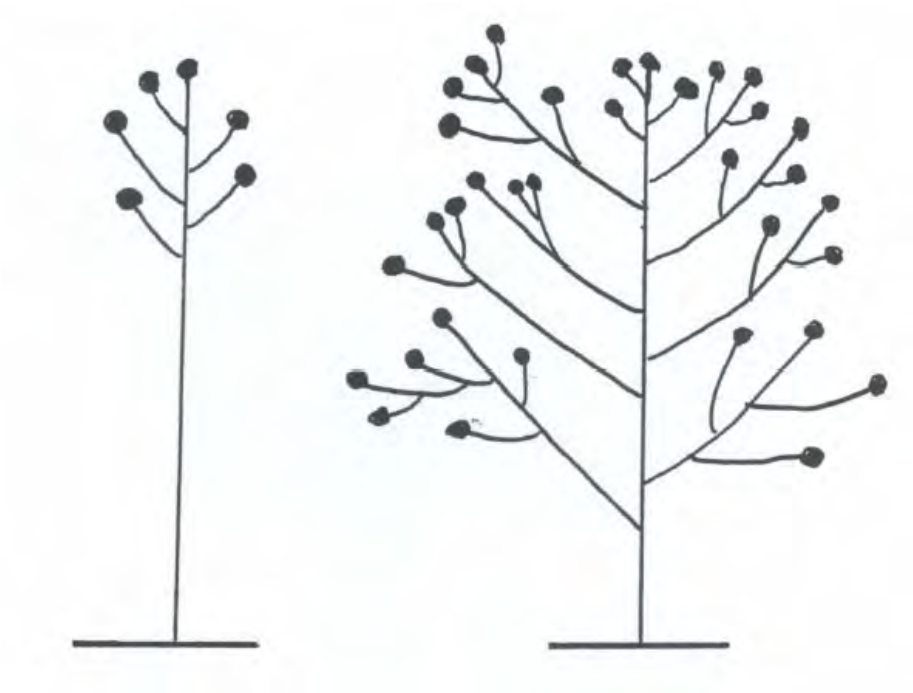
4
心臓形
cordate

形質 15　先端小葉の葉身先端の形　Char.15　Terminal leaflet：shape of apex of blade



1	2	3	4
鋭尖形	鋭形	鈍形	円形
acuminate	acute	obtuse	

形質 16　開花枝の開花側枝の有無（庭園用及び鉢物用品種に限る。）
Char.16　Flowering shoot：flowering laterals

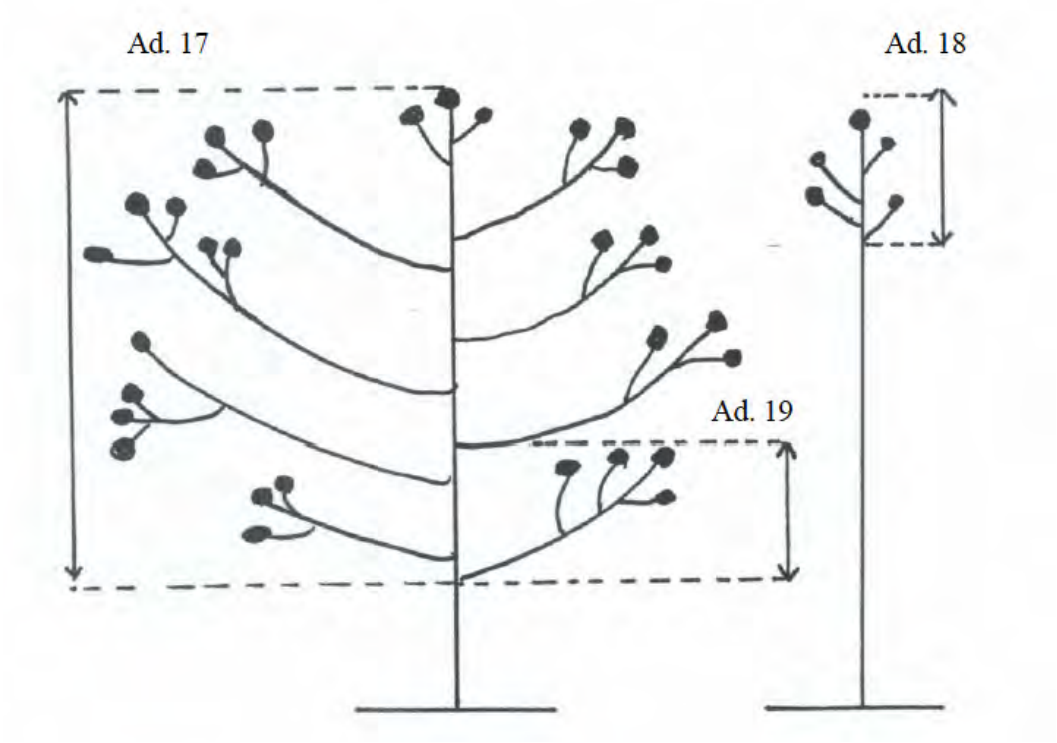


1	9
無	有
absent	present

形質 17　開花枝の開花側枝の数（庭園用及び鉢物用品種に限る。）
Char.17　Flowering shoot：number of flowering laterals

形質 18　開花枝の花の数（庭園用及び鉢物用品種で開花側枝のない品種に限る。）
Char.18　Only varieties with no flowering laterals：Flowering shoot: number of flowers

形質 19　開花枝の側枝当たりの花の数（庭園用及び鉢物用品種で開花側枝を有する品種に限る。）
Char.19　Only varieties with flowering laterals：Flowering shoot：number of flowers per lateral



形質23　花色の分類　Char.23　Flower: color group
ブレンド（系）とは、色の間において滑らかな移行が見られる状態。
多色品種とは、ゾーンの境が明確ではっきりしている状態。

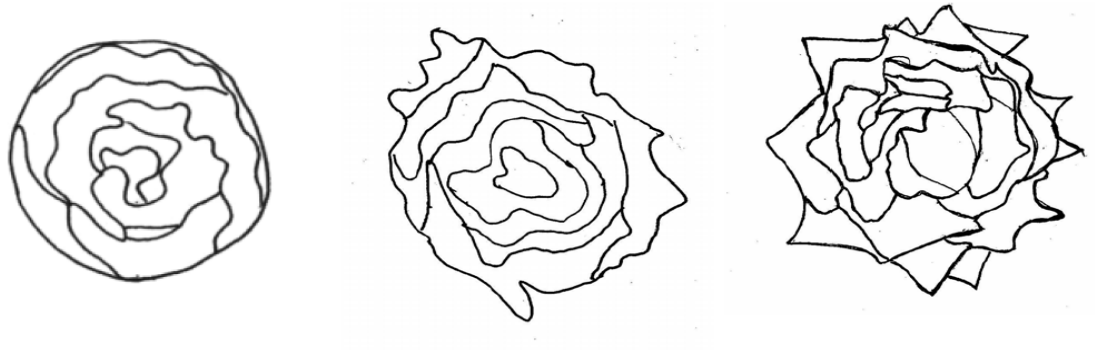
2　白系（white blend）：主に白色で、若干他の色（桃、赤、赤桃、紫色等）が混じり、若干の色合いを示す品種を含む。
5　黄系（yellow blend）：主に黄色で、若干他の色（桃、赤、赤桃色等）が混じり、若干の色合いを示す品種を含む。
7　橙系（orange blend）：主に橙色で、若干他の色（黄、紫色等）が混じり、若干の色合いを示す品種を含む。
9　桃系（pink blend）：主に桃色で、若干他の色（橙、黄、紫色等）が混じり、若干の色合いを示す品種を含む。
11　赤系（red blend）：主に赤色で、若干他の色（黄、橙色等）が混じり、若干の色合いを示す品種を含む。

14　青紫系（violet blend）：主に青紫で、若干他の色（藤色又はラベンダー色等）が混じり、若干の色合いを示す品種を含む。

15　茶系（brown blend）：主に茶色で、若干他の色（赤等）が混じり、若干の色合いを示す品種を含む。

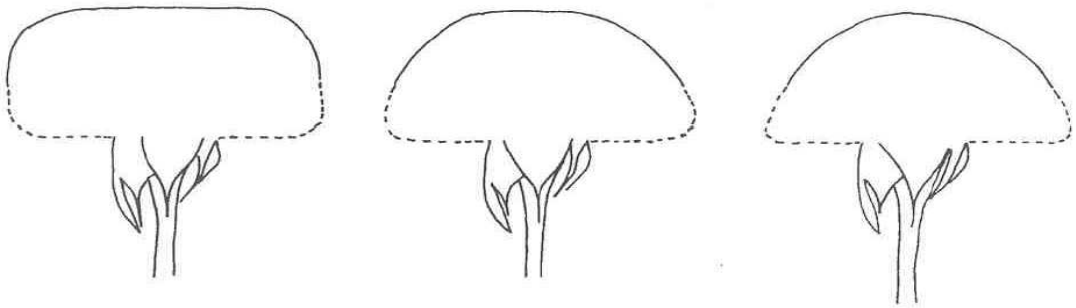
16　多色（multicolored）：複数色で、ゾーンの境が明確ではっきり（色が混ざらない）している品種。

形質 27　花の形　Char.27　Flower：shape



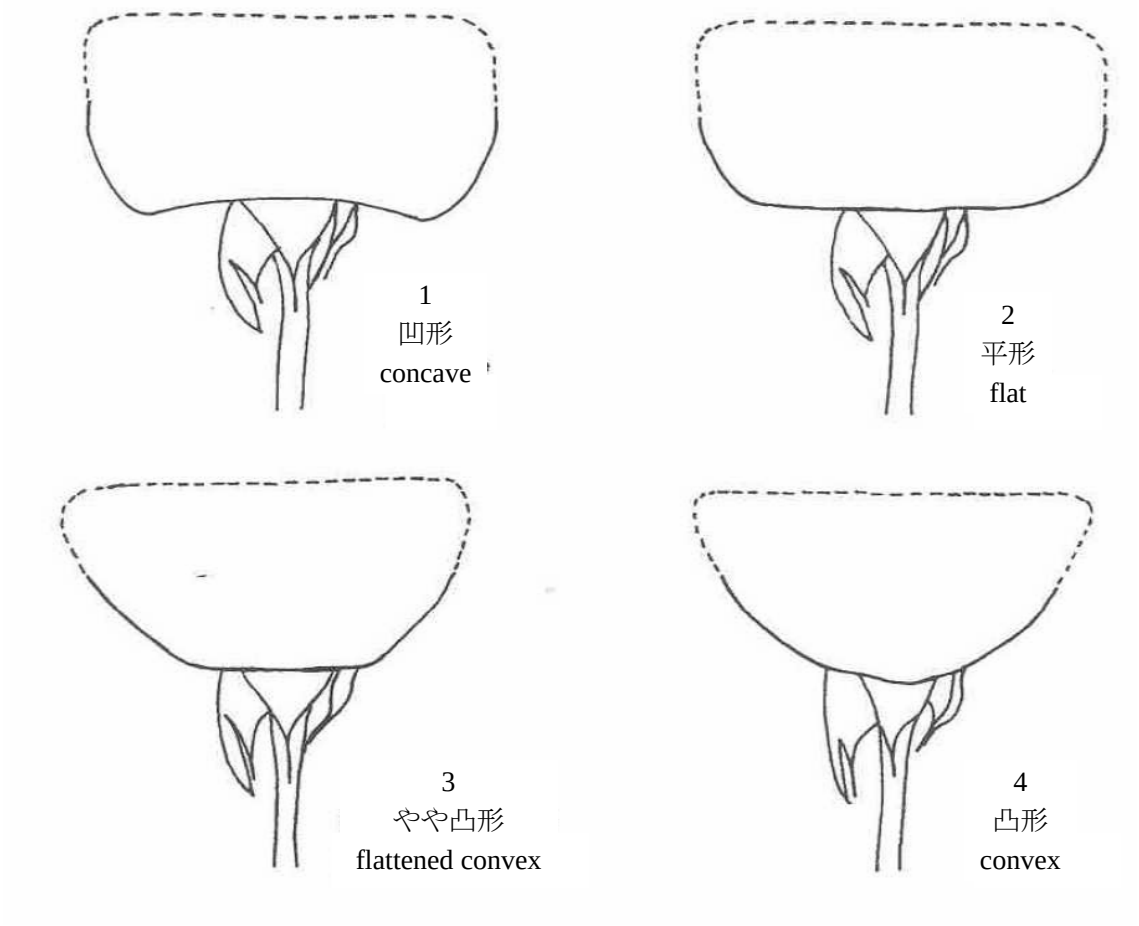
1	2	3
円形	不整円形	星形
round	irregularly rounded	star-shaped

形質 28　花の上部の輪郭（切り花用及び庭園用品種に限る。）
Char.28　Flower：profile of upper part

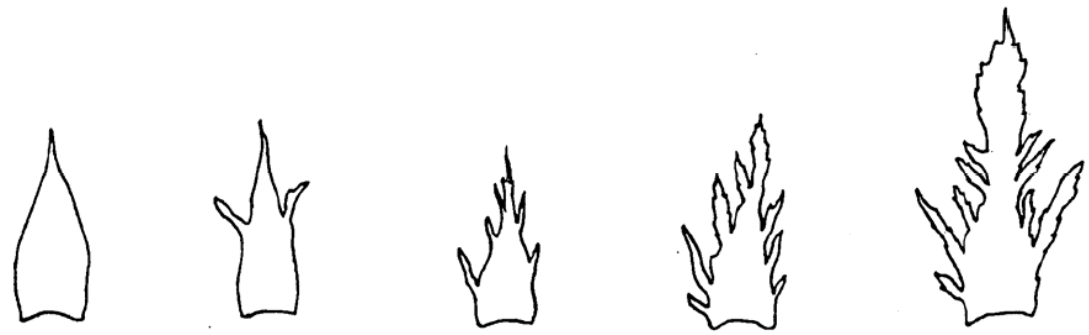


1	2	3
平形	やや凸形	凸形
flat	flattened convex	convex

形質 29　花の下部の輪郭（切り花用及び庭園用品種に限る。）
Char.29　Flower：profile of lower part



形質 31　がくの変形の強弱　Char.31　Sepal：extensions



1	3	5	7	9
無又は微弱 absent or very weak	弱 weak	中 medium	強 strong	極強 very strong

形質 32　花弁一枚ごとの展開の有無　Char.32　Petals：reflexing of petals one-by-one

開花期間にわたって花弁が同時に展開する品種の例。すなわち花弁は一枚ずつ離れない

時間



1
無
absent

開花期間にわたって花弁が一枚ずつ展開する品種の例。

時間



9
有
present

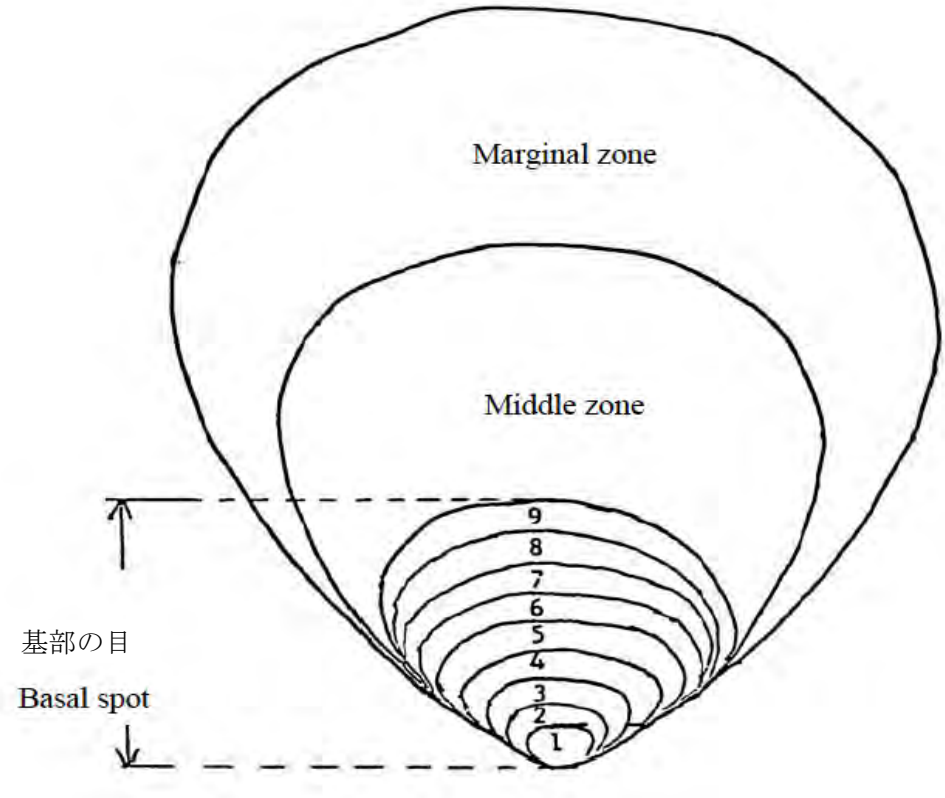
形質 45　花弁の表面の二次色の分布
Char.45　Only varieties with two or more colors on inner side of petal：Petal：distribution of secondary color on inner side (basal spot excluded)

形質 46　花弁の表面の三次色の分布
Char.46　Only varieties with more than two colors on inner side of petal：Petal：distribution of tertiary color on inner side (basal spot excluded)



1	2	3	4	5	6
基部 at base	先端部 at apex	縁部 at marginal zone	ぼかし as a flush	部分又は縞 as segments or stripes	斑点 as speckles

形質 48　花弁の表面の基部の目の大きさ
Char.48　Petal：size of basal spot on inner side



形質 53　果実の縦断面の形
Char.53　Hip: shape in longitudinal section



1
ロート形
funnel-shaped

2
ピッチャー形
pitcher-shaped

3
洋なし形
pear-shaped

栽培型（Growing types）

各タイプの品種の十分な生育を確保するために、切り花用、庭園用及び鉢物用に対して別個の栽培試験を設定することが必要である。次のとおり、タイプが異なる品種の栽培条件及び各品種にとって適切な栽培試験の型を決定する際に参考となる情報を提供する。
it may be necessary for separate growing trials to be established for cut-flower types, garden types and pot types in order to ensure the satisfactory growth of varieties

of those types. The following information is provided with regard to growing conditions for different types of varieties and information which may help in deciding on the type of trial(s) which may be appropriate for a variety:

切り花用タイプ(Cut-flower types)

育種は、限られた遺伝子プールの中で行われる。一般的に、このタイプの品種は、ハイブリッド　ティーローズに属し、以下の特徴をもつ。

Breeding is done in a limited gene pool. In general, such types of variety belong to the Hybrid Tea Roses and have the following features:

・低温耐性があまり強くない。温帯地域において良好な栽培のためには加温温室が必要である。
not very tolerant to low temperatures: heated greenhouses required for good crop development in temperate zones;

・温暖気候において、日照や降雨から守る必要がある。
protection needed against sun or rain, in warm climates;

・常に芽かきが必要である。単花品種は花序内の側枝を取り除き、スプレー品種は頂花を取り除く必要がある。
disbudding, in order to produce one large flower per stem, always necessary by removing the laterals in the inflorescence and for spray varieties by removing the terminal flower;

・通常、庭園用や鉢物用品種に比べ、とげは小さく少ない。
usually having less and smaller prickles than garden and pot rose types;

・多くの切り花用品種は八重であるが、半八重もある。
most cut-flower types have double flowers, but are sometimes semi-double.

庭園用(Garden types)

育種は、ほとんどの場合、他のタイプとは別のやや大きな遺伝子プールの中で行われる。一般的に、このタイプの品種は、以下の特徴をもつ。

Breeding is done in a rather large gene pool, in most cases much broader and different from the other types. In general, such types of variety have the following features:

・一般的に低温耐性がある。
tolerant of lower temperatures in general;

・とげのタイプやサイズは、切り花用や鉢物用と比較して、それほど重要でない（育種上は、対照的な色の大きなとげが目標になることもある。）。
type and size of prickles less or not important compared to cut-flower and pot types(breeding is sometimes focussed on large prickles often of a contrasting color);

・全ての花のタイプ（一重、半八重及び八重）が見られる。
all flower types (single, semi-double and double)can be seen in garden types;

・樹姿は、株幅の狭い木立性から這性まで様々である。
growth habit varies from narrow bushy to creeping;

・コンテナ用やパティオローズも含む。
includes container and patio roses.

※　パティオローズ：ミニチュア系とフロリバンダ系を交雑した品種群

鉢物用タイプ(Pot types)

育種は、切り花用タイプや庭園用タイプとは異なる遺伝子プールの中で主に行われる。一般的に、このタイプの品種は、以下の特徴をもつ。
Breeding is mainly done in a gene pool which is different from the cut-flower and garden types. In general, such types of variety have the following features:

・室内用鉢花として利用される唯一のタイプで、温室又は雨除け条件下で生産される。
concern only types used as houseplants and produced in greenhouses or other sheltered conditions;

・株の高さや幅は限られる。
plants with limited plant height and diameter;

・ほとんどは半八重又は八重である。
nearly always have semi-double or double flowers;

・コンテナ用やパティオローズは鉢物用タイプには含まれない。それらは庭園用として取り扱うべきである。
do not include container and / or patio roses, which should be treated as garden types.

資料 1-3-21

2026 年 月
TG/232/1 2007-03-28 に準拠

ステラ

Sutera

(*Sutera* Roth

Jamesbrittenia O.Kuntze)

(案)

ステラ審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、ゴマノハグサ科（*Scrophulariaceae*）ステラ属（*Sutera* Roth）とヤメスブリッテニア属（*Jamesbrittenia* O.Kuntze）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）提出苗の形態　発根苗

ⅱ）提出時期　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　25 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　15 個体

ⅲ）栽培期間　1 生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　特に指示がない限り、開花盛期に行う。特性表の調査方法の欄に以下の記号を含む形質については、次により調査を行う。

(a) 葉の観察については、茎の基部に着生する葉で行う。

(b) 主な色は、面積の最も広い色。もし、面積が同等の場合には、濃い色が主な色である。

(c) 八重咲きの花については、最大花弁で調査する。

ⅴ）特別な試験　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 15 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping characteristics)

ⅰ）葉身の斑の有無（形質 14）

ⅱ）花型（形質 16）

ⅲ）花の色数（形質 19）

ⅳ）花の主な色（形質 20）

以下の色区分とする

Gr.1：白

Gr.2：桃

Gr.3：赤

Gr.4：紫
Gr.5：青紫

Ⅵ. 特性表で使用する記号の説明（Legend）
G：グループ分けに使用する形質
(*)：品種記載の国際調和のための調査形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷ. に特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録
MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録
VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録
VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質 のため、特性表の備考欄の記載は省略される。
選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 （State）		階級 （Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		PQ	草型	Plant : growth habit	株全体の草姿	観察 VG	1 2 3 4	直立型 斜上型 水平型 垂れ型	upright semi-upright horizontal creeping	ﾋﾟﾝｸｽﾀｰ ﾗｲﾗｯｸﾐｽﾄ ｽﾉｰﾌﾚｰｸ ﾓｰﾌﾞ	
2	1 (*)	QN	草丈	Plant : height	株の地際より最頂部までの高さ	測定 cm MS	1 3 5 7	極低 低 中 高	very short short medium tall	 ｽﾉｰﾌﾚｰｸ ﾔｽﾌﾛｽ	
3	2 (*)	QN	茎の長さ	Shoot : length	最長茎の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 ｽﾉｰﾌﾚｰｸ ﾗｲﾗｯｸﾐｽﾄ	
4	4	QN	茎のアントシアニン着色の強弱	Shoot : anthocyanin coloration	茎の上部 1/3 のアントシアニン着色の程度	観察 VG	1 3 5 7 9	無又は極弱 弱 中 強 極強	absent or very weak weak medium strong very strong	 ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰｼｬﾜｰ	
5	3	QN	節間長	Shoot : length of internodes	最長茎の中央部の節間長	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	 ｽﾉｰﾌﾚｰｸ ﾗｲﾗｯｸﾐｽﾄ	
6	6 (*)	QL (+)	葉型	Leaf : type	葉型	観察 VG (a)	1 2	単葉 羽状複葉	simple pinnate		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
7	7 (*)	QN (+)	葉身の長さ	Leaf blade : length	葉身の長さ	測定 cm MS (a)	3 5 7	短 中 長	short medium long	ｽﾉｰﾌﾚｰｸ ﾗｲﾗｯｸﾐｽﾄ	
8	8 (*)	QN (+)	葉身の幅	Leaf blade : width	葉身の幅	測定 cm MS (a)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ｽﾉｰﾌﾚｰｸ	
9	9	QN	葉身の長さ／幅	Leaf blade : ratio length/width	葉身の長さ／幅	測定 MS (a)	3 5 7	小 中 大	small medium large		
10	5	QN	葉柄の長さ	Petiole : length	葉柄の長さ	測定 mm MS (a)	1 3 5 7	無又は極短 短 中 長	absent or very short short medium long	ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰｼｬﾜｰ ｽﾉｰﾌﾚｰｸ	
11	10	QN (+)	葉身の最大幅の位置	Leaf blade : position of broadest part	葉身の最大幅の位置	観察 VG (a)	1 2 3	中央部 中央部と基部の間 基部	in middle between middle and base at base		
12	12	QL	若葉の主な色	Young leaf blade : main color	展開後の若葉の主な色	観察 VG (b)	1 2 3 4 5	白 黄 淡緑 緑 濃緑	white yellow light green medium green dark green	ﾀﾞﾝｺﾌﾟ 15	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
13	14	PQ	葉身の表面の主な色	Leaf blade : main color	成葉の葉身表面の主な色	観察 VG (a) (b)	1 2 3 4	黄 淡緑 緑 濃緑	yellow light green medium green dark green	ﾀﾞﾝｺﾌﾟ 15 ｽﾉｰﾌﾚｰｸ	
14	13 (*)	QL G	葉身の斑の有無	Leaf blade : variegation	葉身の斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
15	11	QN (+)	葉身の周縁の切れ込みの深さ（単葉の品種に限る。）	Only varieties with simple leaves : Leaf blade : depth of incisions of margin	葉身の周縁の切れ込みの深さ（単葉の品種に限る。）	観察 VG (a)	1 3 5 7	無又は極浅 浅 中 深	absent or very shallow shallow medium deep		
16	15 (*)	QL G (+)	花型	Flower : type	一重、八重の別	観察 VG	1 2	一重 八重	single double	ｽﾉｰﾌﾚｰｸ ｻﾑｽﾄ 03	
17	16 (*)	QN (+)	花の長さ	Flower : length	花の縦の長さ（縦径）	測定 ㎜ MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		
18	17 (*)	QN (+)	花の幅	Flower : width	花の幅（横径）	測定 ㎜ MS	1 3 5 7 9	極狭 狭 中 広 極広	very narrow narrow medium broad very broad		

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
19	18 (*)	QL G (+)	花の色数	Corolla : number of colors (excluding mouth of corolla tube)	花の色数（花筒の喉部を除く。）	観察 VG	1 2 3	1 2 3 以上	one two more than two		
20	19 (*)	PQ G (+)	花の主な色	Corolla : main color	花の表面の主な色	観察 VG		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄの色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
21	20 (*)	PQ (+)	花の二次色	Corolla : secondary color	花の表面の二次色	観察 VG	1 2 3 4 5	白 黄 濃桃 濃紫 濃青紫	white yellow dark pink dark purple dark violet		
22	21	QN (+)	花冠裂片の幅	Corolla lobe : width	花冠裂片の幅	測定 ㎜ MS (c)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰｼｬﾜｰ	
23	22 (*)	PQ (+)	花冠裂片の先端の形	Corolla lobe : shape of apex	花冠裂片の先端の形	観察 VG (c)	1 2 3 4	鋭形 円形 切形 凹形	pointed rounded truncate retuse		
24		QN (+)	花冠裂片の向き（一重品種に限る。）	Only varieties with single flowers : Corolla lobe : attitude	一重品種の花冠裂片の向き	観察 VG	1 2 3	上向き 平 下向き	upwards horizontal downwards	ｽﾉｰﾌﾚｰｸ	

形質番号	UPOV No.	記号	形質（Characteristics）		定義	調査方法	階級	状態（State）		標準品種（Ex.Var）	備考
			（日本語）	（English）				（日本語）	（English）		
25	23	QN (+)	花筒の長さ	Corolla tube : length	花筒の長さ	測定 ㎜ MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	ﾗﾍﾞﾝﾀﾞｰｼｬﾜｰ ｽﾉｰﾌﾚｰｸ	
26	24	PQ (+)	花筒喉部の主な色（一重品種に限る。）	Only varieties with single flowers : Corolla tube : main color at mouth	花筒喉部の主な色（一重咲の品種のみ）	観察 VG	1 2 3	黄 黄橙 橙	yellow yellow orange orange		

Ⅶ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質６　葉型　Char.6　Leaf:type

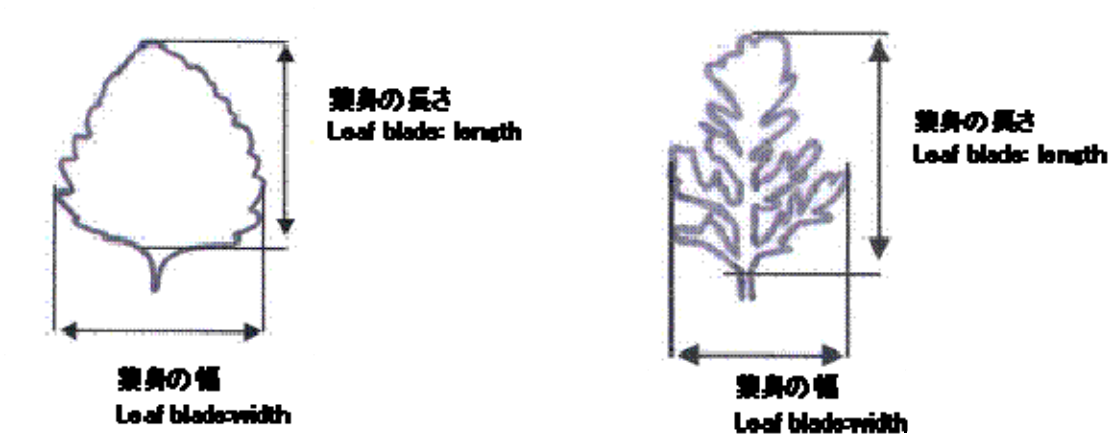


1
単葉
simple

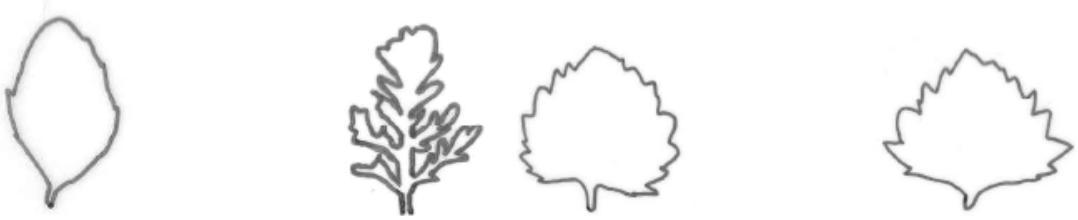
2
羽状複葉
pinnate

形質７　葉身の長さ　Char.7　Leaf blade: length

形質８　葉身の幅　Char.8　Leaf blade: width



形質 11　葉身の最大幅の位置　Char.11　Leaf blade:position of broadest part



1
中央部
in middle

2
中央部と基部の間
between middle and base

3
基部
at base

形質 15　葉身の周縁の切れ込みの深さ（単葉の品種に限る。）

Char.15　Only varieties with simple leaves: Leaf blade: depth of incisions margin



1	3	5	7
無又は極浅	浅	中	深
Absent or very shallow	shallow	medium	deep

形質 16　花型　Char.16　Flower:type

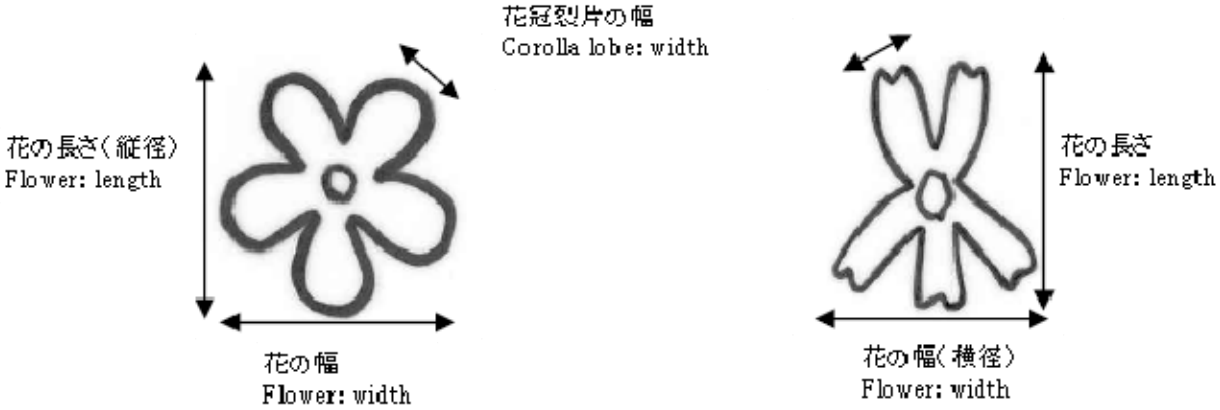
一重：花冠裂片数が５　A single flower has only 5 corolla lobes.

八重：花冠裂片数が５より多い　A double flower has more than 5 corolla lobes.

形質 17　花の長さ　Char.17　Flower: length

形質 18　花の幅　Char.18　Flower: width

形質 22　花冠裂片の幅　Char.22　Corolla lobe: width

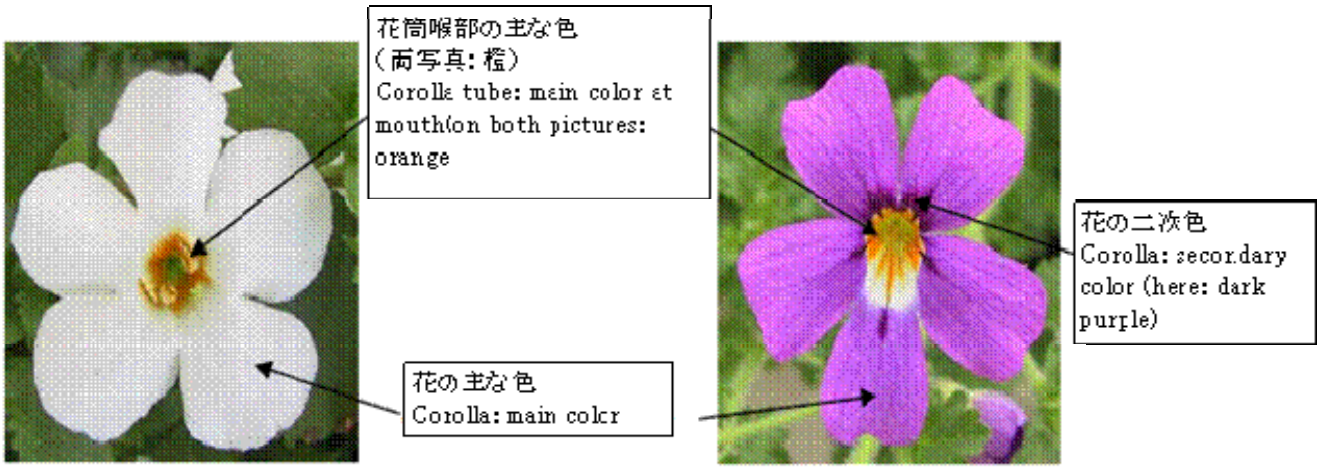


形質 20　花の主な色　Char.20　Corolla: main color

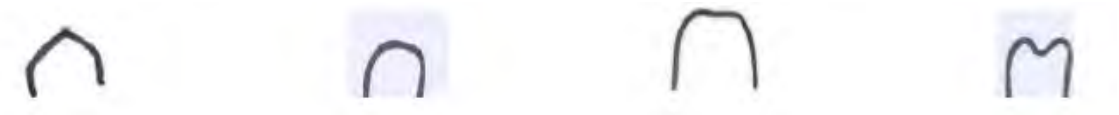
形質 21　花の二次色　Char.21　Corolla: secondary color

形質 26　花筒喉部の主な色（一重品種に限る。）

Char.26　Only varieties with single flowers : Corolla tube : main color at mouth

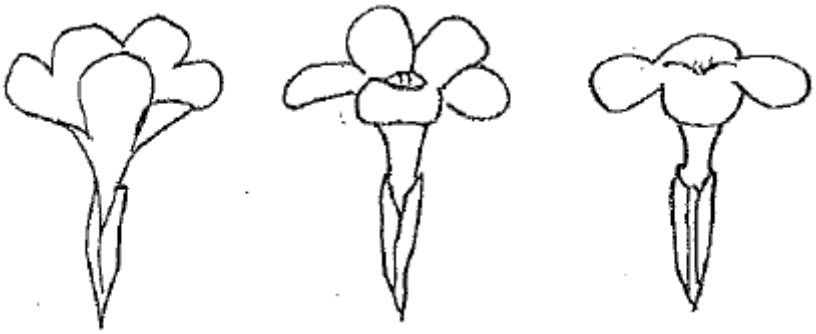


形質 23　花冠裂片の先端の形　Char.23　Corolla lobe:shape of apex



1	2	3	4
鋭形	円形	切形	凹形
pointed	rounded	truncate	retuse

形質 24　花冠裂片の向き（一重品種に限る。）　Char.24　Corolla lobe: attitude



1	2	3
上向き	平	下向き
upwards	horizontal	downwards

形質 25　花筒の長さ　Char.25　Corolla tube:length



長さ
length

資料 1-3-22

2026 年 月
TG/269/1 2011-10-20 に準拠

フリーセア属

Vriesea

(*Vriesea* Lindl.)

(案)

フリーセア属審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、パイナップル科(Bromeliaceae)フリーセア属(*Vriesea* Lindl.)の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　発根苗

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　種子繁殖性品種の場合　55 個体

栄養繁殖性品種の場合　30 個体

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　種子繁殖性品種　45 個体

栄養繁殖性品種　20 個体

ⅲ）栽培期間　　1 生育周期

ⅳ）調査方法

調査個体数　特に指示がない限り、植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個とする。

均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期等　中心花穂を三等分した中央部分で、少なくても 1 輪が満開になった時期に行う。

特性表の調査方法の欄の(a)～(c)の記号によって示された調査方法の詳細は、以下のとおりである。

（a）新葉の調査は、ロゼットの内側から 3 列目までの葉で行う。

（b）葉の調査は、ロゼットの外側で完全に展開した最大葉で行う。

（c）花の調査は、中心花穂を三等分した中央部分で満開になった花で行う。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法等を添えて申告し、審査当局がこれに同意した場合は実施することがある。

Ⅳ．判定基準(Standards for decisions)

判定は、品種登録出願審査等要領の区別性、均一性及び安定性（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

なお、均一性の判定について、栄養繁殖性品種においては、母集団標準 1%、受容確率 95%を適用し、UPOV の TGP/8 文書の 8.1.10 節の図表 5 により判定する。供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

他家受粉品種においては、上記一般基準の第４の２（２）を適用する。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）葉部の高さ（形質 1）

ⅱ）葉身の表面の主な色（斑を除く。）（形質 16）

ⅲ）花序の分枝の有無（形質24）

ⅳ）花ほうの外面の主な色（形質39）

以下の区分とする。

Gr.１：白

Gr.２：黄

Gr.３：橙

Gr.４：橙赤

Gr.５：赤

Gr.６：赤紫

Gr.７：紫

Gr.８：緑

Ⅵ．特性表で使用する記号の説明(Legend)

G：グループ分けに使用する形質

(*)：品種記載の国際調和のための調査形質

QL：質的形質

QN：量的形質

PQ：擬似の質的形質

(+)：Ⅷに特性表の説明図等を示す

MG：植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS：植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG：植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS：植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

必須形質：原則、必ず評価しなければならない形質であり、選択形質以外の全ての形質 のため、特性表の備考欄の記載は省略される。

選択形質：種苗法施行規則第５条第２項に定める出願品種が当該形質によって他の品種と明確に区別されないと出願者が思料する場合に、当該形質に係る特性を願書に記載しないことができる形質。特性表の備考欄に付記される。

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、すべての状態が特性表に記載してある。しかし、５階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、９階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の９階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態（State）		階級（Note）
（日本語）	（English）	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

Ⅶ. 特性表（Table of Characteristics）

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
1	1	QN (*) (+) G	葉部の高さ	Plant: height of foliage	地際から葉部の最高部までの高さ	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall		
2	2	QN (*) (+)	株の幅	Plant: width	株の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
3	3	QN	葉の数	Plant: number of leaves	葉数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		
4	4	PQ (*) (+)	新葉の表面の主な色（斑を除く。）	Young leaf blade: main color of upper side (excluding variegation)	新葉の表面の主な色（最大面積の色）	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7	淡緑 緑 濃緑 灰緑 赤紫 紫 赤褐	light green medium green dark green gray green red purple purple red brown		
5	5	QL (*)	新葉の斑の有無	Young leaf blade: variegation	新葉の斑の有無	観察 VG (a)	1 9	無 有	absent present		
6	6	PQ (*) (+)	新葉の斑の型（斑のある品種に限る。）	Young leaf blade: type of variegation	新葉の斑の型	観察 VG (a)	1 2 3 4	狭覆輪 広覆輪 中斑 縦縞	narrow marginal broad marginal central stripe multiple stripes		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
7	7	PQ (*) (+)	新葉の二次色の模様（斑を除く。）	Young leaf blade: pattern of secondary color (excluding variegation)	新葉の二次色（二番目に大きい面積の色）の模様	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7 8 9	無 ぼかし 条 網状 横縞 マーブル 斑点 マーブル及び斑点 覆輪	none flushed striated netted banded marbled spotted marbled and spotted marginal		
8	8	PQ (*)	新葉の表面の二次色（斑を除く。）	Young leaf blade: secondary color of upper side (excluding variegation)	新葉の表面の二次色（二番目に大きい面積の色）	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7	淡緑 緑 濃緑 灰緑 赤紫 紫 赤褐	light green medium green dark green gray green red purple purple red brown		
9	9	PQ (+)	新葉の先端部の色（斑を除く。）	Young leaf blade: color of apical part (excluding variegation)	新葉の先端部の色	観察 VG (a)	1 2 3 4 5 6 7	淡緑 緑 濃緑 灰緑 赤紫 紫 赤褐	light green medium green dark green gray green red purple purple red brown		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10	10	QN (*) (+)	葉しょうの長さ	Leaf sheath: length	成葉の最大葉の葉しょうの長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
11	11	QN (*) (+)	葉しょうの幅	Leaf sheath: width	成葉の最大葉の葉しょうの幅	測定 cm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
12	12	QN (*) (+)	葉身の長さ	Leaf blade: length	成葉の最大葉の長さ	測定 cm MS (b)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
13	13	QN (*) (+)	葉身の幅	Leaf blade: width	成葉の最大葉の幅	測定 cm MS (b)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
14	14	PQ (*) (+)	葉身の先端の形	Leaf blade: shape of tip	成葉の最大葉の先端の形	観察 VG (b)	1 2 3	鋭形 鋭尖形 微突形	acute acuminate mucronate		
15	15	QL (*) (+)	葉身の斑の有無	Leaf blade: variegation	成葉の最大葉の斑の有無	観察 VG (b)	1 9	無 有	absent present		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
16	16	PQ (*) G	葉身の表面の主な色（斑を除く。）	Leaf blade: main color of upper side (excluding variegation)	成葉の最大葉の表面の主な色（最大面積の色）	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8	淡緑 緑 濃緑 灰緑 赤紫 紫 赤褐 濃褐	light green medium green dark green gray green red purple purple red brown dark brown		
17	17	PQ (*) (+)	葉身の斑の型（斑のある品種に限る。）	Leaf blade : type of variegation	成葉の最大葉の斑の型	観察 VG (b)	1 2 3 4	狭覆輪 広覆輪 中斑 縦縞	narrow marginal broad marginal central stripe multiple stripes		
18	18	PQ (*) (+)	葉身の二次色の模様（斑を除く。）	Leaf blade: pattern of secondary color (excluding variegation)	成葉の最大葉の二次色（二番目に大きい面積の色）の模様	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8	無 ぼかし 条 横縞 マーブル 斑点 マーブル及び斑点 覆輪	none flushed striated banded marbled spotted marbled and spotted marginal		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
19	19	PQ (*)	葉身の表面の二次色（斑を除く。）	Leaf blade: secondary color of upper side (excluding variegation)	成葉の最大葉の表面の二次色（二番目に大きい面積の色）	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7	淡緑 緑 濃緑 灰緑 赤紫 紫 赤褐	light green medium green dark green gray green red purple purple red brown		
20	20	PQ (*) (+)	葉身の先端部の色（斑を除く。）	Leaf blade: color of apical part (excluding variegation)	成葉の最大葉の先端部の色	観察 VG (b)	1 2 3 4	ピンク 赤 赤紫 紫褐	pink red red purple purple brown		
21	21	PQ	葉身の裏面の主な色（斑を除く。）	Leaf blade: main color of lower side (excluding variegation)	成葉の最大葉の裏面の主な色（最大面積の色）	観察 VG (b)	1 2 3 4 5 6 7 8	淡緑 緑 濃緑 灰緑 赤紫 紫 赤褐 濃褐	light green medium green dark green gray green red purple purple red brown dark brown		
22	22	PQ (*)	ほうの色	Peduncle: color of bracts	花茎に着生するほうの色	観察 VG		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
23	23	QN (*) (+)	花序の位置	Inflorescence: position in relation to foliage	葉に対する花序の位置	観察 VG	1 2 3	同位置 部分的に上 完全に上	same height partly above completely above		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24	24	QL (*) (+) G	花序の分枝の有無	Inflorescence: branching	花序の分枝の有無	観察 VG	1 9	無 有	absent present		
25	25	QN (*) (+)	花序の分枝数	Inflorescence: number of branches	花序の分枝数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		
26	26	PQ (+)	花序の向き	Inflorescence: attitude	株の垂直軸に対する花序の向き	観察 VG	1 2 3	直上 斜上 下垂	erect semi-erect drooping		
27	27	QN (*) (+)	花序の長さ	Inflorescence: length	地際から花序の先端までの長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		
28	28	QN (*) (+)	花序の着花部の長さ	Inflorescence: length of flowering part	花序の着花部の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long		
29	29	QN (*) (+)	花序の幅(花序に分枝がある品種に限る。)	Only varieties with inflorescence branching: present: Inflorescence: width of flowering part	花序の着花部の最大幅	測定 cm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		

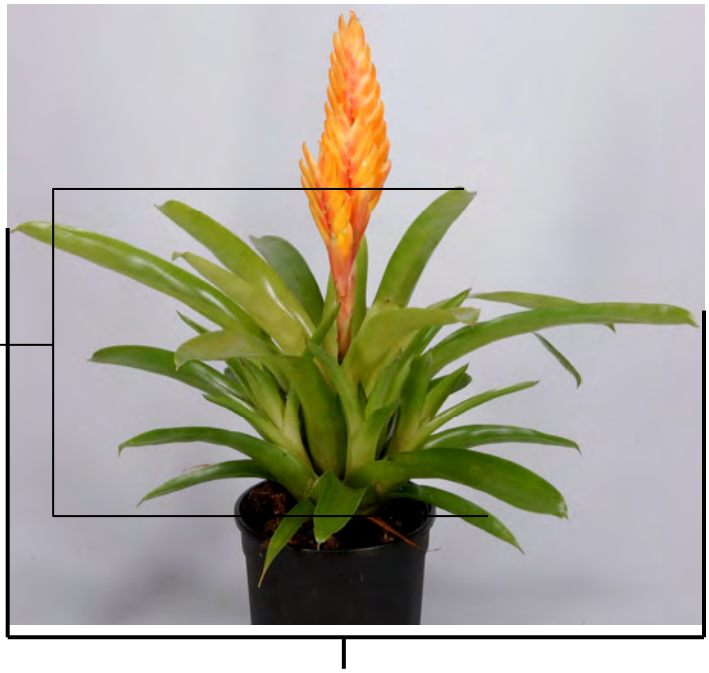
形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
30	30	QN (*) (+)	花穂の長さ(花序に分枝がある品種に限る。)	Only varieties with inflorescence branching: present: Inflorescence: length of terminal branch	中心花穂の最大長	測定 cm MS	1 2 3	短 中 長	short medium long		
31	31	QN (*) (+)	花穂の幅	Inflorescence: width of terminal branch	中心花穂の最大幅	測定 cm MS	1 2 3	狭 中 広	narrow medium broad		
32	32	QN	花穂の厚さ	Inflorescence: thickness of terminal branch	中心花穂の厚さ	測定 mm MS	3 5 7	薄 中 厚	thin medium thick		
33	33	PQ (*) (+)	花穂の形	Inflorescence: shape of terminal branch	中心花穂の形	観察 VG	1 2 3 4 5	狭卵形 卵形 楕円形 長楕円形 倒卵形	narrow ovate medium ovate elliptic oblong obovate		
34	34	QN (*)	花ほうの数	Inflorescence: number of floral bracts of terminal branch	中心花穂の花ほうの数	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		
35	35	QL (*) (+)	花ほうの着生状態	Inflorescence: position of floral bracts	花ほうの着生状態	観察 VG	1 2	離れている 密着している	free adpressed		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
36	36	QN (*)	花ほうの長さ	Floral bract: length	花ほうの長さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
37	37	QN (*)	花ほうの幅	Floral bract: width	花ほうの幅	測定 cm MS (c)	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
38	38	QN	花ほうの先端の角度	Floral bract: angle of apex	花ほうの先端の角度	観察 VG (c)	1 2 3	小 中 大	small medium large		
39	39	PQ (*) (+) G	花ほうの外面の主な色	Floral bract: main color of outer side	花ほうの外面の主な色（最大面積の色）	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
40	40	PQ (*) (+)	花ほうの外面の二次色	Floral bract: secondary color of outer side	花ほうの外面の二次色（二番目に大きい面積の色）	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
41	41	PQ (+)	花ほうの内面の主な色	Floral bract: main color of inner side	花ほうの内面の主な色（最大面積の色）	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
42	42	PQ (*) (+)	がくの色	Calyx: color	がくの色	観察 VG (c)	1 2 3	白系 緑系 黄系	whitish greenish yellowish		

形質番号	UPOV No.	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
43	43	QN (+)	花弁の長さ	Petal: length	花弁の長さ	測定 cm MS (c)	3 5 7	短 中 長	short medium long		
44	44	QN	花弁の幅	Petal: width	花弁の幅	測定 mm MS (c)	1 2 3	狭 中 広	narrow medium broad		
45	45	PQ (*)	花弁の先端の色	Petal: color of apex	花弁の先端の色	観察 VG (c)		RHS カラーチャート色票番号による	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
46	46	PQ (+)	子房の色	Ovary: color	子房の色	観察 VG (c)	1 2 3	白 淡緑 淡黄	white light green light yellow		
47	47	PQ (+)	花柱の色	Style: color	花柱の色	観察 VG (c)	1 2 3 4	白 黄緑 淡黄 黄	white yellow green light yellow medium yellow		
48	48	PQ (+)	柱頭の色	Stigma: color	柱頭の色	観察 VG (c)	1 2 3 4	白 淡緑 緑 淡黄	white light green medium green light yellow		

Ⅷ. 特性表の説明（Explanations on the Table of Characteristics）

形質 1　葉部の高さ　　Char.1　Plant: height of foliage
形質 2　株の幅　　Char.2　Plant: width

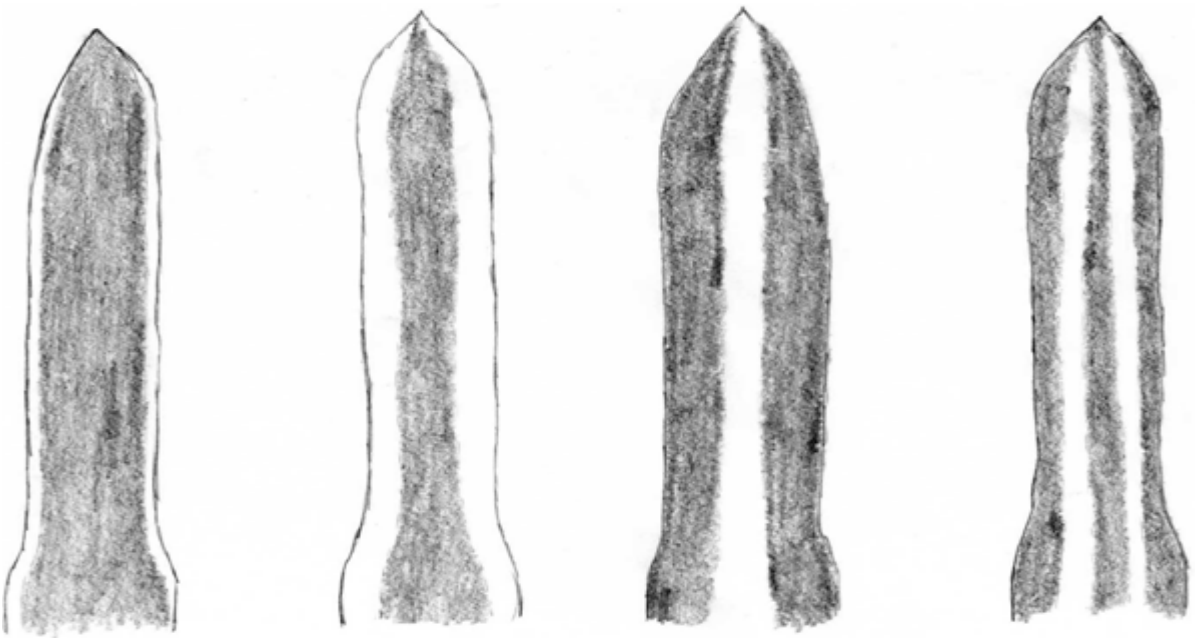


形質 4　新葉の表面の主な色（斑を除く。）
Char.4　Young leaf blade: main color of upper side (excluding variegation)

主な色は、斑を除いた最大面積を占める色とする。色の面積がほぼ半々である場合は、より明るい色を主な色とする。

The main color is the color with the largest surface area, excluding variegation. If the area of the colors is nearly half and half, the lighter color is the main color.

形質 6　新葉の斑の型（斑のある品種に限る。）　Char.6　Young leaf blade: type of variegation
形質 17　葉身の斑の型（斑のある品種に限る。）　Char.17　Leaf blade: type of variegation



1	2	3	4
狭覆輪	広覆輪	中斑	縦縞
narrow marginal	broad marginal	central stripe	multiple stripes

形質 7　新葉の二次色の模様（斑を除く。）

Char.7　Young leaf blade: pattern of secondary color (excluding variegation)



2
ぼかし
flushed

3
条
striated

5
横縞
banded

6
マーブル
marbled

7
斑点
spotted

8
マーブル及び斑点
marbled and spotted

9
覆輪
marginal

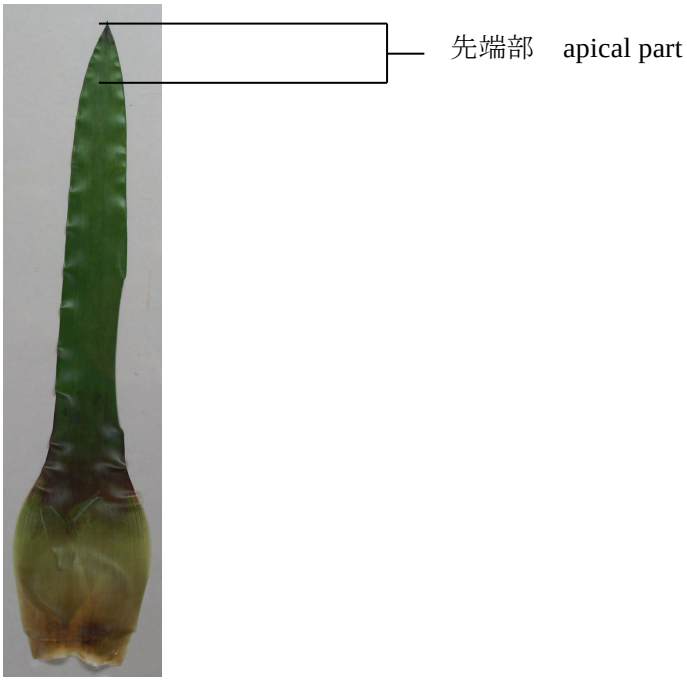
1. 無 (none)　同色 (color equal)
2. ぼかし (flushed)　赤紫、紫あるいは赤褐がゆるやかに変化 (red purple, purple or red brown color that changes gradually)
3. 条 (striated)　細い縦線 (small longitudinal stripes)
4. 網状 (netted)　網状の細い線 (pattern of small stripes making up a net)
5. 横縞 (banded)　広い横縞 (broad transverse stripes)
6. マーブル (marbled)　細く不規則な横縞 (small irregular transverse stripes)
7. 斑点 (spotted)　葉の表面全体の小さな点 (small spots all over the leaf surface)
8. マーブル及び斑点 (marbled and spotted)　細く不規則な横縞と小さな点 (small irregular transverse stripes and small spots)
9. 覆輪 (marginal)　縁に沿った狭い部分 (narrow zone along the margin)

形質 9　新葉の先端部の色（斑を除く。）

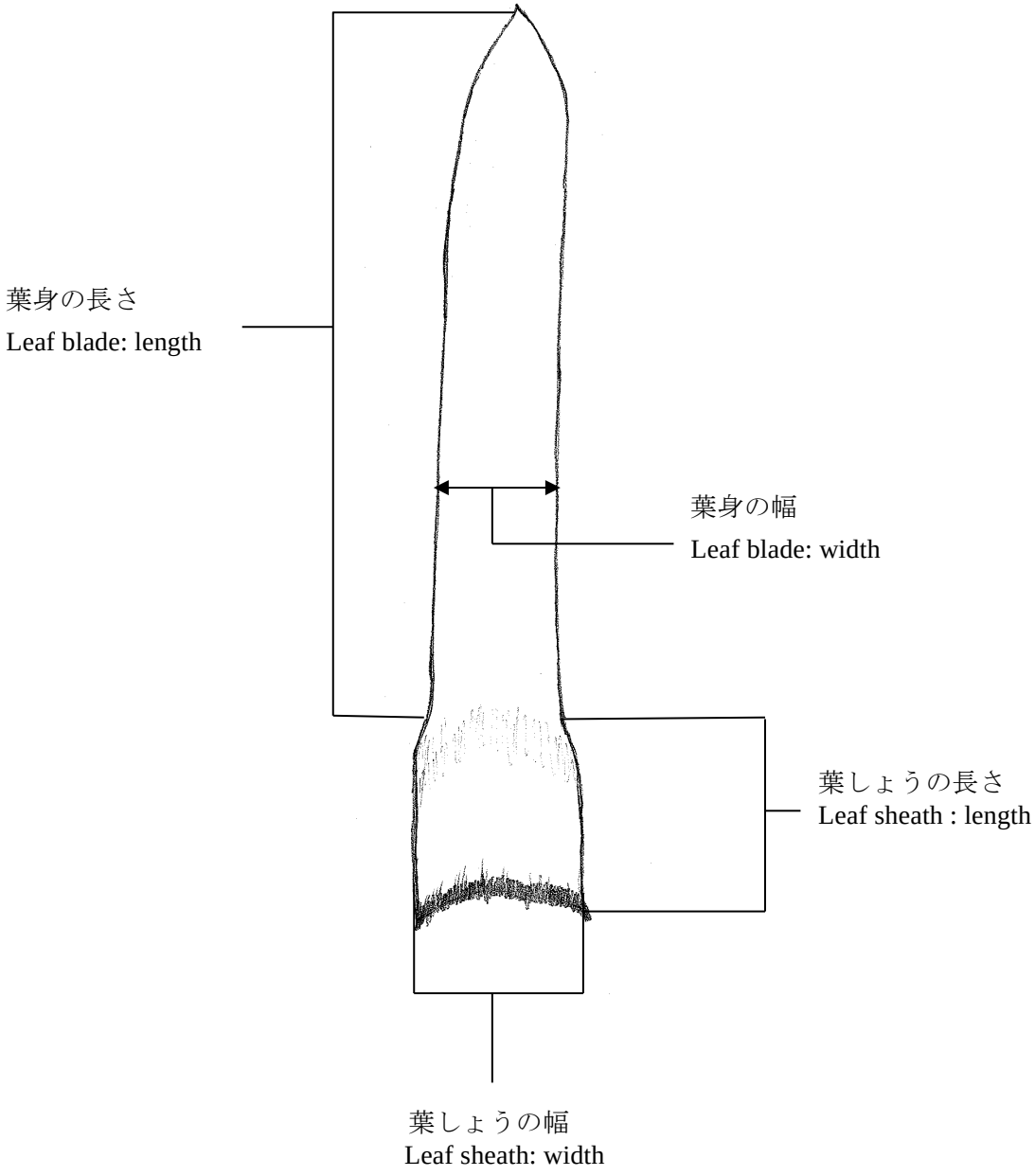
Char.9　Young leaf blade: color of apical part (excluding variegation)

形質 20　葉身の先端部の色（斑を除く。）

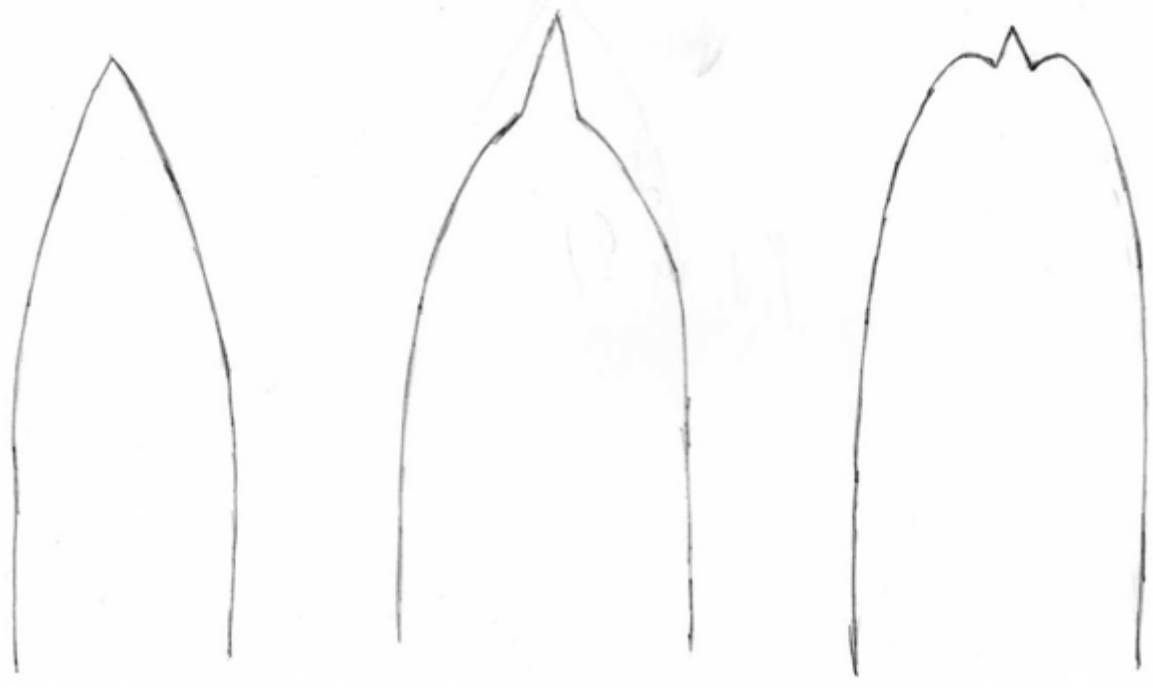
Char.20　Leaf blade: color of apical part (excluding variegation)



形質 10　葉しょうの長さ　　Char.10　Leaf sheath: length
形質 11　葉しょうの幅　　Char.11　Leaf sheath: width
形質 12　葉身の長さ　　Char.12　Leaf blade: length
形質 13　葉身の幅　　Char.13　Leaf blade: width



形質 14　葉身の先端の形　　Char.14　Leaf blade: shape of tip



1	2	3
鋭形	鋭尖形	微突形
acute	acuminate	mucronate

形質 15　葉身の斑の有無　　Char.15　Leaf blade: variegation



9　有　present

形質 18　葉身の二次色の模様（斑を除く。）
Char.18　Leaf blade: pattern of secondary color (excluding variegation)



2
ぼかし
flushed

3
条
striated

4
横縞
banded

5
マーブル
marbled

6
斑点
spotted

7
マーブル及び斑点
marbled and spotted

8
覆輪
marginal

1. 無 (none)　同色 (color equal)
2. ぼかし (flushed)　赤紫、紫あるいは赤褐がゆるやかに変化 (red purple, purple or red brown color that changes gradually)
3. 条 (striated)　細い縦線 (small longitudinal stripes)
4. 横縞 (banded)　広い横縞 (broad transverse stripes)
5. マーブル (marbled)　細く不規則な横縞 (small irregular transverse stripes)
6. 斑点 (spotted)　葉の表面全体の小さな点 (small spots all over the leaf surface)
7. マーブル及び斑点 (marbled and spotted)　細く不規則な横縞と小さな点 (small irregular transverse stripes and small spots)
8. 覆輪 (marginal)　縁に沿った狭い部分 (narrow zone along the margin)

形質 23　花序の位置　　Char.23　Inflorescence: position in relation to foliage



1
同位置
same height



2
部分的に上
partly above



3
完全に上
completely above

形質 24　花序の分枝の有無　　Char.24　Inflorescence: branching

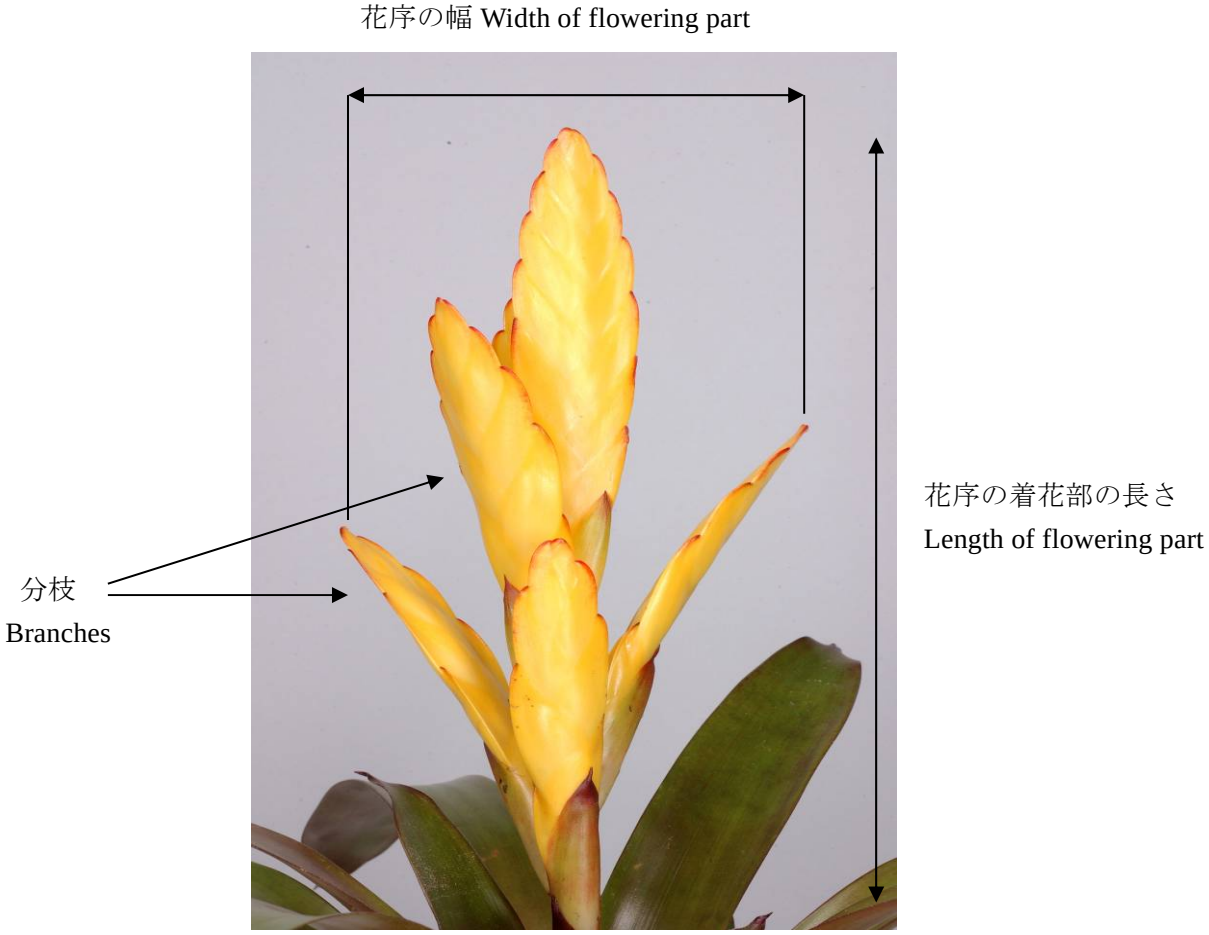


1
無 absent



9
有 present

形質 25　花序の分枝数　　Char.25　Inflorescence: number of branches
形質 28　花序の着花部の長さ　　Char.28　Inflorescence: length of flowering part
形質 29　花序の幅（花序に分枝がある品種に限る。）
Char.29　Only varieties with inflorescence branching: present: Inflorescence: width of flowering part



形質 26　花序の向き　　Char.26　Inflorescence: attitude



1
直上
erect



2
斜上
semi-erect



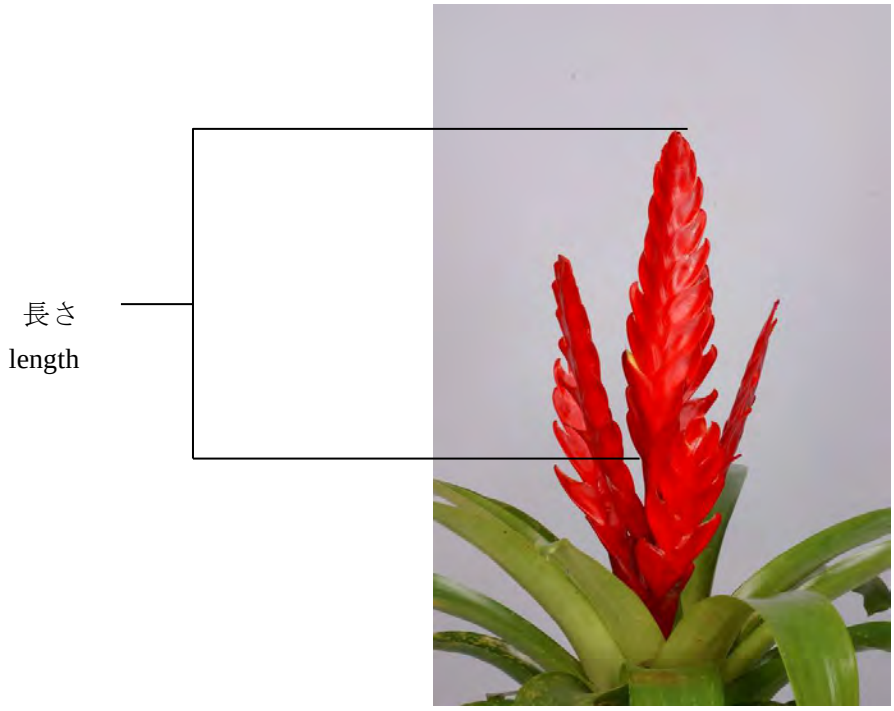
3
下垂
drooping

形質 27　花序の長さ　　Char.27　Inflorescence: length



形質 30　花穂の長さ（花序に分枝がある品種に限る。）

Char.30　Only varieties with inflorescence branching: present: Inflorescence: length of terminal branch



形質 31　花穂の幅　　Char.31　Inflorescence: width of terminal branch



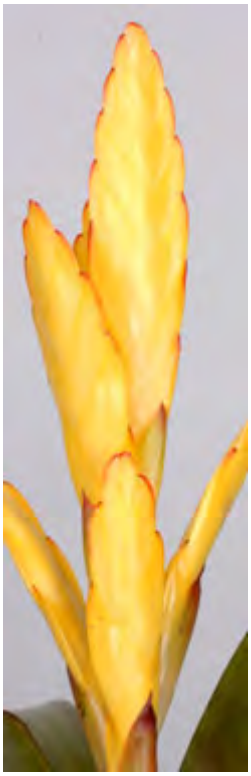
形質 33　花穂の形　　Char.33　Inflorescence: shape of terminal branch

	← 最大幅部分 broadest part →		
	下部 below middle	中央部 at middle	上部 above middle
広 broad (compressed)←長さ/幅の比 length/width ratio→狭 narrow (elongated)	 1 狭卵形 narrow ovate	 4 長楕円形 oblong	
	 2 卵形 medium ovate	 3 楕円形 elliptic	 5 倒卵形 obovate

形質 35　花ほうの着生状態　　Char.35　Inflorescence: position of floral bracts



1
離れている
free



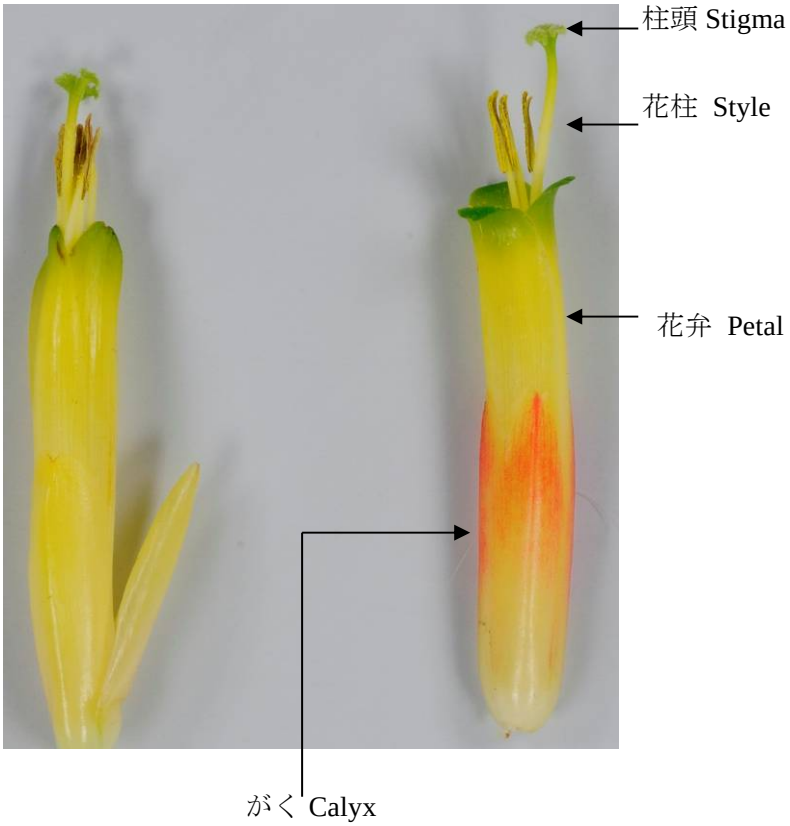
2
密着している
adpressed

形質 39　花ほうの外面の主な色　　Char.39　Floral bract: main color of outer side
形質 40　花ほうの外面の二次色　　Char.40　Floral bract: secondary color of outer side
形質 41　花ほうの内面の主な色　　Char.41　Floral bract: main color of inner side

主な色は、最大面積を占める色とする。二次色（有りの場合）は、二番目に大きな面積を占める色とする。色の面積がほぼ半々である場合は、より明るい色を主な色とする。

The main color is the color with the largest total surface area, the secondary color (if present) is the color with the second largest total surface area.　If the area of the colors is nearly half and half, the lighter color is the main color.

形質 42　がくの色　　Char.42　Calyx: color
形質 43　花弁の長さ　　Char.43　Petal: length
形質 47　花柱の色　　Char.47　Style: color
形質 48　柱頭の色　　Char.48　Stigma: color



形質 46　子房の色　　Char.46　Ovary: color

